スクランブル

英文法・語法

Scramble

入試頻出テーマ 261の征服

- 文法
- 語法
- 語い
- イディオム
- 会話表現
- 発音・アクセント

CD 付属

4th Edition

中尾孝司 著

選ばれるには
ワケがある!

学校採用
続々!

★★★★★ 4.7点

Amazon.co.jp カスタマーレビュー

※ 改訂前の「スクランブル英文法・語法 3訂版」の 29 件中の点数
(2017 年 9 月 15 日調べ)

Amazon および Amazon.co.jp は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

目標レベル	定期テスト	入試基礎	センター試験	私大標準	国公立大標準	私大難関	国公立大難関

旺文社

Part 1

文法

第1章 時制 44
第2章 受動態 54
第3章 助動詞 62
第4章 不定詞 72
第5章 動名詞 80
第6章 分詞 86
第7章 仮定法 94
第8章 比較 102
第9章 疑問 120
第10章 否定 128
第11章 代名詞 136
第12章 関係詞 152
第13章 接続詞 168
第14章 強調・倒置・省略・代用 188

第1章 時制

Theme 1

□□□ **1** 基本 頻出
On my way to school each day, I generally (　　　) many dogs and cats.
① were seeing　② am seeing　③ see　④ was seen　（明治大）

□□□ **2** 頻出
Water (　　　) at a temperature of 100 degrees centigrade.
① boils　② is boiling　③ was boiling　④ used to boil　（上智大）

□□□ **3** 基本 頻出
My father sometimes (　　　) me with my homework when I was a student.
① helps　② helped　③ has helped　④ is helping　（広島経済大）

□□□ **4** 基本
I have no idea when he (　　　) next time.
① comes　② has come　③ coming　④ will come　（玉川大）

Power Up! 2 基本３時制の用法

(1) 現在形	① 現在の事実・状態 ② 現在の習慣的動作（➲ 1） ③ 不変の真理（➲ 2） ④ 確定的な未来の予定 Our school festival **begins** tomorrow. （学園祭が明日から始まる）
(2) 過去形	① 過去のできごと・状態 She **went** to America three times when she was a student. （彼女は学生だったとき，３度アメリカへ行った）（松山大） ② 過去の習慣的動作（➲ 3）
(3) 未来形	① 単純未来 ── 未来のできごと・状態（➲ 4） ② 意志未来 ── 話し手や主語の意志 I **will go**, even if you stop me. （たとえ止めても私は行くつもりだ）（東京国際大）

1　（③）　毎日学校へ行く途中，私はたいていたくさんの犬や猫を見かける。
2　（①）　水は摂氏 100 度で沸騰する。
3　（②）　私が学生だった時，父はときどき宿題を手伝ってくれました。
4　（④）　彼が今度いつ来るのかまったくわからない。

Theme 1 基本３時制の用法

1　現在の習慣的動作 ➡ 現在形

▶ 時制の問題では，『時』を表す副詞表現に注目することが重要である。
本問の場合，副詞 generally「たいてい / ふつう」があるので，現在の習慣的な動作と考え，現在形の ③ see を選ぶ。

2　不変の真理 ➡ 現在形

▶『変わることのない真理』や『一般的な事実』は現在形で表すので，① boils が正解。

〈プラスα〉『不変の真理』は時制の一致を受けないので，主節の動詞が過去形でも従属節の動詞は現在形のままでよい点にも注意。
I *thought* that honesty **is** the best policy.
（正直は最良の策だと私は思った）（広島経大）

3　過去の習慣的動作 ➡ 過去形

▶ when I was a student は明らかに過去を示す副詞表現なので，過去形の ② helped が正解。

〈語句〉help A with B「A（人）の B を手伝う」（➲ 1038）

4　未来のできごと・状態 ➡ 未来形

▶ next time「次に / 今度は」という未来表現に注目。未来のことは原則として未来形で表すので，④ will come が正解。

〈語句〉have no idea + 疑問詞節「～かを少しもわからない」（➲ 1066）

〈プラスα〉**be going to *do*** も未来のことを表すのに用いられる。
① 「～しそうである / 確実に～だろう」── 根拠に基づく予測・判断
Look at those black clouds. It **is going to** rain very soon.
（あの黒い雲を見てごらん。今にも雨が降りそうだ）（駒澤大）
② 「～するつもり［予定］である」── 話し手の意図・予定・計画
I've lost my watch, so I'**m going to** buy one tomorrow.
（時計をなくしたので，明日ひとつ買うつもりです）（福岡大）

Power Up! 1 時制の基本形式

時間的な関係を表す動詞の形を時制という。時制には現在・過去・未来の３つの基本時制がある。それぞれに進行形や完了形があるので，合計 12 の時制になる。

	現在	過去	未来
基本形	I do.	I did.	I will do.
進行形	I am doing.	I was doing.	I will be doing.
完了形	I have done.	I had done.	I will have done.
完了進行形	I have been doing.	I had been doing.	I will have been doing.

Theme 2

□□□ **5** I (　　　) lunch at the moment. Can you come back later?
基本 ① had　② have had　③ am having　④ had had（松山大）

□□□ **6** They (　　　) at Narita tomorrow.（東北学院大）
① arrived　② are arriving　③ is going to arrive　④ will be arrived

□□□ **7** I (　　　) my hair when the phone started ringing.（関東学院大）
頻出 ① wash　② was washed　③ have been washing　④ was washing

□□□ **8** The president (　　　) on TV tomorrow evening.
① will have appeared　② has been appearing
③ could have appeared　④ will be appearing（獨協大）

Theme 3

□□□ **9** My brother (　　　) his company's basketball team.（桃山学院大）
① is belonging　② is belonging to　③ belongs to　④ belongs

□□□ **10** Listen! I (　　　) a funny noise outside.（高崎経済大）
① hear　② am hearing　③ have heard　④ was hearing

Power Up! 3　進行形にできない動詞（『状態』を表す動詞）

（1）『継続的な状態』を表す動詞

- □ **be** / **remain**「～(のまま)である」
- □ **seem** / **look** / **appear**「～に見える」
- □ **have** / **own** / **possess**「～を持っている」
- □ **belong**「所属している」(➲ 9)
- □ **resemble**「～に似ている」
- □ **contain**「～を含んでいる」

＊ have は「～を食べる」などの意味では動作動詞なので進行形にできる。(➲ 5)

（2）『無意識的な知覚』を表す動詞

- □ **see**「～が見える」
- □ **smell**「～のにおいがする」
- □ **hear**「～が聞こえる」(➲ 10)
- □ **feel**「～の感じがする」
- □ **taste**「～の味がする」

（3）『心理状態』を表す動詞

- □ **know**「～を知っている」
- □ **hate**「～をひどく嫌う」
- □ **want**「～を望んでいる」
- □ **like**「～が好きである」
- □ **believe**「～を信じている」
- □ **understand**「～を理解している」

5 (③) 私はちょうど今，昼食をとっているところです。後でまた来てくれますか。
6 (②) 彼らは明日成田に着く予定です。
7 (④) 電話が鳴り始めた時，私は髪の毛を洗っていた。
8 (④) 大統領は明日の夕方，テレビに出演しているでしょう。
9 (③) 私の兄は会社のバスケットボールチームに所属しています。
10 (①) ねえ，聞いて！ 外で変な音が聞こえる。

Theme 2 進行形の用法

5 現在進行中の動作「～している」➡ 現在進行形

▶ 進行形は現在［過去 / 未来］のある時点での進行中の動作を表す。

▶ 本問は at the moment「ちょうど今（は）」という現在の時点で have「～を食べる」という『動作』が進行中であることを表す現在進行形の ③ am having が正解。

〈プラスα〉 have は「～を持っている」の意味だと『状態』を表すので進行形にできない。

6 近い未来の予定「～することになっている」➡ 現在進行形

▶ 現在進行形が，『確定的な近い未来の予定』を表すことがある。『個人的な予定』を表す場合に用いられることが多い。

〈比較〉『確定的な未来の予定』を表す「現在形」との違いにも注意。「現在形」は集団にかかわる『公的な予定』を表す場合に用いられることが多い。

cf.
I'm leaving tonight. ── 個人的な予定
（私は今夜出発します）
What time does the next train **leave**? ── 公的な予定
（次の列車は何時に出発しますか）

〈選択肢〉 ③ は are going to arrive なら可，④ は will arrive なら可。

7 過去のある時点における進行中の動作「～していた」➡ 過去進行形

▶ when 節が示す「電話が鳴り始めた時」という過去の時点で wash という『動作』が進行中であることを表す過去進行形の ④ was washing が正解。

8 未来のある時点における進行中の動作「～しているでしょう」➡ 未来進行形

▶ tomorrow evening「明日の夕方，明晩」という未来の時点で appear という『動作』が進行中であることを表す未来進行形の ④ will be appearing が正解。

Theme 3 進行形にできない動詞

9 **belong** ── 進行形にできない動詞

▶ belong「(～に) 所属している〔to〕」は『継続的な状態』を表す動詞なので進行形にはならない。

〈発展〉『状態』を表す動詞も『一時的な状態』を強調するときは進行形にすることもある。 **I'm being** serious now.（今はまじめにしているよ）

10 **hear** ── 進行形にできない動詞

▶ hear などの『無意識的な知覚』を表す動詞は進行形にはならない。

〈プラスα〉 知覚動詞でも look at / watch / listen to / taste「味見をする」/ feel「手探りで捜す」などは『意識的な動作』を表すので進行形になる。

She **was watching** television.（彼女はテレビを見ていた）
He **is tasting** the soup.（彼はスープの味見をしています）

Theme 4

□□□ 11 **基本**
“Are John and Mary still living in New York?”
“No, they (　　) to Dallas.”
① are just moved　② had just moved
③ have just moved　④ will just move　(センター)

□□□ 12 **基本**
I know all about that film because I (　　) it twice.
① am seeing　② have been seeing　③ will be seeing
④ have seen　⑤ see　(阪南大)

□□□ 13 **頻出**
My wife and I (　　) each other since we were in high school. (慶應大)
① got to know　② have been knowing　③ have known　④ know

□□□ 14 **頻出**
3時間歩いているが，まだ町に着かない。
(　　) for three hours, but we cannot get to the town yet.
① We would walk　② We walk
③ We are walking　④ We have been walking　(浜松大)

□□□ 15 **基本**
空港まで友だちを見送りに行ってきたところです。
I have just (　　) to the airport to see my friends off.　(立命館大)

□□□ 16 **基本**
A : (　　)?　B : Yes, only once.　(センター)
① Do you know where China is　② When did you go to China
③ How do you like China　④ Have you ever been to China

Power Up! 4　現在完了形とともによく使われる語(句)
―― 現在に結びつく『時』・『期間』を表す副詞(句)

(1)『完了・結果』	□ **just**「たった今」(➲ 11)　□ **already**「もう」 □ **now**「今」　□ **yet**「(疑問文で)もう / (否定文で)まだ」
(2)『経験』	□ **ever**「かつて」　□ **never**「1度も～ない」 □ **before**「以前に」　□ **once**「1度 / 1回」 □ **twice**「2度 / 2回」(➲ 12)　□ **often**「しばしば」
(3)『継続』	□ **for ～**「～の間」　□ **since ～**「～以来」(➲ 13) □ **How long ～?**「どのくらいの間～(ですか)」

11 (③)「ジョンとメアリーはまだニューヨークに住んでいるのですか」
「いいえ。つい最近ダラスに引っ越したばかりです」
12 (④) その映画は2回見たことがあるので，私はなんでもわかっている。
13 (③) 妻と私は高校時代からお互いを知っている。　14 (④)
15 (been)　16 (④) A:「中国に行ったことがありますか」 B:「はい，1度だけ」

Theme 4 現在完了の用法

現在完了形（have［has］+ 過去分詞）は過去の動作・状態が現在にどうつながっているかを示す時制である。現在完了形はその意味・用法によって，①『完了・結果』②『経験』③『継続』に分けられる。入試では③の『継続』が頻出する。

11 現在までの動作の『完了・結果』「～してしまった」➡ 現在完了形

▶ 応答の No「いいえ」と選択肢にある副詞 just「たった今」に注目。「たった今［つい最近］ダラスに引っ越したばかりで今ニューヨークにいない」という意味になると判断し，現在までの動作の『完了・結果』を表す現在完了形の③ have just moved を選ぶ。

▶『完了・結果』を表す現在完了形は just「たった今，ついさっき（～したばかり）」/ already「もう」/ yet「（疑問文で）もう /（否定文で）まだ」などの副詞を伴うことが多い。

12 現在までの『経験』「～したことがある」➡ 現在完了形

▶ 副詞 twice「2回」と know（現在形）に注目。「2回見たことがあるのでわかる」という意味になると判断し，現在までの『経験』を表す現在完了形の④ have seen を選ぶ。

▶『経験』を表す現在完了形は，ever「かつて」/ never「1度も～ない」/ before「以前に」/ once「1度 / 1回」/ twice「2度 / 2回」/ often「しばしば」などの副詞を伴うことが多い。

13 現在までの『状態の継続』「ずっと～である」➡ 現在完了形

▶ since ～「（過去のある時点）以来（現在まで）」に注目。know「～を知っている」は『状態』を表す動詞で進行形にならない。「状態動詞」の場合には現在完了形で『継続』の意味を表せるので，正解は③ have known。

▶『継続』を表す現在完了形は，for ～「～の間」/ since ～「～以来」など，期間を表す副詞（句）を伴うことが多い。

14 現在までの『動作の継続』「ずっと～している」➡ 現在完了進行形

▶ walk は『動作』を表す動詞（進行形になる動詞）なので，『継続』を表す場合は現在完了進行形「have［has］been + 現在分詞」になる。

15 **have been to** ～「～に行って（今帰って）きたところだ」――『完了』

〈比較〉**have gone to** ～「～に行ってしまった（今はいない）」――『結果』
Mary is absent today. She **has gone to** Hokkaido.（上智大）
（メアリーは今日はいません。彼女は北海道に行ってしまいました）

16 **have been to** ～「～に行ったことがある《主として英》」――『経験』

▶ B に once「1度」があるので，正解は『経験』を問う④ Have you ever been to China。

発展「～に行ったことがある」（『経験』）は have been to ～を使うのが本来だが，アメリカでは have gone to ～を使うこともある。
Has he ever **gone［been］to** Paris?（彼はパリに行ったことがあるか）

Theme 5

□□□ **17** 基本 Tom (　　　) to San Francisco to see a friend of his last month.
① goes　② is going　③ has gone　④ went　(浜松大)

□□□ **18** He (　　　) home just now. Didn't you know that?
① comes　② came　③ has come　④ had come　(拓殖大)

Theme 6

□□□ **19** 頻出 The train (　　　) when I reached the platform, so I didn't have to wait in the cold.
① had already arrived　② has already arrived
③ previously arrived　④ previously arrives　(センター)

□□□ **20** 頻出 Bob (　　　) drifting in a small boat for two days before he was found.
① has been　② is　③ had been　④ have been　(南山大)

□□□ **21** 基本 I lost the watch which my sister (　　　) me for my birthday.
① gives　② has given　③ had given　④ will give　(京都学園大)

□□□ **22** 頻出 By next week you (　　　) the package.
① will have received　② receiving
③ received　④ have received　(南山大)

Power Up! 5 現在完了形とともに使えない語(句)
―― 明らかに過去を示す語句など

□ **yesterday**「昨日」
□ **last night** [**month** / **year**]「昨夜[先月 / 去年]」(➲ 17)
□ **~ ago**「(今から)~前に」
□ **just now**「今しがた / たった今」(= **a moment ago**) (➲ 18)
□ **when** + **SV** (過去)「~した時」
□ **in 1948**「1948 年に」
□ **then**「その時」
□ **When ~?**「いつ~」

17　(④)　トムは先月友人の一人に会うためにサンフランシスコに行った。
18　(②)　彼はつい先ほど帰ってきたよ。わからなかったかい。
19　(①)　私がホームに着いた時には，列車はすでに到着していたので，寒い中で待つ必要がなかった。
20　(③)　ボブは発見される前に小さなボートで2日間漂流していた。
21　(③)　誕生日に姉からもらった時計をなくしてしまった。
22　(①)　来週までには小包を受け取るでしょう。

Theme 5 現在完了形とともに使えない語(句)

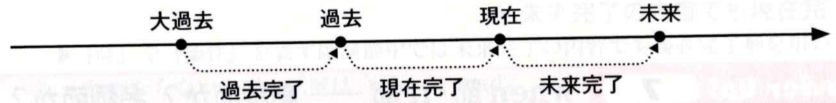
現在完了形は現在と何らかのつながりを持つ表現なので，明らかに過去の時を示す語句などとともに用いることはできない。

17 **last month**「先月」―― 過去形とともに用いる
▶ last month「先月」は明らかに過去の時を示す語句なので，現在完了形とともには用いない。過去形の ④ went が正解。

18 **just now**「今しがた / たった今」―― 過去形とともに用いる
▶ just now は「つい今しがた」(= a moment ago) の意味で，過去形とともに用い，現在完了形では避けたほうがよい。
〈発展〉 just / now がそれぞれ単独の時は現在完了形とも使える。
He *went* out **just now**. (彼はたった今出かけたところだ)
= He *has* **just** *gone* out. = He *has gone* out **now**.

Theme 6 過去完了形と未来完了形の用法

過去完了形と未来完了形は，現在完了形の『現在』という時の基準を，それぞれ過去のある時点，未来のある時点に移行したものと考えるとよい。



19 過去のある時点までの完了 ➡ 過去完了形 (**had *done***)
▶「私がホームに着いた」という過去の時点までに「列車はもうすでに到着していた」のだから，過去完了形の ① had already arrived が正解。

20 過去のある時点までの動作の継続 ➡ 過去完了進行形 (**had been *doing***)
▶「発見された」という過去の時点までに「2日間漂流していた」のだから，過去のある時点までの動作の継続を表す過去完了進行形の ③ had been (drifting) が正解。

21 大過去 (過去から見た過去の表現) ➡ 過去完了形 (**had *done***)
▶ 過去の2つの出来事を実際に起こった順序とは逆に述べる場合，先に起こった出来事を過去完了形にする。この用法を『大過去』という。
▶ 本問の場合，「姉に時計をもらった」のは「なくした」時点よりも前のことだから過去完了形の ③ had given で表す。

22 未来のある時点までの完了 ➡ 未来完了形 (**will have *done***)
▶ next week「来週」という未来の時点までに (by) 完了していると予想されることなので，未来完了形の ① will have received が正解。

Theme 7

□□□ 23 **頻出**
Could you ask Mary to call me back when she (　　　) home?
① came　② come　③ comes　④ will come　(共立女子大)

□□□ 24 **頻出**
I will wait here until she (　　　).
① came　② come　③ comes　④ will come　(北海学園大)

□□□ 25 **超頻**
I won't go out if it (　　　) tomorrow.
① rain　② rained　③ rains　④ will rain　(実践女子大)

□□□ 26 **頻出**
"Is Bill still using your car?" "Yes, I wonder when he (　　　) it."
① has returned　② returned　③ returns　④ will return　(センター)

□□□ 27 **頻出**
I don't know if he (　　　) back next spring.
① will come　② comes　③ came　④ had come　(流通経済大)

□□□ 28 **頻出**
Some books will be forgotten as soon as we (　　　) them.
① have read　② will have read　③ will read　④ reading
(流通経済大)

Power Up! 7　when 節・if 節 ―― 副詞節か？ 名詞節か？

識別には構文的な理解が必要。

cf.
I'll tell it to him 〈**when** he *comes*〉. ―― 副詞節（when は接続詞）
S　V　O
（彼が来たら，それを彼に話します）
I don't know〔**when he *will come***〕. ―― 名詞節（when は疑問詞）
S　V　O
（彼がいつ来るか知らない）

cf.
I'll stay at home 〈**if** it *rains* tomorrow〉. ―― 副詞節（if は接続詞）
S　V
（もし明日雨ならば私は家にいます）
I wonder〔**if** it *will rain* tomorrow〕. ―― 名詞節（if は接続詞）
S　V　O
（明日は雨が降るかしら）

……

23　（③）メアリーが帰ったら，折り返し電話するよう彼女にお願いしていただけませんか。
24　（③）彼女が来るまでここで待っています。
25　（③）明日雨が降ったら，外出しないつもりです。
26　（④）「ビルはまだあなたの車を使っているのですか」
「はい，いつ返してくれるんだろうと思っているのですが」
27　（①）来年の春に彼が戻ってくるかどうかは，私にはわかりません。
28　（①）読んだらすぐに忘れてしまう本もある。

Theme 7 『時・条件』を表す副詞節中の時制

when や if などに導かれた『時』や『条件』を表す副詞節中では，未来のことでも現在形を用いる（時制問題では最頻出のルール）。ただし when や if に導かれていても名詞節の場合は未来のことは未来形で表す。

23　**when** 節「～するとき」―― 『時』を表す副詞節 ➡ 未来のことでも現在形
〈語句〉Could you *do* ～?「～していただけませんか」〔依頼〕

24　**until** 節「～するまで」―― 『時』を表す副詞節 ➡ 未来のことでも現在形

25　**if** 節「もし～なら」―― 『条件』を表す副詞節 ➡ 未来のことでも現在形

26　**when** 節「いつ～するか」―― 名詞節 ➡ 未来のことは未来形
▶ 本問の when 節は副詞節ではなく，wonder の目的語になっている名詞節なので，未来のことを表すには未来形の ④ will return を用いる。

27　**if** 節「～するかどうか」―― 名詞節 ➡ 未来のことは未来形
▶ 本問の if 節は副詞節ではなく，know の目的語になっている名詞節なので，未来のことを表すには未来形の ① will come を用いる。

28　**as soon as** 節「～するとすぐに」―― 『時』を表す副詞節
➡ 未来完了の内容でも現在完了形
▶『時』や『条件』を表す副詞節中では未来完了の内容でも現在完了形を用いなければならないので，正解は ① have read。

Power Up! 6 『時・条件』を表す副詞節中の時制

	接続詞	副詞節	名詞節
時	**when**	現在形 「～するとき」	未来形 「いつ～するか」
	until〔**till**〕**/ as soon as / by the time / after / before** など	現在形	×
条件	**if**	現在形 「もし～なら」	未来形 「～するかどうか」
	unless / in case など	現在形	×

＊when が名詞節を導く場合，when は接続詞ではなく疑問詞。
＊when / if が導く名詞節は，通例，tell / know / wonder などの動詞の目的語として用いられる。
＊上表中の when / if 以外の接続詞は名詞節を導かない。

第2章

受動態

Theme 8

□□□ **29** 基本 頻出 English and French (　　) in Canada.
① speak　② spoke　③ are spoken　④ are spoke　(摂南大)

□□□ **30** 基本 頻出 どんなことをしてもインフレは抑えなければならない。
Inflation (at / controlled / must / any / cost / be).　(千葉工大)

Theme 9

□□□ **31** 頻出 The university library (　　) for the last ten years.　(高岡法科大)
① is closed　② closes　③ has been closed　④ closed

□□□ **32** A new building (　　) constructed on campus.
① has　② being　③ is being　④ had　(神奈川大)

Theme 10

□□□ **33** 頻出 If you make the same mistake, you will (　　) everyone.
① be laughed by　② be laughing at
③ be laughed at by　④ laugh at　(九州国際大)

□□□ **34** 頻出 赤ちゃんの世話は看護師がいたします。
The baby will (taken / by / care / nurses / of / be).　(東京家政大)

Power Up! 8 受動態の訳し方は受験生の盲点の1つ 発展

英語は受動態が非常に発達している。日本語では能動態で言うところを英語では受動態で表現することが多い。訳して自然な日本語にならなければ，受動態にこだわらず，能動態に直して訳せばよい。特に助動詞を含む受動態がそうである。

It **must be done** at once. = We must do it at once.
(すぐにそれをしなければならない)

Your clock **can't be repaired**. = We can't repair your clock.
(あなたの時計は修理できない)

29　(③)　カナダでは英語とフランス語が話されている。
30　Inflation (**must be controlled at any cost**).
31　(③)　大学の図書館はこの10年間閉鎖されたままだ。
32　(③)　構内に新しいビルが建てられている。
33　(③)　同じ間違いをしたら，みんなに笑われるでしょう。
34　The baby will (**be taken care of by nurses**).

Theme 8 受動態の基本

受動態とは，能動態の目的語 (O) を主語 (S) に変える文で，動詞部分は **be *done*** の形で表される。能動態の文の主語は原則として，by をつけて be *done* の後に置く。ただし，動作主が we / you / they などで示される「一般の人々」の場合や，前後の関係から動作主が明らかな場合は **by A** は省略される。

29　動作主を表す **by A** の省略
▶「英語とフランス語が話される」という受動態 (be *done*) にする。
▶ 本問は動作主がばく然と「一般の人々」を表す they なので，by A が省略された形。能動態：They speak English and French in Canada.

30　助動詞を含む文の受動態 ── 助動詞 + **be *done***
▶ 助動詞を含む文の受動態では助動詞はそのままで，後の動詞が be *done* の形になる。
▶ 本問も動作主を表す by us が省略された形。
〈語句〉 at any cost「どんなに費用をかけても / どんなことをしても」

Theme 9 完了形の受動態 / 進行形の受動態

31　完了形の受動態 ── **have been *done***
▶ 図書館は閉鎖されるのだから受動態 be closed になる。for the last ten years「この10年間」があるので継続を表す現在完了形の ③ has been closed が正解。

32　進行形の受動態 ── **be being *done***
▶ 進行形の受動態は be being *done*「～されているところだ」で表す。
〈選択肢〉 construct「～を建設する」は他動詞。目的語がないので ① has，④ had を入れて完了形にすることはできない。② being では文にならない。

Theme 10 群動詞の受動態

2語以上で1つの動詞と同じ働きをするものを群動詞という。群動詞の受動態はその群動詞をひとまとまりとして扱い，末尾の前置詞を落とさないことがポイント。

33　**laugh at** ～「～をあざ笑う」の受動態 ➡ **be laughed at (by ～)**
34　**take care of** ～「～の世話をする」の受動態
➡ **be taken care of (by ～)**

発展 「動詞 + 名詞 + 前置詞」型の群動詞で名詞に修飾語がついている場合は，動詞の後の名詞を主語にした受動態と前置詞の後の名詞を主語にした受動態の2通りが可能である。

You must **take good care of** your health.
➡ **Good care** must **be taken of** your health.
➡ **Your health** must **be taken good care of**.
(健康には十分注意しなければならない)

Theme 11

□□□ **35** 頻出 I was made (　　) for months until she agreed to see me.
① wait　② being waited on　③ to wait　④ waited　(成城大)

□□□ **36** The suspect was seen (　　) out of the apartment house last night.
① to run　② ran　③ run　④ have run　(玉川大)

Theme 12

□□□ **37** 頻出 They say that he studied abroad when he was young.　(松山大)
= He is said (　　) abroad when he was young.
① to study　② studying　③ to have studied　④ having studied

□□□ **38** 〔正しい文を選びなさい〕
① It is believed that he has made a fortune in his youth.
② He is believed that he made a fortune in his youth.
③ He is believed to have made a fortune in his youth.
④ He is believed to make a fortune in his youth.　(姫路獨協大)

Theme 13

□□□ **39** His leg was broken when he got (　　) by the truck.
① overrun　② run over　③ driven in　④ hit on　(札幌学院大)

□□□ **40** The road ①remained ②closing for ③more than a week owing ④to the ⑤heavy snow.　(金沢工大)

Power Up! 9　They say that S + V「S は～と言われている」の受動態

(1) ➡ **It is said that S + V**　(2) ➡ **S is said to *do* ～**

このような形をとる動詞には say の他に次のようなものがある。

□ **believe**「信じる」(➲ 38)　□ **expect**「思う」　□ **think**「思う」
□ **report**「報告する」　□ **know**「知る」

35 (③) 彼女が会ってくれるまで，何か月も待たされました。
36 (①) 容疑者は昨夜そのアパートから駆け出して行くのを見られた。
37 (③) 彼は若いころ留学したと言われている。
38 (③) 彼は若いころ財産をつくったと信じられている。
39 (②) トラックにひかれた時，彼の足は折れた。
40 (②) 〔closing ➡ closed〕道路は大雪のために 1 週間以上閉鎖されたままだった。

Theme 11 使役動詞・知覚動詞の受動態

35 使役動詞 **make** の受動態

▶ make A *do*「A に～させる」を受動態にすると **A is made to *do*** と原形不定詞が to 不定詞になることに注意しよう。
本問 = I was forced to wait for months ...（この表現のほうがふつう）

〈発 展〉使役動詞の have や let は受動態にはしない。let の場合は allow で代用する。
I was allowed (×let) **to *go*** to college.（私は大学に行かせてもらった）

36 知覚動詞 **see** の受動態

▶ see A *do*「A が～するのが見える」を受動態にすると **A is seen to *do*** と原形不定詞が to 不定詞になる。使役動詞 make の場合と同様である。

〈発 展〉知覚動詞の中で，see / hear / observe は受動態が可能だが，その他の知覚動詞はふつう能動態で用いる。

Theme 12 目的語が that 節の場合の受動態

They say that S + V の形の文は，形式主語 it を用いた受動態と，that 節中の主語を文の主語にした受動態の 2 通りが可能である。(➲ Power Up! 9)

37 **They say that** ～ の受動態

▶ 本問 = It is said that he studied abroad when he was young.
▶ They say that S + V ... の V が過去［現在完了］形のときは，S is said to **have *done*** になるので，③ to have studied が正解。

38 **They believe that** ～ の受動態

▶ 本問 = They believe that he made a fortune in his youth.
➡ It is believed that he made a fortune in his youth.

〈選択肢〉in his youth は明らかに過去を示す語句（= when he was young）なので，①，④ は不可。(➲ Power Up! 5)

Theme 13 『動作』/『状態』を明確にする表現

受動態は，「～される」という『動作』を表す場合と，「～されている」という『状態』を表す場合がある。どちらに解するかは前後の文脈による。『動作』であることを明確にするために，be 動詞の代わりに **get / become** などを，『状態』であることを明確にするために，**remain / lie / stay** などを用いることがある。

39 **get** ＋ 過去分詞「～される」——『動作』

▶ 特に，事故など予期しないことに用いることが多い。

〈語 句〉run over ～ は「～をひく」の意味の群動詞。get run over by ～「～にひかれる」

〈選択肢〉① overrun「～にはびこる」，③ drive in ～「(釘など) を打ち込む」，
④ hit on ～「～を思いつく」。④ は hit だけなら可。get hit「ひかれる」。

40 **remain** ＋ 過去分詞「～されたままである」——『状態』

▶ remain closed「閉鎖されたままである」(➲ 53)

Theme 14

□□□ **41** He was very (　　　　) at the game.
① excite　② excited　③ exciting　④ excitement　（東洋大）

□□□ **42** He will not (　　　　) such a small salary.
① satisfy with　② be satisfied with
③ be satisfied at　④ satisfy　（東北工大）

□□□ **43** ケンはギターの練習に夢中だった。
Ken was absorbed (　　　　) practicing the guitar.　（高知大）

Theme 15

□□□ **44** 頻出 After the accident, all of the trains were (　　　　) for about an hour.　（獨協大）
① absorbed　② advanced　③ reflected　④ delayed

□□□ **45** Many people (　　　　) in the Hanshin earthquake of 1995.　（神田外大）
① had died　② killed　③ were dead　④ were killed

□□□ **46** 頻出 I was caught (　　　　) a shower on my way home from school.
① in　② for　③ on　④ at　（浜松大）

Power Up! 10 能動態と間違えやすい受動態 ①『感情・心理状態』を表す場合

□ **be surprised** [**astonished** / **amazed**] **at** ～「～に驚く」
□ **be shocked**「ショックを受ける」□ **be excited**「興奮する」(➲ 41)
□ **be amused**「面白がる」□ **be disappointed**「がっかりする」
□ **be concerned about** ～「～を心配する」
□ **be satisfied with** ～「～に満足する」(➲ 42)
□ **be interested in** ～「～に興味がある」(➲ 1164)
□ **be convinced of** ～「～を確信する」
□ **be absorbed in** ～「～に夢中になっている［なる］」(➲ 43)

41　（②）　彼はその試合に非常に興奮した。
42　（②）　彼はそんなに少ない給料に満足しないだろう。
43　(in)
44　（④）　事故の後，すべての電車が約1時間遅れた。
45　（④）　多くの人が1995年の阪神大震災で亡くなった。
46　（①）　私は学校から帰る途中で，にわか雨にあった。

Theme 14 能動態と間違えやすい受動態 ①『感情・心理状態』を表す場合

日本語では能動態で表現するが，英語では受動態で表現するものがある。たとえば，「驚く」，「失望する」などの感情を表す場合，英語では **be surprised / be disappointed** などのように受動態で表す。受動態にした場合，動作主は **by** 以外の前置詞で示されることも多い。この種の表現は受動態というよりも，慣用表現として覚えよう。

41 **be excited at** ～「～に興奮する」
▶ excite は「～を興奮させる」という意味の他動詞。
be excited at [about] ～ で「～に興奮する」の意味を表す。

42 **be satisfied with** ～「～に満足する」(➲ 1153)
〈語句〉salary の「多い / 少ない」は large / small で表す。(➲ 660)

43 **be absorbed in** ～「～に夢中になっている」(= **be lost in**)

Theme 15 能動態と間違えやすい受動態 ②『被害』を表す場合

「けがをする」などの『被害』を表す場合も，英語では **be injured** のように受動態を用いる。

44 **be delayed**「(電車などが) 遅れる」
▶ delay は「～を遅らせる」という意味の他動詞で，be delayed (受動態) の形で「遅れる」の意味を表す。
〈選択肢〉① absorbed「夢中になって」，② advanced「進んだ」，
③ reflected「映し出された」

45 **be killed**「(事故・戦争などで) 死ぬ」(= **die**)
▶ 事故や戦争などで死ぬ場合には受動態 be killed を用いることが多い。
〈選択肢〉過去を表す文脈なので died なら可だが，過去分詞形の ① had died は不可。③ were dead「死んでいた」は意味的に不可。

46 **be caught in** ～「(雨・交通渋滞など) にあう / つかまる」
▶ be caught in a shower「にわか雨にあう」
〈語句〉on *one's* way home from school「学校から帰る途中で」(➲ 1193)

Power Up! 11 能動態と間違えやすい受動態 ②『被害』を表す場合

□ **be injured** [**hurt**]「(事故で) けがをする」
□ **be wounded**「(武器などで) 負傷する」
□ **be delayed**「(電車などが) 遅れる」(➲ 44)
□ **be killed**「(事故・戦争などで) 死ぬ」(= **die**) (➲ 45)
□ **be caught in** ～「(雨・交通渋滞など) にあう / つかまる」(➲ 46)
□ **be defeated** [**beaten**]「負ける」

Theme 16

□ **47** His name is known (　　　) everyone in our town.
頻出 ① for　② to　③ with　④ in　(流通科学大)

□ **48** He is known (　　　) a great musician.
① as　② for　③ to　④ with　(明星大)

□ **49** Judging by the smell, this can seems to be filled (　　　) petrol.
① with　② by　③ from　④ of　⑤ in　(昭和大)

□ **50** Many high school students are actively (　　　) in volunteer work.
頻出 ① involved　② giving　③ joined　④ participated　(芝浦工大)

□ **51** She married a famous writer.
頻出 = She got married (　　　) a famous writer.
① on　② between　③ for　④ to　(麻布大)

□ **52** Tom was (　　　) a dark suit.
① dressing　② to dress by　③ dressed in　④ dressed for　(文教大)

□ **53** Please remain (　　　) for a few minutes.
① sat　② seated　③ seating　④ to seat　(拓殖大)

Power Up! 12 be known と結びつく 4 つの前置詞

(1) □ **be known to** A 「A（人）に知られている」
(2) □ **be known by** A 「A によってわかる」──『判断の基準』の by
We **are known by** the company we keep.
（人は付き合う仲間によってわかる）（京都産業大）
(3) □ **be known for** A「A で知られている / 有名である」　〔主語 ≠ A〕
(4) □ **be known as** A 「A として知られている / 有名である」〔主語 = A〕
Atami **is known for** (its) hot springs [**as** a hot-spring town].
（熱海は温泉で［温泉町として］知られている）

47　（②）　彼の名前は私たちの町のみんなに知られている。
48　（①）　彼は偉大な音楽家として知られている。
49　（①）　においから判断すると，この缶はガソリンで満たされているようだ。
50　（①）　多くの高校生が積極的にボランティア活動に参加している。
51　（④）　彼女は有名な作家と結婚した。
52　（③）　トムは黒っぽいスーツを着ていた。
53　（②）　しばらくの間座っていてください。

Theme 16 その他の受動態に由来する慣用表現

47 **be known to** ～「～に知られている」
▶ 受動態の動作主はふつう by で表すが，be known to ～「～に知られている」のように by 以外の前置詞が用いられる場合がある。

48 **be known as** ～「～として知られている」
〈比 較〉 be known for ～は「～で知られている」の意味。（➲ Power Up! 12）

49 **be filled with** ～「～で満たされている」（= **be full of** ～）
〈語 句〉 judging by [from] ～「～から判断すると」（➲ 154）
（= to judge by [from] ～）

50 **be involved in** ～「～にかかわっている / 参加している / 巻き込まれる」
〈選択肢〉 ③, ④ はともに能動態で join (in) ～, participate in ～「～に参加する」の意味になるので不可。

51 **get married** (**to** ～)「(～と) 結婚する」
▶ A is married to B は marry A to B「A を B と結婚させる」の受動態。本問では be 動詞の代わりに「結婚する」という『動作』の意味を明確にするために get が使われている。（➲ Theme 13）

52 **be dressed in** ～「～を着ている」（= **be wearing**）
▶『着用』を表す in は入試頻出。（➲ 724）

53 **remain seated**「座っている」
▶ seat は「～を着席させる」という意味の他動詞なので，「着席する / 座る」は be seated で表す。本問では『状態』の受動態であることを明確にするために be 動詞の代わりに remain を用いている。（➲ Theme 13）

Power Up! 13 その他の受動態に由来する慣用表現

□ **be filled with** ～	「～で満たされている」（= **be full of** ～）（➲ 49）
□ **be covered with** ～	「～でおおわれている」
□ **be engaged in** ～	「～に従事している」
□ **be involved in** ～	「～にかかわっている / 参加している」（➲ 50）
□ **be crowded with** ～	「～で混雑している」
□ **be confronted with** ～	「～に直面している」（➲ 1138）
□ **be [get] married (to** ～)	「(～と) 結婚している［する］」（➲ 51）
□ **be based on** ～	「～に基づいている」（➲ 1150）
□ **be dressed in** ～	「～を着ている」（➲ 52）
□ **be [remain] seated**	「座る［座っている］」（➲ 53）

Theme 17

□ **54** He (　　　) be a good student, for he never studies. （阪南大）
□ 基本
□ ① must not　② has to　③ cannot　④ does not have to

□ **55** She (　　　) be wrong but I don't think she is.
□ 基本
□ ① cannot　② shall　③ may　④ must （札幌学院大）

□ **56** "May I go out now?"
□ 基本 "Yes, you may, but you (　　　) come back before dark."
□ ① must　② may　③ would　④ can （芝浦工大）

□ **57** You (　　　) be a good athlete to have run a mile in such a short time.
□ 基本 頻出
□ ① won't　② shall　③ cannot　④ must （愛知工大）

Theme 18

□ **58** The car broke down, and we (　　　) a taxi. （慶應大）
□ 基本
□ ① must have gotten　② had got to get　③ had to get　④ must get

□ **59** You (　　　) pay this time. （鹿児島国際大）
□ 基本
□ ① don't have to　② don't must　③ must not need　④ need not to

□ **60** You have (　　　) to let me have a glance at it.
□
□ ① hardly　② never　③ nothing　④ only （早大）

Power Up! 15　その他の can / may の用法

"**Can** I use your cell phone?" "Yes, of course (you can)." ── 許可の **can**
(携帯電話を借りていいですか ── ええ，もちろんいいですよ)　「～してもよい」
＊ Can I ～? の同意表現に May I ～? があるが，May I ～? の方が Can I ～? より丁寧な表現。 **May I** sit here?（ここに座ってもよろしいでしょうか）
May you live long! ── 祈願の **may**《文語的》＊ May A *do*! の形で用いる。
(どうかあなたが長生きしますように)（芝浦工大）

54 (③) 彼は優秀な学生であるはずがない，まったく勉強しないのだから。
55 (③) 彼女は間違っているかもしれないが，私は彼女が間違っているとは思わない。
56 (①)「今，出かけてもいい？」「ええ，いいわよ。でも暗くならないうちに帰ってきなさいよ」
57 (④) あんな短時間で1マイル走ったなんて，君は優れた運動選手にちがいない。
58 (③) 車が故障したので，私たちはタクシーを拾わなければならなかった。
59 (①) あなたは今回は払う必要はありません。
60 (④) 私にそれをちょっと見せてくれるだけでいいのです。

Theme 17　can / may / must の基本用法

54 **cannot**「～のはずがない」──『強い否定の推量』
▶ for「というのは～だから」以下の内容から，③ cannot を選ぶ。
〈選択肢〉① must not「～してはならない」─『強い禁止』，② has to「～しなければならない」，④ does not have to「～する必要はない」─『不必要』

55 **may**「～かもしれない」──『可能性・推量』
▶ may ～ but ...「～かもしれないが…」。後に but 節が来ると譲歩の意味を表す。

56 **must**「～しなければならない」──『義務・必要』
57 **must**「～にちがいない」──『強い肯定の推量』

Power Up! 14　can / may / must の基本用法

	第１用法（意志動詞に伴って）	第２用法（無意志動詞に伴って）
can	～できる 『能力』	～でありうる 『可能性・推量』 一体～だろうか〔疑問文で〕『強い疑い』
cannot	～できない 『無能力』	～のはずがない『強い否定の推量』
may	～してもよい 『許可』	～かもしれない 『可能性・推量』
may not	～してはならない『弱い禁止』	～でないかもしれない『弱い否定の推量』
must	～しなければならない『義務・必要』 ⇔ need not ＝ don't have to ～する必要はない『不必要』	～にちがいない『強い肯定の推量』 ⇔ cannot〔can't〕 ～のはずがない『強い否定の推量』
must not	～してはならない『強い禁止』	

Theme 18　have to *do* の用法

58 **had to *do***「～しなければならなかった」
▶ 過去や未来では must を使えないので，**have to** を代用して **had to / will have to** になる。本問は過去の文脈なので，③ had to get が正解。have to はもちろん現在でも使ってよい。
〈選択肢〉① must have gotten は「拾ったにちがいない」の意味で文意に合わない。(➲ 66) have got to ＝ have to だが，ふつう過去形では用いないので，② had got to get は不可。

59 **don't have to *do***「～する必要はない」(＝ **need not**〔**needn't**〕***do*** / **don't need to *do***)
〈選択肢〉②，③ の表現はない。④ need not to は to が余分。need not *do* の need は助動詞で，否定文・疑問文でのみ使う。

60 **have only to *do***「～しさえすればよい」
▶ have to *do* に only が入った形。only have to *do* になることもある。
〈補 足〉All you have to do is (to) *do* との書き換えは頻出。
本問 ＝ All you have to do is (to) let me have a glance at it.
＊ All の後ろに関係代名詞 that が省略されている。補語の to *do* は原形 *do* も可。

Theme 19

□ **61** When we were children, we (　　) go swimming in the river every summer.
□ 頻出
□
① often　② never　③ would　④ will　(青山学院大)

□ **62** He was a very stubborn person and (　　) not listen to me.
□ 頻出
□
① would　② could　③ should　④ might　(九州国際大)

Theme 20

□ **63** Linda doesn't dance much now, but I know she (　　) a lot.
□ 頻出
□
① was used to　② used to　③ would　④ would have　(立正大)

□ **64** Wood (　　) be used as the main fuel, but nowadays fossil fuels (　　) widely.　(センター)
□ 頻出
□
① used to — are used　② used to — have been used
③ was used to — are used　④ was used to — have been used

□ **65** 田舎に住んでいた頃は，早起きには慣れていた。
□ 頻出
□
While I was living in the country, I (　　) early in the morning.
① used to getting up　② was used to get up
③ was used to getting up　④ used to have got up　(成城大)

Power Up! 16 would *do* と used to *do* の違い

(1) どちらも『過去の習慣』を表すが，**used to *do*** は現在と対比して「(今はしていないが) 以前はよく～したものだ」という意味。それに対し，**would *do*** は過去のことを回想的に述べるだけで，現在と対比して『過去の習慣』を表す用法はない。

We **would** often *play* for hours on the beach.
(私たちはよく海辺で何時間も遊んだものだ)
He **used to** *go* to the museum, but now he hardly ever goes.
(彼は以前よくその博物館に行ったものだが，今はめったに行かない)

(2) **used to *do*** は過去の習慣的動作・状態のどちらにも用いるが，**would *do*** は状態を表す動詞と結びつかないので，過去の習慣的動作のみに用いる。

There **used to** (×would) *be* a castle on the hill.
(かつてはその丘の上に城があった)

---

61 (③) 子供のころは，毎年夏に川へ泳ぎに行ったものだ。
62 (①) 彼はとてもがんこな人で，私の言うことをどうしても聞こうとしなかった。
63 (②) リンダは今ではあまり踊らないが，以前はよく踊っていたことを私は知っている。
64 (①) 木はかつて主な燃料として使われていたが，今では化石燃料が広く使われている。
65 (③)

Theme 19 would の注意すべき用法

61 **would *do*** 「(よく) ～したものだ」――『過去の習慣』
▶ しばしば後に often / sometimes / now and then などの副詞(句)を伴って，過去によく行われた習慣的な動作を表す。

62 **would not *do*** 「どうしても～しようとしなかった」『過去の拒絶』
▶ 前に was があるので，(　　) 内は過去形の助動詞が入る。全体の文意から『拒絶』の will not の過去形 would not が正解。
This door **will not** *open*. ――『現在の強い意志 (拒絶)』
(この戸はどうしても開かない) (朝日大)

Theme 20 used to と be used to

63 **used to *do*** 「(今はしていないが) 以前はよく～したものだ」――『現在と対比された過去の習慣』
▶ 現在と対比して，『過去の習慣』を表すには used to *do* を用いる。
▶ used to の後に dance が省略されている。

64 **used to *do*** 「(今はそうではないが) 以前は～だった」――『過去の状態』
▶ 本問は「～だが (but) 今では (nowadays) …」という文脈なので，前の (　　) には現在と対比して『過去の状態』を表す used to が入る。nowadays は現在形とともに用いるので，後ろの (　　) には are used が入る。
〈選択肢〉 be used to は通例，後ろに動名詞や名詞が続くので，③，④ は不可。動詞の原形が続く場合もあるが，was used to be used では「使われるために使われた」という意味になるので不適切。(➲ Power Up! 17)

65 **be used to** + ***doing*** [名詞]「～に慣れている」
(= **be accustomed to** + ***doing*** [名詞])

Power Up! 17 形のまぎらわしい used to の区別

① **used to *do*** 「以前はよく～したものだ」〔used to は助動詞 → 後ろは原形〕
② **be used to *doing*** 「～することに慣れている」
〔to は前置詞 → 後ろは動名詞 / 名詞〕
③ **be used to *do*** 「～するのに使われる」
〔be used (受動態) + to *do* (目的を表す不定詞)〕

① I **used to** *get* up early. (以前はよく早起きしたものだ)
② I **was used to** *getting* up early. (早起きするのに慣れていた)
③ In those days a flint **was used to** *make* a fire.
(当時は火打石が火をおこすのに使われていた)

＊ used の発音の違いに注意：①・② [juːst]，③ [juːzd]

Theme 21

□□□ **66** 超頻 I've lost my cellphone. I (　　) it somewhere.　（清泉女子大）
① must leave　② must left　③ must have left　④ must had left

□□□ **67** 頻出 She has not come here yet. I am afraid she (　　) her way.
① may be lost　② may have lost
③ may be having lost　④ may have been lost　（京都産業大）

□□□ **68** 頻出 You (　　) have seen Tom in Kyoto yesterday. He is still in England.
① must　② may　③ shouldn't　④ cannot　（西南学院大）

Theme 22

□□□ **69** 頻出 You (　　) checked your schedule before accepting an offer for dinner.
① had better　② would be　③ could　④ should have　（摂南大）

□□□ **70** 頻出 私が2日前に投函した手紙は，今頃母のところに届いているはずだ。
The letter I mailed two days ago (by / have / my mother / ought / reached / to) this time.　（近畿大）

□□□ **71** 頻出 こんなに高いアプリを買うんじゃなかった。　（佛教大）
I (have / such / not / bought / should) an expensive application.

□□□ **72** あんなやつに金を支払わなくてもよかったのに。〔1語(句)不要〕
(didn't need / need / him / you / have / paid / not).　（神奈川大）

Power Up! 19　助動詞 + have *done* ②
── 過去のことに対する非難・後悔

□ **should [ought to] have *done***「～すべきだったのに」(➲ 69)
□ **need not have *done***「～する必要はなかったのに」(➲ 72)
＊ should [ought to] have *done* には「(当然) ～した [している] はずだ」という『推量』を表す用法もある。(➲ 70)

66 (③) 携帯電話をなくしてしまった。どこかに置いてきたにちがいない。
67 (②) 彼女はまだ来ていない。道に迷ったのではないかと思う。
68 (④) 君は昨日京都でトムに会ったはずはない。彼はまだイングランドにいる。
69 (④) 夕食の申し出を受ける前に，スケジュールを確認すべきだったのに。
70 The letter I mailed two days ago (ought to have reached my mother by) this time.
71 I (should not have bought such) an expensive application.
72 (You need not have paid him). 〔didn't need が不要〕

Theme 21 助動詞 + have *done* ①

66 **must have *done***「～した [だった] にちがいない」
▶ 過去のことに対する現在の『確信のある推量』を表す。

67 **may have *done***「～した [だった] かもしれない」
▶ 過去のことに対する現在の『確信の持てない推量』を表す。
〈語句〉 lose *one's* way「道に迷う」
〈プラスα〉 **might have *done*** もほぼ同じ意味を表す。
I don't feel well. I **might have *caught*** a cold.
(体調が良くない。風邪をひいたかもしれない) （近畿大）

68 **cannot [can't] have *done***「～した [だった] はずがない」
▶ 過去のことに対する現在の『確信のある否定的推量』を表す。
〈プラスα〉 **could not [couldn't] have *done*** もほぼ同じ意味を表す。
He **couldn't have *been*** in when you got there.
(君がそこに着いた時には，彼が中にいたはずがない) （上智大）

Power Up! 18　助動詞 + have *done* ①
── 過去のことに対する現在の推量

□ **must have *done***「～したにちがいない」(➲ 66)
□ **may have *done***「～したかもしれない」(➲ 67)
□ **cannot [can't] have *done***「～したはずがない」(➲ 68)

Theme 22 助動詞 + have *done* ②

69 **should [ought to] have *done***「～すべきだったのに」
▶『義務』の意味を表す should / ought to「～すべきだ」に完了形がつくと「～すべきだったのに (実際はしなかった)」という『過去のことに対する非難・後悔』などの気持ちを表す。
〈選択肢〉 ① had better と ③ could は後ろに動詞の原形が来るので不可。
② would be では意味が成り立たない。

70 **ought to [should] have *done***「～した [している] はずだ」
▶「～した [している] はずだ」という『推量』を表す用法もある。by now [by this time]「今ごろはもう」とセットで用いられることが多い。

71 **should not have *done***「～すべきではなかったのに」
(= **ought not to have *done***)
〈注 意〉 同意表現 ought not to have *done* の not の位置に注意。(➲ Power Up! 21)

72 **need not have *done***「～する必要はなかったのに」
〈比 較〉 本動詞の need を用いた場合との意味の違いに注意。
cf. { He **needn't have *hurried***. (彼は急ぐ必要がなかったのに(急いだ))
He **didn't need to *hurry***. (彼は急ぐ必要がなかった)
〔急いだか急がなかったかは不明〕

Theme 23

□ **73** 山に登るときは，どんなに注意してもしすぎることはない。（九州国際大）
□ 頻出 You (climbing / too / in / be / careful / cannot) a mountain.
□

□ **74** He couldn't help (　　) during the concert.（成城大）
□ 頻出 ① falling asleep　② fall sleeping　③ fell asleep　④ to fall asleep
□

□ **75** It is natural that he should complain about the treatment.
□ 頻出 = He has good (　　) to complain about the treatment.
□ = He (　　)(　　) complain about the treatment.（北海学園大）

□ **76** その試合を生で見られなかったら，テレビで見るとするか。
□ If we can't see the game live, we (　　) as (　　) watch it on TV.
□ ① might — well　② could — least
③ much — once　④ may — all（東京理科大）

□ **77** You (　　) throw your money into the sea as lend it to such a
□ 発展 person.
□ ① may well　② might as well
③ will do well to　④ will do better to（武庫川女子大）

Power Up! 20 「～せずにはいられない」の上級表現 〈発展〉

□ **have no choice but to *do***
□ **There is nothing for it but to *do***
｝「～するしかない / ～せずにはいられない」

＊上の2つの表現は **cannot help *doing* / cannot but *do*** とほぼ同意。ただし，but の後は to *do* が続く点に注意すること。

can [cannot] があれば but *do*，そうでなければ but to *do* と覚えるとよい。

When I missed the last bus, I **had no choice but to** *take* a taxi.（センター）
（私は最終バスに乗り遅れたとき，タクシーに乗らざるを得なかった）

There was nothing for it but to *wait* till he came back.
（彼が戻ってくるまで待つしかなかった）（実践女子大）

……………………………………………………………

73 You (cannot be too careful in climbing) a mountain.
74 (①) 彼はコンサートの途中で眠らずにはいられなかった。
75 (reason / may, well) 彼がその扱いに対して不平を言うのも当然である。
76 (①)
77 (②) あんなやつにお金を貸すのは海に捨てるようなものだ。

Theme 23 助動詞を用いた慣用表現 ①

73 **cannot [can't] ～ too ...**「いくら…してもしすぎることはない」

▶ cannot を用いた重要表現。too の後ろには形容詞や副詞が続くことに注意。

▶ You cannot be too careful「いくら注意してもしすぎることはない」の表現での出題がほとんど。

74 **cannot [can't] help *doing***
「～せずにはいられない」⬅「～することを避けられない」

▶ この help は「～を避ける」(= avoid) の意味。

〈選択肢〉 avoid と同様に後ろには *doing* を置くので ②，③，④ は不可。(➲ 495)

〈語 句〉 fall asleep「寝入る」

〈プラスα〉 cannot but *do*《文語》や cannot help but *do*《米口語》も同じ意味を表す。but の後は動詞の原形が続く点に注意。

I cannot help *thinking* so. = I cannot but *think* so.
= I cannot help but *think* so.（そう思わざるを得ない）

75 **may [might] well *do***「～するのももっともだ」
(**= It is natural that ～ / have good [every] reason to *do***)

▶ 助動詞 may *do*「～してもよい」と副詞 well「もっともで」が組み合わさったもの。

〈発 展〉 may [might] well *do* には「たぶん～だろう」(= It is (very) likely that ～) の意味もある。この場合の well は「十分に」の意味なので，may「～かもしれない」単独よりも確信の度合いは強い。

This **may [might] well** *be* the last time we meet.
（君に会うのもたぶんこれが最後になるだろう）

76 **may [might] as well *do***「(気は進まないが)～するほうがよいだろう」

▶ may [might] as well は後に as not が省略された形で，「しないより (as not) ～するほうがよい」というのが元の意味。had better よりも意味が弱く，遠回しな表現。

▶ might を用いるほうが多少控えめな表現になるが，実質的な差異はないと考えてよい。

77 **might as well A as B**「B するくらいなら A するほうがましだ / B するのは A するようなものだ」

〈選択肢〉 do well to *do*「～するのが賢明である」は as ... が後ろに来ないので，③ will do well to は不可。

You'd *do well to listen* to his advice.（彼の忠告に耳を傾けるがいい）

Theme 24

□□□ **78** 頻出
Travelers (　　　) their reservations early if they want to fly during the holiday seasons.
① had better to make　　② had to make better
③ had better make　　④ had better made　　（青山学院大）

□□□ **79** 頻出
You (　　　) go jogging after dark in this neighborhood.
① had not better　　② had better not
③ not had better　　④ had not better to　　（法政大）

□□□ **80**
もしできれば２人だけでお話をしたいのですが。　（日本大）
If you don't mind, I (in / would / private / to / speak to / like / you).

□□□ **81**
私は息子に私から独立してもらいたい。
(son / be / independent / I / like / would / of / my / to /me).　（高知大）

□□□ **82**
Most young people would rather spend money than (　　　) it in the bank.
① having put　② put　③ to put　④ putting　（センター）

□□□ **83**
I would rather (　　　) in London much longer than a week.
① stay　② to stay　③ stayed　④ staying　（法政大）

□□□ **84**
本当に必要でなければ私は手術を受けたくない。
I (not / rather / the operation / have / unless / would) it is absolutely necessary.　（関東学院大）

Power Up! 21 否定の not の位置に注意

□ **had better not *do*** 「～しないほうがよい」（➲ 79）
□ **would rather not *do*** 「むしろ～したくない」（➲ 84）
cf. □ **ought not to *do*** 「～すべきでない」
You **ought not to** (×ought to not) *say* such things.
（そんなこと言うもんじゃないよ）（上智大）

78　（③）　休暇シーズンに飛行機を利用したいなら，旅行者は早めに予約するほうがよい。
79　（②）　この辺りは，暗くなってからのジョギングはやめたほうがいいよ。
80　If you don't mind, I (would like to speak to you in private).
81　(I would like my son to be independent of me).
82　（②）　ほとんどの若者はお金を銀行に預けるよりも使いたいと思っている。
83　（①）　私はむしろ１週間よりずっと長くロンドンに滞在したい。
84　I (would rather not have the operation unless) it is absolutely necessary.

Theme 24 助動詞を用いた慣用表現 ②

78 had better *do* 「～するほうがよい / ～しなさい」

▶ had better は２語で１つの助動詞の働きをする。助動詞だから，had better の後ろは動詞の原形が来るので，正解は ③ had better make。

〈補足〉 you が主語の場合は『忠告・軽い命令』を表すので，目下の人や子供に対して使うことが多い。
You **had better** *start* at once.（すぐに出発しなさい）（梅花女子大）

〈語句〉 make a reservation「予約する」: reservation「(切符・座席などの)予約」（➲ 620）

79 had better not *do* 「～しないほうがよい」

▶ **had better** で１つの助動詞なので，否定形は **had better not**。ought not to との not の位置の違いに注意。（➲ Power Up! 21）

80 would like to *do* 「～したいのですが」《口語》'd like to *do*

▶ want to *do* よりもていねいで遠慮がちな願望の表現。

〈語句〉 if you don't mind《口語的》「差しつかえなければ / よろしければ」
speak to ～「～と話をする / ～に話しかける」（➲ 577）
in private「内密に / こっそりと」⇔ in public「人前で / 公然と」（➲ 1259）

81 would like A to *do* 「A に～してほしいのですが」

▶ would like の後ろに目的語 A が入ると「A に～してほしいのですが」という意味になる。

〈語句〉 be independent of ～「～から独立している」（➲ 1140）

82 would rather A than B「B するよりもむしろ A したい」

▶ A，B はともに動詞の原形なので，空所には ② put が入る。

83 would rather *do* 「むしろ～したい」〔短縮形 'd rather *do*〕

▶ この表現は would rather *do* than *do* の than 以下が省略された形。rather の後ろには動詞の原形が来るので，① stay が正解。

▶ 本問の than は would rather *do* than *do* の than ではなく，longer than a week「1 週間より長く」の than。

〈語句〉 much〔比較級を強めて〕「はるかに / ずっと」（➲ 202）

84 would rather not *do* 「むしろ～したくない」

▶ would rather *do* の否定形は would rather not *do* になる。had better not *do* と同様に，否定の not の位置に注意。（➲ Power Up! 21）

第4章 不定詞

Theme 25

□□□ 85 To tell a lie is wrong.
基本
= It is wrong (　　)(　　)(　　)(　　). (明星大)

□□□ 86 彼にできることは助けを求めて叫ぶことだけだった。
All (for / do / was / help / he / to / could / cry). (法政大)

□□□ 87 図書館をどのように利用するかは充実した大学生活への手がかりである。
基本 頻出
How (is / the library / to / the / to / use / key) a successful college life. (中京大)

Theme 26

□□□ 88 Who was the first person (　　) the South Pole?
基本
① reach　② reached　③ to reach　④ who reaches (大谷大)

□□□ 89 Can you lend me something (　　)? I don't have a pen.
頻出
① to write　② to write on
③ to write with　④ to write for (神戸松蔭女子学院大)

□□□ 90 I don't have the courage (　　) my boss to lend me his car.
① asking　② for asking　③ to ask　④ which I ask (センター)

Power Up! 22 疑問詞 + to *do* の訳し方

まず疑問詞を訳し，次に不定詞の部分を「～すべきか / ～すればよいか」と訳す。

□ **how to *do***	「どのように～すべきか / ～の仕方」(➲ 87)
□ **what to *do***	「何を～すべきか」
□ **when to *do***	「いつ～すべきか」
□ **who [whom] to *do***	「誰を［に］～すべきか」
□ **which to *do***	「どれ［どちら］を～すべきか」
□ **where to *do***	「どこに～すべきか」　＊ why to *do* の形はない。

85 (to, tell, a, lie) うそをつくことは悪いことだ。
86 All (he could do was to cry for help).
87 How (to use the library is the key to) a successful college life.
88 (③) 南極に最初に到達した人は誰でしたか。
89 (③) 何か書くものを貸してくれませんか。ペンを持っていないのです。
90 (③) 私は車を貸してほしいと上司に頼む勇気がない。

Theme 25 不定詞の名詞的用法

名詞的用法の不定詞は，「～すること」の意味で，文中で名詞の働きをする。すなわち文の主語・目的語・補語になる。名詞句を作る「疑問詞 + **to** 不定詞」もこの用法の一種。

85 主語になる場合
▶ 名詞的用法の不定詞が主語になる場合には，形式上の主語 **it** を文頭に置いて，主語である to 不定詞を後に回すことが多い。これを形式主語構文という。
―― **It is … (for A) to *do*** (➲ 287)

86 補語になる場合
▶ to cry for help が名詞句で補語になる。
〈重 要〉 **All + S + can do is (to) *do*** 「S にできるのは～だけだ」は重要表現。
《米口語》では to が省略されて原形不定詞が来る。

87 **how to *do*** 「どのように～すべきか / ～の仕方」
▶ 疑問詞が to 不定詞と結びついて名詞句を作り，文中で主語・目的語・補語になる。本問では how to use が文の主語になる。
〈語 句〉 the key to ～「(成功・解決など) の秘訣 / 手がかり」(➲ 704)

Theme 26 不定詞の形容詞的用法

直前の名詞を修飾する不定詞を形容詞的用法の不定詞という。修飾される名詞が不定詞の意味上の主語や目的語になる場合と，不定詞が直前の名詞の内容を説明する場合がある。

88 名詞が不定詞の意味上の主語になる場合
▶ the first person が to reach の主語の働きをしている。
〈選択肢〉 ④ は who reached なら可。

89 名詞が不定詞に続く前置詞の目的語になる場合 ―― 前置詞が残る形
▶ 修飾される語 something が不定詞句中の with「～で，～を使って」の目的語になっている。something to write with (×to write)「何か書くもの」(本問の場合はペン)
write with A「A で書く」➡ **A to write with**「(それを使って) 書く A」
入試では，本問のように前置詞が最後に残る形が最も狙われる。
〈選択肢〉 something to write on は「何か (その上に) 書くもの = 紙やノート」の意味になるので，② to write on は不可。

90 不定詞が名詞の内容を説明する場合
▶ to 不定詞が直前の courage の内容を説明している。
〈語 句〉 have the courage to *do* [×*doing*]「～するだけの勇気がある」

Theme 27

□□□ **91** 〔同じ用法のものを選べ〕 基本
They made loud noises to frighten the dog away.
① They advised him to accept the offer.
② I have never known her to tell lies.
③ He worked very hard to support his family.
④ I have lots of things to do. (城西大)

□□□ **92** 目を覚ましてみると家が火事になっていた。〔1語不要〕 頻出
I awoke (find / fire / found / house / on / the / to). (学習院大)

□□□ **93** 一行は木々の間を進んで行ったが，依然として森の中にいた。 頻出
The party ①made ②their way ③through the trees ④only find they were ⑤still in the forest. (姫路獨協大)

□□□ **94** I'm very glad (　　) you here.
① meeting　② to meet　③ to be met　④ have met (駒澤大)

□□□ **95** そんなことをするとは，ジョージはとても不注意にちがいない。 頻出
George (be / careless / do / to / quite / must) such a thing. (四天王寺国際仏教大)

□□□ **96** This question is (answer / difficult / than / to / more) that one. 頻出 (愛知大)

---

91 (③) 彼らはその犬をおどかして追い払うために大きな音をたてた。〔目的〕
① 彼らは彼にその申し出を受けるように忠告した。〔第5文型の補語〕
② 私は彼女がうそをつくのを聞いたことがない。〔第5文型の補語〕
③ 彼は家族を養うために一生懸命働いた。〔目的〕
④ 私にはしなければならないことがたくさんある。〔形容詞的用法〕

92 I awoke (to find the house on fire). 〔found が不要〕

93 (④) 〔only find ➡ only to find〕

94 (②) ここであなたに会えてとてもうれしい。

95 George (must be quite careless to do) such a thing.

96 This question is (more difficult to answer than) that one.
この質問はその質問よりも答えにくい。

Theme 27 不定詞の副詞的用法

不定詞が主として動詞・形容詞を修飾する用法。その表す意味によって，おおよそ次のように分けられる。① 目的 ② 結果 ③ 感情の原因 ④ 判断の根拠 ⑤ 形容詞の意味の限定 ⑥ 条件 (➲ 183)

91 「～するために / ～するように」―― 『目的』
▶ 目的の意味をはっきりと出すために，**so as to *do*** や **in order to *do*** の形をとることもある。(➲ 109)
〈語句〉 advise A to *do* 「A に～するように忠告する」(➲ 542)
know A to *do* 「A (人) が～するのを見聞きする」

92 **awake [wake (up)] to find** ～「目が覚めると～だと知る」―― 『結果』
▶ 本問 = I awoke and found that the house was on fire.

93 **… only to *do*** 「…だが結局～する (にすぎない)」―― 『結果』
〈語句〉 make *one's* way 「進む」(= proceed / go on) (➲ 1101)

94 「～して (うれしい / 腹が立つ，など)」―― 『感情の原因』
▶ be glad のような感情を表す表現の後ろに to *do* を用いて，感情の原因を表す。

95 「～するなんて / ～するとは」―― 『判断の根拠』
▶ 「不注意」だと判断する根拠を，careless の後ろに to *do* を用いて表す。

96 **A is** + 形容詞 + **to *do*** 「A は～するのに…だ」―― 『形容詞の意味の限定』
▶ この構文では，主語 A が不定詞の意味上の目的語になる。一般に形式主語 it を用いた書き換えが可能である。
本問 = **It is** more difficult **to** answer this question than that one.
▶ 難易・危険・安全・(不)快などを表す形容詞がこの構文で使われる。
easy / difficult / hard 「難しい」/ impossible / dangerous / safe / pleasant 「快い」/ comfortable 「心地よい」など。
He is **impossible** *to persuade*. (彼を説得するのは不可能だ)
This lake is **dangerous** *to swim in*. (この湖は泳ぐには危険です)

Power Up! 23 『結果』を表す不定詞

『結果』を表す不定詞は，主に次の5つの表現で用いられる。

- □ **awake [wake (up)] to find** ～「目が覚めると～だと知る」(➲ 92)
- □ **grow up to be** ～「成長して [大きくなって] ～になる」
- □ **live to be** ～「～になるまで生きる (⬅ 生きてその結果～になる)」
  His grandfather **lived to be** 92. (彼の祖父は 92 歳まで生きた) (東海大)
- □ **… only to *do*** 「…だが結局～する (にすぎない)」(➲ 93)
- □ **… never to *do*** 「…だが二度と～しない」
  The good old days are gone, **never to** *return*.
  (古き良き時代は過ぎ去り，二度と戻ってこない) (中央大)

Theme 28

□□□ **97** Is there anything for (　　　) on? （青山学院大）
頻出
① I to sit　② me sitting　③ me to sit　④ my sitting

□□□ **98** The child tried hard (　　　). （大阪学院大）
頻出
① not to cry　② to not cry　③ to cry not　④ crying not

□□□ **99** He seems (　　) a very popular actor when he was young.
頻出
① to be　② to have been　③ he was　④ he has been （南山大）

□□□ **100** He read my e-mails, though I told him (　　).
発展
① it　② not to　③ so　④ to （関西学院大）

Theme 29

□□□ **101** The results of the exam (　　) tomorrow.
① are to be announced　② is being announced
③ is going to announce　④ will be announcing （慶應大）

□□□ **102** 私たちは，その事故の責任が彼にあると思っていた。
(accident / blame / for / he / responsible / the / thought / to / was / we).〔1 語不要〕 （青山学院大）

□□□ **103** If you are (　　) your desire, you must exercise your imagination.
① realize　② being realized
③ realized　④ to realize （大東文化大）

97 (③) 私が腰掛けるものが何かありますか。
98 (①) その子供は泣くまいと懸命に努めた。
99 (②) 彼は若いころ，とても人気のある俳優だったようだ。
100 (②) 私が読むなと言ったにもかかわらず，彼は私のメールを読んだ。
101 (①) 試験の結果は，明日発表されることになっている。
102 (We thought he was to blame for the accident).〔responsible が不要〕
103 (④) もしあなたが望みを実現させたいのなら，想像力を働かせなければならない。

Theme 28 不定詞の形

97 不定詞の意味上の主語
▶ 不定詞の意味上の主語を表す必要がある場合は,「**for** ＋ 名詞［代名詞目的格］」を不定詞の直前に置く。③ me to sit が正解。
▶ 本問は，直前の代名詞 anything を修飾する形容詞的用法の不定詞。(➲ 89)

98 不定詞の否定形 ── **not**［**never**］**to *do***
▶ 不定詞の否定形は，not や never を不定詞の直前に置いて表す。
try to *do*「～しようと努める」➡ try not to *do*「～しないように努める」

99 完了形の不定詞（**to have *done***）の用法
▶ 完了形の不定詞は，文の述語動詞の示す時よりも前のことを表す。
▶ He seems ～ という現在形に対して，人気のある俳優だったのは彼が若かった過去のことなので，完了形 ② to have been が正解。
本問 = It seems that he was a very popular actor when he was young.
(➲ Power Up! 60)

100 代不定詞 **to** ＝ **to** ＋ 前出の動詞(を含む語句)
▶ to 不定詞の内容が前後関係から明らかなとき，前出の動詞（を含む語句）を繰り返さずに to だけを用いることがある。この to を代不定詞という。
▶ 本問は代不定詞の否定形。told him not to = told him not to read my e-mails
〈語句〉 tell A not to *do*「A に～しないように言う」⇔ tell A to *do* (➲ 575)

Theme 29 「be ＋ to *do*」の用法

「**be** ＋ **to *do***」の形で助動詞のように働いて，次のような意味を表すことがある。
① 予定・運命　② 義務・命令　③ 可能　④ 意図・願望
③ の『可能』を表す場合は，通例否定文で，to be *done* の受身形で用いられる。
Not a star **was to** *be* seen. ((空には) 星 1 つ見えなかった)（九州国際大）
「be ＋ to *do*」を文字通りに「～することである」〔名詞的用法(補語)〕と訳すべき場合も多い。My aim **is to** *become* a doctor.（私の目標は医者になることだ）

101 **be** ＋ **to *do***「～することになっている」(= **be scheduled to *do***) ──『予定』
▶ tomorrow「明日」に注目し,『予定』を表す「be ＋ to *do*」を選ぶ。「結果が発表される」という受動関係なので受動態の ① are to be announced が正解。
〈選択肢〉③，④ は能動態なので不可。

102 **be** ＋ **to *do***「～すべきである / ～しなければならない」──『義務・命令』
▶ responsible を使おうとすると We thought he was responsible for the accident. となって blame と to の 2 語が不要になるので不可。
〈語句〉 be to blame「責めを負うべきである / 責任がある」(= be to be blamed) は頻出表現。

103 **be** ＋ **to *do***「～するつもりである / ～したいと思う」──『意図・願望』
▶『意図・願望』を表す場合は，if 節の中で用いられることが多い。

Theme 30

□□□ 104 時間は言うまでもなく，お金を無駄にしすぎたよね。

We have wasted too much money, to say （　　） of time, haven't we? （= not to speak of）　（中央大）

□□□ 105 さらに悪いことに，彼は足を骨折した後に肺炎にかかった。

To （　　） matters （　　）, he got pneumonia after breaking his leg.

① give — pause　② take — bad

③ make — worse　④ put — double　（東京理科大）

Theme 31

□□□ 106 基本 頻出 This coffee is so hot that I can't drink it.

= This coffee is （　　） hot （　　） me to drink.　（追手門学院大）

□□□ 107 基本 頻出 彼は一番上の棚の本に届くほど背が高い。　（国士舘大）

He is (the book / to / tall / reach / enough) on the top shelf.

□□□ 108 頻出 He was kind enough to show me the way.

= He was so kind （　）（　） show me the way.　（武蔵大）

□□□ 109 頻出 I started early in order to avoid the rush hour.

= I started early so （　　） to avoid the rush hour.　（大谷女子大）

□□□ 110 頻出 ジョンは学校に遅れないように早起きした。　（中京大）

John woke up (to / as / early / be / for / so / late / not / school).

Power Up! 25 so as to *do* と so ... as to *do* を混同しないように！

He hurried **so as to** *catch* the train.
（彼は列車に間に合うように急いだ）——『目的』

cf. He got up **so** early **as to** *catch* the first train.
= He got up early **enough to** *catch* the first train.
（彼はとても早く起きたので一番列車に間に合った）——『結果』
（彼は一番列車に間に合うくらい早く起きた）——『程度』

---

104 （nothing）　105 （③）

106 （too, for）　このコーヒーは熱すぎて私には飲めない。

107 He is (tall enough to reach the book) on the top shelf.

108 （as, to）　彼は親切にも道を教えてくれた。

109 （as）　私はラッシュアワーを避けるために早く出発した。

110 John woke up (early so as not to be late for school).

Theme 30 独立不定詞

文の他の部分から独立し，文全体を修飾する副詞的用法の不定詞を，独立不定詞と呼ぶ。「言う・話す」の意味の動詞を用いるものが多い。慣用句として覚えよう。

104 **to say nothing of** ～「～は言うまでもなく」
（= **not to speak of** ～ / **not to mention** ～）

105 **to make matters ［the matter］ worse**「さらに悪いことには」

Power Up! 24 独立不定詞

□ **to tell (you) the truth**「実を言うと」　□ **to be sure**「確かに」
□ **to be frank with you**「率直に言って」（= **frankly speaking**）
□ **to make matters ［the matter］ worse**「さらに悪いことには」（➲ 105）
□ **to say nothing of** ～ = □ **not to speak of** ～ = □ **not to mention** ～
「～は言うまでもなく」（= **let alone**）（➲ 104）
□ **not to say** ～「～とは言わないまでも」
□ **to say the least (of it)**「控えめに言っても」
□ **to do A justice**「A を公平に評すると」（➲ Power Up! 192）
□ **to begin ［start］ with**「まず第一に」（= **in the first place**）
□ **to put it briefly ［clearly / simply］**「手短に［はっきり / 端的に］言えば」
□ **needless to say**［通例文頭で］「言うまでもなく」
□ **strange to say**「奇妙なことに」

Theme 31 不定詞を用いた重要表現

106 **too ... to *do***「とても…なので～できない / ～するには…すぎる」

▶ **so ... that S can't *do*** は **too ... to *do*** で書き換えられる。
too ... to *do* の場合，文の主語と不定詞の目的語が一致している時には，不定詞の目的語を省略する点に注意。×to drink it

▶ to drink の意味上の主語を表す必要があるので，hot の後ろの（　）には for を入れる。（➲ 97）

107 **... enough to *do***「とても…なので～する / ～するほど…」

▶ enough は修飾する形容詞・副詞の後ろに置くことに注意。

108 **so ... as to *do***「とても…なので～する / ～するほど…」

▶ やや改まった言い方なので，現在では ... enough to *do* を用いるのがふつう。

109 **so as to *do* / in order to *do***「～するために / ～するように」

▶ 不定詞が『目的』であることをはっきりと示すために，**so as to *do* / in order to *do*** の形をとることもある。ともに文語的。

110 **so as not to *do* / in order not to *do***「～しないように」

▶ 不定詞を否定する語は不定詞の直前に置くので，「～しないように」は **so as not to *do* / in order not to *do*** の形になる。

第5章 動名詞

Theme 32

□□□ **111** 基本 (　　　) care of their parents is one of the duties of children.
① Take　② Taken　③ Taking　④ Took　（広島経済大）

□□□ **112** 基本 頻出 You can improve your health by (　　　) more exercise.
① doing　② does　③ to do　④ do　（中部大）

Theme 33

□□□ **113** 頻出 The gentleman insisted on (　　　) the money.
① my receiving　② my reception
③ me to receive　④ should receive　（九州産業大）

□□□ **114** 頻出 彼はその男を殺した容疑で逮捕された。
He (of / on / killed / arrested / having / suspicion / was) the man.　（立命館大）

□□□ **115** 頻出 I am not at all used to (　　　) like that.
① treated　② treating　③ being treated　④ treat　（工学院大）

□□□ **116** 頻出 In the event of (　　　), we'll have to find someone else.
① Jim not coming　② coming not Jim
③ not Jim coming　④ Jim coming not　（近畿大）

□□□ **117** I'm ashamed (　　　) kind to the old woman on the train.
① not of having been　② of having been not
③ of having not been　④ of not having been　（日本女子大）

111 （③） 親の面倒をみることは，子供の義務の一つです。
112 （①） もっと運動することによって健康を増進することができる。
113 （①） その紳士は私にお金を受け取れと言ってきかなかった。
114 He (was arrested on suspicion of having killed) the man.
115 （③） 私はそんなふうに扱われることにまったく慣れていない。
116 （①） ジムが来ない場合には，誰か他の人を見つけなければならない。
117 （④） 私は電車で，そのおばあさんに親切にしなかったことが恥ずかしい。

Theme 32 動名詞の基本用法

動名詞は，動詞に -ing をつけたもので，動詞の性質を持ちながら名詞の働きをする。
動名詞は名詞の一種であるから，文中で主語，補語，動詞や前置詞の目的語になる。
入試では特に前置詞の目的語になる場合が重要。

111 主語になる動名詞

▶ 本問は Taking care of their parents という動名詞句が主語の場合。
この場合，不定詞のときと同様に，形式主語 it を用いることもある。
本問 ＝ *It is* one of the duties of children *taking* care of their parents.

112 前置詞の目的語になる動名詞

▶ 前置詞の後ろに動詞を置きたいときは動名詞にするので，① doing が正解。
〈選択肢〉 不定詞は前置詞の後ろに置くことができないので，③ to do は不可。

Theme 33 動名詞の形 ── 動名詞の動詞的性質

動名詞の動詞的性質：① 目的語や補語，副詞(句)を伴う　② 意味上の主語を持つ
③ 完了形や受動態がある　④ 否定形がある

113 動名詞の意味上の主語

▶ 動名詞の意味上の主語を表す必要がある場合には，名詞・代名詞の所有格または目的格を動名詞の前に置く。(口語では目的格になることも多い)
▶ 本問 ＝ The gentleman insisted that I (should) receive the money. (➲ 571)
〈語 句〉 insist on [upon] ～「～を強く主張する / ～と言い張る」(➲ 954)

114 完了形の動名詞（**having *done***）

▶ 完了形の動名詞は述語動詞よりも前の時を表す。その男を殺したのは逮捕より前のことだから完了形 (having killed) になる。
〈語 句〉 on (the) suspicion of ～「～の容疑で」

115 受動態の動名詞（単純形 ── **being *done*** / 完了形 ── **having been *done***）

▶ 受動態の動名詞は being *done*「～されること」という形になる。
▶ be used to ～ の to は前置詞なので後ろには動名詞が来る。treat「～を扱う」は他動詞だが目的語がないので，③ being treated が正解。
〈語 句〉 be used to *doing*「～することに慣れている」(➲ 65)

116 動名詞の否定形（単純形 ── **not *doing***）

▶ 動名詞の否定形は，not や never を動名詞の直前に置く。本問のように動名詞の意味上の主語を表す必要がある場合は，名詞・代名詞の所有格または目的格を否定語の前に置くので，正解は ① Jim not coming。
〈語 句〉 in the event of ～「～の場合には」

117 動名詞の否定形（完了形 ── **not having *done***）

▶「親切にしなかった（過去）」のは「恥じている（現在）」より前のことなので，完了形の動名詞の否定形 ④ of not having been が正解。not の位置に注意。

Theme 34

□□□ **118** 超頻
夏休みが近づいているので，友達に会うのが楽しみです。
As the summer vacation approaches, I'm looking (　　　) to meeting my friends. (愛知学院大)

□□□ **119** 頻出
I am (　　　) to staying up late at night.
① accustomed　② enthusiastic　③ ordinary　④ usual (南山大)

□□□ **120**
I can use a computer, but when it comes (　　　) them, I know nothing.
① repair　② for repairing
③ to repairing　④ being repaired (東京電機大)

□□□ **121** 頻出
No one objected (　　　) the mountain.
① climb　② for climbing　③ to climb　④ to climbing (摂南大)

□□□ **122**
What do you say (　　　) a rest? (京都産業大)
① have　② having　③ to have　④ to having

Theme 35

□□□ **123** 頻出
We had a lot of difficulty (　　　) his new house.
① to try arriving　② trying to find
③ to try to find　④ trying to arrive (青山学院大)

□□□ **124** 頻出
多くの日本人は，大部分の時間を生きるために働いて過ごす。
(their / working / Japanese / spend / many / most / time / people / of / live / to). (高知大)

□□□ **125** 頻出
I'm busy (　　　) for the next exam. (流通科学大)
① to prepare　② about preparing　③ preparing　④ prepared

……

118 (forward)
119 (①) 私は夜遅くまで起きていることに慣れている。
120 (③) 私はコンピューターを使うことはできるが，修理するということになると何もわからない。
121 (④) その山に登ることに誰も反対しなかった。
122 (④) ひと休みしてはどうですか。
123 (②) 私たちは彼の新居を見つけるのにとても苦労した。
124 (Many Japanese people spend most of their time working to live).
125 (③) 私は今度の試験の準備に忙しい。

Theme 34 to の後ろに動名詞（または名詞）が続く慣用表現

前置詞 to の後ろに動名詞が来る慣用表現に注意。to *doing* と to *do* を混同しやすいので，入試でよく狙われる。前置詞の後には必ず名詞か動名詞が来ることを忘れないように。

118 **look forward to *doing***「～するのを楽しみに待つ」

119 **be accustomed to *doing***「～することに慣れている」── 『状態』
▶ be used to *doing*（➲ 65）よりも堅い表現。
〈選択肢〉② enthusiastic「熱心な」，③ ordinary「普通の」，④ usual「いつもの」
〈語 句〉stay up「寝ずに起きている」（= sit up）（➲ 892）
〈比 較〉get accustomed [used] to *doing*「～することに慣れる」は『動作』を表す。
I got accustomed to *living* alone.（私は一人暮らしに慣れた）
(武蔵大)

120 **when it comes to *doing***「～するということになると」

121 **object to *doing***「～することに反対する」（= **oppose *doing***）

122 **What do you say to *doing*?**「～してはどうですか，～しませんか」
（= **How** [**What**] **about *doing*?**）
▶ 本問 = How [What] about having a rest?
〈語 句〉have a rest「ひと休みする」（= rest / take a rest）（➲ Power Up! 195）

Theme 35 省略可能な in の後ろに動名詞が続く慣用表現

in を用いることもあるが，省略するのがふつう。他の前置詞は省略不可。
in のない場合は，*doing* を補語的な働きをする現在分詞と考えることもできる。

123 **have difficulty** [**trouble**] (**in**) ***doing***「～するのに苦労する」
▶ 苦労の程度を表すために，a lot of / great / a little / little / no などを difficulty [trouble] の前に入れることも多い。
I had no trouble *finding* the book you recommended.
（すすめてくれた本は簡単に見つかりました）(藤女子大)
〈選択肢〉④ は，trying to arrive at なら可。

124 **spend** A (**in**) ***doing***「A（時間）を～して過ごす / A を～するのに費やす」
〈比 較〉**spend A on B**「A（時間・金）を B に費やす」も押さえる。（➲ 1042）

125 **be busy** (**in**) ***doing***「～するのに忙しい」
〈選択肢〉② は in preparing なら可だが，about preparing は不可。
〈比 較〉**be busy with** [**at**] + 名詞「～で忙しい」という表現も重要。
He **is busy with** [**at**] his task.（彼は仕事で忙しい）

Theme 36

□□□ **126** 頻出 It is impossible to tell when an earthquake will occur.
= There is (　　　) when an earthquake will happen.
① nothing to tell　② not to tell
③ no telling　④ no teller　（佛教大）

□□□ **127** 頻出 私をだまそうとしても無駄です。
It is no (　　　) trying to deceive me.　（高知大）

□□□ **128** 頻出 There is no (　　　) continuing such a fruitless argument.　（佛教大）
① aim for　② purpose of　③ point in　④ meaning on

□□□ **129** 頻出 This novel is worth (　　　).
① read　② reading　③ to read　④ to be read　（中京大）

□□□ **130** It is a profession that he himself chose.
= It is a profession of (　　　)(　　　) choosing.　（専修大）

□□□ **131** 頻出 昨日あまりにも疲れていたので，私は一言も話す気になりませんでした。
Yesterday, I was so (a word / feel / I didn’t / like / speaking / that / tired).　（武庫川女子大）

□□□ **132** 健康が富に勝ることは言うまでもない。　（九州国際大）
It (saying / is / health / that / without / goes) above wealth.

□□□ **133** 頻出 As soon as he saw a police officer, he tried to run away.
= (　　　) seeing a police officer, he tried to run away.
① At　② In　③ On　④ With　（佛教大）

126　(③)　地震がいつ起こるかわからない。
127　(use [good])
128　(③)　そのような実りのない議論を続けてもむだである。
129　(②)　この小説は読む価値がある。
130　(his, own)　それは彼が自分で選んだ職業です。
131　Yesterday, I was so (tired that I didn’t feel like speaking a word).
132　It (goes without saying that health is) above wealth.
133　(③)　彼は警官を見るとすぐに逃げようとした。

Theme 36 その他の動名詞を用いた慣用表現

126 **There is no *doing*** 「～することはできない」
(= **It is impossible to *do* / We [You] cannot *do* / No one can *do***)
▶ 本問 = We [You] cannot [No one can] tell when an earthquake will happen.

127 **It is no use [good] *doing*** 「～してもむだである」
▶ 真主語が trying 以下の形式主語構文。good は use より口語的。
▶ 本問 = It is useless to try to deceive me.

128 **There is no point [use / good] (in) *doing*** 「～してもむだである」
▶ 本問 = There is no use [good] (in) continuing such a fruitless argument.
= It is no use [good] continuing such a fruitless argument.

129 **be worth *doing*** 「～する価値がある」
▶ 能動態の動名詞で受動の意味「～される」を表す。
This novel is worth reading [×being read / ×to be read].
▶ 形式主語 it を用いた書き換えは頻出。reading / to read 以下が真主語。
本問 = It is worthwhile reading [to read] this novel.

130 **of *one’s* own *doing*** 「自分で～した」
〈語句〉 profession 「(知的・専門的な) 職業」(➲ Power Up! 134)

131 **feel like *doing*** 「～したい気がする」
(= **feel inclined to *do* / want to *do***)
▶ 本問 = … I didn’t feel inclined to speak a word.
〈語句〉 so … that ～「とても…なので～」(➲ 446)

132 **It goes without saying that** ～「～は言うまでもない」
(= **Needless to say, S + V** ➲ Power Up! 24)
▶ 本問 = Needless to say, health is above wealth.

133 **on *doing*** 「～するとすぐに」(= **as soon as S + V**)
〈比較〉 **in *doing*** 「～する際に / ～するときに」(= **while [when] S + V**)
We must be careful **in choosing** our friends.
= We must be careful when we choose our friends.
(友人を選ぶときは注意しないといけない)（学習院大）

第6章 分詞

Theme 37

□ □ □ **134** The company is faced with (　　) costs of production. 基本
① grow　② to grow　③ grown　④ growing （亜細亜大）

□ □ □ **135** The carpenter repaired the (　　) chair. 基本
① break　② breaking　③ broken　④ breakable （清泉女子大）

□ □ □ **136** That man (　　) across the street is my neighbor. 基本 頻出
① walk　② walking　③ to walk　④ is walking （東海大）

□ □ □ **137** Children (　　) by bilingual parents may naturally learn two languages. 頻出
① bringing up　② brought up
③ have brought up　④ were brought up （センター）

Theme 38

□ □ □ **138** 〔(　) 内の動詞を適切な形にしなさい〕
He remained (lie) on the bed. （関西大）

□ □ □ **139** She sat (　　) her children.
① surround　② surrounding　③ surrounded by　④ to surround （西南学院大）

---

134 （④） その会社は増大する生産コストに直面している。
135 （③） 大工は壊れた椅子を修理した。
136 （②） 通りを横切っているあの人は私の隣人です。
137 （②） バイリンガルの両親に育てられた子供は，自然に２つの言語を身につけるかもしれない。
138 (lying) 彼はベッドにずっと横たわっていた。
139 （③） 彼女は自分の子供たちに囲まれて座っていた。

Theme 37 名詞を修飾する分詞 ── 限定用法

(1) 分詞には形容詞と同じように，名詞を修飾する用法がある。
分詞が単独で用いられるときには名詞の前，
分詞が目的語や副詞(句)を伴うときには名詞の後ろに置く点が重要。

(2) 修飾される名詞と修飾する分詞の間には，『主語と述語の関係』がある。
能動関係 → 現在分詞 (***doing***)　an exciting game 「興奮させる試合」
受動関係 → 過去分詞 (***done***)　excited fans 「興奮したファン」

134 名詞を前から修飾する現在分詞

▶ cost と grow の間に「コストが増大する」という能動関係があるので，現在分詞の ④ growing が正解。

135 名詞を前から修飾する過去分詞

▶ chair と break の間に「椅子が壊された」という受動関係があるので，過去分詞の ③ broken が正解。

136 名詞を後ろから修飾する現在分詞

▶ man と walk の間に能動関係があるので，現在分詞の ② walking が正解。

▶ across the street という副詞句を伴っているので，walking は man の前ではなく後ろに置かれている。

137 名詞を後ろから修飾する過去分詞

▶ children と bring up の間に受動関係があるので過去分詞の ② brought up が正解。

▶ by bilingual parents という副詞句を伴っているので，brought up は children の後ろに置かれている。

〈選択肢〉 ④ は who were brought up なら可。

〈語 句〉 bring up ～「～を育てる」(= raise / rear) (➲ 900)

Theme 38 主格補語となる分詞 ── 叙述用法

分詞は「SVC」の文型で C〔主格補語〕として用いられ，主語を説明する。現在分詞が能動，過去分詞が受動の意味を表すのは，名詞を修飾する場合と同じである。なお「SVC」の形をとる動詞には be の他に **sit / stand / lie / come / go / remain / look** などがある。(➲ Power Up! 111)

138 主格補語となる現在分詞

▶「彼が横たわっている」という能動関係があるので lie の現在分詞 lying が入る。(➲ 481)

〈語 句〉 remain は「～のままである」という意味の「SVC」の形をとる動詞の１つ。

139 主格補語となる過去分詞

▶「彼女が囲まれている」という受動関係なので過去分詞の ③ surrounded by が正解。

Theme 39

□□□ **140** There was a young girl (　　　) alone on the road.
① was walking　② to walk　③ walking　④ walked　(群馬大)

□□□ **141** Whether there is enough food (　　　) I am not sure at this moment.
① leaving　② last　③ left　④ remained　(上智大)

Theme 40

□□□ **142** 基本 When we looked out of the window, we saw a car pull up at the gate.
= (　　　) out of the window, we saw a car pull up at the gate.
(明星大)

□□□ **143** Ann, (　　　) a noise, went downstairs.
① heard　② hearing　③ to hear　④ to have heard　(獨協大)

□□□ **144** He took his coat off and set to work.
= (　　　) his coat off, he set to work.　(東亜大)

Power Up! 26 分詞構文の作り方

① 接続詞 ➡ 消す
② 主語が，主節の主語と同じ ➡ 消す
　　　　　　　　　　違う ➡ 残す〔独立分詞構文〕(➲ 149)
③ 動詞の時制が，主節の動詞と同じ ➡ 単純形〔***doing***〕
　　　　　　　　　　＊ 受動態の場合〔(being) ***done***〕(➲ 147)
　　　　　　　　より前 ➡ 完了形〔**having *done***〕(➲ 145)
　　　　　　　　　　＊ 受動態の場合〔(having been) ***done***〕
④ 否定形は **not** や **never** を分詞の直前に置く (➲ 146)

140 (③) 若い女の子が一人で道路を歩いていた。
141 (③) 十分な食べ物が残っているかどうか，今現在確信が持てない。
142 (Looking) 窓の外を見ると，車が門のところに止まるのが見えた。
143 (②) アンは物音を聞いて，階下へ降りて行った。
144 (Taking) 彼はコートを脱いで，仕事に取りかかった。

Theme 39 There be + S + *doing* / *done*

この構文の分詞は，通例，直前のSにかかる形容詞用法のものではない。したがって「～している［されている］Sがある」と訳さないこと。Sと分詞の間に意味上の「S + V」の関係があるので，「**S be *doing* [*done*]**」と同じように考えて，「Sが～している［されている］」と訳されることが多い。

140 There be + S + *doing*「Sが～している」
▶ girl と walk の間には「少女が歩く」という能動関係があるので，正解は ③ walking。本問 = A young girl was walking alone on the road.

141 There be + S + *done*「Sが～されている」
▶ food と leave の間には「食べ物が残される」という受動関係があるので，正解は ③ left。
本問 = Whether enough food is left I am not sure at this moment.
▶ whether 節は I am not sure の目的語に相当する語句。それを文頭に置いて強調している。
〈選択肢〉 remain「残っている」は自動詞なので，④ remained は不可

Theme 40 分詞構文の基本用法

分詞が接続詞と動詞の働きを兼ねて副詞句を作る形を分詞構文という。形は『句』だが，意味上は『副詞節』に相当し，『時・理由・付帯状況』などの意味を表す。分詞構文は接続詞が明示されないので，意味の区別がつかない場合も多い。

142 分詞構文の基本形 *doing* —— その作り方
▶ まず接続詞 When を消し，主語 we が主節の主語と一致しているのでこれも消す。次に動詞 looked が主節の動詞 saw と同時なので，looked を現在分詞の単純形 Looking にする。
〈語句〉 pull up「(車などが) 止まる」(= stop) (➲ 898)

143 分詞構文の位置 —— 文中
▶ 分詞構文は文頭だけでなく，文中や文尾にも置くことができる。
〈選択肢〉 不定詞を文中に挿入する形はふつうないので，③，④ は不可。
① だと動詞の過去形が接続詞なしで2個並ぶことになるので不可。

144 『付帯状況』を表す分詞構文
▶ 分詞構文ではこの用法が最も多い。次の2種類がある。
(1) 同時状況「～しながら」—— 接続詞を用いて書き換えられない。
He had breakfast, **reading** the newspaper.
(彼は新聞を読みながら朝食をとった)
(2) 動作の連続「～して，そして (…する)」〔主節の動作の前〕
「(…して，) そして～する」〔主節の動作の後〕
This bus starts soon, **arriving** (= and arrives) at Kyoto at noon.
(このバスはまもなく出発し，京都に正午に着きます)
〈語句〉 set to ～「(仕事) に取りかかる」(➲ 1024)

Theme 41

□□□ **145** 頻出
(　　) his money, John was not able to pay for lunch.
① Have lost　② Having lost　③ He lost　④ Lost　(南山大)

□□□ **146** 頻出
As I did not know what to say, I remained silent.
① Knowing nothing　② Not knowing
③ Not known　④ Any knowing　(東海大)

Theme 42

□□□ **147** 頻出
(　　) from the front, the building looks like an old Japanese castle.
① To see　② Seeing　③ Saw　④ Seen　(札幌学院大)

□□□ **148** 頻出
彼の絵と比較すると，あなたの絵はより色彩豊かです。
(　　) to his picture, your picture is more colorful.　(愛知学院大)

Theme 43

□□□ **149** 頻出
(　　) a rainy day, we had to postpone our departure until the next day.
① Being　② Having been　③ It being　④ It was　(玉川大)

□□□ **150**
天気が良ければテニスをするつもりです。
Weather (　　), we will play tennis.　(明治薬科大)

□□□ **151** 頻出
All things (　　), there is no doubt about it.　(関西学院大)
① considering　② considered　③ consideration　④ consider

□□□ **152** 頻出 発展
地下鉄には空席がなかったので，私はずっと立ちっぱなしだった。
There (kept on / vacant seats / on / no / the subway, / being / I) standing.　(東洋大)

145 (②) お金をなくしてしまったので，ジョンは昼食代を支払えなかった。
146 (②) 何と言ったらよいのかわからなかったので，私は黙っていた。
147 (④) 正面から見ると，その建物は古い日本の城のように見える。
148 (Compared)
149 (③) 雨降りの日だったので，私たちは次の日まで出発を延ばさなければならなかった。
150 (permitting)
151 (②) あらゆることを考えてみると，それに間違いない。
152 There (being no vacant seats on the subway, I kept on) standing.

Theme 41 分詞構文の完了形 & 否定形

145 分詞構文の完了形 ―― **having *done***
▶ 完了形の分詞構文は主節の動詞の表す時よりも前のことを表す。
▶ ジョンが「お金をなくした」のは「昼食代を支払えなかった」時よりも前のこと。時間のずれがあるので，完了形の ② Having lost が正解。

146 分詞構文の否定形 ―― **not *doing***
▶ 分詞構文を否定する not や never は分詞の直前に置く。

Theme 42 受動態の分詞構文

分詞構文の中では頻出の形。日本語の「～すると」にまどわされて現在分詞を選ばないように。名詞修飾の分詞と同様，分詞構文の場合でも，文の主語と分詞の関係が，能動なら現在分詞（*doing*），受動なら過去分詞（*done*）になる。

147 受動態の分詞構文 ―― 基本形（**being**）***done***
▶ 受動態（be *done* / have been *done*）を分詞構文にすると，**being *done*** / **having been *done*** という形になる。分詞構文では being, having been を省略できるので，受動態の分詞構文は時制にかかわらず過去分詞で始まることが多い。
▶ 文の主語 the building と see の間に，「建物が見られる」という受動関係があるので，being を省略した ④ Seen が正解。

148 **compared with［to］A**「A と比べると」―― イディオム化した受動態の分詞構文
▶「あなたの絵が比べられる」という受動関係があるので Compared を入れる。
〈語句〉 **compare A with［to］B**「A を B と比較する」は重要表現。
＊ 本問では to だが，with のほうがよく使われる。

Theme 43 独立分詞構文

149 独立分詞構文 ―― 基本形
▶ 分詞の意味上の主語が文の主語と異なる場合は，通常，意味上の主語を分詞の前に置く。この形を独立分詞構文という。本問では，③ It being が正解。It は天気や日時を述べる文の主語になる it で，分詞の意味上の主語になっている。
〈選択肢〉 ① や ② では分詞の意味上の主語が文の主語である we になるので不可。

150 **weather permitting**「天候が許せば / 天気が良ければ」
（＝ **if the weather permits / if it is fine**）
▶ 慣用的によく使われる独立分詞構文。

151 **all things considered**「あらゆることを考えてみると」
（＝ **taking all things［everything］into consideration**）
▶ all things being considered の being が省略された受動態の独立分詞構文の形。イディオムとして覚えよう。

152 **There being A** ～ の形
▶ There be A「A がある」の分詞構文は There を残し，There being A となる。

Theme 44

□ 153 To be frank with you, I don't want to join the party.
= (　　) speaking, I don't want to join the party. (福山大)

□ 154 (　　) from her appearance, I thought her a cabin attendant.
① Judging ② Considering ③ Looking ④ Judged (九州国際大)

□ 155 発展 (　　) the fact that I was tired, I managed to play the piano pretty well.
① Considered ② Given ③ Providing ④ Thinking (立教大)

Theme 45

□ 156 頻出 She stood there, with tears (　　) down her cheeks.
① run ② ran ③ running ④ were running (玉川大)

□ 157 頻出 He lay on the sofa with his (　　) and soon fell asleep.
① arms folded ② arms folding
③ fold arms ④ folding arms (センター)

Power Up! 27 慣用的な分詞構文

□ **frankly** [**generally** / **strictly** / **roughly**] **speaking** (➲ 153)
「率直に［一般的に / 厳密に / おおざっぱに］言うと」

□ **speaking** [**talking**] **of** ～「～と言えば」
Speaking of digital cameras, what would you recommend?
(デジタルカメラと言えば，何がおすすめですか) (宮崎大)

□ **judging from** ～「～から判断すると」(➲ 154)

□ **considering** ～ 「～のわりには (= for) / ～を考えると」

□ **given** ～ 「～を考慮に入れると / ～と仮定すると (= if)」(➲ 155)

□ **seeing that** ～ 「～ということを見れば / ～だから (= since)」
Seeing that it is 7 o'clock, you should leave for school soon.
(7時だから，すぐに登校すべきです) (清泉女子大)

□ **providing** [**provided**] (**that**) ～「もし～ならば」(= if) (➲ 441)

153 (Frankly) 率直に言うと，私はそのパーティーに参加したくない。
154 (①) 身なりから判断して，私は彼女を客室乗務員だと思った。
155 (②) 疲れていたという事実を考慮すれば，私はなんとかかなり上手にピアノを弾いた。
156 (③) ほおに涙を流しながら，彼女はそこに立っていた。
157 (①) 彼は腕を組んでソファーに横たわっていたが，すぐに寝入ってしまった。

Theme 44 慣用的な分詞構文

分詞の意味上の主語が we / you / one など一般の人々の場合，文の主語と異なっていても慣用上省略される。

153 **frankly speaking**「率直に言うと」
(= **to be frank with you** ➲ Power Up! 24)
▶ frankly speaking は副詞の働きをしている。

154 **judging from** ～「～から判断すると」
▶ judging from は前置詞の働きをしている。

155 **given** ～「～を考慮に入れると」(= **considering**)
▶ given は前置詞の働きをしている。
選択肢 ① は Considering であれば可。③ Providing「もし～ならば」(➲ 441)
語句 manage to *do*「なんとか［どうにか］～する」(➲ 501)

Theme 45 with + A (名詞) + 分詞

156 **with tears running**「涙を流して」
▶「with + A (名詞) + 現在分詞」の形で付帯状況を表している。tears と run の間に「涙が流れる」という能動関係があるので現在分詞の ③ running が正解。

157 **with his arms folded**「腕を組んで / 腕組みをして」
▶「with + A (名詞) + 過去分詞」の形で付帯状況を表している。his arms と fold の間に「腕が組まれる」という受動関係があるので，過去分詞の ① arms folded が正解。
語句 fall asleep「寝入る」(➲ 634)

Power Up! 28 with + A (名詞) + 分詞

「**with** + **A** (名詞) + 分詞」の形で「A を～ (の状態に) して［しながら］」という意味を表す。このような表現を『付帯状況の **with** 構文』という。
A と分詞の関係が能動なら現在分詞 (*doing*)，受動なら過去分詞 (*done*) を用いる。
入試では，「with + A + 過去分詞 (*done*)」の出題が多い。

発展 with の導く句は本来，文中で動詞を修飾する副詞句の働きをするが，形容詞句として直前の名詞を修飾する場合がある。
I saw a horse **with** its tail **cut** short.〔cut は過去分詞〕
(私はしっぽを短く切った馬を見た)

プラスα 分詞の代わりに形容詞，副詞，場所を示す句などを用いて付帯状況を表すこともある。(➲ Theme 179)
with your mouth **full**「口に食べ物をほおばって」〔形容詞〕
with her socks **on**「靴下をはいて［はいたまま］」〔副詞〕
with tears **in her eyes**「目に涙を浮かべて」〔場所を示す句〕

第7章 仮定法

Theme 46

□□□ 頻出 **158** If I (　　　) you, I would apologize to her immediately.
① am　② were　③ had been　④ would be （桃山学院大）

□□□ 頻出 **159** If I had a lot of money, I (　　　) abroad.
① could go　② will go　③ am going　④ can go （拓殖大）

□□□ 頻出 **160** It is time you (　　　) to study.
① begin　② began　③ will begin　④ had begun （東洋大）

Theme 47

□□□ 頻出 **161** If I (　　　) at the station five minutes earlier, I could have caught the train. （南山大）
① arrived　② had arrived　③ have arrived　④ have been arriving

□□□ 超頻 **162** If I had known you were already here waiting, I (　　　) earlier.
① could not come　② would have come
③ should not come　④ had come （慶應大）

□□□ 頻出 **163** If I (　　　) the seminar last year, I would be able to speak English more fluently now.
① had attended　② have attended
③ should have attended　④ were attending （立教大）

Power Up! 29 直説法か仮定法かの識別

問題 If it (　　　) raining soon, shall we go out for a walk?
① stopped　② stops　③ will stop　④ would stop （センター）

解説 「もし雨がやむなら」のように，実際に「ありそうなこと」は，仮定法ではなく「事実をそのまま」述べる直説法で表す。よって，② stops が正解。この stops は，『条件』を表す副詞節中で未来のことを表す現在形。（➲ Theme 7）

答えと和訳 ②　もしもうすぐ雨がやんだら，散歩に行きましょうか。

158 （②） もし私があなただったら，すぐ彼女に謝るだろう。
159 （①） もしお金がたくさんあったら外国に行けるのだが。
160 （②） あなたはもう勉強する時間ですよ。
161 （②） 5分早く駅に着いていたら，その電車に間に合っていただろう。
162 （②） あなたがもうここに来て待っているとわかっていたら，もっと早く来ただろうに。
163 （①） 去年そのゼミに出席していたら，今ごろはもっと流暢に英語が話せているだろうに。

Theme 46 仮定法過去

基本形 **If + S + 過去形～, S' + 助動詞の過去形 + 原形 ...**
「もし(今)～なら，…だろう(に)」と，現在の事実に反することや可能性の低いことを仮定・想像する構文。過去形の動詞を使うので，『仮定法過去』と呼ばれるが，表している内容は現在のことである。

158 仮定法過去 ── **if** 節の形
▶ 主節の would apologize に注目して，仮定法過去だと判断する。仮定法過去の if 節は過去形なので，② were を選ぶ。
▶ if 節中の be 動詞は，主語の人称や数に関係なく were を使うのが原則。〔口語では主語が単数なら was を使ってもよい〕

159 仮定法過去 ── 主節の形
▶ if 節の動詞が過去形なので，主節は「助動詞の過去形 ＋ 原形」になる。

160 **It is time** ＋ **S** ＋ 仮定法過去
「(まだ～していないが) **S** はもう～してよいころだ」
▶ 本問 ＝ It is time for you to study.
〈補 足〉 time の前に high「とっくに」や about「そろそろ」がつくことがある。
It is *high* **time** the children **went** to bed.
＝ It is high time for the children to go to bed.
(子供はとっくに寝る時間ですよ) （関西学院大）

Theme 47 仮定法過去完了

基本形 **If + S + had *done* ～, S' + 助動詞の過去形 + have *done* ...**
「もし(あの時)～だったら，…だっただろう(に)」と過去の事実に反することを仮定・想像する構文。入試では仮定法過去完了に関する出題が最も多い。

161 仮定法過去完了 ── **if** 節の形
▶ 主節の could have caught に注目して，仮定法過去完了だと判断する。仮定法過去完了の if 節は過去完了形なので，② had arrived が正解。

162 仮定法過去完了 ── 主節の形
▶ if 節の動詞が過去完了形なので，主節は「助動詞の過去形 + have *done*」になる。

163 仮定法過去・仮定法過去完了のミックス型
▶「もし(あの時)～だったら，(今は)…だろうに」という意味を表すには，if 節は仮定法過去完了，主節は仮定法過去という形になる。
ミックス型では問題文中の時を表す副詞要素に注目すること。
本問の場合：if 節〔last year（過去）〕── 主節〔now（現在）〕

Theme 48

□□□ **164** If you (　　　) have any questions, please let me know.
① would　② should　③ might　④ could　(県立広島大)

□□□ **165** If the average temperature were to rise by 3℃, what (　　　) to the earth?
① would happen　② would have happened
③ had to happen　④ should have happened　(岡山理科大)

Theme 49

□□□ **166** 頻出 Married men sometimes wish they (　　　) single.
① are　② were　③ have been
④ being　⑤ may be　(鹿児島経大)

□□□ **167** 発展 I can't hear him. I wish he (　　　) a little louder.
① would speak　② will speak　③ speaks　④ can speak　(南山大)

□□□ **168** I (　　　) we had reserved a table at the restaurant.
① want　② hope　③ wish　④ like　(佛教大)

□□□ **169** (　　　) I knew her telephone number.
① As to　② If only　③ If ever　④ In that　(摂南大)

□□□ **170** 発展 I'd rather you (　　　) me. I can do it all by myself.
① didn't help　② won't help
③ have not helped　④ were helping　(上智大)

---

164 (②) 万一ご質問があれば，お知らせください。
165 (①) 仮に平均気温が３度上がったら，地球はどうなるのだろうか。
166 (②) 既婚男性は独身だったらいいのになあとときどき思う。
167 (①) 彼の言うことが聞こえない。もう少し大きな声で話してくれたらよいのにと思う。
168 (③) そのレストランのテーブルを予約しておけばよかったと思う。
169 (②) 彼女の電話番号を知っていればなあ。
170 (①) 私の手助けをしないでほしい。すべてひとりでできますから。

Theme 48 should と were to を用いた仮定法

基本形 **If + S + should *do* ～,** { S' + 現在形[過去形]の助動詞 + 原形 … / 命令文

基本形 **If + S + were to *do* ～,** S' + 助動詞の過去形 + 原形 …

if 節に should や were to を用いて，「万一［仮に］～ならば［すれば］」と，未来の実現可能性が低い仮定を表す。

164 **If + S + should *do* ～「万一～ならば［すれば］」**

▶「(まあ，ないと思うが) 万一～ならば［すれば］」のニュアンス。絶対にあり得ないと思われることには用いない。

▶ 本問は主節が命令文なので，if 節は should を用いた仮定法を考える。

165 **If + S + were to *do* ～「仮に～ならば［すれば］」**

▶「(まあ) 仮に～ならば［すれば］」のニュアンス。絶対にあり得ないと思われることにも，あり得ることにも用いる。

▶ were to の場合は，主節に必ず「助動詞の過去形 + 原形」が来る。

〈語句〉 happen to ～「(よくない事などが) ～に起こる / 降りかかる」

Theme 49 『願望』を表す仮定法

166 **wish + S + 仮定法過去「S が～ならよいのに (と思う)」**

▶ 現在の事実と反対の『願望』なので，wish の後は仮定法過去。

167 **I wish + S + would ～「S が～してくれたらよいのに (と思う)」**

▶ 未来のことに対する『願望』を表す。これは，意志未来の will が仮定法過去の形 would になったもの。

168 **wish + S + 仮定法過去完了「S が～ならよかったのに (と思う)」**

▶ 過去の事実と反対の『願望』なので，wish の後は仮定法過去完了。

〈選択肢〉 ① want と ④ like は that 節を目的語にとらないので不可。② hope は that 節を目的語にとるが，節内に仮定法は用いない。

I *hope* I *can* help you. (手伝えればいいのですが)

169 **If only + S + 仮定法！「S が～ならよいのに[よかったのに](と思う)」**

▶ if 節だけで独立的に用いられることが多く，現在［過去］の事実と反対の『願望』を表す。If only ＝ I wish と考えればよい。本問は仮定法過去を用いた形。

〈比較〉 **If only** I *had left* the office ten minutes earlier!〔仮定法過去完了〕
(あと 10 分早く事務所を出ていればよかったのに) (関西学院大)

170 **would rather + S + 仮定法「(むしろ) S に～してほしい」**

▶ would rather が that 節を伴うとき，節内には仮定法を用いる。

▶「wish + 仮定法」とほぼ同意。wish の場合と同様に，that は通例省略される。**I would rather you didn't** ～「～しないでほしい」の形での出題が多い。

〈補足〉 would rather が後ろに原形や than を伴う場合に関しては **82**，**83** を参照。

Theme 50

□□□ **171** 頻出 コンピューターがなければ私たちの暮らしはもっと不便でしょう。
(it / not / but / were / for / if) computers, our lives would be much more inconvenient.〔1語不要〕 (千葉工大)

□□□ **172** 頻出 氷河時代がなかったら，恐竜は絶滅しなかったかもしれない。
If (had / been / it / for / not) the ice age, dinosaurs might not have died out. (佛教大)

□□□ **173** 頻出 If you hadn't helped me, I would not have passed the exam.
= (　　) your help, I would not have passed the exam. (中京大)

□□□ **174** 頻出 (　　) a little more effort, he would have been a member of our team.
① For　② But for　③ If any　④ With (成城大)

Theme 51

□□□ **175** 頻出 彼は何でも知っているような口のきき方をする。〔2語不要〕
He (as / everything / he / if / knew / know / talked / talks). (東京理科大)

□□□ **176** 空模様から判断すると，雪になりそうだ。
Judging from the look of the sky, (looks / as / it / it is / if / snow / to / going). (早大)

Power Up! 30 「もし～がなければ[なかったら]」の表し方

太陽がなければ，すべての生物は死んでしまうだろう。

If it were not for the sun,
= **Were it not for** the sun,
= **But for** [**Without**] the sun,
} all living things *would die.*

根気がなかったら，彼は成功できなかっただろう。

If it had not been for patience,
= **Had it not been for** patience,
= **But for** [**Without**] patience,
} he *could not have succeeded.*

---

171 (If it were not for) computers, our lives would be much more inconvenient.〔but が不要〕
172 If (it had not been for) the ice age, dinosaurs might not have died out.
173 (Without) もしあなたの助けがなければ，私は試験に受からなかっただろう。
174 (④) もう少し努力していたら，彼は私たちのチームのメンバーになっていただろう。
175 He (talks as if he knew everything).〔know / talked が不要〕
176 Judging from the look of the sky, (it looks as if it is going to snow).

Theme 50 If it were not for などの表現

171 **If it were not for** ～「もし～がなければ」
▶ 仮定法過去の慣用的な表現。

172 **If it had not been for** ～「もし～がなかったら」
▶ If it were not for ～ の仮定法過去完了の形。

173 **Without** ～
But for ～
} ①「もし～がなければ」(= **If it were not for** ～)
②「もし～がなかったら」(= **If it had not been for** ～)
▶ Without ～ が仮定の意味を表す場合，主節には仮定法を用いることがある。本問の場合は仮定法過去完了。群前置詞の but for ～ も同じ意味を表す。
本問 = **But for** [**If it had not been for**] your help, I would ....

174 **With** ～ ①「もし～があれば」 ②「もし～があったら」
▶ Without ～ と対になる表現。

Theme 51 as if [as though] + 仮定法

175 **as if** [**as though**] + 仮定法「まるで～のように」
▶「実際にはそうでないが，まるで～する［である］かのように」という意味を表すには，as if の後ろに仮定法過去を用いる。
〈注意〉 仮定法は『時制の一致』が行われないので，主節の動詞の時制が現在でも過去でも未来でも as if の後ろに来る動詞の形には変わりがない。
He talks [talked / will talk] *as if* he **knew** everything.
〈比較〉「～した［であった］かのように」の意味の時には仮定法過去完了を用いる。
He looks **as if** he *had seen* something horrible.
(彼は何か恐ろしい物を見たような顔つきをしている)

176 **as if** [**as though**] + 直説法「～のようだ」
▶ as if [as though] の後に，直説法（事実をそのまま述べるふつうの文）の動詞が続くことがある。特に「**look** [**seem** / **appear**] + **as if** [**as though**] ～」の形で多く用いられる。
Mathew looks very tired. He *looks* **as though** he *hasn't slept* for days.
(マシューはとても疲れた顔をしている。彼は何日も眠っていないように見える)（南山大）

Power Up! 31 as if の後の省略 〈発展〉

as if の後の「S + V」が省略されて，副詞句 / to 不定詞 / 分詞が続くことも多い。
He looked at me **as if** (he wanted) *to ask* something.
(彼は何か聞きたそうな目で私を見た)
There she sat **as if** (she had been) *paralyzed* by his words.
(彼女は彼の言葉に金しばりにあったように座っていた)

Theme 52

□□□ **177** 頻出 (　　　) I a rich man, I would buy the house.
① If　② Were　③ Had　④ Was　(福岡工大)

□□□ **178** 頻出 あなたの住所を知っていたら，手紙を書くこともできたのですが。(成蹊大)
I (address / could / had / have / known / I / written / your / you).

□□□ **179** 頻出 あなたの支援がなければ，わが社は生き残れないでしょう。(九州国際大)
(for / not / were / support / your / it), our company couldn't survive.

□□□ **180** (　　　) anything happen, please let us know immediately.
① If　② Should　③ May　④ Since　(拓殖大)

Theme 53

□□□ **181** A wise man would not say such a thing in company.　(奈良大)
= (　　　) he (　　　) wise, he would not say such a thing in company.

□□□ **182** 頻出 I ran to the station. Otherwise, I (　　　) the train.
① would have missed　② would been missed
③ would miss　④ missed　(芝浦工大)

□□□ **183** 彼がフランス語で話すのを聞くと，フランス人と思うだろう。
(　　　) hear him speak in French, you would think him a Frenchman.　(名城大)

Power Up! 32 if 節の省略 〈発展〉

実際の英文では，if 節あるいは if 節に相当するものが一切なく，主節だけで文を構成している場合がある。その場合にも，助動詞の過去形が仮定法かどうかを判断する目印になる。

The town has changed a lot —— you **wouldn't** recognize it now.
(町はとても変わった。今では（もし来ても）あなたはわからないでしょう)

177　(②)　もし私が金持ちなら，その家を買うのだが。
178　I (could have written you had I known your address).
179　(Were it not for your support), our company couldn't survive.
180　(②)　万一何かあったら，すぐに知らせてください。
181　(If, were [was])　賢い人なら，人前でそんなことは言わないだろう。
182　(①)　私は駅まで走った。そうでなかったら，電車に乗りそこなっただろう。
183　(To)

Theme 52 if を省略した仮定法

仮定法における if を省略すると倒置が起こり，疑問文と同じ語順になる。ただし，主語の前に置かれるのは原則として **were / had / should** の 3 つに限られる。
×Could I fly ⬅ If I could fly　×Did I know it ⬅ If I knew it

177 **Were** [×Was] **I a rich man** ⬅ **If I were** [**was**] **a rich man**
〈選択肢〉 If I was ～ は可能だが，倒置形にはならないので ④ Was は不可。

178 **had I known** ～ ⬅ **if I had known** ～
▶ 本問のように，if を省略した条件節が主節の後に置かれ，しかも前にコンマのない場合は特に注意が必要。この形は英文読解の上でも重要。

179 **Were it not for** ～ ⬅ **If it were not for** ～
▶ If it were not for ～「もし～がなければ」の倒置形。(➲ 171)
〈比 較〉 Had it not been for ～ ⬅ If it had not been for ～ (➲ Power Up! 30)

180 **Should anything happen** ⬅ **If anything should happen**
▶ If + S + should *do* ～「万一～ならば［すれば］」の倒置形。(➲ 164)
〈選択肢〉 ① If は happen に三単現の -s がないので不可。
〈プラスα〉 If + S + were to *do* (➲ 165) の倒置形 Were S to *do* も押さえておこう。

Theme 53 if 節の代用

主語，副詞(句)，不定詞などが if 節の代わりをすることがある。特に副詞 **otherwise**「さもなければ」や **without** ～ (➲ 173) / **with** ～ (➲ 174) が重要。if 節がないので，動詞の形 (would *do* / would have *done* など) や文脈からその文が仮定法かどうかを判断する。

181 主語が **if** 節の代わりをする場合
▶ 主語 A wise man に仮定の意味が含まれている。

182 **otherwise**「さもなければ」が **if** 節の代わりをする場合
▶ 本問では Otherwise = If I had not run to the station

183 **to** 不定詞が **if** 節の代わりをする場合
▶ To hear him speak in French = If you heard him speak in French

Power Up! 33 副詞 otherwise の 3 つの意味

□ 1.「さもなければ / そうでなかったら」(= if ～ not) (➲ 182)
＊ この意味では接続詞と見ることもできる。

□ 2.「別のやり方で / 違ったふうに」(= differently)
He thinks **otherwise**. (彼はそうは考えない)

□ 3.「その他の点では」(= in other ways [respects])
This car is a little old, but **otherwise** it is fine. (中部大)
(この車は少し古いが，その他の点ではすばらしい)

第8章 比較

Theme 54

□ **184** Her English is as good as (　　　).
□ 基本
□ ① he　② he's　③ him　④ his　（京都産業大）

□ **185** 英国の気候は日本ほど温暖ではない。（拓殖大）
□ 基本
□ The climate of England is (as / of / mild / not / that / so) Japan.

Theme 55

□ **186** 彼の農場は私のところの2倍以上の大きさがあり，さまざまな作物を
□ 頻出 栽培している。〔1語不要〕
□ His farm is (large / twice / than / as / times / more) as mine and grows a wider variety of crops.（成蹊大）

□ **187** 彼は，私がかつて持っていたよりも3倍の本をもっている。
□ 頻出
□ He has (as / as I / books / many / three times / used) to.（近畿大）

□ **188** 新しい競技場は古いものよりも3倍くらい大きい。
□ 発展
□ The new stadium (about / is / of / size / the / three / times) the old one.（立命館大）

Power Up! 35　(倍数 +) the + 名詞 + of ～

□「**the** + 名詞 + **of**」は「**as** + 形容詞 + **as**」とほぼ同じ意味。

Britain is about **the size of** Japan.
= Britain is about **as large as** Japan.
（英国は日本とほぼ同じ大きさです）（立正大）

This is ten times **the size** [**length** / **width** / **height** / **number**] **of** that.
= This is ten times **as large** [**long** / **wide** / **high** / **many**] **as** that.
（これは大きさ［長さ / 幅 / 高さ / 数］があれの10倍ある）

184　(④)　彼女の英語は彼と同じくらいすばらしい。
185　The climate of England is (not so mild as that of) Japan.
186　His farm is (more than twice as large) as mine and grows a wider variety of crops. 〔times が不要〕
187　He has (three times as many books as I used) to.
188　The new stadium (is about three times the size of) the old one.

Theme 54 原級比較の基本

184　**as** + 原級 + **as** …「…と同じぐらい～」

▶ 英語の比較では「何」と「何」が比較されているかを明確にすることが大切。『比較の対象』は必ず同種類のものなので，Her English と文法上・意味上対等な所有代名詞（mine / yours など）の ④ his（= his English）が正解。

〈注意〉後ろの as〔接続詞〕以下の省略形に注意。本問は主語の his だけが残った場合。Her English is as good as his is. と is も残せるが，good は繰り返せないので必ず省略する。… as good as his (is) ×good.

185　**not as** [**so**] + 原級 + **as** …「…ほど～ではない」(= **less** + 原級 + **than** …)

▶ as + 原級 + as … の否定形。so より as のほうが口語的。

▶「英国の気候」と「日本の気候」の比較なので，as の後の『比較の対象』は，that of Japan になる。この that は前に出た名詞の繰り返しを避けるための代名詞の that（= the climate）。(➲ 303)

▶ not as [so] + 原級 + as … は比較表現 **less** + 原級 + **than** … と同意。(➲ 206)

本問 = The climate of England is **less** *mild* **than** that of Japan.

Theme 55 倍数の表し方

186　**twice as** + 原級 + **as** …「…の2倍～」

▶「…のX倍～」は X times as + 原級 + as … の形で表す。ただし，「2倍」は X times の代わりに twice を，「半分」は half を，「4分の1」は a quarter を使う。

〈発展〉**X times** + 比較級 + **than** … も同じ意味を表すが，twice [half] + 比較級 + than … は不可。*cf.* His farm is *three times* (×twice) *larger than* mine.

187　**X times as** + **many** 複数名詞 + **as** …「…の **X** 倍の(数の)名詞」

▶ many / much / few / little などの数量形容詞は，後ろから名詞を修飾できないので，as many books as の語順になる点に注意。×books as many as

〈比較〉X times as + much 単数名詞 + as …「…の X 倍の(量の)名詞」

People today are using **six times as much water as** 100 years ago.
（今日の人々は100年前の6倍の水を使っている）（東洋大）
＊ as 節は「主語＋動詞」が省略。as (they were using) 100 years ago

188　**X times the size of** …「…の **X** 倍の大きさ」

▶「the + 名詞 + of」の形を用いて倍数を表現することもできる。

本問 = The new stadium is about three times as large as the old one.

Power Up! 34　倍数の表し方

□ **one-third** [**two-thirds**] **as** + 原級 + **as** …	「…の3分の1［3分の2］～」
□ **half as** + 原級 + **as** …	「…の半分～」
□ **one and a half times as** + 原級 + **as** …	「…の1.5倍～」
□ **twice as** + 原級 + **as** …	「…の2倍～」(➲ 186)
□ **X times as** + 原級 + **as** …	「…の X［3以上］倍～」

Theme 56

□□□ **189** 基本 頻出 彼女はなるべく早く家に帰るように言われた。
She (as / as / to / told / go / was / soon / home) possible. (東洋大)

□□□ **190** 基本 頻出 Susan read the book ( ).
① as carefully as she can ② as carefully as she could
③ as she can as carefully ④ as she could as carefully (金城学院大)

□□□ **191** 頻出 He works hard ( ) for his own success as for his employees' welfare. (慶應大)
① so as not ② still watching ③ as opposed ④ not so much

□□□ **192** He cannot so ( ) as sign his own name.
① more ② far ③ much ④ many (中央大)

□□□ **193** ヘンリーはさようならも言わずに部屋を出て行った。
Henry (as / good-bye / left / room / much / saying / so / the / to / without) us. (青山学院大)

□□□ **194** 頻出 She as well as I ( ) tired of the work.
① am ② is ③ are ④ be (愛知工大)

□□□ **195** The man who stops learning is as ( ) as dead.
① much ② good ③ soon ④ far (センター)

□□□ **196** There were ten accidents in ten days.
= There were ten accidents in ( ) days.
① all ② as many ③ like so many ④ the same (実践女子大)

……

189 She (was told to go home as soon as) possible.
190 (②) スーザンはその本をできるだけ注意して読んだ。
191 (④) 彼は自分の成功のためというよりはむしろ，従業員の幸福のために一生懸命に働いている。
192 (③) 彼は自分の名前を署名することさえできない。
193 Henry (left the room without so much as saying good-bye to) us.
194 (②) 私だけでなく彼女もその仕事にあきている。
195 (②) 学ぶことをやめる人間は，死んだも同然だ。
196 (②) 10 日間に 10 件の事故があった。

Theme 56 原級を用いた慣用表現

189 **as** + 原級 + **as possible**「できるだけ～」(= **as** + 原級 + **as *one* can**)
▶ 本問 = She was told to go home as soon as she could.

190 **as** + 原級 + **as *one* can**「できるだけ～」(= **as** + 原級 + **as possible**)
▶ 過去時制のとき，can は could になる。本問の read は過去形なので，② as carefully as she could が正解。
▶ 本問 = Susan read the book as carefully as possible.

191 **not so much A as B**「A というよりはむしろ B」(= **B rather than A**)
▶ rather than で書き換えると，A と B が逆になることに注意。
本問 = He works hard *for his employees' welfare* **rather than** *for his own success.*
〈語 句〉 employee「従業員 / 使用人」⇔ employer「雇い主」
welfare「(健康・生活の快適さなどが満たされた) 幸福 / 福祉」

192 **not so much as *do***「～さえしない」(= **not even *do***)
〈比 較〉 not so much A as B と混同しないように。

193 **without so much as *doing***「～さえしないで」(= **without even *doing***)
▶ without *doing*「～しないで」と not so much as *do* を組み合わせた表現。

194 **A as well as B**「B と同様に A も」(= **not only B but also A**)
▶ 主語として用いる場合，動詞は A に一致させるのが原則なので，正解は ② is。
▶ 本問 = Not only I but (also) she *is* tired of the work.

195 **as good as** ～「(ほとんど) ～も同様 [同然]」(= **all but / almost**)
▶ 通例，形容詞・副詞・動詞の前で用いられる。本問の場合は形容詞 dead の前。
〈発 展〉 **be as good as *one's* word** [**promise**]「必ず約束を守る」も押さえておこう。
He **is** always **as good as his word**.
= He always keeps his promise.
(彼はいつも約束を守る) (青山学院大)

196 **as many** ～〔先行する数詞を受けて〕「(それと) 同数の～」
〈比 較〉「(それと) 同量の～」は **as much** ～。
She mixed *two cups of* flour with **as much** water.
(彼女はカップ 2 杯の小麦粉を同量の水と混ぜた)
〈選択肢〉 ③ like so many ～は「さながら (同じ数の) ～のように」の意味。
The boys were swimming in the pond **like so many** frogs.
(少年たちは，さながらカエルのように池で泳いでいた) (東海大)

Theme 57

□□□ **197** (　　　) 20 flights were cancelled due to the heavy storm. (関西学院大)
頻出
① As long as　② As many as　③ As much as　④ As soon as

□□□ **198** In Japan, a beautiful city was built as (　　　) as the eighth century.
① far　② long　③ early　④ late (常葉学園浜松大)

□□□ **199** "That earthquake in Mexico happened a long time ago, didn't it?"
"No, it was (　　　) last year." (センター)
① as early as　② as recently as　③ early as　④ recently as

Theme 58

□□□ **200** He is (　　　) as any.
① such a great scholar　② so great a scholar
③ as great a scholar　④ as a great scholar (龍谷大)

□□□ **201** He is as excellent an artist as (　　　) lived.
① any　② ever　③ never　④ some (聖徳大)

Power Up! 36 強調の as ～ as

as と as の間にいろいろな形容詞または副詞を入れて，後に続く語句（主に数値を含む語句）を強調することができる。

- □ as **many** as ～　「(数を強調して) ～も（多くの）」(➲ 197)
- □ as **much** as ～　「(量を強調して) ～も（多くの）」
- □ as **early** as ～　「(時期の早さを強調して) 早くも～には」(➲ 198)
- □ as **late** as ～　「(時期の遅さを強調して) つい～（ほど最近に）」
- □ as **recently** as ～「(最近を強調して) つい～（ほど最近に）」(➲ 199)
- □ as **often** as ～　「(頻度を強調して) ～回も」
  as often as *five times* a day「一日5回も」
- □ as **long** as ～　「(時間の長さを強調して) ～も」
  He has been ill in bed **as long as** *three years.*
  (彼は3年もの間病気で寝ている)

---

197 (②) ひどい嵐のために，20便も欠航になった。
198 (③) 日本では早くも8世紀にみごとな都市が造られていた。
199 (②) 「あのメキシコの地震が起こったのはずいぶん前のことだよね」
「いや，つい去年のことだよ」
200 (③) 彼はどんな学者にも劣らず偉大な学者だ。
201 (②) 彼は今までに例を見ないほど優れた芸術家である。

Theme 57 強調の as ～ as

as ～ as には，後に続く語句（主に数値を含む語句）を強調する用法がある。
She can speak **as many as** *six languages* very well.
(彼女は6つもの言語をとても上手に話すことができる)

197 **as many as** ～「～も（多くの）」
▶ as many as ～ は『数』の多さを強調する表現。
〈比較〉**as much as** ～「～も（多くの）」は『量』の多さを強調する表現。
Those employees are paid **as much as** *ten thousand yen* per hour.
(あの従業員たちは時給1万円ももらっている)(法政大)
〈語句〉due to ～「～のために／～が原因で」(➲ 1279)

198 **as early as** ～「早くも～には」
▶ as early as ～ は『時期の早さ』を強調する表現。
〈補足〉『時期の遅さ』を強調する表現 **as late as** ～「つい～（ほど最近に）」も押さえよう。
I saw him **as late as** last month.（彼にはつい先月会ったばかりです）

199 **as recently as** ～「つい～（ほど最近に）」
▶ as recently as ～ は『最近』ということを強調する表現。

Theme 58 最上級に近い意味を表す原級表現

200 **as** + 原級 + **as any**（+単数名詞）「どの…にも劣らず～」
▶ 実質的には最上級に近い意味を表す。
〈注意〉as great a scholar の語順に注意。as は副詞なので，相性の良い形容詞とくっついて，「as + 形容詞 + a [an] + 名詞」の語順になる。
(➲ Power Up! 137)

201 **as** + 原級 + **as ever** + 動詞
「これまで…したどれにも劣らず～／今までに（例を見）ないほど～」
▶ as + 原級 + as ever lived の形で用いられることが多い。
▶ as + 原級 + as any（+単数名詞）の変種であると考えると理解しやすい。
本問 ⬅ He is as excellent an artist as (any artist that) ever lived.
〈比較〉**as** + 原級 + **as ever**「相変わらず～」と混同しないように。
My father is **as strict as ever**.
(私の父は相変わらず厳格だ)(西南学院大)

Theme 59

□□□ **202** 基本 頻出 The Amazon is (　　　) than the Mississippi.
① the longest　② as long　③ more longer　④ much longer　(拓殖大)

□□□ **203** 頻出 I think eating at home is often (　　　) more economical than eating at a restaurant.
① far　② high　③ too　④ very　(センター)

□□□ **204** There are (　　　) more ways of doing this than you might imagine.
① any　② little　③ many　④ much　(日本大)

□□□ **205** The (　　　) half of this book is more interesting than the former half.
① late　② later　③ latter　④ lately　(帝京大)

□□□ **206** She is not as happy as she used to be.
= She is (　　　) happy than she used to be.　(中京大)

Power Up! 38 不規則変化する形容詞・副詞

原級		比較級	最上級
good **well**	よい 元気な／よく	**better**	**best**
bad **ill** **badly**	悪い 病気の ひどく	**worse**	**worst**
many **much**	多数の 多量の	**more**	**most**
little	少量の／少し（は）	**less**	**least**
late	〔時間〕遅い／遅く 〔順序〕後の／後で	**later** **latter**	**latest** **last**
far	〔距離〕遠い／遠く 〔程度〕はるかに	**farther** **further**	**farthest** **furthest**
old	〔年齢〕年とった 〔長幼〕年上の	**older** **elder**	**oldest** **eldest**

202　（④）　アマゾン川はミシシッピ川よりずっと長い。
203　（①）　家で食べるほうがレストランで食べるよりも多くの場合ずっと経済的だと思う。
204　（③）　あなたが想像しているよりこれをする方法はずっと多くある。
205　（③）　この本の後半は前半よりも面白い。
206　（less）　彼女は以前ほど幸せではない。

Theme 59 比較級の基本と強調

202　much + 比較級 + **than** …「…よりもずっと～」
▶ than があるので比較級 longer を選ぶ。比較級を強める語は very や more ではなく much なので正解は ④ much longer。

203　far + 比較級 + **than** …「…よりもはるかに～ / …よりもずっと～」
▶ far も比較級を強める語。much よりも強意的。
〈語句〉economical「経済的な」*cf.* economic「経済の」(➲ Power Up! 186)

204　many more + 複数名詞 + **than** …「…よりずっと多くの～」
▶ 比較級の強調には much を用いるのがふつうだが,「数がずっと多い」の意味では, much more ～ ではなく, many more ～ の形をとる。(「much + 複数名詞」の形を嫌うため) many の代わりに far や a lot も可。
many [far / a lot] more cars「ずっと多くの車」
cf. two [a few] more cars「さらに車 2 台 [数台]」
〈比較〉「量がずっと多い」の意では,「much more + 不可算名詞」の形になる。
much more oil「ずっと多くの石油」

205　the latter「後半の / 後者の」⇔ **the former**「前半の / 前者の」
▶ late は 2 通りの比較変化をする語。(➲ Power Up! 38)
本問では,「(順序が) 後の」の意味なので, ③ latter を選ぶ。
〈プラスα〉the latter「後者」⇔ the former「前者」のように名詞としても使われる。
〈選択肢〉① the late「最近死んだ～ / 故～」, ④ lately「最近」(= of late)

206　less + 原級 + **than** …「…ほど～ではない (⬅ …よりも～の程度が少ない)」
▶ less + 原級 + than … は, not as [so] + 原級 + as … とほぼ同じ意味。やや堅い表現なので口語ではあまり使われない。

Power Up! 37 比較の差を表す形

比較級の前にさまざまな語句を置いて，差がどの程度あるかを表す。

(1) 差をばく然と表す場合
- □ **much** / (**by**) **far** / **a lot** + 比較級「ずっと～ / はるかに～」
- □ **even** / **still** + 比較級「さらに～ / いっそう～」
- □ **a little** / **a bit** + 比較級「少し～」

She is **much** [**a little**] ***taller*** than her mother.
(彼女は母親よりずっと [少し] 背が高い)

(2) 差を明確に表す場合（具体的な数値を含む語句を比較級の前に置く）
- □ **two years** / **5 centimeters** など + 比較級「2 年～ / 5 センチ～」

She is **5 centimeters *taller*** than her mother.〔ふつうの言い方〕
= She is ***taller*** than her mother **by 5 centimeters**.〔差を強調する言い方〕
(彼女は母親より 5 センチ背が高い)

□□□ **207** I think my girlfriend is (　　　) than beautiful.
① cuter　② more cute　③ more cuter　④ cute　（県立広島大）

□□□ **208** 頻出 I can't play the piano, (　　　) the violin.　（法政大）
① much more　② the more　③ not in the least　④ much less

□□□ **209** 頻出 そんな二束三文のがらくたに大金をつぎ込むようなことはすべきでない。
You ought to (than / to / know / no / spend / better) lots of money on such worthless junk. ［1 語不要］　（成蹊大）

□□□ **210** 私たちの日常生活はますます忙しくなってきた。　（名古屋市立大）
(busier / become / lives / and / daily / busier / our / have).

□□□ **211** 頻出 A : Is Satoko still writing her research paper?
B : Well, I think she's (　　　) finished it.
① now and then　② one after another
③ more or less　④ one by one　（センター）

□□□ **212** Sooner or later he'll see what is right and wrong.　（駒澤大）
① At one time　② On time　③ Behind time　④ In time

□□□ **213** 頻出 A space trip is (　　　) just a fantastic dream.
① any longer　② before long　③ no longer　④ so long　（金沢工大）

......

207 (②) 私の彼女はきれいというよりもかわいいと思う。
208 (④) 私はピアノを弾けない。ましてバイオリンを弾くことなどできない。
209 You ought to (know better than to spend) lots of money on such worthless junk. ［no が不要］
210 (Our daily lives have become busier and busier).
211 (③) A：サトコはまだ研究論文を書いていますか。
B：うーん，だいたい終わっていると思うよ。
212 (④) 遅かれ早かれ，彼にも善悪がわかるようになるだろう。
213 (③) 宇宙旅行はもはやただの途方もない夢ではない。

Theme 60 比較級を用いた重要表現

207 **more A than B**「B よりは（むしろ）A」
(= **A rather than B / not so much B as A**)
▶ 同じ人［物］の異なる性質などを比べる場合，通常は -er をつけて比較級を作る形容詞でも，「more A（原級）than B（原級）」の形を用いる。
〈選択肢〉① cuter では，than 以下に比較の対象となる「人」が来なければならないので不可。She is *cuter* than *her sister* (×beautiful).

208 否定文＋, **much［still］less** ～「まして［なおさら］～でない」(= **let alone**)
▶ much / still（比較級の強調）＋ less（否定で訳す）➡「まして～でない」
〈プラスα〉「～」には名詞だけでなく，動詞も置かれる。
I cannot afford to rent a house like that, **much less** *buy* it.（専修大）
（私はあのような家を借りる余裕がない。まして買うことなどできない）
〈選択肢〉① much more「まして～である」は肯定文に続けるので不可。much［still］more は現在ではほとんど用いられない。to say nothing of ～「～は言うまでもなく」(➲ 104) などを用いる。

209 **know better (than to *do*)**「(～するほど) 愚かではない／(～しないだけの) 分別がある」(= **be wise［sensible］enough not to *do***)
▶ 文脈上明らかな場合は than 以下が省略されることもある。
You should **have known better**.
（君はもっと分別を持つべきだったのに）(➲ 69)

210 比較級 + **and** + 比較級「ますます～／だんだん～」
▶ more を用いる比較級の場合，「more and more + 原級」になる。
The air pollution became **more and more serious**.
（大気汚染がますます深刻なものになった）
〈プラスα〉「**more and more** + 名詞」の表現も重要。
More and more people are choosing to live alone.
（ますます多くの人が 1 人で暮らすようになっている）（中部大）

211 **more or less**「多かれ少なかれ／だいたい」
〈選択肢〉① now and then「ときどき」(➲ 1181)，② one after another「次々に」(➲ 318)，④ one by one「1 つずつ」(➲ Power Up! 202) はどれも文意に合わない。

212 **sooner or later**「遅かれ早かれ」
▶ ④ in time「やがて」(➲ 1247) がほぼ同じ意味。
〈選択肢〉① at one time「昔は／かつては」，② on time「時間通りに／定刻に」(➲ 1248)，③ behind time「定刻に遅れて」

213 **no longer** ～「もはや～でない」(= **not ～ any longer**)
▶ 本問 = A space trip is not just a fantastic dream any longer.
〈選択肢〉② before long「まもなく／すぐに」(➲ 1220)

Theme 61

□□□ **214** 頻出 この絵は見れば見るほど魅力的です。 （札幌大）
The (more / look / the more / at / this picture, / looks / attractive / it / I).

□□□ **215** 私は彼女に弱点があるので，よりいっそう好きだ。
I like her all (weak / the / points / for / better / her). （関西学院大）

□□□ **216** 発展 彼は金持ちだが，ちっとも幸せではない。 （学習院大）
He is a rich man but is (　　) (　　) happier for his wealth.

□□□ **217** 頻出 Lucy wanted (　　　) of the two boxes. （青山学院大）
① a larger　② largest　③ the larger　④ a largest

Theme 62

□□□ **218** 頻出 His paper is superior (　　　).
① than mine　② to mine　③ than me　④ to me （東海大）

□□□ **219** このワインはあのワインより味が劣っている。
This wine is inferior (　　　) that in flavor.
① bad　② by　③ than　④ to （姫路獨協大）

□□□ **220** 頻出 I (　　　) reading books at home to going out on rainy days.
① prefer　② like　③ want　④ hope （摂南大）

Power Up! 39 ラテン系比較級

□ **be superior to** ～　「～より優れている」（➲ 218）
⇔ □ **be inferior to** ～「～より劣っている」（➲ 219）
□ **be senior to** ～　「～より年上である」
⇔ □ **be junior to** ～　「～より年下である」
He **is** three years **senior** [**junior**] **to** me.
= He is three years older [younger] than I.
（彼は私よりも３歳年上［下］だ）（四天王寺国際仏教大）
□ **prefer A to B**　「B より A を好む」（= like A better than B）（➲ 220）
□ **be preferable to** ～「～より望ましい」

214 The (more I look at this picture, the more attractive it looks).
215 I like her all (the better for her weak points).　**216** (none, the)
217 (③) ルーシーは２つの箱のうち大きいほうを欲しいと思った。
218 (②) 彼のレポートは私のレポートより優れている。　**219** (④)
220 (①) 私は雨の日には出かけるよりも家で本を読みたい。

Theme 61 比較級なのに例外的に the がつく表現

214 **the** + 比較級 ～，**the** + 比較級 ...「～すればするほど，ますます…」
▶ 前の「the + 比較級 ～」が従属節で，後の「the + 比較級 ...」が主節である。本問の場合，主節を ˣthe more it looks attractive としないように。もとの文 it looks attractive の形容詞 attractive を比較級にして the をつけて主節の頭に置く。

215 (**all**) **the** + 比較級 + 理由文句「～のためにそれだけますます…」
▶ all は強意の副詞。省略されることもあるので注意。
▶ 理由文句には「for + 名詞」や because 節などが用いられる。
本問 = I like her all the better *because* she has weak points.
▶ like には better，love には more を用いることが多い。
cf. I love her all the *more* for her weak points.

216 **none the** + 比較級 + 理由文句「～だからといって少しも…でない」
▶ 215 の否定形と考えればよい。
▶ **none the less for** ～「～があってもやはり」はこの形を使った重要イディオム。none と less で二重否定（強い肯定）になっている。（➲ Theme 76）
I love him **none the less for** his faults.
（彼には欠点があるがやはり私は彼が大好きだ）（千葉商大）

217 **the** + 比較級 + **of the two**（+ 複数名詞）「2つ［2人］のうちで～のほう」
▶ of the two「2つのうち」で「より～のほう」は1つに特定されるので the が必要。

Theme 62 than ではなく to を用いる比較級表現

比較級でも than ではなく to を用いる形容詞がある。ラテン語が語源なので，ラテン系比較級と呼ばれている。注意すべきは，to の後ろに代名詞が来る場合は必ず目的格になること。「私よりも」➡ than I [me] / to me [ˣI]
prefer とその形容詞形 preferable「より望ましい」にも to を用いる。

218 **be superior to** ～「～より優れている」（= **be better than** ～）
▶ 比較の対象は my paper なので ④ to me は不可。mine = my paper なので ② to mine が正解。

219 **be inferior to** ～「～より劣っている」（= **be not as good as** ～）
プラスα 218，219 ともに，しばしば後ろに in ...「…の点で」が続く。

220 **prefer A to B**「B よりも A を好む」（= **like A better than B**）
▶ ラテン語由来の動詞 prefer も比較対象に前置詞 to を用いる。
▶ A，B には名詞または動名詞が来る。本問の場合は動名詞。この形をとれるのは ① prefer のみ。
▶ 本問 = I like reading books at home better than going out on rainy days.
= I prefer to read books at home rather than (to) go out on rainy days.

Theme 63

□□□ **221** Neither Mary nor Tom can swim.
頻出 = Tom can (　　　) swim than Mary can.
① no more　② not more　③ no less　④ not less　（中央大）

□□□ **222** 私に責任がないのはあなたにないのと同じだ。
I am (any / blame / more / not / than / to) you are.　（佛教大）

□□□ **223** 私には，彼女がアインシュタインと同じくらい頭が良いように思える。
It seems to me that (Einstein / she / than / is / no / intelligent).
〔1 語不足〕（西南学院大）

□□□ **224** 宇宙全体と比べると，地球はひとつの小さな星にすぎない。
Compared with the whole universe, (more / the / than / no / is / earth) a little star.　（東邦大）

□□□ **225** He saved as much as one million yen.
= He saved no (　　　) than one million yen.　（四天王寺国際仏教大）

□□□ **226** "I have at most 100 dollars." means "I have (　　　) 100 dollars."
① more than　② less than
③ not more than　④ not less than　（大谷女子大）

Power Up! 40 no more [less] than ～ と not more [less] than ～ 型の表現

□ **no more than** ～ 「～しかない」⬅「少なさ」を強調 (= as few [little] as / only)
□ **no less than** ～ 「～もある」⬅「多さ」を強調 (= **as many [much] as**)
□ **not more than** ～「せいぜい～ ⬅ ～より多くはない」(= **at most**)
□ **not less than** ～ 「少なくとも～ ⬅ ～より少なくはない」(= **at least**)
I have **no more than** 1,000 yen. (たった千円しか持っていない)
I have **no less than** 1,000 yen. (千円も持っている)
I have **not more than** 1,000 yen. (せいぜい千円しか持っていない)
I have **not less than** 1,000 yen. (少なくとも千円は持っている)

221 (①) メアリーもトムも泳げない。メアリー同様トムも泳げない。
222 I am (not to blame any more than) you are.
223 It seems to me that (she is no less intelligent than Einstein). 〔less が不足〕
224 Compared with the whole universe, (the earth is no more than) a little star.
225 (less) 彼は 100 万円もためた。
226 (③) 私はせいぜい 100 ドルしか持っていない。〔" " 内のみの訳〕

Theme 63 否定語を含む比較表現

221 no more ～ than …「…でないのと同様に～でない」―― 両方否定
▶ いわゆる「クジラの公式」と呼ばれるもので，「…」に明らかに否定できることを引き合いに出して，「～」でないことを強調する言い方。than 以下にはいつも肯定形が来るが，訳は両方を打ち消す。
A whale is *no more* a fish *than* a horse is. 〔クジラの第一公式〕
(馬が魚でないのと同様に，クジラは魚ではない) (慶應大)
▶ neither A nor B「A も B も～ない」(➲ 399) は両方否定なので，① no more を選ぶ。

222 not ～ any more than …「…でないのと同様に～でない」
▶ no more ～ than … と同じ意味。no が not と any に分離された形。このほうが口語的。本問 = I am no more to blame than you are.
〈語句〉 be to blame「責めを負うべきである / 責任がある」(➲ 102)

223 no less ～ than …「…と同様に～である / …に劣らず～」―― 両方肯定
▶ no more ～ than … と対照をなす表現で，「…」に明らかに肯定できることを持ってきて，「～」であることを強調する言い方。
A whale is *no less* a mammal *than* a horse is. 〔クジラの第二公式〕
(馬が哺乳類であるのと同様に，クジラは哺乳類である) (中部大)

224 no more than ～「わずか～だけ / ～しかない」(= **only**)
〈語句〉 compared with ～「～と比べると」(➲ 148)

225 no less than ～「～も」(= **as much as** ～ / **as many as** ～)

226 not more than ～「多くとも～ / せいぜい～」(= **at most**)

Power Up! 41 no + 比較級 + than ～ の書き換え公式

no は「決して[絶対]～でない」という強い否定なので，「no + 比較級 + than ～」は，優劣の比較を全面的に否定して，しばしば，「as + 反意語の原級 + as」の意味を表す。この「as + 反意語の原級 + as」は強調の「as ～ as」。(➲ Theme 57)

書き換え公式：**no** + 比較級 + **than** ～ = **as** + 反意語の原級 + **as**

ここでは no more [less] than 以外の例をあげる。

□ **no fewer than** ～「～も ⬅ ～と同じくらい多い」(= **as many as** ～)
＊今日では no less than ～ のほうがふつう。
□ **no bigger than** ～「～の大きさしかない ⬅ ～と同じくらい小さい」
The radio is **no bigger than** a matchbox. (= **as small as** ～)
(そのラジオはマッチ箱ぐらいの大きさしかない)
□ **no better than** ～「も同然で ⬅ ～と同じくらいひどい」(= **as bad as** ～)
He is **no better than** a thief.
(彼は泥棒同然である) (学習院大)
□ **no richer than** ～「～と同じくらい貧乏な」(= **as poor as** ～)

Theme 64

□□□ 227 (　　) all the doctors in the hospital, Dr. Takahashi speaks English the best.
① In　② Of　③ Out　④ As　(南山大)

□□□ 228 彼はアメリカ合衆国で最も偉大な科学者の一人だそうだ。
It (he / is / is said / of / one / that / the greatest) scientists in the United States.　(武庫川女子大)

□□□ 229 We all agree that Jane is (　　) the best worker in our workplace.
① by far　② much more　③ such　④ very　(近畿大)

□□□ 230 頻出 それは私が今まで観た中で一番いい映画だ。
That is the (movie / I / ever / that / have / best / seen).　(札幌大)

□□□ 231 実際，三浦さんはこのチームで加藤さんの次に優れた選手である。
①In fact, Mr. Miura is the ②second ③good player ④after Mr. Kato in this team.　(岡山理科大)

□□□ 232 頻出 Once you get the scholarship, you should (　　) the most of the chance.
① come　② go　③ make　④ take　(摂南大)

□□□ 233 To the best of my knowledge, they moved to another town.
① Before I came to know it　② Though I don't know
③ As far as I know　④ Because I did my best　(亜細亜大)

□□□ 234 頻出 (　　) least 530 of them died in this fire.
① Among　② At　③ For　④ During　(上智大)

……

227 (②) 病院の医者の中で，高橋先生が一番上手に英語を話す。
228 It (is said that he is one of the greatest) scientists in the United States.
229 (①) ジェーンが私たちの職場でずば抜けて一番よく働く人であるという点で，みんなの意見が一致している。
230 That is the (best movie that I have ever seen).
231 (③) 〔good ➡ best〕
232 (③) ひとたび奨学金をもらったら，その機会を最大限に利用すべきだ。
233 (③) 私の知る限りでは，彼らは別の町に引っ越した。
234 (②) この火事で彼らのうちで少なくとも530名が亡くなった。

Theme 64 最上級を用いた表現

227 最上級 + **of** [**in**] **A**「**A** の中で一番～」

▶ 原則として形容詞の最上級には the をつけ，副詞の最上級には the をつけない。ただし「特定の人たちの中で一番～」という意味の場合は，副詞の最上級にも the をつけることがある。本問のように of A が文頭に出た形がよく出題される。

〈比較〉「～の中で」を表す of と in の使い分けは以下のようになる。

A が同類の「複数を表す語句」の場合 —— **of A**
A が場所や集団を表す「単数名詞」の場合 —— **in A**

This is the oldest temple *in Kyoto*.（これは京都で最も古い寺だ）

228 **one of the** + 最上級 + 複数名詞「最も～な…の１つ［１人］」

229 **by far the** + 最上級 ～「ずば抜けて一番～」

▶ 最上級を強調する語句には by far や much などがある。

〈選択肢〉very も最上級を強調するが，「the very + 最上級～」の語順になるので，④ very は不可。×very the best ～　○the very best ～

230 **the** + 最上級 + 名詞 + (**that** +) **S have ever *done***
「**S** が今までに～した中で一番…」

▶ 先行詞が最上級の形容詞や first, only, very などで修飾されている場合，関係代名詞は that を比較的よく用いる。本問の that は目的格の関係代名詞で，省略されることが多い。that 節内で ever「今までに」が用いられている点に注意。

231 **the** + 序数詞 + 最上級「何番目に～」

▶ 最上級の前に second / third などの序数詞を置いて，「2番目に～ / 3番目に～」という意味を表す。the second best player「2番目に優れた選手」

〈選択肢〉④ after は『順序・序列』の「～に続いて / ～の次に」なので正しい。

232 **make the most of** ～「(有利な状況) を最大限に利用する」

〈比較〉**make the best of** ～「(不利な状況) を精一杯利用する / 何とかやっていく［前向きに考える］」との違いに注意すること。

〈語句〉once ～「いったん［ひとたび］～すると」(➲ 421)

233 **to the best of A's knowledge**「**A** の知る限りでは」
(= **as far as A know** ➲ Power Up! 86)

234 **at** (**the**) **least**「少なくとも」(= **not less than** ➲ Power Up! 40)

Power Up! 42 at + 最上級

「at + 最上級」で，さまざまな『限界』を示す慣用表現を作る。最上級の前に the を置くこともある。

□ **at most**「多くても / せいぜい」⇔ □ **at least**「少なくとも」
□ **at best**「よくても / せいぜい」 *cf.* at *one's* best「最良の状態で［の］」
⇔ □ **at worst**「最悪の場合でも / せいぜい；最悪の場合は」
□ **at latest**「遅くとも」⇔ □ **at earliest**「早くとも」

Theme 65

□□□ **235** トムはクラスの中で一番背が高い。 基本 頻出

Tom is taller than (　　　　) in his class.

① every other boy　　② all the other boy
③ any other boys　　④ any other boy　　（獨協医大）

□□□ **236** 英語は，世界で最も多くの人によって話されています。

(language / people / English / other / so many / is spoken / as / by / no) is.　　（獨協医大）

□□□ **237** No other mountain in Japan is (　　　　) Mt. Fuji.

① as higher as　　② higher than
③ not as high as　　④ the highest of　　（京都産業大）

□□□ **238** 〔同じ意味を表す文を選べ〕

Nothing is so beautiful as nature.

① Nature is not such a beautiful thing.
② There is something more beautiful than nature.
③ Nature is the most beautiful of all things.　　（佛教大）

□□□ **239** 晴れた日に富士山頂で見る日の出ほど美しいものはない。 頻出

(the sunrise / is / nothing / the most / seen / more / beautiful / than) from the top of Mt. Fuji on a fine day. 〔1語不要〕　　（関西学院大）

---

235 (④)
236 (No other language is spoken by so many people as English) is.
237 (②) 日本には富士山より高い山はない。
238 (③) 自然ほど美しいものはない。
239 (Nothing is more beautiful than the sunrise seen) from the top of Mt. Fuji on a fine day. 〔the most が不要〕

Theme 65 最上級の意味を表す原級・比較級表現

235 A **is** + 比較級 + **than any other** + 単数名詞「A は他のどんな…より～」

▶ any other の後ろには単数名詞が来るので，④ any other boy が正解。

〈発展〉 主語 A が複数ならば，「any other + 複数名詞」がふつう。
The two boys are taller than *any other boys*.
(その2人の少年は他のどんな少年たちよりも背が高い)

236 **No** (**other**) + 単数名詞 + **is as** [**so**] + 原級 + **as** A「A ほど…な～はない」

▶ 日本文は最上級だが，語群に最上級がなく，so many と as があるので，原級を用いて最上級の意味を表せばよい。

237 **No** (**other**) + 単数名詞 + **is** + 比較級 + **than** A「A より…な～はない」

238 **Nothing is as** [**so**] + 原級 + **as** A「A ほど…なものはない」
(= **There is nothing as** [**so**] + 原級 + **as A**)

▶ 比較の対象（「物」）がはっきりしていない場合，「No other + 単数名詞」の代わりに Nothing を用いる。

〈選択肢〉 ② は something ではなく nothing なら可。

239 **Nothing is** + 比較級 + **than** A「A より…なものはない」
(= **There is nothing** + 比較級 + **than A**)

▶ 語群中の seen は from 以下の副詞句を伴うので，修飾する語 sunrise の後ろに置かれる。(➲ 137)

Power Up! 43 最上級の意味を表す原級・比較級表現

(1) Mt. Fuji is **the highest** mountain in Japan. 〔最上級〕
(富士山は日本で一番高い山です)
= Mt. Fuji is **higher than any other** mountain in Japan. 〔比較級〕(➲ 235)
= **No other** mountain in Japan is **so** [**as**] **high as** Mt. Fuji. 〔原級〕(➲ 236)
= **No other** mountain in Japan is **higher than** Mt. Fuji. 〔比較級〕(➲ 237)

(2) Nature is **the most beautiful** of all things [thing (of all)]. 〔最上級〕
(自然はすべての中で最も美しい)
= Nature is **more beautiful than anything*** **else**. 〔比較級〕(➲ 235)
= **Nothing** is **so** [**as**] **beautiful as** nature. 〔原級〕(➲ 238)
= There is **nothing so** [**as**] **beautiful as** nature. 〔原級〕
= **Nothing** is **more beautiful than** nature. 〔比較級〕(➲ 239)
= There is **nothing more beautiful than** nature. 〔比較級〕

*比較の対象（「物」）がはっきりしていない場合は，any other thing ではなく anything else を使うほうがよい。(比較の対象が「人」なら anyone else)

第9章 疑問

Theme 66

□ **240** “(　　　) did you come to town?” “We came here by bus.”
□ 基本
□ 頻出
① How　② What　③ Where　④ Why　(上智大)

□ **241** 授業で話し合った記事についてどう思いますか。〔1 語不要〕
□ 頻出
□ (article / how / the / you / what / do / that / of / think) we discussed in class?　(福岡大)

Theme 67

□ **242** A: (　　　) do you eat out?　(金沢工大)
□ B: Two or three times a month.
□ ① How far　② How long　③ How many　④ How often

□ **243** How (　　　) does the movie start? Do we have time for some coffee?
□
□ ① fast　② quickly　③ soon　④ time　(共立女子大)

□ **244** (　　　) does this parcel weigh?　(関西学院大)
□ 基本
□ ① How much　② How many　③ What heaviness　④ What weight

Power Up! 44　What ～? と How ～? の使い分け

(1) 文中で主語や目的語になっていれば **What**，そうでなければ **How**。
(2) 動詞との結びつきで，What か，How かを判断することも大切。

□ **What** do you + **think of / mean / call** ～?
□ **How** do you + **like / feel / spell / pronounce** ～?

What [×How] do you **think of** the picture?（その絵をどう思いますか）
What [×How] do you **mean** by that?（それはどういう意味ですか）
What [×How] do you **call** this in English?（これを英語でどう言いますか）
How [×What] do you **like** the picture?（その絵はどうですか）
How [×What] do you **feel** about this issue?（この件についてはどう思いますか）
How [×What] do you **spell** [**pronounce**] A?（A はどうつづり［発音し］ますか）

---

240 （①）「町までどのようにして来たのですか」「バスでここまで来ました」
241 (What do you think of the article that) we discussed in class?〔how が不要〕
242 （④） A：どれくらい頻繁に外食しますか。　B：月に 2，3 度です。
243 （③） あとどれくらいで映画は始まりますか。コーヒーを飲む時間はありますか。
244 （①） この小包はどのくらいの重さですか。

Theme 66　疑問代名詞と疑問副詞の区別

疑問代名詞：**who / which / what**
　　　代名詞の働き（文中で主語や目的語になる）＝ 後ろが不完全な文
疑 問 副 詞：**when / where / why / how**
　　　副詞の働き（文の主要素にならない）＝ 後ろが完全な文

240 **how**「どのようにして」――『方法』
▶（　）の後ろが完全な文なので，（　）内には疑問副詞が入る。「バスで来た」と答えているので，『方法』を問う ① How が正解。

241 **What do you think of** ～?「～についてどう思いますか」
（＝ **How do you feel about ～?**）
▶ 日本語の「どう」につられて How で文を始めないように。
What do you think of ～? で「～についてどう思うか」の意味。
▶ 疑問代名詞 what は他動詞 think の目的語。how は疑問副詞なので不可。
(×How do you think of ～?)
〈発 展〉同意表現 How do you feel about ～? の feel は自動詞で「(～について (about)) 意見［感想］を持つ」という意味。「feel＋副詞」の形で使う。
We *feel differently* about music.（音楽について異なる意見を持っている）

Theme 67　How much ～? 型の疑問文

242 **How often** ～?「何回 / どれほど頻繁に」――『頻度・回数』
▶「(月に) 2, 3 回」と答えているので，正解は『頻度･回数』を問う ④ How often。
▶『回数』は How many times ～? でも表す。

243 **How soon** ～?「あとどれくらいで」――『時間の経過』
▶ 事が起こるまでの時間を問う表現。出題も多いので要注意。

244 **How much** ～?「どのくらい / いくら」――『量・金額』
▶ **How much** do(es) A weigh?「A はどのくらいの重さですか」
本問 ＝ How heavy is this parcel? ＝ What is the weight of this parcel?

Power Up! 45　How much ～? 型の疑問文

数量や程度を尋ねる「**How**＋形容詞［副詞］～?」には次のようなものがある。

□ **How often** ～?〔頻度・回数〕(➲ 242)
□ **How soon** ～?〔時間の経過〕(➲ 243)
□ **How much** ～?〔量・金額〕(➲ 244)
□ **How many** ～?　**How many** math lessons do you have a week?
〔数〕　（数学の授業は，週何時間ありますか）(金沢工大)
□ **How long** ～?　**How long** does it take to walk from here to the park?
〔時間［物］の長さ〕（ここから公園まで歩いてどのくらいかかりますか）(九産大)
□ **How far** ～?　**How far** is it from Osaka to Kyoto?
〔距離・程度〕（大阪から京都まではどれくらいの距離ですか）(山梨学院大)

Theme 68

□ **245** Somebody rang my doorbell, but I don't know (　　). （センター）
□ 頻出
□ ① what did it　② what was it　③ who it did　④ who it was

□ **246** I really want to know (　　) will happen to me in the future.
□ 頻出
□ ① what　② that　③ which　④ how （杏林大）

□ **247** Tell me when (　　) to the United States for the first time.
□ 頻出
□ ① did you come　② you have come
③ you came　④ have you come （立教大）

□ **248** Do you know (　　) buy a birthday cake for my daughter?
□ ① where can I　② can I where
□ ③ I can where　④ where I can （関東学院大）

□ **249** この橋の長さはどのくらいだと思いますか。
□ 頻出
□ (do / is / long / think / this / how / bridge / you)? （藤女子大）

Power Up! 46 Do you know ＋ 疑問詞 ～? と 疑問詞 ＋ do you think ～?

(1) **Do you know where** he is now? ── **No, I don't.**
（彼が今どこにいるか知っていますか ── いいえ，知りません）

(2) **Where do you think** he is now? ── **In the classroom**, perhaps.
（彼は今どこにいると思いますか ── たぶん，教室じゃないかな）

(1) では質問の焦点は「(相手が) 知っているかどうか」，
(2) では質問の焦点は「彼がどこにいるか」という点にある。
疑問文では，最も尋ねたい点を先頭に置くのがルールなので，
(1) **Do you know** ＋ 疑問詞 ～?
(2) 疑問詞 ＋ **do you think** ～?
の語順になる。

---

245 (④) 誰かが玄関のブザーを鳴らしたが，誰だったかわからない。
246 (①) 将来私に何が起こるか本当に知りたい。
247 (③) 君が初めてアメリカに来たのはいつなのか教えてください。
248 (④) 娘のためのバースデーケーキをどこで買えるか知っていますか。
249 (How long do you think this bridge is)?

Theme 68 間接疑問と語順

245 間接疑問 ── 基本形

▶ 疑問文が他の文の一部に組み込まれ，名詞節として主語・目的語・補語などになるとき，これを間接疑問という。
間接疑問では，疑問詞の後は平叙文と同じ「S ＋ V」の語順になる。
I don't know ＋ **Who was it?** ➡ I don't know **who it was**.

246 間接疑問 ── 疑問代名詞が主語の場合

▶ 疑問代名詞が主語の間接疑問は，疑問文の場合と同じ語順「疑問詞 ＋ V」。
I really want to know ＋ **What will happen** to me in the future?
➡ I really want to know **what will happen** to me in the future.

247 間接疑問 ── 疑問副詞 when の場合

▶ when の後は平叙文と同じ語順になるので ③ you came が正解。
Tell me ＋ **When did you come** to the United States for the first time?
➡ Tell me **when you came** to the United States for the first time.

〈選択肢〉 When ～?「いつ～」は現在完了形とともに使えないので ② you have come は不可。(➲ Power Up! 5)

248 Do you know ＋ 疑問詞 (＋ S) ＋ V?

▶ Yes / No で答えられる疑問文の場合，動詞の後に，その目的語となる間接疑問を置く。
Do you know ～? ＋ Where *can I buy* a birthday cake for my daughter?
➡ **Do you know where** *I can buy* a birthday cake for my daughter?

249 疑問詞 ＋ do you think (＋ S) ＋ V?

▶ 疑問詞 ＋ do you think [suppose / believe] ～ など，Yes / No で答えられない疑問文の場合，その目的語となる間接疑問の疑問詞は必ず文頭に置く。
Do you think ～? ＋ How long *is this bridge*?
➡ **How long do you think** *this bridge is*?
▶ この「疑問詞 ＋ do you think (＋ S) ＋ V?」の表現が，間接疑問の中で最も出題数が多い。

〈語句〉 How long ～?「(物 / 時間の長さが) どのくらい」(➲ Power Up! 45)

Theme **69**

□ **250** Our task is to finish the work within a couple of hours, (　　)?
□ 基本 ① aren't we　② doesn't it　③ don't we　④ isn't it　(上智大)
□

□ **251** Bill (　　) ever played the drums, has he?　(聖心女子大)
□ 基本 ① can't have　② won't have　③ hasn't　④ hadn't
□

□ **252** Come and stay with us for the weekend, (　　)?　(東海大)
□ ① do you　② won't you　③ aren't you　④ don't you
□

□ **253** Let's go fishing in the lake tomorrow, (　　)?
□ ① will we　② shall we　③ don't you　④ let we　(東洋大)
□

Theme **70**

□ **254** You didn't go to Henry's party, did you? ── (　　).
□ ① Yes, I didn't go　② No, I went
□ ③ Yes, I will　④ No, I didn't　(立教大)

□ **255** 〔応答として不適切なものを選べ〕
□ Didn't you attend classes yesterday? ── (　　)
□ ① Yes, I did.　② No, I didn't.
③ Yes, I didn't.　④ I did. Didn't you?　(センター)

Power Up! 47 否定語が not 以外の付加疑問 発展

前の文が not 以外の否定語 **no / never / hardly / seldom / few** などを用いる否定文の場合も，付加疑問は肯定形である。

There is **no** gasoline left, **is there?**（ガソリンは残っていないですよね）
Tomas **seldom** comes on time, **does he?**
（トーマスはめったに時間通りに来ないね）（福岡大）

250 （④） 私たちの任務は2，3時間以内にこの仕事を終えることですね。
251 （③） ビルはドラムをたたいたことがないのですね。
252 （②） 週末わが家に泊まりに来なさいよ。
253 （②） 明日，湖に釣りに行きましょうよ。
254 （④） 君はヘンリーのパーティーに行かなかったのですね。
── はい，行きませんでした。
255 （③） 昨日は授業に出なかったの。
── いいえ，出ました。［はい，出ませんでした。／出ました。君は出なかったの。］

Theme **69** 付加疑問

平叙文の後に簡単な形の疑問文を付け加えて，「～ですね／～よね」のように，相手の同意を求めたり，念を押したりする言い方を付加疑問という。

The game starts at five, **doesn't it?**〔一般動詞の場合〕
（試合は5時に始まるのですね）

250 肯定文＋否定の付加疑問？ ── **be** 動詞の場合
▶ 肯定文には否定の付加疑問をつける。本問の場合は be 動詞なので，④ isn't it? を付け加える。付加疑問の S は必ず代名詞に変えること。
語句 a couple of ～「2つの～／2，3の～」

251 否定文＋肯定の付加疑問？ ── 完了形の場合
▶ 否定文には肯定の付加疑問をつける。本問の場合，付加疑問が has he? なので，(　　)には ③ hasn't が入る。

252 命令文＋**will**［**won't**］**you?**
▶ 命令文には will you? や won't you? などの付加疑問をつけて『依頼／勧誘』の気持ちを表す。won't you? のほうが will you? より『依頼／勧誘』の気持ちが強い。
語句 stay with ～「(人のところ)に泊まる」
発展 否定の命令文の付加疑問は，will you? をつける。won't you? は不可。
Don't open the window, **will you?**（窓を開けないでね）

253 **Let's** ～＋**shall we?**
▶ Let's ～「～しよう」に付け加える付加疑問は shall we? である。

Theme **70** Yes / No の使い分け

否定文の付加疑問「～ではないのですね」や否定の疑問文「～ではないのですか」に答えるときには，Yes / No の使い分けに注意が必要である。英語では質問の形式にかかわりなく，答えの内容が肯定なら **Yes** で，否定ならば **No** で答える。日本語の「はい」「いいえ」にとらわれてはいけない。

Don't you know her?（彼女を知らないのですか）〔否定の疑問文の場合〕
── **Yes,** I do.　「いいえ，知っています」（×No, I do.）
── **No,** I don't.「はい，知りません」　（×Yes, I don't.）

254 否定文の付加疑問の場合
▶ 質問の形式にかかわりなく，「行った」のなら Yes, I did.，「行かなかった」のなら No, I didn't. と答える。選択肢に Yes, I did. がないので，④ No, I didn't が正解。
選択肢 Yes には肯定文を，No には否定文を続ける原則なので，①，② は不可。

255 否定の疑問文の場合
▶「授業に出た」のなら ① Yes, I did. か ④ I did. Didn't you? が正しい応答。「授業に出なかった」のなら ② No, I didn't. が正しい応答。③ Yes, I didn't. という応答は不適切。

Theme 71

□□□ **256** どうして昨日は会議に出席しなかったのですか。〔1 語不要〕 （成蹊大）
頻出 発展 (attend / how / you / why / come / didn't) the meeting yesterday?

□□□ **257** I know (　　　) it is like to be poor.
頻出 ① how　② when　③ what　④ that （姫路獨協大）

□□□ **258** これは一体どういうことなのかと，ずっと考え込んでいる。
発展 I keep wondering what this is all (　　　).
① about　② to　③ over　④ up （成城大）

□□□ **259** What are you following me (　　　)?
① in　② for　③ at　④ on （成城大）

□□□ **260** Do you know what has become (　　　) him?
頻出 ① by　② of　③ on　④ to （北海学園大）

□□□ **261** 歯科医に行ったらどうですか。
頻出 Why (you / go / don't / to / the dentist)? （浜松大）

□□□ **262** ケンが入院しているんだ。励ましにお見舞いに行かないか。 （日本大）
Ken is in hospital now. Why (go / cheer / we / him / and / up / don't)?

□□□ **263** Let's have lunch here, shall we? = (　　　) having lunch here?
頻出 ① Shall we　② What　③ How about　④ Why not （亜細亜大）

Power Up! 48 提案・勧誘を表す疑問文

□ **What do you say to** (going for) a walk?
□ **How** [**What**] **about** (going for) a walk?
□ **Why don't we** go for a walk?
□ **Why not** go for a walk?
□ **Let's** go for a walk, **shall we**?
「散歩に行きませんか」

□ **Why don't you** go to the dentist?
□ **Why not** go to the dentist?
「歯医者に行ったらどうですか」

256 (How come you didn't attend) the meeting yesterday? 〔why が不要〕
257 (③) 私は貧乏とはどんなものか知っている。 **258** (①)
259 (②) なぜ私の後をつけてくるの？ **260** (②) 彼がどうなったか知っていますか。
261 Why (don't you go to the dentist)?
262 Ken is in hospital now. Why (don't we go and cheer him up)?
263 (③) ここで昼食を食べるのはどうですか。

Theme 71 疑問詞のある疑問文の慣用表現

256 **How come + S + V?**「（驚きを示して）なぜ［どうして］～するのですか」
▶ How does [did] it come (about) that ～? の省略形で，Why ～? より口語的。Why ～? と異なり，後ろが平叙文の語順のままでよい点に注意。
▶ Why で文を始めると，Why didn't you attend the meeting yesterday? となり，how と come の 2 語が不要になるので不可。

257 **What is A like?**「A はどのようなものか」（= **How is A?**）
▶ 本問は間接疑問の形 ⬅ I know + What is it like to be poor?
▶ it は形式主語で，to be poor を受けている。
▶ この like は前置詞で「～のような」という意味。この表現では，疑問代名詞 what が前置詞 like の目的語になっている。
〈選択肢〉 ① how や ② when は疑問副詞で like の目的語になれないので不可。

258 **What is A all about?**「A はいったい何（について）ですか」
▶ 本問も間接疑問の形 ⬅ I keep wondering + What is this all about?
▶ all は「不確かさ」を強調している。all がない場合もある。

259 **What ～ for?**「何のために～ / なぜ～」（= **Why ～?**）
▶ 疑問代名詞 what は前置詞 for の目的語で，「何のために」という意味になる。
本問 = Why are you following me?

260 **What has become of ～?**「～はどうなったのか」
（= **What has happened to ～?**）
▶ 同意表現に What has happened to ～? がある。
本問 = Do you know what has happened to him?

261 **Why don't you *do*?**「～してはどう（ですか）」（= **Why not *do*?**）
▶「あなたはなぜしないのか」➡「～してはどうですか」『（相手への）提案』
▶ 同意表現として，Why not *do*? も重要。Why not *do*? は次の **262** Why don't we *do*? の意味でも使われる。

262 **Why don't we *do*?**「（一緒に）～しましょうよ」（= **Why not *do*?**）
▶「なぜ私たちはしないのか」➡「一緒にしましょう」『提案・勧誘』
提案者が自分も含めて言う場合は **Why don't we *do*?** となる。
〈語句〉 cheer up ～「～を励ます」 ＊目的語が代名詞の him なので，cheer him up の語順になる点に注意。（➲ Power Up! 188）

263 **How about A [*doing*]?**「A はどうですか / ～するのはどうですか」
（= **What about A [*doing*]? / What do you say to A [*doing*]?** (➲ 122)/
Let's ～, shall we? (➲ 253))
▶『提案・勧誘』を表す表現。同意表現の What about A [*doing*]? は How about A [*doing*]? よりもやや改まった感じを与える。
〈選択肢〉 ① Shall we と ④ Why not の場合，後ろには have lunch here? が続くので不可。

第10章 否定

Theme 72

□□□ **264** It is obvious that (　　) fly. 頻出
① any dog can't　② not any dog can
③ none of dog can　④ no dog can　（関西外語大）

□□□ **265** I (　　) my wife yet.
① think you have met　② don't think you have met
③ think you don't have met　④ haven't thought you meet　（熊本工大）

Theme 73

□□□ **266** It was so dark that they could (　　).　（千葉商大） 頻出
① hard see　② hardly see　③ see hard　④ see hardly

□□□ **267** We ① don't seldom eat Matsuzaka beef ② since it's so ③ expensive.　（南山大）

□□□ **268** On the day following the party, there was (　　) food left in the refrigerator.　（立命館大） 頻出
① any　② any less　③ any more　④ hardly any

□□□ **269** He (　　) to the movies.
① ever goes hardly　② goes hardly ever
③ hardly ever goes　④ hardly never goes　（県立広島大）

Power Up! 49 強い否定の意味を表す no ～ 〈発展〉

補語になる名詞や形容詞の前に **no** をつけて「決して～でない / ～どころではない」という強い否定の意味を表すことがある。（➲ Power Up! 41）

He is **no** *musician*. = He is **not** a musician **at all**.（龍谷大）
（彼は音楽家なんてもんじゃない）
You look **no** *different* from the way you did* last year.（明治学院大）
（あなたの様子は去年とまったく変わっていない）*the way you looked

---

264 （④）どの犬も空を飛べない［空を飛べる犬がいない］のは明らかである。
265 （②）あなたは私の妻にまだ会ったことがないと思う。
266 （②）暗かったので彼らはほとんど見えなかった。
267 （①）［don't seldom ➡ seldom］松坂牛はとても高いのでめったに食べない。
268 （④）パーティーの翌日，冷蔵庫にはほとんど食べ物が残っていなかった。
269 （③）彼はめったに映画を見に行かない。

Theme 72 no / not の用法

264 no + 名詞「どの～(名詞)も…ない」(= **not … any** + 名詞) ―― 全体否定

▶ no が修飾する名詞は単数・複数どちらも可。本問は単数名詞 dog を修飾。
▶「no + 名詞」は「not … any + 名詞」で言い換えられる。
I have *no* sisters. = I do*n't* have *any* sisters.（姉妹はいません）

〈選択肢〉「any + 名詞 … not」という語順はないので，① any dog can't は不可。「not any + 名詞」は「no + 名詞」と異なり主語にできないので ② not any dog can は不可。③ は none of the dogs can とすれば可。

265 I don't think ～「～ではないと思う」―― **not** の繰り上げ

▶ 英語では，文意が変わらないなら，否定語をなるべく前に置く傾向がある。「～ではないと思う」と言うとき，I think ～ not … としないで，I don't think ～とするほうがふつうなので，② I don't think you have met が正解。I think you haven't met … の形はまれ。

〈選択肢〉否定文で用いる yet「まだ(～していない)」があるので ① は不可。(➲ 676)
〈発展〉I don't think 型の動詞は他に **believe** / **expect** / **guess** / **suppose** などがある。
I **don't suppose** he will come.（彼は来ないと思うよ）
cf. I hope he won't come.（彼が来なければいいな）
＊ hope は常に肯定的な意味を持つので，not の繰り上げは行われない。

Theme 73 弱い否定

hardly / **seldom** / **few** などは「ほとんど［めったに］～ない」という意味で弱い否定を表す。これらは準否定語と呼ばれ，次の3つに分けられる。

(1) □ **hardly** / **scarcely**「ほとんど～ない」――『程度』(➲ 266)
(2) □ **seldom** / **rarely**「めったに～ない」――『頻度』(➲ 267)
(3) □ **few** / **little**「ほとんど～ない」――『数量』(➲ 639, 640)

266 hardly [scarcely]「ほとんど～ない」

▶ 上記 (1)，(2) の副詞は，原則として一般動詞の前，be 動詞・助動詞の後に置かれるので正解は ② hardly see。

267 seldom [rarely]「めったに～ない」

▶ 否定語なので，さらに not を付け加える必要はない。seldom はやや堅い語。rarely のほうが口語的。

268 hardly [scarcely] any + 名詞「ほとんど～がない」(= **almost no** + 名詞)

〈選択肢〉② any less，③ any more「もはや」は否定・疑問文で用いるので不可。
〈語句〉There be + S + *done*「S が～されている」(➲ 141)

269 hardly [scarcely] ever「めったに～ない」(= **seldom** / **almost never**)

▶ hardly ever は一般動詞の前に置かれるので，③ hardly ever goes が正解。
本問 = He seldom [almost never] goes to the movies.

Theme 74

□□□ **270** Some of us can do it, some of us can't.
頻出 = Not (　　　) of us can do it. (明治大)

□□□ **271** I didn't meet both of the singers.
= I (　　) only (　　) of the singers. (明星大)

□□□ **272** Cheap things are not (　　　) economical.
① always　② neither　③ hardly　④ scarcely (玉川大)

□□□ **273** 彼女の身の上話は，まんざら嘘でもなさそうだ。
What she told (be altogether / seem / herself / does not / false / about / to). (龍谷大)

Power Up! 51 その他の部分否定

発展

□ **not very** [**much** / **so**]「あまり～でない」
I'm **not very** tall, just average.
(背はあまり高くありません，ごくふつうです)

□ **not exactly**「正確には必ずしも～でない」
Your answer is *not entirely* wrong though **not exactly** right.
(あなたの答えは必ずしも正しくないが，まったく間違えているわけでもない)
(桜美林大)

□ **not really**「本当に～というわけではない / あまり～でない」
I don**'t really** like her. (私は彼女をそれほど好きでない)

270 (all) 私たちの中にはそれをできる人もいるし，できない人もいる。
私たち全員がそれをできるわけではない。
271 (met, one) 私はその歌手の両方に会ったわけではない。
私はその歌手の1人にしか会わなかった。
272 (①) 安いものが必ずしも経済的とは限らない。
273 What she told (about herself does not seem to be altogether false).

Theme 74 部分否定

「すべて～でない」のように全体を否定する用法を全体否定という。それに対し，「すべてが～というわけではない」のように部分的に否定する用法を部分否定という。**all** / **every** / **both** / **always** / **altogether** などの語が否定語とともに用いられると，「～というわけではない」という部分否定になる。否定語は all [every, etc.] より前に置くのがふつう。

270 **not** (～) **all**「すべてが～というわけではない」

▶ Some ～ some [others] …「～のものもいれば，…のものもいる」(➲ 314) = Not all ～「全員が～というわけではない」と考える。

〈比較〉全体否定は，**None** of us can do it. (私たちの誰もそれができない)。every には形容詞の用法しかないので，not every の後ろには必ず単数名詞がくる。本問 = **Not every** *one* of us can do it.

271 **not** (～) **both**「両方とも～というわけではない」

▶ not ～ both「両方とも～というわけではない」=「1人は (one) ～」と考えて，(　　) を埋める。

〈比較〉全体否定は，I did**n't** meet **either** of the singers. = I met **neither** of the singers. (その歌手のどちらにも会わなかった)。

＊ **neither** は2者，**none** は3者以上で用いることも押さえておこう。

272 **not always**「必ずしも～というわけではない」

〈選択肢〉② neither「どちらも～ない」，③ hardly「ほとんど～ない」，④ scarcely「ほとんど～ない」はいずれも否定語で，not と併用できないので不可。

273 **not altogether**「まったく [完全に] ～というわけではない」

▶「まんざら～でもなさそうだ」=「まったく～というわけでもなさそうだ」と考えて，does not seem to be altogether ～ とする。

〈プラスα〉altogether の代わりに **quite** / **entirely** / **wholly** / **completely** などを用いてもほぼ同じ意味である。

Power Up! 50 部分否定と全体否定

部分否定	全体否定
□ **not** (～) **all** □ **not** (～) **every** 「すべてが～というわけではない」	□ **none** □ **no** + 名詞 □ **not** (～) **any** + 名詞 「どれも～でない」
□ **not** (～) **both** 「両方とも～というわけではない」	□ **neither** □ **not** (～) **either** 「どちらも～でない」
□ **not always** [**necessarily**] 「いつも [必ずしも] ～というわけではない」 □ **not altogether** [**quite** / **entirely** など] 「まったく～というわけではない」	□ **never** □ **not** (～) **at all** 「まったく～でない」

Theme 75

□□□ **274** They were not in the (　　　) anxious about it.
① all　② last　③ latest　④ least　（関西学院大）

□□□ **275** ビルは決して臆病者ではありません。ちょっと内気なだけです。
頻出
Bill is by no (　　　) a coward. He is just shy. (= not at all)　（浜松大）

□□□ **276** 見知らぬ人は決して中に入れてはいけない。　（関西外語大）
発展
On no (a-　　　) must strangers be let in. (= by no means)

□□□ **277** There is no doubt (　　　) about it.
① if only　② nothing　③ quite　④ whatever　（神戸女子大）

□□□ **278** (　　　) is no way to know the exact number of stars in the sky.
発展
① It　② There　③ What　④ Each　（神奈川大）

Theme 76

□□□ **279** この通りを歩くと，必ず知り合いに出会ってしまう。
頻出
I (cannot / running into / someone / this street / walk along / without) I know.　（近畿大）

Power Up! 52 強い否定を表す副詞句

発展

□ **by no means**　「(どんな手段によっても) 決して～でない」(➲ 275)
□ **on no account**「(どんな理由があっても) 決して～でない」(➲ 276)
□ **in no way**　「(どんな点でも) 決して［少しも］～でない」
□ **under no circumstances**「(どんな事情があっても) 決して～でない」

＊上記の表現は否定の副詞句なので，文頭に出ると後は倒置形(疑問文の語順)になる。

In no way *is he* a man of character.
（彼は決して人格者などではない）（中央大）

Under no circumstances *should you* enter that building.
（その建物にはいかなる場合にも入ってはいけません）（日本大）

274　（④）彼らはそのことを少しも心配していなかった。
275　（means）
276　（account）
277　（④）そのことについてはまったく何の疑いもない。
278　（②）空にある星の正確な数を知ることはとうていできない。
279　I (cannot walk along this street without running into someone) I know.

Theme 75 強い否定表現

274 not (～) in the least「少しも～でない」(= **not ～ at all**)
▶ in the least は at all と同様，否定を強調する。
〈語句〉 be anxious about ～「～を心配している」(➲ 1135)
〈選択肢〉 ③ latest「最新の / 最近の」(➲ 765)

275 by no means「(どんな手段によっても) 決して～でない」

276 on no account「(どんな理由があっても) 決して～でない」
▶ on no account が文頭に出ると，後ろは倒置形［疑問文の語順］になる。
本問 = Strangers must not be let in on any account.

277 no + 名詞 + **whatever**「少しの～もない / まったく～ない」(= **not ～ at all**)
▶ no を伴う名詞や nothing の後ろに whatever や whatsoever を置いて，強い否定の意味を表す。

278 There is no way to *do*「とうてい～できない」
〈発展〉 **No way**〔間投詞的に〕「いやだ / とんでもない」も押さえておこう。
“Sing us a song.” “**No way!**”（「歌ってよ」「いやだよ！」）

Theme 76 二重否定

279 cannot［never］... without *doing*「…すると必ず～する」
▶「～することなしには…しない」という二重否定になっているので，結局は強い肯定を表し，「…すると必ず～する」と前から訳すことが多い。
▶ whenever を用いて次のように書き換えることができる。
本問 = Whenever I walk along this street, I run into someone I know.
〈語句〉 run into ～「～に偶然出会う」(➲ 967)

Power Up! 53 その他の二重否定表現

二重否定には，他に次のような表現がある。

① It **never** rains **but**＊ it pours. = It **never** rains **without** pouring.
（降れば必ずどしゃ降り［2度あることは3度ある］）（ことわざ）（武庫川女子大）
＊but は「～しないでは（…ない）」という意味の接続詞。

② **Not** a week passed **without** our class having a small quiz.
（私たちのクラスでは毎週必ず小テストが行われた）（立命館大）

③ There is **no** rose **without** a thorn.
（とげのないバラはない［バラには必ずとげがある］）

④ He **never fails to** write to his mother once a month.（➲ Power Up! 98）
（彼は月に一度は必ず母に手紙を書きます）（岐阜聖徳学院大）

⑤ The custom of giving money as a wedding gift is **not unusual** in Japan.
（結婚祝いとしてお金を渡す風習は，日本ではごくふつうのことだ）（獨協大）

Theme 77

□ **280** 健二は嘘をつくような人ではありません。
□ 頻出
□ Kenji is (a lie / the / to / person / tell / last). (九州国際大)

□ **281** Their manners were by no means pleasant.
□ 頻出
□ = Their manners were (　　　) but pleasant.
① anything　② everything　③ nobody　④ nothing (佛教大)

□ **282** Bill told me that he's (　　　) smart. (= anything but) (中央大)
□ 頻出
□ ① far from　② close to　③ better than　④ well beyond

□ **283** This new drug is (　　　) side effects. (杏林大)
□ 頻出
□ ① free of　② far from　③ independent of　④ nothing but

□ **284** その部屋の暑さは耐えられないほどでした。
□
□ The heat (was / room / of / the / than / could / I / more) bear. (花園大)

□ **285** Although I speak some French, I (　　　) France.
□ 頻出
□ 発展
① had never gone　② have ever been to
③ have yet to visit　④ rarely go (立命館大)

□ **286** 戦争をいかにして防止するかという問題はいまだ解決されていない。
□ 発展
□ The problem of how to (solved / prevent / be / remains / to / war). (中央大)

Power Up! 54 far from ～ と free from ～ の使い分け

(1) **A is far from B = A is not B at all** (SVC が隠れている!)
This report is **far from** satisfactory. = This $\underset{S}{\underline{\text{report}}}$ $\underset{V}{\underline{\text{is not}}}$ $\underset{C}{\underline{\text{satisfactory}}}$ at all.
(この報告書は決して十分ではない)

(2) **A is free from B = A does not have B** (SVO が隠れている!)
He is **free from** any fear. = He does not have any fear. = $\underset{S}{\underline{\text{He}}}$ $\underset{V}{\underline{\text{has}}}$ $\underset{O}{\underline{\text{no fear}}}$.
(彼には何の不安もない)

---

280 Kenji is (the last person to tell a lie).
281 (①) 彼らのマナーは決して感じのよいものではなかった。
282 (①) 自分は決して利口ではないとビルは私に言った。
283 (①) この新薬は副作用がない。
284 The heat (of the room was more than I could) bear.
285 (③) 私はフランス語をいくらか話せるが，まだフランスを訪れていない。
286 The problem of how to (prevent war remains to be solved).

Theme 77 否定語を用いない否定表現

280 **the last A to *do*** 「決して～しない A / 最も～しそうにない A」
▶「the last A + 関係詞節」の形もある。
本問 = Kenji is the last person *who would* tell a lie.

281 **anything but** ～「決して～でない (⬅ ～以外なら何でも)」(= **by no means**)
▶ anything but ～ の but は「～以外の / ～を除いて」という意味の前置詞。
〈比較〉 **nothing but** ～「～だけ / ～しかない (= only) (⬅ ～以外は何もない)」
He was wearing **nothing but** his shorts.
(彼は短パンしか身につけていなかった) (専修大)

282 **far from** ～「決して～でない (⬅ ～からほど遠い)」(= **anything but** ～)
▶ anything but ～は「決して～でない」という意味なので，同様の意味を表す ① far from を選ぶ。far from ～の後には通例，動名詞・名詞・形容詞が来る。
本問 = Bill told me that he's not smart at all. (➲ Power Up! 54)

283 **free from [of]** ～「～がない (⬅ ～から自由な / ～に束縛されない)」
▶「心配・苦痛など望ましくないもの」がない場合に用いる。
本問 = This new drug does not have side effects.

284 **more than A can** ～「A が～できないほど (の) (⬅ A が～できる以上)」
▶ than 以下は肯定形だが，「耐えられないほど」と否定的に訳している点に注意。

285 **have yet to *do***「まだ～していない ⬅ (まだ) これから～しなければならない」
▶「フランス語をいくらか話せるが…」という文脈から判断して，③ have yet to visit「まだ訪れていない」を選ぶ。
〈選択肢〉 ② have ever been to の ever「これまでに」は，疑問文や否定文で用いられる。(×I have ever been to France. ○Have you ever been to France?) たとえ，② が have been to「～に行ったことがある」であっても文意が通じないので不可。④ rarely go は後ろに to が必要なので不可。
〈比較〉 **be yet to *do***
「まだ～していない ⬅ (まだ) これから～することになっている」(➲ 101)
have [be] yet to be *done*「(事が) まだ～されていない」

286 **remain to be *done***「(事が) まだ～されていない」
▶「まだ～されていない ⬅ されるべく (to be *done*) 残っている (remain)」

Power Up! 55 remain to be *done* と have [be] yet to *do* [be *done*] 〈発展〉

remain to be *done* = be yet to be *done* = have yet to be *done* の関係。
The problem **remains to be** *solved*. = The problem **is yet to be** *solved*.
= The problem **has yet to be** *solved*. = We **have [are] yet to** *solve* the problem.
= We **still haven't** *solved* the problem. = We **haven't** *solved* the problem **yet**.
(その問題はまだ解決されていない)
＊ still ～ not / not ～ yet の語順に注意 (➲ 676)

Theme 78

□ **287** あなたはすぐにそこへ行く必要がある。
□ 基本
□ 頻出
It is necessary (there / you / for / go / to) immediately. (駒澤大)

□ **288** ドアに鍵をかけないで寝るとは彼は不注意だった。
□ 頻出
(was / unlocked / careless / to / him / of / to / with / bed / the / it / door / go / without). 〔1語不要〕 (高知大)

□ **289** It is natural that he (　　) get angry.
① can　② may　③ must　④ should (白百合女子大)

□ **290** It's necessary that he (　　) to the hospital immediately.
① go　② going　③ went　④ will go (宮崎大)

Power Up! 56 不定詞の意味上の主語に of を用いる形容詞

□ **kind / nice / good**	「親切な」	□ **wise / clever**	「賢明な」
□ **foolish / stupid / silly**	「愚かな」	□ **cruel**	「残酷な」
□ **rude / impolite**	「失礼な」	□ **polite**	「礼儀正しい」
□ **careless**	「不注意な」(➲ 288)	□ **thoughtful**	「思いやりのある」

Power Up! 57 『感情』や『価値判断』を表す形容詞・名詞

□ **surprising / amazing**	「驚くべき」	□ **strange**	「不思議な / 奇妙な」
□ **(un)fortunate**	「(不運な) 幸運な」	□ **natural / no wonder**	「当然の」
□ **a pity / a shame**	「残念なこと」(➲ 761)	□ **right**	「正しい」

287 It is necessary (for you to go there) immediately.
288 (It was careless of him to go to bed with the door unlocked). 〔without が不要〕
289 (④) 彼が腹を立てるのも当然だ。
290 (①) 彼は直ちに病院に行く必要がある。

Theme 78 形式主語の it

不定詞句や節などが主語になる場合，形式上の主語 **it** を文頭に置いて，真の主語である不定詞句や節などを後ろに回すことが多い。

It is true **that** time is money. (時は金なりというのは本当だ)
形式主語　真主語

287 **It is ...** (**for A**) **to *do*** 「(A が［A にとって］) ～することは…だ」

▶ It は形式主語で，後ろに来る事実上の主語である不定詞句を受けている。to 以下が真主語であるから It を「それ」と訳さない。不定詞の意味上の主語を表す必要がある場合は，**for A** で表す。(➲ 97)

本問 ＝ It is necessary that you (should) go there immediately.

288 **It is ... of A to *do*** 「～するとは A は…だ」

▶ It is の後に『人の性質』(人の行為に対する話し手の評価・判断) を表す形容詞が続く場合，不定詞の意味上の主語は **of A** で表す。

▶ 一般に，この構文では A を主語にして次のように書き換えることができる。

本問 ＝ He was careless to go to bed with the door unlocked.

〈語句〉 with the door unlocked 「ドアに鍵をかけないで」(➲ 157)

289 **It is natural that** + **S** + **should *do*** 「S が～するのは当然だ」

▶ It は形式主語で，that 以下を受ける。that の後には「S + V」が続く。

本問 ＝ It is natural for him to get angry.

▶ It is の後ろに話し手の『感情』や『価値判断』を表す語が来ると，that 節内に should を用いることがある。《米》では should を用いずに he gets angry と直説法の文になることが多い。

290 **It is necessary that** + **S** + (**should**) ***do*** 「S が～することが必要だ」

▶ It is の後ろに necessary / essential などの形容詞が来て，話し手の『要求』や『願望』が間接的に示される場合，that 節中では，「原形」または「**should** + 原形」を用いる。

It is *essential* **that** you *be* [*should be*] there today.
＝ It is essential for you to be there today.
(今日君は絶対そこにいなくてはいけない) (桜美林大)

Power Up! 58 『要求』や『願望』などを表す形容詞

that 節中に「原形」または「should + 原形」を用いる『要求』や『願望』などを表す形容詞には次のようなものがある。入試では **necessary** と **essential** が重要。

□ **necessary**	「必要な」(➲ 290)	□ **essential**	「(絶対に) 必要な」
□ **desirable**	「望ましい」	□ **advisable**	「勧められる」
□ **important**	「重要な」	□ **vital / crucial**	「きわめて重要な」

Theme 79

□□□ 291 頻出 It (　　　) them three days to finish the job.
① cost　② looked　③ made　④ took （宮崎大）

□□□ 292 頻出 家のペンキを塗りかえてもらうのにずいぶん費用がかかりました。
It (money / cost / a lot of / me / house / repainted / my / have / to). （京都学園大）

□□□ 293 It doesn't matter (　　　) she admits her guilt or not.
① which　② that　③ whether　④ what （高岡法科大）

□□□ 294 神が存在するかしないかは，私にとってどうでもよい。 （中京大）
It (difference / makes / me / no / whether / to) God exists or not.

Theme 80

□□□ 295 It seemed that he had been seriously sick.
= He seemed (　　) (　　) (　　) seriously sick. （武庫川女子大）

□□□ 296 I met an old friend of mine by chance yesterday. （工学院大）
= I (　　　) to meet an old friend of mine yesterday.
= It happened (　　　) I (　　　) an old friend of mine yesterday.

Power Up! 60 seem の 4 つの時制関係

(1) It **seems** that he **is** ill. = He **seems to be** ill. （彼は病気のようだ）
(2) It **seems** that he **was** [has been] ill.
　= He **seems to have been** ill. （彼は病気だったようだ）
(3) It **seemed** that he **was** ill.
　= He **seemed to be** ill. （彼は病気のようだった）
(4) It **seemed** that he **had been** ill.
　= He **seemed to have been** ill. （彼は病気であったようだった）

291 (④) 彼らがその仕事を終えるのに3日かかった。
292 It (cost me a lot of money to have my house repainted).
293 (③) 彼女が罪を認めるかどうかはどうでもよい。
294 It (makes no difference to me whether) God exists or not.
295 (to, have, been) 彼は重い病気を患っていたようだった。
296 (happened, that, met) 昨日私は旧友に偶然会った。
＊ by chance「偶然に / たまたま」(➲ 1206)

Theme 79 形式主語の it を用いた慣用表現

291 It takes (+ A) + 時間 + to *do*「(A が)～するのに(時間が)…かかる」
▶ take は「(時間・労力など) が必要である / かかる」という意味。この意味では二重目的語をとることができる点に注意。(➲ Power Up! 109)

292 It costs (+ A) + 費用 + to *do*「(A が)～するのに(費用が)…かかる」
▶ 291 の類似表現。cost も二重目的語をとることができる動詞 (➲ 529)
The flower cost me three dollars. （その花は3ドルした）
= I paid [spent] three dollars for the flower. （その花に3ドル払った）

293 It doesn't matter (to A) whether 節
「～かどうかは (A にとって) どうでもよい (⬅ 重要ではない)」
▶ It は whether 節を受ける形式主語。to A は省略可。

294 It makes no difference (to A) whether 節
「～かどうかは (A にとって) どうでもよい (⬅ 違いが生じない)」
▶ It doesn't matter (to A) whether 節と同意。
本問 = It doesn't matter to me whether God exists or not.

Power Up! 59 It doesn't matter (to A) + 疑問詞節

It が whether 節ではなく，疑問詞 (who / which / what / when / where / why / how) によって導かれる名詞節を受ける場合もある。
It doesn't matter to me **what** he does. （彼が何をしようと私にはどうでもよい）
= **It makes no difference** to me **what** he does.

Theme 80 It seems that 節などの構文

295 It seems that 節「～のように見える / ～らしい」
▶ この構文の it は，特に何かを指しているのではなく，文を整えるために主語として文頭に置かれたもの。形式主語とは違うので，it の代わりに that 節を文頭に置くことはできない。
▶ この構文は to 不定詞を用いて書き換えられる。本問の場合，that 節の動詞は had been で文の動詞 seemed よりも前の時制を表すので，完了不定詞 to have been になる。

296 It happens [chances] that 節「たまたま～する / たまたま～である」
▶ happen [chance] to *do*「たまたま～する」で書き換えられる。

Power Up! 61 seem と類似の構文をとる動詞

□ **seem / appear**「～のように見える / ～らしい」(➲ 295)
□ **happen / chance**「たまたま～する / たまたま～である」(➲ 296)
□ **follow**「(当然の結果として) ～ということになる」
Just because he is poor, **it** does not **follow that** he is unhappy.
（貧乏だからといって，彼が不幸であるということにはならない）（青山学院大）

Theme 81

□□□ **297** **頻出** 疲れている時，集中するのは非常に難しい。

People (　　) it extremely difficult to concentrate when they are tired.

① make　② know　③ have　④ find　（中央大）

□□□ **298** 今日は雨だから，外に出ない方がいいでしょう。（中央大）

I (it / out / better / think / not / go / to) because it is raining today.

□□□ **299** インターネットにアクセスすると，だれでも大量の情報を得ることができる。

The Internet (for / it / enables / possible / anyone / makes) to obtain large amounts of information.〔1 語不要〕（成蹊大）

□□□ **300** **頻出** 鈴木さんは職場でメールを 1 日 2 回確認することにしている。（浜松大）

Ms. Suzuki (it / makes / a rule / twice / to check e-mail) a day in her office.

□□□ **301** **頻出** 患者は医者というものは何でも知っているのが当然だと思いがちです。

Patients are (granted / likely / take / for / to / it) that a doctor knows everything.（九州国際大）

□□□ **302** **頻出** Please (　　) to it (　　) all the doors are locked.

① watch — who　② look — which

③ see — that　④ find — what　（専修大）

---

297 (④)

298 I (think it better not to go out) because it is raining today.

299 The Internet (makes it possible for anyone) to obtain large amounts of information.〔enables が不要〕

300 Ms. Suzuki (makes it a rule to check e-mail twice) a day in her office.

301 Patients are (likely to take it for granted) that a doctor knows everything.

302 (③) 必ずすべてのドアに鍵をかけておいてください。

Theme 81 形式目的語の it とその慣用表現

SVOC の文型で目的語（O）が不定詞句や that 節などの場合，形式上の目的語 **it** を目的語（O）の位置に置き，真の目的語である不定詞句や that 節などを C の後ろに回すことが多い。**find / think / make** などの動詞がこの構文でよく用いられる。特に **find** が頻出。

I think **it** a pity for you **to miss** such a chance.〔不定詞句〕

= I think **it** a pity your **missing** such a chance.〔動名詞句〕

= I think **it** a pity **that** you should miss such a chance.〔that 節〕

（私は君がそのような機会を逃すのを残念に思う）

297 **find it … to *do***「～するのは…だとわかる」

▶ find it difficult to *do*「～するのは難しいとわかる［思う］」

298 **think it … to *do***「～することは…と思う」

▶ think it better not to *do*「～しないほうがいいと思う」

299 **make it … to *do***「～することを…にする」

▶ make it possible for A to *do*「A が～することを可能にする」

300 **make it a rule to *do***「いつも～することにしている」

▶ 形式目的語の it を用いた慣用表現。(301・302 も同様)

▶ 堅い表現なので，日常的には always / usually などの副詞を用いて，Ms. Suzuki *always* [*usually*] checks … office. のように言う。

〈補足〉動名詞を用いた同意表現も押さえておくこと。

本問 = Ms. Suzuki **is in the habit of** *checking* … office.

= Ms. Suzuki **has the** [**a**] **habit of** *checking* … office.

301 **take it for granted that** 節「～を当然のことと思う」

〈語句〉be likely to *do*「～しそうである」(➲ 1173)

〈発展〉形式目的語の it を用いない元の形 **take ～ for granted** も重要。take A for B「A を B だと思う」(➲ 1035) の B に grant「認める」の過去分詞 granted が来たもの。

A を（一般に）認められたことと思う ➡ A を当然のことと思う

We shouldn't **take** *our good health* **for granted**.

（私たちは健康であることを当然と考えてはならない）（東京理科大）

302 **see (to it) that** 節「～するように取り計らう［気をつける］」(= **make sure that** 節 ➲ 1118)

▶ 口語では to it を省略することが多い。

〈補足〉**see to ～**「～を取り計らう / ～に気をつける / ～の世話をする」

Leave the matter to me. I'll **see to it**.

（その問題は私に任せなさい。私が引き受ける）

Theme 82

□□□ **303** 頻出 The climate of Sapporo is not as mild as (　　).
① of Tokyo　② that of Tokyo　③ Tokyo　④ Tokyo is　（山梨大）

□□□ **304** Salaries are higher here than (　　　) in his country.
① that　② the　③ their　④ those　（明治学院大）

□□□ **305** Jimmy's lecture made a great impression on all (　　　) present.
① that　② who　③ those　④ whoever　（高知大）

Theme 83

□□□ **306** 基本 頻出 As I have lost my walking stick, I think I have to buy (　　).
① it　② one　③ that　④ some　（実践女子大）

□□□ **307** 兄は青いフリスビーを選び，私は赤いフリスビーを選んだ。
My brother chose a blue Frisbee, (a / and / I / one / red).　（日本大）

□□□ **308** I have a new bag and several old (　　　).
① it　② one　③ them　④ ones　（愛知工大）

□□□ **309** This book is not so exciting as (　　　) I read last year.
① a one　② it　③ the one　④ which　（共立女子大）

□□□ **310** 発展 She likes red wine better than (　　　).　（園田学園女子大）
① a white one　② white one　③ white　④ the white one

Power Up! 62 one と it の使い分け

(1) **one** = **a** + 名詞 ➡ 前出の名詞と同種類のものだが不特定のものを指す
it = **the**［所有格］+ 名詞 ➡ 前出の名詞そのものを指す
(2) it には修飾語はつかないが，one には修飾語をつけることが可能で，その場合は冠詞がついたり（**a**［**the**］～ **one**），複数形（**ones**）になったりする。
"Which do you like?" "I like **the big one**."
（どちらが好きですか ―― 大きいほうが好きです）（武庫川女子大）

303 （②） 札幌の気候は東京（の気候）ほど温暖ではない。
304 （④） ここでの給料は彼の国（での給料）よりも高い。
305 （③） ジミーの講演は出席者全員に大きな感銘を与えた。
306 （②） ステッキをなくしてしまったので，買わなくてはならないと思う。
307 My brother chose a blue Frisbee, (and I a red one).
308 （④） 私は新しいかばんを1個と古いかばんを数個持っている。
309 （③） この本は去年読んだ本ほど面白くない。
310 （③） 彼女は白ワインより赤ワインが好きだ。

Theme 82 that / those の用法

303 前に出た名詞のくり返しを避ける **that**

▶ The climate of Sapporo と比べているのは，Tokyo ではなく the climate of Tokyo なので，「the + 単数名詞」の代用となる that を用いた ② that of Tokyo が正解。

▶ that は，通例後ろに修飾語句を伴う。that of ～ の形になることが多い。

〈比 較〉 it も「the + 単数名詞」の代用になるが，it は常に単独で用いる。

304 前に出た名詞のくり返しを避ける **those**

▶ those は「the + 複数名詞」の代わりに用いる。those of ～ の形になることが多いが，本問のようにそうでない場合もある。(those = the salaries)

305 **those present**「出席者」

▶ those が「人々」(= (the) people) の意味を表すことがある。those present は「出席者」の意味。本問の場合 those who were present の who were が省略されたと考えればわかりやすい。

〈発 展〉 those concerned［involved］「関係者 / 当事者」も押さえておこう。

Theme 83 one / ones の用法

306 単独で用いられる場合 ―― **one** = **a** + 単数名詞

▶ 買わなければならないステッキは「不特定のもの」なので，a walking stick を表す ② one が正解。

〈選択肢〉 ① it は「私のなくしたステッキそのもの」を指すことになるので不可。
cf. I've lost my walking stick. I wonder where *it* (= the［my］walking stick) is.（ステッキをなくした。どこにあるのだろう）

307 修飾語がつく場合 ① ―― **a**［**the**］+ 形容詞 + **one**

▶ one に修飾語がつく場合は可算名詞と同じに扱われて，冠詞がつく。複数なら ones になる。(a red one = a red Frisbee)

▶ くり返しを避けるために I の後の chose は省略されている。

308 修飾語がつく場合 ② ――（**the** +）形容詞 + **ones**

▶ one の複数形 ones は必ず修飾語つきで用いる。(old ones = old bags)

309 **one(s)** の後に修飾語句がつく場合 ―― **the one(s)** + 関係代名詞節

▶ one(s) は関係代名詞節などで限定されると定冠詞がつく。本問の the one は the book を表し，直後に目的格の関係代名詞 which［that］が省略されている。本問のように，the one が「物」を指す場合は the one = that［the ones = those］と考えてよい（that，those より the one(s) のほうが口語的）。

310 **one** が使えない場合

▶ one は wine / rice などの不可算名詞の代用とはならないので注意が必要。その場合は前に出た不可算名詞をくり返すか，省略してもわかる場合は省略してもよい。正解は ③ white で，wine が省略された形。

□□□ **311** 基本 I don't like this scarf. Show me (　　). （京都外語大）
① other　② one　③ another　④ something

□□□ **312** 発展 They liked the town and decided to stay there (　　) few days.
① one more　② other　③ more　④ another （芝浦工大）

□□□ **313** 基本 頻出 I couldn't tell the difference between the two.
= I couldn't tell one (　　) (　　) (　　). （大阪教育大）

□□□ **314** 頻出 Some board members agreed with the president's proposal but (　　) didn't. （愛知学院大）
① another　② other　③ others　④ the other

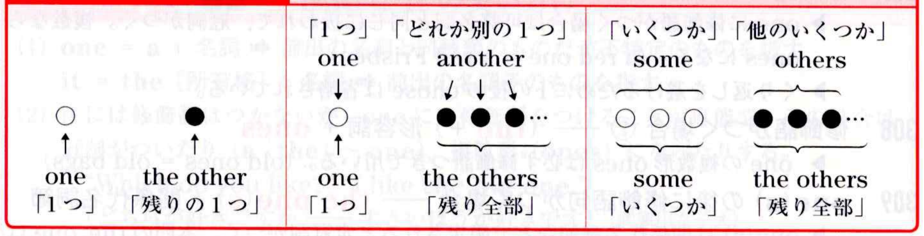
□□□ **315** I have four cards here. One is red and (　　) are all green.
① the other　② the ones　③ others　④ the others （成城大）

□□□ **316** Making promises is one thing, keeping them (　　). （高岡法科大）
① another　② other　③ others　④ the others

□□□ **317** 基本 Jack and Brenda met ①to each other ②for the first time ③while jogging ④in Central Park. （南山大）

□□□ **318** Three of the candles went out one (　　) another.
① and　② to　③ for　④ after （獨協大）

Power Up! 63 相関的に用いる不定代名詞の基本パターン



311 （③） このスカーフは気に入りません。別のを見せてください。
312 （④） 彼らはその町が気に入ったので，もう数日そこにとどまることにした。
313 （from, the, other） 私はその2つの区別がつかなかった。
314 （③） 社長の提案に賛成する役員もいれば，そうでない役員もいた。
315 （④） ここに4枚のカードがあります。1枚は赤で，残り全部は緑です。
316 （①） 約束をすることと，約束を守ることはまったく別のことだ。
317 （①） 〔to each other ➡ each other〕 ジャックとブレンダは，セントラルパークをジョギングしているときに初めてお互いに出会った。
318 （④） そのろうそくのうちの3本の火が次々に消えた。

Theme 84 another / other / others の用法

311 **another**「もう1つ［1人］（の）/ 別の（1つ［1人］）」

▶ 見せてほしいのは「このスカーフ」以外の「不特定の別のスカーフ」なので，③ another（= an + other）を選ぶ。

〈選択肢〉 ① other は単独では用いないので不可。

312 **another** + 数詞［**few**］+ 複数名詞

—— **another few days**「さらに数日 / もう数日」

▶ another は，元来「an + other」なので，another の後ろには原則として単数名詞が来る。ただし，「数詞［few］+ 複数名詞」を1つのまとまりと見なす場合は，another を複数名詞の前につけることができる。この場合，単数・複数両扱い。

Another *two months* has [have] passed.（さらに2か月が過ぎた）

313 **one ～ the other …**「（2つのうちの）1つは～，残りの1つは…」

▶「残りの1つ」は特定のものなので the other と the がつく。

〈語句〉 tell A from B「A と B を見分ける / A と B を区別する」（➲ 522）

314 **some ～ others …**「～のものもあれば，…のものもある」

〈プラスα〉 **some ～ some** … の形をとることもある。

Some (people) say yes and **some** say no.
（賛成の人もいれば反対の人もいる）

〈比較〉 単数形は **one ～ another** …「1つは～また（別の）1つは…」。

One wanted to read; **another** wanted to watch television.
（1人は本を読みたがり，別の1人はテレビを見たがった）

315 **the others**「残り全部」

▶ 3つ［3人］以上のものから，one または some を取った「残り全部」は the others で表す。本問は all green とあるので，残り全部と解釈する。

316 **A is one thing, (and) B (is) another**「A と B は別のものである」

▶ 慣用表現として押さえておくこと。

317 **each other**「お互い」（= **one another**）

▶ each other は副詞句ではなく代名詞なので，常に他動詞や前置詞の目的語として用いる。

▶ 本問の met (meet) は他動詞なので前置詞 to は不要。×met to each other

(○) They are friends with each other.〔前置詞の目的語として〕
(×) They are friends each other.

318 **one after another**「（3つ以上のものが）1つまた1つと / 次々に」

▶ one after another は副詞句として用いる。

〈プラスα〉 主語や目的語として用いる **one ～ after another** の形もある。

One plane **after another** took off.〔主語として〕
= Planes took off **one after another**.（飛行機が次々に離陸した）

Theme 85

□□□ **319** (　　) brothers do not like carrots.（大阪産業大）
① Both my　② My both　③ The both　④ Both two my

□□□ **320** 頻出 (　　) of us has to ask him to give us some advice about the project.
① Both　② All　③ Either　④ Every（関西学院大）

□□□ **321** We searched for the two boys everywhere, but (　　) was to be found.
① both　② either　③ neither　④ none（金城学院大）

□□□ **322** (　　) of the three girls live near here.
① Either　② Neither　③ No　④ None（神田外語大）

Theme 86

□□□ **323** (　　) of these four students has written an essay.
① Both　② Every　③ Each　④ Some（姫路獨協大）

□□□ **324** 頻出 The medicine has to be taken (　　) six hours.
① each　② all　③ some　④ every（松山大）

□□□ **325** He writes to his girlfriend almost every (　　) day.
① another　② other　③ any　④ each（法政大）

Power Up! 64 both / either / neither / none / each / every などの使い分け

2つ［2人］	**both** 「両方(の)」	***each** 「それぞれ(の)」	**either** 「どちらか(の)/どちら(の〜)も」	**neither** 「どちら(の…)も〜ない」
3つ［3人］以上	**all** 「全部(の)」	****every** 「どの〜もみな」	**any** 「どれ(で)も」	****none** 「どれ[誰]も〜ない」

*each は3つ［3人］以上の場合も使う。
**every は形容詞用法のみ，none は代名詞用法のみ，その他は両用法あり。

319（①）私の兄弟は2人ともニンジンが好きではない。 **320**（③）私たちのどちらかが，その計画について助言してもらえるように彼に頼まなければならない。
321（③）その2人の少年をくまなく捜したが，どちらも見つからなかった。
322（④）その3人の女の子たちは誰もこの近くに住んでいない。
323（③）これら4人の学生はそれぞれ小論文を書いた。
324（④）その薬は6時間ごとに飲まなければならない。
325（②）彼はガールフレンドにほぼ1日おきに手紙を書いています。

Theme 85 both / either / neither / none の用法

319 both「(2つ［2人］の) 両方 (の)」
▶ both は代名詞の所有格 / the / these などの前に置かれるので,「私の兄弟の2人とも」は both my brothers (= both of my brothers) の語順になる。
〈選択肢〉③ は Both the の語順なら可。○both (the) brothers「その兄弟は2人とも」

320 either「(2つ［2人］の) どちらか一方 (の) / どちら (の〜) も」
▶ 単数扱いするのは ③ Either と ④ Every。every は形容詞用法のみなので不可。
▶ 名詞の前に置いて,「どちらの〜も / どちらか一方の〜」という意味の形容詞用法もある。この意味では both / each のほうがふつう。
Please come on Monday or Tuesday. **Either** day is all right.
(= *Both* days are all right. = *Each* day is all right.)
(月曜日か火曜日に来てください。どちらの日でもいいです)
▶ 否定文で either を用いると「どちらも〜ない」の意味になる。
I do**n't** like **either** of the men. = I like neither of the men.
(私はどちらの男も好きでない)

321 neither「(2つ［2人］の) どちら (の…) も〜ない」〔両方否定〕
▶ either 同様, neither も原則として, 単数扱いである。
〈選択肢〉逆接の but があるので, ①, ② は不可。both は複数扱いする点からも不可。④ none は3つ［3人］以上について用いるので不可。

322 none「(3つ［3人］以上の) どれ［誰］も〜ない」
▶ **none of A** の形で使うことが多い。A に複数(代)名詞が来る場合はふつう複数扱い, 不可算名詞が来る場合は単数扱い。
▶ A の名詞には必ず the, this, his のような限定する語がつく。
〈選択肢〉① Either, ② Neither は2人について用いるので不可。③ No は形容詞用法のみなので不可。

Theme 86 each / every の用法

323 each〔個別的に〕「それぞれ (の) / めいめい (の)」
▶ 代名詞としての each は, 単独または **each of A**「A のそれぞれ」の形で使われ, 単数扱いする。選択肢のうちで単数扱いなのは, ② Every と ③ Each だが, every は形容詞用法のみなので不可。○every + 単数名詞　×Every of A

324 every + 基数 + 複数名詞「〜ごとに」
▶ 一般的な用法の every + 単数名詞「どの〜もみな」以外に, every を「基数 + 複数名詞」または「序数 + 単数名詞」につけて「〜ごとに」「〜おきに」という意味を表す用法も重要。
every three years = every third year「3年ごとに［2年おきに］」

325 every other + 単数名詞「1つおきの〜」
(= **every second** + 単数名詞 / **every two** + 複数名詞)
▶ every other day「1日おき［2日ごと］に」(= every second day / every two days)

Theme 87

□□□ **326** Will you lend me (　　) money?
① bit　② little　③ some　④ few　（東海大）

□□□ **327** I hope you would become a leader (　　) day.
① a　② some　③ any　④ the other　（青山学院大）

□□□ **328** You can catch (　　) of these buses. They all go downtown.
① no　② any　③ some　④ every　（東京理科大）

□□□ **329** (　　) food is better than none.
① Few　② Almost　③ Any　④ Every　（東洋大）

Theme 88

□□□ **330** お金は本当の幸福とは何の関係もないと考える人もいる。
頻出 Some people think that money (to / with / nothing / do / has) true happiness.　（佛教大）

□□□ **331** 〔共通の１語を入れよ〕
A: He is (　　) but a child.
B: She got this book for (　　).　（西南学院大）

□□□ **332** 父は政府について文句ばかり言っている。　（中京大）
My father (the / about / but / does / complain / nothing) government.

□□□ **333** The refrigerator is out of order.
= Something is (　　) (　　) the refrigerator.　（大阪教育大）

□□□ **334** There is (　　) attractive about him.
① something　② somewhat　③ somewhere　④ somehow　（南山大）

326　(③)　いくらかお金を貸してくれませんか。
327　(②)　君がいつかリーダーになることを願っている。
328　(②)　これらのバスのどれに乗ってもいいですよ。すべて中心街に行きますから。
329　(③)　どんな食べ物でもないよりはましです。
330　Some people think that money (has nothing to do with) true happiness.
331　(nothing)　A：彼は子供にすぎない。 B：彼女はただでこの本を手に入れた。
332　My father (does nothing but complain about the) government.
333　(wrong, with)　その冷蔵庫はどこか故障している。
334　(①)　彼にはどこか魅力的なところがある。

Theme 87 some / any の用法

(1) **some** と **any** は可算名詞にも不可算名詞にも用いられる。「いくつか（の）/いくらか（の）」の意味で，ばく然とした『数・量』を表し，代名詞と形容詞の用法がある。

(2) **some** は主に肯定文で，**any** は疑問文・否定文・条件文で用いる。
If there is **any** tea left, please give me **some**.
（お茶が残っていれば，いくらかください）

(3) ただし，**some** を疑問文で，**any** を肯定文で用いることもあるので要注意。

326　**some** + 不可算名詞の用法 / 疑問文中の **some** の用法
▶ some + 不可算名詞は「いくらかの～」の意味を表す。
▶ some を疑問文で用いる場合 ── 肯定の答えを予期するときで，何かを依頼したり，勧めたりする場合に用いる。

327　**some** + 単数の可算名詞「ある～」 *cf.* **some** + 複数名詞「いくつかの～」
▶ some day「（将来の）いつか / ある日」
〈選択肢〉 the other day は「先日」という意味なので，④ the other は不可。

328　肯定文中の **any** の代名詞用法 ── **any of A**「A の中のどれでも」
〈選択肢〉 ① no と ④ every は形容詞用法のみなので不可。③ some は文意に合わない。

329　肯定文中の **any** の形容詞用法 ── **any** + 単数名詞「どんな～でも」
▶ 不可算名詞の food「食物」を修飾できるのは ③ Any。
〈選択肢〉 ① Few は「few + 複数名詞」，④ Every は「every + 可算名詞の単数形」の形で用いるので不可。② Almost は副詞なので不可。

Theme 88 something / nothing を用いた慣用表現

330　**have nothing to do with** ～「～と何の関係もない」
▶ have の次に **nothing**「全くない」/ **something**「いくらか」/ **much** [**a lot**]「大いに」/ **little**「ほとんどない」などを入れて関係の程度を表すことができる。
入試では **have nothing to do with** の出題が多い。

331　**nothing but** ～「～だけ / ～にすぎない（= **only**）（⬅ ～以外は何もない）」
▶ but は「～以外の / ～を除いて」の意味の前置詞。（➲ 718）
〈語句〉 for nothing「無料で / ただで」（= free / free of charge）（➲ 1202）

332　**do nothing but *do***「～ばかりする（⬅ ～以外何もしない）」
▶ but の後ろに原形不定詞［動詞の原形］が来る点に注意。

333　**Something is wrong** ［**the matter**］ **with** ～「～はどこか故障している / ～はどこか具合が悪い」
〈語句〉 out of order「故障して」（➲ 1214）
〈発展〉 同意表現 **There is something wrong** ［**the matter**］ **with** ～も重要。

334　**There is something** + 形容詞 + **about** ～「～にはどこか…なところがある」
〈選択肢〉 ② somewhat「いくぶん」，④ somehow「どういうわけか」

Theme 89

□□□ **335** Will you introduce (　　)?
基本
① myself　② himself　③ herself　④ yourself　(創価大)

□□□ **336** He was very generous.
= He was generosity (　　).　(甲南大)

Theme 90

□□□ **337** どうぞチーズケーキを食べてください。冷蔵庫にあります。
基本 **頻出**
Please (　　) yourself to a piece of cheesecake. It's in the refrigerator.　(愛知学院大)

□□□ **338** そのパーティーはとても楽しかった。
頻出
We enjoyed (　　) very much at the party.　(立命館大)

□□□ **339** Take off your coat and make (　　) at home.
頻出
① it　② us　③ you　④ yourself　(中央大)

□□□ **340** 彼はひとりだけで時間を過ごすことがあります。
基本
Sometimes he spends time (　　) himself.
① to　② by　③ with　④ in　(青山学院大)

□□□ **341** A computer cannot think (　　) itself. It has to be given instructions.
① at　② for　③ on　④ with　(千葉商大)

□□□ **342** He was (　　) himself with joy to hear the news.
① over　② besides　③ beside　④ beyond　(高千穂商大)

□□□ **343** CO_2 is not a poison (　　) itself.
① at　② for　③ in　④ to　⑤ with　(武蔵大)

335　(④)　自己紹介してくれませんか。
336　(itself)　彼は寛大そのもの［とても寛大］でした。
337　(help)　**338**　(ourselves)
339　(④)　コートを脱いで，気楽にしてください。　**340**　(②)
341　(②)　コンピューターは自ら考えることはできない。指示を与えなければならない。
(➲ Power Up! 8)
342　(③)　彼はその知らせを聞いて喜びのあまり我を忘れた。
343　(③)　二酸化炭素はそれ自体では毒ではない。

Theme 89　再帰代名詞の用法

再帰代名詞とは，人称代名詞の所有格または目的格に -self, -selves をつけた形で，「～自身」の意味を表す。再帰代名詞には次の 2 用法がある。

(1) 再帰用法 ―― 動詞や前置詞の目的語になる。〔主語 = 目的語のときにのみ〕
He cut **himself** with a knife by mistake.
（彼は誤ってナイフでけがをした）

(2) 強調用法 ―― 主語・目的語・補語の直後に置かれ，それらの意味を強める。
I myself said so. = I said so **myself**.《口語的》〔主語を強調〕
（私が自分でそう言った）＊主語を強調する場合は文末に置くことも多い。

335　動詞の目的語となる場合
▶ introduce *oneself*「自己紹介する」。you の再帰代名詞は yourself。

336　補語を強調
▶ 本問の itself は補語の generosity を強調している。generosity itself で very generous「とても寛大な」の意味になる。
「抽象名詞 + **itself**」=「**very** + 形容詞」になる。
She is **kindness itself**. = She is **very kind**.（彼女はとても親切です）

Theme 90　再帰代名詞を用いた慣用表現

337　**help *oneself* to** ～「～を自由に取って食べる［飲む］」
▶ この表現の help は help A to B で「A（人）に B（飲食物）を取ってやる」の意味。help *oneself* to ～「(飲食物) を自分で (自由に) 取って食べる［飲む］」

338　**enjoy *oneself***「楽しく時を過ごす」(= **have a good time**)
▶ 本問 = We **had a** very **good time** at the party.

339　**make *oneself* at home**「くつろぐ」(= **feel at home**［**at ease**］)
▶ at home「くつろいで，気楽に」(= at ease ➲ 1231)

340　**by *oneself***「ひとりで (= **alone**) / 独力で /〔by itself〕ひとりでに」

341　**for *oneself***「独力で」
▶「自分のために自ら」の意。

342　**beside *oneself***「(喜び・怒りなどで) 我を忘れて / 夢中になって」

343　**in *oneself***「それ自体では / 元来」
▶ 通例 **in itself / in themselves** の形で用いる。

Power Up! 65　その他の「前置詞 + *oneself*」の慣用表現

□ **to *oneself***「自分だけに / 自分専用に / 心中ひそかに」
I want a room **to *myself***.（自分の個室が欲しい）
Keep the secret **to *yourself***.（その秘密を胸にしまっておきなさい）
□ **between *ourselves***「ここだけの話だが」(= between you and me)
□ **in spite of *oneself***「(自分自身(の気持ち)にもかかわらず) 思わず / 我知らず」

Theme 91

□□□ **344** 基本 頻出 Do you know the people (　　) are talking over there?
① they　② which　③ who　④ whom　（共立女子大）

□□□ **345** 基本 頻出 An orphan is a child (　　) parents are both dead.
① who　② of whom　③ whose　④ whom　（昭和女子大）

□□□ **346** 基本 The house (　　) he was looking for was on the main street.
① where　② what　③ which　④ in which　（関西学院大）

□□□ **347** 基本 頻出 The shoes (　　) look rather expensive.
① are wearing　② you are wearing
③ that are wearing　④ that you wearing　（文教大）

□□□ **348** She goes to an English school (　　) is high.
① whose tuition　② which tuition
③ the tuition of whose　④ the tuition of that　（関西学院大）

□□□ **349** 頻出 あなたのお兄さんだと思った男性は，実は違う人だった。
The man (　　) your brother proved to be the wrong person.
① was I thought　② who was I thought
③ whom I thought was　④ who I thought was　（獨協医大）

Power Up! 66 関係代名詞の先行詞と格変化

(1) 先行詞が『人』の場合は **who**，『人以外』の場合は **which** が使われる。**that** は先行詞が『人』『人以外』の両方に使える。

(2) 関係代名詞は，関係詞節の中で，主語の働きなら主格，目的語の働きなら目的格，所有格の代名詞の働きなら所有格と，それぞれ決められた形をとる。

先行詞	主格	所有格	目的格
人	**who**	**whose**	**whom** / **who**《口語》
人以外	**which**	**whose** / **of which**	**which**
人＋人以外	**that**	×	**that**

344 （③） 向こうで話をしている人たちを知っていますか。
345 （③） 孤児とは，両親とも亡くなっている子供のことだ。
346 （③） 彼が捜していた家は本通りに面していた。
347 （②） あなたがはいている靴は，かなり高価に見える。
348 （①） 彼女は授業料の高い英語学校に通っている。
349 （④） ＊ the wrong A「間違ったA」。wrong は『不正確／不適切』を表す。

Theme 91 関係代名詞 who / which / that の用法 ― 先行詞と格変化

関係代名詞は文を結びつける働きと代名詞の働きを兼ねたもので，形容詞節を導いて，名詞［先行詞］を後ろから説明（修飾）する。

344 『人』が先行詞の主格関係代名詞 ―― **who**［**that**］

▶ Do you know the people? ＋ **They** are talking over there.

➡ Do you know the people **who** are talking over there?
先行詞

345 『人』が先行詞の所有格関係代名詞 ―― **whose**

▶ An orphan is a child. ＋ **His**［**Her**］parents are both dead.

➡ An orphan is a child **whose** parents are both dead.
先行詞

346 『人以外』が先行詞の目的格関係代名詞 ―― **which**［**that**］

▶ The house was on the main street. ＋ He was looking for **it**.

➡ The house **which** he was looking for was on the main street.
先行詞

347 目的格関係代名詞の省略 ―― 目的格［**which** / **who**(**m**) / **that**］は省略可

▶ The shoes look rather expensive. ＋ You are wearing **them**.

➡ The shoes **which** you are wearing look rather expensive.
先行詞

348 『人以外』が先行詞の所有格関係代名詞 ―― **whose** / **of which**

▶『人以外』が先行詞の場合，所有格には次の２パターンある。
She goes to an English school. ＋ The tuition **of it** is high.

➡ She goes to an English school the tuition **of which** is high.
先行詞

➡ She goes to an English school **whose** tuition is high.
先行詞

She goes to an English school. ＋ **Its** tuition is high.

349 関係代名詞直後の **S** ＋ **V** の割り込み

▶ 関係代名詞の直後に I think［believe］などが割り込んだように見える形がある。本問の場合，関係代名詞の働きは I thought の目的語ではなく，was your brother の主語であるから，主格の関係代名詞 who を用いた ④ who I thought was が正解。
The man proved to be the wrong person. ＋ I thought (that) **he** was your brother.

➡ The man **who** I thought was your brother proved to be the wrong person.
先行詞

Theme 92

□□□ **350** 頻出

Soseki Natsume is a man (　　　) I have the greatest respect.

① whom　② with whom　③ for whom　④ of whom（神奈川大）

□□□ **351** 頻出

(　　　) last night wasn't very comfortable.

① The bed I slept　② The bed in that I slept

③ The bed I slept in　④ The bed in I slept（慶應大）

□□□ **352** 発展

壊れた机を直したいのですが，何かよい道具はありますか。

Are there any good (which / fix / what / to / with / tools) the broken desk?〔1 語不要〕（成蹊大）

Theme 93

□□□ **353** 頻出

(　　　) irritated me the most was the way he was talking to me.

① How　② That　③ What　④ Which（近畿大）

□□□ **354** 頻出

I didn't buy anything because I didn't see (　　　) I wanted.

① who　② whose　③ which　④ what（別府大）

□□□ **355** 頻出

Thank you, Hiromi. This book is exactly (　　　) I wanted.

① what　② which　③ of which　④ that（センター）

Power Up! 67　「前置詞＋関係代名詞」と前置詞の後置

関係代名詞が前置詞の目的語になる場合，次の 3 通りの形が可能。

① 前置詞＋関係代名詞　② 前置詞の後置　③ 目的格関係代名詞の省略

This is *the office*. + He works in *it* (= the office).

➡ ① This is the office **in which*** he works. (ˣin that)　《文語》

➡ ② This is the office **which** [**that**] he works **in**.　↓

➡ ③ This is the office（省略）he works **in**.　《口語》

（これは彼が勤めている会社です）

*① の場合，関係代名詞は目的格でも省略できない。

350（③）夏目漱石は私が最も尊敬している人物です。

351（③）私が昨晩寝たベッドはあまり心地よくなかった。

352 Are there any good (tools with which to fix) the broken desk?〔what が不要〕

353（③）私を最もいらいらさせたのは，彼の私に対する口のきき方だった。

354（④）欲しいものが見あたらなかったので何も買わなかった。

355（①）ヒロミ，ありがとう。この本はまさに私が欲しかったものです。

Theme 92　前置詞＋関係代名詞

350　前置詞＋関係代名詞 ── **for whom**

▶ 関係代名詞が前置詞の目的語の場合，文末にあるべき前置詞が関係代名詞とセットで前に移動することがある。

▶ 本問の場合は，have respect for ～「～を尊敬する」の for は文末にあるべきだが，for whom となって関係詞節の先頭に移動している。

本問 ⬅ Soseki Natsume is a man.

+ I have the greatest respect for him (= Soseki Natsume).

351　前置詞の後置 ── 関係代名詞の省略

▶ 目的格関係代名詞 which［that］が省略され，前置詞 in が後置された形の ③ The bed I slept in が正解。

本問 ⬅ The bed wasn't very comfortable.

+ I slept in it (= the bed) last night.

〈選択肢〉that の場合は，前置詞は必ず後置されるので ② The bed in that I slept は不可。in が文末にあるときは which を省略できるが，in which の which は省略できないので ④ The bed in I slept は不可。

〈語句〉not very「あまり～でない」（➲ Power Up! 51）

352　前置詞＋関係代名詞＋**to** 不定詞

▶ 前置詞＋which［whom］to *do* が直前の名詞を修飾する用法がある。

▶「前置詞＋関係代名詞」のセットが必ず不定詞の前に来なければならないので，tools with which to fix の語順になる。ˣtools which to fix the broken desk with

Theme 93　関係代名詞 what の基本用法

(1) **what** はその中に先行詞を含んだ特殊な関係代名詞である。what 1 語で **the thing(s) which**「～すること［もの］」という意味になり，名詞節を導く。

(2) what 自体は，what 節内で主語・目的語・補語といった名詞の働きをする。what 節全体は名詞節なので，文中で主語・目的語・補語となる。

He is not interested in **what** he is doing now.（彼は今していることに興味がない）

* what 節内で他動詞 do の目的語，what 節全体は前置詞 in の目的語。

353　**what** ── **what** 節内で主語，**what** 節全体は主語

▶ $\underset{\textbf{S}}{\underline{\text{What}}}\ \underset{\textbf{V}}{\underline{\text{irritated}}}\ \underset{\textbf{O}}{\underline{\text{me}}}$ ... (**S**) + was (**V**) + the way ... (**C**) の構造。

354　**what** ── **what** 節内で目的語，**what** 節全体は **because** 節内で目的語

▶ $\underset{\text{接続詞}}{\underline{\text{because}}}$ I (**S**) + didn't see (**V**) + $\underset{\textbf{O}}{\underline{\text{what}}}\ \underset{\textbf{S}}{\underline{\text{I}}}\ \underset{\textbf{V}}{\underline{\text{wanted}}}$ (**O**) の構造。

355　**what** ── **what** 節内で目的語，**what** 節全体は補語

▶ This book (**S**) + is (**V**) + $\underset{\textbf{O}}{\underline{\text{what}}}\ \underset{\textbf{S}}{\underline{\text{I}}}\ \underset{\textbf{V}}{\underline{\text{wanted}}}$ (**C**) の構造。

Theme 94

□□□ **356** 発展
わずかだが今もっているお金をすべて君にあげよう。
I'll give (I / little / now / money / what / have / you).　（東海大）

□□□ **357** 頻出
彼のおかげで今日の私があるのです。
He (am / me / has / what / made / I) today.　（金沢経済大）

□□□ **358**
この辺の景色は昔とはかなり違う。
The scenery around here is quite (what / different / it / be / from / to / used).　（東京経済大）

□□□ **359** 頻出
These shoes are expensive, and what is more, they are too small.
① besides　② concerning　③ despite　④ however　（日本大）

□□□ **360**
It was getting dark, and (　　) was worse, we couldn't find our hotel.
① which　② that　③ what　④ but　（立命館大）

□□□ **361**
John is (　　) is called a man of culture.
① that　② what　③ which　④ who　（関東学院大）

□□□ **362** 発展
読書の精神に対する関係は，食物の肉体に対する関係に等しい。
Reading is (food / mind / what / the / to) is to the body.　（武蔵大）

Power Up! 68 関係代名詞 what と接続詞 that の使い分け

問題 僕にわからないのは，彼が申し出を断ったことだ。（流通経済大）
(a) I don't understand is (b) he refused my offer.

解説 ともに名詞節を導き，「～こと」と訳される場合が多いので，両者の区別は大切。

〈識別法〉 後ろに主語や目的語の欠けた不完全な文が続く ➡ 関係代名詞 **what**
後ろに完全な文が続く ➡ 接続詞 **that**

答え (a) の後ろ ── understand の目的語が欠けた不完全な文 ➡ What
(b) の後ろ ── 完全な文 ➡ that

……

356 I'll give (you what little money I have now).
357 He (has made me what I am) today.
358 The scenery around here is quite (different from what it used to be).
359 (①) この靴は高い。その上，小さすぎる。
360 (③) 暗くなっていた。そしてさらに悪いことに，泊まるホテルが見つからなかった。
361 (②) ジョンはいわゆる文化人［教養の高い人］です。
362 Reading is (to the mind what food) is to the body.

Theme 94 関係代名詞 what を用いた慣用表現

356 **what（few［little］）+ 名詞**「（少ないながらも）～するすべての…」
▶ 関係代名詞 what が，後ろに名詞を伴って形容詞のような働きをしているので，関係形容詞と呼ばれている。
本問 = I'll give you **all the** *little money* **that** I have now.

357 **what S is**「現在の S」
〈プラスα〉 what S has「S が持っているもの ➡ S の財産」と対比的に使って，what S is が「S の人柄」の意味になることもある。
A man's worth lies *not so much** in **what he has** *as* in **what he is**.
（人間の価値は財産よりもむしろ人柄にある）（立教大）
＊ not so much A as B「A というよりはむしろ B」（➲ 191）

358 **what S used to be［was］**「昔の S（の姿）」

359 **what is more**「その上 / おまけに」（= **besides / in addition**）
〈選択肢〉 ② concerning「～に関して」，③ despite「～にもかかわらず」，
④ however「しかしながら」

360 **what is worse**「さらに悪いことには」
⇔ **what is better**「さらに良いことには」
▶ 本問は過去のことを言っているので，what was worse と過去形になっている。

361 **what is called**「いわゆる」（= **what we［you / they］call**）
〈比較〉 so-called「いわゆる / ～とやら」〔時に『不信』『軽蔑の意』を含む〕
My *so-called* friends never helped me.
（私の友人と称する人たちは私を助けてくれたことがない）

362 **A is to B what C is to D**「A と B の関係は C と D の関係と同じだ」
▶ A : B = C : D の関係を表す。この形では what の代わりに **as** を用いても意味は変わらない。

Power Up! 69 「what + S + be 動詞」の意味

関係代名詞 what を含む慣用表現の中では what S is が特に重要。
□ **what S is**「現在の S」⇔ □ **what S was［used to be］**「昔の S」
□ **what S is**「S の人柄」
□ **what S has**「S の財産」
□ **what S（really）is**「S の真の姿」
⇔ □ **what S appears［seems］to be**「S の見かけの姿」
People are not always **what they appear［seem］to be**.
（人は見かけによらない）
□ **what S will be**「将来の S」　□ **what S should be**「S のあるべき姿」

Theme 95

□ **363** Tell me about the city (　　) you grew up.
□ 頻出 ① that　② which　③ of which　④ where　（湘南工科大）
□

□ **364** England is the country (　　) I've wanted to visit for a long time.
□ 頻出 ① where　② in which　③ to which　④ which　（福井工大）
□

□ **365** 戦争のない日が来ることを私は信じています。　（京都学園大）
□ I believe (day / the / there / when / will be / will come) no war.
□

□ **366** I want to know the reason (　　) you did it.
□ ① what　② which　③ why　④ how　（芝浦工大）
□

□ **367** This is (　　) I learned to write a novel.
□ 頻出 ① that　② whom　③ how　④ who　（駒澤大）
□

Power Up! 70 関係副詞の種類と先行詞

先行詞	場所 (place, house など)	時 (time, day など)	理由 (reason のみ)	なし
関係副詞	**where**	**when**	**why**	**how**

Power Up! 71 関係副詞 where と関係代名詞 which の使い分け

『場所』を表す語が先行詞であっても，関係詞は where とは限らない。
関係詞は導く節の中でどういう働きをするかによって決まる。

□ 代名詞の働き（主語や目的語になる）：後ろは「不完全な文」➡ **which**
□ 副詞の働き（文の主要素にならない）：後ろは「完全な文」➡ **where**

(1) Kyoto is the city **which** I want to visit.（京都は訪ねてみたい都市です）
〔不完全な文〕➡ [which = **it** (the city)]

(2) Kyoto is the city **where** I was born.（京都は私が生まれた都市です）
〔完全な文〕➡ [where = **there** (in the city)]

＊ ただし，I was born に in がついていれば which。

363 (④) あなたが育った都市について教えてください。
364 (④) 英国は私が長い間訪れたいと思っていた国です。
365 I believe (the day will come when there will be) no war.
366 (③) 私はあなたがそれをした理由を知りたい。
367 (③) このようにして私は小説を書けるようになった。

Theme 95 関係副詞の基本用法

関係副詞は先行詞と節をつなぐ接続詞の働きと副詞の働きを兼ねるもので，**where / when / why / how** の4つがある。

363 関係副詞 **where** ――『場所』を表す語が先行詞

▶ 先行詞が the city という『場所』を表す語で，(　　) の後ろが you (S) + grew up (V) の「完全な文」なので，関係副詞の ④ where が正解。

Tell me about the city. + You grew up **there** (= **in the city**).

➡ Tell me about the city **where** you grew up.
先行詞　〔where = in which〕

364 関係副詞 **where** と関係代名詞 **which** の使い分け

▶『場所』を表す語が先行詞であっても，後ろが「不完全な文」の場合は関係代名詞を用いる。本問は他動詞 visit の目的語がない「不完全な文」なので，(　　) には目的格関係代名詞の ④ which が入る。

England is the country. + I've wanted to visit **it** for a long time.

➡ England is the country **which** I've wanted to visit for a long time.
先行詞　〔不完全な文〕

365 関係副詞 **when** ――『時』を表す語が先行詞

▶ 本問のように先行詞と when が離れている場合があるので要注意。

I believe the day will come. + There will be no war **then** (= **on the day**).

➡ I believe the day will come **when** there will be no war.
先行詞　〔when = on which〕

366 関係副詞 **why** ―― 先行詞は **the reason**

▶ I want to know the reason. + You did it **for the reason**.

➡ I want to know the reason **why** you did it.
先行詞　〔why = for which〕

367 **This is how** 節「このようにして～（⬅ これが～する方法だ）」

▶ 関係副詞の how は常に先行詞なしで用いられる。how だけで「～する方法」の意味になる。(×the way how)

▶ 本問のように，主に This [That] is how 節の形で用いる。

〈語句〉 learn to *do*「(自分の努力で) ～する［できる］ようになる」

〈比較〉 how を用いないで，同じ意味を次のように表すことができる。

本問 = This is **the way** I learned to write a novel.
= This is **the way in which** I learned to write a novel.
= This is **the way that** I learned to write a novel.

Theme 96

□□□ 368 There are numerous cases (　　) Japanese modesty causes misunderstanding.
① which　② what　③ where　④ how　（城西大）

□□□ 369 **発展** その本を読んでしまったら元の場所へ返しておいてください。（西南学院大）
Put the book back (was / when / where / to / you're / it) through with it.

□□□ 370 **頻出** Michael works very hard. That's (　　) I respect him.
① how　② the person　③ the thing　④ why　（センター）

Theme 97

□□□ 371 彼女の帽子は青色だが，彼女の髪によく合っている。
Her hat, (　　) is blue, goes well with her hair.
① where　② that　③ what　④ which　（成蹊大）

□□□ 372 **発展** There are thirty students in the class, most of (　　) study hard.
① who　② which　③ whom　④ them　（九州国際大）

□□□ 373 I went to the supermarket near my house, (　　) I happened to meet one of my old friends.
① that　② there　③ where　④ which　（愛知学院大）

Power Up! 72 非制限用法の関係詞 ―― その意味のとり方

関係代名詞の場合は「接続詞＋代名詞」，関係副詞の場合は「接続詞＋副詞」に置き換えて，原則として前から後ろへ順に意味をとる。

He dismissed the man, **who** (= *because he*) was lazy.
（彼はその男を解雇した，怠け者だったからだ）

She sat up until midnight, **when** (= *and then*) she heard a strange noise.
（彼女は真夜中まで起きていた，するとその時奇妙な物音が聞こえた）

……

368 (③) 日本人の謙虚さが誤解を生じさせる場合が多い。
369 Put the book back (to where it was when you're) through with it.
370 (④) マイケルはとても一生懸命働く。だから私は彼を尊敬している。
371 (④)
372 (③) そのクラスには生徒が30人いて，彼らのほとんどは一生懸命勉強します。
373 (③) 私は家の近くのスーパーに出かけ，そこで旧友の1人に偶然出会った。

Theme 96 関係副詞の注意すべき用法

368 where の先行詞が『場所』以外の場合

▶ where の先行詞には具体的な場所の他に **case**「場合 / 事例」/ **situation**「状況」/ **point**「点」などもある。

369 関係副詞 where の先行詞省略

▶ 先行詞が **the place / the time / the reason** などの場合，先行詞を省略して，where / when / why だけを用いることがよくある。

▶ 本問の場合，先行詞 the place が省略された形で，where が「～する場所」の意味の名詞節を導く。

〈語 句〉 be through with ～「(仕事など) をし終わっている」

370 関係副詞 why の先行詞省略

▶ **That is why** 節「そういうわけで～ (⬅ それが～する理由です)」

▶ 本問 = I respect Michael. **That's because** he works very hard.

「理由 + **That's why** + 結果」 = 「結果 + **That's because** + 理由」

Theme 97 非制限用法の関係詞

(1) 関係詞の前にコンマを置いて，先行詞について説明を付け加える用法。
(2) 非制限用法のある関係詞は，関係代名詞の **who / which** と関係副詞の **where / when** だけである。**that / why / how** にはこの用法はない。
(3) 非制限用法では目的格関係代名詞であっても省略できない。

371 非制限用法の関係代名詞 which

▶ 本問は，『人以外』が先行詞で，節内では主語の働きをしているので，主格関係代名詞の ④ which が正解。② that はもともと限定性の強い関係代名詞なので，非制限用法では使わない。

▶ 本問のように，文の途中に挿入して先行詞に補足的説明を付け加える場合は，「～だが」「～で」とあいまいに訳す。「接続詞 + 代名詞」に置き換えるのは不自然である。

372 「前置詞 + 関係代名詞」の非制限用法 ―― ..., most of whom ～

▶「前置詞 + 関係代名詞」にも非制限用法がある。
特に **A of whom** [**which**] がセットで関係詞節の先頭に置かれた形に注意。
A には **all / most / some / many / both / neither** などの数量を表す代名詞が用いられる。

..., **most of whom** study hard. = ..., *and most of them* study hard.

373 非制限用法の関係副詞 where

▶ 非制限用法の where は「そしてそこで」(= and there) の意味を表す。

▶ ..., **where** I happened to meet one of my old friends.
= ..., *and there* I happened to meet one of my old friends.

〈語 句〉 happen to *do*「偶然 [たまたま] ～する」

Theme 98

□□□ **374** 頻出 The typhoon suddenly became weaker, (　　) was good news for the village.

① it　② that　③ what　④ which　（センター）

□□□ **375** 頻出 She tried to lift the box, (　　) impossible.

① which she found it　② which she found
③ that she found was　④ but she found　（龍谷大）

□□□ **376** 発展 We were told to go not by bus but by subway, (　　) advice we followed.　（東京芸術大）

Theme 99

□□□ **377** I can't trust (　　) men as praise me to my face.

① who　② big　③ no　④ such　（桜美林大）

□□□ **378** 頻出 As is often the case with him, he was absent from work.

① usual　② rare　③ sad　④ inevitable　（流通経済大）

□□□ **379** Everybody has weaknesses.
= There is no one (　　) has weaknesses.

① but　② who　③ that　④ than　（関西学院大）

□□□ **380** 発展 Even if you are ill, don't take more medicine (　　).

① than is necessary　② than necessary is
③ than necessary it is　④ than is it necessary　（青山学院大）

374　（④）　台風の勢力は急に弱まったが，そのことは村にとって良い知らせだった。
375　（②）　彼女はその箱を持ち上げようとしたが不可能だとわかった。
376　（which）　私たちはバスではなく地下鉄で行くように言われたので，その忠告に従った。
377　（④）　私は面と向かって私をほめるような人は信用できない。
378　（①）　彼にはよくあることだが，彼は仕事を休んだ。
379　（①）　欠点のない人はいない。
380　（①）　たとえ病気だとしても，必要以上の薬を飲まないように。

Theme 98　which の特別な非制限用法

374　前の節全体を先行詞とする which

▶ 非制限用法の which には，前の節全体やその一部を先行詞とする用法がある。本問の ④ which は，前の節全体を先行詞とする主格関係代名詞。

..., **which** was good news ... = ..., *and that* [*it*] was good news ...

〈選択肢〉 接続詞なしで文をつなげることができないので，① it は不可。and it なら可。関係代名詞 ② that と ③ what には非制限用法がないので不可。

375　前の節の一部を先行詞とする which

▶ 本問の which は to lift the box を先行詞とする目的格関係代名詞。

..., **which** she found impossible. = ..., *but* she found *it* impossible.

376　非制限用法で用いる関係形容詞 which《文語》

▶ 非制限用法の which には直後に名詞を伴う関係形容詞としての用法もある。

..., **which** advice we followed. = ..., *and* we followed *that* advice.

「前置詞 + which + 名詞」の形で用いられることも多い。

Theme 99　関係代名詞としての as / but / than の用法

377　such ... as ～「～するような…」

▶ 関係代名詞としての **as** は **such** / **the same** などと相関的に用いられる。本問では such men を先行詞とする主格関係代名詞。

〈比較〉 先行詞が「the same + 名詞」の場合は，the same ... as ～ と the same ... that ～ の形があり，現在では区別なく使われる。

He has **the same** PC **as** [**that**] you have.
（彼は君と同じパソコンを持っている）

378　as is often the case (with ～)「(～には) よくあることだが」
(= **as is usual** (**with** ～))

▶ as にも非制限用法の which と同じように節全体を先行詞とする用法がある。ただし which 節が必ず主節の後に置かれるのに対して，as 節は主節の前後に置かれたり，主節中に挿入されたりする。

本問 = He was absent from work, *as is often the case with* him.
= He was, *as is often the case with* him, absent from work.

379　関係代名詞としての but (= that ～ not)《文語》

▶ 関係代名詞としての but は，常に否定語とともに用いられる。but 自体に否定の意味があるので，文全体では「～しないものはない」と二重否定になる。文語体なので，日常的には使わないほうがよい。

本問 = There is no one that [who] doesn't have weaknesses.

380　関係代名詞としての than

▶ 先行詞が比較級の形容詞を伴う場合には，**than** が関係代名詞のように用いられることがある。本問では than は主語の働きをしている。

Theme 100

□ **381** You can give the ticket to (　　　) wants to see the movie.
□ 頻出 ① whatever　② whichever　③ whoever　④ whomever （実践女子大）
□

□ **382** You may order (　　　) you want.
□ ① whatever　② however　③ for which　④ of which （大阪経済大）
□

□ **383** He's determined to finish the job (　　　) happens.
□ ① whatever　② however　③ whenever　④ no matter （立命館大）
□

□ **384** Please give me (　　　) information you get as soon as possible.
□ ① as if　② even if　③ whatever　④ whenever （センター）
□

□ **385** Whoever may come to the door, tell them I am out.
□ 頻出 = No (　　　) who may come to the door, tell them I am out.
□ ① matter　② reason　③ longer　④ knowing （駒澤大）

Power Up! 73 whoever / whichever / whatever の用法

（1）名詞節を導く用法

□ **whoever**　「～する人は誰でも」(= **anyone** [**anybody**] **who**)（➲ 381）
□ **whichever**「～するものはどれ［どちら］でも」(= **any** [**either**] (～) **that**)
□ **whatever**　「～するものは何でも」(= **anything that**)（➲ 382）
＊ 名詞節を導く場合は「**any** ～」で書き換えられる。

（2）『譲歩』の副詞節を導く用法

□ **whoever**　「誰が～しても」(= **no matter who**)
□ **whichever**「どちらが［を］～しても」(= **no matter which**)
□ **whatever**　「何が［を］～しても」(= **no matter what**)（➲ 383）
＊『譲歩』の副詞節を導く場合は「**no matter** ～」で書き換えられる。（➲ 385）

〈補　足〉 複合関係形容詞 **whichever A** の例文

You can take **whichever bus** you like. — 名詞節
（どちらでも［どれでも］好きなバスに乗ってください）
You will get to the same place, **whichever bus** you take. —『譲歩』の副詞節
（たとえどちらの［どの］バスに乗っても，同じ場所に着くでしょう）（東海大）

381 （③） そのチケットを誰でもその映画を見たい人にあげてもよい。
382 （①） 欲しいものは何でも注文してよろしい。
383 （①） 彼は何が起ころうと，その仕事を終えようと決心している。
384 （③） あなたが得たどんな情報でも，できるだけ早く私に教えてください。
385 （①） たとえ誰が玄関にやって来ても，私は外出していると言ってくれ。

Theme 100 whoever / whichever / whatever の用法

（1）関係代名詞 **who / which / what** に **-ever** をつけたものを複合関係代名詞と呼ぶ。① 名詞節を導く用法と，②『譲歩』の副詞節を導く用法がある。
（2）**whichever** と **whatever** には直後に名詞を伴う形容詞用法（複合関係形容詞）がある。この場合も上記の2用法がある。（➲ 384）

381 名詞節を導く **whoever**「～する人は誰でも」(= **anyone who**)

▶（　）には wants の主語になる複合関係代名詞 ③ whoever が入る。前置詞 to にまどわされて ④ whomever を選ばないこと。
① whatever と ② whichever は意味の上で wants の主語になれない。

▶ 本問の whoever は節内では主語。節全体 whoever wants to see the movie は前置詞 to の目的語となる名詞節。
本問 = You can give the ticket to *anyone who* wants to see the movie.

382 名詞節を導く **whatever**「～するものは何でも」(= **anything** (**that**))

▶（　）の後ろは他動詞 want の目的語が欠けた不完全な文なので，（　）には代名詞［目的語］の働きをする ① whatever が入る。

▶ 本問の whatever は節内では want の目的語。whatever 節全体は他動詞 order の目的語となる名詞節。
本問 = You may order *anything* (*that*) you want.

383 副詞節を導く **whatever**「何が［を］～しても」(= **no matter what**)

▶（　）より前が完全な文なので，（　）以降の節は副詞節を導く。（　）の後ろは主語が欠けているので，（　）には代名詞［主語］の働きをし，かつ副詞節を導く ① whatever が入る。

▶ 本問の whatever は節内では happens の主語。whatever happens は副詞節の働きをしているので，no matter what happens に書き換え可能。

384 複合関係形容詞 **whatever A**「～するどんな **A** でも」
(= **any A** (**that**)) —— 名詞節

▶ give me の後ろは直接目的語の名詞句または名詞節が来る。選択肢の中で名詞節を導くのは ③ whatever だけ。
whatever information … = any information …

〈選択肢〉 ① as if，② even if，④ whenever は副詞節を導くので不可。

〈比 較〉 I'll follow **whatever advice** he gives me. —— 名詞節
（彼が与えてくれるどんなアドバイスにも，私は従います）
I'll follow him **whatever advice** he gives me. ——『譲歩』の副詞節
（彼がどんなアドバイスをしようとも，私は彼に従います）

385 副詞節を導く **no matter who**「誰が～しても」(= **whoever**)

▶『譲歩』の副詞節を導く whoever は no matter who に書き換え可能。

▶『譲歩』を表す場合，本問のように助動詞 may が用いられることがある。ただし，文語的な言い方。

Theme 101

□□□ **386** You may come (　　　) it is convenient.
① whenever　② whichever　③ whomever　④ whatever　（東洋大）

□□□ **387** 彼はどこへ行っても成功する。〔2 語不要〕　（近畿大）
(he / no / wherever / go / matter / may), he will be successful.

□□□ **388** (　　) fast I walked, I couldn't catch up with him.
頻出
① As　② However　③ If　④ Though　（京都産業大）

□□□ **389** どんなにおとなしそうに見えても，知らない人にはドアをあけないこと。
Don't (no / how / to / matter / harmless / stranger / any / the door / open) he seems.　（名城大）

Power Up! 74　whenever / wherever / however の用法

（1）『時・場所』の副詞節を導く用法

□ **whenever**「～するときはいつでも」（＝(**at**) **any time** (**when**))」（➲ 386）
□ **wherever**「～するところはどこでも」（＝(**at / in / to**) **any place** (**where**))
＊ これらは『場所』や『時』を表す副詞節を導く接続詞と考えてよい。
Cars give you the freedom to go **wherever** you want **whenever** you want.
（車のおかげでいつでもどこへでも行ける自由が得られる）（立命館大）

（2）『譲歩』の副詞節を導く用法

□ **whenever**「いつ～しても」（＝ **no matter when**）
You will find him home **whenever** you (may) visit.
（いつ訪問しても彼は家にいますよ）
□ **wherever**「どこで［へ］～しても」（＝ **no matter where**）（➲ 387）
□ **however**「どんなに～でも」（＝ **no matter how**）（➲ 388）
＊「no matter ～」に書き換えられるのは『譲歩』の副詞節を導く場合だけ。

386 （①） いつでもあなたの都合のいいときに来ていいですよ。
387 (Wherever he may go), he will be successful.〔no, matter が不要〕
388 （②） どんなに速く歩いても，彼には追いつけなかった。
389 Don't (open the door to any stranger no matter how harmless) he seems.

Theme 101 whenever / wherever / however の用法

(1) 関係副詞 **when / where / how** に -**ever** をつけたものを複合関係副詞と呼ぶ。
(2) ①『時・場所』の副詞節を導く用法と，②『譲歩』の副詞節を導く用法がある。
however は ② の『譲歩』の意味のみ。

386 **whenever**「～するときはいつでも」（＝ **at any time when**）

▶（　）の後ろの it is convenient が完全な文なので，（　）には副詞の働きをする複合関係副詞の ① whenever が入る。

〈選択肢〉 複合関係代名詞の ② whichever，③ whomever，④ whatever の後ろは不完全な文が続くので，すべて不可。

〈比 較〉 関係代名詞と関係副詞の使い分けと同じように，複合関係詞は，導く節の中でどういう働きをするかによって決まる。（➲ Power Up! 71）
代名詞の働き（主語や目的語になる）＝ 後ろは不完全な文 ➡ 複合関係代名詞
副詞の働き（文の主要素にならない）＝ 後ろは完全な文 ➡ 複合関係副詞

〈語 句〉 convenient は人を主語にしない形容詞で，It is ～ 構文や事・物・場所を主語にした文で用いられる。（➲ 650）
○it is convenient (for you)　×you are convenient

387 **wherever**「どこへ～しても」（＝ **no matter where**）

▶「どこへ行っても」という『譲歩』の意味の場合は，wherever または no matter where を用いて，wherever he may go / no matter where he may go と表せる。与えられた語群の中に where がないので，wherever で文を始める。

388 **however** ＋形容詞［副詞］「どんなに～でも」（＝ **no matter how**）

▶ コンマの後ろで文が成立しているので，コンマより前の節は副詞節。選択肢はすべて副詞節を導くが，後ろに副詞 fast を伴うのは ② However だけ。however は通例，「however ＋形容詞［副詞］＋ SV」の形で用いる。However I walked fast は誤り。

▶ however が導く副詞節はすべて『譲歩』の意味なので，常に no matter how で書き換えられる。本問 ＝ No matter how fast I walked, …

〈語 句〉 catch up with ～「～に追いつく」（➲ 1026）

389 **no matter how** ＋形容詞［副詞］「どんなに～でも」
（＝ **however** ＋形容詞［副詞］）

▶「どんなにおとなしそうに見えても」➡「どんなに無害に見えても」と『譲歩』の意味を表しているので，「no matter ～」を用いて，no matter how harmless he seems と表す。however の場合と同様に，no matter how も後ろに形容詞［副詞］を伴うので，×no matter how he seems harmless としないように。

本問 ＝ Don't open the door to any stranger however harmless he seems.

第13章 接続詞

Theme 102

□□□ **390** 基本
On New Year's Day, many Japanese ① watch special programs ② on TV, ③ visiting shrines, and relax ④ at home. （明治大）

□□□ **391** 基本
I think he is a very intelligent person, (　　) many people don't agree with me.
① but　② for　③ which　④ who （センター）

□□□ **392** 頻出
It started snowing, (　　) they had to stop playing tennis.
① because　② in spite of　③ so　④ though （東京経済大）

Theme 103

□□□ **393** 頻出
Work hard, (　　) you will succeed.
① and　② or　③ otherwise　④ than （流通経済大）

□□□ **394** 頻出
Hurry up, (　　) you will be late for the bus.
① and　② or　③ when　④ unless （大阪産業大）

□□□ **395**
You've got to be careful (　　) you'll miss it again.
① and　② besides　③ or　④ at least （駒澤大）

□□□ **396**
A little more effort, (　　) you will succeed.
① or　② even if　③ and　④ but （清泉女子大）

390 (③) 〔visiting ➡ visit〕 元旦に，多くの日本人はテレビで特別番組を見たり，神社にお参りに行ったり，家でくつろいだりする。
391 (①) 私は彼のことをとても聡明な人だと思うが，私に同意しない人が多い。
392 (③) 雪が降り始めた。それで彼らはテニスをやめなければならなかった。
393 (①) 一生懸命働きなさい，そうすれば成功するでしょう。
394 (②) 急ぎなさい，さもなければバスに遅れるよ。
395 (③) 注意しないとだめだよ。さもないとまたやりそこなうよ。
396 (③) もう少し努力しなさい。そうすれば成功しますよ。

Theme 102 等位接続詞

文法上対等の働きをする語と語，句と句，節と節，文と文などを結びつけるものを等位接続詞という。等位接続詞には **and / but / or** 以外に **so**「それで / だから」/ **for**「というのは～だから」/ **nor**「また～ない」などがある。

390 **and**「そして」
▶ and（but / or も同様）が何と何を結んでいるかを見抜くことは，英文構造を正しく理解する上できわめて大切である。本問では，3つの述語動詞（現在形）を and が結んでいる。3つ以上のものを結ぶ場合は最後の語句の前に and を置く。文法上対等なものを結ぶのが原則なので ③ visiting を visit に訂正する。

391 **but**「しかし / だが」――『逆接』
▶（　　）の前後の2文は対立する関係にあるので，① but が正解。
〈選択肢〉② for「というのは～だから」では文意が通らない。（　　）の後ろは完全な文なので，文の主要素（主語や目的語）になる関係代名詞 ③ which と ④ who は不可。

392 …(,) **so**（**that**）～「それで～ / だから～」
▶ so は本来副詞であるが，接続詞として，前の文の内容を受けてその結果を表す用法がある。（　　）の前後の意味から判断して，③ so を選ぶ。
〈選択肢〉① because, ④ though では文意が通じないので不可。② in spite of「～にもかかわらず」（➲ 1282）は群前置詞なので不可。

Theme 103 命令文 + and / or

393 命令文 + **and**「～しなさい，そうすれば…」
▶「命令文 + and」は実質的には条件を表すので，if を使って次のように書き換えることができる。本問 = If you work hard, you will succeed.

394 命令文 + **or**「～しなさい，さもないと…」
▶「命令文 + or」も if を使って次のように書き換えることができる。
本問 = If you don't hurry up [Unless you hurry up], you will be …
〈発展〉or の代わりに **otherwise** を用いることもある。
Leave at once, **otherwise** you'll be late.
（すぐに出発しなさい。さもないと遅れるよ）

395 命令文に準ずる表現 + **and** / **or**
▶ 命令文の代わりに，**You must** [**have to / should / had better**] ～ などの命令文に準ずる表現を用いることも多い。（　　）の前後の意味から判断して，③ or を選ぶ。
〈語句〉have got to《口語》 = have to ≒ must

396 名詞句 + **and** / **or**
▶「命令文 + and / or」の変形バージョン。命令文に相当する名詞句が来ることもある。本問は Make a little more effort「もう少し努力しなさい」の意味。（　　）の前後の意味から判断して，③ and を選ぶ。

Theme 104

□□□ **397** **基本** Both you and I (　　) suspected by the police.
① are　② am　③ is　④ be　(駒澤大)

□□□ **398** **頻出** 両親か祖母かどちらかが授業参観に来ることになっています。
Either my parents or my grandmother (　　) my class.
① visit　② has visited　③ is visiting　④ are visiting　(浜松大)

□□□ **399** **頻出** Chris has neither time (　　) money to travel.
① to　② both　③ nor　④ or　(桜美林大)

□□□ **400** **基本** **頻出** He is not an American (　　) a Canadian.
① also　② so　③ but　④ for　(文教大)

□□□ **401** **頻出** (　　) is optimistic about the outcome of the new project.
① Both the employees and the president
② Either the president or the employees
③ Not only the employees but also the president
④ The employees as well as the president　(中央大)

□□□ **402** 疲れていたからではなく，行きたくなかったので行かなかったのです。
I didn't go (tired / I / not because / didn't / but / because / was / I) want to.　(大阪学院大)

Power Up! 75　動詞を A, B どちらに一致させるか？

and / but / or / nor を用いた相関的な表現が主語の場合，動詞の一致は以下の通り。

□ **both A and B**「**A** も **B** も」➡ 複数扱い (➲ 397)
□ **either A or B**「**A** か **B** かどちらか」➡ **B** に一致〔動詞に近いほうに〕(➲ 398)
□ **neither A nor B**「**A** も **B** も～ない」➡ **B** に一致〔動詞に近いほうに〕(➲ 399)
□ **not A but B**「**A** ではなく **B**」➡ **B** に一致〔意味の重点が **B** に〕(➲ 400)
□ **not only A but (also) B**「**A** だけでなく **B** もまた」➡ **B** に一致〔意味の重点が **B** に〕(➲ 401)

* A as well as B「B だけでなく A も」(= not only B but also A) の場合，動詞は A に一致させる。(➲ 194)

397 (①) あなたも私も警察に疑われている。　**398** (③)
399 (③) クリスは旅行する時間もお金もない。
400 (③) 彼はアメリカ人ではなくカナダ人です。
401 (③) 従業員だけでなく社長も新しいプロジェクトの結果に楽観的です。
402 I didn't go (not because I was tired but because I didn't) want to.

Theme 104 等位接続詞を用いた相関的表現

both A and B のような等位接続詞を用いた相関的な表現では A，B には通例，文法上対等の関係にあるものが来る。入試では，相関的な表現が主語として用いられる場合，動詞を A，B どちらに一致させるかを問う出題が多い。

397 **both A and B「A も B も」**
▶ both A and B が主語の場合，動詞は複数扱いにするので，① are が正解。

398 **either A or B「A か B かどちらか」**
▶ 主語として用いる場合，動詞は原則として B に一致させる。
▶ 本問は個人的な予定を表すので，正解は ③ is visiting。(➲ 6)

399 **neither A nor B「A も B も～ない」(= not either A or B)**
▶ A と B の両方を打ち消す。**not either A or B** と同意。
本問 = Chris does**n't** have **either** time **or** money to travel.
▶ 主語として用いる場合，動詞は原則として B に一致させる。
Neither the teacher **nor** the students *are* [×aren't] in the hall.
(その教師も生徒たちも講堂にいない)

400 **not A but B「A ではなく B」(= B, and not A / B, not A)**
▶ この場合 but は「しかし」と訳さない。
〈発展〉 not A but B の B を前に出したい場合は，B, and not A または B, not A とする。
Not you **but** I *was* in the wrong.
= I, **(and) not** you, *was* in the wrong.
(君ではなく僕のほうが間違っていた)

401 **not only A but (also) B「A だけでなく B もまた」**
▶ not only A but (also) B は not A but B の変形。
▶ B に意味の重点があるので，主語として用いる場合，動詞は B に一致させる。選択肢の中で，主語として用いられた場合に述語動詞が is になるのは ③ Not only the employees but also the president だけ。他はすべて are になるので不可。(➲ Power Up! 75)
〈語句〉 outcome「(最終的な) 結果 / 成果」[外へ (out) 出て来る (come) もの]
〈発展〉 only の代わりに merely / simply / just などを用いたり，also の代わりに as well を用いたりすることもある。
She is **not merely** pretty, **but also** bright.
(彼女はきれいなだけでなく利口だ)
Jim lived **not only** in Japan **but** in Brazil **as well**.
(ジムは日本だけでなくブラジルにも住んでいた)

402 **not because A but because B「A だからではなく B だから」**
▶ not A but B に because が結びついた構文。

Theme 105

□□□ **403** (　　) he didn't marry her was a big surprise to us.
① What　② Whenever　③ That　④ While　(和光大)

□□□ **404** The trouble is (　　) we are short of money.
① when　② why　③ that　④ what　(立命館大)

□□□ **405** 頻出 私は，その機械が壊れていたという事実を見逃していた。　(愛知工大)
I have (was / the machine / the fact / overlooked / out of order / that).

□□□ **406** 頻出 発展 Last winter was rather unusual (　　) that very little snow fell in northern Japan.
① about　② by　③ in　④ on　(センター)

Theme 106

□□□ **407** 頻出 His mother asked him (　　) he had been to the bank.
① if　② what　③ where　④ which　(拓殖大)

□□□ **408** 頻出 (　　) you pay in cash or by credit card will make no difference.
① Although　② How　③ Whether　④ If　(松山大)

□□□ **409** I'm worried (　　) she is happy.　(立命館大)
① as if　② in case　③ about if　④ about whether

Power Up! 76　名詞節を導く whether と if の用法比較

	主語	形式主語構文で真主語	動詞の目的語	前置詞の目的語	補語	同格
whether 節	○	○	○	○	○	○
if 節	×	○	○	×	×	×

＊ whether 節が，主語／真主語・目的語・補語・前置詞の目的語・同格になるのに対して，if 節は，動詞の目的語・形式主語での真主語としてしか使われない。

403 (③) 彼が彼女と結婚しなかったことは私たちにはたいへんな驚きだった。
404 (③) 困ったことに私たちはお金が不足しているのです。
405 I have (overlooked the fact that the machine was out of order).
406 (③) 北日本ではほとんど雪が降らなかったという点で，昨年の冬はかなり異常だった。
407 (①) 彼の母親は彼に銀行に行ってきたかどうか尋ねた。
408 (③) 現金で支払うか，それともカードで支払うかはどちらでもいいでしょう。
409 (④) 私は彼女が幸せかどうか心配している。

Theme 105 名詞節を導く that

that は名詞節を導いて「～ということ」という意味を表す。文中で主語，目的語，補語になる。また，名詞に続いてその内容を説明する同格の用法もある。

403 主語になる名詞節を導く **that**「～ということ」

▶ That he didn't marry her (S) ＋ was (V) ＋ a big surprise (C) の構造。

〈選択肢〉 what も名詞節を導くが，(　　) の後ろには he didn't marry her という完全な文が来ているので，文の主要素になる ① What は不可。
② Whenever と ④ While が導くのは名詞節ではなく副詞節なので不可。

404 補語になる名詞節を導く **that**「～ということ」

▶ **the trouble is that** ～「困ったことに～である」― 主語を副詞的に訳すとよい

The fact is that there was a big fire in Tokyo last night.
(実は，昨晩東京で大火事があった) (高崎経済大)

405 同格の名詞節を導く **that**「～という（名詞）」
―― **the fact that** 節「～という事実」

▶ that 節は直前の名詞 the fact の具体的な内容を詳しく説明している。

406 **in that** ～「～という点で / ～だから（＝ **because**）」

▶ that 節は原則として前置詞の目的語にならないが，in that ～ と except that ～「～ということを除いて」は例外。(　　) の前後の意味から判断して，③ in を入れれば文が成立する。例外の1つ except that ～ も重要。

It is a satisfactory car, **except that** it is a little expensive.
(それは少し高いということを除いては，満足のいく車だ) (東京理科大)

Theme 106 名詞節を導く whether / if

if / whether は「～かどうか」の意味の名詞節を導く。if と whether はほぼ同じ意味であるが，用法は違うので間違えないこと。(➲ Power Up! 76)

407 動詞の目的語になる **if** 節

▶ if に導かれる名詞節が動詞 ask の目的語になっている。whether 節も動詞の目的語になるが，口語では whether より if のほうが好まれる。

本問 ＝ His mother asked him **whether** he had been to the bank (or not).

＊ or not は省略可。if を使うときは or not をつけないことが多い。

408 主語になる **whether** 節

▶ whether 節は主語になるが，if 節は文頭で主語になれないので，④ If は不可。ただし，形式主語構文で真主語になる場合は if も可。

本問 ＝ It will make no difference **whether** [$^{\circ}$**if**] you pay ... card.

409 前置詞の目的語になる **whether** 節

▶ be worried about ～「～を心配している」の前置詞 about の目的語になるのは，ここでは whether 節だけなので，④ about whether が正解。

〈選択肢〉 if 節は前置詞の目的語になれないので，③ about if は不可。

Theme 107

□□□ **410** 頻出 人は年をとるにつれて賢くなるとはかぎらない。
We do not necessarily grow wiser (　　　) we grow older.
① than　② as　③ that　④ which　（成城大）

□□□ **411** 頻出 I wish we had done (　　　) we were told.
① that　② which　③ as　④ just　（奈良女子大）

□□□ **412** その件はそっとしておいたほうがいいよ。
You had (as / better / is / it / leave / matter / the).　（東北学院大）

Theme 108

□□□ **413** 基本 John came to see you (　　　) you were out.
① for　② during　③ among　④ while　（城西大）

□□□ **414** 頻出 Digital images can be viewed almost immediately, (　　　) films take much longer to develop.
① while　② so　③ because　④ then　（武蔵工大）

□□□ **415** (　　　) I want to believe it, I cannot.
① As　② When　③ While　④ Because　（山梨学院大）

Power Up! 77 接続詞 as の用法

(1) 時・同時状況「～するとき(に) / ～と同時に」＊ when より同時性が強い。
As I got on the train, the door closed.（電車に乗ると同時にドアが閉まった）
(2) 比例「～するにつれて」＊ 通例，比較級と一緒に用いる。(➲ 410)
(3) 原因・理由「～なので」＊ この意味では because / since を多く用いる。
As he is tired, he is speechless.（彼は疲れているので口がきけない）
(4) 譲歩「～だけれど」＊ 形容詞［副詞 / 名詞］+ as S + V の形で用いる。(➲ 438)
(5) 様態「(～する) ように / ～の通りに」(➲ 411・412)
(6) 直前の名詞を限定して「(～する) ような / (～した) ときの」
Technology **as** we know it (= technology) today didn't come about until quite recently.
（今日我々が知るような技術は，つい最近になって初めて現れたものだ）（國学院大）

410 （②）　**411** （③）　私たちは言われた通りにしたらよかったのだが。
412 You had (better leave the matter as it is).
413 （④）　あなたが外出している間にジョンがあなたを訪ねて来ました。
414 （①）　デジタル画像はほとんど瞬時に見ることができるが，(一方) フィルムは現像するのにずっと長い時間がかかる。
415 （③）　私はそれを信じたいが，信じられない。

Theme 107 接続詞 as の用法

「単語は長さに反比例して難しくなる」とよく言われる。短く簡単な単語ほど，その意味，用法に注意しなければならない。as もその通りで，接続詞としての **as** は『時 / 理由 / 譲歩 / 様態 / 比例』などいろいろな意味を表すので，十分に慣れておこう。

410 『比例』の **as**「～するにつれて」
▶「grow［become / get］+ 比較級」の構文と一緒に用いることが多い。
〈語句〉not necessarily「必ずしも～というわけではない」── 部分否定

411 『様態』の **as**「(～する) ように / ～の通りに」(= **the way**)
〈発展〉口語では the way が as と同じように用いられる。
Things didn't go **the way** we had expected them to.
（物事は私たちが期待したようには進まなかった）（立命館大）
〈語句〉I wish + S + 仮定法過去完了「S が～したらよかったのに」(➲ 168)

412 **as it is**「そのまま (に) / あるがまま (に)」
▶『様態』の as を使った慣用表現。
leave ～ as it is「～をそのままにしておく」➡「～をそっとしておく」
〈プラスα〉it は指すものに応じて他の人称代名詞にもなる。
See things **as they are**.（物事をありのままに見なさい）

Theme 108 while の用法

413 『時』の **while**「～する間 / ～している間」
▶ (　　) の後ろに「S + V」(you were out) が続いているので，(　　) には接続詞の ④ while が入る。while 節内では，動作動詞の進行形か状態動詞を使うことが多い。
〈選択肢〉② during は前置詞なので後ろには (代) 名詞が来る。during your absence なら正しい文になる。(➲ 689)
本問 ＝ John came to see you during your absence.

414 『対比』の **while**「～なのに対して / ～である一方」(= **whereas**)
▶ (　　) の前後の文の対比関係に着目して，『対比』の ① while を選ぶ。本問は，「デジタル画像」と「フィルム現像」の対比。
▶ 次の例文のように，some ～ others … の相関的な表現で対比が示される場合が多い。(➲ 314)
Some have nothing to eat, **while** *others* eat too much.
（食べ物が何もない人もいるが，(一方) 食べすぎる人もいる）（愛知学院大）

415 『譲歩』の **while**「～だけれども / ～なのに」(= **although / though**)
▶ while を although / though とほとんど同じ意味で用いることもある。『譲歩』の意味の場合は，while 節は主節の前に置かれるのが一般的。
〈選択肢〉① As，② When，④ Because では文意が通らない。

Theme 109

□□□ **416** 基本
暗くならないうちに家に帰りなさい。
You must ①go home ②before ③it ④doesn't get dark. （名古屋大）

□□□ **417** 基本 頻出
My mother and I have been shopping at this mall since we (　　　) to this city. （立教大）
① have moved　② move　③ moved　④ will move

□□□ **418** 頻出
If your headache gets worse, take this medicine and stay in bed (　　　) the pain is relieved.
① until　② by　③ by the time　④ in time （福岡大）

□□□ **419**
We will have finished the work (　　　) the time you get here.
① by　② for　③ from　④ till （京都学園大）

□□□ **420**
Whenever I go to the store, I run into him.
= (　　　) (　　　) I go to the store, I run into him. （津田塾大）

□□□ **421**
A bad habit, (　　　) formed, cannot easily be gotten rid of.
① as　② in　③ once　④ then （青山学院大）

Power Up! 78 time を用いた接続詞表現

□ **by the time** ～	「～するまでには」(➲ 419)
□ **every** [**each**] **time** ～	「～するたびに / ～するときはいつも」(➲ 420)
□ (**the**) **next time** ～	「今度～するとき（は）」
□ **the first time** ～	「初めて～するとき（は）」
□ **the last time** ～	「この前［最後に］～したとき」

Power Up! 79 「～するたびに」の表現

その店に行くたびに，私は彼に出くわす。

□ **Every** [**Each**] **time** I go to the store, I run into him. (➲ 420)
□ **Whenever** I go to the store, I run into him.
□ **When** I go to the store, I **always** run into him.
□ I **never** go to the store **without** running into him. (➲ 279)

416 （④）［doesn't get ➡ gets］
417 （③） この都市に引っ越して以来，母と私はこのショッピングモールで買い物をしている。
418 （①） 頭痛がひどくなるようなら，この薬を飲んで，痛みが治まるまで寝ていなさい。
419 （①） あなたがここに着くまでには私たちは仕事を済ませているだろう。
420 （Every [Each], time） その店に行くたびに，私は彼に出くわす。
421 （③） 悪い習慣はいったんつくとなかなか取り除けない。

Theme 109 『時』を表す接続詞

416 **before** ～「～する前に / ～しないうちに」

▶ before は「～する前に」の意味だが，文脈によっては「～しないうちに」と否定的に訳すほうが自然な場合がある。

〈注意〉 日本語の「暗くならないうちに」につられて ×before it doesn't get dark としないように。

She left before he came (×didn't come).
(彼女は彼が来ないうちに出かけた)

〈重要〉 before 節は『時』を表す副詞節なので，未来のことでも現在形で表すことにも注意。(➲ Theme 7)

417 **since** ～「～して以来」――『過去の始点』

▶ since は現在の状態が始まった『過去の始点』を表す。

▶ ふつう，主節には現在完了形，since 節には過去形が用いられるので，(　　) には ③ moved が入る。

418 **until** [**till**] ～「～するまで（ずっと）」――『動作・状態の継続期間』

▶ until [till] は，動作や状態が（ある時まで）続く期間を表す。

〈プラスα〉 until と till は，基本的に違いはない。最近は，till より until のほうが多く使われる。until [till] は前置詞としても使う。(➲ 687)

〈選択肢〉 ③ by the time「～するまでには」は『完了の期限』を表すので不可。

〈発展〉 …, **until** [**till**] ～「…して，ついに～」という表現に注意。
until [till] は「…して，ついに～」と前から訳すとよい場合がある。

The candle grew shorter and shorter, **until** it went out.
(ろうそくはだんだん短くなって，ついに消えた)

＊ 前にコンマがない場合や，until の次に at last / finally などの語句がつく場合もある。

419 **by the time** ～「～するまでには」――『完了の期限』

▶ by the time は，前置詞 by「～までに（は）」を用いた接続詞表現。(➲ 687)

〈比較〉 by the time と until [till] を混同しないように。

cf. { I will be back **by the time** you leave. (君が出かけるまでには戻ります)
　　　I will be here **until** you leave. (君が出かけるまでずっとここにいます)

420 **every** [**each**] **time** ～「～するたびに / ～するときはいつも」(= **whenever**)

▶ ともに whenever よりも口語的。

〈語句〉 run into ～「～に偶然出会う」(➲ 967)

421 **once** ～「いったん［ひとたび］～すると」――『時 + 条件』

▶ 本問の場合，once の後に it is が省略されている。(➲ Power Up! 90)

〈語句〉 get rid of ～「(厄介なもの) を取り除く」(= remove) (➲ 1112)

□□□ **422** I haven't eaten fish for nearly a month.
超頻
= It's been nearly a month (　　　) I last ate fish.
① ago　② before　③ after　④ since　（佛教大）

□□□ **423** A: How long has it been?　（近畿大）
B: Three months (since / passed / she / have / started) for New York.

□□□ **424** It is three years since he died.
= He (　　　) for three years.
① has been died　② is dead
③ has died　④ has been dead　（東北学院大）

□□□ **425** 私たちは真相をまもなく知るだろう。
It (will / be / before / we / long / know / not / the truth).　（摂南大）

□□□ **426** 父は，家に帰ってきて初めてノート型パソコンを忘れたことに気づいた。
頻出
It was (home / not / my father / came / until / that) he noticed he had left his laptop behind.　（関東学院大）

Power Up! 80 「S が～してから(時間が)…になる」の書き換え

① **It is [has been]** + 時間 + **since** + **S** + 過去形 （➲ 422）
② 時間 + **have [has] passed since** + **S** + 過去形 （➲ 423）
③ **S** + 過去形… + 時間 + **ago**
④ **S have [has] been** + 形容詞 + **for** + 時間 （➲ 424）

① It is [has been] three years since he died.
= ② Three years have passed since he died.
= ③ He died three years ago.
= ④ He has been dead for three years.
（彼が亡くなってから 3 年になります）

422 （④） ほぼ 1 か月間，魚を食べていない。
最後に［この前］魚を食べてからほとんど 1 か月になる。

423 Three months (have passed since she started) for New York.
A：どれくらいたちましたか。
B：彼女がニューヨークへ発ってから 3 か月が過ぎました。

424 （④） 彼が亡くなって 3 年になる。

425 It (will not be long before we know the truth).

426 It was (not until my father came home that) he noticed he had left his laptop behind.

Theme 110 『時』の接続詞を用いた重要表現

422 **It is [has been]** + 時間 + **since** + **S** + 過去形「S が～してから…になる」

▶「～してから…になる」の書き換えパターンを覚えよう。（➲ Power Up! 80）

本問 = Nearly a month has passed since I last ate fish.
= I last ate fish nearly a month ago. ＊ I ate fish last の語順も可。

423 時間 + **have [has] passed since** + **S** + 過去形「S が～してから…になる」

▶ A の発言は，How long has it been (since she started for New York)? と省略部分を補うとわかりやすい。

424 **S have [has] been** + 形容詞 + **for** + 時間「S が～してから…になる」

▶「彼が亡くなってから 3 年になる」➡「彼は 3 年間ずっと死んでいる（状態が続いている）」〔日本語にない英語独特の表現〕と考えて，「死んでいる」状態を表す be dead の現在完了形 ④ has been dead を選ぶ。

〈選択肢〉 die は動作動詞で，継続状態を表すことができないので，① has been died，③ has died は不可。

425 **It will not [won't] be long before ～**
「まもなく～するだろう（⬅ ～するまでに長くはかからないだろう）」

▶ before ～は『時』を表す副詞節なので，節中の動詞は未来のことでも現在形を用いる点に注意。（➲ Theme 7）

〈発展〉 **It is** + 時間 + **before** ～「～するまでに…（の時間）がかかる / …（の時間が）たってから～する」が基本形。

It was *two full hours* [*a full two hours*] **before** he got out of the traffic jam.（彼はまる2時間たってようやく交通渋滞から抜け出た）

426 **It is not until [till] ～ that …**「～して初めて…する」

▶ until [till] の否定形 not … until [till] ～ の not と until [till] 節を It is と that の間に入れて強調した形。

▶ not … until [till] ～「～するまで…しない ➡ ～して初めて…する」と，その倒置形に書き換えると次のようになる。

本問 = My father did *not* notice he had left his laptop behind *until* he came home.
= *Not until* my father came home *did he notice* he had left his laptop behind.〔倒置形〕

〈プラスα〉 until [till] は前置詞としても使うので，until [till] の後ろに名詞が置かれることもある。

It was not until *yesterday* **that** he noticed he had left his laptop behind.
（父は，昨日になって初めてノート型パソコンを忘れたことに気づいた）

Theme 111

□□□ **427** We began to walk again as (　　) as she was recovered.
基本 頻出
① well ② much ③ soon ④ long ⑤ such (愛知学院大)

□□□ **428** 子供は，母親が部屋に入ってくるのを見るとわっと泣き出した。
The child burst into tears (enter / he / his mother / saw / the moment) the room. (武蔵大)

□□□ **429** 君が出て行けと言えば，すぐに出て行くよ。
I will go away (directly / me / tell / to / you). (東京理科大)

□□□ **430** Hardly (　　) the cottage when it began to rain.
頻出
① did we reach ② do we reach
③ had we reached ④ have we reached (慶應大)

□□□ **431** I had scarcely sat down to read a book (　　) the telephone rang.
頻出
① because ② than ③ after ④ when (亜細亜大)

□□□ **432** 私を見るやいなや，彼は逃げ去った。
超頻
No (than / had / he / sooner / me / he / ran / seen / away). (獨協大)

Power Up! 81 「～するとすぐに…」のいろいろな表し方

彼は私を見るとすぐに逃げだした。

□ **As soon as**
□ **The moment** } he *saw* me, he *ran* away.
□ **Directly**
□ **On seeing** me, he *ran* away. (➲ 133)
□ He *had* **hardly** [**scarcely**] *seen* me **when** [**before**] he *ran* away.
= **Hardly** [**Scarcely**] *had* he *seen* me **when** [**before**] he *ran* away. 〔倒置形〕
□ He *had* **no sooner** *seen* me **than** he *ran* away.
= **No sooner** *had* he *seen* me **than** he *ran* away. 〔倒置形〕

---

427 (③) 私たちは彼女が回復するとすぐに再び歩き始めた。
428 The child burst into tears (the moment he saw his mother enter) the room.
429 I will go away (directly you tell me to).
430 (③) 山小屋に着くとすぐに雨が降り始めた。
431 (④) 本を読もうとして座るか座らないかのうちに，電話が鳴った。
432 No (sooner had he seen me than he ran away).

Theme 111 「～するとすぐに」の表現

「～するとすぐに」の表現では，**no sooner ～ than ...** の倒置形が最頻出。**as soon as** と同じように用いられる **the moment** も要注意。

427 as soon as ～「～するとすぐに」

▶「～するとすぐに」の意味では最もよく使う表現。現在，過去，未来のすべての時制で用いられる。(➲ 28)

428 the moment ～「～するとすぐに」(= **as soon as** ～)

▶ at the moment when の省略形。接続詞として as soon as と同じように用いられる。

本問 = The child burst into tears as soon as he saw his mother enter the room.

語句 see A *do*「A が～するのを見る」(➲ 554)

プラスα **the instant / the minute** なども同様の意味・用法を持つ。

The minute the thief entered the building, the dog began barking. (泥棒がその建物に入ったとたんに犬がほえ始めた) (南山大)

429 directly ～「～するとすぐに」(= **as soon as** ～)《英》

▶ directly は本来副詞だが，接続詞として as soon as と同じように用いられる。同様のものに immediately / instantly がある。

語句 本問の文末にある to は代不定詞で，go away が省略されている。(➲ 100)

430 hardly ～ **when** [**before**] ...「～するとすぐに…」

▶「～」の部分に過去完了形を，「...」の部分に過去形を用いて，過去のことを表す場合が多い。when の代わりに before を使うこともある。

▶ 強調のために否定の副詞 hardly を文頭に出すと，その後ろは倒置が起こり，疑問文と同じ語順になる (➲ 459)。文語的な表現だが，入試では倒置形が重要。本問の場合も倒置形。「～」の部分は過去完了形なので，③ had we reached が正解。ふつうの語順に直すと次のようになる。

本問 = We *had* **hardly** *reached* the cottage **when** it *began* to rain.

431 scarcely ～ **when** [**before**] ...「～するとすぐに…」

▶ hardly の代わりに scarcely を使うこともある。hardly と同様に scarcely を文頭に出すと，後ろは倒置形になる。

本問 = **Scarcely** *had I sat* down to read a book **when** the telephone *rang*.

432 no sooner ～ **than** ...「～するとすぐに…」

▶ no sooner ～ than ... は hardly [scarcely] ～ when [before] ... と同じ意味を表す。ただし比較構文なので，when ではなく than が用いられる点に注意。

▶ hardly [scarcely] と同様に no sooner を文頭に出すと，後ろは倒置形になる。ふつうの語順に直すと次のようになる。

本問 = He *had* **no sooner** *seen* me **than** he *ran* away.

Theme 112

□□□ **433** You should not despise a man simply (　　) he is uneducated.
① as　② because　③ for　④ since　（八戸工大）

□□□ **434** (　　) my train was delayed, I was late for school.
① Although　② Since　③ So　④ For　（南山大）

□□□ **435** 全力は尽くしたので，そのことに後悔はありません。　（九州国際大）
Now (done / I / my / have / best / that), I have no regret about it.

Theme 113

□□□ **436** 頻出 (　　) Tokyo has a relatively small land area, it has a huge population.
① Although　② But　③ Despite　④ However　（センター）

□□□ **437** 頻出 たとえ大金がかかっても，それを手に入れたい。
I'd like to get it (costs / even / if / it / lots / me / of) money.　（立命館大）

□□□ **438** 頻出 (　　) he is, I don't envy him.
① As rich　② Rich as　③ Though rich　④ Rich but　（松山大）

□□□ **439** (　　) you like it or not, you should be here by eight tomorrow morning.
① When　② Whether　③ Though　④ Even if　（東北工大）

Power Up! 82 even if と even though ［ˣeven although］の使い分け 発展

□ **even if**　「たとえ～でも」── 後ろに仮定的な事柄が来ることが多い。
□ **even though**「～ではあるが」── 後ろに事実が来ることが多い。

cf.
Even if [ˣEven though] it rains, we're going to the beach.
（雨が降っても私たちは海へ行くつもりだ）
Even though [ˣEven if] it was raining, we (still) went to the beach.
（雨が降っていたが（それでも）私たちは海へ行った）

433 （②） 教育を受けていないというだけで人を軽べつしてはいけない。
434 （②） 私の乗った電車が遅れたので，学校に遅刻してしまった。
435 Now (that I have done my best), I have no regret about it.
436 （①） 東京は比較的小さな面積しかないが，非常に多くの人口を抱えている。
437 I'd like to get it (even if it costs me lots of) money.
438 （②） 彼はお金持ちだけれども，私は彼のことをうらやましく思わない。
439 （②） 好むと好まざるとにかかわらず，君は明朝 8 時までにここに来なくてはならない。

Theme 112 『理由』を表す接続詞

433 **not ... because** ～「～だからといって…ではない」
▶ 本問の not は despise だけでなく despise 以下全体を否定している。この用法ではふつう because の前にコンマは置かれない。
You should **not** despise a man simply because he is uneducated.
despise 以下全体を否定
▶ 本問のように，not ... simply [merely / just] because ～「（単に）～というだけで…ではない」の形で使うことが多い。
〈選択肢〉 ① as，③ for，④ since はいずれも『理由』を表す接続詞だが，この用法では使わないので不可。

434 『理由』を表す **since** ～「～なので / ～である以上」
▶ 文意から判断して，『理由』を表す ② Since「～なので」が正解。
〈選択肢〉 ④ For「というのは～だから」は直前に述べたことの理由を追加的に述べるので文頭では使えない。③ So は，小文字にしてコンマの後ろに持って来れば可。① Although「～だけれども」では文意が通らない。

435 **now (that)** ～「（今や）～なので / ～である以上」──『時 + 理由』
▶ 口語では that はしばしば省略される。

Theme 113 『譲歩』を表す接続詞

436 **although** ～「～だけれども」（= **though** ～）
▶ 文意から判断して，『譲歩』を表す ① Although を選ぶ。
〈選択肢〉 ② But はこの位置では不可。小文字にしてコンマの後ろに持って来れば可。③ Despite は前置詞，④ However は副詞なので，どちらも文法的に不可。

437 **even if** ～「たとえ～でも」──『仮定 + 譲歩』
〈プラスα〉 if だけで even if の意味を表すことがある。
We'll finish it, **if** it takes us all day.
（1 日中かかってもそれを仕上げてしまうつもりだ）

438 形容詞［副詞 / 名詞］+ **as** **S** + **V**「**S** は～だけれども」
▶ 本問 = Though he is rich, I don't envy him.
▶ 文頭に名詞が来る場合は無冠詞になる。ただし現代英語で使われることはまれ。
he is a child ➡ child as he is「彼は子供ながらも」
〈発展〉 文脈によっては『理由』を表す場合もあるので要注意。
Rich as he is, he can afford a big car.
（彼は金持ちなので，大きな車を持つ余裕がある）（金城学院大）

439 **whether** ～ **or** ...「～であろうと，…であろうと」
▶ 本問のように whether ～ or not「～であろうとなかろうと」の形で使われることが多い。名詞節を導く whether については Theme 106 を参照。

Theme 114

□□□ **440** 頻出
I'll help you fix the shelves (　　　) I have too much homework to do.
① if　② when　③ unless　④ since　（東京電機大）

□□□ **441**
You can get a good seat for the concert, (　　　) you reserve it in advance.　（南山大）
① considering　② provided　③ so that　④ even though

□□□ **442** 発展
(　　　) that we miss the last train, what should we do?
① Supposedly　② Supposed　③ Supposing to　④ Suppose　（日本大）

Theme 115

□□□ **443** 頻出
Let's take an express train (　　　) we can get there 20 minutes earlier.
① in order　② so that　③ such as　④ while　（センター）

□□□ **444**
また失敗するといけないから，彼は一生懸命勉強した。
He worked hard for (　　　) he should fail again.　（立命館大）

□□□ **445** 頻出
Take your umbrella with you (　　　) it rains.
① so that　② unless　③ in that　④ in case　（摂南大）

Power Up! 83　unless と if ... not の違い　〈発展〉

unless は一般に if ... not と同じだと言われるが，まったく同じというわけでない。unless のほうが if ... not よりも使用範囲が狭く，if ... not が使えても unless が使えない場合がある。たとえば，**be happy** [**surprised**] **if** ... **not** のような感情表現の場合，if ... not の代わりに unless は使えない。

cf.
a. I'll *be happy* **if** he does**n't** come [×unless he comes] to the party.
（彼がパーティーに来ないと私は嬉しい）
b. I'll attend the party **if** he does**n't** come [○**unless** he comes].
（彼が来ないのなら私はパーティーに出ます）

＊ if ... not の代わりに unless を使えるかは，if 節が，主節の内容が起こるための『唯一の条件』なのかどうかによって判断できる。a. は，「彼が来ないこと」が「私が嬉しくなる」ための『唯一の条件』ではないので ×unless。b. は，「彼が来ないこと」が「私がパーティーに出る」ための『唯一の条件』なので ○unless。

440　（③）　もし宿題が多くなければ，君が棚を直すのを手伝うよ。
441　（②）　前もって予約しておけばコンサートのいい席が取れます。
442　（④）　終電車に乗り遅れたらどうしようか。
443　（②）　そこへ20分早く着けるように急行電車に乗ろう。　**444**　（fear）
445　（④）　雨が降るといけないから，傘を持っていきなさい。

Theme 114 『条件』を表す接続詞

440　**unless** ～「～でない限り（= **except that** ～）/ もし～でなければ（= **if ... not**）」
▶ unless は「～でない限り」という否定の条件を表し，節内で仮定法は用いない。
▶ unless は if ... not に置き換えられる場合が多い。
本問 = I'll help you fix the shelves if I don't have too much homework to do.

441　**provided** [**providing**]（**that**）～「もし～ならば」（= **if** ～）
▶ provided (that), providing (that) で if の代わりをする。
〈語句〉 in advance「前もって」（➲ 1210）

442　**suppose** [**supposing**]（**that**）～「もし～ならば」（= **if** ～）
▶ supposing も可。supposed (that) ～の形はない。

Power Up! 84　if の代用語

□ **unless** ～「～でない限り（= except that）/ もし～でなければ（= if ... not）」（➲ 440）
□ **provided** [**providing**]（**that**）～「もし～ならば / ～という条件で」（➲ 441）
□ **suppose** [**supposing**]（**that**）～「もし～ならば」（➲ 442）
□ **as** [**so**] **long as** ～「～しさえすれば / ～ならば」（➲ 450）
□ **on condition**（**that**）～「～という条件で / ～ならば」
You may go out **on condition that** you return before sunset.
（日没前に戻って来るという条件でなら外出してもいいですよ）（立正大）

＊ 仮定法の文で使えるのは suppose [supposing] (that) ～ のみ。

Theme 115 『目的』を表す接続詞

443　**so that S can** [**will** / **may**] ***do*** ～「～するために」
▶ can と will は口語調，may は改まった言い方に用いられる。
〈発展〉 口語では that が省略されることも多い。so S can [will] *do* ～
Could you speak more clearly **so** we **can** hear you?（九州国際大）
（私たちに聞こえるように，もっとはっきりと話してくれませんか）
▶ in order that S can [will / may] *do* ～でも同じ意味を表すが，堅い表現。
〈選択肢〉 in order that の that は省略しないので，① in order は不可。

444　**for fear**（**that**）**S should** [**may** / **might** / **will** / **would**] ***do*** ～「～しないように」
▶ 堅い言い方なので，日常的には so that S can [will / may] not *do* ～を用いる。
〈発展〉 同意表現に「lest S (should) + 原形」がある。文語調だが入試には出る。
本問 = He worked hard **lest** he (**should**) fail again. (×lest he fails)

445　**in case S**（**should**）***do*** ～「～するといけないから / ～の場合に備えて」
▶ in case の節内に should を用いることもある。
〈発展〉 in case には「もし [万一] ～ならば / ～の場合には」（= if）の意味もある。
Please let me know **in case** he comes.（彼が来たら知らせてください）

Theme 116

□□□ **446** 基本 頻出
その小説に夢中になってしまって，彼女に電話をするのを忘れてしまった。
I was (that / in / so / absorbed / reading / the novel) I forgot to call her. （久留米大）

□□□ **447** 頻出
昨日は天気がよかったので，多くの子供たちが屋外で遊んでいました。
Yesterday was (a / that / day / such / fine) many children were playing outdoors. （名古屋学院大）

□□□ **448** 発展
(　　) was his excitement that he jumped to his feet on hearing the news.
① It　② Never　③ Such　④ There （日本大）

Theme 117

□□□ **449** 頻出
(　　) I live, I will not let you do such a thing.
① As far as　② As long as
③ As much as　④ As soon as （立命館大）

□□□ **450** 頻出
料金が高すぎなければ，どんなホテルでもかまいません。
(any / as / do / hotel / it's / not / so long / will) too expensive. （龍谷大）

□□□ **451** 頻出
(　　) work is concerned, I always try to do my best. （大阪産業大）
① So long as　② As much as　③ As soon as　④ So far as

Power Up! 85 so ... that ～ と such ... that ～ の使い分け

□ **so** ＋ 形容詞［副詞］＋ **that** ～ (➲ 446)
so ＋ 形容詞 ＋ **a**［**an**］＋ 名詞 ＋ **that** ～〔名詞を伴う場合〕
□ **such** ＋ **a**［**an**］(＋形容詞) ＋ 名詞 ＋ **that** ～ (➲ 447)

He is { **so** *kind* / **so** *kind a boy* / **such** *a kind boy* } that everybody likes him.
（彼はとても親切な（少年な）のでみんなに好かれている）

446 I was (so absorbed in reading the novel that) I forgot to call her.
447 Yesterday was (such a fine day that) many children were playing outdoors.
448 (③) 彼はとても興奮したので，その知らせを聞くと同時に突然立ち上がった。
449 (②) 私が生きている限りは，あなたにそんなことはさせない。
450 (Any hotel will do so long as it's not) too expensive.
451 (④) 仕事に関する限り，私はいつも最善を尽くすようにしています。

Theme 116 『程度・結果』を表す接続詞

446 **so ... (that) ～「とても…なので～ / ～するほど…」**
▶ このsoは「それくらい / とても」という『程度・強意』を表す副詞で，後ろに形容詞・副詞を伴って，that節（副詞節）と結びつく。口語ではthatは省略可。
▶ thatの前が否定表現の場合は「～するほど…（でない）」と後ろから前に訳し上げるとよい。（447も同様）
He is *not* **so** old **that** he cannot work.（彼は働けないほど年寄りではない）
〈プラスα〉「…」にa kind boyのような名詞を伴った表現が来る場合は，「so＋形容詞＋a［an］＋名詞」の語順になる。（➲ Power Up! 85）

447 **such ... (that) ～「とても…なので～ / ～するほど…」**
▶ so ... (that) ～と同じ意味である。ただし，such ... (that) ～の「…」には「a［an］（＋形容詞）＋名詞」の形が来る。such a fine day that ...

448 **S ＋ is such that ～「Sはたいへんなものなので～ / Sは～するほどのものだ」**
▶ suchが名詞を伴わずに，S is such that ～のようにsuchとthatが直接結びついている場合は，such ＝ so greatと解釈する。
▶ Such［So great］is ＋ S ＋ that ～の倒置形になることも多い。本問はHis excitement was such［so great］that he ... the news.の倒置形。
〈語句〉to *one's* feet「立った状態に」, jump to *one's* feet「ぱっと立ち上がる」, on *doing*「～するとすぐに」（➲ 133）

Theme 117 as [so] long as と as [so] far as

as［so］long asとas［so］far asは，ともに「～する限り」という訳語があてられることが多いので混同しやすい。意味・用法とも違うので十分な注意が必要である。

449 **as［so］long as ～「～する限りは / ～する間は」（＝ while）――『時間の制限』**
450 **as［so］long as ～「～しさえすれば / ～なら」（＝ only if）――『条件』**
▶ as［so］long asが『条件』の意味を持つようになるのは，次の例からもわかる。
You are allowed to use this room **as**［**so**］**long as** you follow the rules.
（規則に従う間は［限りは］➡ 従いさえすれば自由にこの部屋を使える）（摂南大）
〈語句〉S will do.「Sでかまわない / Sで間に合う」（➲ 726）

451 **as［so］far as ～「～する限りでは / ～の範囲内では」――『範囲の制限』**
▶ so far as work is concerned「仕事に関する限りでは」

Power Up! 86 as [so] far as は３つの表現で覚える

as［so］far as節の表現は限られている。たいてい次の３つの表現で出題される。
(1) □ **as［so］far as I know**「私の知る限りでは」
(2) □ **as［so］far as A is concerned**「Aに関する限りでは」（➲ 451）
(＝ as［so］far as A go)
(3) □ **as［so］far as the eye can see［reach］**「見渡す限り / 目の届く限り」

第14章 強調・倒置・省略・代用

Theme 118

□□□ **452** 頻出
君に解いてもらいたいのはほかでもないこの問題なんだ。
It is this question (solve / I / to / you / want / that). （千葉工大）

□□□ **453** 頻出
あなたと泳ぎに行けなかったのは，熱があったからです。（九州国際大）
It is (because / that / I / fever / had / a) I couldn't go swimming with you.

□□□ **454** 頻出
My mother scolded me, but it was my brother (　　) was to blame.
① for　② to　③ which　④ who （浜松大）

□□□ **455**
あなたが会いたいのは誰ですか。
(see / want / you / it / that / to / is / who)? （尾道市大）

Theme 119

□□□ **456**
This is the (　　) place I have long wanted to visit.
① very　② just　③ quite　④ here （流通経済大）

□□□ **457**
私は，本当にうさぎが私の机に飛び乗るのを見たのです。
I (　　) see a rabbit jumping on my desk!
① did　② must　③ would　④ had to （名古屋学院大）

□□□ **458**
How (　　) did you know that? （清泉女子大）
① in earth　② in the earth　③ in world　④ on earth

Power Up! 87 強調構文と形式主語構文の見分け方

(1) **It is [was]** と **that** を取り除いた残りの部分が
完全な文 ➡ 強調構文　不完全な文 ➡ 形式主語構文
(2) **It is [was]** と **that** の間に入る語が
名詞・代名詞・副詞（句・節）➡ 強調構文
形容詞またはそれに類する語句 ➡ 形式主語構文
(It was) **yesterday** (that) he met the girl in the park.〔強調構文〕
It is **certain** that he met the girl in the park yesterday.〔形式主語構文〕

452 It is this question (that I want you to solve).
453 It is (because I had a fever that) I couldn't go swimming with you.
454 (④) 母は私をしかったが，とがめられるべきなのは弟だった。
455 (Who is it that you want to see)?
456 (①) 私が以前から訪ねたいと思っていたのは，まさにこの場所です。　457 (①)
458 (④) いったいどうしてあなたはそれを知ったのですか。

Theme 118 強調構文

強調したい文の要素を **It is** と **that** ではさんで強調する表現。
(1) 強調できる要素は，主語，目的語などとして働く名詞（句・節）か副詞（句・節）だけである。動詞と形容詞は強調できない。
(2) 強調されるものが『人』なら **who [whom]**，『人以外』なら **which** を，それぞれ that の代わりに用いることもある。

452 **It is … that** ～「～なのは…である」
▶ もとの文は I want you to solve this question. である。本問は目的語の this question を It is と that ではさんで強調したもの。
▶ 形式主語構文 It is … that ～ との見分け方は，Power Up! 87 を参照。

453 **It is [was] because … that** ～「～なのは…だ［だった］からだ」
▶ 本問は，I couldn't go swimming with you because I had a fever. の副詞節 because I had a fever を強調した文。
▶ もとの文が過去時制なら It was を用いるのが原則だが，本問のように It is の場合もある。

454 **It is … who** ～「～なのは…である」
▶ it was の後が『人』なので，(　) に ④ who を入れれば，my brother を強調することになる。

455 疑問詞 + **is it that** ～?
▶ 強調されるものが疑問詞のこともある。その場合，疑問詞が文頭に出て it と is が入れ替わり，「疑問詞 + is it that ～?」の形になる。

Theme 119 語句による強調

456 **very** + 名詞「まさにその… / ちょうどその…」―― 名詞の強調
▶ very が形容詞として名詞を強調する用法。
That is the **very** book (that) I wanted.（それはまさに私の欲しかった本だ）
at that **very** moment「ちょうどその時」，in this **very** town「まさにこの町で」
〈選択肢〉② just，③ quite，④ here は副詞なので直接名詞を修飾できない。
② just には形容詞の用法もあるが，「正しい / 公平な」という意味なので，本問では不適切。

457 **do [does / did]** + 動詞の原形「本当に～する［した］」―― 動詞の強調
▶ 動詞を強調する（文の内容が事実であることを強調する）助動詞 do を用いて，「本当に…を見た」を did see（= really saw）で表す。

458 **on earth**「いったい（全体）」（= **in the world**）―― 疑問詞の強調
▶ 疑問詞の直後に on earth / in the world / ever などの語句をつけて，疑問詞を強調することがある。
本問 = How *in the world* did you know that? = How *ever* did you know that?

Theme 120

□□□ **459** 頻出

こんなすばらしい賞品をもらえるとは夢にも思いませんでした。

Little (did / dream / of / getting / I) such a wonderful prize.　（佛教大）

□□□ **460** 頻出

昨日になってやっと，私は彼女が本当に言いたかったことがわかりました。

(yesterday / only / finally / what / actually / did / she / understand / I) wanted to say.　（白百合女子大）

□□□ **461**

Not only (　　　) also sick.　（福岡大）

① she was tired but she was　② she was tired but was she
③ was she tired but she was　④ was she tired but was she

Theme 121

□□□ **462** 頻出

Tom is having difficulty learning Japanese, and (　　　).

① also John does　② so is John
③ as John is　④ neither does John　（沖縄国際大）

□□□ **463** 頻出

We don't want to go there, and (　　　) they.　（関西学院大）

① either do　② so do　③ neither do　④ neither don't

□□□ **464** 頻出

A: I don't like this salad very much.

B: Nor (　　　).

① I do　② I do either　③ do I　④ I like it either　（桃山学院大）

Power Up! 88　neither と nor の使い分け

問題 最初のはよくないし，2番目もよくない。

The first isn't good and (　　　) is the second.（京都産業大）

① either　② neither　③ nor　④ or

解説・答え nor は接続詞なので，この問題のように接続詞 and がある場合，③ nor は使えない。正解は副詞の ② neither。

459 Little (did I dream of getting) such a wonderful prize.
460 (Only yesterday did I finally understand what she actually) wanted to say.
461 (③) 彼女は疲れていただけでなく，病気でもあった。
462 (②) トムは日本語を覚えるのに苦労している。ジョンもまたそうである。
463 (③) 私たちはそこに行きたくないし，彼らも行きたくない。
464 (③) A：このサラダはあまり好きではありません。　B：私もそうです。

Theme 120　強調のための倒置

強調のために **never / little / rarely / seldom** などの否定語を文頭に出すと，「主語＋動詞」の語順が「(助)動詞＋主語」と逆転する（疑問文と同じ語順になる）ことを倒置という。

Never *have I seen* such a sight.（⬅ I have **never** seen such a sight.）
（そんな光景は見たことがない）

459　否定の副詞(句)を文頭に出す場合

▶ little はふつう「ほとんど〜ない」という弱い否定を表すが，これを文頭に出した倒置文では「少しも〜ない」という強い否定を表す。

460　**only** を含む副詞句・副詞節を文頭に出す場合

▶ 副詞 only は否定に近い意味を持つので，only を含む副詞句・副詞節を文頭に出す場合も，その後では倒置が起こり，疑問文と同じ語順になる。

▶「only ＋ 時の副詞句・副詞節」が強調のために文頭に置かれる場合が重要である。「〜のときになって初めて［やっと］」と訳す。

Only when you pass the examination *can you* get a reward.（松山大）
（その試験に合格して初めて，あなたはほうびをもらうことができる）

461　**Not only ... but (also) 〜** が文と文を結ぶ場合

▶ not only ... but also 〜 が文と文を結ぶ場合に，not only が文頭に出ると，not only の後は倒置が起こり疑問文と同じ語順になる。ただし，but の後まで倒置形になるわけではないので，④ was she tired but was she は不可。

Theme 121　慣用的な倒置

462　**so** ＋助動詞［be 動詞］＋ S「S もまたそうだ」

▶ 前の肯定の内容を受けて，「S もまたそうだ」という場合，**So** ＋助動詞［**be** 動詞］＋ **S** の倒置形を用いる（助動詞は do や完了形の have も含む）。

▶ 本問では is having ... Japanese を受けて，so is John となる。

▶ 前文に一般動詞が用いられている場合は do［does / did］を使う。

"I love J-pop." "**So do I.**"（「J ポップが大好きなんだ」「私もです」）（群馬大）

463　**neither** ＋助動詞［be 動詞］＋ S「S もまたそうでない」

▶ 前の否定の内容を受けて，「S もまたそうでない」という場合，**neither** ＋助動詞［**be** 動詞］＋ **S** の倒置形を用いる。**462** の否定形。

464　**nor** ＋助動詞［be 動詞］＋ S「S もまたそうでない」

▶ neither と同様，前の否定の内容を受けて，「S もまたそうでない」の意味を表す。neither と nor の違いは，**Power Up! 88** を参照。

〈**重要**〉nor の後ろに節を続ける場合は，「**nor** ＋疑問文の語順」に並べることも押さえておこう。

I am not rich, **nor** *do I wish to be*.
（私は金持ちではないし，そうなりたいとも思わない）（明治大）

Theme 122

□□□ **465** A : Will you be able to speak French?
B : I hope ( ).
① so ② too ③ that ④ I do （奈良産業大）

□□□ **466** 頻出 A : Do you think he's coming?
B : I am afraid ( ).
① either ② it ③ neither ④ not （センター）

□□□ **467** 頻出 A : Frank drives much too fast. Someday he'll have a terrible accident.
B : Oh, ( ).
① I don't hope so ② I hope not
③ I'm not afraid so ④ I'm afraid not （センター）

Theme 123

□□□ **468** 頻出 A plane crashed while ( ) to land in Portland. （神田外語大）
① attempt ② attempts ③ attempted ④ attempting

□□□ **469** 頻出 Those who hunt pandas in China face the death penalty if ( ).
① being caught ② caught
③ having caught ④ they caught （慶應大）

Power Up! 89 I hope ～ と I am afraid ～ の４つの用法

Will it rain?（雨が降るでしょうか）
① — **I hope so.** （降ってほしいですね）
② — **I hope not.** （降らなければいいなあ）
③ — **I am afraid so.** （残念ながら降るでしょうね）
④ — **I am afraid not.** （残念ながら降らないでしょうね）
＊ so = that it will rain / not = that it will not rain

465 （①） A：君はフランス語を話せるようになるでしょうか。
B：そうなるよう願っています。
466 （④） A：彼は来ると思いますか。 B：残念ながら来ないと思います。
467 （②） A：フランクはあまりにもスピードを出しすぎる。いつかひどい事故を起こすでしょうね。
B：そうならないことを願います。
468 （④） ポートランドに着陸しようとしているときに，飛行機は墜落した。
469 （②） 中国でパンダを狩猟する者は，もし捕らえられたら死刑に処せられる。

Theme 122 that 節の代用の so と not

hope / be afraid / think / suppose などの目的語が，肯定の that 節なら **so** を，否定の that 節なら **not** を代用する。

465 I hope so.「そうであることを願う / そうだといいね」
▶ 本問では so は hope の目的語である肯定の that 節の代用。
I hope so. = I hope that I will be able to speak French.

466 I'm afraid not.「残念ながらそうでないと思う」
▶ 本問は am afraid の目的語である否定の that 節を代用する ④ not が正解。
I am afraid not. = I am afraid that he is not coming.
発展 think / suppose などは I think [suppose] not. = I don't think [suppose] so.「そうではないと思う」の２種類の形が使えるが，think は後者，suppose は前者のほうがふつう。

467 I hope not.「そうでないことを願う」
▶ hope / be afraid はそれぞれ，I hope not. / I'm afraid not. の形を使う。
① I don't hope so. や ③ I'm not afraid so. の形は不可。正解は，② I hope not（= I hope that he will not have a terrible accident）。
選択肢 ④ I'm afraid not. だと「残念ながら彼はひどい事故を起こさないと思う」の意味になるので不適切。

Theme 123 副詞節中の「S + be 動詞」の省略

副詞節において「S + be 動詞」が省略されることがある。特に副詞節中の主語が主節の主語と同一である場合に多い。

468 while *doing*「～している間」
▶ 本問は while it was attempting to land in Portland の it was が省略された形。

469 if *done*「もし～されたら」
▶ 本問は if they are caught の they are が省略された形。
語句 those「人々」（➲ 305） face「～に直面する」
face the death penalty「死刑に直面する ➡ 死刑に処せられる」
be faced with ～「～に直面している」の形も重要。（➲ 846・1138）

Power Up! 90 副詞節中の「S + be 動詞」の省略例

① Work hard **while** (you are) young.（若いうちに一生懸命働きなさい）
② They were good friends **when** (they were) in school.
（彼らは学生時代仲良しだった）
③ **Though** (I am) tired, I'll come with you, **if** (it is) necessary.
（疲れているけれど，必要なら一緒に行きますよ）
④ **Once** (it is) signed, the contract will be valid until the end of March.
（いったん署名したら，その契約は３月末まで有効になるだろう）（➲ 421）

Theme 124

□□□ **470** There are few, (　　　), such good men.（東北学院大）
① all but　② at all　③ if any　④ if possible

□□□ **471** My mother is, if (　　　), an ordinary woman.（聖学院大）
① some　② something　③ any　④ anything

□□□ **472** He seldom, (　　　), goes to the movies.（京都産業大）
① if any　② if ever　③ if impossible　④ if not

□□□ **473** My brother loves baseball. He's an enthusiastic, (　　　) not a gifted, player.
① as　② if　③ or　④ so（センター）

Power Up! 91 慣用的な省略

□ **if any**「たとえあるにしても」（➲ 470）
□ **if anything**「どちらかと言えば / むしろ」（➲ 471）
□ **if ever**「たとえあるにしても」（➲ 472）
□ **A, if not B**「**B** とは言わないまでも **A** / **B** でないにしても **A**」（➲ 473）
□ **if possible**「できるなら / できたら」

It might be better for you to use more polite language **if** (it is) **possible**.
（できたらもっと丁寧な言葉遣いをしたほうがいいかもしれない）（名古屋学院大）

□ **if necessary**「必要ならば」

You can use my car, **if** (it is) **necessary**.
（必要なら私の車を使ってください）

□ **if so**「もしそうならば」

Did I say something wrong? **If** (I did) **so**, I apologize.
（何か悪いことを言いましたか。もしそうならば謝ります）

---

470 （③）そんないい人たちは，たとえいるにしても，ごく少ない。
471 （④）どちらかと言えば，母は平凡な女性です。
472 （②）彼は，たとえあるにしても，めったに映画を見に行かない。
473 （②）私の兄［弟］は野球が大好きです。彼は天賦の才能があるとは言わないまでも，熱心な選手です。

Theme 124 慣用的な省略

if 節では，主節の主語と if 節の主語が違う場合でも，慣用的に「S + V」が省略されることが多い。if any / if not など挿入句として使われる重要表現が多いので要注意。

470 **if any**「たとえあるにしても」

▶ 通例 few［little］などの次に来て「たとえあるにしても」という『譲歩』の意味を表す。

〈選択肢〉① all but「～の他はみな / ほとんど」，④ if possible「できたら」

〈発展〉**if any** には「もしあるならば」の意味もある。

Correct errors, **if any**.（もし誤りがあるならば，訂正しなさい）

省略を補えば，Correct errors, if (there are) any (errors). となる。

471 **if anything**「どちらかと言えば / むしろ」（= **rather**）

〈発展〉**if any** と同じ使い方もある。

Little, **if anything**, can be done to improve the situation.
（状況を改善するためにできることは，たとえあったとしても，ほとんどない）

472 **if ever**「たとえあるにしても」

▶ 通例 seldom / rarely「めったに～ない」の次に来て「たとえあるにしても」の意味になる。

473 **A, if not B**「**B** とは言わないまでも **A** / **B** でないにしても **A**」

▶ A，B には通例，名詞，形容詞，副詞が来る。

▶ 本問の場合，挿入されている（　　）not a gifted の（　　）に ② if を入れれば，if not a gifted (player) = if he is not a gifted (player)「天賦の才能がある（選手）とは言わないまでも」の意味になり，文意が通る。

▶ 本問は，主節の主語 He（= My brother）と if 節の主語は一致している。

〈発展〉**if not** には「もしそうでなければ」の意味もある。

I hope Anna passed the exams. **If not**, she'll have to repeat her senior year.〔If not = If Anna did not pass the exams〕
（アンナが試験に受かっていたらいいのだが。もしそうでなかったら，最高学年をやり直さなければならないだろう）（関西学院大）

Part 2

語法

第15章 動詞の語法 198

第16章 名詞・冠詞の語法 234

第17章 形容詞の語法 246

第18章 副詞の語法 256

第19章 前置詞の語法 264

第15章 動詞の語法

Theme 125

□□□ **474** 基本 頻出 We have to (　　　) the current human rights problems as soon as possible.
① discuss with　② discuss on　③ discuss　④ discuss about（阪南大）

□□□ **475** 基本 頻出 Paul (　　　) my friend Jane last year.（同志社女子大）
① married　② got married　③ married to　④ married with

□□□ **476** 頻出 The girl closely (　　　) my dead mother.（玉川大）
① resembles　② resembles of　③ resembles to　④ resembles with

□□□ **477** Over three thousand people (　　　) the concert.
① participated　② gathered　③ listened　④ attended（南山大）

□□□ **478** 頻出 Will you apologize (　　　)?（関西大）
① what I have done for him　② him what I have done
③ to him for what I have done　④ him for what I have done

□□□ **479** 基本 I want to be a teacher when I (　　　) this school.
① graduate　② graduate at　③ finished　④ graduate from（浜松大）

□□□ **480** I (　　　) his success in business.
① am hoping　② hope　③ hope for　④ hope in（中京学院大）

Power Up! 93 他動詞と間違えやすい自動詞

自動詞 ―― 後ろに名詞［目的語］をつけるとき前置詞が必要。

□ **apologize (to A) for B**「(A に) B のことで謝る」(➲ 478)
□ **complain (to A) of [about] B**「(A に) B について不平を言う」
□ **graduate from** ～「～を卒業する」(➲ 479) □ **hope for** ～「～を望む」(➲ 480)
＊ 他動詞としての hope は to *do*［×*doing*］または that 節を目的語にとる。(➲ 497・168)
□ **object to** ～「～に反対する」(➲ 121) □ **participate in** ～「～に参加する」
□ **argue with A (about [over] B)**「(B について) A と口論する」

---

474 (③) 私たちは現在の人権問題についてできるだけ早く議論しなければならない。
475 (①) ポールは私の友達のジェーンと去年結婚した。
476 (①) その少女は私の亡き母にそっくりだ。
477 (④) コンサートには3千人以上の人たちが聴きに来た。
478 (③) 私がやってしまったことを彼に謝ってくれませんか。
479 (④) この学校を卒業したら先生になりたい。
480 (③) 私は彼が仕事で成功することを望んでいる。

Theme 125 自動詞と他動詞 ―― 前置詞の有無

474 discuss ～「～について議論する」(= **talk about ～**)
▶ discuss は他動詞用法のみの動詞なので，前置詞は不要。(×discuss about ～)

475 marry ～「～と結婚する」(= **get married to ～**)
▶ marry は「～と結婚する」の意味では他動詞用法で用いるので，① が正解。④ のように with とは結びつかない。② は got married to なら正解。
〈重要〉 marry の語法は重要。次の 3 通りの表現で覚えること。
(1) **A marry B**「A は B と結婚する」
(2) **A get [is] married to B**「A は B と結婚する［している］」
(3) **A and B get [are] married**「A と B は結婚する［している］」

476 resemble ～「～に似ている」(= **look like ～ / take after ～**)
▶ resemble は他動詞用法のみの動詞なので前置詞は不要。(×resemble to ～)

477 attend ～「～に出席する / 通う」(= **be present at ～ / go to ～**)
▶ attend は「～に出席する / 通う」の意味では他動詞として用いるのがふつう。
〈選択肢〉 ① は participated in ～「～に参加する」，② は gathered at ～「～に集まる」，③ は listened to ～「～を聴く」なら可。

478 apologize to A for B「A に B のことで謝る」
▶ apologize は自動詞用法のみなので，謝る相手には to，理由には for が必要。

479 graduate from ～「～を卒業する」(= **finish**)
▶ graduate は自動詞なので，from が必要。
〈選択肢〉 graduate from ～ = finish なので ③ が finish なら可。

480 hope for ～「～を望む」(= **want**)
▶ (代)名詞が続くときには自動詞用法なので，for が必要。
本問 = I hope (that) he will succeed [he succeeds] in business.
　　= I hope for him to succeed in business. (×hope him to succeed)
(➲ 543)

Power Up! 92 自動詞と間違えやすい他動詞

他動詞 ―― 後ろに名詞［目的語］を直接つけられる動詞（前置詞不要！）

□ **approach**「～に近づく」 □ **attend**「～に出席する」(➲ 477)
□ **discuss**「～について議論する」(➲ 474) □ **obey**「～に従う」
□ **marry**「～と結婚する」(➲ 475) □ **mention**「～に言及する」(= refer to ～)
□ **answer**「～に答える」(= reply to ～) □ **leave**「～を去る」
□ **resemble**「～に似ている」(➲ 476) □ **oppose**「～に反対する」(= object to ～)
□ **enter**「～に入る」(= go [come] into ～)
□ **reach**「～に着く」(= arrive at [in] ～)
□ **survive**「(災害・事故など) を切り抜けて生きる / ～より長生きする」(➲ 735)
□ **search**「(場所) を捜す / 調べる」 *cf.* search for ～「(物など) を捜し求める」

Theme 126

□□□ **481** 基本 頻出 激務の後，父は一日中ベッドで横になっていた。
After hard work, my father was (　　) in bed all day long.
① lie　② lay　③ lying　④ laying　（名古屋学院大）

□□□ **482** 基本 頻出 She (　　) herself on the couch.
① lain　② lies　③ laid　④ lay　（関東学院大）

□□□ **483** He (　　) his hand on my head.
① lay　② lied　③ lain　④ laid　（松山大）

□□□ **484** This hen does not (　　) eggs at all these days.
① bear　② find　③ make　④ lay　（名城大）

□□□ **485** 基本 頻出 As soon as the sun (　　), we started off.
① rose　② raised　③ lifted　④ risen　（九州国際大）

□□□ **486** 基本 頻出 You have to (　　) your hand if you want to speak at the meeting.
① rise　② rouse　③ raise　④ arise　（日本大）

□□□ **487** The taxes on cigarettes, liquor, and gasoline were (　　) last month.
① rose　② risen　③ raised　④ raising　（松山大）

Power Up! 94 活用・意味がまぎらわしい動詞 ── lie と lay

	原形	過去形	過去分詞	現在分詞
（自動詞）**lie**「横たわる / 横になる」	**lie**	**lay**	**lain**	**lying**
（他動詞）**lay**「～を横たえる」	**lay**	**laid**	**laid**	**laying**

＊自動詞 lie には「うそをつく」(= tell a lie) というまったく別の動詞の用法がある。活用は規則的で **lie — lied — lied — lying** となる。

---

481 （③）
482 （③） 彼女はソファーに横になった。
483 （④） 彼は私の頭に手をのせた。
484 （④） このめんどりは最近まったく卵を産まない。
485 （①） 太陽が昇るとすぐに，私たちは出発した。
486 （③） 会議で発言したいと思ったら手を挙げなければならない。
487 （③） たばこと酒とガソリンの税金が先月上げられた。

Theme 126 自・他で活用と意味がまぎらわしい動詞

481 自動詞 **lie**「横たわる / 横になる」の現在分詞 **lying**
▶ (　　) の後ろに目的語がないので，自動詞 lie を用いる。lie は本問の場合，動作動詞なので，過去進行形 was lying の形になっている。④ (was) laying は他動詞 lay の進行形なので不可。
〈プラスα〉「lie + C［形容詞 / *doing* / *done*］」「～の状態で横になっている / ～の状態にある」の形も重要。
The man **lay** *asleep* all day long.
(その男は一日中横になって眠っていた) (青山学院大)

482 他動詞 **lay**「～を横たえる」の過去形 **laid**
▶ (　　) の後ろに目的語として herself があるので，他動詞 lay を用いる。主語が she なので ④ lay は不可。過去形の ③ laid が正解。
〈語 句〉 lay *oneself*「横になる」(= lie) (➲ Theme 89)

483 他動詞 **lay**「～を置く / ～をのせる」の過去形 **laid**
▶ (　　) の後ろに目的語として his hand があるので，lay の過去形 ④ laid が正解。① は lays なら可。

484 他動詞 **lay**「(鳥・昆虫などが卵) を産む」の原形 **lay**
▶ lay an egg「卵を産む」は連語として覚えよう。
〈選択肢〉 ① bear は「(女性が子) を産む」(= have) の意味で使うので不可。
〈語 句〉 not ～ at all「まったく～でない」(= not (～) in the least)

485 自動詞 **rise**「(太陽・月・星が) 昇る / 出る」の過去形 **rose**
〈選択肢〉 raise「～を上げる」は他動詞なので，② raised は不可。lift は自動詞としては「(動かせる物が) 持ち上がる」の意味なので，③ lifted は不可。

486 他動詞 **raise**「(物・身体の一部など) を上げる」の原形 **raise**
▶ (　　) の後ろに your hand があるので他動詞の ③ raise が正解。
〈選択肢〉 ① rise「上がる」，④ arise「起こる / 生じる」は自動詞なので不可。② rouse は「～を目覚めさせる」の意味なので不可。

487 他動詞 **raise**「(価格・料金・税金など) を上げる」の過去分詞 **raised**
▶ 受動態の文なので (　　) には他動詞 raise の過去分詞の ③ raised が入る。

Power Up! 95 活用・意味がまぎらわしい動詞 ── rise と raise

	原形	過去形	過去分詞	現在分詞
（自動詞）**rise**「上がる / 昇る」	**rise**	**rose**	**risen**	**rising**
（他動詞）**raise**「～を上げる」	**raise**	**raised**	**raised**	**raising**

Theme 127

□□□ **488** 基本 頻出 子供達は北海道で楽しくスキーをしたと聞いている。

①I hear ②the kids enjoyed ③to ski ④in Hokkaido. （岡山理科大）

□□□ **489** 基本 頻出 Dad, if my grades improve by the end of the term, would you mind (　　) my allowance?

① raising　② rising　③ to raise　④ to rise（センター）

□□□ **490** ジョージは台所の壁のペンキ塗りを来月まで延ばした。 （亜細亜大）

George (______) painting the kitchen wall till next month. (= put off)

□□□ **491** According to the survey, about 40% of college students have considered (　　) school. （昭和女子大）

① to quit　② quitting　③ quit　④ quitted

□□□ **492** The suspect denied (　　) in the building when the crime took place.

① having been　② he is　③ to being　④ to be （立命館大）

□□□ **493** 基本 頻出 Have you finished (　　) that science book? （高千穂大）

① to read　② reading　③ to have read　④ having read

□□□ **494** 頻出 You should stop (　　) if you want to keep fit. （大阪経済大）

① to drink　② drinking　③ a drink　④ being drunk

□□□ **495** 頻出 会議中，ロバートは上司を見ないようにしました。

During the meeting, Robert (　　) looking at his boss. （中央大）

① avoided　② kept　③ resumed　④ continued

488 (③) 〔to ski ➡ skiing〕
489 (①) お父さん，学期末までに成績が上がったら，お小遣いを上げてくれますか。
490 (postponed)
491 (②) 調査によれば，大学生の約 40% が退学しようかと考えたことがあるそうだ。
492 (①) 容疑者は，その犯罪が起こったとき，その建物にいなかったと言った。
493 (②) あなたはあの科学の本を読み終えましたか。
494 (②) 健康を維持したければお酒をやめるべきです。
495 (①)

Theme 127 動名詞だけを目的語にとる動詞

他動詞の中には，動名詞を目的語にとるが，不定詞は目的語にとらないものがある。入試での出題頻度が高いので正確に覚えること。

488 **enjoy** ***doing***「～するのを楽しむ」

489 **mind** ***doing***「～するのを気にする / いやがる」

▶ **Would [Do] you mind *doing*?**「～していただけませんか」は頻出。

▶ (　　) の後ろに目的語として my allowance があるので，他動詞 raise の動名詞の ① raising が正解。(➲ 487)

490 **postpone** ***doing***「～するのを延期する」(= **put off *doing***)

▶ put off = postpone は頻出同意語。(➲ 922)

491 **consider** ***doing***「～しようかと考える」

〈語句〉 according to ～「～によれば」(➲ 1285)

492 **deny** ***doing***「～することを否定する / ～し(てい)ないと言う」

▶ deny having been in ～「～にいたことを否定する / ～にいなかったと言う」

本問 = The suspect denied that he had been in ... place.

〈語句〉 take place「(事件などが) 起こる」(= happen / occur) (➲ 1081)

493 **finish** ***doing***「～するのを終える / ～してしまう」

494 **stop** ***doing***「～するのをやめる」

〈選択肢〉 stop には stop to *do*「～するために立ち止まる」の形もあるが，この to *do* は stop の目的語ではなく，『目的』を表す副詞的用法の不定詞なので，① to drink は意味的に不可。be drunk は「酔っぱらっている」の意味なので，④ being drunk は不可。

〈語句〉 keep [stay] fit「健康を維持する」

495 **avoid** ***doing***「～するのを避ける / ～しないようにする」

〈選択肢〉 keep *doing* は「～し続ける」，resume *doing* は「再び～し始める」，continue to *do* [*doing*] は「～し続ける」という意味なので，② kept，③ resumed，④ continued はいずれも不可。

Power Up! 96 動名詞だけを目的語にとる動詞

頭文字をとって「(恐竜) メガフェップス (は) デカイ！」と覚えておこう。

□ **mind**	「～するのを気にする」(➲ 489)	□ **miss**	「～しそこなう」
□ **enjoy**	「～するのを楽しむ」(➲ 488)	□ **give up**	「～するのをやめる」
□ **admit**	「～するのを認める」	□ **finish**	「～するのを終える」(➲ 493)
□ **escape**	「～するのを逃れる」	□ **postpone**	「～するのを延期する」(➲ 490)
□ **put off**	「～するのを延期する」	□ **stop**	「～するのをやめる」(➲ 494)
□ **suggest**	「～することを提案する」	□ **deny**	「～しないと言う」(➲ 492)
□ **evade**	「～するのを避ける」	□ **consider**	「～しようかと考える」(➲ 491)
□ **avoid**	「～するのを避ける」(➲ 495)	□ **imagine**	「～することを想像する」

Theme 128

□□□ **496** 基本 He decided (　　) his departure. （松阪大）
① postpone　② to postpone　③ postponing　④ postponed

□□□ **497** I hope (　　) to Canada next year.
① about going　② for going　③ going　④ to go （大阪電通大）

□□□ **498** The teacher promised (　　) the students to the library in the afternoon.
① to take　② taking　③ take　④ of taking （神奈川大）

□□□ **499** 頻出 This book is too expensive. I can't (　　) to buy it.
① account　② afford　③ want　④ intend （センター）

□□□ **500** 頻出 Only one student (　　) to write the correct answer. （帝塚山学院大）
① ended　② failed　③ finished　④ succeeded

□□□ **501** 頻出 After a lot of problems she (　　) to learn to drive a car. （センター）
① gave up　② managed　③ put off　④ succeeded

□□□ **502** 頻出 Ann pretended (　　) John when she passed him on the street.
① not seeing　② to not seeing　③ not seen　④ not to see （南山大）

Power Up! 98　not [never] fail to *do*「必ず～する」 発展

fail to *do*「～しない / ～できない」は，否定語とともに用いると「必ず～する」と強い肯定を表す。（➲ Power Up! 53）

□ **don't fail to *do*** —— 1回限りの特定の行為に用いる
□ **never fail to *do*** —— 習慣的な行為に用いる

Don't [×Never] **fail to** post this letter.（必ずこの手紙を出してください）
= Be sure to post this letter. = Don't forget to post this letter.
He **never fails to** write home every month.
（彼は毎月必ず家［故郷］に手紙を出す）（松山大）

496 （②） 彼は出発を延期することに決めた。
497 （④） 来年，カナダに行きたいと思う。
498 （①） 先生は，生徒たちを午後，図書館に連れて行くと約束した。
499 （②） この本は高すぎて私にはそれを買う余裕がない。
500 （②） 1人の学生だけが正解を書けなかった。
501 （②） 多くの困難の後，彼女はなんとか車の運転ができるようになった。
502 （④） アンは通りでジョンとすれ違ったとき，彼に気づかないふりをした。
* pass 他「～のそばを通り過ぎる / ～とすれ違う」
see 他「～に気づく（= notice） / ～を見かける」

Theme 128　不定詞だけを目的語にとる動詞

他動詞の中には，Theme 127 の動詞とは逆に，不定詞を目的語にとるが，動名詞は目的語にとらないものがある。不定詞の to はもともと「行きつく先 / 方向」を意味する前置詞なので，不定詞を目的語にとる動詞には，「これから～しよう」という意欲や意図を表す積極的な意味のものが多い。

496 **decide to *do*「～することに決める」(= make up *one's* mind to *do*)**
発展 decide on ～「～に決める」/ decide on *doing*「～することに決める」も重要。
本問 = He decided on postponing his departure.
= He made up his mind to postpone his departure.

497 **hope to *do*「～したいと思う」**
選択肢 hope for の後は(代)名詞が続くので，② for going は不可。（➲ 480）
hope は動名詞を目的語にとらないので，③ going は不可。

498 **promise to *do*「～すると約束する」**

499 **afford to *do*「～する余裕がある」**
▶ afford は can を伴って，通例否定文・疑問文で用いる。
選択肢 ③ want，④ intend は不定詞を目的語にとるが，can't を伴うと意味上，不適切である。① account は不定詞を目的語にとらないので不可。

500 **fail to *do*「～しない / ～できない」（= be unable to *do*）**
選択肢 ① end，③ finish，④ succeed はいずれも不定詞を目的語にとらない。

501 **manage to *do*「なんとか［どうにか］～する」(= succeed in *doing*)**
選択肢 ① gave up と③ put off は動名詞を目的語にとるので不可。succeed は succeed in *doing* の形で「～するのに成功する」の意味。（➲ 996）
本問 = After a lot of problems she succeeded in learning to drive a car.
語句 learn to *do*「（自分の努力で）～する［できる］ようになる」
* learn も不定詞だけを目的語にとる動詞。

502 **pretend to *do*「～するふりをする」**
▶ pretend not to *do*「～しないふりをする」

Power Up! 97　不定詞だけを目的語にとる動詞

□ **afford**	「～する余裕がある」(➲ 499)	□ **attempt**	「～しようと試みる」
□ **decide**	「～することに決める」(➲ 496)	□ **expect**	「～するつもりである」
□ **fail**	「～しない / ～できない」(➲ 500)	□ **hope**	「～したいと思う」(➲ 497)
□ **learn**	「～するようになる」	□ **manage**	「なんとか～する」(➲ 501)
□ **offer**	「～することを申し出る」	□ **plan**	「～する計画を立てる」
□ **pretend**	「～するふりをする」(➲ 502)	□ **promise**	「～すると約束する」(➲ 498)
□ **refuse**	「～するのを断る」	□ **wish**	「～したいと思う」

Theme 129

□ **503** I remember ( ) Kyoto when I was a university student.
□ 頻出 ① visit ② visiting ③ of visiting ④ to visit (名古屋学院大)
□

□ **504** Remember ( ) the door when you leave.
□ 頻出 ① locking ② to be locked ③ to lock ④ lock (同志社女子大)
□

□ **505** I will never forget ( ) Mt. Fuji for the first time. (玉川大)
□ 頻出 ① climbing ② to climbing ③ to climb ④ to have climbed
□

□ **506** Don't forget ( ) me when you get to the airport.
□ 頻出 ① call ② to call ③ calling ④ for calling (佛教大)
□

□ **507** I regret not ( ) to university when I was young.
□ ① to go ② going ③ went ④ gone (青山学院大)
□

□ **508** The building needs ( ).
□ ① being repaired ② repairing ③ to repair ④ to repaired (山梨大)
□

□ **509** I'm sorry. I didn't mean ( ) on your foot.
□ ① step ② stepping ③ to stepping ④ to step (中部大)
□

Power Up! 100 目的語が動名詞と不定詞で意味が異なる動詞 ②

(3) その他

□ **try *doing*** 「試しに～してみる」〔実際に～している〕
□ **try *to do*** 「～しようと努力する」〔実際には～していない〕

I **tried *lifting*** the box. It was very heavy.〔実行：実際に持ち上げてみた〕
I **tried to *lift*** the box, but I couldn't.〔失敗：持ち上げようとしただけ〕
* I tried lifting the box, but I couldn't. のように，文脈によっては try *doing* が try to *do* と同じ意味で使われることもある。

□ **mean *doing*** 「～することを意味する」
□ **mean *to do*** 「～するつもりである」(= intend to *do*)(➲ 509)

□ **go on *doing*** 「～し続ける」
□ **go on *to do*** 「さらに続けて～する」(= proceed to *do*)

503 (②) 私は大学生の時に京都を訪れたことを覚えている。
504 (③) 出かける時には，忘れずにドアの鍵をかけなさい。
505 (①) 私は初めて富士山に登ったことを決して忘れません。
506 (②) 空港に着いたら忘れずに私に電話しなさい。
507 (②) 若い時に大学へ行かなかったことを後悔している。
508 (②) その建物は修理する必要がある。
509 (④) すみません。あなたの足を踏むつもりはなかったのです。

Theme 129 目的語が動名詞と不定詞で意味が異なる動詞

他動詞の中には動名詞も不定詞も目的語にとるが，意味・用法が異なるものがあるので注意が必要である。

503 remember *doing* 「～したことを覚えている」〔過去〕
▶ 過去の内容を述べるのに，remember having *done* を用いるのはまれ。

504 remember *to do* 「～することを覚えておく / 忘れずに～する」〔未来〕
▶ Remember to *do*.「忘れずに～しなさい」の形で頻出。

505 forget *doing* 「～したことを忘れる」〔過去〕

506 forget *to do* 「～することを忘れる」〔未来〕
▶ Don't forget to *do* = Remember to *do* の書き換えを覚えておこう。
本問 = Remember to call me when you get to the airport.

507 regret *doing* 「～したことを後悔する」〔過去〕
〈比 較〉 **regret to *do*** 「残念ながら～する」(= be sorry to *do*)〔未来〕
I regret to *say* that I cannot accept your offer.
(残念ながらあなたの申し出をお受けできません)

508 need *doing* 「～される必要がある」(= **need to be *done***)
▶ need の目的語となる動名詞は受動的な意味を持つので，正解は ② repairing。
本問 = The building needs to be repaired.

509 mean *to do* 「～するつもりである」(= **intend to *do***)
〈比 較〉 **mean *doing*** 「～することを意味する」
That **means** *running* a risk.(そんなことをすれば危険を冒すことになる)

Power Up! 99 目的語が動名詞と不定詞で意味が異なる動詞 ①

(1) **remember** タイプ〔動名詞が過去のこと，不定詞が未来のこと〕

□ **remember *doing*** 「～したことを覚えている」(➲ 503)
□ **remember *to do*** 「～することを覚えておく / 忘れずに～する」(➲ 504)

□ **forget *doing*** 「～したことを忘れる」(➲ 505)
□ **forget *to do*** 「～することを忘れる」(➲ 506)

□ **regret *doing*** 「～したことを後悔する」(➲ 507)
□ **regret *to do*** 「残念ながら～する」

(2) **need** タイプ〔動名詞が受動，不定詞が能動〕

□ **need *doing*** 「～される必要がある」(= need to be *done*)(➲ 508)
□ **need *to do*** 「～する必要がある」

□ **want *doing*** 「～される必要がある」(= need *doing*)
□ **want *to do*** 「～したいと思う」

□ **deserve *doing*** 「～されるだけの価値がある」(= deserve to be *done*)
□ **deserve *to do*** 「～する価値がある / ～してもおかしくない」

Theme 130

□□□ **510** 彼らは彼の時計を奪って逃げた。
They (him / his / of / robbed / watch) and ran away. （亜細亜大）

□□□ **511** 頻出 その事故の後で，彼は運転免許証を取り上げられた。
He was (d-　　) of his driver's license after the accident. （慶應大）

□□□ **512** Let me (　　) you of your baggage.
① help　② relieve　③ bring　④ keep （中央大）

Theme 131

□□□ **513** 頻出 あの写真を見ると，彼は故郷を思い出します。
That photo (　　) him of his hometown. （愛知学院大）

□□□ **514** 頻出 Please inform us (　　) any change of address as soon as possible.
① in　② with　③ of　④ to　⑤ on （中央大）

□□□ **515** I am convinced (　　) your innocence.
① on　② of　③ for　④ in （亜細亜大）

Power Up! 101 rob A of B タイプの動詞 ──『分離・剥奪・除去』の of

□ **rob A of B** 「A から B を奪う」(➲ 510)
□ **deprive A of B** 「A から B を奪う」(➲ 511)
□ **relieve A of B** 「A から B を取り除いて楽にさせる」(➲ 512)
□ **cure A of B** 「A（人）の B（病気など）を治す」
This medicine will **cure** your father **of** that disease.
（この薬でお父さんの病気は治るでしょう）（東海大）
□ **clear A of B** 「A（場所など）から B（じゃまな物など）を取り除く」
After the meal, the table **was cleared of** the dishes.
（食後に，テーブルから食器類が片づけられた）（学習院大）

---

510 They (robbed him of his watch) and ran away.
511 (deprived)
512 (②) 私にあなたの荷物を持たせてください。
513 (reminds)
514 (③) 住所変更がありましたら，できるだけ早くお知らせください。
515 (②) 私はあなたの無実を確信しています。

Theme 130 rob A of B タイプの動詞 ──『分離・剥奪・除去』の of

510 **rob A of B**「A から B を奪う」
〈比較〉 rob「(無理やり) 奪う」と steal「(こっそり) 盗む」の意味と用法の違いに注意。
rob の目的語は『人・場所』─ steal の目的語は『物』
Two men **robbed** *the bank* **of** *its money.* (2人の男が銀行から金を奪った)
A thief **stole** *some money* **from** *the safe.* (こそどろが金庫から金を盗んだ)

511 **deprive A of B**「A から B（物・権利・能力など）を奪う」
▶ 本問のように，しばしば受動態で用いられる。
A is deprived of B「A は B を奪われる」

512 **relieve A of B**「A から B を取り除いて楽にさせる」
〈選択肢〉 ② relieve 以外の選択肢は「～ A of B」の形をとらない動詞なので不可。

Theme 131 remind A of B タイプの動詞 ──『関連』の of

513 **remind A of B**「A に B を思い出させる」
▶ 無生物主語の文になることが多く，その場合は「(主語) を見ると［聞くと］A は B を思い出す」と訳す。
〈発展〉 remind の次の用法も重要。
□ **remind A to** ***do***「A に～することを思い出させる［するよう注意する］」
□ **remind A that** ～「A に～ということを思い出させる［注意する］」
Remind him **to** *come* home early.
= **Remind** him **that** *he must come home early.*
((彼が忘れていたら) 早く帰宅するように彼に注意しなさい)

514 **inform A of B**「A に B を知らせる」
▶ inform の目的語 A は通例『人』。
〈語句〉 as soon as possible「できるだけ早く」(= as soon as *one* can) (➲ 189)

515 **convince A of B**「A に B を確信させる」
▶ 本問は convince A of B の受動態 A is convinced of B「A は B を確信している」(= A is sure of B ➲ 1161)。

Power Up! 102 remind A of B タイプの動詞 ──『関連』の of

□ **remind A of B** 「A に B を思い出させる」(➲ 513)
□ **inform A of B** 「A に B を知らせる」(➲ 514)
□ **convince A of B** 「A に B を確信させる」(➲ 515)
□ **persuade A of B** 「A に B を納得させる」
□ **warn A of B** 「A に B を警告する」
□ **suspect A of B** 「A に B の嫌疑をかける」
The police **suspected** him **of** robbing the bank.
（警察は彼が銀行を襲ったと疑った）（南山大）

Theme 132

□□□ **516** I regarded him (　　　) a friend but he betrayed me.
頻出　① out　② of　③ to　④ as　(駒澤大)

□□□ **517** Strange to say, some people (　　　) books as furniture.　(関西外語大)
① look into　② look on　③ look out　④ look through

□□□ **518** She was referred (　　　) as a professional golfer.
頻出　① to　② by　③ after　④ with　(龍谷大)

Theme 133

□□□ **519** The traffic jam prevented us (　　　) arriving on time.
頻出　① in　② for　③ from　④ of　(東北学院大)

□□□ **520** I have tried to (　　　) Nancy from going abroad. She is too young.
① encourage　② discourage　③ convince　④ persuade　(京都外語大)

Theme 134

□□□ **521** He could not distinguish silk (　　　) cotton.
頻出　① for　② between　③ from　④ with　(東洋大)

□□□ **522** Most experts can (　　　) a real pearl from an imitation one.
① take　② teach　③ tell　④ transfer　(学習院大)

Power Up! 103 regard A as B タイプの動詞

□ **regard A as B** (➲ 516)
□ **look on [upon] A as B** (➲ 517)
□ **think of A as B**
□ **see [view] A as B**
}「A を B とみなす」(= consider A (to be) B)
□ **refer to A as B**　「A を B と呼ぶ [言う]」(➲ 518)

Power Up! 104 prevent A from *doing* タイプの動詞

□ **prevent [keep / stop / hinder] A from *doing***「A が～することを妨げる」(➲ 519)
□ **discourage A from *doing***「A が～するのを思いとどまらせる」(➲ 520)

516 (④) 私は彼を友達だと思っていたが，彼は私を裏切った。
517 (②) 奇妙なことに，本を家具とみなす人がいる。
518 (①) 彼女はプロゴルファーと呼ばれていた。
519 (③) 交通渋滞のために私たちは時間どおりに到着できなかった。
520 (②) 私はナンシーが外国へ行くのを思いとどまらせようとした。彼女は若すぎる。
521 (③) 彼は絹と綿を区別できなかった。
522 (③) たいていの専門家は本物の真珠と模造真珠の区別がつく。

Theme 132 regard A as B タイプの動詞

516 regard A as B「A を B とみなす」(= consider A (to be) B)
▶ この as は「～(である)と / ～として」の意味。B は名詞・形容詞など。
意味的に A = B [him = a friend「彼は友人」] の関係になる点に注意。

517 look on [upon] A as B「A を B とみなす」
▶ 選択肢の中で「～ A as B」の形をとるのは ② look on だけ。
〈選択肢〉 ① look into ～「～を調査する」，③ look out (for ～)「(～に) 気をつける」，④ look through ～「～にざっと目を通す」

518 refer to A as B「A を B と呼ぶ [言う]」
▶ 本問は受動態 A is referred to as B「A は B と呼ばれている」。
〈プラスα〉 **refer to** ～「～を参照する / ～に言及する」も押さえておこう。(➲ 1009)

Theme 133 prevent A from *doing* タイプの動詞

519 prevent A from *doing*「A が～することを妨げる / A に～させない」
▶『抑制・防止』を表す ③ from「～から / ～しないように」を選ぶ。
▶ 本問 = We could not arrive on time because of the traffic jam.
〈プラスα〉 prevent の代わりに **keep / stop / hinder** などを用いてもほぼ同意。
keep / stop のほうが prevent よりも口語的。

520 discourage A from *doing*「A が～するのを思いとどまらせる」
⇔ encourage A to *do*「A が～するように励ます / 促す」
▶ 選択肢の中で「～ A from *doing*」の形をとる動詞は ② discourage だけ。
〈選択肢〉 ① encourage「～を勇気づける / 励ます」は discourage の反意語。
③ convince「～を納得させる」，④ persuade「～を説得する」。

Theme 134 distinguish A from B タイプの動詞

521 distinguish A from B「A と B を見分ける / A と B を区別する」
〈プラスα〉 distinguish の代わりに **tell / know** を用いることができる。
本問 = He couldn't **distinguish between** silk **and** cotton.
= He couldn't **tell** silk **from** cotton.
= He didn't [×couldn't] **know** silk **from** cotton.

522 tell A from B「A と B を見分ける / A と B を区別する」
▶ 選択肢の中で「～ A from B」の形をとり，文意を成立させることができる動詞は ③ tell。

Power Up! 105 distinguish A from B タイプの動詞

□ **distinguish A from B** (➲ 521)
□ **tell A from B** (➲ 522)
□ **know A from B**
}「A と B を見分ける / A と B を区別する」(= distinguish between A and B)

Theme 135

□□□ **523** 頻出 I got all the information I needed from Kelly.
= Kelly (　　) me with all the information I needed.
① gave　② had　③ provided　④ lent　（亜細亜大）

□□□ **524** The girl who saved the child from drowning has been (　　) with an award for courage.　（センター）
① given　② offered　③ presented　④ promised

Theme 136

□□□ **525** 頻出 I don't blame you (　　) doing that.
① for　② of　③ with　④ at　（関西外語大）

□□□ **526** 頻出 They accused him (　　) lying in public.
① in　② of　③ for　④ to　（桜美林大）

Theme 137

□□□ **527** 頻出 私は，医者の診察を受けるように妻を説得した。
I (a doctor / into / my / seeing / talked / wife).　（東北学院大）

□□□ **528** This milk is going to be made (　　) cheese.
① from　② into　③ of　④ by　（大阪電通大）

Power Up! 106 provide A with B タイプの動詞

□ **provide A with B**「A に B を供給する / 与える」(= provide B for [to] A)(➲ 523)
□ **supply A with B**「A に B を供給する」(= supply B for [to] A)
□ **equip A with B**「A に B（機器・装置・備品など）を備え付ける」
□ **present A with B**「A に B を贈る」(= present B to A)(➲ 524)

Power Up! 107 blame A for B タイプの動詞

□ **blame A for B**「A を B で責める / B を A のせいにする」(➲ 525)
□ **punish A for B**「A を B で罰する」
□ **excuse [forgive] A for B**「A の B（行為）を許す」
□ **praise A for B**「A の B をほめる［賞賛する］」
□ **admire A for B**「A の B に感嘆［感心］する」
□ **thank A for B**「A に B の礼を言う」

523 （③）ケリーは私が必要とする情報をすべて与えてくれた。
524 （③）子供がおぼれているところを助けた少女はその勇気に対して賞を贈られた。
525 （①）私は君がそれをしたからといって責めはしない。
526 （②）彼らは彼を人前でうそをついたと非難した。
527 I (talked my wife into seeing a doctor).
528 （②）この牛乳はチーズに加工される予定です。

Theme 135 provide A with B タイプの動詞

523 **provide A with B**「A（人）に B（物）を供給する / 与える」
(= **provide B for [to] A**)
▶「～ A with B」の形をとる動詞は，③ provided のみ。
目的語に B（物）が来ると，前置詞が for [to] になる点に注意。
〈プラスα〉 **supply** は provide とほぼ同じ意味・用法。
supply refugees *with* food = *supply* food *for* [*to*] refugees
「難民に食料を支給する」

524 **present A with B**「A に B を贈る」
▶ 本問は受動態 A is presented with B「A は B を贈られる」の形。
▶ 選択肢の中で「～ A with B」の形をとるのは ③ presented だけ。

Theme 136 blame A for B タイプの動詞

525 **blame A for B**「A を B（のこと）で責める」
▶ 相手の行為や事柄に対する『賞罰』を表す動詞はしばしば前置詞 **for** と結びつく。*praise* him *for* his courage「彼の勇気をほめたたえる」

526 **accuse A of B**「A を B（のこと）で非難する / 責める」
▶ blame とほぼ同意。前置詞は for ではなく **of** をとるので入試で狙われやすい。
〈語句〉本問の lying は lie「うそをつく」の動名詞形。
in public「人前で / 公然と」(➲ 1259)（⇔ in private「内密に」）

Theme 137 talk A into B タイプの動詞

527 **talk A into B [*doing*]**「A を説得して B させる」
(= **persuade A into B [*doing*] / persuade A to *do***)
⇔ **talk [persuade] A out of B [*doing*]**「A を説得して B するのをやめさせる」
I **talked [persuaded]** my wife **out of** buying a new carpet.（駒澤大）
（私は妻を説得して，新しいカーペットを買うのをやめさせた）

528 **make A into B**「A（材料）を B（製品）にする」
▶ 本問は受動態 A is made into B「A は B に作られる / A は加工されて B になる」。

Power Up! 108 talk A into B タイプの動詞

□ **talk [persuade] A into B [*doing*]**「A を説得して～させる」(➲ 527)
□ **change [turn] A into B**「A を B に変える」
Heat **changes** water **into** steam.（熱は水を水蒸気に変える）（早大）
□ **make A into B**「A を B にする」(➲ 528)
□ **translate [put] A into B**「A を B に翻訳する」
Mr. Smith is **translating** the new English novel **into** Japanese.
（スミスさんがその新しい英語の小説を日本語に翻訳している）（愛知学院大）

Theme 138

□□□ **529** 頻出 Carelessness may (　　　) you your life.
① cause　② cost　③ put　④ take　（京都産業大）

□□□ **530** Would you please (　　　) me a few minutes?
① admit　② produce　③ share　④ spare　（実践女子大）

□□□ **531** ポールがメールをくれたおかげで，彼女に電話をかける手間を省けた。（神戸学院大）
An email (me / saved / the / her / of calling / from Paul / trouble).

□□□ **532** 頻出 Can you (　　　) me the time, please?
① say　② tell　③ speak　④ instruct　（神奈川大）

□□□ **533** 発展 I (　　　) you good luck.
① hope　② want　③ wish　④ expect　（武蔵大）

□□□ **534** 頻出 Could you (　　　)?
① explain me it　② explain it me
③ explain to me it　④ explain it to me　（センター）

□□□ **535** 頻出 John didn't know how to (　　　) to his wife that he had quit his job.
① tell　② ask　③ explain　④ request　（南山大）

Power Up! 109 「SVOO」の形をとる注意すべき動詞

□ **cause** A B	「AにBをもたらす」
□ **charge** A B	「AにB（金額）を請求する」
□ **cost** A B	「AにB（犠牲・損失など）を払わせる」（➲ 529）
□ **deny** A B	「AにBを与えない」
□ **save** A B	「AのB（労力など）を省く」（➲ 531）
□ **spare** A B	「AにB（時間など）をさく／AのBを省く」（➲ 530）
□ **take** A B	「Aが（～するのに）B（時間・労力など）を必要とする／かかる」
□ **tell** A B	「AにBを話す／言う」（➲ 532）
□ **wish** A B	「AにB（幸運・成功など）を祈る」（➲ 533）

529 （②） 不注意のために命を落とすこともある。
530 （④） 少し時間をいただけませんか。
531 An email (from Paul saved me the trouble of calling her).
532 （②） 時間を教えてくれませんか。
533 （③） ご幸運を祈ります。
534 （④） 私にそれを説明していただけますか。
535 （③） ジョンは仕事を辞めたことを妻にどう説明したらよいのかわからなかった。

Theme 138 「SVOO」の形をとる動詞 / とらない動詞

529 cost A B「AにB（犠牲・損失など）を払わせる / AにB（費用）がかかる」

▶ 選択肢の動詞の中で cause / cost / take の3つが「SVOO」の形をとるが，cause と take では文意がおかしくなる。② cost が正解。

〈プラスα〉 It costs A B to *do*「Aが～するのにB（費用）がかかる」は重要。（➲ 292）

530 spare A B「AにB（時間など）をさく」（= spare B for A）

▶ 選択肢の中で「SVOO」の形をとるのは ④ spare だけ。

〈プラスα〉 spare A B は「AのBを省く」（= save A B）の意味も重要。

I did the work to **spare** you the trouble.
（あなたに面倒をかけたくないのでその仕事をした）

531 save A B「AのB（労力など）を省く」

▶ save [spare] A the trouble of *doing*「Aの～する手間を省く」

532 tell A B「AにBを話す / 言う」

〈選択肢〉 ① say は「SVOO」の形で使えない。③ speak は「（言語）を話す」以外は基本的に自動詞。④ instruct にも「教える」の意味があるが，その場合は「instruct A / instruct A that ～」の形になるので，いずれも不可。

▶ tell A B のBに that 節がくる形 tell A that ～「Aに～ということを話す」も重要。（➲ 574）

533 wish A B「AにB（幸運・成功など）を祈る」

▶ 選択肢の中で「SVOO」の形をとるのは ③ wish だけ。

534 explain B（to A）「（A（人）に）B（物・事）を説明する」

▶「AにBを説明する」という日本語から，explain を「SVOO」の形をとる動詞だと勘違いしやすい。explain は「SVOO」の形をとれないので，説明する相手を示すときは，A（人）の前に to を置いて，explain B to A の形になる。

〈選択肢〉 explain は「SVOO」の形をとらないので，①，② は不可。

535 explain（to A）B［that 節］「（A（人）に）～ということを説明する」

▶ 目的語Bが that 節や wh- 節・句のように長い場合は，to A を前に置いて，explain to A that 節［wh- 節・句］の形になる。

〈選択肢〉 ① tell は「SVOO」の形をとるので不可。② ask は ask A if 節［wh- 節・句］「Aに～かどうか［～か］尋ねる」の形で用いる。

〈プラスα〉 explain to A B［wh- 節・句］「Aに～かを説明する」の用例

The manager **explained to the customer why** the goods were late.
（店長はその客になぜ商品の入荷が遅れているかを説明した）（帝京平成大）

Power Up! 110 「SVOO」の形をとらない注意すべき動詞

□ **admit**	「認める」	□ **explain**	「説明する」（➲ 534・535）
□ **introduce**	「紹介する」	□ **say**	「言う」
□ **suggest**	「提案する」（➲ 570）	□ **confess**	「告白する」

Theme 139

□□□ **536** Though they had a heated debate, I kept (　　　) during the meeting.
① quiet　② quietly　③ silently　④ talkative　（同志社大）

□□□ **537** These flowers really smell (　　　).
① sweet　② sweeten　③ sweetly　④ sweetness　（同志社大）

□□□ **538** War occurs when something (　　　) wrong with foreign affairs.
① goes　② comes　③ makes　④ does　（西南学院大）

□□□ **539** That dream of yours might (　　　) true someday.
① come　② put　③ make　④ get　（駒澤大）

□□□ **540** 頻出 花の手入れを毎日していると，生活がとても楽しくなります。
Taking (makes / life / care / these flowers / of / every day) so enjoyable.　（桜美林大）

□□□ **541** 頻出 この本はとても面白いですよ。
You will (　　　) this book very interesting.
① find　② discover　③ read　④ buy　（愛知学院大）

Power Up! 112 「SVOC」の形をとる動詞

SVO の後に，O（目的語）を説明する C（補語）をとる動詞は，意味の上から大きく次の 2 つのタイプに分けられる。ここで扱うのは C が形容詞・名詞の場合。
＊ C に不定詞・分詞が来る場合は，Theme 140 ～ 144 を参照。

(1) **make** タイプ「**O** を **C** の状態にする」
□ **make**（➲ 540）/ **get**「～にする」　□ **keep** / **leave**「～のままにしておく」
□ **name**「～と名づける」　□ **call**「～と呼ぶ」
□ **choose** / **elect**「～に選ぶ」　□ **appoint**「～に任命する」

(2) **think** タイプ「**O** を **C** と思う」
□ **think** / **suppose** / **consider**「～と思う / 考える」
□ **find**「～とわかる / ～だと思う」（➲ 541）　□ **believe**「～と信じる」

……

536 （①） 激しい討論が行われたが，私は会合の間ずっと黙っていた。
537 （①） これらの花は本当に甘い香りがする。
538 （①） 何か外交問題がうまくいかないときに戦争は起こる。
539 （①） あなたのあの夢はいつか実現するかもしれない。
540 Taking (care of these flowers every day makes life) so enjoyable.
541 （①）

Theme 139 「SVC・SVOC」の形をとる動詞

536 **keep C**「ずっと **C** のままである」
▶ C には形容詞が来るので，① quiet が正解。
〈選択肢〉② quietly と ③ silently は副詞なので不可。④ talkative も形容詞だが，「おしゃべりな」の意味なので，文意が通らない。

537 **smell C**「**C** の香り［におい］がする」
▶ 知覚動詞の補語は形容詞だけと考えてよいので，① sweet が正解。
〈選択肢〉② sweeten「甘くする」, ③ sweetly「甘く」, ④ sweetness「甘さ / 甘味」

538 **go wrong**「失敗する / うまくいかない /（機械などが）故障する」
▶ **go** + 形容詞「～になる」は通例，好ましくない状態への変化に用いる。
go wrong「（事が）うまくいかない」/ **go bad**「（食べ物が）腐る」/ **go bankrupt**「破産する / 倒産する」などは成句として押さえる。

539 **come true**「（夢などが）実現する」（= **be realized**）
▶ **come** + 形容詞「～になる」は，好ましい状態への変化に用いることが多い。
come true「実現する」/ **come alive**「生き生きとする」/ **come right**「うまくいく」などは成句として押さえる。

540 **make O C**「**O** を **C** にする」
▶ 日本語を「花の世話を毎日することが生活をとても楽しくする」と読み替え，「make O C」の形を使って英文を完成させる。

541 **find O C**「**O** が **C** だとわかる / **O** を **C** だと思う」
▶ O = C [this book = very interesting] の関係が成立しているので,「SVOC」の形をとる動詞 ① find が正解。② discover は O に「人」を取るので不可。

Power Up! 111 「SVC」の形をとる動詞

SV の後に S（主語）を説明する C（補語）をとる動詞の数は限られている。次の 4 つのタイプに分けて覚えよう。C になれるものは主に形容詞［分詞］である。be 動詞や become などの場合には名詞が来ることもある。

(1) **be**「～である」タイプ ――『状態を表す動詞』
□ **be** / **lie** / **sit** / **stand**「～である」
□ **keep**（➲ 536）/ **remain** / **stay**「～のままである」

(2) **become**「～になる」タイプ ――『変化を表す動詞』
□ **become** / **grow** / **get** / **turn** / **go**（➲ 538）/ **come**（➲ 539）「～になる」

(3) **look**「～に見える」タイプ ――『外見を表す動詞』
□ **appear** / **look**「～に見える」
□ **seem**「（話し手の主観的な判断で）～と思われる」

(4) **feel**「～と感じる」タイプ ――『知覚動詞（感覚動詞ともいう）』
□ **feel**「～と感じる / 感じ［手触り］が～だ」
□ **taste**「～の味がする」　□ **smell**「～のにおい［香り］がする」（➲ 537）
□ **sound**「（話が）～に聞こえる /（聞いたりして）～に思われる」

Theme 140

□□□ **542** 基本 頻出 Her father (　　) her to be careful in choosing friends. （実践女子大）
① advised　② explained　③ said　④ suggested

□□□ **543** 基本 頻出 〔適切でないものを 1 つ選べ〕
I (　　) Sandy and her family to come.
① wanted　② hoped　③ expected　④ asked　（関西学院大）

□□□ **544** 頻出 We have to get her (　　) what she's supposed to do by tomorrow.
① do　② to do　③ to doing　④ will do　（宮崎大）

□□□ **545** 頻出 The weight of the snow (　　) the roof to fall down.
① made　② had　③ let　④ caused　（名城大）

□□□ **546** 頻出 The teacher encouraged (　　).
① me to study　② me to studying
③ for me to study　④ that I should study　（富山国際大）

□□□ **547** 頻出 Her good language skills (　　) her to get a good job.
① enabled　② enhanced　③ forced　④ directed　（芝浦工大）

□□□ **548** 頻出 私の提案に従うようにと彼を説得することができなかった。
I (him / follow / my / persuade / to / could / not / suggestion).（東洋大）

Power Up! 114 「SVO to *do*」の形をとらない動詞

「SVO to *do*」の形をとれそうでとれない以下の動詞に要注意。
特に **suggest** と **hope** の 2 つが頻出。

□ **suggest**〔**propose**〕「提案する」（➲ 542）
□ **admit**「認める」
□ **inform**「知らせる」
□ **prohibit**「禁じる」
□ **forgive**「許す」
□ **say**「言う」
□ **demand**「要求する」
□ **hope**「希望する」（➲ 543）
□ **excuse**「許す」
□ **explain**「説明する」

542（①）彼女の父は彼女に友達を選ぶ際には注意するように忠告した。
543（②）私はサンディーとその家族に来てほしいと思った〔期待した / 頼んだ〕。
544（②）彼女が明日までにすることになっていることを彼女にさせなければならない。
545（④）雪の重さのために屋根が崩れ落ちた。
546（①）先生は私を勉強するように励ました。
547（①）優れた語学力によって彼女は良い仕事に就くことができた。
548 I (could not persuade him to follow my suggestion).

Theme 140 「SVO to *do*」の形をとる動詞

SVOC の C には形容詞や名詞だけでなく，動詞〔不定詞 / 分詞〕も来る。この場合，O と C の間に「**O が C する**」という「**S + V**」の関係が隠されていることを見抜くことが大切である。

542 **advise A to *do*「A に～するように忠告する」**
▶「SVO to *do*」の形をとるのは ① advised だけ。
〈選択肢〉suggest は suggest（to A）that 節「(A に）～することを提案する」，suggest *doing*（to A）「(A に）～することを提案する」の形をとる。

543 **want〔expect / ask〕A to *do*「A に～してほしいと思う〔期待する / 頼む〕」**
▶ 選択肢の中で，hope だけ「SVO to *do*」の形をとらない動詞。
hope for A to *do*「A が～することを望む」の形をとる。（➲ 480）

544 **get A to *do*「A に～させる / ～してもらう」（= have A *do*）**
〈語句〉be supposed to *do*「～することになっている」（➲ 1168）

545 **cause A to *do*「(主語が原因となって）A に～させる / A は～する」**
▶「SVO to *do*」の形をとるのは ④ cause だけ。他はすべて「SVO *do*」。

546 **encourage A to *do*「A を～するように励ます〔仕向ける〕」**
〈選択肢〉encourage は that 節を目的語にとることはないので ④ は不可。
〈プラスα〉反意語 discourage は discourage A from *doing*「A に～するのをやめさせる / 思いとどまらせる」の形をとるので要注意。（➲ 520）

547 **enable A to *do*「A が～することを可能にする /（主語によって）A は～できる」（= make it possible for A to *do*）**

548 **persuade A to *do*「A を説得して～させる」（= persuade〔talk〕A into *doing*）**

Power Up! 113 「SVO to *do*」の形をとる動詞

□ **tell A to *do***	「A に～しなさいと言う」（➲ 575）
□ **advise A to *do***	「A に～するように忠告する」（➲ 542）
□ **want A to *do***	「A に～してほしい（と思う）」（➲ 543）
□ **expect A to *do***	「A に～してほしいと期待する / A が～するだろうと思う」（➲ 543）
□ **ask A to *do***	「A に～してほしいと頼む」（➲ 543）
□ **force〔compel / oblige〕A to *do***	「A にむりやり～させる」（= make A *do*）
□ **get A to *do***	「A に～させる / ～してもらう」（= have A *do*）（➲ 544）
□ **allow A to *do***	「A が～するのを許す」（= let A *do* / permit A to *do*）
□ **permit A to *do***	「A が～するのを許す」
□ **cause A to *do***	「(主語が原因となって）A に～させる / A は～する」（➲ 545）
□ **encourage A to *do***	「A を～するように励ます〔仕向ける〕」（➲ 546）
□ **enable A to *do***	「A が～することを可能にする」（➲ 547）
□ **persuade A to *do***	「A を説得して～させる」（➲ 548）

Theme 141

□□□ **549** 超頻 The president had his secretary (　　) a flight for New York.
① reserved　② to reserve　③ reserve　④ reserving　(駒澤大)

□□□ **550** 基本 頻出 The trainer (　　) the elephant enter the cage by beating it with a stick.
① got　② let　③ made　④ forced　(高知大)

□□□ **551** 頻出 Ken lets his children ①to have their own ②way, so they ③stay up late ④at night.　(駿河台大)

□□□ **552** 頻出 Would you help me (　　) the table?　(大阪電通大)
① set　② sets　③ setting　④ to have set

□□□ **553** 頻出 I just heard someone (　　) my name.
① call　② called　③ calls　④ to be called　(金沢工大)

□□□ **554** 基本 頻出 Imagine my joy when I saw the patient in my charge (　　) without any help.
① try to walk　② to try to walk
③ to try walking　④ tries to walk　(杏林大)

□□□ **555** チンパンジーの中には夕日が沈むのを，じっと眺めているものもいるという。
It is said that some chimpanzees watch the evening sun (　　) below the (　　).　(立命館大)

Power Up! 115 「SVO *do*」の形をとる動詞 ── (1) 使役動詞

□ **make A *do*** 「(強制的に) A に～させる」(= **force** [**compel**] **A to *do***) (➲ 550)
□ **have A *do*** 「(自分でしないで) A に～させる [してもらう]」(= **get A to *do***) (➲ 549)
□ **let A *do*** 「(望みどおり [勝手に]) A に～させる」(= **allow A to *do***) (➲ 551)
＊ほぼ同じ内容を to 不定詞を用いて (　　) 内のように表現できる。
特に have A *do* とほぼ同意の get A to *do* が重要。

---

549 (③) 社長は秘書にニューヨーク行きの飛行機を予約させた。
550 (③) 調教師はゾウを棒でたたいておりに入れた。
551 (①) 〔to have ➡ have〕ケンは子供たちに好き勝手にさせているので，彼らは夜遅くまで起きている。
552 (①) 食卓の用意をするのを手伝っていただけますか。
553 (①) たった今，誰かが私の名前を呼ぶのが聞こえた。
554 (①) 私が世話をしている患者が何の助けもなしに歩こうとするのを見たときの私の喜びを想像してみてください。
555 (sink [set]，horizon)

Theme 141 「SVO *do*」の形をとる動詞

「SVO *do*」の形をとる動詞には，**make / have / let** の使役動詞 3 つと，**see / hear / feel** といった知覚動詞などがある。

549 have A *do* 「(自分でしないで) A に～させる / ～してもらう」(= **get A to *do***)
▶ 使役動詞としての have は make ほど強制力は強くなく，「(それをするのが当然の立場にある人に) ～させる / ～してもらう」の意味。
▶ 目的語 A の後は *do*〔原形不定詞〕であることに注意。ほぼ同じ意味を表す get の場合は，A の後ろは to *do*〔to 不定詞〕である。(➲ 544)

550 make A *do* 「(強制的に) A に～させる」(= **force** [**compel**] **A to *do***)
▶「SVO *do*」の形をとる動詞は ② let と ③ made だが，let は「(望みどおり [勝手に]) A に～させる」の意味なので不適切。正解は ③ made。
〈選択肢〉① got と ④ forced は「SVO to *do*」の形をとる動詞なので不可。

551 let A *do* 「(望みどおり [勝手に]) A に～させる」(= **allow A to *do***)
▶ let は「SVO *do*」の形をとる動詞なので，① to have を have に訂正する。
〈語 句〉have [get] *one's* own way「自分の思いどおりにする」(➲ 1097)
stay [sit] up「(寝ないで) 起きている」(➲ 892) はともに重要表現。

552 help A (to) *do* 「A が～するのを手伝う」
▶ help は「SVO *do*」/「SVO to *do*」の両方の形をとるが，*do* を用いる場合が多い。ときには目的語 A が省かれることもある。
He *helped* (*to*) *build* the boat. (彼はそのボートを作る手助けをした)
〈語 句〉set [lay] the table「食卓の用意をする」⇔ clear the table「食卓を片づける」

553 hear A *do* 「A が～するのが聞こえる」
▶ see，hear などの知覚動詞も「SVO *do*」の形をとる。
〈語 句〉just「〔完了形とともに用いて〕たった今」は，本問のように，《米》では過去形とともに用いることも多い。

554 see A *do* 「A が～するのを見る」
〈語 句〉charge「責任 / 世話」 The patient is *in my charge*. = I am *in charge of* the patient. (私がその患者の世話をしている)

555 watch A *do* 「A が～するのを見守る」
▶ watch は動く対象を関心を持ってじっと目で追う場合に用いる。
▶「夕日が (水平線下に) 沈む」the evening sun sink below the horizon

Power Up! 116 「SVO *do*」の形をとる動詞 ── (2) 知覚動詞

□ **see A *do***	「A が～するのを見る」	(➲ 554)
□ **watch A *do***	「A が～するのを見守る」	(➲ 555)
□ **hear A *do***	「A が～するのが聞こえる」	(➲ 553)
□ **feel A *do***	「A が～するのを感じる」	

Theme 142

□□□ **556** A lot of people saw him (　　　) on the street.　（武庫川女子大）
頻出
① arrest　② arrested　③ arresting　④ to be arrested

□□□ **557** I heard him (　　　) a song in the bathroom.
頻出
① singing　② having sung　③ to sing　④ to be singing　（桜美林大）

□□□ **558** I heard (　　　) by someone.
頻出
① call my name　② called my name
③ my name call　④ my name called　（関西学院大）

□□□ **559** Beth felt the rain (　　　) on her head.
頻出
① to fall　② falls　③ fell　④ falling　（関西外語大）

□□□ **560** Philip (　　　) himself falling asleep at the desk while he was reading.
頻出
① found　② left　③ let　④ made　（学習院大）

□□□ **561** The teacher caught the student (　　　) in class.
① sleep　② slept　③ sleeping　④ to sleep　（桃山学院大）

Power Up! 118 知覚動詞＋A *do* / *doing* / *done* の用法の違い

① I **saw** a stranger **enter** that house.
（私は見知らぬ人があの家に入るのを見た）

② I **saw** a stranger **entering** that house.
（私は見知らぬ人があの家に入っていくところを見た）

③ I **saw** a stranger **murdered**.（私は見知らぬ人が殺されるのを見た）

＊① と ② は「A が～する」という能動関係であるのに対して，
③ は「A が～される」という受動関係である。

＊① の *do* の場合は，「動作の始めから終わりまで全体を見る」，
② の *doing* の場合は「動作の途中［部分］を見る」という意味になる。

…………………………………………………………………………

556　（②）　大勢の人が彼が通りで逮捕されるのを見た。
557　（①）　彼が浴室で歌を歌っているのが聞こえた。
558　（④）　私は自分の名前が誰かに呼ばれるのが聞こえた。
559　（④）　ベスは頭に雨が降りかかっているのを感じた。
560　（①）　フィリップは，本を読んでいるうちに気づくと机で寝てしまっていた。
561　（③）　先生はその学生が授業中に眠っているところを見つけた。

Theme 142 「SVO ＋ 分詞」の形をとる動詞 ―― 知覚動詞

「SVO」の後に分詞を目的格補語としてとる動詞には ① 知覚動詞，② 使役動詞（**have / get / make**），③『持続状態』を表す動詞（**keep / leave**）などがある。ここでは ① について扱う。②，③ の動詞に関しては次の Theme 143・144 で扱う。

556 **see A *done*「A が～されるのを見る」**

▶ 目的語 him と arrest の間に「彼が逮捕される」という受動関係があるので，過去分詞の ② arrested が正解。

〈選択肢〉 arrest は他動詞で目的語が必要なので ① arrest，③ arresting は不可。see は目的格補語 C に to *do* をとらないので ④ to be arrested は不可。

557 **hear A *doing*「A が～しているのが聞こえる」**

▶ 目的語 him と sing の間に「彼が歌っている」という能動関係があるので，現在分詞 ① singing が正解。

▶ hear は目的格補語 C に to *do* をとらないので，③ to sing，④ to be singing は不可。

558 **hear A *done*「A が～されるのが聞こえる」**

▶ 目的語 my name と call の間に「名前が呼ばれる」という受動関係があるので，過去分詞を用いた ④ my name called が正解。

559 **feel A *doing*「A が～しているのを感じる」**

▶ 目的語 the rain と fall の間に「雨が降りかかっている」という能動関係があるので，現在分詞の ④ falling が正解。

560 **find A *doing*「A が～しているのを見つける」**

▶ **find *oneself doing***「気づくと～している」の形が頻出。

〈選択肢〉 let，make は現在分詞を目的格補語にとらないので，③，④ は不可。（➲ Power Up! 119）② left では文意が通らない。（➲ Power Up! 121）

561 **catch A *doing*「A が～しているところを見つける」**

▶ この形では catch は「見つける」の意味。*do*, to *do* を目的格補語 C にとらないので，① sleep，④ to sleep は不可。

Power Up! 117 「SVO ＋ 分詞」の形をとる動詞 ―― 知覚動詞

□ **see A *doing* / *done***	「A が～している / されるのを見る」（➲ 556）
□ **hear A *doing* / *done***	「A が～している / されるのが聞こえる」（➲ 557・558）
□ **watch A *doing* / *done***	「A が～している / されるのを見守る」
□ **feel A *doing* / *done***	「A が～している / されるのを感じる」（➲ 559）
□ **notice A *doing* / *done***	「A が～している / されるのに気づく」
□ **find A *doing* / *done***	「A が～している / されるのを見つける」（➲ 560）
□ **catch A *doing***	「A が～しているところを見つける」（➲ 561）

＊ find と catch は「A が～しているところを見つける」という意味でこの形をとる。ただしこれらは *do* を C にはとらない。（ˣfind［catch］A *do*）

Theme 143

□ **562** 超頻 彼らは東京スカイツリーの前で写真を撮ってもらった。 （成城大）

They had their pictures (　　) in front of Tokyo Skytree.

① take　② to take　③ taken　④ to be taken

□ **563** 頻出 Could you give me a ride to the station tomorrow morning? I must get my car (　　) at the garage. （東京理科大）

① repair　② repairing　③ repaired　④ to repair

□ **564** 頻出 He (　　) his umbrella (　　) in the door by accident when he boarded the rush hour train.

① got — caught　② got — to catch

③ made — caught　④ made — to catch （センター）

□ **565** 発展 We're supposed to have our new project (　　) by Monday.

① been finished　② finish　③ finished　④ finishing （東北学院大）

□ **566** 頻出 弁論大会では，講堂にいるみんなに自分の考えが伝わるように，はっきりとそして注意深く話した。〔1 語不要〕

In the speech contest, I spoke clearly and carefully in order to (understand / make / everyone / myself / by / understood) in the auditorium. （成蹊大）

Power Up! 120 『使役』を表す have [get] A *done* と have A *do* / get A to *do*

□ **have [get] A *done*** 「A を～してもらう [させる]」── A は主に『物』

□ **have A *do* / get A to *do*** 「A に～してもらう [させる]」── A は主に『人』

I'll **have [get]** *my baggage* **carried** by a porter. (➲ 562)

= I'll **have** *a porter* **carry** my baggage. (➲ 549)

= I'll **get** *a porter* **to carry** my baggage. (➲ 544)

(荷物をポーターに運ばせよう [運んでもらおう])

---

562 (③)

563 (③) 明日の朝，駅まで乗せてくれませんか。私の車は工場で修理してもらわないといけないのです。

564 (①) 彼はラッシュ時の電車に乗り込んだ時，うっかりドアに傘をはさまれた。

* by accident = accidentally「誤って / うっかり / 偶然に (= by chance)」

565 (③) 月曜日までに新しい計画をやり遂げてしまうことになっている。

566 In the speech contest, I spoke clearly and carefully in order to (make myself understood by everyone) in the auditorium. 〔understand が不要〕

Theme 143 「SVO + 分詞」の形をとる動詞 ── 使役動詞

562 have A *done* 「A を～してもらう」(= **get A *done***) ──『使役』

▶ their pictures と take の間に「写真が撮られる」という受動関係があることに注目。「写真を撮ってもらった」という『使役』の意味になるように，③ taken を選ぶ。

563 get A *done* 「A を～してもらう」(= **have A *done***) ──『使役』

▶ get A *done* は have A *done* とほぼ同じ意味を表す。

▶「車が修理される」という受動関係があるので，正解は ③ repaired。

〈語句〉 give ～ a ride「～を乗せて行く」

564 get A *done* 「A を～される」(= **have A *done***) ──『被害』

▶ get A *done* には，「A を～される」という『被害』の意味がある。

▶「傘がはさまれる」という受動関係があるので，① got — caught が正解。

〈選択肢〉 make には『被害』を表す用法はないので，③ made — caught は不可。

565 have A *done* 「(自分が) A を～してしまう」(= **get A *done***) ──『完了』

▶ 本問の場合の have A *done* は『完了』の意味を表している。

▶「計画がやり遂げられる」という受動関係があるので，③ finished が正解。

〈語句〉 **be supposed to *do*** 「～することになっている」は重要表現。(➲ 1168)

566 make *oneself* understood 「自分の考え [言うこと] を人に理解してもらう」

▶ make A *done* の形の成句表現。

「*oneself* (自分の考え [言うこと]) が理解される」という受動関係があるので，understood と過去分詞になることに注意。

〈プラスα〉 **make *oneself* heard** 「自分の声を聞き取ってもらう」も同類の成句。

The noise in the street was such that I couldn't **make** *myself* **heard**.

(通りの騒音があまりにひどいので私の声は届かなかった) (中央大)

Power Up! 119 「SVO + 分詞」の形をとる動詞 ── 使役動詞

□ **have [get] A *done*** 〔get のほうが口語的〕(➲ 562 ～ 565)

① 「A を～してもらう / A を～させる」──『使役』

② 「A を～される」──『被害』

③ 「(自分が) A を～してしまう」──『完了』

□ **have [get] A *doing*** 「A (人・物など) に～させる [させておく]」──『使役』

I can't **have** *you* **going** there on your own.

(私はあなたをひとりでそこに行かせるわけにはいかない) (早大)

* have [get] A *doing* は let A *do* に近くなる。入試での出題は少ない。

□ **make A *done*** 「A が～されるようにする」(➲ 566)

* make は現在分詞を目的格補語にとらない。(×make A *doing*)

* let は現在分詞も過去分詞も目的格補語にとらない。(×let A *doing* / *done*)

Theme 144

□□□ **567** Keep your eyes (　　) till I say OK. 頻出
① close　② closed　③ closing　④ to close　(福岡大)

□□□ **568** 長い間お待たせしてすみません。〔1 語不要〕 頻出　(四天王寺国際仏教大)
I'm sorry (kept / waited / to / you / have / waiting) for a long time.

□□□ **569** ガスをつけっ放しにしておかないように注意しなさい。 頻出
Be careful not to (the / on / turned / leave / gas).　(玉川大)

Theme 145

□□□ **570** They suggested (　　) go alone. 超頻
① him that he　② to him that he　③ him to　④ to him to　(同志社大)

□□□ **571** My parents insisted that my sister (　　) the dentist. 頻出　(近畿大)
① be visited　② visit　③ visiting　④ was visited

□□□ **572** Tom ① demanded that his sister ② returns the key ③ to his car ④ by tonight.　(慶應大)

Power Up! 121 「SVO + 分詞」の形をとる動詞 ——『持続状態』を表す動詞

□ **keep A *doing* / *done*** 「A を～している［された］状態にしておく」(➲ 567·568)
□ **leave A *doing* / *done*** 「A を～している［された］ままにしておく」(➲ 569)
keep ——「意図的に～の状態にしておく」,
leave ——「～の状態のままに放置しておく」の意味。

cf. { She **kept** them **talking**. (彼女は彼らに話を続けさせた)
Don't **leave** the water **running**. (水を流しっ放しにしないで)

567 (②) 私がいいと言うまで目を閉じていなさい。
568 I'm sorry (to have kept you waiting) for a long time. 〔waited が不要〕
569 Be careful not to (leave the gas turned on).
570 (②) 彼らは彼にひとりで行ったらどうかと提案した。
571 (②) 両親は姉［妹］に歯医者に行くように強く［しつこく］言った。
572 (②) 〔returns ➡ (should) return〕トムは姉［妹］に今夜までに車の鍵を返すように求めた。

Theme 144 「SVO + 分詞」の形をとる動詞 ——『持続状態』を表す動詞

567 keep A *done*「A を～された状態にしておく」
▶ 目的語 your eyes と close の間に「目が閉じられる」という受動関係があるので，過去分詞 ② closed が正解。

568 keep A waiting「A を待たせておく」
▶ 目的語 you と wait の間に「あなたが待つ」という能動関係があるので，waiting を用いる。本問 = I'm sorry I've kept you waiting for a long time.
▶ keep A waiting は keep A *doing* の形の中で最もよく出題される表現。

569 leave A *done*「A を～されたままにしておく」
▶ 目的語 the gas と turn on の間に「ガスがつけられる」という受動関係〔the gas is turned on〕があることに注意すること。

Theme 145 that 節で原形または「should + 原形」を用いる動詞

『提案・要求・命令』などを表す動詞の目的語となる that 節中では，動詞の原形を用いる。(「**should** + 原形」を用いることもある)

570 suggest (to A) that S (should) + 原形
「S が～してはどうかと (A に) 提案する」
▶ suggest は『提案』を表す動詞なので，suggested と過去形であっても，that 節中では，原形または「should + 原形」を用いる。
▶ suggest は「SVOO」の形をとらないので，×suggest A that 節ではなく，○suggest to A that 節の形になる。② to him that he が正解。
〈選択肢〉 ×suggest A to *do* の形はないので，③ him to は不可。(➲ Power Up! 114)

571 insist that S (should) + 原形「S に～するように強く［しつこく］要求する」
▶ 本問の insist は『主張』ではなく『要求』を表しているので，insist の後ろの that 節中では，原形の ② visit を用いる。

572 demand that S (should) + 原形「S に～するように要求する」
▶ demand も『要求』を表す動詞なので，that 節中では，原形または「should + 原形」を用いる。本問は ② returns を (should) return に訂正する。
〈語句〉 the key to *one's* car「車の鍵」 ＊ to「～の」に注意。(➲ 704)

Power Up! 122 that 節で原形または「should + 原形」を用いる動詞

□ **suggest［propose］**「提案する」(➲ 570)
□ **demand［require］**「要求する」(➲ 572)
□ **insist**「(強く) 要求する」(➲ 571)
□ **order［command］**「命令する」
□ **advise**「忠告する」
□ **recommend**「勧める」

〈発展〉 **suggest** を「～とそれとなく言う」の意味で用いる場合はこの形をとらない。
He **suggested** that **I was** wrong. (×... that I (should) be wrong.)
(彼は私が間違っていると遠回しに言った)

Theme 146

□□□ **573** 頻出 It was only yesterday that John (　　) me about his plan to go to Europe.
① said　② spoke　③ talked　④ told　（早大）

□□□ **574** 頻出 He (　　) he wanted to leave our company.　（上智大）
① told that　② said me that　③ told to me that　④ told me that

□□□ **575** 頻出 The teacher (　　) his students to open their textbooks.
① spoke　② talked　③ said　④ told　（名城大）

□□□ **576** 頻出 Mother (　　) that poverty is a virtue.
① says　② tells　③ speaks　④ talks　（青山学院大）

□□□ **577** I was spoken (　　) by a stranger in the train.
① at　② to　③ with　④ for　（名古屋学院大）

□□□ **578** 頻出 We should (　　) right now about what to do and where to go.
① mention　② talk　③ tell　④ discuss　（福井工大）

Power Up! 124 speak / talk の語法

speak ── 基本的に自動詞「言葉を話す / 演説する」の意味。
［例外］: 他動詞として使われる場合は，目的語は『言葉』に限られる。
speak English「英語を話す」/ speak a word「ひと言話す」

□ **speak to A**　「**A**（人）に話しかける / **A** に話す / **A** と話をする」(➲ 577)
□ **speak to A about B**「**A**（人）に **B** について話す / **A**（人）と **B** について話をする」

talk ── 基本的に自動詞「おしゃべりをする / 話し合う」の意味。
［例外］: **talk A into *doing***　「**A** を説得して～させる」(➲ 527)
⇔ **talk A out of *doing***「**A** を説得して～するのをやめさせる」

□ **talk about A**　「**A** について話す」(= discuss A)（➲ 578）
□ **talk to [with] A about B**「**A**（人）と **B** について話す」(= discuss B with A)

573 (④) ジョンがヨーロッパに行く計画について私に話したのは，つい昨日のことだ。
574 (④) 彼は私に会社を辞めたいと言った。
575 (④) 先生は生徒たちに教科書を開くように言った。
576 (①) 母は，貧しいことは美徳だと言います。
577 (②) 私は電車の中で見知らぬ人に話しかけられた。
578 (②) 何をすべきか，そしてどこへ行くべきかについて，すぐに議論すべきだ。

Theme 146 tell / say / speak / talk の使い分け

573 tell A about B「**A**（人）に **B** について話す」
▶ tell / say / speak / talk の中で，『人』を目的語にとるのは tell だけ。

574 tell A that 節［wh- 節］「**A** に～ということを［～かを］話す」
▶ tell は第 4 文型でも使われる。つまり目的語を 2 つとり，tell A B の形で「A に B を話す［伝える / 教える］」の意味を表す。本問は B が that 節。
〈選択肢〉tell は伝える相手が必要なので，① told that は不可。
say は『人』を目的語にとらないので，② said me that は不可。

575 tell A to *do*「**A**（人）に～しなさいと言う」
▶ 選択肢の中で，「SVO to *do*」の形をとる動詞は ④ told だけ。

576 say that 節「～と言う / ～と書いてある」
▶ say は基本的には他動詞として用いられる。that 節などを目的語にとって，「ある内容を言う［述べる］」の意味。
〈選択肢〉tell が that 節を目的語にとる場合は，can tell that ～ の形で，「～がわかる」という意味なので ② tells は不可。speak / talk は基本的には自動詞で，that 節を目的語にとらないので ③，④ は不可。

577 speak to A「**A**(人) に話しかける / **A**(人) に話す / **A**(人) と話をする」
▶ speak to A の受動態 A is spoken to by。(➲ Theme 10)

578 talk about A「**A** について話す」(= **discuss A**)
▶ (　　) の後ろに目的語がなく，副詞句 right now「すぐに」をはさんで前置詞 about が続くので (　　) には自動詞の ② talk が入る。
▶ 本問の A は what to do と where to go の 2 つの「疑問詞 + to *do*」。
〈選択肢〉① mention，③ tell，④ discuss は他動詞なので不可。

Power Up! 123 tell / say の語法

tell ── 基本的に他動詞「人にある内容を伝える」の意味。伝える相手が必要。
［例外］: tell a lie [a joke / a story / the truth]

□ **tell A B**　「**A**（人）に **B** を話す［伝える / 教える］」(➲ 532)
□ **tell A about B**　「**A**（人）に **B** について話す」(➲ 573)
□ **tell A that 節［wh- 節］**「**A** に～ということを［～かを］話す」(➲ 574)
□ **tell A to *do***　「**A**（人）に～しなさいと言う」(➲ 575)

say ── 基本的に他動詞「ある内容を言う / 述べる」の意味。

□ **say A to B**　「**B**（人）に **A** を言う」
□ **say (to A) "…"**「**A**（人）に『…』だと言う」
＊ 直接話法の被伝達部を目的語にとるのは say だけ。
□ **say that 節**　「～と言う / ～と書いてある」(➲ 576)

Theme 147

□□□ 579 基本 頻出 George (　　) ¥2,000 from Catherine because he forgot his wallet.
① gave　② borrowed　③ lent　④ asked　(南山大)

□□□ 580 My friend (　　) me some money, which I paid back later on.
① lost　② borrowed　③ lent　④ presented　(芝浦工大)

□□□ 581 We (　　) an apartment while we stayed in Boston.
① borrowed　② lent　③ hired　④ rented　(高岡法科大)

□□□ 582 Can I (　　) your telephone?
① use　② lend　③ rent　④ credit　(浜松大)

Theme 148

□□□ 583 Please (　　) me for not having written for a long time.
① admit　② allow　③ forgive　④ permit　(名古屋外語大)

□□□ 584 頻出 The doorman did not (　　) me to enter the theater.
① admit　② forgive　③ let　④ permit　(津田塾大)

□□□ 585 頻出 Please (　　) me to introduce myself.
① charge　② allow　③ feed　④ identify　(高知大)

□□□ 586 トムが一生懸命働いていることは認めるけれど，まだ十分ではない。
I (a-　　) that Tom has worked hard, but it isn't enough.　(慶應大)

Power Up! 126 forgive / permit / allow / admit の使い分け

□ **forgive / excuse**「(すでに犯した罪や過ち) を許す」(➲ 583)
□ **permit / allow**「(これからあることをするの) を許す」(➲ 584・585)
□ **admit** { ①「(仕方なく) ～を (事実だと) 認める」(➲ 586)
②「(入ること) を認める / 許す」

……

579 (②) 財布を忘れたので，ジョージはキャサリンから二千円を借りた。
580 (③) 友人が私にいくらかお金を貸してくれたが，後で返しました。
＊ later on「後で」
581 (④) ボストンに滞在中，私たちはアパートを借りた。
582 (①) 電話を借りてもいいですか。
583 (③) 長い間手紙を書かなかったことをお許しください。
584 (④) ドア係は私を劇場に入れてくれなかった。
585 (②) 自己紹介させてください。　586 (admit)

Theme 147 borrow / lend / rent / use の使い分け

579 **borrow A (from B)**「(B から) A (物・金) を (無料で) 借りる」
▶ borrow は移動可能なものを無料で借りるときに使う。
〈選択肢〉 lend は「～を貸す」の意味なので，その過去形の ③ lent は不可。

580 **lend A B**「A (人) に B (物・金) を (無料で) 貸す」(= **lend B to A**)
▶ 選択肢の中で，目的語を 2 つとるのは ③ lent だけ。

581 **rent A**「A (家・土地など) を (有料で) 借りる」
▶ rent は borrow や lend とは異なり有料で貸借する場合に使う。
〈選択肢〉 ③ hire「(車・衣装などを短期間有料で) 借りる」《主に英》

582 **use A**「A (電話・トイレなど) を (一時的に) 借りる」
▶ 固定電話 / トイレなど移動不可能なものを借りる場合は use を使うのがふつう。携帯電話などの場合は borrow も可。
〈選択肢〉 ④ credit「(お金) を信用貸しする」

Power Up! 125 borrow / lend / rent / use の使い分け

□ **borrow A (from B)**「(B から) A (物・金) を (無料で) 借りる」(➲ 579)
□ **lend A B / lend B to A**「A (人) に B (物・金) を (無料で) 貸す」(➲ 580)
□ **rent A (from B)**「(B から) A (家・土地など) を (有料で) 借りる」(➲ 581)
□ **rent A B / rent B to A**「A (人) に B (家・土地など) を (有料で) 貸す」
□ **use A**「A (電話・トイレなど) を (一時的に) 借りる」(➲ 582)

Theme 148 forgive / permit / allow / admit の使い分け

583 **forgive A for B**「A の B を許す」(= **excuse A for B**)
〈選択肢〉 ① admit は「(仕方なく) ～を認める / (入ること) を許す」の意味。
② allow, ④ permit は「(これからあることをするの) を許す」の意味で，「allow [permit] A to *do*」の形をとるので不可。(➲ Power Up! 113)

584 **permit A to *do***「A が～するのを許す」(= **let A *do***)
▶ 選択肢の中で,「SVO to *do*」の形をとるのは ④ permit だけ。(➲ Power Up! 113)
〈選択肢〉 ① admit, ② forgive は「SVO to *do*」の形をとれない。(➲ Power Up! 114)
③ let は let A *do* の形をとる。(➲ 551)

585 **allow A to *do***「A が～するのを許す」(= **permit A to *do* / let A *do***)
▶ 選択肢の中で，「SVO to *do*」の形をとって文意が成立するのは ② allow。
〈選択肢〉 ① charge「～を請求する」, ③ feed「～にえさをやる」,
④ identify「～の身元を確認する」

586 **admit that ～**「(仕方なく) ～ということを認める」
▶ admit that ～は自分の非や不快なことを事実だと認める場合に使う。
〈プラスα〉 admit「(入ること) を認める / 許す」の意味も重要。
I **admitted** him into the room. (私は彼を部屋に入れた)

Theme 149

□□□ **587** I don't think he will win the election.
頻出 = I (　　) he will win the election. （早大）

□□□ **588** I don't doubt (　　) he will win the race.
① whether　② if　③ that　④ how （高岡法科大）

□□□ **589** 私は彼女が秘密を漏らしたのではないかと疑っています。 （東洋大）
I (　　) that she leaked the secret.
① doubt　② am doubtful　③ suspect　④ am suspecting

Theme 150

□□□ **590** She wanted to buy a new sweater to go with her favorite skirt.
① match　② allow　③ conduct　④ impress （関東学院大）

□□□ **591** I like your dress. I think that blue (　　) you. （青山学院大）
① fits　② matches　③ suits　④ goes with

□□□ **592** I had to send back the jacket because it did not (　　) me.
① meet　② get　③ fit　④ arrange （昭和女子大）

Power Up! 127 doubt / suspect の使い分け

□ **doubt if [whether]** 節「～かどうか疑わしく思う」
□ **doubt that** 節　「～であることを疑う ➡ ～ではないと思う」（➲ 587）
□ **suspect that** 節　「～ではないかと疑う ➡ ～だと思う」（➲ 589）

＊ doubt if [whether] 節は『疑わしさ』を表し，doubt that 節は doubt if [whether] 節を強めた形で『強い不信』を表す。

＊ [doubt that 節 = don't think that 節 / suspect that 節 = think that 節] と考えるとわかりやすい。that 節の内容を doubt は否定し，suspect は肯定する点に注目。

cf. I **doubt if** he is the criminal.　（彼が犯人かどうか疑わしい）
I **doubt that** he is the criminal.　（彼が犯人ではないと思う）
I **suspect that** he is the criminal.（彼が犯人だと思う）

587 (doubt) 私は彼が選挙に勝つとは思わない。
588 (③) きっと彼はレースに勝つと思う。
589 (③)
590 (①) 彼女はお気に入りのスカートに合う新しいセーターを買いたかった。
591 (③) あなたの服はすてきですね。そのブルーがあなたに似合っています。
592 (③) そのジャケットは私に合わなかったので，送り返さなければならなかった。

Theme 149 doubt / suspect の使い分け

587 **doubt that** 節「～であることを疑う / ～ではないと思う」――『強い不信』（= **don't think that** 節）
▶ 本問のように，that は省略されることもある。

588 **don't doubt that** 節「～であることを疑わない / ～だと思う」（= **think that** 節）
〈選択肢〉 don't doubt は「(きっと) ～だと思う」の意味なので，don't doubt の後には if [whether] 節や疑問詞節を用いない。したがって，① whether，② if，④ how は不可。
〈プラスα〉 doubt は肯定文では if [whether] 節を目的語にとる。
doubt if [whether] 節「～かどうか疑わしく思う」――『疑わしさ』
I **doubt if** he is innocent of that crime. （中京大）
（彼がその犯罪に関して無実かどうかは疑わしい）

589 **suspect that** 節「～ではないかと疑う / ～だと思う」（= **think that** 節）
⇔ **don't suspect that** 節「～ではないと思う」（= **don't think that** 節）
〈選択肢〉 suspect は『心理状態』を表す動詞なので進行形は不可。（× ④ am suspecting）（➲ Power Up! 3）

Theme 150 go with / match / suit / fit の使い分け

590 A **go with [match]** B「A（物）が B（別の物）に合う / 調和する」
▶ go with と match は A にも B にも『物』が来ることに注意。
本問は，A to go with B「B に合う A」の形。（不定詞の形容詞的用法 ➲ 88）

591 A **suit** B「A（衣服・色・髪型）が B（人）に似合う」
▶ suit は B に『人』が来ることに注意。

592 A **fit** B「A（衣服などのサイズ）が B（人）に合う」
▶ fit も B に『人』が来るが，fit は『サイズ・形』に関して用いる。『色・スタイル』が『人』に似合っている場合に用いる suit と混同しないように。
〈選択肢〉 ① meet「(要求など) に応じる」，④ arrange「～を整える」

Power Up! 128 go with / match / suit / fit の使い分け

(1) □ A **go with [match]** B「A（物）が B（別の物）に合う / 調和する」（➲ 590）
(2) □ A **suit** B「A（衣服・色・髪型）が B（人）に似合う」（➲ 591）
(3) □ A **fit** B「A（衣服などのサイズ）が B（人）に合う」（➲ 592）

(1) These shoes don't **go with [match]** my suit [×me].
（この靴は私のスーツに合わない）＊『人』を目的語にとれない。
(2) That dress **suits** you very well.
= That dress looks good [nice] on you.
= You look good [nice] in that dress.（そのドレスは君によく似合う）
(3) These shoes **fit** me.（この靴は私にぴったりだ）

第16章 名詞・冠詞の語法

Theme 151

□□□ **593** 頻出 If you have (　　　) about the matter, please contact me as soon as possible.
① informations　② an information
③ any informations　④ any information　（札幌学院大）

□□□ **594** 頻出 ①Most of the furniture ②were ③already in the moving van, and the only thing ④left was a chandelier.　（早大）

□□□ **595** 頻出 You won't find (　　　) news in today's paper.
① some　② a　③ much　④ many　（玉川大）

□□□ **596** 頻出 In addition to hiring me, he gave me (　　　) advice.
① a number of　② a couple of　③ several　④ a piece of　（姫路獨協大）

□□□ **597** Playing football is always (　　　).
① fun　② a fun　③ funs　④ very fun　（京都産業大）

□□□ **598** The teacher gave us (　　　) homework.
① many　② any　③ a few　④ some　（九州産業大）

Power Up! 129 入試によく出る不可算名詞

□ **information**「情報」(➲ 593)　□ **news**「知らせ」(➲ 595)　□ **luck**「運」
□ **homework**「宿題」(➲ 598)　□ **work**「仕事」　□ **advice**「忠告」(➲ 596)
□ **progress**「進歩」　□ **knowledge**「知識」　□ **fun**「楽しみ」(➲ 597)
□ **damage**「損害 / 被害」　□ **money**「お金」
□ **furniture**「家具」(➲ 594)　(table「テーブル」など個々のものは可算名詞)
□ **machinery**「機械類」　(machine「機械」は可算名詞)
□ **poetry**「詩 / 詩歌」　(poem「(1 編の) 詩」は可算名詞)
□ **baggage** [**luggage**]「手荷物」(bag「バッグ」は可算名詞)
□ **scenery**「(ある地域全体の) 風景」(scene「光景，眺め」は可算名詞)

593　(④)　その件に関して何か情報があれば，できるだけ早く連絡をください。
594　(②)　〔were ➡ was〕家具のほとんどはすでに引越しトラックに積み込まれ，残っているのはシャンデリアだけだった。
595　(③)　今日の新聞にはあまりニュースがない。
596　(④)　彼は私を雇ってくれただけでなく，アドバイスを1つしてくれた。
597　(①)　フットボールをするのはいつも楽しい。
598　(④)　先生が私たちに宿題を出した。

Theme 151 不可算名詞［数えられない名詞］の用法

日本語の感覚では数えられるように思える名詞でも，英語では数えられないものがある。このような名詞には **a / an** はつかないし複数形にもならない。「多少」は many / few ではなく，**much** [**a lot of**] / **little** で表す。ただし，**some / any** は可算名詞にも不可算名詞にも用いられる。

593 **information**「情報」は不可算名詞

▶ information は不可算名詞なので，an はつかないし，複数形にもならない。したがって ① informations，② an information，③ any informations は不可。正解は，「any + 不可算名詞」「〔疑問文・条件節で〕いくらかの～ / 何かの～」の ④ any information。

594 **furniture**「家具」は不可算名詞

▶ most of the A「A の大部分 / ほとんど」が主語の場合，動詞は A に一致させる。furniture は常に単数形で単数扱いする不可算名詞なので ② were を was に訂正する。

cf. **Most of the boys** *are* playing baseball on the field.
(少年たちのほとんどが広場で野球をしている)（九州共立大）

595 **news**「知らせ」は不可算名詞

▶ news は不可算名詞なので，① some か ③ much が考えられるが，① some は肯定文で使うので不可。③ much が正解。

〈語句〉 not much「あまり～でない」は部分否定。(➲ Power Up! 51)

596 **advice**「忠告」は不可算名詞

▶ 不可算名詞 advice「忠告」を数える場合は ④ a piece of を用いる。

〈選択肢〉 ① a number of「たくさんの」，② a couple of「2，3 の」，③ several「いくつかの」の後ろは可算名詞が続くので，いずれも不可。

〈語句〉 in addition to ～「～に加えて / ～の他に」(➲ 1295)

〈プラスα〉 information，furniture，news，baggage などの不可算名詞も a piece of を用いて数を表す。three pieces of furniture「家具 3 点」

597 **fun**「楽しみ / 面白み」は不可算名詞

▶ fun は不可算名詞で，a はつかないし複数形にもならないので，②，③ は不可。

〈選択肢〉 強調形は ④ very fun ではなく，a lot of fun / good [great] fun などとする。It would be *a lot of* [*good / great*] *fun*. (それはきっととても楽しい)

〈プラスα〉 be fun「楽しい」/ It is fun to *do* [*doing*]「～するのは楽しい」/ have fun「楽しむ」の形で使うことが多い。

598 **homework**「宿題」は不可算名詞

▶ homework「宿題」は work「仕事」と同様に不可算名詞なので，② any か ④ some が考えられるが，肯定文なので，④ some が正解。

Theme 152

□ **599** I made ( ) with some foreigners at the party last night.
□ 頻出
□ ① a friend ② friend ③ friends ④ friendly (九州産業大)

□ **600** They are on good ( ) with their neighbors.
□ 頻出
□ ① degrees ② friends ③ manners ④ terms (学習院大)

□ **601** 彼は父親と何年にもわたって仲が悪い。〔1 語(句)不要〕
□ 頻出
□ (related with / on bad / he / his father / has been / terms with) for years. (中央大)

□ **602** Since there was only one washing machine, we had no choice but to ( ) using it. (獨協医大)
□ 頻出
□ 発展
① change in ② take turns ③ exchange for ④ take place

□ **603** スミス教授にはどうにかして連絡を取ります。
□ 頻出
□ I will make contact with Professor Smith by some ( ) or other.
① phone ② means ③ sorts ④ communication (獨協医大)

□ **604** He was in high ( ) in spite of the bad weather.
□ 発展
□ ① courage ② heart ③ mind ④ spirits (学習院大)

□ **605** The government intends to cut expenditures on arms.
□
□ ① means ② upper limbs ③ tools ④ weapons (亜細亜大)

Power Up! 130 相手が必要なので常に複数形をとる慣用表現

□ **make friends** (**with** ~) 「(~と) 友達になる / (~と) 親しくなる」(➲ 599)
□ **be on … terms with** ~ 「~と…の間柄 [仲] である」(➲ 600・601)
□ **shake hands** (**with** ~) 「(~と) 握手する」
□ **change trains** [**buses** / **planes**] 「電車 [バス / 飛行機] を乗りかえる」
□ **change** [**exchange**] **seats** (**with** ~) 「(~と) 席を替える」
□ **exchange views** [**opinions**] 「意見交換する」
□ **take turns** (**at** [**in**]) ***doing*** 「交替で~する」(➲ 602)

---

599 (③) 私は昨晩パーティーで何人かの外国人と友達になった。
600 (④) 彼らは隣人と仲がよい。
601 (He has been on bad terms with his father) for years.〔related with が不要〕
602 (②) 洗濯機が 1 台しかなかったので，交替で使わざるをえなかった。
603 (②) **604** (④) 天候が悪いにもかかわらず，彼は上機嫌だった。
605 (④) 政府は軍事費を削減するつもりである。

Theme 152 複数形に注意すべき名詞

599 **make friends with** ~「~と友達になる / ~と親しくなる」
▶「友達になる」には相手が必要なので，friends と必ず複数形になる。

600 **be on good terms with** ~「~と仲がよい」
▶ この場合の term の複数形 terms は「間柄」の意味。(➲ 850(c))

601 **be on bad terms with** ~「~と仲が悪い」
〈プラスα〉 good や bad 以外にも，**friendly**「親しい」/ **speaking**「言葉を交わす」/ **visiting**「行き来するような」などが用いられる。
Joe was not **on speaking terms with** his noisy neighbor.
(ジョーは騒がしい隣人と言葉を交わし合う間柄ではなかった) (慶應大)

602 **take turns** (**at** [**in**]) ***doing***「交替で~する」
▶ この場合の turn は「順番」の意味。交替は一人ではできないので，turns と必ず複数形になる。take turns using it「交替でそれを使う」
〈語句〉 have no choice but to *do*「~するしかない」(➲ Power Up! 20)

603 **means**「手段 / 方法」
▶ by some means or other「何らかの方法で / 何とかして」
▶ means は「手段 / 方法」の意味では単複同形。単数・複数のどちらにも扱う。
Every possible **means** *has* been tried. (単数扱い)
= *All* possible **means** *have* been tried. (複数扱い)
(ありとあらゆる方法が試された)
〈発展〉 means には「資産 / 財力」という意味もあるが，その場合は複数扱い。
His **means** *are* small. (彼の財力は乏しい)
live within [beyond] *one's* **means**「収入に見合った[以上の]生活をする」

604 **be in high** [**good** / **great**] **spirits**「上機嫌である」(= **be in a good mood**)
⇔ **be in low** [**poor**] **spirits**「機嫌が悪い / 元気がない」
▶ この場合の複数形 **spirits** は「気分」(= mood) の意味。

605 **arms**「(軍隊用の) 武器 / 兵器」(= **weapons**)
〈選択肢〉 ② upper limbs「上肢」，③ tools「道具」

Power Up! 131 意味によって常に複数形をとる名詞

□ **airs** 「気取り」(put on airs「気取る」)
□ **customs**「関税 / 税関」
□ **forces**「軍隊」
□ **letters** 「文学」(a man of letters「文学者」)
□ **means** 「手段 / 資産」(➲ 603)
□ **spirits** 「気分」(➲ 604)
□ **arms** 「武器」(➲ 605)
□ **goods** 「商品」
□ **manners**「礼儀作法」
□ **pains** 「骨折り」(take pains「骨を折る」)

Theme 153

□□□ 606 頻出 The department store was very crowded with (　　　).
① guests　② customers　③ clients　④ passengers　(佛教大)

□□□ 607 The hospital was filled with (　　　) waiting for the doctor.
① customers　② passengers　③ guests　④ patients　(芝浦工大)

□□□ 608 The people who watch a sporting event without taking part are called (　　　).　(センター)
① clients　② customers　③ guests　④ spectators

□□□ 609 That lawyer has not had a lot of (　　　).
① clients　② customers　③ consumers　④ guests　(獨協大)

Theme 154

□□□ 610 In Japan, IC cards can be used to pay for train and bus (　　　).
① fees　② fares　③ fines　④ taxes　(京都外語大)

□□□ 611 The (　　　) of living is going up continuously.
① cost　② fee　③ pay　④ price　(梅花女子大)

□□□ 612 Slow down a bit. Otherwise, you'll have to pay a huge (　　　) for speeding.
① admission　② charge　③ fine　④ tuition　(立教大)

□□ 613 The landlord told him to leave because he hadn't paid his (　　　).
① due　② fee　③ rent　④ fare　(慶應大)

---

606 (②) デパートは買物客でいっぱいだった。
607 (④) その病院は医者の診察を待っている患者でいっぱいだった。
608 (④) スポーツ競技を観戦するが参加しない人のことを観客という。
609 (①) その弁護士にはこれまで依頼人がたくさんいたわけではない。
610 (②) 日本では，電車やバスの運賃の支払いにICカードを使うことができる。
611 (①) 生活費はずっと上がり続けている。
612 (③) 少しスピードを落としなさい。さもないと，スピード違反で莫大な罰金を支払うことになるよ。
613 (③) 家主は彼が家賃を払っていなかったので彼に出ていくように言った。

Theme 153 『客』を表す名詞

606 **customer**「(店の) 顧客」
〈語 句〉be crowded with ～「(場所が) ～で満員である / 混雑している」

607 **patient**「患者 / (医者にかかっている) 病人」

608 **spectator**「(スポーツなどの) 観客」

609 **client**「(弁護士などへの) 依頼人」
〈選択肢〉③ consumer「消費者」

Power Up! 132 『客』を表す名詞

□ **customer**「(店の) 顧客」(➲ 606)　□ **visitor**「訪問客 / 来客 / 見舞客」
□ **tourist**「観光客」　□ **client**「(弁護士などへの) 依頼人」(➲ 609)
□ **passenger**「乗客」　□ **guest**「招待客 / (ホテルなどの) 泊まり客」
□ **audience**「(劇などの) 観客 / 聴衆」　□ **patient**「患者 / (医者にかかっている) 病人」(➲ 607)
□ **spectator**「(スポーツなどの) 観客」(➲ 608)

Theme 154 『料金・お金』を表す名詞

610 **fare**「乗り物の運賃」
▶ 鉄道・バスなどの乗り物の「運賃」を表す名詞は fare。

611 **cost**「(何かにかかる) 費用 / 経費」
▶ the cost of living「生活費」
〈語 句〉continuously「連続的に / 切れ目［とぎれ］なく」

612 **fine**「罰金」(= **penalty**)
〈語 句〉命令文 + otherwise「～しなさい，さもないと」(➲ 394)

613 **rent**「家賃 / 賃貸料」
〈選択肢〉① due「借金 / 会費」

Power Up! 133 『料金・お金』を表す名詞

□ **charge**「(サービスに対する) 料金 / (電気・ガスなどの) 公共料金」
□ **fare**「(乗り物の) 運賃」(➲ 610)　□ **toll**「(有料道路などの) 通行料」
□ **fee**「(専門職の人への) 謝礼 / 報酬 / (受験・入会・入場) 料金」
□ **allowance**「(定期的に支給される) 手当 / (子供に与える) こづかい」
□ **tuition**「(大学・私立学校などの) 授業料 (tuition fee)」
□ **cost**「(何かにかかる) 費用 / 経費」(➲ 611)　□ **price**「(商品の) 値段」
□ **fine** [**penalty**]「罰金」(➲ 612)　□ **rent**「家賃 / 賃貸料」(➲ 613)
□ **admission**「入場料 (admission fee [charge])」　□ **pay**「給料 / 報酬」
□ **commission**「手数料 / 歩合」　□ **tax**「税金」　□ **profit**「利益」
□ **cash**「現金」　□ **check**「小切手」　□ **bill**「請求書 / 勘定 (書)」

Theme 155

□□□ 614 Tom is unemployed, so he is looking for (　　).
① a work　② work　③ works　④ job　（札幌学院大）

□□□ 615 You've done a good (　　) raising your kids.
① work　② trade　③ occupation　④ job　（西南学院大）

□□□ 616 Your (　　) this semester is to write a research paper in English.
① reason　② attitude　③ assignment　④ wage　（立命館大）

□□□ 617 Mary told me about her occupation.
① hobby　② profession　③ dream　④ assignment　（東海大）

Theme 156

□□□ 618 〔共通の1語を入れよ〕　（早大）
A. Give me your (　　) that you'll never do that again.
B. He is a bright young man and his works show great (　　).

□□□ 619 頻出 Did you call the dentist and make (　　) for the treatment?
① an appointment　② a promise
③ an engagement　④ a reservation　（芝浦工大）

□□□ 620 I'd like to make (　　) for the express train that leaves at 6 p.m.
① a promise　② an appointment
③ a subscription　④ a reservation　（近畿大）

614 (②) トムは失業しているので，仕事を探しているところです。
615 (④) 君は子育てをうまくやってきました。
616 (③) 今学期のあなたの課題は英語で研究レポートを書くことです。
617 (②) メアリーは自分の職業について私に話した。
618 (promise) A. 二度とそんなことはしないと約束してください。
B. 彼は頭のよい若者で，彼の作品を見ると将来有望なのがわかる。
619 (①) 歯医者さんに電話して，治療の予約をしましたか。
620 (④) 午後6時に出発する急行列車の予約をしたいのですが。

Theme 155 『仕事・職業』を表す名詞

614 **work**「仕事」
▶ work は「仕事 / 職 / 勤め先」の意味では不可算名詞なので，正解は ② work。
〈選択肢〉不可算名詞には，a はつかないし，複数形にもならないので，① a work，③ works は不可。job「(特定の)仕事」は可算名詞なので，④ job は不可。
〈プラスα〉work は「(芸術などの) 作品 / 著作」の意味では可算名詞。
a work of art「芸術作品」

615 **job**「(特定の) 仕事」
▶ job は可算名詞。do a good job「うまくやってのける」は決まり文句。
〈選択肢〉① work，② trade は不可算名詞なので不可。③ occupation は do ～ の形をとらないので不可。

616 **assignment**「割り当てられた仕事 / 宿題 (= **homework**)」
〈選択肢〉① reason「理由」，② attitude「態度」，④ wage「賃金」

617 **occupation**「職業」

Power Up! 134 『仕事・職業』を表す名詞

□ **work**「仕事」(不可算名詞)(➲614)　□ **job**「(特定の)仕事」(可算名詞)(➲615)
□ **labor**「(骨の折れるつらい)仕事」　□ **business**「商売 / 事業」
□ **task**「(課せられた)仕事」　□ **assignment**「割り当てられた仕事 / 宿題」(➲616)
□ **occupation**「職業」(➲617)　□ **profession**「(知的・専門的な)職業」
□ **career**「(昇進をめざし，長期または一生続ける) 職業 / 仕事；経歴」
□ **trade**「商売 / (主に手を使う熟練を要する) 職業」

Theme 156 『予約・約束』を表す名詞

618 **promise**「(一般的な) 約束」
▶ A. promise「(一般的な) 約束」，B. promise「将来の見込み / 有望」

619 **appointment**「(診察などの) 予約 / (面会の) 約束」

620 **reservation**「(切符・部屋・座席などの) 予約」

Power Up! 135 『予約・約束』を表す名詞

□ **promise**「(一般的な) 約束」(➲618)
□ **appointment**「(診察などの) 予約 / (面会の) 約束」(➲619)
□ **reservation**「(切符・部屋・座席などの) 予約」(➲620)
□ **booking**「予約」(= reservation)
□ **subscription**「(新聞・雑誌などの) 予約購読」
□ **engagement**「婚約 / (面会などの) 約束」

Theme 157

□□□ **621** He caught me (　　　) the arm to prevent me from falling.
① at　② by　③ on　④ to　（宮崎大）

□□□ **622** 通りを歩いていると，誰かにそっと肩を叩かれた。
As I walked along the street, I felt (me / on / pat / somebody / the) shoulder.　（専修大）

□□□ **623** トムはメアリーの顔をじっと見た。
Tom (in / at / the / looked / Mary) face. 〔1 語不要〕　（福岡大）

Theme 158

□□□ **624** 頻出 I never heard (　　　) story.
① a such strange　② so strange a
③ a so strange　④ so a strange　（大阪産業大）

□□□ **625** 頻出 トムはとても正直な少年だからうそなどつけない。
Tom is too (　　　) (　　　) boy to tell a lie.　（関西外大）

□□□ **626** 頻出 メアリーほど思いやりのある人にこれまで会ったことがない。
I have never (such / person / a / met / considerate) as Mary.　（浜松大）

Power Up! 136 catch A by the arm の表現

この表現は前置詞によって3つのタイプに分けられる。

(1) □ ***catch** [**take** / **hold** / **grasp**] **A by the arm**「A の腕をつかむ」(➲ 621)
　□ **pull A by the sleeve**「A の袖を引く」
(2) □ ****strike** [**hit**] **A on the head**「A の頭をなぐる」
　□ ****pat** [**tap**] **A on the shoulder**「A の肩を（軽く）たたく」(➲ 622)
　□ **kiss A on the cheek**「A の頬にキスをする」
(3) □ **look** [**stare**] **A in the face** [**eye(s)**]「A の顔［目］をじっと見る」(➲ 623)

*catch：動いているものをつかむ / take：動かないものを手に取る
hold：つかんでいる［持っている］/ grasp [grip]：しっかりとつかむ
**strike：手や棒で強く打つ / hit：ねらって強く打つ
pat [tap]：手のひらで優しく［軽く］たたく

---

621 (②) 彼は私が倒れないように，私の腕をつかんだ。
622 As I walked along the street, I felt (somebody pat me on the) shoulder.
623 Tom (looked Mary in the) face. 〔at が不要〕
624 (②) 私はそんな奇妙な話を聞いたことがない。　**625** (honest, a)
626 I have never (met such a considerate person) as Mary.

Theme 157 catch A by the arm の表現

He caught me by the arm.（彼は私の腕をつかんだ）
(1) 英語らしい表現の1つ。**caught me**「私をつかんだ」と大まかに言って，**by the arm**「腕を」と，つかんだ具体的な身体の部位を細かく言っている。
(2) この表現では，前置詞の使い分けと，身体の一部には通例 **the** がつくことに注意。（口語では the の代わりに A's とすることもある）

621 **catch A by the arm**「A の腕をつかむ」── 前置詞 **by** をとるタイプ
〈語句〉prevent A from *doing*「A が～することを妨げる」(➲ 519)

622 **pat A on the shoulder**「A の肩を優しく［軽く］たたく / なでる」── 前置詞 **on** をとるタイプ
〈語句〉feel A *do*「A が～するのを感じる」(➲ Power Up! 116)

623 **look A in the face**「A の顔をじっと見る」── 前置詞 **in** をとるタイプ
▶ この用法の look は他動詞。×look at A in the face としないように。
(○look at A's face)

Theme 158 注意すべき冠詞の位置

624 **so** + 形容詞 + **a** [**an**] + 名詞
▶ 副詞 so の場合は，形容詞が冠詞 a に先行して「**so** + 形容詞 + **a** [**an**] + 名詞」の語順になるので，正解は ② so strange a。
〈プラスα〉so を用いるのは堅い表現なので，日常的な書き言葉や会話では such を用いて，such a strange story とするほうがふつう。
〈発展〉複数名詞の場合は ×so strange stories とは言わない。○such strange stories はよい。

625 **too** + 形容詞 + **a** [**an**] + 名詞
▶ 副詞 too の場合も so と同じ語順で，too honest a boy となる。

626 **such** + **a** [**an**]（+ 形容詞）+ 名詞
▶ 形容詞としての such「そのような～ / そのように…な～」は，冠詞 a [an] の前に置かれ，「**such** + **a** [**an**]（+ 形容詞）+ 名詞」の語順になる。

Power Up! 137 注意すべき冠詞の位置

(1) ふつう冠詞は名詞の前に置かれ，名詞に形容詞がついた場合には，「**a** [**an**] + 形容詞 + 名詞」の語順になる。a pretty girl「かわいい女の子」
(2) 形容詞に副詞 very がついても冠詞は一番前に置かれ，「**a** [**an**] + **very** + 形容詞 + 名詞」の語順になる。a very pretty girl
(3) 副詞が so / as / too / how の場合は「**so** [**as** / **too** / **how**] + 形容詞 + **a** [**an**] + 名詞」の語順になる。文語表現だが入試には頻出。so [as / too / how] pretty a girl
(4) such が後ろに名詞を伴うと，「**such** + **a** [**an**]（+ 形容詞）+ 名詞」の語順になる。such a pretty girl（= so pretty a girl）

Theme 159

□□□ **627** (　　) is already worn out.
① My brother's this coat　② This coat of my brother
③ This coat of my brother's　④ This my brother's coat　（武蔵野美大）

□□□ **628** 友達のジョンは，僕がその塀を飛び越えることができるかどうかきいた。
John, (a / of / mine / friend), asked me if I could jump over the fence.　（名古屋学院大）

Theme 160

□□□ **629** 基本 この店では時間単位で自転車を借りられる。
You can hire a bicycle (　　) the hour at this shop.
① at　② by　③ in　④ to　（姫路獨協大）

Theme 161

□□□ **630** 基本 They sent the goods (　　) ship.
① by　② on　③ in　④ with　（東亜大）

□□□ **631** 基本 教授は車で大学に通っている。
Our professor commutes to the university (　　).
① by his car　② in his car　③ on a car　④ with a car　（獨協医大）

□□□ **632** 基本 We'll get in touch with you (　　) phone.
① by　② with　③ on　④ using　（共立薬大）

Power Up! 139 by ＋ 交通・通信の手段を表す名詞

□ **by car**「自動車で」*cf.* in his car
□ **by bus**「バスで」*cf.* on a bus
□ **by air**「飛行機で」(= by plane)
□ **by ship**「船で」(➲ 630)
□ **by phone**「電話で」(➲ 632) *cf.* on [over] the phone
□ **by e-mail**「メールで」
□ **by wire**「電報で」
□ **by train**「列車で」*cf.* on a train
□ **by subway** [《英》**tube**]「地下鉄で」
□ **by sea**「海路で」
□ **by bicycle**「自転車で」*cf.* on a bicycle
□ **by letter**「手紙で」
□ **by mail** [《英》**post**]「郵便で」

627 (③) 兄［弟］のこのコートはすでにすり切れている。
628 John, (a friend of mine), asked me if I could jump over the fence.
629 (②)　**630** (①) 彼らはその商品を船で送った。
631 (②)　**632** (①) 私たちはあなたと電話で連絡をとります。

Theme 159 a friend of mine などの形

所有格は **a / this / that / some / any / most / no** などと並べて使うことができないので，
(1) 名詞の場合：所有格の代わりに「**of** + 所有格」の形を名詞の後につける。
×Mary's this book → ○**this book of Mary's**「メアリーのこの本」
(2) 代名詞の場合：所有格の代わりに「**of** + 所有代名詞（mine / ours / yours / hers / his / theirs)」の形を名詞の後につける。
×a my friend / ×my a friend → ○**a friend of mine**「私の友人の１人」

627 **this coat of my brother's**「兄［弟］のこのコート」
628 **a friend of mine**「私の友人の１人」

Power Up! 138 a friend of mine などの形

a [**an**]
this [**these**] / **that** [**those**]
some / **any** / **no**
} + 名詞 + **of** + {
所有格(**my brother's** / **Mary's** ...)
所有代名詞(**mine** / **yours** ...)

Theme 160 by the + 単位を表す名詞「～単位で / ～ぎめで」

629 **by the hour**「時間単位で / 時間ぎめで」
▶「**by the** + 単位を表す名詞」と必ず the を用いる点に注意。
They are paid **by the day** [**week / month**].
（彼らは日給［週給 / 月給］制だ）
Meat is sold **by the pound**.（肉はポンド単位で売られる）

Theme 161 by ＋ 交通・通信の手段を表す名詞

630 **by ship**「船で」
▶「**by** + 交通の手段を表す名詞」の形では名詞は無冠詞・単数形。
〈語句〉goods「商品」(➲ Power Up! 131)

631 **in his car**「彼の車で」
▶ 交通手段を表す名詞に冠詞や所有格などがつくと，前置詞は by ではなく，**in** か **on** を用いる。on は列車・バスなどの大型の乗り物の場合なので，③ on a car は不可。② in his car が正解。
〈プラスα〉小型でもまたがる乗り物の場合は on。on my motorcycle「バイクで」

632 **by phone**「電話で」(= **on** [**over**] **the phone**)
▶「**by** + 通信の手段を表す名詞」の形では，名詞は無冠詞・単数形。
〈語句〉get in touch with ～「～と連絡をとる」(➲ 1096)
〈プラスα〉「電話で」は **on** [**over**] **the phone** という言い方もある。その場合は定冠詞 the がつくことに注意。on the Internet「インターネットで」も重要。

第17章 形容詞の語法

Theme 162

□□□ **633** He is one of the greatest (　　) musicians.
① alive　② asleep　③ awake　④ living　（関西学院大）

□□□ **634** 頻出 The poor baby stopped crying and soon fell (　　).
① sleep　② asleep　③ sleepy　④ sleeping　（北海学園大）

□□□ **635** Your views and mine are completely (　　).
① same　② like　③ alike　④ likely　（東京電機大）

□□□ **636** 頻出 Jane is very upset so we'd better leave her (　　).
① alone　② lone　③ lonely　④ only　（学習院大）

□□□ **637** 〔共通の 1 語を入れよ〕
a. What do you think of the (　　) cabinet?
b. They were not (　　) when Emily arrived.　（芝浦工大）

Power Up! 142 限定用法と叙述用法とで意味の異なる形容詞

	限定用法（名詞を修飾する）	叙述用法（補語の働き）
present（➲ 637）	現在の	出席して
certain	ある〜	確信して
late	故〜 / 最近の	遅い / 遅れた
fond	楽しい / 愛情深い	大好きで　＊be fond of の形で

Power Up! 143 まぎらわしい live / alive / living / lively の用法

□ **live** [laɪv]「(動植物が) 生きている」〔限定のみ〕 ○a **live** fish　×live people
□ **alive** [əláɪv]「生きて」〔叙述のみ〕 The fish is **alive**.
□ **living** [lívɪŋ]「(人・動植物が) 生きている」〔両方可〕(➲ 633) ○**living** people
□ **lively** [láɪvli]「活発な / 生き生きした」〔両方可〕

633 (④) 彼は現在生きている最も偉大な音楽家のひとりです。
634 (②) かわいそうなその赤ん坊は泣きやんですぐに寝入った。
635 (③) 君の考えと私の考えはまったくよく似ている。
636 (①) ジェーンはとても動揺しているので，そっとしておいたほうがいい。
637 (present) a. 現在の内閣についてどう思いますか。
b. エミリーが着いたとき，彼らはいなかった。

Theme 162 限定用法と叙述用法

形容詞には名詞を直接修飾する限定用法と，補語として用いられる叙述用法がある。形容詞の多くは 2 用法ともあるが，中には一方の用法しかないもの，両方あるが用法によって意味の異なるものがある。

633 **living**「(人・動植物が) 生きている / 現存の」── 限定用法
▶ 名詞を直接修飾する限定用法で用いるのは，④ living のみ。
〈選択肢〉 紛らわしい形容詞 ① alive「生きて」は叙述用法のみ。

634 **asleep**「眠って」── 叙述用法
▶ fall C「C (状態) になる」の C は叙述用法の形容詞なので，② asleep が正解。
〈選択肢〉 ③ sleepy「眠い」が叙述用法で使われるのは, become [get] sleepy「眠くなる」の形。fall sleepy とは言わない。④ sleeping「眠っている」は限定用法のみなので不可。

635 **alike**「似て」── 叙述用法
▶ (　　) には補語になる叙述用法の形容詞の ③ alike「似て」が入る。
〈選択肢〉 ① same は通例 the same の形で用いるので不可。
② like は alike と同じ意味を持つが，通例名詞の前に置くので不可。
A and B are alike = **A is like B**（A と B は似ている）の関係。
④ likely は「ありそうな」の意味なので不可。

636 **alone**「ただひとりで」── 叙述用法
▶ leave A alone「A をそっとしておく」の alone は目的格補語の働き。
〈選択肢〉 ② lone「ただひとりの」と ④ only は限定用法のみなので不可。
③ lonely「寂しい」は限定・叙述用法ともに可だが，意味上不適切。

637 **present**「現在の / 出席して」── 用法で意味の異なる形容詞
▶ a. present「現在の」── 限定用法
b. present「出席して / 居合わせて」── 叙述用法

Power Up! 140 限定用法しかない形容詞

□ **elder**	「年上の」	□ **former**	「前の」	□ **latter**	「あとのほうの」
□ **mere**	「単なる」	□ **only**	「唯一の」	□ **very**	「まさにその」
□ **sheer**	「まったくの」	□ **lone**	「ただひとりの」	□ **live**	「生きている」

Power Up! 141 叙述用法しかない形容詞

a- で始まる形容詞が多い。

□ **alike**	「似て」(➲ 635)	□ **alive**	「生きて」	□ **asleep**	「眠って」(➲ 634)
□ **awake**	「目覚めて」	□ **aware**	「気づいて」	□ **afraid**	「恐れて」
□ **alone**	「ただひとりで」(➲ 636)			□ **ashamed**	「恥じて」
□ **worth**	「価値がある」	□ **content**	「満足して」	□ **aloof**	「離れて」

Theme 163

□□□ **638** 基本 頻出 I spent too (　　　) time watching baseball on TV.
① much　② many　③ any　④ few　（九州国際大）

□□□ **639** 基本 頻出 I'm glad to hear that my son made (　　　) mistakes in the exam.
① quite a few　② little　③ few　④ a few　（名城大）

□□□ **640** 基本 頻出 I didn't eat lunch since I had (　　　) money.
① a little　② little　③ few　④ a few　（芝浦工大）

□□□ **641** 頻出 Quite a few homeless people (　　　) coping with the cold last night.
① were　② was　③ are　④ is　（駒澤大）

□□□ **642** There is a great (　　　) of pollution on the beaches this summer.
① deal　② lot　③ number　④ many　（城西大）

□□□ **643** 頻出 A great (　　　) of tourists will visit Japan in 2020.
① quantity　② deal　③ amount　④ number　（九州国際大）

Power Up! 145 『数』と『量』の形容詞 (2) —— few / little の意味と用法

用法 ＼ 意味	可算名詞の複数形につけて『数』を表す。	不可算名詞の単数形につけて『量』『程度』を表す。
少しの〔肯定的〕	□ **a few** (➲ 639) □ **a small number of**	□ **a little** (➲ 640) □ **a small amount of**
ほとんど〜ない〔否定的〕	□ **few** (➲ 639) □ **only a few**	□ **little** (➲ 640) □ **only a little**
かなり多くの	□ **quite a few** (➲ 641) □ **not a few**	□ **quite a little** □ **not a little**

638 （①）私はあまりにも多くの時間をテレビで野球を見ることに費やしてしまった。
639 （③）私は，息子が試験でほとんど間違いをしなかったと聞いてうれしい。
640 （②）私はお金がほとんどなかったので，昼食を食べなかった。
641 （①）かなり多くのホームレスの人々が，昨夜寒さをなんとか切り抜けようとしていた。
　＊集合名詞 people は，「人々」の意味では常に単数形で複数扱い，「国民・民族」の意味では可算名詞扱い。peoples of Europe「ヨーロッパ諸国民」
　＊cope with 〜「〜によく対処する / 〜をなんとか切り抜ける」(➲ 976)
642 （①）今年の夏の浜辺はたいへん汚れている。
643 （④）2020 年には，多くの観光客が日本を訪れるでしょう。

Theme 163 『数』や『量』を表す形容詞の用法 —— many / much / few / little

638 **much**「多くの / 多量の」
▶ time は不可算名詞。「多少」は much / little で示すので，正解は ① much。
〈選択肢〉any は漠然とした数量を表し，可算名詞・不可算名詞ともに用いることができる。しかし，too any という表現はないので，③ any は不可。
〈語 句〉spend A (in) *doing*「A（時間）を〜するのに費やす」(➲ 124)

639 **few**「ほとんど〜ない」〔否定的〕—— **a few**「少しの」〔肯定的〕
▶ I'm glad「うれしい」とあるので，文意から否定的な意味を表す ③ few が正解。
〈選択肢〉肯定的な意味を表す ① quite a few「かなり多くの」，④ a few は不可。
② little は不可算名詞について「ほとんど〜ない」という意味なので不可。

640 **little**「ほとんど〜ない」〔否定的〕—— **a little**「少しの」〔肯定的〕
▶ money は不可算名詞。(➲ Power Up! 129) 文意から，had little money「ほとんどお金がなかった」となる ② little が正解。
〈選択肢〉① a little は「多少のお金があった」という肯定的な意味になるので不可。
③ few，④ a few は不可算名詞には用いないので不可。

641 **quite a few**「かなり多くの」(= **many / not a few**)
▶ a few に quite がつくと，「かなり多くの」(= many) という意味になる。
quite a few homeless people は複数扱いなので，① were が正解。
〈選択肢〉last night「昨晩」とあるので，現在形の ③ are は不可。

642 **a great deal of** 〜「たくさんの〜 / 多量の〜」(= **a lot of** 〜)
▶ pollution「汚れ / 汚染」は不可算名詞なので ① deal が正解。
〈選択肢〉a great lot of という言い方はないので，② lot は不可。

643 **a great number of** 〜「多くの〜」
▶ tourist は可算名詞なので，a great number of tourists「多くの観光客」が正解。
〈選択肢〉① quantity，② deal，③ amount はいずれも『量』を表すので不可。
a large [great] quantity of 〜「大量の〜 / 多量の〜」

Power Up! 144 『数』と『量』の形容詞 (1) —— many / much とその代用表現

用法 ＼ 意味	可算名詞の複数形につけて『数』を表す。	不可算名詞の単数形につけて『量』『程度』を表す。
多くの	□ **many** □ **a (large / great) number of** (➲ 643) □ **a good [great] many** □ **many a** (＋単数名詞)	□ **much** (➲ 638) □ **a great [good] deal of** (➲ 642) □ **a large amount of**

＊ a lot of / lots of / plenty of は『数』にも『量』にも用いられる。
He has **a lot of [plenty of]** coats.（彼はコートをたくさん持っている）
He has **a lot of [plenty of]** money.（彼は金をたくさん持っている）

Theme 164

□□□ **644** 基本 頻出 This experiment is really ①excited ②in that it ③has paved the way ④to the exploration of outer space. （早大）

□□□ **645** 基本 頻出 The movie I saw last night was very (　　). （高崎経済大）
① interest　② interested　③ interesting　④ interestingly

□□□ **646** We found his speech extremely (　　). （京都産業大）
① a bore　② being bored　③ bored　④ boring

□□□ **647** I was so (　　) I fell asleep before the film ended. （桜美林大）
① bored　② boring　③ bore　④ boredom

□□□ **648** 頻出 I was so (　　) that I could get my driver's license on the first try.
① disappointed　② disappointing　③ surprised　④ surprising
（白百合女子大）

□□□ **649** 頻出 We were (　　) that they accepted our invitation. （追手門学院大）
① pleasant　② pleasing　③ pleased　④ please

Power Up! 146 分詞形の形容詞の使い分け

感情を引き起こす側 ＝『物事』が主語 ➡ 現在分詞		感情を引き起こされる側 ＝『人』が主語 ➡ 過去分詞	
□ **exciting**	「興奮させる」(➲ 644)	□ **excited**	「興奮して」
□ **interesting**	「興味を起こさせる」(➲ 645)	□ **interested**	「興味を持って」
□ **boring**	「退屈させる」(➲ 646)	□ **bored**	「退屈して」(➲ 647)
□ **disappointing**	「失望させる」	□ **disappointed**	「失望して」
□ **pleasing**	「楽しい」	□ **pleased**	「喜んで」(➲ 649)
□ **amusing**	「面白い」	□ **amused**	「面白がって」
□ **annoying**	「いらいらさせる」	□ **annoyed**	「いらいらして」
□ **confusing**	「困惑させる」	□ **confused**	「困惑して」
□ **depressing**	「がっかりさせる」	□ **depressed**	「がっかりして」
□ **satisfying**	「満足な / 十分な」	□ **satisfied**	「満足して」
□ **surprising**	「驚かせる」	□ **surprised**	「驚いて」(➲ 648)

644　(①)　〔excited ➡ exciting〕この実験は宇宙探査への道を開いたという点で，本当に刺激的なものである。
645　(③)　昨夜見た映画はとても面白かった。
646　(④)　私たちは彼のスピーチを極めて退屈だと思った。
647　(①)　私はとても退屈したので映画が終わらないうちに眠ってしまった。
648　(③)　私は一度で運転免許証をとることができたのでとても驚いた。
649　(③)　彼らが私たちの招待を受けてくれてうれしかった。

Theme 164 分詞形の形容詞の用法

excite「(人) を興奮させる」などの『感情を表す他動詞』が分詞の形で形容詞として使われる場合,
(1) 現在分詞は「人を～させる (ような)」という能動的な意味になり,
(2) 過去分詞は「人が～させられる［た］」という受動的な意味になる。
an **exciting** story は「(人を) 興奮させる話」
an **excited** crowd は「(興奮させられた群衆 ➡) 興奮した群衆」

644 exciting「(人を) 興奮させる (ような) / 刺激的な」
▶ 主語が The experiment「実験」なので，過去分詞の ① excited を現在分詞の exciting に訂正する。
〈語句〉 in that ～「～という点で / ～だから」(➲ 406)
pave the way to [for] ～「～への道を開く［道をつける］」

645 interesting「興味を起こさせる / 面白い」
▶ 主語が The movie「映画」なので，現在分詞の ③ interesting が正解。
〈選択肢〉 ② interested は「(人が) 興味を持たされた ➡ 持っている」の意味。

646 boring「(人を) 退屈させる (ような)」
▶ find O C「O が C だとわかる / 思う」の形。(➲ 541) O ＝ C の関係にあり，O である his speech が意味上の主語になるので，現在分詞の ④ boring が正解。
〈選択肢〉 ① a bore「退屈な人［物］」，③ bored「(人が) ひどく退屈して」

647 bored「(人が) ひどく退屈して / うんざりして」
▶ 主語が I なので，「(私が) 退屈させられた ➡ 退屈した」となる ① bored が正解。
〈選択肢〉 ③ bore「退屈［うんざり］させる」，④ boredom「退屈 / 倦怠」
〈語句〉 so … (that) ～「とても…なので～」。本問のように口語では that がしばしば省略される。(➲ 446)

648 surprised「(人が) 驚いて」
▶ 主語が I なので，正解は ① disappointed「(私が) 失望させられた ➡ 失望した」か ③ surprised「(私が) 驚かされた ➡ 驚いた」。「一度で運転免許証をとることができた」という文脈から，③ surprised を選ぶ。
〈選択肢〉 ② disappointing「(人を) 失望［がっかり］させる」，④ surprising「(人を) 驚かせる」
〈語句〉 本問の so … that ～ の that は『程度・結果』ではなく，「～とは / ～なので」という意味で『判断の理由・根拠』を表す。was so [very] surprised that ～「～なので［～とは］とても驚いた」

649 pleased「(人が) 喜んで / 満足して」
▶ 主語が We なので，「(私たちが) 喜ばされた ➡ 喜んだ」となる ③ pleased が正解。
〈選択肢〉 ① pleasant と ② pleasing は「(物事が) 楽しい / 愉快な」の意味。pleasant のほうが一般的によく使われる。④ please「～を喜ばせる」

Theme 165

□□□ **650** We ①will be ②sure to visit you again ③when ④you are convenient. 頻出 （早大）

□□□ **651** 〔不適切なものを選べ〕
(　　) fill out the application forms.
① We are necessary that we　② It is necessary that we
③ It is necessary for us to　④ We need to （関西学院大）

Theme 166

□□□ **652** We were (　　) hand in the report in time. （東京経済大）
① possible to　② capable of　③ easy to　④ able to

□□□ **653** That school needs some people who are (　　) of teaching English. 頻出
① can　② possible　③ capable　④ able （亜細亜大）

□□□ **654** (　　) to help me with this homework?
① Are you capable　② Are you possible
③ Is it capable　④ Is it possible for you （名城大）

Power Up! 147 『人』を主語にしない形容詞

□ **convenient**	「都合のよい」(➲ 650)	□ **necessary**	「必要な」(➲ 651)
□ **possible**	「可能な」(➲ 654)	□ **impossible***	「不可能な」
□ **important**	「重要な」	□ **natural**	「当然な」

* impossible は，形容詞を限定する不定詞を伴う場合，『人』を主語にすることがある。(➲ 96) *He* is impossible *to beat*.（彼を負かすことはできない）

Power Up! 148 『人』を主語にする形容詞

『人の感情』『意志』『能力』を表す形容詞

□ **happy**	「幸せな / 楽しい」	□ **sorry**	「気の毒で」
□ **pleased**	「喜んで」	□ **surprised**	「驚いて」
□ **able**	「できる」(➲ 652)	□ **unable**	「できない」
□ **capable**	「できる」(➲ 653)	□ **incapable**	「できない」

650 (④) 〔you are convenient ➡ it is convenient for you〕
あなたの都合のいいときに，私たちはきっとまたあなたを訪ねます。
651 (①) 私たちは申込書に必要事項を記入する必要があります。
652 (④) 私たちはレポートを期限内に提出することができた。
653 (③) あの学校では英語を教えられる人を何人か必要としている。
654 (④) あなたは私のこの宿題を手伝うことができますか。

Theme 165 『人』を主語にしない形容詞

形容詞の中には人を主語にしないで，主に It is ～ 構文で用いられるものがある。

650 It is convenient for [to] A「A（人）にとって都合がよい」
▶ convenient は『人』を主語にしない形容詞なので，④ you are convenient を it is convenient for you に訂正する。
〈語句〉be sure to *do*「きっと～する」(➲ 1166)

651 It is necessary for A to *do*「A は～する必要がある」
(= It is necessary that A (should) *do*)
▶ necessary は『人』を主語にしない形容詞なので，① We are necessary that we が不適切。
〈語句〉fill out ～「～に必要事項を記入する」(➲ 988)

Theme 166 (un)able / (in)capable / (im)possible の使い分け

652 A is able to *do*「A は～することができる」
▶ possible / capable / able はいずれも「できる」という意味を表すが，『人』を主語にするのは，capable と able。② capable of の後ろは *doing* が来るので不可。後ろに *do* が来る，④ able to が正解。
〈選択肢〉① possible (to) は『人』を主語にしないので不可。easy は『人』が主語になることもあるが，文脈から ③ easy to は不適切。(➲ 96)
〈語句〉hand in ～「～を提出する」(➲ 930)

653 A is capable of *doing*「A は～することができる」
▶ capable と able は『人』を主語にするが，④ able は be able to *do* の形で用いるので不可。正解は be capable of *doing* の形で用いる ③ capable。
〈選択肢〉② possible は『人』を主語にしないので不可。
① can の場合は，… who can teach English となる。

654 It is possible for A to *do*「A は～することができる」
▶ possible は『人』を主語にしないので，② Are you possible は不可。形式主語を用いた ④ Is it possible for you が正解。
〈選択肢〉capable は『人』を主語にし，be capable of *doing* [×to *do*] の形で用いるので，① Are you capable，③ Is it capable は不可。

Power Up! 149 「A は～することができる[できない]」の表現

□ A **is able** [**unable**] **to *do*** ── A（主語）は『人』
□ A **is capable** [**incapable**] **of *doing*** ── A（主語）は『人』『物』
□ **It is possible** [**impossible**] **for** A **to *do*** ── 『人』を主語にしない

She is (un)able to teach French.
= She is (in)capable of teaching French.
= It is (im)possible for her to teach French.
（彼女はフランス語を教えることができる［できない］）

Theme 167

□ **655** How ( ) is the population of India?
① much ② large ③ many ④ far (同志社女子大)

□ **656** The number of foreign travelers who visit Japan is very ( ).
① many ② much ③ large ④ a lot (北陸大)

□ **657** The soccer game was shown on a big screen in front of ( ) audience.
① a large ② a lot of ③ many ④ much (センター)

□ **658** The crowd was much ( ) than we had expected.
① larger ② large ③ more ④ many (いわき明星大)

Theme 168

□ **659** The price of food these days is much too ( ).
① large ② much ③ high ④ expensive (神奈川大)

□ **660** Believe ①it or not, my husband's salary is not ②as ③expensive as my ④son's. (中央大)

Power Up! 150 large / small や high / low を用いる名詞

large / small を用いる名詞		high / low を用いる名詞	
□ **population**	「人口」(➲ 655)	□ **price**	「値段」(➲ 659)
□ **number**	「数」(➲ 656)	□ **cost**	「代価 / 費用」
□ **audience**	「観衆 / 聴衆」(➲ 657)	□ **pay**	「給料 / 報酬」
□ **crowd**	「群衆」(➲ 658)	□ **wage**	「賃金」
□ **family**	「家族」	□ **salary**	「給料」(➲ 660)
□ **amount**	「量」	□ **income**	「収入」
□ **sum**	「金額」		
□ **salary**	「給料」(➲ 660)	＊ salary と income は high / low と large / small の両方 OK。	
□ **income**	「収入」		

655 (②) インドの人口はどのくらいですか。
656 (③) 日本を訪れる外国からの旅行者の数は非常に多い。
657 (①) サッカーの試合は大観衆の前の大きなスクリーンに映し出された。
658 (①) 群衆は，予想していたよりもずっと多かった。
659 (③) 近頃の食料品の値段はあまりにも高すぎる。
660 (③) 〔expensive ➡ high [large]〕こんなことを言っても信じないだろうが，私の夫の給料は息子ほど高くない。

Theme 167 「多い / 少ない」を表す large / small の用法

それ自体に数量の概念を含む名詞は，「多い / 少ない」を large / small で表す。many [much] / few [little] を用いると『数量』の概念が重複するからである。

655 the population is large「人口が多い」

▶ population「人口」の「多い / 少ない」は large / small で表すので，正解は ② large。本問 = What is the population of India? = How many people are there in India?

656 the number is large「数が多い」

▶ number「数」の「多い / 少ない」は large / small で表す。

▶ The number of B（複数名詞）「B の数」が主語の場合は単数扱い。
A number of B（複数名詞）「たくさんの B」が主語の場合は複数扱い。

A number of people *were* invited to the party.
（たくさんの人がそのパーティーに招待された）(西南学院大)

657 a large audience「大観衆」

▶ audience「観衆」の「多い / 少ない」は large / small で表す。

658 the crowd is large「群衆が多い」

▶ crowd「群衆」の「多い / 少ない」は large / small で表す。問題文に than があるので，比較級の ① larger が正解。

Theme 168 「高い / 安い」を表す high / low の用法

「高い値段」を「expensive（高価な）+ price（値段）」とすると，『価格・値段』の概念が重複するので，「値段の高い / 安い」は expensive / cheap ではなく，high / low で表す。

659 the price is high「値段が高い」

▶ price「値段」の「高い / 安い」は high / low で表すので，正解は ③ high。

〈プラスα〉「（品物などが）高い / 安い」は expensive / cheap で表す。
本問 = Food is too expensive these days.

660 his salary is high「彼の給料は高い」

▶ salary「給料」の「高い [多い] / 安い [少ない]」は expensive / cheap ではなく，high [large] / low [small] で表すので，③ expensive を high [large] に訂正する。

〈語句〉Believe it or not「こんなことを言っても信じないだろうが」

Power Up! 151 「面積が広い / 狭い」を表す large / small の用法 〈発展〉

large / small には「面積が広い / 狭い」の意味を表す用法もある。wide / narrow「幅が広い / 狭い」と混同しないように。

This *country* is so **small** that it takes no more than a day to drive around it.
（この国はとても狭いので車で一巡りするのに 1 日しかかからない）(センター)

第18章 副詞の語法

Theme 169

□ **661** I haven't seen that gentleman (　　).
□ 頻出 ① late　② lately　③ rarely　④ seldom　(朝日大)
□

□ **662** The writer has been working very (　　) on his new book.
□ 頻出 ① hard　② harder　③ hardily　④ hardly　(宮崎大)
□

□ **663** The old man was (　　) hit by the car while crossing the street.
□ 頻出 ① closely　② hardly　③ nearly　④ scarcely　(獨協大)
□

□ **664** This computer is (　　) difficult for me to use.
□ ① some　② pretty　③ prettily　④ much　(拓殖大)
□

Theme 170

□ **665** He got (　　) from work late at night.
□ 基本 ① house　② to home　③ home　④ to house　(駒澤大)
□

□ **666** My father ①has a plan to ②go to abroad ③on business ④next month.
□ 基本　(流通経済大)
□

Power Up! 152 -ly の有無によって意味が異なる副詞

-ly なし	-ly あり
□ **late**「遅く」	□ **lately**「最近」(➲ 661)
□ **hard**「懸命に / 熱心に」(➲ 662)	□ **hardly**「ほとんど～ない」(➲ 266)
□ **near**「近くに」	□ **nearly**「ほとんど」(➲ 663)
□ **close**「接近して」	□ **closely**「綿密に」
□ **pretty**「かなり」(➲ 664)	□ **prettily**「きれいに」
□ **most**「最も」	□ **mostly**「たいていは / 大部分は」
□ **sharp**「(…時) きっかりに」(➲ 773)	□ **sharply**「急に / 鋭く」
□ **high**「(地上から)高く / 高いところに」	□ **highly**「大いに / (程度が)高く」

661 (②) 最近あの男性にお会いしていません。
662 (①) その作家は新しい本に一生懸命に取り組んできた。
663 (③) その老人は通りを横断している時に危うく車にひかれそうになった。
664 (②) このコンピューターは私にはかなり使いにくい。
665 (③) 彼は夜遅く仕事から帰宅した。
666 (②) 〔go to abroad ➡ go abroad〕私の父は来月仕事で海外へ行く予定がある。

Theme 169 -ly の有無によって意味が異なる副詞

形容詞と同形の副詞と, -ly のついた形の副詞の 2 通りがあり, それぞれ異なる意味を持つものに注意。

661 **lately**「最近」(= **recently**) ── **late**「遅く」

▶ lately / recently は通例完了時制 (過去時制も可) で, 類似表現の these days / nowadays は現在時制で用いる点に注意。

〈選択肢〉③ rarely = ④ seldom「めったに～ない」(➲ 267)

662 **hard**「(一生) 懸命に / 熱心に」── **hardly**「ほとんど～ない」(➲ 266)

〈選択肢〉③ hardily「大胆に」

〈語 句〉work on ～「(仕事・問題など) に取り組む」

663 **nearly**「ほとんど / 危うく～するところで」── **near**「近く (に)」

▶ nearly は almost とほぼ同意。
He **nearly** [**almost**] lost the chance. (彼は危うく好機を逃すところだった)

〈選択肢〉① closely「綿密に」, ④ scarcely「ほとんど～ない」(➲ 266)

664 **pretty**「かなり」── **prettily**「きれいに」

▶ pretty は副詞としては, 「かなり」の意味で用いられる。

〈選択肢〉④ much は形容詞の比較級を強める語なので不可。(➲ 202)

Theme 170 名詞と間違えやすい副詞

665 **get home**「(家に) 帰り着く / 帰宅する」(= **arrive home**)

▶ get home の home は名詞ではなく,「家に」の意味の副詞。前置詞 to は不要。ただし, 所有格や冠詞がつくと home は名詞になる。get to [×get] his home

〈選択肢〉「家に帰る」という意味では house を使わないので, ①, ④ は不可。

〈比 較〉get home / go home / come home の意味の違い

cf. {
get home は「家に着くこと」に焦点があり, 通常, 時間に関する語句を伴う。
go home は「家に帰る行為」に焦点がある。通常, まだ帰宅していない。
He **went home** to his family. (彼は家族のもとに帰って行った)
come home は, 家にいる人が帰宅について話す場合に用いる。
My husband **came home** drunk. (夫が酔って帰って来た)

666 **go abroad**「外国へ行く」

▶ abroad「外国に [で / へ]」は副詞なので, 前置詞 to は不要。

Power Up! 153 名詞と間違えやすい副詞 (前置詞は不要)

□ **home**	「家に [へ] / 自国に [へ]」(➲ 665)	□ **downtown**	「繁華街へ [で]」
□ **abroad**	「外国に [で / へ]」(➲ 666)	□ **overseas**	「海外に [で / へ]」
□ **outdoors**	「屋外で / 野外で」⇔	□ **indoors**	「屋内で / 家の中で」
□ **upstairs**	「上の階で [へ]」⇔	□ **downstairs**	「下の階で [へ]」

Theme 171

□□□ **667** 頻出 At first glance the idea appears to be attractive; (　　　), there are some problems to be solved.（清泉女子大）

① therefore　② however　③ furthermore　④ in addition

□□□ **668** 頻出 It's too late to go out now. (　　　), it's starting to rain.（センター）

① All the same　② At least　③ Besides　④ Therefore

□□□ **669** 頻出 The temperature has been rising in recent years. (　　　) the sales of air conditioners are very high.

① Therefore　② However　③ Because　④ As（芝浦工大）

□□□ **670** We all knew that there was nothing we could do to prevent him from leaving our team. (　　　), we could not help asking him not to.

① Moreover　② Nevertheless　③ Specifically　④ Therefore（中央大）

□□□ **671** He was poor and hungry, and (　　　) he was happy.

① so　② than　③ yet　④ that（龍谷大）

□□□ **672** He has treated you badly; (　　　), he's your brother and you ought to help him.

① although　② no matter　③ still　④ then（東京電機大）

Power Up! 154 つなぎ語句 (1) ── 逆接・対比・結果

逆接	□ **however**「しかしながら」(➲ 667)　□ **though**「けれども」 □ **nevertheless** (➲ 670) / □ **nonetheless**「それにもかかわらず」 □ **all the same**「それでもやはり / それにもかかわらず」 □ (**but**) **still** (➲ 672) / □ (**and**) **yet** (➲ 671)「それでも」
対比・対照	□ **on the other hand**「他方 / 一方」　□ **instead**「代わりに」 □ **in** [**by**] **contrast**「それとは対照的に」
結果	□ (**and**) **therefore** (➲ 669) / □ (**and**) **so**「それゆえに / したがって」 □ **consequently**「その結果」　□ **accordingly**「したがって」

---

667 (②) 一見，その考えは魅力的に見える。しかし，解決すべき問題がいくつかある。
668 (③) もう出かけるには遅すぎるし，その上，雨も降り出している。
669 (①) 近年気温が上昇している。したがってエアコンがよく売れている。
670 (②) 彼が退部するのを止めるために，私たちにできることは何もないとみんなわかっていた。それでも，退部しないでと頼まずにはいられなかった。
671 (③) 彼は貧しくて空腹だったが，それでも幸せだった。　672 (③) 彼は君にひどい仕打ちをしてきたが，それでも彼は君の兄弟なのだから，助けてあげるべきだ。

Theme 171 接続詞の働きをする副詞

however「しかしながら」，therefore「それゆえに」など，本来副詞であるが，等位接続詞のように前後の節［文］をつなぐ働きをするものがある。これらの副詞は接続詞の働きを補うため，and や but と併用される場合もある。

667 **however**「しかしながら / けれども」── 逆接

▶「魅力的に見える」➡「問題がある」という文脈から，② however「しかしながら」を選ぶ。

〈選択肢〉① therefore「それゆえに」，③ furthermore = ④ in addition「その上」

〈語 句〉at first glance「一見したところでは」(= at first sight)

668 **besides**「その上 / さらに」── 追加 (= **moreover / in addition / furthermore**)

▶「出かけるには遅すぎる」➡「雨が降り出している」という文脈から，② Besides「その上」を選ぶ。

〈選択肢〉① All the same「それにもかかわらず」(= nevertheless)，② At least「少なくとも」，④ Therefore「それゆえに」

669 **therefore**「それゆえに / したがって」── 結果

▶「気温が上昇している」➡「エアコンがよく売れている」という文脈から，① Therefore「したがって」を選ぶ。therefore は so「だから」より堅い語。

670 **nevertheless**「それにもかかわらず」── 逆接 (= **all the same**)

▶「できることは何もない」➡「頼まずにはいられない」という文脈から，② Nevertheless「それにもかかわらず」を選ぶ。

〈選択肢〉① Moreover「その上」，③ Specifically「明確に」

〈語 句〉代不定詞の否定形。ask him **not to** = ask him **not to leave our team** (➲ 100)

671 (**and**) **yet**「それでも」── 逆接

▶「貧しかった」➡「幸せだった」という文脈から，③ yet「それでも」を選ぶ。

〈選択肢〉① so は and so「そういうわけで」，④ that は and that「しかも」。

672 **still**「それでも」── 逆接

▶「彼は君にひどい仕打ちをしてきた」➡「彼を助けてあげるべき」という文脈から，③ still「それでも」を選ぶ。

〈選択肢〉① although に接続副詞の用法はない。④ then「それに / その上」では，文意が通らない。

Power Up! 155 つなぎ語句 (2) ── 追加・例示・換言

情報の追加	□ **besides** (➲ 668) / □ **in addition** / □ **what is more** (➲ 359)「その上」 □ **moreover** / □ **furthermore**「その上 / さらに」 □ (**and**) **then**「それに / その上」
例示	□ **for example** / □ **for instance**「たとえば」
換言	□ **that is** (**to say**)「すなわち」 □ **in other words**「言い換えると」(➲ 1238)

Theme 172

□ **673** (　　) we got home before it started to rain.
① Luckily　② Nearly　③ Safely　④ Timely　(中央大)

□ **674** 〔不適当なものを選べ〕
(　　) it was his mistake.　(慶應大)
① Evidently　② Surely　③ Greatly　④ Unfortunately

Theme 173

□ **675** Have you (　　) finished your homework in mathematics?
① still　② until　③ yet　④ already　(福岡工大)

□ **676** 基本 I'm hungry, but it isn't lunch time (　　).
① already　② either　③ still　④ yet　(桃山学院大)

□ **677** 基本 He (　　) lives in the house where he was born.
① already　② yet　③ always　④ still　(獨協大)

Theme 174

□ **678** 基本 His uncle (　　) five years ago.
① died　② has died　③ has been dead　④ had died　(大阪産業大)

□ **679** I ①knew the gentleman well, ②for I ③had seen him two years ④ago.
(金沢大)

Power Up! 156 代表的な文修飾の副詞

□ **naturally**「当然ながら」　□ **surely** (➲ 674) / □ **certainly**「確かに」
□ **evidently** (➲ 674) / □ **obviously** / □ **clearly**「明らかに」
□ **fortunately** / □ **luckily** (➲ 673)「幸運にも」
⇔ □ **unfortunately** (➲ 674) / □ **unluckily**「不運にも」
□ **apparently**「見たところでは（どうも）～らしい」　□ **wisely**「賢明にも」

673 (①) 幸運にも，私たちは雨が降り出す前に家に帰り着いた。
674 (③) 明らかに［確かに／不運にも］それは彼の間違いだった。
675 (④) もう数学の宿題をやってしまったの？
676 (④) おなかがすいているが，まだ昼食の時間ではない。
677 (④) 彼は今でも生まれた家に住んでいる。
678 (①) 彼のおじさんは5年前に亡くなった。
679 (④) 〔ago ➡ before〕 私はその紳士をよく知っていた。というのはその2年前に会ったことがあったからだ。

Theme 172 文修飾の副詞

副詞には，語や語句だけでなく文全体を修飾するものがある。通例文頭に置かれ，話し手の判断や確信度を表す。It is + 形容詞 + that SV で書き換えられるものが多い。

673 **luckily**「幸運にも」
▶「雨が降り出す前に家に帰り着いた」のだから，(　　)には ① Luckily が入る。
本問 = It was lucky that we got home before it started to rain.
選択肢 ② Nearly「ほとんど」(➲ 663)，③ Safely は文頭だと文修飾になるが，「差し支えなく」の意味。④ Timely は「時を得た」という意味の形容詞。

674 **evidently**「明らかに」/ **surely**「確かに」/ **unfortunately**「不運にも」
▶ 上の3つは文修飾の副詞。greatly「大いに」だけ文意に合わない。

Theme 173 already / yet / still ── 「もう / まだ」の使い分け

675 **already**「もう（～したのか）」
▶ already は疑問文で「もう（～したのか）」と『驚き』の気持ちを表す。
選択肢 ③ yet も疑問文で「もう（～したか）」の意味を表すが，その場合 yet は文末に来るので不可。Is she asleep yet?（彼女はもう寝ましたか）

676 **yet**「まだ（～していない）」
▶ yet は否定文で「まだ～していない」の意味を表す。
選択肢 ③ still も否定文で「まだ～していない」の意味を表すが，その場合は still ～ not の語順になるので不可。
Tom still isn't here.（トムはまだ来ていないのか）〔苛立ちを表す〕

677 **still**「まだ（～している / である）」
▶ still は肯定文で「まだ（～している / である）」と『継続』を表す。

Power Up! 157 already / yet / still ── 「もう / まだ」の使い分け

	肯定文	否定文	疑問文
already	もう～（した）	―	もう（～したのか）「驚き」
yet	―	まだ（～していない）	もう（～したか）
still	まだ（～している）	まだ～（していない）	まだ（～しているのか）

Theme 174 ago / before ── 「～前」の使い分け

678 ～ **ago**「（今から）～前に」── 過去形とともに用いる
▶ five years ago「5年前に」は明らかに過去の時を示す語句なので，① died が正解。ago は現在完了形とともに用いない。

679 ～ **before**「（過去のある時点から）～前に」── 過去完了形とともに用いる
▶ ago は過去完了形とともに用いないので，④ ago を before に訂正する。
プラスα before には単独で「以前に」の意味を表す用法がある。
I have seen [saw] the picture before.（その絵は以前見たことがある）

Theme 175

□□□ **680** (　　　) students were absent because of the flu.　(実践女子大)
頻出
① Almost　② Almost all of the　③ Almost of　④ Almost of the

□□□ **681** (　　　) eat lunch at the cafeteria because there are no good restaurants in the neighborhood.
頻出
① Almost all students　② Almost students
③ Most all students　④ Most of students　(日本女子大)

□□□ **682** (　　　) Japanese people don't use English in everyday life.
① Almost　② Any　③ Most　④ None　(センター)

□□□ **683** The teacher was disappointed when (　　　) her students did badly on the test.
頻出
① almost　② most　③ most of　④ almost of　(津田塾大)

□□□ **684** The bus was so late reaching the station that I (　　　) missed the train.
① almost　② already　③ soon　④ hardly　(東海大)

Power Up! 158　almost 副 と most 形・名 の使い分け

almost 副「ほとんど」―― 直接名詞を修飾できないので，all を間にはさんで，
「**almost all** (**of**) (**the** [*one's*]) + 名詞」の形で用いる。〔of は省略可能〕
most 形「ほとんどの～」――「**most** + 名詞」の形で用いる。
名「ほとんど / 大部分」――「**most of the** [*one's*] + 名詞」の形で用いる。〔of は省略不可〕

□ **almost all** + 名詞 (➲ 681) = **most** + 名詞 (➲ 682)
「(限定されない) ほとんどの～」
almost all students = **most** students「ほとんど (すべて) の学生」

□ **almost all** (**of**) **the** [*one's*] + 名詞 (➲ 680)
= **most of the** [*one's*] + 名詞 (➲ 683)
「(限定された特定の) ～のほとんど」
almost all (**of**) **the** students = **most of the** students
「その学生たちのほとんど」

680 (②) インフルエンザのために，学生たちのほとんどが欠席した。
681 (①) 近所に良いレストランがないので，ほとんどの学生はカフェテリアで昼食をとる。
682 (③) ほとんどの日本人は，日常生活で英語を使わない。
683 (③) 先生は自分の生徒のほとんどがテストのできが悪かったのでがっかりした。
684 (①) バスがとても遅れて駅に着いたので，私はあやうく列車に乗り遅れるところだった。

Theme 175 almost / most の使い分け

680 **almost all** (**of**) **the** [***one's***] + 名詞
「(限定された特定の) ～のほとんど」

▶ almost は副詞なので直接名詞を修飾できない。**almost all** [**every**] ～ などの形で用いるので，正解は ② Almost all of the。

▶ almost all of の後の名詞には必ず the や *one's* がつく。この場合の of は省略可能。

〈選択肢〉 almost には形容詞や名詞の用法がないので，① Almost, ③ Almost of, ④ Almost of the はいずれも不可。

〈プラスα〉 almost all = most なので，almost all of the students = most of the students となる。(➲ 683)

681 **almost all** + 名詞「(限定されない) ほとんど (すべて) の～」

▶「(限定されない)ほとんど(すべて)の学生」は ① almost all students か most students の形を用いる。選択肢に most students がないので，① が正解。

〈選択肢〉 almost は副詞で，直接名詞を修飾できないので，② Almost students は不可。most of の後の名詞は必ず the や *one's* がつくので，④ Most of students は不可。形容詞の most が形容詞の all を修飾することはないので ③ Most all students は不可。

682 **most** + 名詞「(限定されない) ほとんどの～」

▶ people を直接修飾することができ，「ほとんどの～」という意味の形容詞の ③ Most が正解。

〈選択肢〉 ① Almost は副詞なので直接名詞を修飾できない。
「Any + 名詞 ... not」という語順はないので，② Any は不可。(➲ 264)
④ None には形容詞の用法はなく,「none of the + 名詞」の形なので不可。

683 **most of the** [***one's***] + 名詞「(限定された特定の) ～のほとんど」

▶「彼女の生徒 (のほとんど)」と限定されているので，③ most of が正解。almost の場合は，almost all (of) her students の形を用いる。

〈選択肢〉 almost には形容詞や名詞の用法がないので，① almost, ④ almost of は不可。所有格と一部の限定詞 (a / this / some / most / no など) を続けて使うことができないという決まりがあるので，② most (her students) は不可。(➲ Theme 159) (all her students は可能)

684 **almost** + 動詞「(あやうく / もう少しで) ～するところで」

▶ almost の基本義は「あと少しのところで～ではない」なので，動詞を修飾すると「(あやうく / もう少しで) ～するところで (実際は～していない)」という意味になる。I **almost** broke the cup.(もう少しでカップを割るところだった)

第19章 前置詞の語法

Theme 176

□□□ **685** Our school begins ( ) nine.
基本 頻出
① from ② at ③ in ④ on （松本歯科大）

□□□ **686** I saw a traffic accident ( ) the morning of November 1st.
頻出
① at ② in ③ on ④ for （九州国際大）

□□□ **687** The deadline is 6 p.m. I must finish this work ( ) that time.
頻出
① till ② by ③ to ④ in （青山学院大）

□□□ **688** I have been living in Canada ( ) almost five years.
頻出
① since ② while ③ during ④ for （拓殖大）

□□□ **689** While I was staying in London, I visited the Tower.
頻出
= ( ) my stay in London, I visited the Tower. （東洋大）

□□□ **690** 2週間でそのレポートを完成してください。
頻出
Please finish that report ( ) two weeks.
① at ② in ③ by ④ for （名古屋学院大）

Power Up! 159 『時』を表す at / on / in の基本用法

□ **at** —— 時の1点（時刻 / 正午 / 真夜中など）
at seven「7時に」, **at** noon「正午に」, **at** midnight「真夜中に」

□ **on** —— 特定の日（日付 / 曜日など）
on Sunday「日曜日に」, **on** my birthday「私の誕生日に」
on May 5(th), 2017「2017年5月5日に」〔on + 月 + 日, 年の語順〕

□ **in** —— 比較的長い期間（月 / 季節 / 年 / 午前 / 午後など）
in August「8月に」, **in** winter「冬に」, **in** 2020「2020年に」
in May, 2017「2017年の5月に」〔in + 月, 年の語順〕
in the morning [the afternoon / the evening]「午前［午後 / 夕方］に」

---

685 （②） 私たちの学校は9時から始まる。
686 （③） 私は11月1日の朝, 交通事故を見ました。
687 （②） 締め切りは午後6時だ。その時間までにこの仕事を終えなければならない。
688 （④） 私はほぼ5年間カナダに住んでいます。
689 （During） 私はロンドン滞在中にロンドン塔を訪れた。
690 （②）

Theme 176 注意すべき『時』を表す前置詞

685 **at** ——『時』の1点

▶「始まる」の意味の begin / start の後ろに来る前置詞には要注意。日本語の「～から始まる」に惑わされて ˣbegin [start] from としないように。「時刻」には **at** を,「日 / 曜日」には **on** を,「月 / 季節 / 年」には **in** を使う。
（➲ Power Up! 159）

Our school begins **on** April 6. （学校は4月6日から始まる）
Our school begins **in** September. （学校は9月から始まる）

686 **on** —— 特定の日の朝 / 午後 / 夜

▶ morning / afternoon / evening / night が修飾語句を伴うと, 前置詞は in や at でなく, **on** が用いられることに注意。

on the morning *of April 6*「4月6日の朝に」 *cf.* in the morning
on *Sunday* evening「日曜の夕方に」 *cf.* in the evening
on a *dark* night「暗い夜に」 *cf.* at night「夜に」

687 **by** と **until** [**till**] の使い分け

▶ **by** 「～までに（は）」 ——『動作の完了の期限』
until [**till**]「～まで（ずっと）」——『継続の終了時』

cf. { I'll be here **by** five o'clock. （5時までにはここに来ています）
I'll be here **till** five o'clock. （5時までずっとここにいます）

▶「その時間までに」と『完了の期限』を表すには ② by を選ぶ。

688 **for** と **during** の使い分け

▶ **for** ——『不特定の期間』（数詞や many, a few などのついた語句を伴う）
during ——『特定の期間』（the や *one's* などのついた語句を伴う）

cf. { **for** *six* weeks「6週間」
during *the six* weeks「その（特定の）6週間」

▶ 本問は「ほぼ5年間」という『不特定の期間』なので, ④ for が正解。

689 **during**「～の間（のあるとき）に / ～の間ずっと」

▶ my stay という『特定の期間』を表す名詞なので during を用いる。

▶ 接続詞 while を用いた文との書き換え, 区別は頻出。
while + **S** + **V** = **during** + 名詞(句)[ˣ動名詞(句)](ˣduring my staying)

690 **in**「今から～で［の後に］/ ～たつと」——『時の経過』

▶ 明確な時間経過を示す英文では **in** は未来に, **after** は過去に用いることが多い。

〈比較〉「～以内に」の意味を特に強調したい場合は **within** を用いる。

cf. { I'll be back **in** [**within**] an hour. （1時間で［以内に］戻ります）
I came back **after** an hour. （1時間後に戻って来た）

Theme 177

□□□ **691** I parked my car (　　) the corner where the bank is.
基本
① at　② for　③ in　④ with　(立教大)

□□□ **692** My father was born in a small village (　　) the Mississippi River.
① of　② at　③ in　④ on　(西南学院大)

□□□ **693** この町は海抜 450 フィートにある。
This city is four hundred fifty feet (　　) sea level.　(姫路獨協大)

□□□ **694** A sooty lamp hung (　　) the table.
① about　② on　③ up　④ over　(大阪商業大)

□□□ **695** Singapore is (　　) the south of Asia.
① to　② in　③ on　④ for　(文化女子大)

□□□ **696** What is the difference (　　) this and that?
① among　② from　③ between　④ in　(関東学院大)

□□□ **697** This cafe is popular (　　) local residents as well as visitors.
① between　② among　③ in　④ to　(日本大)

Power Up! 160 場所を表す at / in / on の基本用法

□ **at** ── 場所の 1 点（= 地点）
at the center「中央に」, **at** the corner「角で」

□ **in** ── 広い場所の中 / 囲まれた内部
in Japan「日本で」, **in** the room [building]「部屋［建物］の中で」

□ **on** ── 面との接触 ⇔ **off**「～から離れて」── 分離
＊ on は上面だけでなく，下面または側面との接触も表す。
on the table「テーブルに」, **on** the ceiling「天井に」, **on** the wall「壁に」

691　(①)　私は銀行のある角に駐車した。
692　(④)　私の父はミシシッピー川沿いの小さな村に生まれた。
693　(above)
694　(④)　すすけたランプがテーブルの真上にかけられていた。
695　(②)　シンガポールはアジアの南部にある。
696　(③)　これとあれの違いは何ですか。
697　(②)　このカフェは観光客だけでなく地元住民の間でも人気がある。

Theme 177 注意すべき『場所』を表す前置詞

691 **at** と **in** の使い分け

▶ 角の 1 地点に駐車したのだから at the corner が正解。in は『内部』を示すので in the corner は「隅に［の］」の意味になる。

at [on] the corner of a street「通りの角に［の］」
in the corner of a room「部屋の隅に［の］」

692 **on**「～に面して / 沿って」

▶ on の表す接触は面だけでなく線上のものでもよい。本問の場合は「(川などに) 面して / 沿って」の意味。**on** the coast「海岸沿いの」

693 **above**「～より上（の方）に / ～より高く」
⇔ **below**「～より下（の方）に / ～より低く」

▶ above は接触せずに「～より上に」の意味。基準となるものより位置が上であることを表す。反意語は below。**below** the horizon「地平線の下に」

▶ **A above sea level**　「海抜 A（⬅ 海水面より上 A)」
⇔ **A below sea level**「海面下 A」は頻出表現。

694 **over**「～の真上に」⇔ **under**「～の真下に」

▶ over は「離れて真上に」または「おおいかぶさって上に」の意味。
反意語は under。**under** the table「テーブルの下に」

695 **in the south of** **A**「A の南部に」(= **in the southern part of A**)

▶ シンガポールはアジアに属していてその南部に位置しているので, ② in が正解。

〈比較〉 **on the south of A**「A の南側に」[A に接する]
to the south of A「A の南方に」[A と離れている]

696 **between** と **among** の使い分け

▶ **between** は原則として 2 者について，その個々に焦点を当てる場合に用いる。**among** は 3 者以上について，特に 1 つの集合体としてとらえる場合に用いる。

trades **among** [°**between**] the three countries「3 国間貿易」
＊ 3 国以上でも，個々の国を念頭に置く場合は between も OK。
cf. trades **between** [×among] Japan, America and China

697 **among**「(3 者以上の）の間で［に］/ ～の中で」

▶ among の後ろには通例，同類・同種を表す複数名詞［集合名詞］が来る。

〈選択肢〉 in の後ろには場所などを示す名詞が来るので ③ in は不可。
He is popular **in** the office [**among** his employees].
(彼は会社で［従業員の間で］人気がある)

〈発展〉 among「〔最上級を伴って〕～の中の 1 つ［1 人］で」の意味も重要。
New York is **among** [= one of] the largest cities in the world.
(ニューヨークは世界で最も大きな都市の 1 つである)（学習院大）

Theme 178

□□□ **698** I was walking (　　　) the direction of the station.
① in　② for　③ on　④ to　(杏林大)

□□□ **699** 基本 The sun rises (　　　) the east and sets in the west.
① by　② into　③ to　④ in　(九州東海大)

□□□ **700** 頻出 子供のころ姉とよくあの川に釣りに行った。〔1語不要〕
I would (fishing / go / in / often / river / that / to / with) my sister when I was a child.　(慶應大)

□□□ **701** The hotel is located within two miles (　　　) the station.
① to　② from　③ in　④ of　(亜細亜大)

□□□ **702** この問題は難しくて解けない。だから，あなたはあの問題から始めたほうがよい。
This problem is too hard to solve. So you had better begin (　　　) that one.　(静岡大)

□□□ **703** 彼はウエイターに炭酸水をもう一本注文した。
He ordered another bottle of soda water (　　　) the waiter.
① at　② for　③ to　④ from　(獨協医大)

□□□ **704** 戦後日本の経済成長の秘訣は終身雇用制度にあった。
Lifetime employment was a key (　　　) Japan's postwar economic success.
① up　② in　③ over　④ to　(成城大)

Power Up! 161 go *doing* in[at / on]A「A(場所)に~しに行く」

doing に用いられるのは，fishing / swimming / skating / skiing / jogging / camping / shopping などの『スポーツ・娯楽』を表す語に限定される。

- □ **go** *fishing* 〔*swimming*〕 **in** the river「川に釣り〔泳ぎ〕に行く」
- □ **go** *skating* **on** the pond「池にスケートに行く」
- □ **go** *shopping* **at** a department store「デパートに買い物に行く」

---

698 (①) 私は駅のほうへ歩いていた。　**699** (④) 太陽は東から昇り西に沈む。
700 I would (often go fishing in that river with) my sister when I was a child.
〔to が不要〕
701 (④) そのホテルは駅から2マイル以内のところにある。
702 (with)　**703** (④)　**704** (④)

Theme 178 日本語に惑わされやすい前置詞

698 **in the direction of** ~「~の方向へ〔に〕」
▶『方向・方角』を表す ① in「~（のほう）へ」が正解。
〈選択肢〉 direction「方向」に惑わされて ④ to や ② for を選択しないように。
〈発展〉 **in all directions = in every direction**「四方八方に」も重要表現。
The children ran **in all directions**.
（子供たちは四方八方に走って行った）

699 **The sun rises in the east**「太陽は東から昇る」
▶ これも『方向・方角』を表す ④ in が正解。日本語の「~から」に惑わされて，×rises from the east としないように。
〈プラスα〉 同様に「西に沈む」は sets in 〔×to〕 the west である。

700 **go *doing* in** 〔**at / on**〕 **A**「A（場所）に~しに行く」
▶ 日本語では「A に~しに行く」というが，英語では前置詞は to ではなく，in / at / on を，*doing* が示す動作を行う場所に合わせて使う。(➲ Power Up! 161)
▶「川に釣りに行く」は go *fishing* **in** 〔×to〕 the river。

701 **within A of B**「B（場所）から A（距離）以内（のところ）に」
▶「~から」に惑わされて，of を from にしないように。
▶ この of は『分離』を表す。of を強調したのが off「~から離れて」。
▶ within は「（時間・距離・範囲など）~以内に / ~の範囲内に」という意味。
We live **within** ten minutes' walk **of** 〔×from〕 my parents' house.
（私たちは，私の両親の家から歩いて10分以内のところに住んでいます）
put a cup **within** easy reach「すぐ手の届くところにカップを置く」

702 **begin with** ~「~から始める /（事が）~で始まる」
▶「~から始める」に惑わされて，×begin from としないように。(　　) には，動作を始める『対象』を表す with を入れる。
〈プラスα〉 begin with ➡ **to begin with**「まず第一に」も重要。(➲ Power Up! 24)
〈比較〉 **begin at** 〔**on / in**〕 ~「~から始まる」(➲ 685)
begin by *doing*「~することから始める / まず~する」
I'll **begin by** *introducing* myself.（まず自己紹介から始めましょう）

703 **order A from B**「A（品物）を B（店・場所・人）に注文する」
▶「A を B に注文する」に惑わされて，×order A to B としないように。

704 **a** 〔**the**〕 **key to** ~「（成功など）の秘訣；（理解・解決など）の手がかり / かぎ」
▶『付属・付着』を表す ④ to が正解。×the key of ~としないように。
the key **to a problem**「問題解決の手がかり」

Theme 179

□ **705** 口に食べ物をほおばって話をしてはいけない。
□ 頻出 Don't talk with your mouth (　　　). (愛媛大)
□

□ **706** She was so tired that she fell asleep with her socks (　　).
□ 頻出 ① at　② by　③ in　④ on (九州産業大)
□

□ **707** 老婦人は目に涙を浮かべながら部屋に入ってきた。(佛教大)
□ 頻出 The old woman came into (the room / her eyes / in / with / tears).
□

Theme 180

□ **708** (　　　) her great surprise, her uncle failed in the business.
□ 頻出 ① At　② To　③ For　④ From (佛教大)
□

□ **709** Much to her (　　　), the fireworks were canceled due to rain.
□ 頻出 ① disappoint　② disappointed　③ disappointing　④ disappointment
□ (東洋英和女学院大)

Theme 181

□ **710** The task is (　　　) much importance to them.
□ 頻出 ① with　② at　③ in　④ of (近畿大)
□

□ **711** The smart boy could solve all the difficult problems (　　　) ease.
□ ① by　② so　③ very　④ with (日本大)
□

Power Up! 163 of + 抽象名詞と with + 抽象名詞

(1) **of** + 抽象名詞 = 形容詞

□ **of importance** = important (➲ 710)
□ **of interest** = interesting
□ **of help** [**service**] = helpful「役立つ」
□ **of value** = valuable「価値のある」

(2) **with** + 抽象名詞 = 副詞

□ **with ease** = easily (➲ 711)
□ **with difficulty** = barely「やっと」
□ **with patience** = patiently「辛抱強く」
□ **with care** = carefully
□ **with accuracy** = accurately「正確に」

705 (full)　**706** (④) 彼女はとても疲れていたので靴下をはいたまま寝入った。
707 The old woman came into (the room with tears in her eyes).
708 (②) 彼女がとても驚いたことに，おじさんが事業に失敗した。
709 (④) 彼女がとてもがっかりしたことには，雨のために花火が中止になった。
710 (④) その仕事は彼らにとって非常に重要です。
711 (④) その利口な少年は難しい問題をすべて簡単に解くことができた。

Theme 179 付帯状況の with

705 **with your mouth full**「口に食べ物をほおばって［ほおばったまま］」

▶「with + 名詞 + 形容詞」の形で付帯状況を表している。

〈比較〉 分詞を用いて付帯状況を表す構文は Theme 45 を参照。

706 **with her socks on**「靴下をはいて［はいたまま］」

▶「with + 名詞 + 副詞」の形で付帯状況を表している。副詞 on は『着用』を表し，with A on で「A を身につけて」という意味。

707 **with tears in her eyes**「目に涙を浮かべながら」

▶「with + 名詞 + 場所を示す句」の形で付帯状況を表している。

〈発展〉 with を省略すると，冠詞や所有格も一緒に省略されることがある。

He was reading, (with a) pipe in (his) mouth.
(彼はパイプを口にくわえて本を読んでいた)

Theme 180 to *one's* + 感情を表す名詞「～が…したことには」

708 **to her great surprise**「彼女がとても驚いたことには」

▶ 意味を強めるときには「to *one's* great + 感情を表す名詞」，または「much to *one's* + 感情を表す名詞」の形になる。

709 **much to her disappointment**「彼女がとてもがっかりしたことには」

Power Up! 162 to *one's* + 感情を表す名詞「～が…したことには」

□ **to *one's* surprise**	「～が驚いたことには」(➲ 708)
□ **to *one's* disappointment**	「～ががっかりしたことには」(➲ 709)
□ **to *one's* delight** [**joy**]	「～がうれしかったことには」
□ **to *one's* relief**	「～が安心したことには」
□ **to *one's* regret**	「～が残念だったことには」

Theme 181 of + 抽象名詞と with + 抽象名詞

710 **of much importance** (= **very important**)

▶「of + 抽象名詞」は形容詞の働きをする。この of は「～の性質を持つ (having)」という意味。

▶ 抽象名詞の前に **great** / **much** / **no** / **little** などの程度を表す形容詞がつくことが多い。

of *little* [*no*] **importance**「ほとんど［まったく］重要でない」
In this city, many places are **of** *great* historical **value**.
(この市では多くの場所が大きな歴史的価値を持っている) (名古屋学院大)

711 **with ease**「容易に / 簡単に / 楽々と」(= **easily**)

▶「with + 抽象名詞」は副詞の働きをする。with ease (= easily) は動詞 solve を修飾している。

Theme 182

□□□ **712** 頻出 (　　) being a mother of three, Mrs. Ogawa is an excellent executive.
① Also　② As well　③ Besides　④ Not only　（愛知学院大）

□□□ **713** We parked the car (　　) the building.
① beside　② beside to　③ besides　④ besides to　（千葉商大）

□□□ **714** My brother is an authority (　　) philosophy.
① with　② at　③ on　④ to　（中央大）

□□□ **715** I wrote the letter (　　) a pencil.
① by　② in　③ through　④ with　（杉野女子大）

□□□ **716** 頻出 あなたは彼の提案に賛成ですか？ それとも反対ですか？
Are you for or (　　) his proposal?　（高知大）

□□□ **717** 頻出 Jane is younger than he (　　) five years.
① at　② by　③ for　④ with　（実践女子大）

□□□ **718** 発展 This book is very interesting (　　) a few mistakes.
① except for　② unless　③ except　④ but　（慶應大）

Power Up! 164 『除外』を表す except / but と except for の使い分け 〈発展〉

(1) all / every / no / any / whole など「全体」を表す語句が前に来る場合はどちらも可能。
Everyone **except / but [except for]** *John* came.（ジョン以外はみな来た）
= *Everyone* came **except / but [except for]** *John*.
＊ except と but は同意だが，except のほうが除外の観念が強く，用法も広い。一般的には，except が好まれる。

(2) 文頭で使われる場合や，全体を表す語がない場合は except for のみ可能。
Except for [×Except / ×But] *John*, *everyone* came.
This is a good report, **except for** [×except / ×but] this mistake.
（この間違いを別にすれば，この報告書はよくできている）

(3) 前置詞や接続詞の前に来る場合は，except のみ可能。
I go fishing **except** [×except for / ×but] *on* rainy days.
= I go fishing **except** [×except for / ×but] *when* it rains.
（雨の日以外は釣りに出かける）

712　（③）　小川さんは3人の子供の母親であるだけでなく，優れた経営幹部でもある。
713　（①）　私たちはそのビルのそばに駐車した。　**714**　（③）　私の兄［弟］は哲学の権威だ。
715　（④）　私は鉛筆で手紙を書いた。　**716**　（against）　**717**　（②）　ジェーンは彼より5つ若い。
718　（①）　この本は2，3の間違いを除けばとても面白い。

Theme 182 重要前置詞の用法 (1)

712 『付加』の **besides**「～に加えて / ～の他に」(= **in addition to** ～)
▶ besides being [*doing*]「～である［する］だけでなく」
〈選択肢〉 ① Also「～もまた」，② As well「～もまた」，④ Not only「～だけでなく」はいずれも副詞(句)で，前置詞の用法がないので不可。
▶ besides には「その上」(= in addition) という意味の副詞用法もあるので注意。(➲ 668)

713 『場所・位置』の **beside**「～のそばに」
▶ besides「～に加えて / ～の他に」との違いに注意。

714 『関連』の **on**「～に関して」
▶ on は，about や of よりも内容が詳細で専門的な場合に用いる。
〈選択肢〉 ① with にも「～に関して」の意味があるが，たいていは What's the matter with you?（どうしたのですか）など，成句の形で用いられる。

715 『道具・手段』の **with**「～で / ～を使って」
▶ with が『道具・手段』を表す場合，可算名詞には冠詞がつくのが一般的。
with *a* pencil「鉛筆で」，with *a* key「鍵で」*cf.* with money「金で」
〈選択肢〉 ① by「～で」は主に『交通・通信の手段・方法』を表し，後ろに続く名詞は無冠詞なので不可。② in「～で / ～を使って」の場合も後に続く名詞は無冠詞なので不可。in pencil = with a pencil　③ through「～を通じて / ～によって」は仲介的な手段を表すので不可。
He got the job *through* my help.（彼は私のつてでその職についた）

716 『賛成』の **for**「～に賛成して」⇔『反対』の **against**「～に反対して」
▶ for = in favor of も押さえておくこと。(➲ 1300)
本問 = Are you in favor of his proposal or not?

717 『差』を表す **by**「～の差で / ～だけ」
▶ 程度の差を表す語句を比較級の後ろに置く場合は by が必要である。
本問 = Jane is five years younger than he.〔このほうがふつう〕
〈プラスα〉 miss the train **by** a minute「ちょっとの差で列車に乗り遅れる」という表現も押さえておこう。

718 『除外』を表す **except** / **but** と **except for** の使い分け
▶ except for「～を除けば / ～以外は」は文中に all や every などの全体を表す語句がなくても使えるので，正解は ① except for。(➲ Power Up! 164)
〈選択肢〉 全体を表す語がないので，③ except「～以外は」，④ but「～以外は」は不可。② unless「～でない限り」は接続詞なので不可。

Theme 183

□□□ **719** He's in his early sixties, but he looks quite young (　　) his age.
① on　② for　③ after　④ at　（成城大）

□□□ **720** 頻出 We talked about our future (　　) a cup of coffee.
① at　② by　③ over　④ to　（高岡法科大）

□□□ **721** Several couples were dancing (　　) the music played by the band.
① over　② on　③ at　④ to　（松山大）

□□□ **722** 頻出 He came to the party (　　) his illness.
① though　② although　③ in spite　④ despite　（和光大）

□□□ **723** He treats me as if I were a little boy.
= He treats me (　　) a little boy.
① like　② with　③ something　④ thinking　（日本工大）

□□□ **724** 頻出 Which shirt do you think suits me? Do you think I look better (　　) white?
① on　② in　③ for　④ by　（青山学院大）

□□□ **725** Jiro has invited us to his birthday party. What should we get him (　　) a gift?
① to　② from　③ with　④ as　（センター）

---

719 （②） 彼は60代初めなのに，年のわりにはとても若く見える。
720 （③） 私たちはコーヒーを飲みながら将来について話し合った。
721 （④） 数組のカップルがバンドの演奏する音楽に合わせて踊っていた。
722 （④） 彼は病気にもかかわらずパーティーにやって来た。
723 （①） 彼は私を小さな男の子のように扱う。
724 （②） どちらのシャツが私に似合うと思いますか。私は白いシャツのほうが似合うと思いますか。
725 （④） 二郎は私たちを誕生パーティーに招待してくれた。贈り物として彼に何を買ってあげたらいいだろうか。

Theme 183 重要前置詞の用法 (2)

719 『観点・基準』の **for**「～にしては / ～のわりには」
▶ **for *one's* age**「年のわりには」の形で頻出する。
〈選択肢〉 ④ at his age は「彼の年齢で」の意味なので不可。

720 『飲食・従事』の **over**「～しながら」
▶ 飲食物，本などの上におおいかぶさる姿勢からこの意味が出た。
fall asleep **over** *one's* work [book]「仕事［読書］の最中に寝入る」

721 『適合・一致』の **to**「～に合わせて」
▶ to は「(音など) に合わせて」という意味を表すことがある。
dance **to** music「音楽に合わせて踊る」
tap **to** the rhythm「リズムに合わせて拍子をとる」
〈プラスα〉 a job **to** *one's* liking [taste]「好みに合った職」などの to も同じ用法。

722 『譲歩』の **despite**「～にもかかわらず」（= **in spite of** ～）
▶「although / though」と「despite / in spite of」の違いと使い分けに注意。
despite / in spite of は前置詞なので後ろには名詞 / 動名詞が来る。
一方, although / though は接続詞なので後には節 [S + V] が続く。（➲ 436）
本問 = Though [Although] he was ill, he came to the party.

723 『類似』の **like**「～に似た / ～のような［に］/ ～らしい」
⇔『相違』の **unlike**「～と違って / ～に似ていない / ～らしくない」
〈プラスα〉 like の反意語 unlike も必ず押さえておくこと。
He is, **unlike** other people, very sensitive to changes in fashion.
（彼は他の人と違って，流行の変化に非常に敏感だ）（関西外語大）
〈語句〉 as if + 仮定法「まるで～のように」（➲ 175）

724 『着用』の **in**「～を身につけて / ～を着て」（= **wearing**）
▶ 本問の in は後ろに服の色を表す語だけを伴う場合。
cf. The man **in** *the blue suit* is Mr. Brown.
（青いスーツを着ている男性はブラウンさんです）（聖学院大）
〈語句〉 疑問詞 + do you think (+ S) + V?（➲ 249）
A suit B「A（衣服・色・髪型）が B（人）に似合う」（➲ 591）

725 『役割・機能』の **as**「～として（の）」
▶ 接続詞の as には多くの意味・用法があるが（➲ Theme 107），前置詞の as は多くの場合，「～として」の意味で用いられる。
〈プラスα〉 as に続く名詞が「1人しかいない役職名」を表すときには，ふつう無冠詞であることを覚えておこう。
He acted **as** [×a] chairman.（彼は議長を務めた）

Part 3

語い

第20章　意外な意味を持つ単語　278

第21章　重要同意語　292

第22章　重要多義語　308

第23章　まぎらわしい語　318

第20章 意外な意味を持つ単語

Theme 184

□□□ **726** 頻出 Any dictionary will (　　) as long as it is a French dictionary.
① use　② do　③ go　④ meet　(神戸学院大)

□□□ **727** John apparently believes that honesty (　　) in the long run.
① receives　② gets　③ pays　④ handles　(名古屋工大)

□□□ **728** Bicycles (　　) well these days.　(追手門学院大)
① are selling　② are to be sold　③ have since sold　④ sold

□□□ **729** ジョンは試験でカンニングしているところを見つかった。
John was caught (　　) in [on] the examination.
① cunning　② doing　③ cheating　④ talking　(学習院大)

□□□ **730** A : Come downstairs. Dinner is ready.
B : I'm (　　).
① running down　② coming　③ going　④ going down　(天理大)

□□□ **731** I'd better not eat fried oysters. Oily food does not (　　) with me.
① taste　② digest　③ satisfy　④ agree　(昭和大)

□□□ **732** 発展 〔共通の 1 語を選べ〕
(a) The sign here (　　), "Danger."
(b) She (　　) three books a week.
① says　② reads　③ shelves　④ finishes　(早大)

---

726 (②) フランス語の辞書なら，どんな辞書でもかまいません。
727 (③) ジョンは最後には正直は報われると信じているらしい。
728 (①) 最近，自転車がよく売れている。
729 (③)
730 (②) A：降りておいで，夕食ですよ。
B：今行きます。
731 (④) 私はカキフライは食べないほうがよい。油っぽい食べ物は私の体に合わない。
732 (②) (a) ここにある表示には「危険」と書いてある。
(b) 彼女は 1 週間に 3 冊の本を読む。

Theme 184 意外な意味を持つ自動詞

726 **do**「〔通例 will を伴って〕間に合う / 十分である」
〈語 句〉as [so] long as ～「～しさえすれば / ～なら」(➲ 450)

727 **pay**「(物・事が) 利益になる / 引き合う / 割に合う」
〈選択肢〉① receive「～を受け取る」, ④ handle「～を扱う」
〈語 句〉apparently「見たところでは (どうも) ～らしい」(➲ Power Up! 156)
本問 = It appears that John believes that …
in the long run「(長い目で見れば) 結局は / 最後には」(➲ 1222)

728 **sell**「(商品が) 売れる / (商品の) 売れ行きが～である」
▶ 自動詞の sell は well / badly などの副詞を伴い,「売れ行きが良い / 悪い」という意味になる。sell は能動態で受動の意味を表す動詞の 1 つ。(➲ Power Up! 165)
This bag **sells** *badly* in the US. (このかばんはアメリカで売れ行きが悪い)
〈語 句〉these days「(過去と比べて) 最近は」は現在形，現在進行形で使う。

729 **cheat**「カンニングする / いかさまをする」
〈選択肢〉① cunning は「悪賢い / ずるい」の意味の形容詞なので不可。
〈語 句〉catch A *doing*「A が～しているところを見つける」(➲ 561)

730 **come**「(相手のほうへ) 行く」
▶ 呼ばれて相手のほうに行くので，I'm coming.（今行きます）が正解。
×I'm going. としないように。

731 **agree**「(気候・食べ物が) 合う」
▶「agree with + 人」の形で，通例否定文で用いる。
〈選択肢〉① taste「～な味がする」, ② digest「～を消化する」
〈語 句〉had better not *do*「～しないほうがよい」(➲ 79)

732 **read**「～と書いてある / 読める [解釈される]」
▶ この意味では本来自動詞だが，"…" を目的語と考えて他動詞扱いすることもある。同じ意味を持つ say は他動詞の用法。(➲ 576)
▶ (a) では ① says も可。(b) では ① says は不可なので，② reads が正解。

Power Up! 165 能動態で受動の意味を表す動詞

形は能動態でも，受動的な意味を表す動詞がいくつかある。
□ **sell**「売れる」(➲ 728)　□ **read**「～と書いてある / 読める」(➲ 732)
□ **cut**「切れる」　□ **cook**「料理される」　□ **lock**「かぎがかかる」
□ **wash**「洗濯がきく」　□ **run**「上演される」(➲ 842)
This wood **cuts** easily. (この材木は切りやすい)
This sweater **washes** well [badly]. (このセーターは洗濯がきく [きかない])
This door **locks** automatically. (このドアは自動的にかぎがかかる)

Theme 185

□□□ **733** 発展 At the last minute his courage (　　　) him and he ran away.
① upset　② finished　③ failed　④ spoiled　（日本大）

□□□ **734** 頻出 It's only a small house but it (　　　) my needs perfectly.　（センター）
① agrees　② meets　③ replies　④ responds

□□□ **735** Our company (　　　) the crisis that hit the economy last year.
① existed　② recovered　③ succeeded　④ survived　（センター）

□□□ **736** This clock (　　　) two seconds a day.
① goes forward　② takes　③ adds　④ gains　（亜細亜大）

□□□ **737** The farewell party will be (　　　) next Thursday.
① taken　② made　③ brought　④ held　（仁愛大）

□□□ **738** You have to observe the terms of a contract.
① violate　② obey　③ describe　④ produce　（中央大）

□□□ **739** "Why did Jack quit his job?" "He wanted to (　　　) his dream of opening his own cafe."
① come true　② increase　③ make sure　④ realize　（センター）

□□□ **740** 発展 When he was late for the meeting, he (i-　　　) a good excuse.
(= made up)　（玉川大）

733　(③)　どたん場になって彼は勇気がくじけて逃げてしまった。
734　(②)　それはほんの小さな家だが，私の要望に完璧に応えている。
735　(④)　わが社は昨年経済界を襲った危機を切り抜けた。
736　(④)　この時計は，1日に2秒進みます。
737　(④)　送別会を次の木曜日に開きます。
738　(②)　あなたは契約条件を守らなければいけない。
　　＊ term「〔~s〕（契約・支払いなどの）条件」（➲ 850(d)）
739　(④)「どうしてジャックは仕事をやめたの？」
　　「自分のカフェを開くという夢を実現させたかったんだよ」
740　(invented)　彼は会合に遅れたとき，うまい言い訳をでっち上げた。

Theme 185 意外な意味を持つ他動詞 ①

733 **fail** ~「（いざというときに）~の役に立たない」
〈選択肢〉① upset「~を動揺させる」，④ spoil「~を台なしにする」
〈語句〉at the last minute「どたん場で / 最後になって」

734 **meet** ~「（要求・必要など）に応じる / ~を満たす」（= **satisfy**）
〈選択肢〉① agree「賛成する」，③ reply「答える」，④ respond「答える」
〈プラスα〉**meet the deadline**「締め切り［納期］に間に合わせる」の表現は重要。
We have to work overtime to **meet the deadline**.
（納期に間に合わせるために，残業しなければならない）（関西学院大）

735 **survive** ~「（事故・災害など）を切り抜けて生き残る」
〈プラスα〉「~より長生きする」（= live longer than ~ / outlive）の意味もある。
He **survived** his wife by three years.（彼は妻の死後3年生きた）
〈選択肢〉recover は recover from ~「（苦しい状況など）から立ち直る」の形で使うので，② recovered は不可。

736 **gain** ~「（時計が）~秒［分］進む」（⇔ **lose**）
〈比較〉反意語は **lose**「（時計が）~秒［分］遅れる」。
My watch **loses** ten minutes a month.（私の時計は月に10分遅れる）
〈選択肢〉① go forward 自「前へ進む」，③ add「~を加える」

737 **hold** ~「（会・式など）を催す / 開く」
▶「パーティーを開く」は give［have］a party のほうが口語的。
〈プラスα〉hold の「~を心に抱く / ~と思う」の意味も要注意。
They once **held** that the earth was flat.
（地球は平らだとかつては考えられていた）

738 **observe** ~「（規則・法律など）を守る」（= **obey**）
〈プラスα〉observe には「~を観察する /（観察して）~に気づく」の意味もある。
observe some changes in A's attitude「Aの態度の変化に気づく」
〈選択肢〉① violate「~に違反する」，③ describe「~を言い表す」

739 **realize** ~「（希望・計画など）を実現する［させる］」
▶ ① come true「（夢などが）実現する」は自動詞表現。come true の後には目的語をとらないので不可。他動詞の ④ realize が正解。
His dream *came true*. = His dream was **realized**.（彼の夢が実現した）
〈選択肢〉② increase「~を増す」，③ make sure「（~を）確かめる（of）」

740 **invent** ~「（口実など）をでっち上げる」（= **make up** ~ ➲ 901）
▶ invent は「（新しいもの・方法など）を発明する / 創作する」の意味だが，軽蔑的なニュアンスを含めて，「（口実・うそなど）をでっち上げる」の意味で使うことがある。

Theme 186

□□□ **741** The news that her son was run over by a car (　　) her crazy.
① caused　② led　③ drove　④ took　（福岡大）

□□□ **742** 発展 This room (　　) a fine view of the mountain.　（神田外語大）
① sees　② takes　③ looks　④ commands

□□□ **743** Dave isn't (　　) the phone. He must be out.　（大阪学院大）
① answering　② calling　③ responding　④ talking

□□□ **744** 発展 It suddenly (　　) me that the boat might be washed away by the waves.
① noticed　② thought　③ struck　④ left　（日本大）

□□□ **745** 発展 To (　　) it clearly, he is wrong.
① put　② have　③ try　④ do　（東京工科大）

□□□ **746** 頻出 I instantly (　　) his face, but I couldn't remember his name.
① realized　② understood　③ acknowledged　④ recognized　（青山学院大）

□□□ **747** 彼が年老いた祖母をとてもよく世話しているのを見て，感動した。
I was deeply (m-　　) to see him taking very good care of his old grandmother.　（成城大）

□□□ **748** You look pale. Go and (　　) a doctor.
① meet　② see　③ listen　④ hear　（南山大）

□□□ **749** If you (　　) my advice, you will have no trouble.
① give　② ignore　③ follow　④ write　（中央大）

---

741 （③） 息子が車にひかれたという知らせで，彼女は気が動転した。
742 （④） この部屋からは山がよく見渡せる。
743 （①） デーブは電話に出ない。外出しているにちがいない。
744 （③） 突然，船が波に押し流されるかもしれないという考えが心に浮かんだ。
745 （①） はっきり言えば彼が間違っている。
746 （④） 彼の顔はすぐにわかったが，名前は思い出せなかった。
747 (moved)
748 （②） 顔色が悪いね。医者に行って診てもらいなさい。
749 （③） 私の忠告に従えば，何の苦労もしないだろう。

Theme 186 意外な意味を持つ他動詞 ②

741 **drive** ～「～を（…の状態に）する / 追いやる」
▶ 選択肢の中で SVOC（形容詞）の形をとるのは ③ drove だけ。
〈プラスα〉 drive A to *do*「A に～させる」/ drive A into B「A を B の状態に追いやる」も押さえておこう。
Hunger **drove** him **to** *steal* [**into** *stealing*].
（空腹に駆られて彼は盗みをした）

742 **command** ～「（風景など）を見渡す」
▶ **command a view of** ～「（場所などが）（景色など）を見渡す」

743 **answer** ～「（電話・ノックなど）に応答する」
▶ **answer the phone**「電話に出る」の表現が頻出。
〈選択肢〉 call ～ は「～に電話をかける」という意味なので，② は不可。respond to ～ で「～に応答する」の意味だが，×respond to the phone とは言わない。○respond to a question「質問に答える」のように使う。

744 **strike** ～「（考えなど）が～の心にふと浮かぶ」（= **occur to** ～ ➲ 1001）
▶ **It strikes A that** 節「～という考えが A（人）の心に浮かぶ」
〈プラスα〉 strike A as B「A に B であると思わせる」も押さえよう。
At first he **struck** me **as** a difficult person.
（最初は，彼を気難しい人だと思った）

745 **put** ～「～を言い表す / 表現する」（= **express**）
▶ **to put it clearly**「はっきり言えば」は独立不定詞。（➲ Theme 30）
cf. to put it briefly [simply]「手短に［簡単に］言えば」
▶ 通例 put it + 副詞(句)の形で用いる。it は前に出た文脈を表す it。
Let me **put** *it* (in) another way.（別の言い方で言ってみよう）

746 **recognize** ～「（前から知っている人・物）をそれと気づく［わかる］」
〈選択肢〉 ① realize は，あることに「気づく / 悟る」，③ acknowledge は，あることを「認める」という意味なので不可。

747 **move** ～「（人）を感動させる（⬅ 人の心を動かす）」（= **impress**）
▶ 本問は受身形。be moved (by ～)「（人が）（～で）感動する」

748 **see** ～「（医者など）に会って相談する / 診てもらう」（= **consult**）
▶ **see a doctor**「医者に診てもらう」
〈プラスα〉 同意表現の consult a doctor は堅い言い方。

749 **follow** ～「（指示など）に従う /（規則など）を守る」
〈発展〉 follow の「（人の言うこと・説明など）を理解する」という意味も頻出。
I don't quite **follow** you.（君の言っていることがよくわからない）

Theme 187

□□□ **750** 〔共通の 1 語を入れよ〕
(a) The current (　　　) on a loan is 3.5 percent.
(b) He showed a strong (　　　) in music from an early age. (立教大)

□□□ **751** I'm tired of talking about money. Let's change the (　　　).
① subject　② economy　③ suburb　④ substance (札幌大)

□□□ **752** 頻出 もしお金が問題でなければ，どういうところに住んでみたい？
If money were not an (i-　　　), where would you like to live? (中央大)

□□□ **753** 頻出 The teacher said there was still (　　　) room for improvement in my essay.
① a lot　② few　③ many　④ much (日本大)

□□□ **754** "Can you tell me where the station is?" "I'm sorry but I'm a (　　　) here."
① beginner　② regular　③ local　④ stranger (名城大)

□□□ **755** In many respects the new version is less good than the old one.
① admirations　② considerations
③ points　④ honors (中部大)

□□□ **756** 発展 Her ability to use English is marvelous.
= She has a good (　　　) of English.
① order　② demand　③ command　④ sense (近畿大)

750 (interest) (a) ローンの現在の利子は 3.5 パーセントである。
(b) 彼は幼いころから音楽に強い興味を示した。
751 (①) 私はお金の話に飽きた。話題を変えよう。
752 (issue)
753 (④) 先生は，私の小論にはまだ改善の余地がたくさんあると言った。
754 (④) 「駅がどこにあるか教えてください」「すみません。この辺は初めてなんです」
755 (③) 多くの点で新版は旧版ほどよくない。
756 (③) 彼女の英語の運用力はすばらしい。
彼女は英語を自由に操る。

Theme 187 意外な意味を持つ名詞 ①

750 **interest**「利子 / 〔通常 ~s〕利益；興味 / 関心」
▶ (b) show a strong interest in ~「~に強い興味を示す」

751 **subject**「話題（= topic）/ 主題；学科 / 科目」
〈選択肢〉② economy「経済」，③ suburb「郊外」，④ substance「物質」
〈語句〉be tired of ~「~にあきている / ~にうんざりしている」(➲ 1147)

752 **issue**「(緊急の) 問題（点）/ 論争点；発行」
〈語句〉would like to *do*「~したい」(➲ 80)

753 **room**「場所 / 空間 / 余地」(= **space**)
▶ room は「場所 / 空間 / 余地」の意味では不可算名詞。「多少」は much / little で表すので，④ much が正解。(➲ Theme 151)
〈選択肢〉② few，③ many は可算名詞の「多少」を表すので不可。
① a lot は，a lot of なら可。
〈プラスα〉**make room for** ~「~のために場所をあける」は頻出表現。
The girl **made room for** an old woman in the bus.
(少女はバスでおばあさんに席を譲った)(姫路獨協大)

754 **stranger**「(場所に) 不案内な人；見知らぬ人」
▶ I'm a stranger (around) here.（この辺りは初めてです）(➲ 1344(B))
▶ stranger には「見知らぬ人」の意味もある。
a perfect [complete / total] **stranger**「赤の他人」
〈選択肢〉② regular「常連 / レギュラー選手」，③ local「地元の住民」

755 **respect**「点」
▶ 名詞 respect は「尊敬」という意味の他，「点」という意味で用いられる。in this [every] respect「この[あらゆる]点で」などの形で使われることが多い。
〈選択肢〉① admiration「賞賛」，② consideration「熟慮」，④ honor「名誉 / 尊敬」

756 **command**「(特に語学などの) 運用力 / 自由に使いこなす能力」
▶ have a good command of English「英語を自由に操る / 英語が達者である」
〈選択肢〉① order「命令」，② demand「要求 / 需要」，④ sense「感覚」

Power Up! 166 その他の意外な意味を持つ名詞 ①

□ **game**「(猟の) 獲物；計画 / 策略」　□ **well**「井戸」
□ **gift**「才能 / 贈り物」　□ **bill**「法案 / 紙幣；勘定（書）」
□ **stage**「(変化・発達などの) 段階 / 時期 / 局面」(➲ 805)
□ **challenge**「やりがい（のある仕事）/（能力が試される）課題 / 問題」
I love my job because it's a **challenge**.
(私はやりがいがあるので自分の仕事が大好きです)(駒澤大)

□ **757** あなたの番です。

It's your (　　).　（高知大）

□ **758** 目的のためには手段を選ばない人もいる。

Some people are capable of doing anything to gain their (　　).

① close　② end　③ last　④ subject　（武蔵工大）

□ **759** 発展 昨年の夏は節電が至上命令だった。

It was (down / must / electricity / to cut / absolute / an / for us / on) consumption last summer.　（中央大）

□ **760** 〔共通の1語を選べ〕

(a) You will be (　　) if you hide in that cave.

(b) Please don't forget to lock the (　　) when you leave the office.

① safe　② sink　③ sound　④ sure　（立教大）

□ **761** 発展 It's a (　　) your wife couldn't come. I really wanted to meet her.

① harm　② shame　③ sorrow　④ trouble　（センター）

□ **762** 5ドル紙幣しかありません。おつりはいいです。

I only have a five-dollar bill. Keep the (c-　　).　（立命館大）

---

757 (turn)

758 (②)

759 It was (an absolute must for us to cut down on electricity) consumption last summer.

760 (①) (a) あのほら穴に隠れたら安全でしょう。

(b) 事務所を出るとき，忘れずに金庫にかぎをかけてください。

761 (②) あなたの奥さんが来られなかったのは残念です。私は本当にお会いしたかった。

762 (change)

Theme 188 意外な意味を持つ名詞 ②

757 **turn**〔通例 *one's* ～〕「順番」

〈プラスα〉「順番」の意味が take turns *doing*「交替で～する」(➲ 602), in turn「今度は / 順番に (= by turns)」(➲ 1209) などの熟語で頻出する。

758 **end**「(究極的な) 目的 (purpose) / 目標 (aim)」(⇔ **means**「手段」➲ 603)

〈選択肢〉① close「(活動・期間の) 終わり / 最後」, ③ last「(*one's* ～) 臨終」, ④ subject「話題 / 主題 / 問題」

759 **a must**「(絶対) 必要なもの [こと] / 必見 [必読 / 必修] のもの [こと]」

▶「至上命令」➡「絶対やるべきこと」。名詞として must を使って文を完成させる。

This course is a **must** for all students.（この科目は全学生必修です）

〈語句〉cut down on ～「～を減らす」(➲ 910)

760 **safe**「金庫」

▶ (b) の safe は形容詞「安全な」ではなく，「金庫」の意味の名詞。

761 **shame**〔通例 a ～〕「残念なこと / 遺憾なこと」(= **pity**)

〈選択肢〉① harm「(損)害 / 不都合」。③ sorrow には「悲しみ」の他に「残念 / 遺憾」の意味もあるが，その場合は不可算名詞なので a はつかない。④ trouble「困ったこと」

762 **change**「小銭 / つり銭」

▶ Keep the change.（おつりは取っておいてください）

〈語句〉a five-dollar bill「5ドル紙幣」――「数詞 + − + 名詞」が他の名詞を修飾する場合は，その複数名詞は単数名詞に変わることに注意。

She is only a three-*year*-old girl.（彼女はたった3歳の少女にすぎない）

cf. She is only three *years* old.

Power Up! 167 その他の意外な意味を持つ名詞 ②

□ **copy**「(本・雑誌・新聞などの) 部 / 冊」

I need two **copies** of today's paper.（今日の新聞が2部必要だ）

□ **word**「約束」(= promise)

He is a man of his **word**.（彼は約束を守る人です）（駒澤大）

keep [break] *one's* **word**「約束を守る [破る]」

□ **will**「遺言書 / 意志」

He rewrites his **will** every year.（彼は毎年遺言書を書き直す）

□ **dish**「(皿に盛った) 料理 / 一皿分 (の料理)」

one's favorite **dish**「～の好きな料理 / 好物」

□ **picture**「(テレビ・映画の) 映像 / 画面 / 画像」

My TV set is almost 15 years old, but it still has a good **picture**.

（私のテレビは15年近くも前のものだが，まだ映りはいい）（センター）

Theme 189

□□□ **763** I would feel scared to drive in this (　　) traffic.
① constant　② heavy　③ smooth　④ frequent　(川崎医大)

□□□ **764** I tried to call you up, but the line was (　　).
① busy　② talking　③ heavy　④ much　(九州産業大)

□□□ **765** The shop handling imported brands seeks the (　　) fashion.
① last　② latter　③ latest　④ late　(高知大)

□□□ **766** The firefighter barely escaped death at the fire.
= The firefighter had a (　　) escape from death at the fire.
① narrow　② quick　③ short　④ clean　(関西学院大)

□□□ **767** Something's wrong with the car! We must have a (　　) tire.
① broken　② dead　③ flat　④ weak　(センター)

□□□ **768** I like my coffee (　　).
① light　② soft　③ thin　④ weak　(津田塾大)

Power Up! 168 「濃い / 薄い」を表す形容詞

「濃い」⇔「薄い」
□ **strong** ⇔ **weak** ── 飲み物〔coffee / tea / alcohol など〕
□ **thick** ⇔ **thin** ── 濃度・密度〔soup / fog / hair など〕
□ **deep** ⇔ **light** ── 色〔blue / green / color など〕

＊ 霧の「濃い」は dense / heavy も可。
a heavy [a dense / ×a deep] fog [mist]「濃い霧」
＊ 色彩語の前では「濃い」は dark も可。
a dark green car「濃い緑色の車」

763 （②） こんな交通量の多いところでは怖くて運転できないだろう。
764 （①） あなたに電話しようとしたが，話し中でした。
765 （③） 輸入ブランドを扱っているその店は，最新のファッションを求めている。
766 （①） 消防士はその火災で九死に一生を得た。
767 （③） どこか車の調子が悪い。タイヤがパンクしたにちがいない。
768 （④） 私のコーヒーは薄くしてください。

Theme 189 意外な意味を持つ形容詞

763 heavy traffic「多い交通量」⇔ **light traffic**「少ない交通量」
▶「(交通量の) 多い / 少ない」は heavy / light で表す。
The traffic is **heavy** [**light**] on the street.
(その通りは交通量が多い [少ない])
〈選択肢〉① constant「絶え間のない」，③ smooth「なめらかな」，④ frequent「頻繁な」
〈語句〉be [feel] scared to *do*「怖くて～できない」

764 the line is busy「お話し中です」(➲ 1342)
▶ busy には「(電話が) 話し中で / 使用中で」の意味がある。
The line is busy. は「お話し中です」という意味の決まり文句。

765 the latest fashion「最新のファッション」
▶ latest は限定用法の形容詞として「最新の」という意味を表す。(➲ Power Up! 38)
the **latest** news「最新のニュース」, his **latest** novel「彼の最新の小説」
〈選択肢〉② the latter「後者の」(➲ 205)，④ the late「故～」
〈語句〉現在分詞の handling は，imported brands「輸入ブランド」という目的語を伴っているので，修飾する名詞 shop の後ろに置かれている。(➲ 136)

766 have a narrow escape「やっとのことで逃れる / 九死に一生を得る」
(= **narrowly** [**barely**] **escape**)
▶ narrow には「狭い」の他に，「辛うじての / ぎりぎりの」という意味がある。
a **narrow** victory「辛勝」，win by a **narrow** margin「僅差で勝つ」
〈語句〉barely「辛うじて (～する)」(= narrowly)

767 have [get] a flat tire「(車のタイヤが) パンクする」
▶ 形容詞 flat には「平らな」という意味の他に「(タイヤ・風船などが) 空気の抜けた / パンクした」の意味がある。
〈語句〉Something is wrong with ～.「～はどこか具合が悪い」(➲ 333)

768 I('d) like my coffee weak. (➲ 1354(B))
「私のコーヒーは薄くしてください」〔注文する場合〕
▶ weak には，「(飲み物が) 薄い」の意味がある。反意語は strong「濃い」。
I like **strong** [**weak**] coffee.〔習性として述べる場合〕
(コーヒーは濃い [薄い] のが好きです)
〈選択肢〉① light「(色が) 薄い」，② soft「(食べ物が) 味の薄い」，③ thin「(物・液体・霧などが) 薄い」(➲ Power Up! 168)

Theme 190

□□□ **769** The woman checked if there were any seats (　　) on the flight.
頻出
① available　② frequent　③ offensive　④ successful　(立命館大)

□□□ **770** 手ごろな値段で新車を手に入れた。
I bought a new car at a (r-　　) price.　(早大)

□□□ **771** The beef was so (　　) that I could not cut it with my knife.
① dark　② flat　③ tender　④ tough　(立命館大)

□□□ **772** Sarah is always able to answer the teacher's questions. She is such a (　　) girl.
① dependent　② lazy　③ shy　④ smart　(センター)

□□□ **773** 〔共通の1語を入れよ〕
(a) The movie will start at 14:00 (　　).
(b) Make a (　　) left turn at the corner.　(国士舘大)

□□□ **774** I am afraid my watch is three minutes (　　).
① fast　② rapid　③ earlier　④ quick　(札幌大)

□□□ **775** The tired boy is (　　) asleep.
① fast　② most　③ much　④ quick　(京都女子大)

□□□ **776** I can't go to the meeting tomorrow. Susan told me you can't (　　).
頻出
① too　② neither　③ either　④ also　(芝浦工大)

······································

769 (①) その女性は飛行機に空席があるかどうか調べた。
770 (reasonable)
771 (④) その牛肉はかたすぎてナイフで切れなかった。
772 (④) サラはいつも先生の質問に答えることができる。彼女はとても利口な女の子です。
773 (sharp) (a) 映画は午後2時ちょうどに始まります。
(b) その角を急角度で左折しなさい。
774 (①) 私の時計は3分進んでいると思います。
775 (①) その疲れた少年はぐっすり眠っている。
776 (③) 私は明日会合に行けない。スーザンが，あなたも行けないと言っていた。

Theme 190 意外な意味を持つ形容詞・副詞

769 available「入手できる / 利用できる」

〈選択肢〉② frequent「頻繁な」, ③ offensive「不快な」, ④ successful「成功した」

〈プラスα〉available の「(人が) 手があいている / 暇である / 面会できる」の意味も重要。

I am **available** the day after tomorrow.
(明後日ならあいています) (中央大)

770 reasonable「(料金などが) 手ごろな / 妥当な」

▶ reason「理性 / 道理」➡ reasonable「理にかなった ➡ 妥当な / 手ごろな」

771 tough「(肉などが) かたい」⇔ **tender**「やわらかい」

▶ 食べ物，特に肉の「かたい / やわらかい」は tough / tender で表す。

a **tough** [**tender**] steak「かたい [やわらかい] ステーキ」

772 smart「頭の良い / 利口な」

▶ smart は主に「頭の良い / 利口な」の意味。身体つきが「スマートな / ほっそりした」は slender / slim を使う。

〈選択肢〉① dependent「頼っている」, ② lazy「怠惰な」, ③ shy「内気な」

773 sharp「(…時) きっかりに / ちょうどに；急な / 急激な」

▶ (a) 副詞 sharp は時刻を示す語の後につけて「(…時) きっかりに / ちょうどに」(= exactly / just / on the dot) の意味を表す。

at four **sharp** [**on the dot**] = at **exactly** [**just**] four「4時きっかりに」

▶ (b) 形容詞 sharp には「(回転・カーブ・変化などが) 急な」という意味がある。

The political situation took a **sharp** turn for the worse.
(政治情勢が急激に悪化した) (藤女子大)

774 fast「(時計が) 進んで」⇔ **slow**「(時計が) 遅れて」

▶ 時計の「進んで / 遅れて」は fast / slow で表す。

I found that the clock was **slow**.
(気がつくと時計は遅れていた) (南山大)

〈選択肢〉② rapid「速い / 敏速な」, ③ earlier「(現在より) 以前の」, ④ quick「機敏ですばやい」

775 fast「ぐっすり」

▶ 副詞の fast には「(動作が) 速く」の意味の他に「ぐっすりと」の意味がある。

fast asleep「ぐっすり眠って」(= sound asleep)

776 either〔否定文で〕「～もまた (…でない)」

▶ (　) の前が you can't (go to the meeting tomorrow) という否定文なので，③ either が正解。

〈選択肢〉肯定文で用いる ① too, ④ also は不可。

I think so **too**. = I **also** think so. (私もそう思います)
ただし，also can't の語順なら also は否定文でも使える。

第21章 重要同意語

Theme 191

□□□ **777** It took me a long time to acquire the skills to become a professional interpreter. （清泉女子大）
① require ② obtain ③ request ④ accept

□□□ **778** 発展 Everyone in the class anticipates that there will be many problems with the new project. （関東学院大）
① suggests ② recommends ③ explores ④ expects

□□□ **779** I cannot identify which substances cause my allergies. （関西外語大）
① report ② experience ③ determine ④ experiment

□□□ **780** Such studies have helped to convince Katie and others that reduced sleep causes weight problems, not the reverse. （上智大）
① remind ② persuade ③ notify ④ admonish

□□□ **781** 発展 Forests vanish mainly when humans cut or burn them. （京都工芸繊維大）
① appear ② disappear ③ extend ④ open

□□□ **782** 発展 Using mobile phones in class has been banned in our school.
① approved ② prohibited ③ provided ④ admitted （明海大）

□□□ **783** It is a well-known fact that smoking seriously affects the functioning of the heart and lungs. （東京理科大）
① helps ② fulfills ③ denies ④ influences

··

777 （②） プロの通訳になるための技能を身につけるのにずいぶん時間がかかった。
778 （④） クラスの誰もが，新しい学習課題にはたくさんの問題が出てくるだろうと予想している。
779 （③） どの物質が私のアレルギーを引き起こすのか特定できない。
780 （②） このような研究は，ケイティや他の人々に，睡眠時間の減少が体重の問題を引き起こすのであって，その逆ではないと納得させるのに役立ってきた。
781 （②） 森林は主に人間がそれを伐採したり焼きはらったりする場合に消滅する。
782 （②） 私たちの学校では授業中に携帯電話を使うことは禁止されている。
783 （④） 喫煙が心臓や肺の機能に重大な影響を与えることはよく知られている事実だ。

Theme 191 重要同意語 ―― 動詞 ①

777 **acquire ～ = obtain ～**「～を得る / ～を身につける」（= **gain / come by ～**）
〈選択肢〉① require「～を必要とする」，③ request「～を要請する」，④ accept「～を受け入れる」

778 **anticipate ～ = expect ～**「～を予想［予期］する / ～を楽しみに待つ（= **look forward to ～**）」
〈選択肢〉① suggest「～を提案する」，② recommend「～を推薦する」，③ explore「～を探検する / ～を調査する」
〈語 句〉project「計画 /（生徒の）学習課題」

779 **identify ～ = determine ～**「～を特定する / ～を確認する」
〈選択肢〉① report「～を報告する」，② experience「～を経験する」，④ experiment「～を実験する」

780 **convince ～ = persuade ～**「～を納得させる / ～を確信させる」
〈選択肢〉① remind「～に思い出させる」，③ notify「～に知らせる」，④ admonish「～に忠告する / 勧告する」
〈語 句〉the reverse「逆 / 反対（= the opposite）」

781 **vanish = disappear**「（急に）消える / 姿を消す」
〈選択肢〉① appear「現れる」，③ extend「広がる」，④ open「開く / 広がる」

782 **ban ～ = prohibit ～**「～を禁止する」（= **forbid**）
〈選択肢〉① approve「～を認める」，③ provide「～を与える」，④ admit「（仕方なく）～を認める」
〈語 句〉mobile phone「携帯電話」（《米》= cellular phone = cellphone）

783 **affect ～ = influence ～**「～に影響を与える」（= **impact**）
〈選択肢〉② fulfill「（義務・約束）を果たす」，③ deny「～を否定する」

Power Up! 169 同意語問題に頻出する動詞 ①

「得る」：□ **acquire**（➲ 777） □ **obtain**（➲ 777） □ **gain** □ **get**
「予想する」：□ **anticipate**（➲ 778） □ **expect**（➲ 778）
「特定する」：□ **identify**（➲ 779） □ **determine**（➲ 779）
「納得させる」：□ **convince**（➲ 780） □ **persuade**（➲ 780）
「消える」：□ **vanish**（➲ 781） □ **disappear**（➲ 781）（= **be gone**）
「禁止する」：□ **ban**（➲ 782） □ **prohibit**（➲ 782） □ **forbid**
「影響を与える」：□ **affect**（➲ 783） □ **influence**（➲ 783） □ **impact**

Theme 192

□ **784** The boss dismissed the lazy boy at once.
□ 発展
□ ① employed ② canceled ③ fired ④ omitted （姫路獨協大）

□ **785** The boy sang loudly, trying to overcome his fear of the darkness.
□
□ ① undergo ② move ③ overlook ④ conquer （清泉女子大）

□ **786** Is it really possible to predict an earthquake with the latest high-tech advances?
□
□ ① develop ② forecast ③ prevent ④ observe （上智大）

□ **787** You cannot emphasize the point too much.
□ 頻出
□ ① stress ② abbreviate ③ eliminate ④ locate （中央大）

□ **788** The man at the service center said he could not fix my car.
□
□ ① repair ② attach ③ make ④ secure （東海大）

□ **789** Mr. Smith is the one who founded the organization. That's why it is called Smith Club. （清泉女子大）
□
□ ① measured ② opposed ③ established ④ discovered

□ **790** The art gallery will exhibit some of Picasso's paintings.
□
□ ① sell ② purchase ③ display ④ collect （関西外語大）

□ **791** Marilyn asked me so charmingly that I could hardly refuse her request.
□
□ ① withdraw ② meet ③ approve ④ decline （清泉女子大）

□ **792** I often overlook mistakes I make while proofreading.
□
□ ① miss ② search ③ find ④ notice （関西外語大）

......

784 （③） 雇い主はその怠け者の少年をすぐに首にした。
785 （④） その少年は，暗やみへの恐怖心に打ち勝とうとして，大声で歌った。
786 （②） 最新のハイテクの進歩によって，地震を予測することは本当に可能ですか。
787 （①） その点はいくら強調してもしすぎることはない。
788 （①） サービスセンターの男は，私の車は修理できないと言った。
789 （③） スミス氏はその団体の設立者です。そういうわけで，スミスクラブと呼ばれています。
790 （③） その画廊はピカソの絵画をいくつか展示する予定だ。
791 （④） マリリンはとてもチャーミングに私に頼んだので，彼女の頼み事を断れなかった。
792 （①） 校正をしているとき，私は自分で犯した間違いをよく見落とす。

Theme 192 重要同意語 ── 動詞 ②

784 **dismiss** ～ = **fire** ～「～を解雇する」（= **discharge**）
〈選択肢〉① employ「～を雇う」，② cancel「～を取り消す / 中止する」，④ omit「～を除外する / 省略する」

785 **overcome** ～ = **conquer** ～「～に打ち勝つ / ～を克服する」（= **get over** ～）
〈選択肢〉① undergo「～を経験する」，③ overlook「～を見落とす」

786 **predict** ～ = **forecast** ～「～を予言する / ～を予測する」（= **foretell**）
〈選択肢〉① develop「～を開発する」，③ prevent「～を妨げる」，④ observe「～を観察する」

787 **emphasize** ～ = **stress** ～「～を強調する」
〈選択肢〉② abbreviate「～を省略する」，③ eliminate「～を削除する」，④ locate「～の位置を探し当てる」
〈語 句〉cannot ～ too ...「いくら…してもしすぎることはない」（➲ 73）

788 **fix** ～ = **repair** ～「～を修理する」（= **mend**）
〈選択肢〉② attach「～を付ける」，④ secure「～を獲得する / 安全にする」

789 **found** ～ = **establish** ～「～を設立する / ～を創立する」
〈選択肢〉① measure「～を測る」，② oppose「～に反対する」
〈語 句〉That's why 節「そういうわけで～」（➲ 370）

790 **exhibit** ～ = **display** ～「～を展示する」
〈選択肢〉② purchase「～を購入する」，④ collect「～を集める」

791 **refuse** ～ = **decline** ～「～を拒絶する」（= **turn down** ～ ➲ 935）
〈選択肢〉① withdraw「～をひっこめる」，③ approve「～に賛成する」

792 **overlook** ～ = **miss** ～「～を見落とす」
〈選択肢〉② search「～を捜索する」，④ notice「～に気づく」

Power Up! 170 同意語問題に頻出する動詞 ②

「解雇する」：	□ **dismiss**（➲ 784）	□ **fire**（➲ 784）	□ **discharge**
「打ち勝つ」：	□ **overcome**（➲ 785）	□ **conquer**（➲ 785）	□ **defeat**
「予測する」：	□ **predict**（➲ 786）	□ **forecast**（➲ 786）	□ **foretell**
	□ **prophesy**		
「強調する」：	□ **emphasize**（➲ 787）	□ **stress**（➲ 787）	
「修理する」：	□ **fix**（➲ 788）	□ **repair**（➲ 788）	□ **mend**
「設立する」：	□ **found**（➲ 789）	□ **establish**（➲ 789）	
「展示する」：	□ **exhibit**（➲ 790）	□ **display**（➲ 790）	□ **show**
「拒絶する」：	□ **refuse**（➲ 791）	□ **decline**（➲ 791）	□ **reject**
「見落とす」：	□ **overlook**（➲ 792）	□ **miss**（➲ 792）	

□□□ **793** As I mentioned earlier, you will have a test next Friday.
① investigated ② remarked ③ recited ④ anticipated （東海大）

□□□ **794** 発展 The police will never bother you unless you break the law.
① arrest ② attack ③ grab ④ trouble （専修大）

□□□ **795** He was reared as a Catholic.
① admitted ② regarded ③ raised ④ struck （関西外語大）

□□□ **796** 発展 She returned and interrupted his reading to ask how the children were.
① destroyed ② interpreted ③ opposed ④ disturbed （同志社大）

□□□ **797** 発展 The first duty of the state is to ensure that people have enough to eat.
① presume ② assume
③ acknowledge ④ guarantee （関西外語大）

□□□ **798** I could see from the direction of his gaze that he was looking at my new car.
① tell ② watch ③ consider ④ focus （関西外語大）

□□□ **799** 発展 He could not conceal his true feelings when we spoke.
① reveal ② trust ③ confess ④ hide （中央大）

793 （②） 先ほども言いましたが，次の金曜日にテストをします。
794 （④） 法律を破らない限り，警察はあなたに面倒をかけたりはしない。
795 （③） 彼はカトリック教徒として育てられた。
796 （④） 彼女は戻って来て，子供たちはどうしているかと尋ねて，彼の読書の邪魔をした。
797 （④） 国の一番の義務は，人々が食べ物を十分に手に入れられるように保証することだ。
798 （①） 彼のじっと見ている方向から，彼が私の新車を見ているのがわかった。
799 （④） 話をしたとき，彼は本当の気持ちを隠すことができなかった。

Theme 193 重要同意語 ── 動詞 ③

793 **mention** ～ = **remark** ～「～と言う / 述べる」
〈選択肢〉 ① investigate「～を調査する」，③ recite「～を暗唱する」，
④ anticipate「～を予期する」

794 **bother** ～ = **trouble** ～「～を悩ませる / ～を困らせる」
〈選択肢〉 ① arrest「～を逮捕する」，② attack「～を攻撃する」，
③ grab「～をつかむ」
〈語 句〉 police「警察(官)」は，常に複数扱い。(The police are (×is) ...)

795 **rear** ～ = **raise** ～「～を育てる」(= **bring up** ➲ 900)
〈選択肢〉 ① admit (A as B)「(A を B と) 認める」，② regard (A as B)「(A を B と) みなす」，④ strike (A as B)「(A に B だと) 思わせる」

796 **interrupt** ～ = **disturb** ～「～を邪魔する / ～を中断させる」
〈選択肢〉 ① destroy「～を破壊する」，② interpret「～を通訳する」，
③ oppose「～に反対する」

797 **ensure** ～ = **guarantee** ～「～を確実にする / ～を保証する」
〈選択肢〉 ① presume「～を推定する」，② assume「～だと仮定する」，
③ acknowledge「～を認める」

798 **see** ～ = **tell** ～「～を理解する / ～がわかる」(= **understand**)
▶ can tell that ～ の形で「～ということがわかる」という意味になり，see とほぼ同意。
〈選択肢〉 ② watch「～を注意して見る」，③ consider「～をよく考える」，
④ focus「～の焦点を (…に) 合わせる」

799 **conceal** ～ = **hide** ～「～を隠す」
〈選択肢〉 ① reveal「～を暴露する」，② trust「～を信用する」，
③ confess「～を白状する」

Power Up! 171 同意語問題に頻出する動詞 ③

「言う」：	□ **mention**(➲ 793)	□ **remark**(➲ 793)	
「困らせる」：	□ **bother**(➲ 794)	□ **trouble**(➲ 794)	
「育てる」：	□ **rear**(➲ 795)	□ **raise**(➲ 795)	
「邪魔する」：	□ **interrupt**(➲ 796)	□ **disturb**(➲ 796)	□ **interfere**
「確実にする」：	□ **ensure**(➲ 797)	□ **guarantee**(➲ 797)	
「理解する」：	□ **see**(➲ 798) □ **comprehend**	□ **tell**(➲ 798)	□ **understand**
「隠す」：	□ **conceal**(➲ 799)	□ **hide**(➲ 799)	

Theme 194

□□□ **800** 発展 The employees at the company cannot start a new project without the president's approval. (清泉女子大)

① consent ② suggestion ③ advice ④ opinion

□□□ **801** 発展 The situation in that part of the world is a real menace to world peace.

① hope ② threat ③ realization ④ insurance (上智大)

□□□ **802** 頻出 Everyone recovered from the disease within two weeks.

① diet ② exercise ③ illness ④ operation (東海大)

□□□ **803** One barrier to world peace is the nuclear arms issue.

① place ② end ③ contribution ④ obstacle (長崎大)

□□□ **804** One characteristic of the ocean that you can experience yourself is waves. (静岡理工科大)

① feature ② personality ③ movement ④ measurement

□□□ **805** 発展 The election campaign has now entered a critical phase.

① end ② ladder ③ stage ④ word (中部大)

□□□ **806** 発展 After talking over the problem with various friends, she realized her perspective had changed. (東洋英和女学院大)

① decision ② preference ③ aspect ④ viewpoint

□□□ **807** The scarcity of oil caused the price to rise. (聖マリアンナ医大)

① abundance ② difficulty ③ sufficiency ④ shortage

……

800 （①） その会社の従業員は社長の承認なしには新しいプロジェクトを始めることができない。
801 （②） その地域の情勢は世界平和にとって本当に脅威となっている。
802 （③） 全員が２週間以内に病気が治った。
803 （④） 世界平和を妨げる１つの障害は，核兵器の問題です。
804 （①） 自ら体験することのできる海の特徴の一つは，波である。
805 （③） 選挙運動は，今や重大な段階に入った。
806 （④） その問題についてさまざまな友達と話し合った後，彼女は自分の見方が変わったことに気づいた。
807 （④） 石油の不足がその価格を上げた。

Theme 194 重要同意語 ── 名詞 ①

800 **approval** = **consent**「承認 / 賛成」

〈選択肢〉② suggestion「提案」，③ advice「忠告 / 助言」，④ opinion「意見」

801 **menace** = **threat**「脅威」

〈選択肢〉③ realization「認識 / 実現」，④ insurance「保険」

802 **disease** = **illness**「病気」（= **sickness**）

〈選択肢〉① diet「食事」，② exercise「運動」，④ operation「手術」

803 **barrier** = **obstacle**「障害」（= **hindrance**）

〈選択肢〉② end「終わり / 目的」，③ contribution「寄与 / 貢献」

〈語 句〉the nuclear arms issue「核兵器の問題」

804 **characteristic** = **feature**「特徴」（= **trait**）

〈選択肢〉② personality「性格 / 個性」，③ movement「動き」，④ measurement「寸法 / 測量」

805 **phase** = **stage**「段階 / 局面」

▶ stage は「舞台 / ステージ」の意味よりも「(変化・発達の) 段階 / (過程などにおける) 局面」の意味が重要。(➲ Power Up! 166)

〈選択肢〉① end「終わり / 結末」，② ladder「はしご / 階段」

806 **perspective** = **viewpoint**「観点 / (バランスのとれた) 見方 / (将来の) 展望」

〈選択肢〉① decision「決意」，② preference「好み」，③ aspect「側面 / 様相」

807 **scarcity** = **shortage**「不足」（= **insufficiency**）

〈選択肢〉① abundance「豊富」，③ sufficiency「十分 (なこと / な量)」

〈語 句〉cause A to *do*「(主語が原因となって) A は～する」(➲ 545)

Power Up! 172 同意語問題に頻出する名詞 ①

「承認」：	□ **approval**(➲ 800)	□ **consent**(➲ 800)	
「脅威」：	□ **menace**(➲ 801)	□ **threat**(➲ 801)	
「病気」：	□ **disease**(➲ 802)	□ **illness**(➲ 802)	□ **sickness**
「障害」：	□ **barrier**(➲ 803)	□ **obstacle**(➲ 803)	□ **hindrance**
「特徴」：	□ **characteristic**(➲ 804)	□ **feature**(➲ 804)	□ **trait**
「段階」：	□ **phase**(➲ 805)	□ **stage**(➲ 805)	
「見方」：	□ **perspective**(➲ 806)	□ **viewpoint**(➲ 806)	□ **view**
「不足」：	□ **scarcity**(➲ 807)	□ **shortage**(➲ 807)	□ **insufficiency**
「名声」：	□ **fame**	□ **reputation**	
「能力」：	□ **capacity**	□ **ability**	□ **faculty**

Theme 195

□□□ 808 Whenever I met anyone whom I thought to be of any consequence, I did my best to learn something from him. (慶應大)
① confidence ② experience ③ reliance ④ significance

□□□ 809 This corner should make a good site for a fast food restaurant. (東海大)
① symbol ② profit ③ location ④ advertisement

□□□ 810 発展 When he was a manager, his first accomplishment was to create better working conditions. (西南学院大)
① plan ② achievement ③ defeat ④ responsibility

□□□ 811 We haven't found any evidence to hold him responsible.
① sample ② proof ③ explanation ④ witness (阪南大)

□□□ 812 "What are some of the benefits of walking?" (秋田県立大)
"In general, walking helps you keep fit and makes you happy."
① customs ② advantages ③ rules ④ traditions

□□□ 813 We have a scheme for finishing the assignments by next month.
① rule ② plan ③ deadline ④ margin (東海大)

808 (④) 重要だと思う人に会うときはいつも，私はその人から何かを学ぼうとできる限り努めた。
809 (③) この角地はきっとファーストフード店に適した用地になるだろう。
810 (②) 彼が支配人だったとき，彼が最初に達成したことは，より良い労働環境をつくり出すことだった。
811 (②) 彼に責任があると考える証拠は何も見つかっていない。
812 (②) 「歩くことの利点にはどういうことがありますか」
「一般的に，歩くことは健康維持に役立ち，楽しくなります」
813 (②) 来月までにその仕事を終える計画です。

Theme 195 重要同意語 —— 名詞 ②

808 consequence = significance「重要さ / 重大さ」(= **importance**)
〈プラスα〉 consequence は「結果（= result）/ 影響（= effect）」の意味も重要。
The governor wanted time to study the *consequences* of global warming.（= effects）
（知事は地球温暖化の影響を調べる時間が欲しかった）(会津大)
〈選択肢〉 ① confidence「自信」, ② experience「経験」, ③ reliance「頼ること」
〈語 句〉 of consequence「重要な」(= consequential / significant / important)
—— of + 抽象名詞 = 形容詞（➲ 710）

809 site = location「用地」(= **lot**)
〈選択肢〉 ① symbol「象徴」, ② profit「利益」, ④ advertisement「広告」
〈語 句〉 make A for B「B にとって A になる」(= make BA)
She will **make** a good wife **for** him. = She will make him a good wife.
（彼女は彼のいい奥さんになるだろう）

810 accomplishment = achievement「達成 / 業績」
▶ 動詞は accomplish「～を成し遂げる / ～を達成する」(= achieve)。
〈選択肢〉 ③ defeat「敗北 / 挫折」, ④ responsibility「責任」

811 evidence = proof「証拠」
〈選択肢〉 ① sample「見本」, ③ explanation「説明」, ④ witness「目撃者」
〈語 句〉 hold A (to be) B「A を B と考える / みなす」(➲ 737)

812 benefit = advantage「利点」
〈選択肢〉 ① custom「習慣」, ③ rule「規則」, ④ tradition「伝統 / しきたり」
〈語 句〉 keep fit「健康［体調］を維持する」

813 scheme = plan「計画」
〈選択肢〉 ③ deadline「締め切り」, ④ margin「余白 / 余裕」
〈語 句〉 assignment「仕事 / 任務 / 宿題」

Power Up! 173 同意語問題に頻出する名詞 ②

「重要さ」:	□ **consequence**(➲ 808)	□ **significance**(➲ 808)	□ **importance**
「用地」:	□ **site**(➲ 809)	□ **location**(➲ 809)	□ **lot**
「達成」:	□ **accomplishment**(➲ 810)	□ **achievement**(➲ 810)	
「証拠」:	□ **evidence**(➲ 811)	□ **proof**(➲ 811)	
「利点」:	□ **benefit**(➲ 812)	□ **advantage**(➲ 812)	
「計画」:	□ **scheme**(➲ 813)	□ **plan**(➲ 813)	
「運命」:	□ **destiny**	□ **fate**	□ **doom**
「目的」:	□ **purpose**	□ **aim**	□ **object**

Theme 196

□□□ **814** 頻出
Can you give me an accurate description of the person who came to the door? （東洋英和女学院大）
① a brief　② a challenging　③ a precise　④ a satisfying

□□□ **815** 頻出
An understanding of different cultures is indispensable to the promotion of tourism.
① unnecessary　② essential　③ added　④ due （中央大）

□□□ **816**
The evidence showed it was obvious that Jack was capable of winning the race.
① possible　② fearful　③ uncertain　④ clear （東海大）

□□□ **817** 発展
Every decent man has a number of secrets which he is afraid to tell even to his friends.
① proud　② respectable　③ suspicious　④ vulgar （北里大）

□□□ **818**
There is an enormous shopping mall in this city.
① insignificant　② immense　③ imperfect　④ indoor （東海大）

□□□ **819** 発展
The curtain had an elaborate pattern of flowers. （関西外語大）
① a splendid　② a simple　③ a tiny　④ a complicated

□□□ **820**
It's very important to get sufficient information before making your final decision. （愛知学院大）
① careful　② efficient　③ enough　④ following

……

814 （③） 訪ねてきた人物を，私に正確に描写［説明］することができますか。
815 （②） 観光事業を進めるうえで，異文化への理解が不可欠である。
816 （④） ジャックがそのレースに勝てることが明白なことをその証拠が示していた。
817 （②） きちんとした人でも皆，友だちにさえ怖くて言えないような秘密をいくつか抱えている。
818 （②） この町には巨大なショッピングモールがある。
819 （④） そのカーテンには凝った花柄模様があった。
820 （③） 最終的に決める前に十分な情報を入手することがとても重要です。

Theme 196 重要同意語 —— 形容詞 ①

814 **accurate** = **precise**「正確な」
〈選択肢〉① brief「簡潔な」，② challenging「やりがいのある」，④ satisfying「満足な」

815 **indispensable** = **essential**「不可欠な / 絶対必要な」(= **necessary**)
〈選択肢〉① unnecessary「不必要な」，③ added「加えられた」，④ due「当然支払われるべき」

816 **obvious** = **clear**「明白な」(= **evident**)
〈選択肢〉② fearful「心配して」，③ uncertain「確かでない」

817 **decent** = **respectable**「(社会的に) まともな / きちんとした」
▶ respectable は「(社会的・道徳的に) 品のよい / きちんとした」の意味で，decent と同意。「尊敬」の意味は薄れている。(➲ 874 ③)
decent［respectable］ clothes「きちんとした服装」
〈選択肢〉③ suspicious「疑い深い」，④ vulgar「下品な / 粗野な」

818 **enormous** = **immense**「巨大な」(= **huge**)
〈選択肢〉① insignificant「取るに足りない」，③ imperfect「不完全な」

819 **elaborate** = **complicated**「凝った / 複雑な」(= **complex**)
〈選択肢〉① splendid「すばらしい」，③ tiny「とても小さい」

820 **sufficient** = **enough**「十分な」(= **adequate**)
▶ sufficient / enough / adequate は「(必要を満たすのに) 十分な / 足りるだけの」という意味で，「あり余るほどの」という意味ではない。
〈選択肢〉② efficient「効率的な」，④ following「次の」

Power Up! 174 同意語問題に頻出する形容詞 ①

「正確な」：	□ **accurate**(➲ 814)	□ **precise**(➲ 814)	
「不可欠な」：	□ **indispensable**(➲ 815)	□ **essential**(➲ 815)	
	□ **necessary**		
「明白な」：	□ **obvious**(➲ 816)	□ **clear**(➲ 816)	□ **evident**
「きちんとした」：	□ **decent**(➲ 817)	□ **respectable**(➲ 817)	
「巨大な」：	□ **enormous**(➲ 818)	□ **immense**(➲ 818)	□ **huge**
「複雑な」：	□ **elaborate**(➲ 819)	□ **complicated**(➲ 819)	
	□ **complex**		
「十分な」：	□ **sufficient**(➲ 820)	□ **enough**(➲ 820)	□ **adequate**
「信じられない」：	□ **incredible**	□ **unbelievable**	

Theme 197

□□□ 821 An inexperienced pilot is a potential danger.
① possible ② definite ③ preferred ④ whole （長崎大）

□□□ 822 **発展** There is an abundant supply of food in case of unexpected disaster.
① a decreasing ② a plentiful
③ an increasing ④ a scarce （関西外語大）

□□□ 823 **発展** There are some urgent questions for us to discuss. （愛知工大）
① desirable ② pressing ③ difficult ④ complicated

□□□ 824 **発展** The Native Americans consider this area sacred.
① dangerous ② beautiful ③ frightening ④ holy （清泉女子大）

□□□ 825 **発展** Quick decisions are crucial in an emergency situation.
① equal ② minor ③ vital ④ natural （明海大）

□□□ 826 He played a major role in the movie. （東海大）
① conventional ② subordinate ③ principal ④ customary

□□□ 827 Since you know the family well, it would be suitable for you to send a card. （上智大）
① prestigious ② appropriate ③ careless ④ outrageous

□□□ 828 There is a fundamental difference between being alone and feeling lonely. （東洋英和女学院大）
① an amazing ② a basic ③ an emotional ④ a mysterious

□□□ 829 **発展** These products are fragile, so please handle them carefully.
① expensive ② soft ③ breakable ④ heavy （清泉女子大）

821 （①） 未熟なパイロットは，危険な人物になる可能性がある。
822 （②） 思いがけない災害に備えて十分な食料の蓄えがある。
823 （②） 私たちには話し合うべき差し迫った問題がいくつかある。
824 （④） アメリカ先住民はこの地域を神聖だと考える。
825 （③） 緊急事態においてはすばやい決定がきわめて重要である。
826 （③） 彼はその映画で主要な役割を演じた。
827 （②） あなたはその家族をよく知っているのだから，あなたがカードを送るのが適切でしょう。
828 （②） 一人でいることと孤独を感じることは基本的に違う。
829 （③） これらの製品は壊れやすいので，注意して扱ってください。

Theme 197 重要同意語 ── 形容詞 ②

821 **potential** = **possible**「可能性のある / 潜在的な」
〈選択肢〉 ② definite「明確な」，③ preferred「気に入った / 優先の」，
④ whole「全体の」

822 **abundant** = **plentiful**「豊富な / あり余るほどの」（= **ample**）
〈選択肢〉 ① decreasing「減少している」，③ increasing「増えつつある」，
④ scarce「不足して / 十分にない」

823 **urgent** = **pressing**「緊急の / 急を要する / 差し迫った」
〈選択肢〉 ① desirable「望ましい」，④ complicated「複雑な」

824 **sacred** = **holy**「神聖な / 聖なる」
〈選択肢〉 ① dangerous「危険な」，③ frightening「ひどくおびえさせる」

825 **crucial** = **vital**「きわめて重要な / 決定的な」（= **decisive**）
〈選択肢〉 ① equal「等しい」，② minor「比較的重要でない」

826 **major** = **principal**「主要な」（= **main**）
〈選択肢〉 ① conventional「従来の」，② subordinate「下位の / 下級の」，
④ customary「習慣的な」

827 **suitable** = **appropriate**「適切な / ふさわしい」（= **proper** / **fit**）
〈選択肢〉 ① prestigious「名声の高い」，④ outrageous「ひどい / 無礼な」

828 **fundamental** = **basic**「基本的な」
〈選択肢〉 ① amazing「驚くべき」，③ emotional「感情の」

829 **fragile** = **breakable**「壊れやすい」（= **delicate**）
〈選択肢〉 ① expensive「高価な」

Power Up! 175 同意語問題に頻出する形容詞 ②

「可能性のある」:	□ **potential**（➲ 821）	□ **possible**（➲ 821）	
「豊富な」:	□ **abundant**（➲ 822）	□ **plentiful**（➲ 822）	□ **ample**
「緊急の」:	□ **urgent**（➲ 823）	□ **pressing**（➲ 823）	
「神聖な」:	□ **sacred**（➲ 824）	□ **holy**（➲ 824）	
「きわめて重要な」:	□ **crucial**（➲ 825）	□ **vital**（➲ 825）	□ **decisive**
「主要な」:	□ **major**（➲ 826）	□ **principal**（➲ 826）	□ **main**
「適切な」:	□ **suitable**（➲ 827） □ **proper**	□ **appropriate**（➲ 827） □ **fit**	
「基本的な」:	□ **fundamental**（➲ 828）	□ **basic**（➲ 828）	
「壊れやすい」:	□ **fragile**（➲ 829）	□ **breakable**（➲ 829）	□ **delicate**
「残酷な」:	□ **cruel**	□ **brutal**	□ **heartless**

Theme 198

□□□ **830** 発展 He was shocked at the awful news of the nuclear power plant accident which occurred overseas. （清泉女子大）
① domestic ② terrific ③ terrible ④ disappointing

□□□ **831** This film is based on the story of a courageous man.
① brave ② wealthy ③ sensible ④ clever （東海大）

□□□ **832** It is extremely rare for children to take part in such an expedition requiring stamina and endurance.
① hard ② important ③ uncommon ④ curious （桜美林大）

Theme 199

□□□ **833** 頻出 The man next door is very noisy. He is deliberately being a nuisance.
① carefully ② intentionally ③ readily ④ slowly （玉川大）

□□□ **834** Practically nobody admits their own errors. （関西外語大）
① Clearly ② Virtually ③ Surprisingly ④ Interestingly

□□□ **835** After years of failing health, the father eventually died.
① eternally ② finally ③ immediately ④ suddenly （甲南大）

□□□ **836** 発展 I liked the job initially, but it soon got quite boring.
① totally ② originally ③ primarily ④ partially （亜細亜大）

830 （③） 彼は海外で起きた原子力発電所の事故のひどいニュースを聞いてショックを受けた。
831 （①） この映画は，ある勇敢な男の物語に基づいている。
832 （③） スタミナと忍耐力を必要とするそのような遠征に子供たちが参加することは，きわめてまれである。
833 （②） となりの男はとても騒々しい。彼はわざと周りに迷惑をかけているのだ。
834 （②） 自分で自分の間違いを認めるような人はまずいない。
835 （②） 長年にわたって体がだんだん悪くなっていき，その父親はついに死んだ。
836 （②） 最初のうちはその仕事が好きだったが，すぐにそれはかなり退屈なものになった。

Theme 198 重要同意語 ―― 形容詞 ③

830 **awful** = **terrible**「ひどい / とても悪い / おそろしい」
▶ ③ terrible は awful と同じ「とても悪い」の意味だが，② terrific は「とてもいい / 素晴らしい」と反対の意味になる。
a *terrific* actor「素晴らしい俳優」
〈選択肢〉 ① domestic「国内の / 家庭の」，④ disappointing「がっかりさせる」

831 **courageous** = **brave**「勇気のある / 勇敢な」
〈選択肢〉 ② wealthy「富裕な」，③ sensible「分別のある」

832 **rare** = **uncommon**「まれな / 珍しい」
▶ rare は「貴重な」という意味を含む。それに対して，④ curious は「珍奇な / 奇妙な」の意味なので不可。a *curious* incident「奇妙な出来事」

Power Up! 176 同意語問題に頻出する形容詞 ③

「ひどい」:	□ **awful**（➲ 830）	□ **terrible**（➲ 830）
「勇敢な」:	□ **courageous**（➲ 831）	□ **brave**（➲ 831）
「まれな」:	□ **rare**（➲ 832）	□ **uncommon**（➲ 832）

Theme 199 重要同意語 ―― 副詞

833 **deliberately** = **intentionally**「故意に / わざと」（= **on purpose** ➲ 1207）
〈語 句〉 be being a nuisance「迷惑をかけている」―― be は『状態』を表す動詞だが，『一時的な状態』を強調するために進行形になっている。（➲ 9）

834 **practically** = **virtually**「ほとんど / 事実上」（= **almost**）
〈選択肢〉 ① clearly「はっきりと」，③ surprisingly「驚くほどに」，
④ interestingly「面白く」

835 **eventually** = **finally**「結局は / ついに」（= **in the end**）
〈選択肢〉 ① eternally「永遠に」，③ immediately「すぐに」，④ suddenly「突然」
〈語 句〉 fail〔通例（be）failing〕「（健康などが）衰える」

836 **initially** = **originally**〔文修飾〕「最初は / 最初のうちは」（= **at first** ➲ 1240）
〈選択肢〉 ① totally「まったく」，③ primarily「主に」，④ partially「部分的に」

Power Up! 177 同意語問題に頻出する副詞

「わざと」:	□ **deliberately**（➲ 833）	□ **intentionally**（➲ 833）	
「ほとんど」:	□ **practically**（➲ 834）	□ **virtually**（➲ 834）	□ **almost**
「ついに」:	□ **eventually**（➲ 835）	□ **finally**（➲ 835）	
「最初は」:	□ **initially**（➲ 836）	□ **originally**（➲ 836）	
「おおよそ」:	□ **approximately**	□ **nearly**	□ **roughly**

第22章 重要多義語

Theme 200

〔共通の１語を入れよ〕

□□□ **837** (a) Mary was afraid she wouldn't be able to (　　　) the pain.
(b) The polar (　　　) lives near the North Pole.
(c) This tree doesn't (　　　) fruit.
(d) I (　　　) no grudge against you.
（(a) (b) 長崎大・(c) 立教大・(d) 早大）

□□□ **838** 発展 (a) I can't (　　　) out why he is always so hard on me.
(b) We saw a (　　　) of a woman in the mist.
(c) She is a well-known public (　　　) around here.
(d) He demanded a (　　　) that was more than we could pay.
（(a) (b) 専修大・(c) (d) 東京理科大）

□□□ **839** 頻出 (a) You'll (　　　) the bus if you don't hurry.
(b) The post office is on the corner. You can't (　　　) it.
(c) We will (　　　) you badly.
（(a) 昭和女子大・(b) 京都産業大・(c) 和光大）

……

837 (bear) (a) メアリーはその痛みに耐えられないのではないかと心配した。
(b) ホッキョクグマは北極の近くに住んでいる。
(c) この木は実をつけない。
(d) 私は君にまったく恨みを抱いていない。

838 (figure) (a) 彼がなぜいつも私にそんなにつらく当たるのか理解できない。
(b) 私たちは霧の中に女性の姿を見た。
(c) 彼女はこの辺りではよく知られている有名人です。
(d) 彼は私たちには支払えないほどの金額を要求した。

839 (miss) (a) 急がないとバスに乗り遅れますよ。
(b) 郵便局は角にあります。すぐ見つかりますよ。
(c) あなたがいなくなると，とても寂しくなりますよ。

Theme 200 重要多義語 ①

837 bear

(**a**) 動「～に耐える」(= **stand**)
(**b**) 名「クマ」
(**c**) 動「(花・実) をつける / (子) を産む」
(**d**) 動「(恨み・感情など) を心に抱く」

▶ 特に (a)「耐える」の意味が重要。

▶ (c) bear fruit「(木が) 実をつける / (努力が) 実を結ぶ」も要注意。
His hard work *bore fruit.* (彼の懸命な努力が実を結んだ) (名工大)

838 figure

(**a**) 動 **figure out** ～「～を理解する」(= **understand**)
(**b**) 名「人の姿 / 人影；体形」
(**c**) 名「(有名 [重要] な) 人物」
a public *figure*「有名人」, a political *figure*「(大物) 政治家」
(**d**) 名「(表記された) 数字；(数字で表した) 額 / 価格」

▶ 入試では，(a) figure out ～の出題が多い。(➲ 903)

〈語句〉(d) more than A can ～「A が～できないほど (の)」(➲ 284)

839 miss

(**a**) 動「(列車・バスなど) に乗りそこなう / 乗り遅れる」
(⇔ **catch**「(列車など) に間に合う」)
(**b**) 動「(物) を見つけそこなう / 見落とす」
You can't *miss* it. (見つけそこなうことはない [すぐ見つかります])
(**c**) 動「(人・物が) (い) なくて寂しく思う」

▶ miss は基本的には「(意に反して) ～しそこなう」という意味である。目的語によっていろいろな訳し方をする。
(a), (b) の他に次のような例を押さえておこう。
1. You're *missing* the point.「～を理解しそこなう」
(君はポイントがわかっていない)
2. Don't *miss* your classes.「(学校・会など) に出席しそこなう」
(ちゃんと授業に出なさいよ)
3. I'm absolutely starving. I *missed* lunch.「～を食べそこなう」
(おなかがぺこぺこです。昼食を食べそこねました) (東京理科大)

▶ 用例は「～しそこなう」が一番多いが，入試では (c)「(人) がいなくて寂しく思う」の意味が狙われる。

Theme 201

〔共通の 1 語を入れよ〕

□ **840** (a) The (　　　) is hoping to expand its operations abroad.
□ (b) They obviously enjoy each other's (　　　).
□ (c) We're expecting (　　　) this evening.
(d) Men are known by the (　　　) they keep.
（(a) ～ (c) 上智大・(d) 東京経済大）

□ **841** (a) (　　　) to traffic jams, we will arrive a little later than expected.
□ 頻出 (b) The report is (　　　) on Wednesday, but I haven't even started to write it.
□ (c) Albert is (　　　) to retire next year.
(d) Her first baby is (　　　) in June.
（(a) 関西学院大・(b) (c) 明治大・(d) 駒澤大）

□ **842** (a) Mary and John (　　　) a beauty parlor in New York.
□ 頻出 (b) Though more expensive, this suit will be cheaper in the long (　　　).
□ (c) Please clean the rail so you can make the curtain (　　　) smoothly.
(d) The mayor has chosen not to (　　　) in the next election.
（(a) (b) 一橋大・(c) 西南学院大・(d) 中央大）

840 (company) (a) その会社は海外で事業を拡大したいと思っている。
(b) 明らかに，彼らは一緒にいると楽しそうだ。
(c) 今晩，来客があります。
(d) 人は付き合う仲間によってわかる。

841 (due) (a) 交通渋滞のために，到着するのは予想よりも少し遅くなるでしょう。
(b) レポートは水曜日が提出期限だが，まだ書き始めてすらいない。
(c) アルバートは来年退職することになっている。
(d) 彼女の初めての子供は 6 月に生まれる予定です。

842 (run) (a) メアリーとジョンはニューヨークで美容院を経営している。
(b) このスーツのほうが値段は高いが，長い目で見ると安くつく。
(c) カーテンを滑らかに動かせるように，カーテンレールをきれいにしてください。
(d) 市長は次の選挙には立候補しないことに決めている。

Theme 201 重要多義語 ②

840 company

(a) 名「会社」
(b) 名「一緒にいること / 同席」
(c) 名「来客」
(d) 名「仲間 / 連れ」

▶ 特に (b)「一緒にいること」の意味が重要。enjoy A's company「A と一緒にいると楽しい」, in company「(～と) 一緒に (with) / 人前で」などの表現に注意。

▶ (c)「来客」の意味では，expect [have] company「客があることになっている［客がある］」の形で用いることが多い。

〈語 句〉 (d) be known by A「A によってわかる」(➲ Power Up! 12)

841 due

(a) 〔前置詞的に〕 **due to** ～「～のために / ～が原因で」(➲ 1279)
(b) 形「(支払い・提出・返却など) 期日が来て / 期限になって」
(c) 形 **be due to *do***「～することになっている」『予定』
(d) 形「(子供が) 生まれる予定で」

〈プラスα〉 due には「(人・乗り物が) 到着予定で」の意味もある。

She entered the station twenty minutes before the train was *due*.
(彼女は電車が到着する予定の 20 分前に駅に入った) (関西大)

842 run

(a) 動「(会社・店など) を経営する / 管理する」(= **manage**)
(b) 名 **in the long run**「長い目で見れば / 結局」(= **finally** / **eventually**)
(c) 動「(物が) 滑るように進む / (機械などが) 動く」
(d) 動「(～に) 立候補する (in / for)」

▶ run は共通語補充問題で頻出するが，特に (a)「(会社・店など) を経営する」の意味が狙われる。

▶ (b) は Though it is more expensive の it is が省略されている。

〈プラスα〉 run には「(劇・映画などが) 上演［上映］される」の意味もある。

His play was so successful that it *ran* for twenty months on Broadway.
(彼の劇は非常に好評で，ブロードウェイで 20 か月も上演された)
(学習院大)

Theme 202

〔共通の 1 語を入れよ〕

□□□ **843**
(a) What (　　　) of work are you in?
(b) He decided to take a strong (　　　) over that matter.
(c) Would you call back later? She's on another (　　　).
(d) Many people were waiting in a (　　　) to get tickets for the baseball game.
((a) (b) 一橋大・(c) 共立女子大・(d) 早大)

□□□ **844**
(a) Her husband is so (　　　) with money.
(b) Rembrandt lived in a (　　　) house in a (　　　) street.
(c) I (　　　) what I say.
(d) He always (　　　t) to go back one day.
((a) (b) 明治大・(c) (d) 聖学院大)

□□□ **845**
(a) You should (　　　) the pan with a lid to keep in the heat.
(b) It is possible to (　　　) the distance from Tokyo to London in less than twelve hours by plane.
(c) One thousand dollars will (　　　) all the expenses for the party.
(d) His book (　　　s) most of what needs to be said on the subject.
((a) (b) 大東文化大・(c) 中部大・(d) 明治大)

843 (line) (a) どんな種類のお仕事をされていますか。
(b) 彼はその件に関して強硬な態度をとることに決めた。
(c) 後でかけ直してくれますか。彼女は別の電話に出ています。
(d) たくさんの人が野球の試合のチケットを買うために一列に並んで待っていた。

844 (mean) (a) 彼女の夫はお金にとてもけちけちしている。
(b) レンブラントはみすぼらしい通りのみすぼらしい家に住んでいた。
(c) 本気で言っているのです。
(d) 彼はいつもいつか戻ろうと思っていた。

845 (cover) (a) 熱が逃げないようになべにふたをしたほうがよい。
(b) 東京からロンドンまでの距離を飛行機で 12 時間足らずで行くことができる。
(c) 1,000 ドルあればパーティーの費用がすべてまかなえるでしょう。
(d) 彼の本は，その問題に関して述べる必要のあることをほとんど扱っている。

Theme 202 重要多義語 ③

843 line

(**a**) 名「職業 / 職種 / 商売」
(**b**) 名「(行動などの) 方針 / 態度」
(**c**) 名「(接続中の) 電話 / 電話線」
(**d**) 名「(人・物の) 列」
▶ (a)「(仕事・関心などの) 方面 ➡ 職業 / 商売 / 専門」は盲点。
▶ (b) take a strong line over [on] ~「~に強硬な態度［措置］をとる」
▶ (d) in (a) line「一列に並んで」

844 mean

(**a**) 形「(~に対して) けちな (with)」(= **stingy**)
(**b**) 形「(場所などの見かけが) みすぼらしい / 汚い」
(**c**) 動「~のつもりで言う」
(**d**) 動 **mean to *do***「~するつもりである / ~しようと思う」(➲ 509)
▶ (c) I mean what I say. = I mean it [that]. (本気で言っているのです) は成句として覚えよう。

845 cover

(**a**) 動「~を覆う / 覆いをする / ふたをする」(⇔ **uncover**)
(**b**) 動「(ある距離) を行く / 進む」
(**c**) 動「(損失・費用など) をまかなう / 補う」
(**d**) 動「(範囲・問題など) を扱う / カバーする」
▶ (b)「(ある距離) を行く」, (d)「(問題など) を扱う」の意味に特に注意。

Power Up! 178 その他の重要多義語 —— fine / right

□ **fine**
① 形「元気な」 You look *fine*. (元気そうだね)
② 形「(粒やきめが) 細かい」 *fine* sand「細かい砂」
③ 名「罰金」(➲ 612) 動「罰金を科す」

□ **right**
① 形「正しい / 間違いのない」 You're *right*. (君の言う通りだ)
② 名「右」形「右の」副「右へ」 Turn *right*. (右に曲がれ)
③ 名「正義 / 正しいこと」 Might is *right*. (力は正義なり)
④ 名「権利」(⇔ **duty**) human *rights*「人権」
⑤ 副「(場所・時などを強調して) ちょうど / まさに」
The accident happened *right* here.
(その事故はちょうどここで起こった)

Theme 203

〔共通の１語を入れよ〕

□□□ **846** 頻出
(a) He remained calm in the (   ) of such danger.
(b) Their apartments (   ) the harbor.
(c) You have to (   ) the reality.
(d) Your watch is the one with a gold (   ).
((a) 明治大・(b) 芝浦工大・(c) (d) 専修大)

□□□ **847**
(a) He left a note to the (   ) that he would not be coming back.
(b) Parents worry about the (   ) of websites on their adolescents' behavior.
(c) She lay quietly waiting for the sleeping pills to take (   ).
(慶應大)

□□□ **848** 頻出
(a) I have seen many (s) where talent was not rewarded with success.
(b) You had better take your umbrella just in (   ).
(c) The child has a (   ) of chicken pox.
(d) Jane said Mark is sick. If that is the (   ), we need more staff for today.
((a) ～ (c) 上智大・(d) 武蔵大)

---

846 (face) (a) そのような危険に直面しても彼は冷静だった。
(b) 彼らのアパートは港に面している。
(c) あなたは現実に直面しなければならない。
(d) あなたの時計は，ゴールドの文字盤のほうです。

847 (effect) (a) 彼は，戻らないという趣旨のメモを残した。
(b) 親たちは，ウェブサイトが思春期の子供たちの行動に与える影響について心配している。
(c) 彼女は，睡眠薬が効くのを待って静かに横たわっていた。

848 (case) (a) 才能があっても成功しなかった事例をたくさん見てきた。
(b) 万一の場合に備えて，傘を持って行きなさい。
(c) その子供には水ぼうそうの症状がある。
(d) ジェーンはマークが病気だと言った。もしそれが事実なら，今日はもっとスタッフが必要です。

Theme 203 重要多義語 ④

846 face

(a) 名 **in the face of ～**「～に直面して / ～をものともせず」(➲ 1304)
(b) 動「(建物などが) ～に面する」
(c) 動「(問題・危険など) に直面する / 立ち向かう」(= **confront**)
(d) 名「(時計の) 文字盤 / (物の) 表面」

▶ (c)「(問題・危険など) に直面する」の意味が頻出。
be faced with ～「～に直面している」の形でも頻出。
The teacher *was faced with* a difficult choice.
(その教師は難しい選択に直面していた) (日本社会事業大)

847 effect

(a) 名 **to the effect that ～**「～という趣旨の［で］」
(b) 名「影響」(= **influence**)
(c) 名「効果 / 効力」 **take effect**「効果が現れる / (薬などが) 効く」

▶ (b) have an effect on ～「～に影響を与える」の成句で頻出。(➲ 1067)

〈語句〉 (b) adolescent「思春期の少年・少女」

848 case

(a) 名「場合 / 事例」
(b) 名 **just in case**「万一の場合に備えて」(➲ 1221)
(c) 名「症状；患者 (= **patient**)」
(d) 名「真相 / 事実 / 実情」

▶ (b) in case S (should) *do*「～の場合に備えて」(➲ 445) が，just in case の形で副詞的に文尾で使われる場合。
▶ (d)「真相 / 事実 / 実情」の意味が重要。通例 be the case の形で使う。
as *is* often *the case* (with ～)「(～には) よくあることだが」(➲ 378)

Power Up! 179 その他の重要多義語 ── leave

□ **leave** ① 名「許可」 without *leave*「無断で」
② 名「休暇」 a 10 days'［10-day］*leave*「10日間の休暇」
③ 動「～を去る / 出発する」 *leave* home「家を出る」
④ 動「～を置いていく / 置き忘れる」
leave an umbrella (behind)「傘を置き忘れる」
⑤ 動「～を (ある状態の) ままにしておく」
leave the door open「ドアを開けたままにしておく」

〔共通の１語を入れよ〕

□□□ **849** (a) He started to (　　) the number of students in the room.
(b) I (　　) him among my best friends.
(c) May I (　　) on your attendance?
(d) Ten dollars doesn't (　　) for much nowadays.
((a) 静岡大・(b) (c) 上智大・(d) 青山学院大)

□□□ **850** 頻出
(a) The academic year is divided into two (　　).
(b) In artistic (　　), the film was revolutionary.
(c) They were barely on speaking (　　).
(d) I bought this car on very reasonable (　　). (上智大)

□□□ **851** 頻出
(a) I have written several novels in the (　　) five years.
(b) He is the (　　) man to do such a foolish thing.
(c) At long (　　), he has found his lost sweetheart.
(d) The battery of this shaver will (　　) about one year. (明治大)

Power Up! 180 その他の重要多義語 ―― work

□ **work** ① 動「勤めている」 Who do you *work* for?（どちらにお勤めですか）
② 動「(機械・装置などが) 動く／作動する」
Our telephone isn't *working*.（家の電話が故障している）
③ 動「(計画・方法などが) うまく行く／(薬などが) 効く」
The plan *worked* very well.（その計画は非常にうまく行った）
④ 名「作品」 a *work* of art「芸術作品」

……

849 (count) (a) 彼は部屋にいる生徒の数を数え始めた。
(b) 私は彼を親友の一人と考えている。
(c) あなたの出席をあてにしてもいいですか。
(d) 10ドルは現在ではあまり価値がない。

850 (terms) (a) 学年は２学期に分かれている。
(b) 芸術的な観点からは，その映画は画期的なものだった。
(c) 彼らは辛うじて口をきく程度の仲だった。
(d) 私はこの車をとても手ごろな条件で買った。

851 (last) (a) 私はこの５年間で数冊の小説を書いた。
(b) 彼は決してそのようなばかなことはしない。
(c) とうとう，彼は行方不明の恋人を見つけた。
(d) この電気かみそりの電池は約１年もちます。

Theme 204 重要多義語 ⑤

849 **count**
(a) 動「～を数える」
(b) 動「～を勘定に入れる(= **include**)／～を(…の)１つとみなす(in / among)」
(c) 動 **count on** ～「～を頼りにする／～をあてにする」(➲ 971)
(d) 動「重要である／価値がある」(= **matter**)
▶ (d)「重要である／価値がある」が頻出。重要さの程度は for ～ で表す。
count for much [nothing / little]
（とても重要である［まったく／ほとんど重要でない］）

850 **term**
(a) 名「(学校の) 学期；期間；任期」
(b) 名 **in ～ terms**「～の（観）点から／～に関して」
(c) 名〔～**s**〕「(人との) 間柄」
(d) 名〔～**s**〕「(契約・支払いなどの) 条件」
▶ (b) in ～ terms は in terms of ～ の形でもよく用いる。(➲ 1288)
▶ (c)「(人との) 間柄」は慣用表現 be on ～ terms (with …)「(…と) ～の仲である」として頻出する。(➲ 600・601)

851 **last**
(a) 形「この前の／最近の」
(b) 形 **the last A to *do***「決して～しない A／最も～しそうにない A」(➲ 280)
(c) 名 **at long last**「やっとのことで」 ▶ **at last** の強調形。
(d) 動「(ある期間効果が) もつ／(時間的に) 続く(= **continue**)」
▶ (d)「(ある期間効果が) もつ／(時間的に) 続く」の意味に注意。
How long will this boring show *last*?
（この退屈なショーはいつまで続くのですか） (立教大)

Power Up! 181 その他の重要多義語 ―― sense / point

□ **sense** ① 名「感覚／感じ」 the *sense* of sight [touch]「視覚［触覚］」
② 名「良識／思慮分別」 a woman of *sense*「思慮分別のある女性」
③ 名「意味／意義」 in a *sense*「ある意味では」(➲ 1257)
④ 動「感じる」 He *sensed* danger.（彼は危険を感じた）

□ **point** ① 名「言い分／論点」 I see your *point*.（君の言い分はわかる）
② 名「要点／大切なこと」 That's the *point*.（そこが肝心なんだ）
③ 名「程度／段階」 up to a *point*「ある程度まで」
④ 動 **point out that** ～「～ということを指摘［注意］する」

第23章 まぎらわしい語

Theme 205

□□□ **852** **発展** We need a new manager to (　　　) the team.
① expire　② conspire　③ aspire　④ inspire　（芝浦工大）

□□□ **853** **発展** Let us (　　　) reading where we left off last month.
① assume　② presume　③ resume　④ consume　（立正大）

□□□ **854** According to Darwin, man (　　　) from monkey-like animals.
① evolved　② revolved　③ involved　④ revolted　（南山大）

□□□ **855** **頻出** Your attendance will (　　　) your final grade.
① defect　② perfect　③ effect　④ affect　（拓殖大）

Power Up! 182 語源で覚える英単語

語源の知識を利用して英単語を覚えるのも，非常に有効な方法のひとつである。英単語で中心的な意味を形成している部分を語根［語幹］という。語根だけの単語もあるが，たいてい接頭辞・接尾辞を伴っている。接頭辞は文字通り，語頭について語根の意味に変化を与える。接尾辞は語尾について，品詞を変える働きをする。これら英単語を構成している接頭辞・語根・接尾辞に注目することで，単語の学習が興味深いものになるだろう。また知らない単語に出会っても，その単語を分析することによって，その意味を類推することも可能になる。

語根：□ **spire**（= breathe）（➲ 852）　□ **sume**（= take / use）（➲ 853）
□ **volve**（= roll）（➲ 854）　□ **fect**（= make / do）（➲ 855）

接頭辞：
□ **ad-** = to（～に）/ toward（～に向かって）〔語根が sc / sp で始まるときだけ a-〕〔as- / af- / ag- / an- / ap- / at- は変化形〕
□ **con-** = (1) with / together（共に）(2) wholly / completely（完全に / すっかり）〔p / b / m の前では com-，l の前では col-，r の前では cor-〕
□ **de-** = (1) away / off（離れて）(2) fully（十分に）/ completely（完全に）(3) down（下へ）
□ **ex-** = (1) out（外へ）(2) thoroughly（完全に）〔e- は ex- の変化形〕
□ **in-** = (1) in / into（中へ）(2) to（～に）(3) not『否定』
□ **per-** = completely（完全に）/ through（～を通して）
□ **pre-** = before（前に）/ beforehand（前もって）
□ **re-** = (1) back（後ろに［へ］/ もとに［へ］）(2) again（再び）

Theme 205 同語根のまぎらわしい動詞 ①

語根とは単語の主たる意味を表す部分をいう。ここでは，空所補充問題で出された同語根のまぎらわしい動詞を学習しよう。

852 **語根 spire = breathe（呼吸する）**
④ **inspire** ～「～を励ます / ～に霊感を与える」
〔中に（in）息を吹き込む ➡ ～を励ます / ～に霊感を与える〕
① **expire**「息を吐く / 期限が切れる」〔外に / 完全に / 終わりまで（ex）息をする ➡ 息を吐き出しつくす〕＊ pire < spire の s はその前の x に吸収されて消失
② **conspire**「共謀する」〔共に（con）息をする ➡ 息を合わせる ➡ 共謀する〕
③ **aspire** ～「～を熱望する」〔あるものに向かって（a < ad）息をする［息をはずませる］➡ 熱望する / 憧れる〕

853 **語根 sume = take（取る / 思う）; use（使う）**
③ **resume** ～「～を再び始める」〔再び（re）行動をとる ➡ 再び始める〕
① **assume** ～「～だと仮定する /（態度）をとる /（責任）をとる」〔～のほうに（as < ad）勝手に取る［思う］〕
② **presume** ～「～を推定する」〔前もって（pre）ある考えを取る ➡ 推定する〕
④ **consume** ～「～を消費する」〔すっかり（con）取ってしまう / 使ってしまう〕
〈語句〉leave off「やめる / 終わりとする」

854 **語根 volve = roll（転がる / 転げ回る）**
① **evolve**「進化する / 発展する」〔外に（e < ex）転がり開く ➡ 開いて発展する［進化する］〕
② **revolve**「回転する」〔後ろへ（re）回る / くるっと一回転する〕
③ **involve** ～「～を巻き込む / 含む」〔～の中へ（in）巻き入れる〕
④ **revolt**「そむく / 反感を持つ」〔後ろへ（re）回る（volt < volve）➡ 背を向ける〕

855 **語根 fect / fact = make（作る）; do（する）**
④ **affect** ～「～に影響する / ～を感動させる」〔～に（af < ad）働きかける〕
① **defect** 名「欠点」〔（完全状態から）遠ざけて（de）しまう ➡ 欠点 / 欠陥〕
② **perfect**「～を完成する」形「完全な」〔完全に（per）作る / 作られた〕
③ **effect** 名「結果 / 効果 / 影響」〔外に（ef < ex）作る ➡ 作り出す ➡ 結果 / 効果（などが出てくる）〕

852（④）チームを奮い立たせる新しい監督が必要です。
853（③）先月やめたところから再び読み始めましょう。
854（①）ダーウィンによると，人類は猿に似た動物から進化したそうです。
855（④）出席状況が最終的な成績に影響します。

Theme 206

□□□ **856** I would be grateful if you could (　　　) the deadline for the application.
① intend　② pretend　③ contend　④ extend　(麗澤大)

□□□ **857** His request was (　　　) because of some technical issues.
① rejected　② injected　③ subjected　④ projected (広島修道大)

□□□ **858** 発展 Jane has been working very hard, so I think she (　　　) a long vacation.　(東北福祉大)
① observes　② deserves　③ reserves　④ preserves

□□□ **859** 頻出 It was very hard to (　　　) what had happened at that moment.
① prescribe　② describe　③ subscribe　④ inscribe　(南山大)

□□□ **860** The students (　　　) most of their free time to the clean-up campaign sponsored by the local community.
① contributed　② attributed　③ distributed　(学習院大)

Power Up! 183　語根・接頭辞・接尾辞

語根：□ **tend** (= stretch) (➲ 856)　□ **ject** (= throw) (➲ 857)
□ **serve** (= serve / keep) (➲ 858)　□ **scribe** (= write) (➲ 859)
□ **tribute** (= give / assign) (➲ 860)

接頭辞：□ **dis-** = (1) apart（離れて / ばらばらに）(2) not『否定』
□ **ob-** = (1) toward(s)（～のほうへ）(2) against（逆らって）(3)（完全に）『強意』
□ **pro-** = forward（前方に）
□ **sub-** = under（下に）

接尾辞：参考までに，語尾について品詞を変える働きをする接尾辞を挙げておく。

〔動 ➡ 名〕	□ **-ment**	□ **-tion**・**-sion**	□ **-ance**・**-ence**	
〔動 ➡ 形〕	□ **-ive**	□ **-ant**・**-ent**	□ **-able**・**-ible**	
〔形・名 ➡ 動〕	□ **-fy**	□ **-ate**		
〔名 ➡ 形〕	□ **-ous**	□ **-al**	□ **-ary**・**-ory**	□ **-ic**
〔形 ➡ 名〕	□ **-ness**	□ **-ty**	□ **-y**	

……

856 (④) 申し込みの締め切りを延ばしていただけるとありがたいのですが。
857 (①) 彼の要請はいくつかの技術的な問題のために拒絶された。
858 (②) ジェーンはずっと一生懸命働いているので，長期休暇をとるに値すると思う。
859 (②) そのとき何が起こったのか説明するのはとても難しかった。
860 (①) 学生たちは自由時間のほとんどを，地域住民が後援する清掃活動にささげた。

Theme 206 同語根のまぎらわしい動詞 ②

856 語根 **tend** = **stretch**（伸［延］ばす / 引っ張る / 広げる）
④ **extend** ～「～を延ばす / 延長する」〔外へ (ex) 伸ばす / 広げる〕
① **intend** ～「～を意図する / ～するつもりである」
〔～に (in)（心・注意を）伸ばす［向ける］〕
② **pretend** ～「～のふりをする」
〔～の前に (pre)（口実を）広げて差し出す ➡ 見せかける / ふりをする〕
③ **contend**「争う / 主張する」〔ともに (con)（力を）伸ばし合う ➡ 争う〕

857 語根 **ject** = **throw**（投げる）
① **reject** ～「(きっぱり) ～を拒絶する」〔元に (re) 投げる ➡ 投げ返す〕
② **inject** ～「～を注射［注入］する」〔中へ (in) 投入する ➡ 注射する〕
③ **subject** ～「～を服従させる / ～を受けさせる」名「臣民 / 主題」
〔下に (sub) 投げる［投げられたもの］〕
④ **project** ～「～を計画する」名「計画」
〔前方に (pro) 投げ出す［投げ出されたもの］〕

858 語根 **serve** = **serve**（仕える / 役立つ）/ **keep**（保つ / 守る）
② **deserve** ～「～に値する」〔十分に (de) 役立つ ➡ ～に値する〕
① **observe** ～「～を観察する / 守る」〔～のほうに (ob) 目を（向けて）離さない〕
③ **reserve** ～「～を取っておく / 予約する」〔後の (re) 必要のために取っておく〕
④ **preserve** ～「～を保存する / 保護する」
〔(害・腐敗などがないように) 前もって (pre) 大切に保つ〕

859 語根 **scribe** = **write**（書く）
② **describe** ～「～を述べる / 説明する」〔下へ (de) 書く ➡ 書き留める〕
① **prescribe** ～「～を処方する / 規定する」
〔前もって (pre) 書く ➡ ～を処方［規定］する〕
③ **subscribe**「予約［定期］購読する」〔文書の下に (sub) 署名する〕
④ **inscribe** ～「(石碑・紙など) に記入する / 刻み込む」
〔in（中へ）書く ➡ 書き入れる〕

860 語根 **tribute** = **give**（与える）/ **assign**（割り当てる）
① **contribute** ～「～を（…に）提供する / 貢献する / 寄付する」
〔完全に / すっかり (con) 与える〕
② **attribute** ～「～を（…の）せいにする / ～に帰する」
〔～に (at < ad)（原因 / 結果を）与える ➡ ～のせいにする / ～に帰する〕
③ **distribute** ～「～を分配する」〔散らして (dis) 与える ➡ 分け与える〕

Theme 207

□□□ **861** The murderer (　　) his crime to the police. (芝浦工大)
① admitted　② submitted　③ permitted　④ committed

□ **862** 発展 The main film was (　　) by a short cartoon. (明治学院大)
① preceded　② proceeded　③ exceeded　④ conceded

□□□ **863** The guy is a criminal who (　　) a lot of elderly people. (中央大)
① conceived　② deceived　③ perceived　④ received

□ **864** 発展 We must be particularly cautious when we (　　) that a person is guilty on the basis of circumstantial evidence.
① confer　② infer　③ transfer　④ prefer (上智大)

□ **865** 発展 Don't (　　) me while I am studying. (上智大)
① contract　② attract　③ extract　④ distract

Power Up! 184 語根・接頭辞・その他の語根 ── dict / pend / port

語根：□ **mit** (= send)（➲ 861）□ **cede / ceed** (= go)（➲ 862）
□ **ceive** (= take)（➲ 863）□ **fer** (= carry / bring)（➲ 864）
□ **tract** (= draw)（➲ 865）

接頭辞：□ **trans-** = (1) across（横切って / 向こう側に）(2) 別の状態［場所］へ

その他の語根：□ **dic / dict = say**（言う）
1. **contradict** ～「～を否定する / ～に反論する」〔反対して（contra）言う〕
2. **predict** ～「～を予言する」〔前もって（pre）言う〕

□ **pend / pens = weigh**（重さをはかる）
1. **compensate** ～「～を償う」〔一緒に（com）はかりにかけてつりあわせる〕
2. **expend** ～「～を使う」〔はかって［計算して］金を出す（ex）➡（金）を使う〕
3. **dispense** ～「～を分配する」〔はかりにかけて分け（dis）与える〕

□ **port = carry**（運ぶ）
1. **import** ～「～を輸入する」〔国内に（im < in）運ぶ〕
2. **export** ～「～を輸出する」〔国の外に（ex）運ぶ〕
3. **transport** ～「～を輸送する」〔別の場所へ（trans）運ぶ〕

861（①）殺人犯は警察に対して自らの犯罪を認めた。
862（①）メインの映画の前に短い漫画が上映された。
863（②）その男は多くの高齢者をだました犯罪者です。

Theme 207 同語根のまぎらわしい動詞 ③

861 語根 **mit = send**（送る）
① **admit** ～「～を（しぶしぶ）認める / ～の入学［入場」を認める」
〔～に（a < ad）送り入れる ➡（入ること）を認める / 許す〕
② **submit** ～「～を服従させる / 提出する」〔下に（sub）送る〕
③ **permit** ～「～を許す」〔通って（per）送る ➡ 通過させる / 通過を許す〕
④ **commit** ～「～を犯す / 委託する / ゆだねる」
〔完全に（com）送る ➡ ゆだねる〕

862 語根 **cede / ceed = go**（行く / 進む）
① **precede** ～「～に先行する」〔先に（pre）行く ➡ 先行する〕
② **proceed**「前進する / 続ける」〔前に（pro）進む ➡ 前進する〕
③ **exceed** ～「～を超える / 越える」〔(限度を越えて) 外へ（ex）行く〕
④ **concede** ～「～を譲歩する / しぶしぶ認める」〔共に（con）行く ➡ 譲り合う〕

863 語根 **ceive = take**（手に取る）
② **deceive** ～「～をだます」
〔(人) から分離して（de）取る ➡（だまして）取り上げる〕
① **conceive** ～「～を考えつく /（子）を宿す」〔完全に（con）(体内に) 取り入れる〕
③ **perceive** ～「～を理解する / 知覚する」〔完全に（per）つかむ〕
④ **receive** ～「～を受け取る」〔再び（re）取る ➡ 取り戻す（が原義）〕

864 語根 **fer = carry**（運ぶ）/ **bring**（持ってくる）
② **infer** ～「～を推量［推測］する」〔頭の中に（in）運ぶ〕
① **confer**「相談する」〔共に（con）持ってくる ➡（問題を）持ち寄る〕
③ **transfer** ～「～を移す / 乗り換える」〔向こう側に（trans）運ぶ〕
④ **prefer** ～「～をより好む」〔他のものより先に（pre）運んで行く〕

865 語根 **tract = draw**（引く）
④ **distract** ～「～をそらす / まぎらす」〔別なほうへ（dis）注意を引く ➡ そらす〕
① **contract**「契約する」〔共に（con）引き合う ➡ 取引する ➡ 契約する〕
② **attract** ～「～を引きつける」〔～へ（at < ad）注意を引く〕
③ **extract** ～「～を抜き出す」〔外へ（ex）引く ➡ 引き出す / 抜き出す〕

864（②）状況証拠をもとにある人を有罪であると推測する際には特に慎重でなければならない。
865（④）勉強している間は私の気をそらさないでください。

Theme 208

□□□ **866** He was rejected by all the top schools in the country and it made him terribly (　　). （上智大）
① impressed　② depressed　③ expressed　④ suppressed

□□□ **867** 発展 Customers are expressing outrage at the charges banks (　　) on them for using automated teller machines. （東京理科大）
① compose　② dispose　③ expose　④ impose

□□□ **868** I (　　) you that the wedding will take place as planned.
① assure　② insure　③ ensure　④ sure （武蔵大）

□□□ **869** 頻出 The fire (　　) the house to ashes. （南山大）
① reduced　② induced　③ produced　④ introduced

□□□ **870** 発展 Please (　　) me when you know the results of the test. （麗澤大）
① reform　② inform　③ conform　④ perform

Power Up! 185 語根・接頭辞・その他の語根 ── spect

語根：□ **press** (= push) (➲ 866)　□ **pose** (= put) (➲ 867)
□ **sure** (= safe) (➲ 868)　□ **duce** (= lead) (➲ 869)
□ **form** (= form) (➲ 870)

接頭辞：□ **intro**- / **inter**- = between / among / into（間に / 中に）
□ **en**- = to make（～にする）〔p / b / m の前では em-〕

その他の語根：□ **spec** / **spect** = **see** / **look**（見る）

1. **spectator**	「見物人 / 傍観者」	〔じっと見る（spectat）人（or）〕
2. **species**	「(生物) 種 / 種類」	〔見分けがつくもの〕
3. **aspect**	「外観 / 様子 / 局面」	〔～を（a）見る ➡ 見られたもの〕
4. **prospect**	「将来の見込み / 眺望」	〔前方に（pro）見えるもの〕
5. **perspective**	「見通し / 見方 / 観点」	〔通して（per）見ることができる〕
6. **inspect** ～	「～を検査する」	〔中を（in）のぞく〕
7. **suspect** ～	「～をあやしく思う」	〔下から（sus）見上げる ➡ あやしんで見る〕

866　（②）国内のトップ校をすべて不合格になったので，彼はひどく落ち込んだ。
867　（④）顧客たちは，ATM の利用に対して銀行が彼らに課す手数料に怒りを表明している。
868　（①）結婚式は予定通り行われると私が保証します。
869　（①）その火事で家は灰になった。
870　（②）テストの結果がわかったら私に知らせてください。

Theme 208 同語根のまぎらわしい動詞 ④

866 語根 **press** = **push**（押す / 圧する）
② **depress** ～「～を押し下げる / がっかりさせる」〔下に（de）押す〕
① **impress** ～「～に印象づける / ～を感動させる」
〔～中へ（im < in）押す ➡（心の）中へ押しつける〕
③ **express** ～「～を表現する」〔心に思っていることを外に（ex）押し出す〕
④ **suppress** ～「(感情など) を抑える / ～を鎮圧する」
〔下に（sup < sub）押す / 押さえつける〕

867 語根 **pose** = **put**（置く）
④ **impose** ～「～を課す」〔上に（im = on）置く ➡ 押しつける / 課す〕
① **compose** ～「～を構成する / 作る」〔共に（com）置く ➡ 組み立てる〕
② **dispose** ～「～を配置する / (～を) 処理［処分］する（**of**）」
〔分けて（dis）置く ➡ きちんと処理する［配置する］〕
③ **expose** ～「～をさらす / 暴露する」〔外に（ex）置く〕

868 語根 **sure** = **safe**（安全な / 確かな）
① **assure** ～「～に保証する / (保証して) 安心させる / 確信させる」
〔～に（as < ad）確かな ➡ ～に対して確かにする〕
② **insure** ～「～に保険をかける」〔中に（in）確かな ➡ 確かなところに入れる〕
③ **ensure** ～「～を保証する / 安全にする」〔確か（sure）にする（en）〕
④ **sure** 形「確かな / 確信している」
▶ ① assure は assure A that ～「A に～ということを保証する」の形をとる。
③ ensure は I ensure that ～ なら可，④ sure は I am sure that ～ なら可。

869 語根 **duce** = **lead**（導く）
① **reduce** ～「～を減少させる / (ある状態に無理に) 変える」
〔後ろに（re）導く ➡ ～を減らす〕
② **induce** ～「～を誘う / 説いて～させる」〔中に（in）導く ➡ 導き入れる〕
③ **produce** ～「～を生産する」〔前方に（pro）導き出す ➡ 作り出す〕
④ **introduce** ～「～を導入する / 紹介する」〔中に（intro）導く〕

870 語根 **form** = **form**（形作る / 形）
② **inform** ～「～に (…を) 知らせる（**of**）」（➲ 514）
〔心・頭の中に（in）(情報を) 作る〕
① **reform** ～「～を改良する / 改革する」〔再び（re）形作る ➡ 作り直す〕
③ **conform** ～「～に合わせる / 従う」〔共に（con）形作る ➡ 合わせる〕
④ **perform** ～「～を果たす / 遂行する / 演じる」〔完全に（per）形作る〕

Theme 209

□□□ **871** 頻出 発展 I wish he would try and be a little more (　　).（千葉商大）
① consider　② considerable　③ considerate　④ considering

□□□ **872** 発展 Our coach is (　　) and often comes up with new plans.（高知大）
① imagined　② imaginative　③ imaginary　④ imaginable

□□□ **873** 頻出 発展 Ants are (　　) insects.（神奈川大）
① industrious　② industrial　③ technical　④ technological

□□□ **874** 頻出 The company requires employees to wear clean and (　　) clothes at work.（芝浦工大）
① respectively　② respected　③ respectable　④ respective

□□□ **875** (　　) people make up about 98 percent of the whole population.
① Literal　② Literary　③ Literature　④ Literate（横浜市大）

□□□ **876** 頻出 It would have been more (　　) to save the money than to spend it all on clothes.
① sensory　② sensible　③ sensitive　④ sensual（中央大）

□□□ **877** What is your (　　) Japanese food, Mr. Wilson?
① best　② favorite　③ favorable　④ famous（桜美林大）

Power Up! 186 その他の「つづりと意味がまぎらわしい形容詞」

□ **intelligent**	「知能の高い」	□ **intelligible**	「理解しやすい」
□ **economic**	「経済の」	□ **economical**	「経済的な」
□ **social**	「社会［社交］の」	□ **sociable**	「社交的な」
□ **successful**	「成功した」	□ **successive**	「連続の」
□ **childlike**	「子供らしい」	□ **childish**	「子供っぽい」
□ **momentary**	「瞬間的な」	□ **momentous**	「重要な / 重大な」
□ **valuable**	「価値のある」	□ **invaluable**	「非常に価値のある」
⇔ □ **valueless**「価値のない」（= **worthless**）		（= **priceless**）＊ valuable の強意形。反意語でないことに注意。	

871 （③） 彼がもう少し思いやりを持ってくれたらなあ。
872 （②） 私たちのコーチは想像力豊かで，しばしば新しい計画を思いつく。
873 （①） アリは勤勉な昆虫です。
874 （③） その会社は，従業員に仕事中は清潔できちんとした服装をするように要求している。

Theme 209 つづりと意味がまぎらわしい形容詞

871 ③ **considerate** 「思いやりのある」
② **considerable**「かなりの」
considerable differences「かなりの相違」
▶ I wish S would *do*「S が～してくれたらよいのに（と思う）」（➲ 167）
〈語句〉try and be = try to be「～であろうと努める」

872 ② **imaginative** 「想像力に富む / 想像から生まれた」
③ **imaginary** 「想像上の / 架空の」⇔ **actual** / **real**「現実の」
an *imaginary* animal「想像上の動物」
④ **imaginable** 「想像できる」
every *imaginable* means「考えられるあらゆる方法」
〈語句〉come up with ～「～を思いつく」（➲ 1025）

873 ① **industrious** 「勤勉な」（= **diligent** / **hardworking**）
② **industrial** 「工業の / 産業の」
▶ ③ **technical**「技術的な / 専門の」，④ **technological**「科学技術の」

874 ③ **respectable** 「（社会的に）立派な / きちんとした」
④ **respective** 「それぞれの / 各自の / めいめいの」
▶ ① **respectively** 副「それぞれ」，**respectful**「（人に）礼儀正しい / 敬意を表する」も重要。必ず押さえておくこと。
Their sons, John and Martin, are thirteen and ten years of age *respectively*.
（彼らの息子のジョンとマーチンはそれぞれ 13 歳と 10 歳です）（慶應大）
We always try to be *respectful* of each other's opinions.
（私たちは，常にお互いの意見に敬意を表するようにしている）（学習院大）

875 ④ **literate** 「読み書きのできる」⇔ **illiterate**「読み書きのできない」
① **literal** 「文字通りの」➡ literally 副「文字通り」
② **literary** 「文学の」➡ ③ **literature** 名「文学」
〈語句〉make up ～「～を構成する，編成する」（= compose）

876 ② **sensible** 「分別のある / 賢明な」
① **sensory** 「感覚の / 知覚の」 a *sensory* organ「感覚器官」
③ **sensitive** 「敏感な」 *sensitive* skin「敏感肌」
④ **sensual** 「官能的な / 肉感的な」

877 ② **favorite** 「お気に入りの」
③ **favorable** 「好都合の / 好意的な」
a *favorable* comment「好評」

875 （④） 読み書きできる人が全人口のおよそ 98%を占める。
876 （②） そのお金をすべて服に使うよりも貯金するほうが賢明だったでしょう。
877 （②） ウイルソンさん，あなたの一番好きな日本料理は何ですか。

Part 4

イディオム

第24章　動詞中心のイディオム　330
第25章　形容詞・副詞中心のイディオム　374
第26章　名詞中心のイディオム　386
第27章　前置詞の働きをするイディオム
――群前置詞　400

第24章 動詞中心のイディオム

Theme 210

□□□ **878** 私は駅で 2 時間待ったが，彼は現れなかった。 (上智大)
I waited for two hours at the station but he didn't (s-　　) (　　).

□□□ **879** 彼はいつも遅れる。昨日は 6 時まで現れなかった。
He's always late. Yesterday he didn't (t-　　) (　　) until six.
(= appear) (創価大)

□□□ **880** 頻出 1861 年にアメリカで南北戦争が起こった。
In 1861 the Civil War broke (　　) in America. (創価大)

□□□ **881** 頻出 自転車が故障したので，授業に間に合わなかった。
I couldn't arrive at class on time because my bicycle had broken (　　). (東京電機大)

□□□ **882** 会議は 4 時に散会した。
The meeting broke (　　) at four.
(= came to an end) (帝塚山学院大)

□□□ **883** 頻出 学校での事故はどのように起きたのですか。
How did the accident at school come (　　)? (青山学院大)

□□□ **884** 彼の新作小説は来月出版される。
His new novel will come (　　) next month.
(= be published) (慶應大)

□□□ **885** 発展 意識が回復すると，彼は自宅のベッドに横たわっていた。 (獨協医大)
When he (　　) to, he found himself lying on his bed at home.

□□□ **886** 発展 食糧の供給が続く限り，ここにとどまりなさい。
Stay here as long as the food supply holds (　　).
(= lasts) (青山学院大)

□□□ **887** 頻出 この文字の色を黄色に変えて目立たせたらどう？
Why not change the font color here into yellow and make it (s-　　) (　　)? (獨協医大)

878 (show, up)　879 (turn, up)　880 (out)　881 (down)　882 (up)
883 (about)　884 (out)　885 (came)　886 (out)　887 (stand, out)

Theme 210 動詞 + 副詞 ── 自動詞の働きをするもの ①

878 **show up**
879 **turn up** 「現れる / 姿を見せる」(= **appear / come / arrive**)

〈プラスα〉 **turn up** には「(音量など) を大きくする / (ガスなど) を強める」という意味の他動詞用法もある。(⇔ **turn down** ➲ 935)
Don't *turn up* the radio. (ラジオの音を大きくしないで)

880 **break out**「急に起こる / 勃発する」
▶「戦争・火災・暴動・あらし」などが主語の場合に用いる。

881 **break down**「(車・機械などが) 故障する / だめになる」

882 **break up**「(会議などが) 終わる」(= **come to an end**)
▶ すっかり / 完全に (up) 壊れる (break) ➡ 終わる / 別れる (➲ Power Up! 191)
〈プラスα〉 **break up** には「(結婚生活・友情・関係などが) 終わる」という意味もある。
Their marriage has *broken up*. (彼らの結婚は破たんした) (愛知工大)

883 **come about**「起こる / 生じる」(= **happen / occur**)
〈比 較〉 他動詞表現の **bring about** ～「～を引き起こす」と対にして覚える。(➲ 899)

884 **come out**「出版される (= **be published**) / 発売される」
〈比 較〉 他動詞表現の **bring out** ～「～を出版する」も頻出。

Power Up! 187 自動詞表現と他動詞表現を対にして覚える

come と **bring** が自動詞と他動詞のイディオムをつくる。対で覚えよう。

〔自動詞〕		〔他動詞〕
□ **come about**「起こる」	──	□ **bring about** ～「～を引き起こす」
□ **come out**「出版される」	──	□ **bring out** ～「～を出版する」
□ **come to an end**「終わる」	──	□ **bring** ～ **to an end**「～を終わらせる」
□ **come to light**「明るみに出る」	─	□ **bring** ～ **to light**「～を明るみに出す」

885 **come to**「意識［正気］を取り戻す」(= **become conscious**)
▶ come to は come to *oneself*「本来の自分自身に戻る」から *oneself* を省略した表現。

886 **hold out**「持ちこたえる / (蓄えなどが) もつ / 続く」(= **last** ➲ 851)
▶ 最後まで (out) ある状態を保持する (hold) ➡ 持ちこたえる
〈プラスα〉 **hold out** には「～を差し出す」という意味の他動詞用法もある。
He *held out* his hand. (彼は手を差し出した)

887 **stand out**「目立つ」
▶ (常態から) 外れて (out) 立つ (stand) ➡ 目立つ / 傑出［突出］する
〈語 句〉 Why not *do*?「～してはどうですか」(➲ 261)
〈プラスα〉 outstanding 形「目立った / 傑出した」も押さえておこう。

Theme 211

□□□ **888** 頻出 最もばかげた考えが，長い目で見れば，最も興味深くて役に立つ考えであると，わかることがよくある。

The craziest ideas often (t-　　　)(　　　) to be the most interesting and useful ones in the long run.（= prove）（立教大）

□□□ **889** だれかがしゃべっているときに，口をはさむべきではない。

You should not cut (　　　) when someone else is talking.
（= interrupt）（中央大）

□□□ **890** 私たちの会話に割り込まないでください。（大阪電通大）

Please don't (b-　　　) in on our conversation.（= interrupt）

□□□ **891** 頻出 祖父は，私が 10 歳のときに亡くなりました。

My grandfather (p-　　　) away when I was 10 years old.（成城大）

□□□ **892** 基本 頻出 私は今晩外食をして，夜遅くまで起きていたい。

I would like to eat out and (　　　) up late tonight.（専修大）

□□□ **893** 頻出 気をつけろ！ 茂みにヘビがいるぞ。

Watch (　　　)! There is a snake in the bush.（亜細亜大）

□□□ **894** まもなく乾季が始まるでしょう。

The dry season will (s-　　　)(　　　) soon.（千葉商大）

□□□ **895** 彼は朝の 4 時に出発した。

He (　　　) out at four in the morning.（= started）（中京大）

□□□ **896** 時限爆弾が爆発し 5 人が負傷した。

The time bomb went (　　　) and five people were injured.
（= exploded）（関西外語大）

□□□ **897** 基本 私たちの飛行機は 12 時ちょうどに離陸し，ケネディ空港に定刻に着陸した。

Our plane took (　　　) at exactly twelve o'clock, and landed on time at Kennedy Airport.（日本大）

□□□ **898** その大きな車は信号で止まった。（大阪電通大）

The big car pulled (　　　) at the traffic light.（= stopped）

888 (turn. out) **889** (in) **890** (break) **891** (passed) **892** (stay [sit]) **893** (out)
894 (set. in) **895** (set) **896** (off) **897** (off) **898** (up)

Theme 211 動詞 + 副詞 ── 自動詞の働きをするもの ②

888 **turn out (to be)** ～「～であることがわかる」(= **prove (to be)**)

〈語句〉 in the long run「(長い目で見れば) 結局は / 最後には」(➲ 1222)

889 **cut in**
890 **break in** ｝「(話などに) 口をはさむ / 割り込む」(= **interrupt**)

〈比較〉 **cut in on ～ = break in on ～**「～に口をはさむ」(= interrupt ～)

＊ interrupt には自動詞と他動詞の両用法がある。

891 **pass away**「亡くなる / 死ぬ」

▶ die の遠回しな表現。

892 **stay up**「寝ずに起きている」(= **sit up**)

▶ sit up は stay up より堅い言い方。

893 **watch out**「気をつける / 用心する」(= **look out**)

〈比較〉 **watch [look] out for ～**「～に気をつける」

Watch out for the signpost. I don't want to miss the turning.
(標識に気をつけろよ。曲がる場所を見落としたくないからな)(青山学院大)

894 **set in**「(季節・天候などが) 始まる」(= **begin / start**)

895 **set out**「出発する」(= **start / set off**)

〈比較〉 **set out [off] for ～**「～に向けて出発する」

He *set out for* the North Pole in August.
(彼は 8 月に北極に向け出発した)(関東学院大)

896 **go off**「(爆弾などが) 爆発する」(= **explode**)

〈プラスα〉 **go off** には「(銃などが) 発射される」/「(警報などが突然) 鳴り出す」などの意味もある。

The alarm clock didn't *go off* this morning.
(目覚し時計が今朝鳴らなかった)(獨協大)

897 **take off**「(飛行機などが) 離陸する」(⇔ **land**「着陸する」)

〈プラスα〉 **take off** には「(服など) を脱ぐ / とる」の意味の他動詞用法がある。
この場合の反意表現は **put on** ～「～を着る」。(➲ 923)

He entered the house and *took off* his coat.
(彼は家に入って，コートを脱いだ)(中央大)

898 **pull up**「(車などが) 止まる」(= **stop**)

▶「(車のサイドブレーキ・馬の手綱を) 上に (up) 引けば (pull) 車・馬は止まる」と覚えよう。

〈プラスα〉 **pull up** には「(車など) を止める」という意味の他動詞用法もある。

Theme 212

□□□ **899** 頻出
ITは私たちの生活に大きな変化を引き起こした。
Information technology has (b-　　)(　　) a great change in our lives. (= caused)（清泉女子大）

□□□ **900** 基本 頻出
彼女は自分の子供たちを，たくさんの愛情を込めて育てている。（東京経済大）
She (b-　　)(　　) her children with a lot of love. (= raises)

□□□ **901**
彼は出発を遅らせるもっともな言い訳をでっち上げた。
He made (　　　) a good excuse for putting off his departure. (= invented)（獨協大）

□□□ **902** 頻出
ジョンは非常に速く英語をしゃべったので，我々は何を言ったのか理解できなかった。（名古屋学院大）
John spoke English so fast that we couldn't (m-　　) out what he said.

□□□ **903** 頻出
私は彼女が言おうとしていることが理解できなかった。（東海大）
I couldn't (f-　　)(　　) what she was trying to say. (= understand)

□□□ **904** 頻出
トムは親切にも駅まで友達を車で迎えに行った。（千葉商大）
It is nice of Tom to have picked (　　) his friends at the station.

□□□ **905**
ケイトは5つのきれいな桃を選んだ。
Kate picked (　　) five beautiful peaches. (= chose)（中部大）

□□□ **906** 基本 頻出
彼はアフリカへ行ったきり戻って来なかった。彼は死んだものとあきらめられていた。（札幌大）
He went to Africa never to return; he was (g-　　)(　　) for dead.

□□□ **907**
知らない単語は辞書で調べるべきです。
Unknown words should be (l-　　)(　　) in a dictionary.（南山大）

Power Up! 188 「動詞 + 代名詞 + 副詞」の語順

問題 辞書でそれを引いてみたらいいと思いますよ。（中央大）
I think you (up / it / better / had / look) in a dictionary.

解説 「動詞 + 副詞」の群動詞が他動詞の働きをする場合，目的語の位置に注意が必要である。目的語が代名詞のときは，必ず動詞と副詞の間に置いて「動詞 + 代名詞 + 副詞」の語順になる。目的語が名詞のときは，「動詞 + 名詞 + 副詞」と「動詞 + 副詞 + 名詞」の両方の語順が可能。

答え ○had better look it up　×had better look up it
[目的語が名詞 —— ○look the word up　○look up the word]

Theme 212 動詞 + 副詞 —— 他動詞の働きをするもの ①

899 **bring about** ～「～を引き起こす / ～をもたらす」(= **cause / lead to**)
〈比較〉自動詞「起こる」は **come about**。(➲ 883 / ➲ Power Up! 187)

900 **bring up** ～「～を育てる」(= **raise / rear**)
〈比較〉**grow up** は自動詞で「育つ」という意味。混同しないように。
I was born in Nagasaki and *grew up* in Osaka.
（私は長崎で生まれ大阪で育った）（中央大）

901 **make up** ～「～をでっち上げる / ～を作り上げる」(= **invent** ➲ 740)
〈プラスα〉**make up** の「仲直りする / 化粧する」という意味の自動詞用法も重要。
I had words with him last night, but we *made up* this morning.
（昨夜彼と口論したが，今朝仲直りした）（大阪学院大）

902 **make out** ～
903 **figure out** ～
}「～を理解する」(= **understand / comprehend**)
〈プラスα〉**figure out** ～ には「～を解決［解答］する」(= solve) の意味もある。
I cannot *figure out* this math problem.
（私はこの数学の問題が解けません）（名城大）

904 **pick up** ～「～を車で迎えに行く / ～を車に乗せる」
〈発展〉**pick up** ～ には「～を拾い上げる」という基本の意味から発展して，
①「～を車で迎えに行く」
②「(言語・知識など) を身につける / 聞き覚える」
③「～を手に入れる / ～を買う」などの種々の意味がある。
② Children usually *pick up* foreign languages very quickly.
（子供はたいていとてもはやく外国語を覚える）（青山学院大）
③ *pick up* a rare book「珍本を手に入れる」

905 **pick out** ～「～を選ぶ」(= **select / choose**)
▶「選び出す」という意味の「ピックアップする」は和製英語。英語の pick up には「選ぶ」の意味はない。pick out を用いる。

906 **give up** ～「～をあきらめる / ～を捨てる」(= **abandon**)
▶ **give up ～ for dead**「～を死んだものとあきらめる」
▶ **give up *doing***「(飲酒・喫煙など悪習) をやめる」(➲ Power Up! 96)
Mr. Suzuki *gave up smoking* for the sake of his health.
（鈴木さんは健康のために禁煙した）（センター）

907 **look up** ～「(辞書・コンピューターなどを使って) ～を調べる」

899 (brought, about)　900 (brings, up)　901 (up)　902 (make)　903 (figure, out)
904 (up)　905 (out)　906 (given, up)　907 (looked, up)

□□□ **908** 頻出 計画を立てることは簡単だが，それを実行することは難しい。
It is easy to make plans, but difficult to (　　　) them out.
(= perform)　(高岡法科大)

□□□ **909** 私は１人でその調査を続けようとした。　(亜細亜大)
I tried to carry (　　　) the investigation on my own. (= continue)

□□□ **910** 彼らは生活費を切りつめた方がよい。　(電気通信大)
They had better cut (　　　) their living expenses. (= reduce)

□□□ **911** 基本 私は電車に傘を置き忘れた。
I (l-　　　) my umbrella (　　　) in the train.　(関西外語大)

□□□ **912** この２行は削除すべきだ。
These two lines should be left (　　　).　(高知大)

□□□ **913** 発展 その国で内戦が起こるという可能性を否定することはできない。
We cannot (r-　　　) out the possibility that civil war will break out in that country. (= exclude)　(学習院大)

□□□ **914** 彼はあまり速く話すので何を言っているのか分からない。
He speaks so fast that I can't (t-　　)(　　) what he says.　(駒澤大)

□□□ **915** プロジェクトが始まったら，彼女が責任を引き受けるだろう。(青山学院大)
She will (t-　　)(　　) the responsibility if they start the project.

□□□ **916** 彼は父親の事業を引き継いだ。
He (t-　　)(　　) his father's business. (= succeeded to)　(獨協大)

□□□ **917** お時間をすっかり取ってしまってごめんなさい。　(佛教大)
I'm sorry I've (t-　　)(　　) so much of your time. (= occupied)

□□□ **918** 頻出 彼女はそのダイヤの指輪を見せびらかした。
She (s-　　)(　　) the diamond ring.　(慶應大)

……………………………………………………

908 (carry)　**909** (on)　**910** (down)　**911** (left, behind)
912 (out)　**913** (rule)　**914** (take, in)　**915** (take, on)
916 (took, over)　**917** (taken, up)　**918** (showed, off)

Theme 213 動詞 + 副詞 —— 他動詞の働きをするもの ②

908 **carry out** ～「～を実行する / ～を成し遂げる」
(= **perform / accomplish / execute / achieve / fulfill**)
▶ carry them out の語順に注意。(➲ Power Up! 188)

909 **carry on** ～「～を続ける / ～を進める」(= **continue**)
〈プラスα〉 **carry on with** ～ もほぼ同意。
本問 = I tried to *carry on with* the investigation on my own.

910 **cut down** ～「～を減らす / ～を切りつめる」(= **reduce**)
▶ (不必要な部分を) 切り (cut) 落とす (down) ➡ ～を小さくする / 減らす
〈プラスα〉 **cut down on** ～ もほぼ同意。
We will have to *cut down on* our food budget next month.
(来月は食費を切りつめなくてはならないだろう) (青山学院大)

911 **leave ～ behind**「～を置き忘れる / ～をあとに残す」
▶ leave ～ behind の語順になるのがふつう。

912 **leave out** ～「～を除外する / ～を省く / ～を削る / ～を抜かす」(= **omit**)
▶ 外に (out) 残したままにする (leave) ➡ ～を除外する / ～を省く

913 **rule out** ～「(規定などによって) ～を除外する (= **exclude**) / ～を否定する」
▶ **rule out the possibility that [of]** ～「～という [の] 可能性を否定する」の形での出題が多い。

914 **take in** ～「～を理解する」(= **understand / comprehend**)
▶ ～を頭の中に取り込む (take in) ➡ ～を理解する
〈プラスα〉 **take in** ～ には「～をだます」(= deceive / cheat) の意味もある。
相手をうまく取り込む (take in) ➡ ～をだます
I can't believe my own mother was *taken in* by a dishonest man.
(自分の母親が悪いやつにだまされたなんて信じられない) (日本大)

915 **take on** ～「(仕事・責任など) を引き受ける」(= **undertake / accept**)
〈プラスα〉 **take on** ～ には「～を雇う」,「(性質・外観など) を帯びる」(= assume) という意味もある。
Our company has to *take on* a lot of people this year.
(今年わが社はたくさんの人を雇わなければならない) (日本大)

916 **take over** ～「(事業・職務など) を引き継ぐ」(= **succeed to** ➲ 997)

917 **take up** ～「(時間・場所など) を取る / 占める」(= **occupy**)
〈プラスα〉 **take up** ～ の「(趣味・仕事として) ～を始める」という意味も重要。
He *took up* golf as a pastime.
(彼は趣味としてゴルフを始めた) (日本大)

918 **show off** ～「～を見せびらかす」(= **display**)
▶ ～を (他の物から) 離れて [➡ 際立って / 目立って] (off) 見せる (show)

Theme 214

□□□ **919** その会社はおよそ200人の労働者を一時解雇した。 （高千穂商大）
The company (l-　　) (　　) some two hundred workers.

□□□ **920** 彼は毎月一定額を貯金することにしていた。 （愛知工大）
He made it a rule to put (a-　　) a certain sum every month.

□□□ **921** すべてのものをきちんと片づけなさい。
(　　) everything (　　) neatly. （西南学院大）

□□□ **922** 基本 超頻 今日できることを明日まで延ばすな。
Don't put (　　) till tomorrow what you can do today. （実践女子大）

□□□ **923** 基本 出かけるときはコートを着て行きなさい。今日は本当に寒いから。
You'd better (　　) (　　) a coat when you go out. It's really cold today. （亜細亜大）

□□□ **924** 基本 すてきなドレスですね。試着しても構いませんか。
I like this dress. May I try it (　　)? （学習院大）

□□□ **925** 子供たちが泣き止まないので，疲れ果ててしまった。
The children wore us (　　) with their constant screaming and crying. （学習院大）

□□□ **926** この書類の最後の行にあなたの名前を書いてください。 （日本女子大）
(P-　　) (　　) your name on the last line of this document.

□□□ **927** ジョンは怒りを抑え，けんかを避けることができた。
John was able to (h-　　) (　　) anger and avoid a fight. （明海大）

□□□ **928** 政府は失業問題を調査するために委員会を設立した。
The government (　　) (　　) a commission to inquire into the problem of unemployment. (= established) （立教大）

□□□ **929** 私を見送りにわざわざ駅まで来てくれてありがとう。
It's nice of you to come all the way to the station to (　　) (　　) (　　). （日本大）

919 (laid, off) **920** (aside) **921** (Put, away) **922** (off) **923** (put, on) **924** (on)
925 (out) **926** (Put, down) **927** (hold, back) **928** (set, up) **929** (see, me, off)

Theme 214 動詞 + 副詞 ―― 他動詞の働きをするもの ③

919 lay off ～「～を一時解雇する」
▶（仕事から）離れて（off）置く（lay）➡ ～を一時解雇する
〈プラスα〉 layoff 名「（特に不景気による）一時解雇 / レイオフ」

920 put aside ～「～をたくわえる / ～をとっておく」(= **put by / save**)
▶ ～を脇に（aside）置く（put）➡ ～をたくわえる
〈プラスα〉 put の代わりに，「～を置く」という意味の **lay** や **set** を用いても同意。

921 put away ～「～を片づける」(= **clear / tidy**)
▶ 目的語が代名詞 everything なので，put everything away の語順。
〈プラスα〉 **put away** ～ には「～をたくわえる」(= put aside ～) の意味もある。
Every month I try to *put away* some money.
（毎月，私はいくらかのお金をたくわえるようにしている）（東海大）

922 put off ～「～を延期する」(= **postpone**)
▶「置いて（put）離して（off）延期して」と覚えるとよい。

923 put on ～「～を着る / 身につける」(⇔ **take off** ～「～を脱ぐ」➲ 897)

924 try on ～「～を試しに着て［はいて / かぶって］みる」

Power Up! 189 on と off の反意表現

on と **off** はいろいろなイディオムで反意表現として用いられる。
□ **get on** a bus 「バスに乗る」 ⇔ □ **get off** a bus 「バスから降りる」
□ **turn on** the TV「テレビをつける」⇔ □ **turn off** the TV「テレビを消す」
cf. **put on** ～「～を着る」⇔ **take off** ～「～を脱ぐ」
＊ **put off** ～ は「～を延期する」の意味で使うのがふつう。

925 wear out ～「～を疲れ果てさせる」
▶ **wear out** ～ は「～をすり減らす / ～を使い古す」が元の意味。
I *wear out* shoes quickly.（私はすぐに靴をはきつぶしてしまう）

926 put down ～「（考え・名前など）を書き留める」(= **write down**)

927 hold back ～「（感情など）を抑える / ひかえる」(= **restrain**)
〈プラスα〉 自動詞用法で「しり込みする / ためらう」(= hesitate) の意味もある。
Don't *hold back*.（どうか遠慮しないで（言ってください））

928 set up ～「～を設立する」(= **establish / found**)

929 see ～ off「～を見送る」(⇔ **meet**「～を出迎える」)
▶ 目的語が名詞の場合でも，see ～ off の語順になるのがふつう。

Theme 215

□□□ **930** 頻出
明日の朝，作文を提出しなければならない。 (中央大)
I need to hand (　　　) the essay tomorrow morning. (= submit)

□□□ **931** 頻出
その学生は，2 週間後にやっと宿題を提出した。 (上智大)
Two weeks later the student finally (t-　　　) (　　　) the homework.

□□□ **932** 基本
彼女はテレビをつけた。
She (t-　　　) (　　　) the TV. (獨協大)

□□□ **933** 基本
彼女はつけっぱなしの明かりを全部消した。
She turned (　　　) all the lights which had been left on. (流通経済大)

□□□ **934** 基本 頻出
消防士たちはすぐにその火事を消し止めるだろう。 (阪南大)
The fire fighters will put (　　　) the fire soon. (= extinguish)

□□□ **935** 頻出
市長は委員からの提案を拒絶した。 (高知大)
The mayor turned (　　　) the proposal by the committee member.

□□□ **936** 頻出
英語の先生はその問題を解くのに私たちに 5 分時間を与えた。
The English teacher gave us five minutes to (w-　　　) out the problem. (亜細亜大)

□□□ **937**
これらの大きな古い家を維持するのは難しい。
It is difficult to (k-　　　) (　　　) big old houses like these. (= maintain) (桃山学院大)

□□□ **938** 頻出
天気が悪くて，遠足は取りやめになった。 (中央大)
Our school trip was (　　　) off because of bad weather. (= canceled)

□□□ **939** 基本
彼は以前の上司に電話をした。
He (c-　　　) (　　　) his former boss. (= rang) (日本大)

□□□ **940**
ボブはまた私を失望させた。
Bob (　　　) me down again. (= disappointed) (中央大)

□□□ **941** 頻出 発展
「気分が全くすぐれない。ひどい頭痛がするんだ」「今日 1 日休みにしたら？」
"I don't feel well at all. I've got an awful headache."
"Why don't you take a (　　　) (　　　) today?" (センター)

Theme 215 動詞 + 副詞 —— 他動詞の働きをするもの ④

930 **hand in** ～
931 **turn in** ～ } 「～を提出する」(= **submit / give in**)

▶ **hand in** ～ / **give in** ～《英》は「(手渡しで) 提出する」場合。「(郵送して) 提出する」なら **send in** ～ を用いる。**turn in** ～《米》はどちらの場合にも用いる。

932 **turn on** ～「(テレビ・ラジオ・電灯など) をつける / (ガス・水道など) を出す」

▶ スイッチを回して (turn) 電流を接触している (on) 状態にする

933 **turn off** ～「(テレビ・ラジオ・電灯など) を消す / (ガス・水道など) を止める」

▶ スイッチを回して (turn) 電流を遮断している (off) 状態にする

〈プラスα〉「電灯 [テレビ] をつける [消す]」は switch on [off] ～ とも言う。

934 **put out** ～「(火・電灯など) を消す」(= **extinguish**)

▶「燃える火や電灯 [明かり] を消す」場合に用いる。
put out [×turn off] a fire「火を消す」

〈比 較〉自動詞表現の **go out**「消える」と区別するように。
The lights in the corridor *went out*. (廊下の明かりが消えた)

935 **turn down** ～「～を拒絶する」(= **refuse / reject**)

〈プラスα〉**turn down** ～「(音量など) を小さくする」(⇔ **turn up** ➲ 879) も重要。
Will you please *turn down* the stereo? It's too loud. (学習院大)
(ステレオの音を下げてもらえますか。すごくうるさいので)

936 **work out** ～「(問題など) を解く / 解決する」(= **solve**)

〈プラスα〉自動詞用法「(計画などが) うまくいく」も重要。
Did the plan *work out*? (計画はうまくいきましたか) (駿河台大)

937 **keep up** ～「～を維持する」(= **maintain**)

938 **call off** ～「～を中止する / ～を取り消す」(= **cancel**)

▶ (催し物) を中止と (off) と宣言する [叫ぶ] (call) ➡ ～を中止する

939 **call up** ～「～に電話をかける」(= **ring (up)**《英》/ **telephone**)

▶ call up ～ は up を省略して，単に call ということも多い。

940 **let** ～ **down**「(人) を失望させる」(= **disappoint**)

▶ 目的語は代名詞が多いので，let ～ down の語順がふつう。

941 **take** ～ **off**「～の期間休みをとる」

▶ **take off** には「離陸する」,「～を脱ぐ」(➲ 897) の他に，時間・期間を表す語を目的語にとって，「ある期間仕事を離れる ➡ 休みをとる」という意味で用いられることがある。
take a day off「1 日休みをとる」

〈語 句〉Why don't you *do*?「～してはどう (ですか)」(➲ 261)

---

930 (in)　931 (turned, in)　932 (turned, on)　933 (off)
934 (out)　935 (down)　936 (work)　937 (keep, up)
938 (called)　939 (called, up)　940 (let)　941 (day, off)

□□□ **942** 基本 頻出 助けが必要な時は，助けを求めることを恐れるな。
Don't be afraid of (a-　　　) for help when it is needed.　（立教大）

□□□ **943** 基本 頻出 妹が病気の時，両親が彼女の世話をした。
When my sister was sick, my parents looked (　　　) her.　（慶應大）

□□□ **944** 頻出 彼ほど名声が好きな人はいない。　（日本大）
No other man (c-　　　) (　　　) fame as much as he does. (= loves)

□□□ **945** 基本 頻出 キーが見つからない。探すのを手伝ってくれませんか。　（芝浦工大）
I can't find my keys. Could you help me (l-　　　) (　　　) them?

□□□ **946** 頻出 彼女は，スポーツが好きだという点で彼女の母親に似ている。
She takes (　　　) her mother in that she is fond of sports.　（高知大）

□□□ **947** 頻出 委員会はその災害の原因を調査する予定だ。
The committee will (l-　　　) (　　　) the cause of the disaster.
(= investigate)　（神戸学院大）

□□□ **948** 私は提出前にいつも宿題にざっと目を通す。
I always (l-　　　) (　　　) my homework before I turn it in.
(= check)　（関西外語大）

□□□ **949** クラスのみんながすぐに彼のことを好きになった
Everyone in the class (t-　　　) (　　　) him at once.　（東海大）

□□□ **950** 頻出 先生はジャックに学校を休んだ理由を説明するように言った。
The teacher asked Jack to account (　　　) his absence from school.
(= explain)　（亜細亜大）

□□□ **951** 彼の演説は，さらに彼の名声を高めた。
His speech (a-　　　) (　　　) his reputation.　（日本大）

□□□ **952** 夜ふかしの連続が私の体にこたえ始めてきた。
A succession of late nights are beginning to (t-　　　) (　　　) my health.　（青山学院大）

□□□ **953** 発展 君はこのようなむだ使いの責任を取らなければならないだろう。
You will have to answer (　　　) this waste.　（青山学院大）

Theme 216 動詞 + 前置詞 ①

942 **ask for** ～「～を求める / ～をくれと頼む」(= **request / demand**)
▶ **ask A for B**「A に B を求める」の形とセットで覚えよう。
It's been years since I *asked* you *for* any help.
（私がどんな助けでもあなたに求めてから何年にもなる）（センター）

943 **look after** ～「～の世話をする」(= **take care of / care for**)

944 **care for** ～〔通例，否定文・疑問文で〕「～を好む」(= **like / love**)
▶ care for ～ は肯定文では look after ～ の意味になるので注意。
〈語句〉No other + 単数名詞 + is as + 原級 + as A「A ほど…な～はない」(➲ 236)

945 **look for** ～「～を探す」(= **search for**)

946 **take after** ～「～に似ている」(= **resemble / look like**)
▶ 血縁関係がある年上の人，特に親に似ている場合に用いる。
▶ after は「～に従って / ～にならって」という『模倣』の意味。

947 **look into** ～「(問題・事件など) を調べる」(= **investigate / examine**)

948 **look over** ～「(書類など) にざっと目を通す / ～を調べる」(= **check**)

Power Up! 190 「調べる」の意味のイディオム

look を用いた「～を調べる」の意味のイディオムは **look into / look over / look up**（➲ 907）の 3 つがよく出題される。違いに注意してしっかり覚えよう。
他には，go を用いた **go over** と **go through**（➲ 991）を押さえておこう。
□ **go over** [**through**] ～「～をよく見る [調べる]」(= examine ～ carefully)
I *went over* [*through*] the report.（報告書をよく調べた）

949 **take to** ～「～を好きになる」(= **come to like / begin to like**)
〈プラスα〉**take to** ～ には「～にふける / ～が習慣になる」の意味もある。
take to drinking「飲酒にふける / 飲酒の癖がつく」

950 **account for** ～「(人が) ～の理由を説明する (= **explain**) / (物事が) ～の原因となる」
〈重要〉**account for** ～ の「～ (の割合) を占める」という意味も重要。
People aged 65 and over *account for* 20% of the population of the country.
（65 歳以上の人がその国の人口の 20% を占める）（日本大）

951 **add to** ～「～を増やす / 増す」(= **increase**)
〈プラスα〉**add A to B**「A を B に加える」 *add* salt *to* a dish「料理に塩を入れる」

952 **tell on** ～「(人・健康など) にこたえる / 影響する」(= **affect**)

953 **answer for** ～「～の責任を負う (= **be responsible for**)」
▶ (出来事・行為など) に対して (for) 応える (answer) ➡ ～の責任を負う

942 (asking)	943 (after)	944 (cares, for)	945 (look, for)
946 (after)	947 (look, into)	948 (look, over)	949 (took, to)
950 (for)	951 (added, to)	952 (tell, on)	953 (for)

Theme 217

□□□ **954** 断ったのに，彼はどうしても私にそこへ行くようにと言ってきかなかった。
基本 頻出 In spite of my refusal, he insisted (　　　)(　　　) going there.
（清泉女子大）

□□□ **955** 私はやめさせようとしたが，メアリーはあくまで本当のことを言うと言い張った。
Mary (p-　　　) in telling the truth though I tried to stop her.（大阪電通大）

□□□ **956** 彼女は詳細を調べもせずに自分の意見に固執した。
She (s-　　　)(　　　) her view without examining the details.（法政大）

□□□ **957** 伝統的な性別による役割に固執する人は男性にも女性にも多い。
There are many men and women who (c-　　　) to traditional sex roles.
(= stick to)（獨協大）

□□□ **958** 「TPPは何を表しますか」「環太平洋パートナーシップです」（鹿児島大）
頻出 “What does TPP stand (　　　)?” “It’s Trans-Pacific Partnership.”

□□□ **959** 私たちは最後まで彼の味方をするつもりです。
We will (s-　　　)(　　　) him to the last.（立教大）

□□□ **960** 外国語をマスターするには忍耐が必要である。
頻出 Mastering a foreign language (c-　　　) for patience.（桜美林大）

□□□ **961** 私たちは昨日叔父を訪ねて，楽しく過ごした。
基本 We called (　　　) our uncle yesterday and had a good time.（文教大）

□□□ **962** その列車事故で多くの犠牲者が出た。
頻出 The train accident resulted (　　　) many victims.（摂南大）

□□□ **963** その戦争は間違った政策から起こった。
頻出 The war resulted (　　　) mistaken policies.（中央大）

□□□ **964** 幸福は満足することにある。
Happiness (c-　　　) in contentment.（同志社大）

□□□ **965** ラグビーチームは15人の選手で構成されている。（神戸学院大）
頻出 A rugby team consists (　　　) fifteen players. (= is composed of)

954 (on, my [me]) **955** (persisted) **956** (stuck, to) **957** (cling)
958 (for) **959** (stand, by) **960** (calls) **961** (on)
962 (in) **963** (from) **964** (consists) **965** (of)

Theme 217 動詞 + 前置詞 ②

954 **insist on [upon]** ～「～を強く主張する / ～と言い張る」
▶ insist on A(’s) *doing*「Aに～せよと言ってきかない」
本問 = In spite of my refusal, he insisted that I (should) go there. (➲ 571)
〈比較〉He *insisted on* going there.
（彼は（自分が）そこへ行くと言ってきかなかった）

955 **persist in** ～「～をあくまで主張する / ～に固執する」

956 **stick to** ～ ｝「～に固執する / ～にくっつく」
957 **cling to** ～ ｝
▶ **insist** は **on**，**persist** は **in**，**stick [cling]** は **to**。

He { *insists on* / *persists in* / *sticks* [*clings*] *to* } his opinion.（彼は自分の意見に固執する）

958 **stand for** ～「～を表す / ～を意味する」(= **represent / mean**)
〈プラスα〉**stand for** ～には「～を支持する（= support）/ ～をがまんする」の意味もあるが，入試で出題されるのは主に「～を表す」のほう。

959 **stand by** ～「～の味方をする / ～を支持する」(= **support**)
▶ ～のそば（by）に立っている ➡ ～の味方をする

960 **call for** ～「～を必要とする / ～を要求する」(= **require / demand**)

961 **call on** ～「（人）を訪ねる」(= **visit**)
〈比較〉『人』を訪問する場合は **call on** ～，『場所』を訪問する場合は **call at** ～。
Could you *call at* John’s office on your way home?
（帰り道，ジョンの会社に立ち寄っていただけませんか）（日本大）
〈発展〉**call on A for [to *do*]**「Aに～［～すること］を求める」も重要。
I *called on* him for an answer. = I *called on* him to answer.
（私は彼に答えを求めた）

962 **result in** ～「～という結果になる」

963 **result from** ～「～の結果として起こる」
▶ **A result from B = B result in A** の関係。
The war *resulted from* mistaken policies.
= Mistaken policies *resulted in* the war.

964 **consist in** ～「～にある」(= **be in / lie in**)

965 **consist of** ～「～から成り立つ」(= **be made up of / be composed of**)
▶ この of は『材料・構成要素』を表す。

Theme 218

□□□ **966** どうやってこれらの本を手に入れたのですか。
How did you come (　　　) these books? (= get)　(日本大)

□□□ **967** 頻出 昨晩，駅で偶然に恩師と出会った。
I ran (　　　) my former teacher at the station last night.　(高知大)

□□□ **968** 頻出 私はその書店で，面白い本を偶然見つけた。
I came (　　　) an interesting book at the bookstore.　(東京理科大)

□□□ **969** 基本 超頻 彼女は生活費をどんな男性にも頼りたくない。　(武蔵大)
She doesn't like to depend (　　　) any man (　　　) support.

□□□ **970** 頻出 彼は頼れる男ではない。
He is not a man to (r-　　　) on.　(上智大)

□□□ **971** 頻出 これからは，親の援助を当てにしないほうがいいよ。　(千葉工大)
You had better not (c-　　　) on your parents' support from now on.

□□□ **972** 彼女はアドバイスを友だちに求めた。
She turned (　　　) her friend for advice.　(東京国際大)

□□□ **973** 超頻 あなたの成功は努力と運次第だ。
Your success (　　　) on your effort and luck.　(愛知学院大)

□□□ **974** 基本 頻出 一流の芸術家たちは，扱いが難しいことがある。　(東京理科大)
Top artists can sometimes be difficult to (d-　　　) (　　　).

□□□ **975** あの店では肉と魚を扱っている。
At that store they (d-　　　) (　　　) fish and meat.　(明治薬科大)

□□□ **976** 頻出 君はとても疲れているから，子供たちをうまく扱う気力がないのだ。
You are so tired you don't have the energy to (c-　　　) (　　　) your children.　(上智大)

□□□ **977** 政府は今年，大幅減税を目指している。　(玉川大)
The government aims (　　　) a drastic tax reduction this year.

□□□ **978** コーヒーの代金はいくら払えばいいのですか。
How much am I supposed to pay (　　　) the coffee?　(甲南大)

Theme 218 動詞 + 前置詞 ③

966 **come by** ～「～を手に入れる」(= **get / obtain**)
▶ ～のそばに (by) 来る (come) ➡ ～を手に入れる

967 **run into** ～「(人) に偶然出会う / ～にぶつかる」(= **bump into**)
▶「(人) に偶然出会う」という意味では，run into ～ が最もよく使われ，入試での出題も多い。**run across** ～ は come across ～ (➲ 968) と同じように人にも物にも使うので，本問の場合 into の代わりに across を入れてもよい。

968 **come across** ～「(物) を偶然見つける / (人) に偶然出会う [出くわす]」(= **run across**)
▶ come across ～ は「(物) を偶然見つける」(= find ～ by chance) の意味で使うことが多い。

969 **depend on** [**upon**]
970 **rely on** [**upon**]
971 **count on** [**upon**]
972 **turn** [**look**] **to**
A (**for B**)「(**B** を) **A** に頼る / **A** をあてにする」
▶ (困ったときなどに) ～のほうを (to) 向く [見る] (turn [look])
➡ ～に頼る / ～を参照する

973 **depend on** [**upon**]「～次第である / ～によって決まる」
▶ depend on [upon] ～ は無生物が主語の場合は「～次第である / ～によって決まる」と訳すとよい。入試ではこの意味の出題も多い。

974 **deal with** ～「～を扱う / ～に対処する」(= **treat / handle**)
〈語 句〉A is + 形容詞 + to *do*「A は～するのに…だ」(➲ 96)

975 **deal in** ～「～を商品として扱う / ～を売る」

976 **cope with** ～「～によく対処する / ～をうまく処理する」
▶ **cope with ～ = deal with ～ successfully** の関係。

977 **aim at** ～「～をねらう / ～をめざす」
〈プラスα〉 **aim A at B**「**A** (武器・カメラなど) を **B** (目標) に向ける」
He *aimed* the gun *at* the target. (彼は銃を標的に向けた)

978 **pay for** ～「～の代金を支払う」
〈プラスα〉 **pay A for B**「**B** の代金として **A** (金額) を支払う」
She *paid* $ 100,000 *for* the house. (彼女はその家に 10 万ドル払った)

966 (by)　**967** (into [across])　**968** (across)　**969** (on [upon], for)　**970** (rely)
971 (count)　**972** (to)　**973** (depends)　**974** (deal, with)　**975** (deal, in)
976 (cope, with)　**977** (at)　**978** (for)

Theme 219

□□□ **979** 基本 頻出
税金についてのあなたの意見に賛成です。
I agree (　　　) your opinion about the taxes.　（桜美林大）

□□□ **980** 基本
私たちの申し出に彼が喜んで同意してくれたのには驚いた。　（同志社大）
We were surprised at his willingness to agree (　　　) our proposal.

□□□ **981**
その店には，私に応対してくれる人は一人もいなかった。
There was no one in the shop to wait (　　　) me.
(= serve)　（慶應大）

□□□ **982**
患者は単に病気に気持ちが負けてしまうために死ぬことがよくある。
Patients often die simply because they (y-　　　) to their diseases.　（拓殖大）

□□□ **983**
いとこのボブは大学でフランス語を専攻した。
My cousin Bob majored (　　　) French in college.　（名古屋学院大）

□□□ **984**
応募者の数は総計１万人になった。　（国士舘大）
The number of applicants (a-　　　) (　　　) 10,000. (= totaled)

□□□ **985**
文明が発達すればするほど，人々はますます自然を切望する。　（東洋大）
The more civilization advances, the more people long (　　　) nature.

□□□ **986** 頻出
ビルは奨学金を申し込んだがうまくいかなかった。
Bill (a-　　　) for a scholarship but he wasn't successful.　（学習院大）

□□□ **987** 頻出
頭痛を治すのに１週間以上かかった。
It took me more than a week to get (　　　) my headache.
(= recover from)　（金城学院大）

□□□ **988** 頻出
税金還付を受けるためには，用紙にどのように必要事項を記入したらよいかを，親切な職員が丁寧に説明してくれた。
A friendly clerk carefully explained how to (f-　　　) out the forms to receive a tax refund.　（中央大）

……………………………………………………………………

979 (with)　980 (to)　981 (on [upon])　982 (yield)　983 (in)　984 (amounted, to)
985 (for)　986 (applied)　987 (over)　988 (fill)

Theme 219 動詞 + 前置詞 ④

979 agree with ～「(人)と意見が一致する / (人の意見・考え)に賛成する」
▶ **agree with** ～ の「(気候・食べ物などが) ～に合う」の意味も頻出。(➲ 731)

980 agree to ～「(計画・提案など) に同意する」

981 wait on [upon] ～「(人) に仕える / (客) に応対する」(= **serve**)
〈プラスα〉 Have you been *waited on*? = Are you being *waited on*?「(店員が客に) ご用をお伺いしていますか」の表現も押さえておこう。

982 yield to ～「～に屈する / ～に負ける」
(= **submit to / surrender to / give in to** ➲ 1031 / **give way to**)

983 major in ～「～を専攻する / ～を専門にする」(= **specialize in**)
▶ ～を (in『対象』) 主に (major) する ➡ ～を専攻する

984 amount to ～「総計～になる」(= **total / add up to**)
〈プラスα〉 **amount to** ～ には「結局～になる / ～に等しい」の意味もある。
It *amounts to* a threat. (それは脅迫も同然である)

985 long for ～「～を切望する / ～にあこがれる」
▶ ～を求めて (for) 長く (long) 思う ➡ ～を切望する / ～にあこがれる

986 apply for ～「～を申し込む / ～を求める」(= **ask for**)
〈比較〉 **apply to** ～「(規則などが) ～に当てはまる」(= be true of ➲ 1141)
These rules *apply to* everybody alike.
(これらの規則は誰にも同じように当てはまる) (駒澤大)

987 get over ～「(困難など) を乗り越える (= **overcome**) / (病気・精神的痛手) から回復する [立ち直る] (= **recover from**)」
▶ ～を越えて (over) 到達する (get) ➡ ～を乗り越える

988 fill out [up / in] ～「～に必要事項を記入する」
▶ (空白を) すっかり (out / up) 埋める (fill) / 埋め込む (fill in)
Please *fill in* this application form first.
(まずこの申し込み用紙に必要事項を記入してください) (駒澤大)

Power Up! 191 「すっかり / 完全に」の意味の out と up

□ **fill out [up]** ～「～に必要事項を記入する」(➲ 988)
□ **wear out** ～「～を疲れ果てさせる」(➲ 925)
□ **be tired [worn] out**「疲れきっている」　□ **die out**「死に絶える」
□ **speak out [up]**「思い切って意見を言う」　□ **break up**「終わる」(➲ 882)
□ **eat up** (～)「(～を) 食べつくす」　□ **use up** ～「～を使い果たす」
□ **dry up**「完全に乾く / 干上がる」　□ **end up** ～「最後には～する」(➲ 1033)

Theme 220

□□□ **989** 今年のクリスマスは，金曜日にあたる。
Christmas Day (f-　　)(　　) a Friday this year. （西南学院大）

□□□ **990** 野生の動物をペットにする習慣はよくないと思う。（法政大）
I don't (a-　　)(　　) the habit of turning wild animals into pets.

□□□ **991** 基本 頻出 研究者たちは成功する前に多くの困難を経験しました。
The researchers (w-　　)(　　) many difficulties before they found success. （東京理科大）

□□□ **992** その男の子はサンタクロースがいると今でも思っている。
The boy still believes (　　) Santa Claus. （金沢工大）

□□□ **993** 発展 彼は遠くに見える明かりに向かって進んだ。（北海道工大）
He (m-　　)(　　) the light he saw in the distance. (= went toward)

□□□ **994** 基本 1年間彼から便りがありません。
I haven't heard (　　) him for a year. （中央大）

□□□ **995** 基本 私はそれ以来，彼のうわさを耳にしていない。
I have never heard (　　) him since then. （大阪経済大）

□□□ **996** 基本 頻出 彼女は欲しいものを手に入れることができた。
She succeeded (　　)(　　) what she wanted.
(= managed to get) （藤女子大）

□□□ **997** 彼には家業を継いでくれる子供が一人もいない。
He has no children to succeed (　　) the family business. （高知大）

□□□ **998** サインが消えるまで喫煙は遠慮するようにと乗客は言われた
Passengers were asked to (r-　　) from smoking until the sign went off. （駿河台大）

□□□ **999** 昨晩，家に泥棒が押し入った。
Robbers broke (　　) the house last night. （中央大）

□□□ **1000** 頻出 一部の新入生にとっては，大学での忙しい生活に順応するのが必ずしも簡単というわけではない。
It is not always easy for some new students to (a-　　) to the busy life at university. （学習院大）

Theme 220 動詞 + 前置詞 ⑤

989 **fall on** ～「(記念日などが) ～にあたる」

990 **approve of** ～「～に賛成する / ～をよいと思う」
(⇔ **disapprove of** ～「～に賛成しない」)

991 **go through** ～「～を経験する」(= **experience / undergo**)
▶ go through ～「〔基本義〕～を通り抜ける」➡ ～を経験する
〈プラスα〉 **go through** ～「～をよく見る［調べる］」も重要。(➲ Power Up! 190)
We have to *go through* the files again.
(もう一度ファイルをよく調べなければならない) （日本工大）

992 **believe in** ～「～の存在を信じる / ～の価値［良さ］を信じる」
cf. { I *believe in* you. (私は君を信頼している)
I *believe* you. (私は君の言うことを信じる)

993 **make for** ～「～のほうへ進んで行く / 向かう」(= **go toward / head for**)
〈プラスα〉 **make for** ～ には「～に寄与する / ～に役立つ」(= contribute to) の意味もある。
I hope this treaty will *make for* peace in the world.
(この条約が世界平和に寄与するとよいと思う) （東京理科大）

994 **hear from** ～「～から便りがある / 連絡がある」
(⇔ **write to** ～「～に手紙を書く」)

995 **hear of** ～「～のうわさを耳にする」

996 **succeed in** ～「～に成功する」(⇔ **fail in** ～「～に失敗する」)
▶ **succeed in *doing* = manage to *do***「どうにか～する」(➲ 501)

997 **succeed to** ～「～を相続する / ～のあとを継ぐ」(= **inherit**)
▶「～のあとを継ぐ」の意味では **take over** ～ (➲ 916) と言い換え可能。
succeed to [*take over*] the family business「家業を継ぐ」

998 **refrain from** ～「～を慎む / ～を差し控える」(= **keep from**)
▶ **refrain from *doing***「～するのを慎む」

999 **break into** ～「～に押し入る」
〈プラスα〉 **break into** ～ には「急に～し始める」(= burst into) の意味もある。
She *broke into* laughter [a run / tears].
(彼女は急に笑い［走り / 泣き］出した)

1000 **adapt to** ～「(環境など) に順応［適応］する」(= **adjust to**)
〈プラスα〉 **adapt A to B**「A を B に順応［適応］させる」
adapt *oneself* to ～ = adapt to ～「～に順応［適応］する」
〈比較〉 つづりのまぎらわしい語 **adopt** は「～を採用する」の意味。

---

989 (falls, on) 990 (approve, of) 991 (went, through) 992 (in) 993 (made, for)
994 (from) 995 (of) 996 (in, getting) 997 (to) 998 (refrain)
999 (into) 1000 (adapt [adjust])

Theme 221

□ **1001** その計画がうまく行くとはまったく思ってもみないことだった。
□ 頻出 It never (o-　　　) to me that the plan would work well. (獨協医大)
□

□ **1002** この本なしではやっていけない。
□ 頻出 We cannot (d-　　　) (　　　) this book. (東京国際大)
□

□ **1003** 私は車なしですまさなければならないだろう。
□ I will have to dispense (　　　) a car. (= do without) (名古屋外大)
□

□ **1004** 彼女は宝石箱を手放さなければならなかった。
□ She had to (p-　　　) (　　　) her jewel box. (獨協大)
□

□ **1005** わずかな誤りでも致命的な惨事につながるかもしれない。
□ 頻出 The slightest mistake may (l-　　　) (　　　) a fatal disaster. (東大)
□

□ **1006** そんなにたばこを吸い続けたら，がんで死ぬかもしれないよ。
□ 基本 If you keep smoking so much, you may die (　　　) cancer. (芝浦工大)
□

□ **1007** 医者を呼びにやりなさい。
□ You must (s-　　　) (　　　) the doctor. (名工大)
□

□ **1008** あなたのすばらしい指示のおかげで，私は大阪にとても速く着いた。
□ Thanks to your great directions, I (　　　) to Osaka very quickly.
□ (青山学院大)

□ **1009** 知らない単語の意味を見つけるために辞書を参照してください。
□ 頻出 Please (r-　　　) (　　　) the dictionary to find the meaning of a
□ word you don't know. (= consult) (南山大)

□ **1010** 決して暴力に訴えてはいけない。
□ You must never (r-　　　) (　　　) violence. (関西学院大)
□

□ **1011** 彼女は家に帰るとすぐに昼食の準備に取りかかった。
□ As soon as she got home, she (s-　　　) (　　　) preparing lunch.
□ (= began) (日本大)

□ **1012** ナンシーはひどい風邪でこの数日苦しんでいる。
□ 頻出 Nancy has been suffering (　　　) a bad cold for a few days. (高知大)
□

Theme 221 動詞 + 前置詞 ⑥

1001 occur to ～「(考えなどが) ふと～の心に浮かぶ」(= **strike** ➲ 744)

▶ (人の心) に (to) 生じる (occur) ➡ (考えなどが) (人) の心に浮かぶ

▶ **It occurs to A that** 節「～という考えが A (人) の心に浮かぶ」

〈比較〉 **hit on** [**upon**] ～「～を思いつく / ～を考えつく」〔人が主語〕

A good idea *occurred to* me. = A good idea *struck* me.
= I *hit on* a good idea. (私に名案が浮かんだ)

〈語句〉 work「(計画・方法などが) うまく行く」(➲ Power Up! 180)

1002 do without ～
1003 dispense with ～ } 「～なしですます」(= **go without**)

▶ **dispense** では **with** を用いることに注意。

1004 part with ～「～を手放す」

▶「物を手放す」は **part with** ～,「人と別れる」は **part from** ～。

1005 lead to ～「～につながる / ～を引き起こす (= **cause**)」
(= **bring about** ➲ 899 / **give rise to** ➲ 1059 / **result in** ➲ 962)

▶ (道などが) ～に (to) 通じている (lead) ➡ ～につながる / ～を引き起こす

His carelessness *led to* [brought about / gave rise to / resulted in] serious trouble. (彼の不注意が重大な面倒を引き起こした)

1006 die of [**from**] ～「～が原因で死ぬ」

▶ die of ～ は病気など内的要因による死，die from ～ はけがなど外的要因による死とされてきたが，現在ではその区別は明確ではない。

1007 send for ～「～を呼びにやる / ～に来るように頼む」

▶ **send A for B**「B を呼びに A をやる」の A が省略された形。

〈比較〉「(自分で) 呼びに行く / 迎えに行く」は **go for** ～。

go for help [the doctor]「助け［医者］を呼びに行く」

1008 get to ～「～に到着する」(= **arrive at / reach**)

1009 refer to ～「～を参照する」(= **consult**)

〈プラスα〉 **refer to** ～ には「～に言及する」の意味もあるので注意。
refer to A as B「A を B と呼ぶ［言う］」も要チェック。(➲ 518)

1010 resort to ～「(手段など) に訴える / ～に頼る」

1011 set about ～「～に取りかかる / ～を始める」(= **go about**)

▶ **set about** ***doing***「～し始める」(= set out to *do*)

本問 = She *set out to* prepare lunch.

1012 suffer from ～「(病気など) で苦しむ / (病気) にかかる」

▶ from は『原因』を表す。「～から ➡ ～で / ～のために」

1001	(occurred)	1002	(do, without)	1003	(with)	1004	(part, with)
1005	(lead, to)	1006	(of)	1007	(send, for)	1008	(got)
1009	(refer, to)	1010	(resort, to)	1011	(set, about)	1012	(from)

Theme 222

□□□ 1013 **超頻** 外からの騒音に我慢できない。本当にいらいらする。
I can't put (　　)(　　) that noise from outside. That really makes me annoyed. （北里大）

□□□ 1014 **頻出** この古くからの慣習は廃止すべきだ。
We should do (　　)(　　) this old custom. (= abolish)（杏林大）

□□□ 1015 **頻出** 彼女はその病院で思いやりのある看護師として尊敬された。
She was (l-　　)(　　)(　　) as a considerate nurse at the hospital. (= respected)（名城大）

□□□ 1016 **頻出** 単に貧しいからといって人を見下してはいけない。
You should never (l-　　)(　　)(　　) a man merely because he is poor.（慶應大）

□□□ 1017 **頻出** 今朝1時間遅れて来たので，その埋め合わせをするために7時半まで働かなくてはなりません。
Since I came in an hour later this morning, I have to work until 7:30 to (　　)(　　) for it.（成城大）

□□□ 1018 私は人のいないところでその人たちを悪く言うのは好きではない。（流通経済大）
I don't like speaking (　　)(　　) others behind their backs.

□□□ 1019 **発展** 彼女は100メートル競走に出場します。
She is going in (　　) the 100-meter race.（青山学院大）

□□□ 1020 **頻出** 彼の期待に応えられませんでした。
I couldn't (　　)(　　) to his expectations.（東京理科大）

□□□ 1021 親は子供を擁護しなければならない。
Parents need to stand (　　)(　　) their children.（大阪経済大）

□□□ 1022 遠慮なく私のところに泊まってください。
Please feel free to put (　　) at my place. (= stay at)（日本大）

□□□ 1023 **基本** 治療を続けなさい。良くなってきていますから。（青山学院大）
Go (　　)(　　) the treatment. It is doing you good. (= Continue)

□□□ 1024 **発展** そろそろ仕事に取りかかる頃だよ。
It's time you (g-　　) down (　　) work. (= started)（愛知学院大）

Theme 222 動詞 + 副詞 + 前置詞 ①

1013 **put up with** ～「～を我慢する」
(= **endure / stand / bear / tolerate**)

1014 **do away with** ～「(規則・慣行など) を廃止する」(= **abolish**)

1015 **look up to** ～「～を尊敬する」(= **respect**)
〈語句〉considerate「思いやりのある」(➲ 871)

1016 **look down on [upon]** ～「～を見下す / ～を軽べつする」(= **despise**)

1017 **make up for** ～「～の埋め合わせをする / ～を償う」
(= **compensate (for) / make amends for**)

1018 **speak ill [badly] of** ～「～のことを悪く言う / ～をけなす」(= **criticize**)
⇔ **speak well [highly] of** ～「～のことをよく言う / ～をほめる」
(= **praise**)
〈プラスα〉speak の代わりに think を使えば「悪く思う」「よく思う」の意味になる。

1019 **go in for** ～「(競技) に参加する (= **take part in**) / (試験) を受ける」
▶ ～に向かって［～を求めて］(for) 中に入る (go in)
〈プラスα〉**go in for** ～ には「(好きで) ～をする［始める］」の意味もある。
go in for golf「(趣味として) ゴルフをする［始める］」

1020 **live up to** ～「(期待など) に添う / 応える」(= **meet / satisfy**)
〈プラスα〉**live up to** ～ には「(主義など) に従って生きる」の意味もある。
They have managed to *live up to* their ideals.
(彼らは何とか自分たちの理想に従って生きてきた)（獨協大）

1021 **stand up for** ～「～を擁護する (= **defend**) / ～を支持する (= **support**)」
▶ ～のために［～を支持して］(for) 立ち上がる (stand up)

1022 **put up at** ～「～に泊まる」(= **stay at**)
〈語句〉**Please feel free to *do***「遠慮なく～してください」(➲ 1172)

1023 **go on with** ～「～を続ける」(= **continue**)
▶ **go on *doing***「～し続ける」(= keep on *doing*) とあわせて覚える。
She didn't want to *go on being* a secretary.
(彼女は秘書を続けたくなかった)（立教大）

1024 **get down to** ～「～に取りかかる / ～に本気で取り組む」
▶ 腰を落ち着けて［本気で］(down) ～に取りかかる (get to)
〈発展〉「～に取りかかる」の意味のイディオムには **set about** ～ (➲ 1011) / **get to** ～ / **set to** ～などがある。 *get* [*set*] *to* work「仕事に取りかかる」
〈語句〉It is time + S + 仮定法過去「S はもう～してよいころだ」(➲ 160)

1013 (up, with)　1014 (away, with)　1015 (looked, up, to)　1016 (look, down, on)
1017 (make, up)　1018 (ill [badly], of)　1019 (for)　1020 (live, up)
1021 (up, for)　1022 (up)　1023 (on, with)　1024 (got, to)

Theme 223

□□□ **1025** どうやってそんな良いアイデアを思いついたのですか。
超頻
How did you come (　　　) with such a nice idea?　（東北学院大）

□□□ **1026** 急げばすぐに彼女に追いつくでしょう。（関西大）
頻出
You will soon catch (　　　)(　　　) her if you hurry. (= overtake)

□□□ **1027** 多くの人たちは，時勢に遅れないように新聞を読む。（金沢工大）
基本 頻出
Many people read newspapers to (　　　) up (　　　) the times.

□□□ **1028** もし仕事をうまくやり終えられたら，長期の休暇をとるつもりだ。
If I can get (　　　) with my work, I'll take a long vacation.　（玉川大）

□□□ **1029** メアリーはジムの家に立ち寄った。
Mary dropped (　　　) at Jim's house. (= stopped by)　（東海大）

□□□ **1030** マークは本当にいいやつです。他の人たちと仲良くやっている。
超頻
Mark is a really nice guy. He (　　　) along well with others.　（南山大）

□□□ **1031** 政府はテロリストの要求に屈することを拒んだ。
The government refused to give (　　　) to the demands of the terrorists.　（倉敷芸術科学大）

□□□ **1032** その感動的なエピソードはしみじみ私の胸にこたえた。
発展
The touching episode (c-　　　) home (　　　) me.　（東京外語大）

□□□ **1033** 彼が運転するといつも，最後には道を間違える。
頻出 発展
Whenever he drives, we end up (　　　) the wrong way.　（中央大）

□□□ **1034** 印刷全部が終わらないうちにインクがなくなるかもしれませんね。
頻出
We might (　　　) out of ink before we finish all this printing.　（九州産業大）

······

1025 (up)　1026 (up, with)　1027 (keep, with)　1028 (through)
1029 (in [by])　1030 (gets)　1031 (in)　1032 (came, to)
1033 (taking)　1034 (run)

Theme 223 動詞 + 副詞 + 前置詞 ②

1025 come up with ～「(考え・答えなど) を思いつく」(= **think of**)
▶「(思いついた考えなど) を出す / 提案する」(= propose) という意味にも注意。
We have to *come up with* a convincing alternative to the meeting tomorrow.（説得力のある代案を明日の会議に提出しなければならない）

1026 catch up with ～「～に追いつく」(= **overtake**)

1027 keep up with ～「～に遅れずについていく」

1028 get through with ～「(仕事など) をやり終える」(= **finish**)
▶ with を省略することも可能。
He'll never *get through* all that spaghetti.
（彼は決してそのスパゲティを全部は食べきれないだろう）（日本大）

1029 drop in [**by**] **on** [**at**] ～
「～をひょっこり訪れる / ～に立ち寄る (= **stop by at**)」
▶ **on** の後は『人』，**at** の後は『場所』になる点に注意。(➲ 961)

1030 get along with ～「～とうまく [仲良く] やっていく / やっている」
(= **get on with**)
▶ **get along** [**on**] は「(なんとか) やっていく，暮らしていく」という意味。
How are your parents *getting along* [*on*]?
（ご両親はいかがお暮らしですか）（島根薬科大）

1031 give in to ～「～に屈する / ～に負ける」
(= **yield to** ➲ 982 / **submit to** / **give way to** ➲ 1061)

1032 come home to ～「～にしみじみこたえる / ～に痛切に感じられる」
▶ home は「(狙った所に) ぐさりと / 痛切に」の意味の副詞。
〈比較〉 他動詞表現の **bring A home to B**「A を B に痛切に感じさせる / A を B に十分わからせる」も重要。A が長い場合は B の後に来ることが多い。
You must *bring home to* her that she is wrong.（中央大）
（彼女が間違っていることを彼女にはっきりわからせなければならない）

1033 end up (by) *doing*「最後には～することになる」
▶ up は「すっかり」の意味で，動詞 end を強めている。(➲ Power Up! 191)
by は省略されることのほうが多い。
〈語句〉 take the wrong way「道を間違える」
〈発展〉 **end up** の後には **in**「～に (入って)」/ **as**「～に」/ **with**「～で」などいろいろな形が続く。
He *ended up* (*as*) a lawyer [*in* hospital].
（彼は最終的には弁護士 [入院するはめ] になった）

1034 run out of ～「～を使い果たす / ～を切らす」
〈比較〉 類似表現の **run short of** ～ (➲ 1121) にも「～を切らす」の意がある。

Theme 224

□□□ **1035** ジュディーはその男をジャーナリストだと思った。
Judy has (t-　　) the man for a journalist.（高岡法科大）

□□□ **1036** もし色が気に入らなければ，他のものに交換できますよ。（武蔵大）
If you don't like the color, you can (e-　　) it for a different one.

□□□ **1037** 頻出 ご成功おめでとう。
We all congratulate you (　　) your success.（清泉女子大）

□□□ **1038** 基本 姉は私の宿題を手伝ってくれた。
My sister helped me (　　) my homework.（浜松大）

□□□ **1039** 頻出 私が成功できたのはあの人のおかげだ。
I (　　) my success in life to him.（中央大）

□□□ **1040** 頻出 私は部屋を姉と共有している。
I (s-　　) the room (　　) my sister.（東洋大）

□□□ **1041** 基本 頻出 弟は明朝，福岡を発ち新幹線で東京に向かいます。
My brother is (　　) Fukuoka (　　) Tokyo by bullet train tomorrow morning.（九州国際大）

□□□ **1042** 基本 頻出 エレンは衣服にずいぶんお金を使います。
Ellen spends a lot of money (　　) clothes.（東海大）

□□□ **1043** 頻出 その赤ちゃんはフランスの歴史上の名高い王にちなんで名付けられた。
The baby was named (　　) a famous king in French history.（中央大）

□□□ **1044** 頻出 太郎は今すべての時間と労力を英語の勉強に注いでいる。
Taro is now devoting all his time and energy (　　)(　　) English.（センター）

□□□ **1045** 彼はよく自分の失敗を不運のせいにする。
He often attributes his failure (　　) bad luck.（関西学院大）

……

1035 (taken)　1036 (exchange)　1037 (on [upon])　1038 (with)
1039 (owe)　1040 (share, with)　1041 (leaving, for)　1042 (on)
1043 (after [for])　1044 (to, studying)　1045 (to)

Theme 224 動詞 + A + 前置詞 + B

「動詞 + A + 前置詞 + B」型のイディオムに関しては，第 15 章動詞の語法（Theme 130 〜 Theme 137）の中でも扱ったので，再確認しておこう。ここではそれ以外のイディオムをまとめた。

1035 **take A for B**「A を B だと思う / A を B と間違える」（= **mistake A for B**）
▶ for は「〜として / 〜であると」の意味で as に近い。

1036 **exchange A for B**「A を B と交換する」

1037 **congratulate A on [upon] B**「A（人）の B（成功・幸運など）を祝う」
〈比 較〉同じ「祝う」でも **celebrate** の目的語は『人』ではなく『特別な日・祝い事』。
I *congratulate* [×celebrate] you *on* your wedding.
= I *celebrate* [×congratulate] your wedding.（ご結婚おめでとう）

1038 **help A with B**「A（人）の B を手伝う」
▶ この with は「〜に関して」の意味で『動作の対象』を表す。

1039 **owe A to B**「A は B のおかげである」
▶ **owe A to B** の元の意味は「A（金など）を B（人）に借りている」。
I am still in debt. I *owe* $500 *to* her.
（私はまだ借金をしている。彼女に 500 ドル借りている）（南山大）

1040 **share A with B**「A（物）を B（人）と分け合う / A（物）を B（人）と共有する」
▶ share の目的語 A は『物』であることに注意。

1041 **leave A for B**「A を出発して B に向かう」（= **start from A for B**）
〈プラスα〉目的語を伴わない，**leave for** 〜「〜向かって出発する」の形も重要。
I am *leaving for* Kyoto tonight.（今夜，京都に向けて出発します）

1042 **spend A on B**「A（時間・金）を B に費やす」
〈比 較〉**spend A (in) *doing***「A（時間・金）を〜するのに費やす」（➲ 124）

1043 **name A after [for] B**「B の名をとって［にちなんで］A に名前をつける」
▶ この after は「〜にならって / 〜にちなんで」の意味で『模倣』を表す。
▶ 本問は A is named after [for] B と受動態になっている。
〈プラスα〉**name A B after [for] C**「C の名をとって［にちなんで］A に B という名前をつける」の用法もある。➡ A is named B after [for] C（受動態）
He *was named* William *after* his uncle.
（彼は伯父の名をとってウイリアムと名づけられた）（亜細亜大）

1044 **devote A to B**
「A（努力・時間など）を B（仕事・目的など）にささげる」
〈プラスα〉**devote *oneself* to** 〜「（仕事など）に専念する / 熱中する」
They are *devoting themselves to* farming. = They *are devoted to* farming.（彼らは農業に専念している）

1045 **attribute A to B**「A を B のせいにする」（= **ascribe A to B**）

Theme 225

□□□ **1046** 基本 頻出 私はたいてい朝１時間走ります。今年の３月にマラソン大会に参加するつもりです。
I usually run for an hour in the morning. I will take (　　) in a marathon this March. (愛知学院大)

□□□ **1047** 発展 彼女はいつも不平を言って，私をいらいらさせる。
She gets (　　) my (　　) with her constant complaints.
(= irritates me) (慶應大)

□□ **1048** わざわざ荷物を持ってきていただかなくてもいいですよ。
I don't want you to (　　) out of (　　) (　　) to bring me the package. (立命館大)

□□□ **1049** 彼はわざわざ駅への近道を教えてくれた。(明治大)
He took the (t-　　) to show me the shorter way to the station.

□□ **1050** あなたは自分の業績を誇りに思うべきです。(大阪教育大)
You ought to take (　　) (　　) your achievement. (= be proud of)

□□□ **1051** 基本 私は今日人ごみの中で旧友を見かけました。
I caught (　　) of my old friend in the crowd today. (高岡法科大)

□□□ **1052** 私たちは，目的を見失わないように心がけなければならない。(東京理科大)
We must remember not to (　　) sight (　　) our goal.

□□□ **1053** 基本 頻出 あなたはこの辞書を大いに利用すべきだ
You ought to (　　) much use of this dictionary. (浜松大)

□□□ **1054** 頻出 彼は好天を利用して庭いじりをした。(神奈川大)
He took (　　) of the good weather to do some gardening.

□□□ **1055** あなたが寄付するお金は有効に利用されるだろう。
The money you give will be put (　　) good (　　). (慶應大)

□□□ **1056** 頻出 他人の仕事のあら探しをするのは簡単だ。(千葉工大)
It is easy to find (　　) (　　) the work of others. (= criticize)

□□ **1057** 彼女は彼の手首をつかんだ。
She took (　　) of his wrist. (駒澤大)

Theme 225 特定の名詞を用いる群動詞 ①

1046 **take part in** ～「～に参加する」(= **participate in / join (in)**)

1047 **get on A's nerves**「Aの神経にさわる / Aをいらいらさせる」(= **irritate / annoy / disturb**)

▶ nerve「神経」はこの成句では nerves と複数形になる点に注意。

1048 **go out of *one's* way to *do***
1049 **take the trouble to *do*** }「労を惜しまず～する / わざわざ～する」

▶ ～する面倒［苦労］(trouble) を引き受ける (take) ➡ 労を惜しまず～する

比較 **have trouble *doing***「～するのに苦労する」と区別。(➲ 123)

1050 **take pride in** ～「～を誇りに思う」

▶ 同意表現には **be proud of ～ / pride *oneself* on ～** がある。pride (名詞)，proud (形容詞)，pride (動詞) に伴う前置詞の違いに注意。

本問 = You ought to *pride yourself on* your achievement.

1051 **catch sight of** ～「～を見つける / ～がちらっと見える (= **catch [get] a glimpse of**)」

1052 **lose sight of** ～「～を見失う / 見落とす」

▶ catch sight of ～ の反意表現。対にして覚えよう。

1053 **make use of** ～「～を利用する」(= **use / utilize**)

▶ 本問のように，use を **much / full / good**「十分な」/ **the best / peaceful** などで修飾することもある。

make *full* [*good*] use of ～「～を十分に利用する」
make *the best* use of ～　「～を最大限に利用する」

1054 **take advantage of** ～「～を利用する」(= **make use of**)

プラスα **take advantage of** ～ には「(親切・無知など) につけ込む / 乗じる」(= impose on) の意味もある。

People started *taking advantage of* his kindness.
(人々は彼の親切心につけ込み始めた)

1055 **put ～ to use**「～を利用する」(= **make use of**)

1056 **find fault with** ～「～のあら探しをする / ～を非難する」(= **criticize**)

▶ ～に関して (with) 欠点［あら］(fault) を見つける (find)

1057 **take hold of** ～「～をつかむ」

プラスα take の代わりに **catch / get / seize** なども使える。

Such people *get hold of* a chance.
(そういう人々がチャンスをつかむのだ) (三重大)

1046	(part)	1047	(on, nerves)	1048	(go, your, way)	1049	(trouble)
1050	(pride, in)	1051	(sight)	1052	(lose, of)	1053	(make)
1054	(advantage)	1055	(to, use)	1056	(fault, with)	1057	(hold)

イディオム

Theme 226

□□□ **1058** 彼女は客に腹を立てて大声を出した。
She lost her (　　　) with the customer and shouted at him.　(高知大)

□□□ **1059** あなたのふるまいは誤解を生むだろう。
Your behavior will (　　　) rise to misunderstanding.　(東洋大)

□□□ **1060** 彼女は元気な女の子を出産した。
She (　　　) birth to a healthy girl.　(高知大)

□□□ **1061** 彼は決して誘惑に負けなかった。
頻出 He never gave (w-　　　) (　　　) temptation.　(慶應大)

□□□ **1062** 太陽発電の車が近いうちにガソリン車に取って代わってほしいと思う。
I hope that solar-powered cars will take (　　　) (　　　) of gasoline engine cars before long.　(日本大)

□□□ **1063** 私が戻るまで，この手荷物を見ていてくれますか。　(青山学院大)
Will you keep an (　　　) on this baggage until I get back? (= watch)

□□□ **1064** ストライキが終わって，私たちは喜んでいる。
We are glad that the strike has (　　　) (　　　) an end.　(桜美林大)

□□□ **1065** 成人になるまでタバコを吸うことはできません。
You cannot smoke till you have (　　　) of age.　(東北学院大)

□□□ **1066** 君にはわれわれがどんなに心配していたか分かるはずがない。
頻出 You can have (　　　) (　　　) how anxious we have been.　(日本大)

□□□ **1067** 最近の気候は，農業生産に悪影響を及ぼすことになるだろう。
頻出 The recent weather will have a bad effect (　　　) agricultural production.　(中央大)

□□□ **1068** 彼女は絵画には興味がないが，作曲は大いに楽しんでいる。
She is not interested in painting but (　　　) great delight in composing music.　(駒澤大)

1058 (temper)　**1059** (give)　**1060** (gave)　**1061** (way, to)
1062 (the, place)　**1063** (eye)　**1064** (come, to)　**1065** (come)
1066 (no, idea)　**1067** (on)　**1068** (takes)

1058 **lose *one's* temper**「腹を立てる」(= **get angry**)
▶ 平静な気分［落ち着き］(temper) を失う (lose) ➡ 腹を立てる
▶ 反意表現は **keep *one's* temper**「怒りを抑える / 平静さを保つ」。

1059 **give rise to** ～「～を引き起こす」(= **cause / bring about**)

1060 **give birth to** ～「(子)を産む」
〈プラスα〉 **give birth to** ～ が「～を引き起こす / もたらす」(= give rise to) の意味で用いられることがある。
His conduct *gave birth to* the displeasure of all his friends.
(彼の行為は友人すべてを不快にさせた)

1061 **give way to** ～「～に道を譲る / ～に屈する」
(= **yield to / give in to / surrender to / submit to**)
〈発展〉 to のない形 **give way**「崩れる / 壊れる」(= collapse) にも注意。
The bridge has *given way* since the last earthquake.
(その橋はこの前の地震以来崩れている) (大東文化大)

1062 **take the place of** ～「～に取って代わる」(= **replace**)
▶ ～の (of) 地位［立場］(place) を取る (take) ➡ ～に取って代わる
〈プラスα〉 of 以下が代名詞の場合は **take A's place** となる。
She couldn't attend the meeting, so her assistant *took her place.*
(彼女は会議に出席できなかったので，助手が代わりを務めた) (高知大)

1063 **keep an [*one's*] eye on** ～「～から目を離さないでいる」(= **watch**)

1064 **come to an end**「終わる」
〈比較〉 他動詞表現 **bring ～ to an end** = **put an end to** ～「～を終わらせる」も重要。(➲ Power Up! 187)
What is the best way to *bring* the war *to an end*?
= What is the best way to *put an end to* the war?
(戦争を終結させる最良の方法は何か) (東京電機大)

1065 **come of age**「成年に達する」
▶ この **age** は「成年 / 成人」の意味。
be of *age*「成年に達している」, be under *age*「未成年である」

1066 **have no idea**「少しも知らない / わからない」
▶ **have no idea** + 疑問詞節「～かを少しも知らない［わからない］」
〈プラスα〉 強める場合は **don't have the slightest idea** を用いる。
I *don't have the slightest idea.* (私にはさっぱりわかりません)

1067 **have an effect [influence] on** ～「～に影響を与える / 効果がある」

1068 **take delight in** ～「～を喜ぶ / ～を楽しむ」(= **take pleasure in**)

Theme 227

□□□ 1069 ジョギングは健康のためになる。
Jogging will (　　　) you good. （愛知学院大）

□□□ 1070 **頻出** これらの本は若者たちに大きな害を与える。
These books (　　　) young people great (　　　). （関西学院大）

□□□ 1071 **頻出** お願いですから塩をとってくれませんか。
Could you do me a (　　　) and pass me the salt, please? （亜細亜大）

□□□ 1072 **頻出** お願いをしてもよろしいでしょうか。
I am wondering if I could ask a favor (　　　) you? （神奈川大）

□□□ 1073 **頻出** 私たちはその詩を暗記するように言われた。
We were told to learn the poem by (　　　). （高知大）

□□□ 1074 **頻出** 今日は４時に帰らなければならないことを覚えておいて下さい。
(K-　　　) in (　　　) that I have to leave at 4 o'clock today. （東京理科大）

□□□ 1075 彼女が何を考えているのか彼には少しもわからなかった。
He had no idea as to what she (h-　　　) in (　　　). （別府大）

□□□ 1076 **頻出** メアリーとルーシーは，それほど共通点があるわけではないが，それでも良い友達だ。
Mary and Lucy don't have (　　　) in (　　　), but they are still great friends. （東京理科大）

□□□ 1077 **頻出** あなたは，彼が若すぎるという事実を考慮しなければならない。（中部大）
You must take into (a-　　　) the fact that he is too young. (= consider)

□□□ 1078 **頻出** あらゆることを考慮に入れると，あなたはすぐ行くほうがよい。
Taking all things into (c-　　　), you had better go at once. （桜美林大）

□□□ 1079 **発展** 不意を打たれて，彼女はまったく何も言えなかった。
(　　　) by surprise, she couldn't say a word at all. （宮崎大）

1069 (do)　1070 (do, harm)　1071 (favor)　1072 (of)
1073 (heart)　1074 (Keep, mind)　1075 (had, mind)　1076 (much, common)
1077 (account)　1078 (consideration)　1079 (Taken)

Theme 227 特定の名詞を用いる群動詞 ③

1069 **do A good**「A のためになる」（= **do good to A**）
▶ do は「(益・害など) を与える／もたらす」の意味。
▶ good は「利益／ため（になること）」の意味の名詞。

1070 **do A harm**「A の害になる」（= **do harm to A**）
1071 **do A a favor**「A の頼みを聞き入れる」（= **do a favor for A**）
1072 **ask a favor of A**「A に頼みごとをする」（= **ask A a favor**）
▶ Will you *do me a favor*? = May I *ask a favor of* you?
（お願いがあるのですが）（名古屋女子大）
〈語句〉I wonder if ～「～してもよろしいですか」（➲ 1334）

Power Up! 192「(益・害など)を与える」の意味の do を用いるその他の熟語

□ **do (A) more harm than good**
「(A に) 益よりむしろ害を与える」（➲ 1069 + 1070）
We must keep in mind that smoking *does us more harm than good*.
（喫煙は有害無益であることを心に留めておかなければならない）（センター）

□ **do A damage**「A に損害を与える」（= do damage to A）

□ **do A justice**「A を公平に扱う［評価する］」（= do justice to A）
To *do him justice*, he is a dreamer.（公平に評価すれば，彼は夢想家だ）（関西大）

1073 **learn A by heart**「A を暗記する／A を覚える」（= **memorize**）
1074 **keep [bear] A in mind**「A を心に留めておく／A を覚えておく」
▶ A が that 節など長い場合，keep [bear] in mind A の語順になる。
1073／1075～1078 も目的語 A が長い場合は同様の語順になる。

1075 **have A in mind**「A を考えている／A を計画している」
1076 **have A in common**「A を共通に持っている」
▶ A は **much／a lot／something／little／nothing** など。
have a lot [something／little／nothing] *in common*
「共通点が多い［いくらかある／ほとんどない／何もない］」

1077 **take A into account**
1078 **take A into consideration**
}「A を考慮に入れる」
▶ **taking all things into consideration = all things considered**（➲ 151）
「あらゆることを考慮に入れると／あらゆることを考えてみると」
〈プラスα〉同意表現，**take account of ～／allow for ～** なども押さえておこう。
You should *take account of* the case more seriously.
（その事件についてもっと真剣に考えたほうがいい）（亜細亜大）

1079 **take A by surprise**「A の不意を打つ／A をびっくりさせる」
▶（　　）には受動態の分詞構文，Taken が入る。（➲ 147）
▶ この場合の surprise は名詞で「不意打ち／奇襲」の意味。

Theme 228

□□□ **1080** メンバー全員が彼女の意見を重んじた。（立命館大）
All the members made (　　　)(　　　) her opinion. (= valued)

□□□ **1081** 頻出 その国際会議は，今年日本で開催される。
The international conference will (t-　　)(　　　) in Japan this year. (= be held)（名城大）

□□□ **1082** 頻出 論文はゆっくり仕上げてはどうですか。（立命館大）
Why don't you take (　　　)(　　　) in finishing up your paper?

□□□ **1083** 彼女はただひまつぶしに読書をする。
She reads books just to (　　　) time.（甲南大）

□□□ **1084** 頻出 彼の言うことは私にはまったく理解できない。
What he says just doesn't make (　　　) to me.（センター）

□□□ **1085** 基本 頻出 マイクは自分の幼い子供たちの世話をした。
Mike (　　　) care of his young children.（名古屋学院大）

□□□ **1086** 私は最近おじにあまり会わない。
I don't see (　　　) of my uncle lately.（名古屋学院大）

□□□ **1087** 皿洗いを手伝いましょうか。
Can I help you (　　　) the dishes? (= wash the dishes)（日本大）

□□□ **1088** 発展 ジョーンズさんはその知らせを聞いたとき，顔をしかめた。
Miss Jones (　　　) a face when she heard the news.（近畿大）

□□□ **1089** 体重を増やしたくなかったら，もっと運動すべきだ。（関東学院大）
You should do more exercise if you don't want to (　　　)(　　　) weight.
(= gain weight)

□□□ **1090** 発展 彼女は彼の顔をピシャッとたたいてやりたくなったが，思い直してやめた。
She felt like slapping him in the face, but thought (　　　) of it.（中央大）

1080 (much, of)　**1081** (take, place)　**1082** (your, time)　**1083** (kill)
1084 (sense)　**1085** (took)　**1086** (much)　**1087** (do)
1088 (made [pulled])　**1089** (put, on)　**1090** (better)

Theme 228 特定の名詞を用いる群動詞 ④

1080 **make much of** ~「~を重視する」(= **value / think much [highly] of**)
⇔ **make light [little] of**「~を軽視する」(= **think little [lightly] of**)
Jack *made light of* his illness by saying it was just a slight cold.
（ジャックは，ほんの軽い風邪だと言って，自分の病気を軽視した）（明治大）

1081 **take place**「(行事などが) 行われる / 催される」(= **be held**)
〈プラスα〉 **take place** には「(事件などが) 起こる」(= happen / occur) の意味もある。 They explained to me how it *took place*.
（彼らは私にそれがどのように起きたか説明した）（流通経済大）

1082 **take *one's* time**「ゆっくり（時間をかけて）やる」
⇔ **lose no time**「すぐに~する」

1083 **kill time**「時間をつぶす」

1084 **make sense**「よく理解できる / 筋が通っている」
〈比較〉 **make sense of** ~〔通例否定文または疑問文で〕「~を理解する」
Can you *make sense of* this answer?
= Does this answer *make sense* to you?
（この答えがあなたにはわかりますか）（センター）

1085 **take care of** ~「~の世話をする」(= **look after** ➲ 943 / **care for** ➲ 944)

1086 **see much [a lot] of** ~「~とよく会う」 ＊ much は通例否定文・疑問文で用いる。
〈プラスα〉 much の代わりに，**something / little / nothing** などが用いられることがある。 see *something* [*little* / *nothing*] of ~
「~とときどき会う［ほとんど / まったく会わない］」

1087 **do the dishes**「皿洗いをする」(= **wash the dishes**)
▶ この do は the dishes を目的語にとって wash の意味になる。

Power Up! 193 do + the [*one's*] 名詞

do は特定の(動)名詞と結びついて「(動作・行為) をする / 行う」の意味となる。
□ **do the dishes**「皿洗いをする」(➲ 1087)　□ **do *one's* room**「部屋を掃除する」
□ **do the laundry**「洗濯をする」　□ **do *one's* face**「化粧する」
□ **do the shopping [cooking / cleaning]**「買い物［料理 / 掃除］をする」

1088 **make a face**「いやな顔をする / 顔をしかめる」(= **pull a face / frown**)

1089 **put on weight**「太る」(= **gain weight**)
⇔ **lose weight**「やせる / 減量する」

1090 **think better of** ~「~を考え直してやめる / ~を見直す」
▶ ~について (of) もっとよく (better) 考える (think) ➡ ~を考え直す［見直す］➡ ~を考え直してやめる

Theme 229

□□□ **1091** 少年たちがその歌手のヘアスタイルを冷やかした。（東京理科大）
The young boys (m-　　) (　　) of that singer's hair style.

□□□ **1092** 笑い者にされてうんざりしている。
I am sick of being made a fool (　　).（立命館大）

□□□ **1093** 彼はあなたをからかっているだけですよ。
He is just (p-　　) your (　　).（関西学院大）

□□□ **1094** 基本 頻出 彼女はレストランで何を注文するか決められない。
At restaurants, she can never (　　) up her (　　) about what to order.（東京理科大）

□□□ **1095** いくつかの重要な事実が調査の間に明らかにされた。（中央大）
Some important facts were brought to (　　) during the investigation.

□□□ **1096** 頻出 支配人と連絡がとれましたか。
Did you get (　　) (　　) with the manager?（成城大）

□□□ **1097** ジョンは自分の思いどおりにしないと，とても腹を立てる。
If John doesn't have his own (　　), he gets very angry.（上智大）

□□□ **1098** しばらく黙っているのが一番よいと思った。（高岡法科大）
I thought it best to hold my (　　) for the time being. (= keep silent)

□□□ **1099** ろうそくを吹き消す前に，息を吸っていっとき止めなさい。
Before blowing out a candle, take a breath in and (　　) your breath.（芝浦工大）

□□□ **1100** 彼女は英語が急速に進歩した。
She has (m-　　) rapid (　　) in English.（琉球大）

□□□ **1101** それから私たちは，徒歩で急な丘を下った。
We then (　　) our way on foot down a steep hill.（中央大）

1091	(made, fun)	**1092**	(of)	**1093**	(pulling, leg)	**1094**	(make, mind)
1095	(light)	**1096**	(in, touch)	**1097**	(way)	**1098**	(tongue)
1099	(hold)	**1100**	(made, progress)			**1101**	(made)

Theme 229 特定の名詞を用いる群動詞 ⑤

1091 make fun of ～
1092 make a fool of ～
1093 pull ～'s leg
「～を笑い者にする / ～をからかう」(= **ridicule / laugh at / tease**)

▶ pull ～'s leg は「(人の) 足を引っ張る / 邪魔する」の意味では用いない。

1094 make up *one's* mind「決心する」(= **decide / determine**)

▶ 後ろに wh- 節・句 / to *do* / that 節 / about [on] ～ が続くことが多い。

He made up his mind *to fish* in the sea next week.
= He made up his mind *that* he would fish in the sea next week.
(彼は来週海で釣りをすることに決めた)（中京大）

1095 bring A to light「**A** を明るみに出す / **A** を暴露する」(= **reveal**)

▶ 本間は受身形。A が長い場合，bring to light A の語順になることもある。

〈比較〉自動詞表現は **come to light**「明るみに出る」。(➲ Power Up! 187)

1096 get in touch with ～「～と連絡をとる」(= **contact**)

〈比較〉**keep in touch with** ～「～と連絡をとり合う」

He *kept in touch with* us wherever he went.
(彼はどこへ行っても私たちと連絡をとり合った)（近畿大）

一時的に連絡をとるなら get，継続的に連絡をとるなら keep。

1097 have [get] *one's* (own) way「自分の思いどおりにする」

▶ have の代わりに get が使われることもある。own は省略可。

1098 hold *one's* tongue「黙っている」(= **keep silent**)

1099 hold *one's* breath「(いっとき) 息を止める / 息を殺す」

1100 make progress「進歩する」

▶ progress は不可算名詞である点に注意。(➲ Power Up! 129)

1101 make *one's* way「進む」(= **proceed / go on**)

▶ この make は「進む / 行く」の意味。

Power Up! 194 make *one's* way のバリエーション 〈発展〉

どのような進み方をするかをはっきり表すために，make の代わりにさまざまな動詞を用いることができる。

□ **feel *one's* way**「手探りで進む」 □ **dance *one's* way**「踊りながら進む」
□ **force *one's* way**「無理やり進む / (～に) 押し入る (into, through)」
□ **elbow [shoulder] *one's* way**「ひじで［肩で］押しのけて進む」

She *elbowed her way* through the crowds.
(彼女は人込みの中をひじで押し分けて行った)（工学院大）

□ **find *one's* way**「苦労して進む / やっとたどり着く」

He *found his way* to the village. (彼はやっとその村へたどり着いた)

□□□ **1102** 頻出 だれも彼の言うことに注意を払っていなかったようです。（青山学院大）
Nobody seems to have (　　　) attention (　　　) what he said.

□□□ **1103** これからあなたにお話することを注意して聞いてください。（名古屋外大）
I hope you'll take (n-　　　) (　　　) what I'm going to tell you.

□□□ **1104** 頻出 彼は退職するまで，教育において積極的な役割を果たした。
He played an active (p-　　　) in education until he retired.（東北学院大）

□□□ **1105** 多くの日本人は，元日に神社や寺に初詣に行きます。
Many Japanese people (p-　　　) a visit to shrines and temples on New Year's Day.（駒澤大）

□□□ **1106** 生計を立てることができればうれしいのだが。
I'll be glad when I can (m-　　　) a (　　　).（立命館大）

□□□ **1107** 健康でいるために早寝をするほうがよい。（明治大）
You had better keep early (　　　) so you will be in good health.

□□□ **1108** 基本 彼女はいつも約束を守る。
She always (　　　) her word.（青山学院大）

□□□ **1109** 頻出 収支を合わせるのは決して容易なことではない。
It is never easy to make (e-　　　) meet.（東京理科大）

□□□ **1110** 発展 私たちは昨夜また口げんかをしてしまったので，今日は口をきいていないんだよ。
We had (　　　) again last night, so today we're not speaking.
(= had a quarrel)（青山学院大）

□□□ **1111** 基本 「私の車をちょっと見てもらえませんか」「どうしましたか」（摂南大）
"Will you (　　　) a look at my car, please?" "What's the problem?"

1102 (paid, to)　1103 (notice, of)　1104 (part)　1105 (pay)
1106 (make, living)　1107 (hours)　1108 (keeps)　1109 (ends)
1110 (words)　1111 (have [take])

Theme 230 特定の名詞を用いる群動詞 ⑥

1102 pay attention to ～
1103 take notice of ～ ｝「～に注意を払う」(= **attend to / look out for** ➲ 893)

1104 play a part [role] in ～「～において役割を果たす［演じる］」
▶ part [role] の前に **active**「積極的な」/ **important / large / major**「主な」などの形容詞を伴うことが多い。

1105 pay [make] a visit to ～「～を訪問する」(= **pay ～ a visit**)

1106 make a [*one's*] living「生計を立てる」
〈プラスα〉make の代わりに **earn / get / gain** なども使える。
He *earns a living* by growing potatoes.
（彼はジャガイモを栽培して生計を立てている）（センター）

1107 keep early [good] hours「早寝早起きをする」
⇔ **keep late [bad] hours**「夜ふかしをする」
▶ **keep regular hours**「早寝早起きをする」という表現も覚えておこう。

1108 keep *one's* word「約束を守る」(= **keep *one's* promise**)
⇔ **break *one's* word [promise]**「約束を破る」

1109 make (both) ends meet「収支を合わせる / 収入内で生活する」
(= **live within *one's* income**)

1110 have words (with ～)「(～と) 口論する」(= **quarrel / have a quarrel**)
〈比較〉**have a word with ～**「～とちょっと話をする」とまぎらわしいので要注意。
May I *have a word with* you?
（ちょっとお話ししてもよろしいですか）（関西学院大）

1111 have a look at ～「～を (ちょっと) 見る」(= **look at / take a look at**)
▶「**have a** + 動詞派生の名詞」で通例一回限りの行為を表す。単一の動詞を用いるよりくだけた言い方。take にも同様の用法がある。

Power Up! 195 「have a + 動詞派生の名詞」の表現

□ **have a look at ～**	「～を (ちょっと) 見る」(= look at / take a look at) (➲ 1111)
□ **have a dream**	「夢を見る」(= dream) ＊ see a dream は不可。
□ **have a rest**	「ひと休みする」(= rest / take a rest)
□ **have a drink**	「一杯やる」(= drink / take a drink)
□ **have a try**	「やってみる」(= try / take a try)
□ **have a walk**	「歩く」(= walk / take a walk)

イディオム

Theme 231

□□□ **1112** 頻出
もう読まない本はできるだけ早く処分すべきだ。
You should get (　　　)(　　　) the books that you no longer read as soon as possible. (= discard)　(関西外語大)

□□□ **1113**
私の手を離してはいけません。そうでないと迷子になりますよ。
Don't (　　　) go (　　　) my hand, or you'll get lost.　(学習院大)

□□□ **1114**
子供たちは海賊ごっこが好きです。
The children like to make (　　　) that they are pirates.　(高知大)

□□□ **1115** 発展
十分ではなかったが，あるもので間に合わせなければならなかった。
Though it wasn't enough, we had to make (　　　) with what we had.　(早大)

□□□ **1116**
心配しないで。私が助けてあげるから。気楽にやりなさい。
Don't worry, I'll help you. Just (　　　) it easy.　(桃山学院大)

□□□ **1117**
このチケットは1年間有効である。
This ticket (h-　　　) good for a year.　(東洋大)

□□□ **1118** 頻出
映画が始まる前に，携帯電話の電源を必ず切ってください。
Before the movie begins, (m-　　　)(　　　) your mobile phone is switched off.　(センター)

□□□ **1119** 発展
あなたの才能をもってすれば，きっと芸能界で成功しますよ。
With your talent, I'm sure you'll (m-　　　) it in the entertainment world. (= succeed)　(愛知学院大)

□□□ **1120**
ジョンが今持っているお金では必要額に足りない。
The money John has now falls (　　　) of what he needs.　(武蔵大)

□□□ **1121** 頻出
カルシウムが不足すると，すぐにいらいらしてしまう。
When we are running (s-　　　) of calcium, we tend to get irritated easily.　(東京理科大)

1112 (rid, of)　1113 (let, of)　1114 (believe)　1115 (do)　1116 (take)　1117 (holds)
1118 (make, sure)　1119 (make)　1120 (short)　1121 (short)

Theme 231 その他の動詞中心の重要イディオム

1112 get rid of ～「(厄介なもの) を取り除く (= **remove**) / (不要なもの) を捨てる / 処分する (= **discard / dispose of**)」

▶ 目的語によって訳はいろいろ変わる。
get rid of a cold [bad habits]「風邪を治す [悪癖を直す]」
get rid of the old custom「古くからの慣習を廃止する」(= abolish)

1113 let go of ～「～から手を離す / ～を手放す」(= **release**)

1114 make believe「ふりをする」(= **pretend**)

▶ make people believe「人に信じさせる」などの目的語の省略からきたもの。本問のように後ろには that 節が続く場合が多い。

1115 make do with ～「～で間に合わす / ～ですます」(= **do with**)

1116 take it easy「気楽に考える / ゆっくりやる」
⇔ **take it seriously**「真剣に考える」

▶ それ [漠然とした状況] (it) を気楽に (easy) 考える [思う] (take)

〈プラスα〉 take it easy は別れの挨拶にも用いられる。
"See you tomorrow." "*Take it easy.*" (「じゃ，また明日」「じゃあね」)

1117 hold good「有効である」(= **hold true**)

▶ よい (good) 状態を保つ [hold] ➡ 有効である

1118 make sure that 節「必ず～するように手配する / ～を確かめる」(= **see to it that** 節 ➲ 302)

▶ that は省略可。
▶ make sure の後ろは that 節の他に，「of + 名詞」が続く。
Search your pockets again to *make sure of it.*
(もう一度ポケットを探してそれを確かめなさい) (獨協大)

1119 make it「成功する / うまくやる」(= **succeed**)

▶ it は目標・目的 (地)・定刻などを漠然と指す『状況』の it。

〈発展〉 **make it** には，「(目的地に) たどり着く / (乗り物・会合などに) 間に合う / (日時の) 都合をつける」などの意味もある。
If I drive, we can *make it* to the airport in time for your plane.
(私が車で送れば，飛行機に間に合うように空港に到着できる) (阪南大)
I'm sorry, I can't *make it* next Sunday. I already have plans. (専修大)
(すみません，今度の日曜日は都合がつきません。すでに予定があります)

1120 fall [come] short of ～「(目標・基準など) に達しない / 届かない」

1121 run short of ～「～が不足する / ～を切らす」

▶ **run short of** ～ も **run out of** ～ (➲ 1034) と同じように「～を切らす」と訳すことがあるが，まだ完全になくなった状態ではないので，進行形で用いることが多い。

第25章 形容詞・副詞中心のイディオム

Theme 232

□□□ **1122** 現金が足りません。クレジットカードを使ってもよろしいですか。
基本
I'm (　　　) of cash. May I use a credit card?　（愛知学院大）

□□□ **1123** あの婦人は美しいが，知性に欠けている。　（東京理科大）
The lady is beautiful, but she is (l-　　) (　　) intelligence.

□□□ **1124** 内科医としての彼の評判はよく知られている。
頻出
His reputation as a physician is familiar (　　) us.　（桜美林大）

□□□ **1125** ゴルフのルールを知っていますか。
頻出
Are you (f-　　) with the rules of golf ?　（和光大）

□□□ **1126** 私たちの先生は，コンピューターテクノロジーに精通している。
Our teacher is at (　　　) in computer technology.
(= is familiar with)　（姫路獨協大）

□□□ **1127** 私はその問題には非常に精通している。
I am well (a-　　) (　　) the subject.　（立命館大）

□□□ **1128** われわれは話ができるという点で，動物とは違っている。
基本 頻出
We are (d-　　) (　　) animals in that we can speak.　（慶應大）

□□□ **1129** 今の多くの若い人は政治に無関心である。
頻出
A lot of young people today are indifferent (　　) politics.
(= are unconcerned about)　（鹿児島経済大）

□□□ **1130** 一か八かやってみることを恐れるな。
基本 頻出
Don't be afraid (　　) (t-　　) chances and risks.　（芝浦工大）

□□□ **1131** 私は息子がたびたび遅刻するのを恥ずかしく思っている。
I am (a-　　) (　　) my son being late so often.　（沖縄国際大）

1122 (short)　1123 (lacking, in)　1124 (to)　1125 (familiar)
1126 (home)　1127 (acquainted, with)　1128 (different, from)　1129 (to)
1130 (of, taking)　1131 (ashamed, of)

Theme 232 be + 形容詞 [過去分詞] + 前置詞 ①

1122 **be short of** ～「～が不足している」
▶「～が不足している / 足りない」という『状態』を表す。
〈比 較〉 **run short of** ～「～が不足する / ～を切らす」『動作』(➲ 1121)

1123 **be lacking in** ～「～に欠けている」(= **be wanting in**)

1124 **be familiar to** ～「(人) によく知られている」

1125 **be familiar with** ～「(物事) をよく知っている / ～に精通している」
▶ **A** (人) **is familiar with B** (物事) = **B is familiar to A** の関係に注意。
I *am familiar with* this machine.
= This machine *is familiar to* me.
(私はこの機械をよく知っている)

1126 **be at home in** [**with**] ～「～に精通している」(= **be familiar with**)

1127 **be acquainted with** ～「～に精通している / ～と知り合いである」
〈比 較〉 **become** [**get**] **acquainted with** ～「～に精通する / ～と知り合いになる」
We *became* [*got*] *acquainted with* our new neighbors.
(新しい隣人たちと知り合いになった)

1128 **be different from** ～「～と異なる / ～と違っている」(= **differ from**)
〈発 展〉 米口語では different の次に（文の要素を省略した）節が続く場合，than が好まれる。
This *is different than* I expected.
= This *is different from* what I expected.
(これは私の思っていたのと違う)

1129 **be indifferent to** ～「～に無関心である / ～に無頓着である」
▶ **be unconcerned with** [**about**] ～ とほぼ同意。

1130 **be afraid of** ～「～を恐れる / ～を怖がる」
〈語 句〉 take a chance [chances] = take [run] a risk [risks]
「一か八かやってみる / 危険を冒す」
〈比 較〉 **be afraid to *do***「(結果を心配して) 怖くて～できない」
I *was afraid to talk* to him.
(私は怖くて彼に話しかけられなかった)（東北大）

1131 **be ashamed of** ～「～を恥じている」
〈比 較〉 **be ashamed to *do***「恥ずかしくて～できない [したくない]」
I *was ashamed to say* that I had made a mistake.
(恥ずかしくて自分がミスをしたとは言えなかった)

Theme 233

□ **1132** オーストラリアは石炭が豊富だ。
□ 基本
□ Australia is (　　　) in coal. (= is abundant in)　(北海道東海大)

□ **1133** 彼は食べ物の好みがうるさい。
□
□ He is (p-　　) about food.　(流通科学大)

□ **1134** 世界中の人々が平和を切望している。
□
□ People all over the world are (a-　　) (　　　) peace.　(拓殖大)

□ **1135** 私は彼の健康が心配だ。
□
□ I am anxious (　　　) his health.　(帝京大)

□ **1136** マイクは具合が悪そうです。彼の健康状態が本当に心配です。
□ 頻出
□ Mike doesn't look well. I'm really concerned (　　　) his health.
(= am worried about)　(南山大)

□ **1137** 彼はキャンパスの学生たちにたいへん人気がある。
□ 基本
□ He is very popular (　　　) the students on the campus.　(文教大)

□ **1138** 私は多くの問題に直面していた。
□
□ I was (c-　　) with many problems. (= was faced with)　(東海大)

□ **1139** 彼は父親にまったく頼りきっている。
□ 基本
□ 頻出
He is entirely dependent (　　　) his father.　(神奈川大)

□ **1140** トムは両親から独立している。
□ 頻出
□ Tom is independent (　　　) his parents.　(浜松大)

□ **1141** これはすべての人にある程度あてはまる。
□
□ This is (　　　) of all people to some degree.　(西南学院大)

□ **1142** その翻訳は原文に忠実である。
□ 発展
□ The translation is (t-　　) (　　　) the original.　(日本大)

□ **1143** 日本は地震が起こりやすい。
□ 頻出
□ 発展
Japan is subject (　　　) earthquakes.　(清泉女子大)

1132 (rich)　**1133** (particular)　**1134** (anxious, for)　**1135** (about)
1136 (about)　**1137** (with [among])　**1138** (confronted)　**1139** (on [upon])
1140 (of)　**1141** (true)　**1142** (true, to)　**1143** (to)

Theme 233 be + 形容詞 [過去分詞] + 前置詞 ②

1132 be rich in ～「～に富んでいる」(= **be abundant in / abound in**)
⇔ **be poor in** ～「～に乏しい」

Japan *is poor* [not abundant] *in* natural resources.
(日本は天然資源に乏しい)(芝浦工大)

1133 be particular about ～「～について好みがうるさい」
▶ ～について (about) 特別の (関心がある) (particular)

1134 be anxious for ～「～を切望している」(= **wish for**)
〈比較〉 **be anxious to *do***「しきりに～したがっている」(➲ 1176)

1135 be anxious about ～ ┐「～を心配している」
1136 be concerned about ～ ┘(= **be worried about**)
〈比較〉 **be concerned with** ～「～に関係している / ～に関心を持っている (= be interested in)」と混同しないように。

This story *is concerned with* an American family in this century.
(この物語は今世紀のアメリカのある家族に関するものである)(摂南大)
She *is* not *concerned with* politics. (彼女は政治に関心がない)

1137 be popular with [among] ～「～に人気がある」
▶ with は「～に対して / ～に」の意味で『対象』を表す。

1138 be confronted with ～「～に直面している」(= **be faced with**)
▶ confront = face「～に直面する / ～に立ち向かう」(➲ 846(c))

1139 be dependent on [upon] ～「～に頼っている / ～に依存している」

1140 be independent of ～「～から独立している」
▶「～に依存している」は be dependent on ～ と前置詞は on だが,「～から独立している」は『分離』を表す **of** を用いることに注意。

1141 be true of ～「～に当てはまる」(= **apply to**)
〈語句〉 to some [a certain] degree「ある程度は」(➲ 1255)

1142 be true to ～「～に忠実である」(= **be faithful to**)
〈プラスα〉 **true to life**「本物そっくりの / 実物通りの」も押さえておこう。
miniature furniture *true to life*「本物そっくりのミニチュア家具」

1143 be subject to ～「～の影響を受けやすい / ～にかかりやすい」
▶ 形容詞 subject は「受けやすい / かかりやすい」という意味を表す。

Mary *is subject to* headaches, and so she always has medicine in her bag.
(メアリーは頭痛もちです。だからいつもかばんに薬を入れている)
(関西学院大)

□□□ **1144** 頻出 私にはそのような難しい仕事をするだけの力はありません。
I am not (　　　) to such a tough task. （実践女子大）

□□□ **1145** 頻出 彼は私たちみんなから嫌われていることに十分気づいている。
He is well (　　　) of being hated by us all. （桜美林大）

□□□ **1146** 彼はその件についてはまったく知らないようだ。
It seems that he is entirely (i-　　　)(　　　) the matter.
(= knows nothing of) （武蔵大）

□□□ **1147** 基本 頻出 彼らは中華料理にあきている。
They are tired (　　　) Chinese food. （愛知学院大）

□□□ **1148** そのスキャンダルのニュースは聞きすぎてうんざりしている。（センター）
I've heard so (　　　) news about the scandal that I'm (s-　　　) of it.

□□□ **1149** つまらないテレビコマーシャルが多すぎて，私は毎日うんざりしている。
I'm fed (　　　) with so many boring TV commercials every day.
(= tired of) （愛知学院大）

□□□ **1150** 頻出 その映画は実話に基づいていた。
The movie was (b-　　　)(　　　) a true story. （東京理科大）

□□□ **1151** 人口過剰は都会のスラム街に特有のものである。
Overcrowding is (c-　　　)(　　　) urban slums. （日本大）

□□□ **1152** そのような習慣は英国人に特有ではない。
Such a custom is not (p-　　　)(　　　) the British. （東洋大）

□□□ **1153** 頻出 ボブは私に今の仕事に満足しているかどうか聞いた。
Bob asked me if I was content (　　　) my present job. （昭和女子大）

□□□ **1154** 彼女は手紙を書くのに没頭していた。 （関東学院大）
She was (e-　　　)(　　　) writing a letter. (= was occupied with)

1144 (equal) **1145** (aware) **1146** (ignorant, of) **1147** (of)
1148 (much, sick) **1149** (up) **1150** (based, on [upon]) **1151** (characteristic, of)
1152 (peculiar, to) **1153** (with) **1154** (engaged, in)

Theme 234 be + 形容詞［過去分詞］＋前置詞 ③

1144 be equal to ～「（人・能力などが）～に耐えられる / 匹敵する」
▶ **be equal to** ～「～に等しい」が元の意味。
Five plus five *is equal to* ten.（5 足す 5 は 10）

1145 be aware of ～「～に気づいている / ～を知っている」
〈プラスα〉 同意表現は **be conscious of** ～「～を意識している / ～に気づいている」。
Being conscious of the danger of it, he quit smoking.
（危険性に気づいたので，彼はタバコをやめた）（同志社大）

1146 be ignorant of ～「～を知らない」（= **be unaware of**）

1147 be tired of ～「～にあきている」
〈比較〉 **be tired from** ～「～で疲れている」との混同に注意。
cf. { I'm *tired of* waiting. （待つのはうんざりだ）
I'm *tired from* waiting.（待ちくたびれている）

1148 be sick of ～「～にあきあきしている / ～にうんざりしている」
▶ be tired of ～ より強意的。**be sick and tired of** ～ の形もある。
〈語句〉 news は不可算名詞。「ニュース量が多い」場合は much。（➲ 595）

1149 be fed up with ～「～にうんざりしている」（= **be tired of / be sick of**）
▶ fed は feed「～に食物を与える」の過去分詞（feed ― fed ― fed）。
feed up A with B「A に B をあきるほど食べさせる」の受身形。

1150 be based on [upon] ～「～に基づいている」
▶ base A on [upon] B「A の基礎を B に置く」➡ A is based on B

1151 be characteristic of ～ }
1152 be peculiar to ～ }「～に特有である」

1153 be content(ed) with ～「（完全にとは言えないが）～に満足している」
▶ contented のほうが content よりくだけた語。
〈比較〉「～に（完全に）満足している」は **be satisfied with** ～（➲ 42）。
I *am satisfied with* your work.
（私はあなたの仕事に満足しています）

1154 be engaged in ～「～に従事している / ～で忙しい」
▶ 同意表現は **be occupied with [in]** ～。
〈比較〉 **be engaged to** ～「～と婚約している」と区別するように。
I *am engaged to* [×with] John. = John and I are engaged.
= I am to be married to John.（私はジョンと婚約している）

□□□ **1155** 水は水素と酸素とから成る。
Water is composed (　　) hydrogen and oxygen. （熊本商大）

□□□ **1156** 頻出 ジムのクラスには 46 人の生徒がいた。 （日本工大）
Jim's class was (m-　　) (　　) of 46 students. (= consisted of)

□□□ **1157** 彼らは私の提案に反対していた。
They were (o-　　) (　　) my proposal. （日本工大）

□□□ **1158** 基本 頻出 私はこれらのカップが両方とも好きです。
I am (　　) of both these cups. （姫路獨協大）

□□□ **1159** 彼はクラシック音楽はあまり好きではない。
He is not very keen (　　) classical music. （摂南大）

□□□ **1160** 頻出 その損害に責任があるのは彼なんだから，彼が修理代を払わなければならない。 （日本大）
He is (r-　　) (　　) the damage, so he must pay for the repairs.

□□□ **1161** 基本 私はあなたの成功を確信している。
I am (s-　　) (　　) your success. （慶應大）

□□□ **1162** 頻出 双子は必ずしも同じというわけではないが，お互いにとてもよく似ていることが多い。
Twins, although not exactly the same, are often very similar (　　) each other. （千葉大）

□□□ **1163** 基本 頻出 君は地図を読むのがあまり得意ではないですね。
You're not very good (　　) reading maps, are you? （国士舘大）

□□□ **1164** 基本 頻出 私はあまりスポーツに興味がない。
I'm not very (i-　　) (　　) sports. （東京家政学院大）

□□□ **1165** 韓国料理は香辛料のきいた味で有名である。
Korean food is noted (　　) its spicy flavor. （南山大）

1155 (of)　1156 (made, up)　1157 (opposed, to)　1158 (fond)　1159 (on)
1160 (responsible, for)　1161 (sure, of)　1162 (to)　1163 (at)
1164 (interested, in)　1165 (for)

Theme 235 be + 形容詞 [過去分詞] + 前置詞 ④

1155 be composed of ~
1156 be made up of ~
「～から成り立つ / ～で構成されている」(= **consist of** ➲ 965)
▶ この of は『材料・構成要素』を表す。

1157 be opposed to ~ 「～に反対している」(= **be against**)
〈比較〉「～に反対する」は **oppose ~ / object to ~**。
be opposite to ~ は「～とは正反対である」の意味。
His personality *is opposite to* mine.
（彼の性格はぼくとは正反対である）

1158 be fond of ~ 「～が好きである」(= **like**)
〈語句〉both these cups (= both of these cups) の語順に注意。(➲ 319)

1159 be keen on ~ 「～が大好きである / ～に夢中である」
〈プラスα〉**be keen on ~** には「～を熱望している」の意味もある。
He *is keen on* going overseas. = He is keen to go overseas.
（彼は海外へ出かけることを熱望している）

1160 be responsible for ~ 「～に責任がある」
▶ 同意表現は **answer for ~**「～の責任を負う」(➲ 953)

1161 be sure of ~ 「～を確信している」(= **be certain of**)
〈比較〉**be sure to *do***「きっと～する」(➲ 1166)

Power Up! 196 be sure of と be sure to *do* の違い

be sure of と **be sure to *do*** とでは確信している人が違うので注意が必要。

cf.
He *is sure of* success. = He is sure that he will succeed.
（成功すると彼（本人）は確信している）
He *is sure to* succeed. = I am sure that he will succeed.
（彼が成功すると私（話し手）は確信している ➡ 彼はきっと成功すると思う）

1162 be similar to ~ 「～に似ている」(= **be akin to**)
〈語句〉not exactly「正確には必ずしも～でない」(➲ Power Up! 51)

1163 be good at ~ 「～が得意である」
⇔ **be poor at ~ / be weak in ~**「～が苦手である」
I *am poor at* running.（私は走るのが苦手だ）

1164 be interested in ~ 「～に興味がある」
〈比較〉「～に興味を持つ」は **have [take] (an) interest in ~**。
I *have [take] an interest in* genetic engineering.
（私は遺伝子工学に興味を持っている）

1165 be noted for ~ 「～で有名である」(= **be famous for**)

Theme 236

□ **1166** そのレストランに行く前に必ず予約するようにしなさい。（高崎経大）
□ 頻出
□ Be (s-　　) to make a reservation before going to the restaurant.

□ **1167** 君が急がないと，私たちはきっと遅れるよ。
□
□ We are (b-　　) to be late if you don't hurry.
(= are certain to)（駒澤大）

□ **1168** すべての書類は今月末までに提出することになっています。
□ 超頻
□ All the documents are (s-　　) to be submitted by the end of this month.（中央大）

□ **1169** 彼は心の温かい人です。いつも他人を助けることをいとわない。
□ 頻出
□ He is a warmhearted person; he is always (　　) to help others.（松山東雲女子大）

□ **1170** 彼は会合に参加するのは気が進まないようだった。（名城大）
□ 頻出
□ He seemed to be (r-　　) to join in the meeting. (= be unwilling to)

□ **1171** 怠け者は好機を逃しがちです。
□ 基本
□ The idle are (a-　　) to miss a good chance. (= tend to)（九州産業大）

□ **1172** 冷蔵庫の中のものは何でもご自由にどうぞ。
□
□ Please (　　) free to have anything in the refrigerator.（青山学院大）

□ **1173** コンピューターはまた安くなりそうだ。
□ 超頻
□ The price of computers (　　) (l-　　) to fall again.（千葉商大）

□ **1174** 彼女はちょうど家を出るところだった。
□ 頻出
□ She was (a-　　) to leave home.（名古屋学院大）

□ **1175** 彼は悪天候のため引き返さざるをえなかった。
□
□ He was (f-　　) to go back because of the bad weather.（武蔵大）

□ **1176** 私はその検査の結果がとても知りたいです。先生，教えてください。
□ 頻出
□ I am very (a-　　) to know the result of the test. Please tell me, doctor.（いわき明星大）

1166	(sure)	1167	(bound)	1168	(supposed)	1169	(willing)
1170	(reluctant)	1171	(apt)	1172	(feel)	1173	(is, likely)
1174	(about)	1175	(forced)	1176	(anxious)		

Theme 236 be + 形容詞 [過去分詞] + to *do*

1166 be sure to *do*
1167 be bound to *do* 「必ず〜する / きっと〜する」 (= **be certain to *do***)
▶ bound は bind「〜を束縛する / 〜に義務を負わせる」の過去分詞。
「〜するように縛られる」➡「〜する義務がある / きっと〜する」
〈重要〉 **be bound for 〜**「(乗り物などが) 〜行きである」も重要。
This train *is bound for* Tokyo.（この列車は東京行きです）（名古屋学院大）

1168 be supposed to *do*「〜することになっている / 〜すると思われている」
⇔ **be not supposed to *do***「〜してはいけないことになっている」
You *are not supposed to* park here.
（ここに駐車してはいけません）（青山学院大）

1169 be willing to *do*「〜してもよいと思っている / 〜するのをいとわない」
▶ be willing to *do* は **be ready to *do***「喜んで〜する」ほど積極的にしたいという気持ちはない。

1170 be reluctant to *do*「〜するのは気が進まない」(= **be unwilling to *do***)

1171 be apt to *do*「〜しがちである / 〜する傾向がある」(= **tend to *do***)
〈プラスα〉 apt の代わりに，**liable / prone / inclined** を使ってもほぼ同意。
We *are liable* [*prone* / *inclined*] *to* make mistakes.
（私たちは間違いを犯しがちだ）

1172 be [feel] free to *do*「自由に〜できる」
▶ **Please feel free to *do***「遠慮なく〜してください」の形でよく出る。

1173 be likely to *do*「〜しそうである」
⇔ **be unlikely to *do***「〜しそうもない」

1174 be about to *do*「まさに [今にも] 〜しようとしている」
▶ **be (just) going to *do*** よりも差し迫った未来を表す。
▶ **be on the point of *doing*** とほぼ同意。

1175 be forced to *do*「〜せざるを得ない」
(= **be compelled to *do* / be obliged to *do***)
▶ **force [compel / oblige] A to *do***「(無理やり) A に〜させる」の受身形。

1176 be anxious to *do*「しきりに〜したがっている」
▶ 同意表現に **be eager to *do*** がある。
We *are* all *eager to* see the new movie.
（私たちはみんなその新作映画をぜひ見たいと思っている）（九州国際大）
〈比較〉 **be anxious [eager] for 〜**「〜を切望している」の形も確認しておこう。
(➲ 1134)

Theme 237

□□□ 1177 頻出 彼は自分の家を持っている。かなり裕福なようだ。（名城大）
He owns his house. It seems he is quite well (　　). (= is rich)

□□□ 1178 その女優は日本にやって来るまでは貧しかった。
That actress was (　　) off before she came to Japan.
(= was short of money)（立命館大）

□□□ 1179 彼女の授業は概してとてもおもしろい。
Her lessons are by and (l-　　) very interesting.（名古屋外語大）

□□□ 1180 最近は雨が降ったり止んだりだ。
It has rained (　　) and off these days.（高知大）

□□□ 1181 電子メールがあるんだから，忘れずにときどきメッセージを送ってください。
Now that you have E-mail, be sure to send me a message every (　　) and (t-　　).（青山学院大）

□□□ 1182 頻出 私たちの仕事は，これまでは簡単だったが，今後は難しくなるだろう。
Our task has been easy (s-　　) (　　), but it will be difficult from now on.（亜細亜大）

□□□ 1183 今までのところ，結果がどうなるかわからない。
We don't know as (　　) what the outcome will be.（同志社大）

□□□ 1184 頻出 すぐに医者にみてもらったほうがよい。
You should see a doctor (　　) away. (= immediately)（愛知工大）

□□□ 1185 メアリーは彼と付き合う気はないときっぱりと告げた。
Mary told him once and (　　) all that she wouldn't go out with him.
(= in a definite manner)（千葉工大）

□□□ 1186 頻出 5時までに仕事を終えるのは，ほとんど不可能だ。（中央大）
It's (　　) to impossible to finish the work by 5 o'clock. (= almost)

□□□ 1187 英語に関する限り，彼はだれにも劣らなかった。（法政大）
As far as English is concerned, he was second (　　) (　　).

□□□ 1188 頻出 その老犬はあまり歩けないし，まして走ることなどできない。
The old dog can hardly walk, let (　　) run.（成城大）

Theme 237 その他の形容詞・副詞中心のイディオム

1177 be well off「暮らし向きがよい / 裕福である」

1178 be badly off「暮らし向きが悪い / 貧乏である」
〈重要〉比較級表現も頻出する。**be better off ⇔ be worse off**
Jimmy *is* far *better* [*worse*] *off* than he was five years ago.
（ジミーは5年前よりずっと暮らし向きがよい［悪い］）（昭和女子大）

1179 by and large「概して / 一般的に」（= **in general** ➲ 1196）

1180 on and off「ときどき（= **sometimes**）/ 断続的に」
▶ **off and on** ともいう。
続いたり（on），中断したり（off）➡ ときどき / 断続的に
〈比較〉**on and on**「どんどん / 続けて / 休まず」と区別する。
He worked *on and on* from dawn till dusk.
（彼は夜明けから夕暮れまで働き続けた）

1181 (every) now and then [again]「ときどき」（= **occasionally**）
▶「ある間隔をおいてときどき」の意味。seldom と sometimes の間。

1182 so far
1183 as yet
}「今までのところ」（= **up to now / till now**）
▶ as yet は否定文で用いることが多い。

1184 right away「すぐに / 直ちに」（= **immediately / at once**）
▶ **right now** ともいう。

1185 once (and) for all「きっぱりと / これを最後に」（= **finally / definitely**）
▶ すべてのこと（all）と交換に（for）この1回だけ（once）➡ きっぱりと
〈語句〉go out with ～「（異性）と付き合う」

1186 next to「ほとんど」（= **almost**）
▶ 通例否定語の前で用いられる。
〈プラスα〉**next to** には「～の隣の［に］/ ～の次の［に］」の意味もある。
He seated himself *next to* her.
（彼は彼女の隣に座った）

1187 be second to none「誰にも劣らない」
▶ 誰［何］に対しても2番目でない ➡ 誰［何］にも劣らない

1188 let alone ～「～は言うまでもなく」（= **much [still] less** ➲ 208）
▶ let alone は通例否定文の後で使う。
〈語句〉hardly「ほとんど～ない」（➲ 266）

1177 (off) 1178 (badly) 1179 (large) 1180 (on) 1181 (now, then) 1182 (so, far)
1183 (yet) 1184 (right) 1185 (for) 1186 (next) 1187 (to, none) 1188 (alone)

イディオム

第26章 名詞中心のイディオム

Theme 238

□□□ **1189** 頻出 「君のお母さんは若く見えるね」「とんでもない，もう 40 歳だよ」（関西外大）
"Your mother looks young." "On the (　　　), she is already forty."

□□□ **1190** 君は自分で出かけて直接彼に話すべきだ。
You should go and speak to him (　　　) (　　　).　（久留米大）

□□□ **1191** 頻出 私は何を言ってよいかわからなかった。
I was at a (　　　) what to say. (= perplexed at)　（亜細亜大）

□□□ **1192** あの大きな机を動かさなくてはね。本当にじゃまだから。（センター）
We'll have to move that big desk; it's really (　　　) the way.

□□□ **1193** 基本 頻出 仕事の帰りに，花を買ってくるのを忘れないで下さい。（名古屋学院大）
Please remember to buy some flowers (　　　) your way home from work.

□□□ **1194** 基本 ところで，パリに行ったんだってね。
(　　　) the (　　　), I hear you've been over to Paris.　（慶應大）

□□□ **1195** 頻出 生徒のほとんどが定刻に到着したから，試験の延期は問題外だと先生は言った。
The teacher said it was (　　　) (　　　) the question to put off the exam since most of the students had arrived on time. (= impossible)（清泉女子大）

□□□ **1196** 基本 頻出 一般に，たいていの国々では女性は男性より長生きです。
In (　　　), women live longer than men in most countries.　（獨協大）

□□□ **1197** 頻出 特に早春のロンドンは私の性に合っているようだ。
In (p-　　　), London in early spring seems to suit me.　（奈良教育大）

□□□ **1198** 概して，日本人は見知らぬ人に話しかけない。（高千穂商大）
(　　　) a rule, Japanese don't speak to strangers. (= Generally)

□□□ **1199** 概して，わが社は過去 10 年間うまくいっている。
On the (　　　), our company has been successful for the last ten years. (= In general)　（中部大）

□□□ **1200** 発展 彼は先週以来，逃走中である。
He has been at (l-　　　) since last week.　（立命館大）

Theme 238 前置詞＋名詞 ①

1189 on the contrary「(今述べ(られ)たことを否定して) それどころか」
〈比較〉**to the contrary**「それとは反対の［に］」と区別する。on the contrary は通例文頭で，to the contrary は修飾する語の後で用いる。
We have, for the moment, no evidence *to the contrary*.
(今のところそうでない証拠は何もない)

1190 in person「直接自分で / 本人が」(= **personally**)

1191 at a loss「途方にくれて / 困って」
(= **at *one's* wit's［wits'］end / perplexed**)
▶ しばしば for ～ や「(as to) 疑問詞 + to *do*」などを伴う。
He was so shocked that he was *at a loss for* words.
(彼はとてもショックを受けたので言葉につまった)（沖縄国際大）

1192 in the way (of ～)「(～の) じゃまになって」(= **in A's way**)
⇔ **out of the way (of ～)**「(～の) じゃまにならないように［ところに］」
Keep *out of the way*. (離れていなさい)　(= **out of A's way**)

1193 on the［*one's*］way「途中で」
▶ しばしば方向を示す副詞(句)を伴う。本問の home は副詞。
on the way home［×to home］「家に帰る途中で」(➲ 665)

1194 by the way「ところで / ついでながら」(= **incidentally**)
▶ 話題を変えるときに使う。

1195 out of the question「問題にならない / 不可能な (= **impossible**)」
▶ 日本語でも「問題外だ」と言うので覚えやすい。

1196 in general「一般に / 概して (= **generally**)；一般の」

1197 in particular「特に (= **particularly**) / とりわけ」⇔ **in general**

1198 as a rule「概して / ふつうは」(= **in general / generally**)

1199 on the whole「概して / 大体において」(= **in general / as a rule**)
〈比較〉**as a whole**「全体として(の)」と混同しないように。
We must take this matter into account *as a whole*.
(このことは全体として考慮しなければならない)（慶應大）

1200 at large「(犯人・動物などが) 逃走中で / 捕まらないで」
〈プラスα〉**at large** には〔名詞の後に置いて〕「全体としての (= as a whole) / 一般の (= in general)」の意味がある。the world *at large*「世界全体」

1189 (contrary)　1190 (in, person)　1191 (loss)　1192 (in)
1193 (on)　1194 (By, way)　1195 (out, of)　1196 (general)
1197 (particular)　1198 (As)　1199 (whole)　1200 (large)

Theme 239

□□□ **1201** 頻出 これから先ずっと酒をやめる決心をした。
I resolved to quit drinking for (g-　　). (= permanently)　（国士舘大）

□□□ **1202** 私の努力はすべてむだになってしまった。
All my efforts have gone for (n-　　). (= in vain)　（神奈川大）

□□□ **1203** 超頻 いろいろな試みがなされてきたが，うまくいかなかった。
Many attempts have been made in (　　).
(= only to fail)　（立命館大）

□□□ **1204** 彼は夜遅くまで仕事をしていた。
He was (　　) work till late at night.　（東大）

□□□ **1205** 新しい市庁舎を建てる計画が進行中である。
Plans to build a new city hall are (　　) way.　（日本大）

□□□ **1206** 頻出 彼女はフォーク・フェスティバルで旧友に偶然出会った。
She ran into her old friend by (c-　　) at the folk festival.
(= accidentally)　（立命館大）

□□□ **1207** 頻出 彼はきっとそれを故意にやったんですよ。
I'm sure he did it on (　　). (= intentionally)　（東海大）

□□□ **1208** 発展 エミリーは朝から晩まで働きづめである。
Emily is on the (　　) from morning till night.
(= active)　（摂南大）

□□□ **1209** 頻出 今度は彼女が私にいくつかの質問をした。
She (　　) turn asked me a few questions.　（姫路獨協大）

□□□ **1210** 超頻 5人以上のグループは，前もって予約したほうがよい。
Groups of five or more should make a reservation in (　　).　（佛教大）

1201 (good)　1202 (nothing)　1203 (vain)　1204 (at)
1205 (under)　1206 (chance)　1207 (purpose)　1208 (go)
1209 (in)　1210 (advance)

Theme 239 前置詞＋名詞 ②

1201 for good「永久に / (これから先) ずっと」(= **forever / permanently**)

1202 for nothing「むだに」
▶ go for nothing「むだになる / 水泡に帰する」
〈重要〉**for nothing** は「無料で / ただで」(= free (of charge)) の意味も重要。
He got the book *for nothing.*
(彼はただでその本を手に入れた) (関西外語大)

1203 in vain「むだに / むなしく」(= **for nothing / to no purpose**)
〈語句〉**only to fail**「だが結局失敗する」(➲ 93)

1204 at work「仕事中で / 働いて」
▶ この at は「〜して / 〜の最中で」の意味で，活動に従事中であることを表す。

Power Up! 197 「at＋名詞」の表現

□ **at work**	「仕事中で」(➲ 1204)	□ **at war**	「戦争中で」
□ **at (the) table**	「食事中で」	□ **at issue**	「論争中の / 問題の」(➲ 752)
□ **at play**	「遊んでいて」	□ **at rest**	「休息中で」
□ **at school**	「(学校で) 勉強中で」	□ **at prayer**	「お祈りをして」

1205 under way「進行中で」(= **in progress**)
▶ under「〜の基準より下で［に］」➡「未完成」➡「〜中 (で)」

Power Up! 198 「under＋名詞」の表現

□ **under way**	「進行中で」(➲ 1205)	□ **under investigation**	「調査中で」
□ **under construction**	「建設中で」	□ **under repair**	「修理中で」
□ **under consideration**	「考慮中で」	□ **under discussion**	「討議中で」

1206 by chance「偶然に / たまたま」(= **by accident / accidentally**)
〈プラスα〉「過って / うっかり」と訳すほうがよい場合もある。
He broke the vase *by chance.*
(彼は花瓶をうっかり割ってしまった) (神戸学院大)

1207 on purpose「故意に / わざと」(= **intentionally / deliberately**)
▶ 意図 (purpose) に基づいて (on) ➡ 故意に

1208 on the go「忙しく働いて / 活動して」(= **very busy [active]**)

1209 in turn「(代わって) 今度は」
▶ turn は「順番」の意味。(➲ 757)
〈プラスα〉**in turn** には「順番に」(= by turns) の意味もある。
We threw the ball *in turn* so that everyone could have a try.
(みんなが試せるように，私たちは順番にボールを投げた) (東京電機大)

1210 in advance「前もって / あらかじめ」(= **ahead of time / beforehand**)

Theme 240

□ **1211** 彼らは以前ときどき私たちを訪問したものだ。（亜細亜大）
□ 頻出
□ They used to pay us a visit once in a (　　　). (= sometimes)

□ **1212** 私たちはときどき芝居を見に行く。（日本大）
□ 基本
□ 頻出 We go to the theater from (　　　) (　　　) time. (= occasionally)

□ **1213** 彼らはときどきネクタイをしめる。
□
□ They wear ties on (o-　　　). (= sometimes)（早大）

□ **1214** エレベーターが故障しているので，階段を利用しなければならないでしょう。
□ 頻出
□ The elevator is out of (　　　), so we'll have to use the stairs.（愛知学院大）

□ **1215** このタイプの靴は時代遅れだ。
□
□ This type of shoe is out of (　　　).（関西学院大）

□ **1216** その巨人は娘が口をきけないでいるうちに見えなくなった。（明治大）
□
□ The giant went out of (　　　) before the girl could say anything.

□ **1217** この都市の犯罪は手に負えなくなりつつある。
□ 発展
□ The crimes in this city are getting out of (　　　).（目白大）

□ **1218** 主治医は私に当分の間エアロビクスのクラスに通うことをやめるよう忠告した。
□ 頻出
□ My doctor has advised me to stop going to aerobics classes for the time (　　　).（北海学園大）

□ **1219** 夏休み中，1週間雨が降り続いた。（愛知工大）
□ 発展
□ During the summer vacation, it rained for a week on (　　　).
(= continuously)

□ **1220** 天気予報によれば，まもなく晴れるそうです。
□ 基本
□ According to the weather forecast, it will clear up before (　　　).
(= soon)（名城大）

□ **1221** 万一に備えて，傘を持っていくほうがいいだろう。
□ 頻出
□ I should take an umbrella with me just in (　　　).（慶應大）

1211 (while)　1212 (time, to)　1213 (occasion)　1214 (order)
1215 (date)　1216 (sight)　1217 (hand [control])　1218 (being)
1219 (end)　1220 (long)　1221 (case)

前置詞＋名詞 ③

1211 once in a while
1212 from time to time 「ときどき」(= **sometimes / occasionally**)
1213 on occasion

▶ 日常的には sometimes を用いる。once in a while は「忘れたころに」，from time to time は「やや定期的に」を含意する。on occasion はやや形式ばった表現。

〈プラスα〉「ときどき」の意味を表す表現には，ほかに次のようなものがある。
at times / on and off (➲ 1180) / **(every) now and then** [**again**] (➲ 1181)

1214 out of order「故障して」⇔ **in order**「順調で / きちんとして」

1215 out of date「時代遅れの」⇔ **up to date**「最新の」

〈プラスα〉**out of fashion**「すたれて」⇔ **in fashion**「はやって」もほぼ同意。

1216 out of sight「見えないところに [の]」⇔ **in sight**「見えるところに [の]」

1217 out of hand「手に負えない(で)」⇔ **in hand**「支配 [制御] して」

〈プラスα〉**out of control**「手に負えない」⇔ **under control**「支配 [制御] して」もほぼ同意。

Power Up! 199 その他の「out of＋名詞」の表現

out of は「(通常の状態・範囲) からはずれて」の意味から『否定』の意味を持つさまざまなイディオムを作る。out of と in が反意語を形成する場合が多い。

□ **out of fashion**「流行遅れで」⇔ **in fashion**「流行して」
□ **out of control**「手に負えない」⇔ **under control**「支配 [制御] して」
□ **out of place**「場違いの / 不適当な」⇔ **in place**「適所に [の]」
□ **out of shape**「体調が悪くて」⇔ **in shape**「体調がよくて / 健康で」
□ **out of the way**「じゃまにならないように」⇔ **in the way**「じゃまになって」(➲ 1192)
□ **out of the question**「問題にならない / 不可能な」(➲ 1195)
□ **out of the blue**「予告なしに / 突然」(= unexpectedly)
a bolt *out of* [from] *the blue*「青天のへきれき / 思いがけない(不幸な)出来事」

1218 for the time being「当分の間 / さしあたり」
(= **for the present / for the moment**)

1219 on end「引き続いて / 連続して」(= **continuously**)

〈プラスα〉**on end** には「直立して / まっすぐに」の意味もある。
stand an egg *on end*「卵をまっすぐ立てる」

1220 before long「まもなく / すぐに」(= **soon**)

1221 (just) in case「万一に備えて」(➲ 848(b))

▶ in case (➲ 445) が副詞的に文尾で使われる場合。

Theme 241

□□□ **1222** 頻出 品質の良いものを買うことが結局は得になる。（同志社大）
It pays in the (　　) (　　) to buy goods of high quality.

□□□ **1223** 頻出 彼女は息子をもう一度捜したが，結局見つけられずに終わった。
She looked for her son again. But she ended up not finding him (a-　　) (　　).（慶應大）

□□□ **1224** 頻出 実は，私はパリに行ったことがある。
As a (　　) of (　　), I have been to Paris.（東京理科大）

□□□ **1225** 頻出 この無念さは言葉では表現できない。
My regret is beyond (　　).（高知大）

□□□ **1226** その雑誌は，かなり時代遅れになっている。
The magazine is considerably (　　) the times.（西南学院大）

□□□ **1227** とにかく，今晩はテレビを見てはいけません。（東京家政大）
(　　) any case, you are not to watch television tonight.

□□□ **1228** いずれにしても，彼は結果に満足していた。
(A-　　) (　　) (r-　　), he was satisfied with the results.
(= In any case)（桃山学院大）

□□□ **1229** 発展 警察官はその男を現行犯逮捕した。
The policeman arrested the man on the (　　).
(= immediately)（東海大）

□□□ **1230** 発展 人々がそんな広々した屋外の場所に集まるのは，一つには日光浴をするためである。
It is, (　　) one (　　), to bathe in the sun that people gather in such spacious outdoor places.（静岡大）

□□□ **1231** 頻出 看護師は患者を安心させるためにできることは何でもします。（西南学院大）
Nurses do all they can to make patients feel (　　) ease.

1222 (long, run)　1223 (after, all)　1224 (matter, fact)　1225 (description)
1226 (behind)　1227 (In)　1228 (At, any, rate)　1229 (spot)
1230 (for, thing)　1231 (at)

Theme 241 前置詞＋名詞 ④

1222 in the long run「(長い目で見れば) 結局は / 最後には」
(= **eventually / in the end**)
〈語句〉pay「利益になる / 引き合う / 割に合う」(➲ 727)

1223 after all「(いろいろな経過の後) 結局」
▶ 結果が意図・予想などに反することを述べる表現。
〈語句〉end up *doing*「最後には［結局］～することになる」(➲ 1033)

1224 as a matter of fact「実際のところ / 実は」(= **in fact**)

1225 beyond description「言葉では表現できない（ほど）」

Power Up! 200「beyond＋名詞」の表現

beyond は「(ある範囲・限界) を越えて」の意味から『否定』の意味を持つさまざまなイディオムを作る。「～を越えている ➡ ～できない」

□ **beyond description**「言葉では表現できない(ほど)」(➲ 1225)
□ **beyond belief**「信じられない(ほど)」(= unbelievable)
□ **beyond doubt**「疑う余地のない」
□ **beyond repair**「(損傷がひどくて) 修理できない」
□ **beyond A's control**「A の手に負えない」(= out of A's control)
□ **beyond recognition**「まったく見分けがつかないほど」

Our school building has been remodeled *beyond recognition*.
(私たちの校舎はまったく見分けがつかないほど改築された)（国士舘大）

1226 behind the times「時代遅れで / 時勢に遅れて」
▶「時代 / 時勢」の意味では times と通例複数形になる。
〈比較〉**behind time**「定刻より遅れて」⇔ **ahead of time**「定刻より早く」

1227 in any case「とにかく / いずれにしても」(= **anyway / anyhow**)
▶ どんな場合でも / どんな事情にせよ ➡ とにかく

1228 at any rate「とにかく / いずれにしても」(= **in any case**)

1229 on the spot「その場で / 即座に」
(= **at once / immediately / right away** ➲ 1184)

1230 for one thing「一つには」(= **for one reason**)
▶ 理由の説明に用いる。長文中で空所補充問題として狙われる。
〈プラスα〉さらに別の理由を追加する場合は **for another (thing)** を用いる。
For one thing I'm busy, *for another* I don't have any money.
(一つには忙しいし，また金もない)

1231 at ease「気楽な［に］/ くつろいで」⇔ **ill at ease**「不安な / 落ち着かない」
I was feeling *ill at ease* while I was waiting for my interview.
(私は，面接を待っている間，落ち着かなかった)（西南学院大）

Theme 242

□□□ **1232** 私は急いでいたので，でたらめに服を選んだ。（駿河台大）
I was (　　)(　　)(　　), so I chose my clothes at random.

□□□ **1233** このことは誰にも言わないように，とりわけお父さんには。（関西外語大）
Don't mention this to anyone, (　　) all my father. (= particularly)

□□□ **1234** 彼が重要な人物であることは確かだ。
I know (　　) sure that he is a man of great importance.（早大）

□□□ **1235** 私たちはすぐにその問題に本気で取り組まなければならないだろう。
We'll soon have to tackle the problem (　　) earnest.（立命館大）

□□□ **1236** 頻出 もう少し詳細に説明していただけませんか。
Could you explain a bit more (　　) detail?（亜細亜大）

□□□ **1237** その新商品が，即完売になることも驚くことではなかった。（中央大）
It was no surprise that the new product was sold out in (　　) time at all.

□□□ **1238** 頻出 彼はおもしろくない，つまり，退屈な男でした。
He was not interesting; in (　　)(　　), boring.（拓殖大）

□□□ **1239** その警官はいま勤務中です。
The policeman is now (　　) duty.（青山学院大）

□□□ **1240** 基本 初めのうちは，彼らはいつも口げんかをしていたが，今ではとても仲良しです。
At (　　) they were always arguing, but now they are very good friends.（摂南大）

□□□ **1241** 基本 16歳のときに，私は初めてテニスをしました。
When I was sixteen, I played tennis (　　) the first time.（同志社大）

□□□ **1242** 頻出 2年ぶりに，彼は風邪をひいて医者に診てもらった。
(F-　　)(　　)(　　)(　　) in two years, he caught a cold and saw a doctor.（青山学院大）

□□□ **1243** 陰で他人の悪口を言ってはいけない。
Don't speak ill of others (　　) their backs.（岐阜大）

1232 (in, a, hurry) 1233 (above) 1234 (for) 1235 (in)
1236 (in) 1237 (no) 1238 (other, words) 1239 (on)
1240 (first) 1241 (for) 1242 (For, the, first, time) 1243 (behind)

Theme 242 前置詞＋名詞 ⑤

1232 in a hurry「急いで」(= **in haste / hastily**)

1233 above all (things)「とりわけ / 中でも」(= **especially / particularly**)

1234 for sure「確かに / きっと」(= **for certain / certainly / surely**)

▶ know / say などの動詞の後で用いられることが多い。

I cannot say [don't know] *for sure* who will win.
(誰が勝つかはっきりとは言えない［わからない］)

〈発展〉 for sure / for certain が形容詞的に使われる場合もある。

"Do you think he is the guy that broke the window?"
"That's *for sure*."
(「彼が窓ガラスを割った奴だと思いますか」)
(「それは確かです［間違いなく彼です］」)（同志社大）

1235 in earnest「まじめに / 本気で」(= **seriously**)

1236 in detail「詳しく / 詳細に」

1237 in no time「すぐに / あっという間に」

▶ このin は「～たつと」の意味で『時の経過』を表す。(➲ 690)
まったく時間が経過せずに ➡ すぐに

1238 in other words「言い換えれば / つまり」(= **that is (to say)**)

1239 on duty「勤務中で / 当番で」
⇔ **off duty**「勤務時間外で / 非番で」

▶ 仕事（duty）にくっついて（接触・従事の on）➡ 当番で
仕事（duty）から離れて（分離の off）➡ 非番で

1240 at first「初めのうちは」(= **in the beginning**)

▶ at first は「初めのうちは / 最初は」の意味で，「後では［後には］～となった」という含みを持った言い方。

1241 for the first time「初めて」

▶ for the first time は最初の経験を表す。**at first**「初めのうちは」，**first of all**「まず第1に / 何よりもまず」との意味の違いに注意。

First of all we must dismiss the cook.
(何よりもまず，そのコックを解雇しなければならない)（中央大）

1242 for the first time in ～ years [months / days]「～年［月・日］ぶりに」

1243 behind A's back「Aの陰で / Aのいないところで」
⇔ **to A's face**「Aに面と向かって / 公然と」

Theme 243

□ **1244** あなたはニューヨークにひとりで行ったのですか，それとも友達と一緒ですか。
Did you go to New York (　　　) your own, or with friends?
(= alone)　（久留米大）

□ **1245** 祖父は口数は少なかったが，要領を得た話をする人だった。　（獨協医大）
頻出 My grandfather didn't talk much, but he spoke (t-　　　) (　　　) (　　　).

□ **1246** あなたの言うことは要領を得ない。
What you said is (　　　) the point.　（東京電機大）

□ **1247** 私は11時の列車に乗るのにぎりぎり間に合って駅に着いた。　（名城大）
基本 頻出 I arrived at the station just (　　　) time to catch the eleven o'clock train.

□ **1248** 他の国々では，列車が時間通りに来ないことがよくある。
頻出 Trains often do not come (　　　) (　　　) in other countries.
(= punctually)　（東海大）

□ **1249** 生徒たちは9時ぴったりに来る。　（武庫川女子大）
Students come at nine (　　　) the (m-　　　). (= on time)

□ **1250** 彼は生まれつき怠け者です。彼に期待しすぎないように。　（芝浦工大）
He is by (　　　) a lazy person; don't expect too much from him.

□ **1251** 春休みはもうすぐだ。
The spring vacation is near at (　　　).　（熊本商大）

□ **1252** その国の経済は徐々によくなるだろう。　（愛知学院大）
The country's economy will improve (　　　) degrees. (= gradually)

□ **1253** 要するに，私の言いたいことは，人生は楽園ではないということだ。
頻出 In (s-　　　), what I mean to say is that life is not a paradise.
(= In brief)　（早大）

□ **1254** 来週の金曜日に必ずお金を返してください。
You must return my money next Friday without (　　　).
(= for certain)　（亜細亜大）

1244 (on)　1245 (to, the, point)　1246 (beside [off])　1247 (in)　1248 (on, time)
1249 (to, minute)　1250 (nature)　1251 (hand)　1252 (by)　1253 (short)　1254 (fail)

Theme 243 前置詞＋名詞 ⑥

1244 **on *one's* own**「独力で / ひとりで / 独立して」
(= **alone** / **by *oneself*** ➲ 340)

▶ 自分自身（*one's* own）に頼って（on）➡ 独力で / 独立して

〈注意〉 **of *one's* own**「自分自身の」と混同しやすいので注意。
I want a room *of my own*.（私は自分の部屋が欲しい）

1245 **to the point**「要領を得た / 的を射た / 適切な」(= **relevant**)

1246 **beside [off] the point**「要領を得ない / 的はずれの」
(= **beside [off] the mark** / **wide of the mark**) ⇔ **to the point**

1247 **in time**「間に合って / 遅れずに」

〈プラスα〉 **in time** には「やがて / そのうちに」の意味もある。(➲ 212)
Many dreams come true *in time*. (= sooner or later)
（多くの夢はそのうちに実現する）（東海大）

1248 **on time**「時間通りに」(= **punctually**)

1249 **to the minute**「(1分もたがわずに) きっかり」
(= **sharp** ➲ 773 / **on time** ➲ 1248)

1250 **by nature**「生まれつき」

▶ この by は「～に関しては / ～は」の意味で『関連・関係』を表す。
天性［本性］(nature) に関しては (by) ➡ 生まれつき

Power Up! 201 その他の「by＋名詞」の表現

□ **by birth**「生まれは」　□ **by profession [trade]**「職業は」
□ **by name**「名前は」　□ **by sight**「顔は」
know the singer *by name* [*sight*]「その歌手の名前［顔］は知っている」

1251 **at hand**「(時間的・位置的に) すぐ近くに / 間近に」

▶ しばしば close または near と共に用いる。
Keep a dictionary close *at hand*.（辞書をすぐ手元に置いておきなさい）

1252 **by degrees**「徐々に / 次第に」(= **gradually**)

▶ この by は「～ずつ」の意味。

Power Up! 202 「～ずつ」の意味の by を用いた表現

□ **step by step**「一歩一歩」　□ **one by one**「1つずつ」
□ **day by day**「一日一日と」 *cf.* **day after day**「来る日も来る日も」
□ **little by little**「少しずつ / 徐々に」(= **by degrees** (➲ 1252) / **gradually**)

1253 **in short**「要するに / 手短に言えば」(= **in brief** / **to sum up**)

1254 **without fail**「必ず / きっと / 間違いなく」
(= **for certain** / **for sure** ➲ 1234 / **certainly** / **surely**)

Theme 244

□□□ **1255** 頻出 ある程度はあなたの見解に賛成するが，その決断については支持できない。
While I agree with your views to some (e-　　), I cannot support your decision. （立教大）

□□□ **1256** 頻出 政治的見地からすると，その計画はあまり推薦できない。（藤女子大）
The plan is not advisable from a political (　　) of (　　).

□□□ **1257** ある意味で，出会いは別れの始まりである。
Meeting is, in a (　　), the beginning of parting. （神戸大）

□□□ **1258** 私は辞書をすぐ手の届くところに置いておきたい。
I like to have my dictionary within easy (　　). （京都産業大）

□□□ **1259** ほとんどの日本の若い人たちはカラオケを楽しんでいる。だから人前で歌うことを恐れない。Most Japanese young people enjoy karaoke, so they are not afraid of singing in (　　). （愛知学院大）

□□□ **1260** 彼はあの情報を直接得たのではないと思う。（立命館大）
I don't think he got that information at (　　) (　　). (= directly)

□□□ **1261** 発展 私は自由に使える金をたくさん持っている。
I have much money (　　) my (　　). （金城学院大）

□□□ **1262** 家中の明かりが突然消えた。（駒澤大）
All (　　) (　　) all the lights in the house went out. (= Suddenly)

□□□ **1263** 突然，父が寝ている私を起こした。
All (　　) (　　) sudden, my father awakened me. （日本大）

□□□ **1264** 発展 私の考えでは，君はもう一度試験を受けるべきだ。
(　　) my opinion, you should try the exam again. （立教大）

□□□ **1265** うつぶせに眠っている男性は私の夫です。
The man sleeping on his (　　) is my husband. （高知大）

□□□ **1266** 医者は私に体重を減らすためにダイエットをするように言った。
The doctor told me to go (　　) a diet to lose weight. （駒澤大）

1255	(extent)	1256	(point, view)	1257	(sense [way])	1258	(reach)
1259	(public)	1260	(first, hand)	1261	(at, disposal)	1262	(at, once)
1263	(of, a)	1264	(In)	1265	(face [stomach])	1266	(on)

Theme 244 前置詞＋名詞 ⑦

1255 **to some [a certain] extent**「ある程度は / ある程度まで」
(= **to some [a certain] degree**)
〈比 較〉**to a great [large] extent**「大いに」

1256 **from a ~ point of view**「~の見地［観点］からすると」
(= **from ~ viewpoint [perspective]**)
▶ 本問 = The plan is not advisable *from a political viewpoint [perspective]*.

1257 **in a sense**「ある意味では」(= **in a way**)

1258 **within (A's) reach**「(A の) 手の届くところに」(= **within the reach of A**)
⇔ **out of [beyond] (A's) reach**「(A の) 手の届かないところに」
Keep the medicine *out of [beyond]* the children's *reach*.
= Keep the medicine *out of [beyond] the reach of* the children.
(その薬は子供の手の届かないところに置いておきなさい)

1259 **in public**「人前で / 公然と」(= **publicly**)
⇔ **in private**「内密に，こっそりと / 非公式に」(= **privately**)

1260 **at first hand**「直接に / じかに」(= **directly**)
〈比 較〉「間接に / 人づてに」は **at second hand**。

1261 **at A's disposal**「**A** の自由になる（ように）」
▶ disposal は「処分の自由 / 処分権」の意味。

1262 **all at once**
1263 **(all) of a sudden**
}「突然」(= **suddenly**)

1264 **in my opinion**「私の考え［意見］では」(= **in my view**)

1265 **on *one's* face**「うつぶせ［腹ばい］になって」(= **on *one's* stomach**)
〈比 較〉「あおむけに」は on *one's* back。

1266 **on a diet**「ダイエット中で」
▶ **be [go] on a diet**「ダイエットをしている［する］」
▶ この on は「~して / ~中で」の意味で『状態・従事』を表す。

Power Up! 203 「on＋名詞」の表現

□ **on strike**「ストライキ中で」 □ **on the rise [increase]**「上昇［増加］中」
□ **on sale** 「発売中で」 *cf.* for sale「売り物の」 □ **on (the) air**「放送中」
□ **on the [*one's*] way**「途中で」(➲ 1193) □ **on a diet**「ダイエット中で」(➲ 1266)
□ **on the go**「忙しく働いて / 活動して」(➲ 1208)
□ **on duty** 「勤務中で / 当番で」(➲ 1239) ⇔ **off duty**「非番で」

第27章 前置詞の働きをするイディオム —— 群前置詞

Theme 245

□□□ **1267** 頻出 私はと言えば，その提案には反対です。
(　　)(　　) me, I am against the proposal.
(= As far as I am concerned)　（東北学院大）

□□□ **1268** 頻出 与えられた仕事を終えてしまって，彼は次に何をすべきかわからなかった。
After finishing the work given him, he was uncertain (　　)(　　) what should be done next.　（立教大）

□□□ **1269** 発展 テストに関しては，一生懸命勉強すれば心配することはない。（福岡大）
(　　) regards the test, you need not worry as long as you study hard.

□□□ **1270** 頻出 あなたの今度の訪問に関しては，私があなたを空港に迎えに行くことになるでしょう。
With (r-　　) to your forthcoming visit, I will be meeting you at the airport. (= Concerning)　（亜細亜大）

□□□ **1271** 頻出 この手紙に関して一番よいのは燃やしてしまうことだと思う。（京都産業大）
With (r-　　) to these letters, I think the best thing is to burn them.

Theme 246

□□□ **1272** 頻出 彼は新しい科学技術を学ぶためにアメリカに行った。
He has gone to America for (　　)(　　) of studying new technology.　（名城大）

□□□ **1273** ジムはパイロットになるために勉強した。
Jim studied with a (　　) to becoming a pilot.　（姫路獨協大）

□□□ **1274** 彼女は落第しないように懸命に勉強した。
She worked hard for (　　) of failing.　（駒澤大）

□□□ **1275** 彼は健康のためにタバコをやめた。
He gave up smoking for the (　　) of his health.　（駒澤大）

1267 (As, for)　**1268** (as, to)　**1269** (As)　**1270** (regard [respect])
1271 (respect [regard])　**1272** (the, purpose)　**1273** (view)　**1274** (fear)
1275 (sake [benefit / good])

Theme 245 『関連』を表す群前置詞

1267 as for ～「～について言えば / ～に関する限りでは」
▶ 通例文頭で，前に述べた事柄に関連して，新しい話題や対照的な話題を持ち出すのに用いる。
As for me = As far as I am concerned (➲ 451) = For my part
「私に関する限り / 私はと言えば」

1268 as to ～「～について」(= **about**)
▶ as to ～ は，wh- 節・句が続く場合に用いられることが多い。それ以外は about / on を用いるほうが一般的。
▶ 文頭では as for ～ と同じ「～について言えば」の意味になる。
As to me, there is not much to say.
(私について言えば，あまり言うことはありません)（名工大）

1269 as regards ～
1270 with [in] regard to ～　「～に関して(は)」(= **concerning**)
1271 with respect to ～
▶ regard / respect は「(注意・配慮すべき) 点」の意味。(➲ 755)
▶ 1269 ～ 1271 や concerning は，about / on より堅い表現。
〈語句〉 1270 will be *doing* (未来進行形) —— ① 未来のある時点において進行中の動作，② 自然な成り行きで起こりそうなこと (本問の場合は ②)
cf. be *doing* (現在進行形) —— 確定的な近い未来の予定 (➲ 6)
I *am meeting* you. (私があなたを迎えに行くことになっている)

Theme 246 『目的』を表す群前置詞

1272 for the purpose of *doing*「～する目的で / ～するために」
▶「～するために」の意味では，for *doing* は不可。for を使って『目的』を強調する場合は，for the purpose of *doing* の形になる。

1273 with a view to *doing*「～する目的で / ～するつもりで」
▶ この view は『目的 / 意図』の意味。やや堅い言い方。

1274 for fear of *doing*「～しないように / ～するといけないから」
▶ 本問 = She worked hard for fear that she should fail. (➲ 444)
= She worked hard so that she would [might] not fail. (➲ 443)

1275 for the sake of ～「～の(利益の)ために / ～を目的として」
▶ **for A's sake** の形もある。
I lent money to your wife *for your sake.*
(君のために奥さんにお金を貸してあげたんだよ)
〈プラスα〉 **for the benefit [good] of ～** も同意表現。

Theme 247

□□□ **1276** 基本 超頻 ひどい交通渋滞のために，およそ2時間遅れました。（徳島文理大）
I was late about two hours (b-　　)(　　) a terrible traffic jam.

□□□ **1277** 頻出 その公共図書館は予算削減のために閉館になった。
The public library was closed (　　) account of budget cuts.
(= because of)（名城大）

□□□ **1278** 頻出 新型インフルエンザの流行のために，学園祭は延期されることになっている。
Owing (　　) the spread of a new type of flu, the school festival is to be (　　).（慶應大）

□□□ **1279** 超頻 嵐のために，列車は延着した。
(D-　　)(　　) the storm, the train arrived late.（同志社女子大）

□□□ **1280** 基本 頻出 彼らが熱心に働いてくれたので，建築工事は予定通りに終わった。
(T-　　)(　　) their hard work, the construction was completed on time.（追手門学院大）

□□□ **1281** トムはいつも病気を理由に，パーティーの招待を断っている。（南山大）
Tom always declines invitations to parties on the (　　) of ill health.

Theme 248

□□□ **1282** 頻出 雨にもかかわらず，多くの人が野外コンサートにやって来た。
(　　)(　　)(　　) the rain, many people showed up for the outdoor concert.（上智大）

□□□ **1283** 私たちの努力にもかかわらず，その計画は失敗に終わった。
(F-　　)(　　) our efforts, the plan ended in failure.
(= In spite of)（関西学院大）

□□□ **1284** 頻出 私たちは彼の意向にかまわず自分たちの計画を実行する決心です。（福岡大）
We are determined to carry out our plan (r-　　) of his intention.

1276 (because, of)　1277 (on)　1278 (to, postponed)　1279 (Due, to)
1280 (Thanks, to)　1281 (grounds)　1282 (In, spite, of)　1283 (For, all)
1284 (regardless)

Theme 247 『原因・理由』を表す群前置詞

1276 because of ～
1277 on account of ～
1278 owing to ～
1279 due to ～
「～のために / ～が原因で」

▶ これら4つの『原因・理由』を表す群前置詞はほぼ同意で，入れかえて用いることができる。

〈重要〉 due to ～ は群前置詞としての用法の他に，**be due to** ～「～のため［せい］である / ～による」の形も必ず押さえること。

His big success *was due to* his patience and diligence.
（彼の大成功は忍耐と勤勉によるものであった）（青山学院大）

〈語句〉 1278 is to be postponed「延期されることになっている」（➲ 101）

1280 thanks to ～「～のおかげで / ～のせいで」

▶ 日本語と同様，皮肉な意味を込めて用いられることもある。

Thanks to his error, we lost the game.
（彼のエラーのおかげで試合を落とした）

1281 on (the) grounds of ～「～という理由で」

▶ ground は『根拠・理由』の意味。of ～ の代わりに，that 節も用いられる。
本問 = Tom always declines invitations to parties *on the grounds that* he is ill.

Theme 248 『譲歩』を表す群前置詞

1282 in spite of ～「～にもかかわらず」（= **despite** ➲ 722）

〈重要〉 **in spite of *oneself***「思わず / われ知らず」も重要。
自分自身（の気持ち）にもかかわらず ➡ 思わず / われ知らず

I burst out laughing *in spite of myself*.
（私は思わず笑い出してしまった）（愛知学院大）

1283 for all ～「～にもかかわらず」（= **in spite of**）

〈プラスα〉 **with all** ～ も同じ意味で使われる。

His friends like him *with all* his faults.
（彼の友人たちは，彼の欠点にもかかわらず彼が好きだ）（早大）

1284 regardless of ～「～にかかわらず / ～にかまわず」（= **in spite of**）

□ **1285** 今日の新聞によれば，東京で大火事があった。（福山大）
□ 基本
□ 超頻
(　　)(　　) today's newspaper, there was a big fire in Tokyo.

□ **1286** マイクはパーティーに行かないで家で勉強をした。（名古屋外大）
□ 頻出
□
(I-　　)(o-　　) going to the party, Mike studied at home.

□ **1287** 期末試験に代えて，レポートを書いてもらおうと思います。（静岡大）
□
□
We'd like you to write a term paper in (p-　　) of a final exam.

□ **1288** 教育は単に年数の点からのみはかるべきものではありません。（東京理科大）
□ 頻出
□
Education is not to be measured merely in (t-　　) of years.

□ **1289** 私たちは言葉を用いて考えを表現する。
□
□
We express our thoughts by (m-　　) of words.（姫路獨協大）

□ **1290** マークは先週，日本経由でヨーロッパからオーストラリアに戻った。
□
□
Mark returned to Australia from Europe last week by (　　) of Japan.
（獨協大）

□ **1291** 彼女のお父さんは健康を犠牲にして一生懸命働いた。（西南学院大）
□ 頻出
□
Her father worked hard (　　) the expense of his health.

□ **1292** 彼は健康を犠牲にしてその仕事を完成させた。
□
□
He completed the work at the (c-　　) of his health.（高岡法科大）

□ **1293** かわいそうにその幼い女の子は残酷な運命に翻弄された。
□
□
The poor little girl was at the (　　) of her cruel fate.（清泉女子大）

□ **1294** 多くの日本人が，よりよい生活を求めて南米に移住した。（神奈川大）
□
□
Many Japanese moved to South America in (　　) of a better life.

□ **1295** 1700年代，英国はコーヒーやワインに加えて紅茶に課税した。（京都橘大）
□ 頻出
□
In the 1700s, England taxed tea, in (　　) to coffee and wine.

□ **1296** 2014年1月の時点で，ほとんどの生徒は卒業後に何をしたいかを決めていた。
□
□
As (　　) January 2014, most students had decided what they wanted to do after leaving school.（西南学院大）

Theme 249 その他の重要群前置詞 ①

1285 according to ～「（情報源）によれば」
〈プラスα〉 **according to** ～ には「～に従って / ～に応じて」の意味もある。
The employees were paid *according to* their ability.
（従業員たちはそれぞれの能力に応じて給料を支払われた）（成蹊大）

1286 instead of ～「～の代わりに / ～ではなく / ～しないで（***doing***）」
▶ of の後ろに動名詞(句)が来ると「～しないで（その代わりに)」と訳すことが多い。

1287 in place of ～「～の代わりに」（= **instead of**）
〈プラスα〉 **take the place of** ～「～に取って代わる」（➲ 1062）

1288 in terms of ～「～の点から / ～に関して」

1289 by means of ～「～によって / ～を用いて」
▶ means「手段 / 方法」（➲ 603）
▶ by だけの場合よりも「手段」の意味を明確に表す。

1290 by way of ～「～経由で」（= **via**）
〈発展〉 **by way of** ～ には「～として / ～のつもり［目的］で」の意味もある。
The investigation was begun *by way of* discovering the truth.
（真実の発見のために，調査が開始された）（國學院大）

1291 at the expense of ～
1292 at the cost of ～
｝「～を犠牲にして」（= **at the sacrifice of**）

1293 at the mercy of ～「～のなすがままに［で］/ ～に左右されて」
▶「翻弄される」➡「～のなすがままである」（= be at the mercy of）

1294 in search of ～「～を探して / ～を求めて」
▶ **search for** ～「～を探し求める」との前置詞の違いに注意。

1295 in addition to ～「～に加えて / ～の他に」（= **besides**）
〈比較〉 **in addition** は「さらに / その上」という意味の副詞句。
In addition, there were two other deficiencies in that system.
（その上，あのシステムには他にも2つ欠陥があった）

1296 as of ～「～の時点で / ～現在で」

1285 (According, to)　1286 (Instead, of)　1287 (place)　1288 (terms)
1289 (means)　1290 (way)　1291 (at)　1292 (cost)
1293 (mercy)　1294 (search)　1295 (addition)　1296 (of)

Theme 250

□ **1297** 君が何を考えているのか，みんなに話すことが君の責任だ。（東京理科大）
□ 超頻
□ It is (　　　)(　　　) you to tell everybody what you have in mind.

□ **1298** 組織委員会を代表して，皆様のご参加にお礼申し上げます。
□ 頻出
□ On (b-　　　) of the organizing committee, I would like to thank you all for your participation. (= Representing)（関西学院大）

□ **1299** 歓迎会がスミス氏のために開かれた。
□
□ A welcome meeting was held (　　　) honor of Mr. Smith.（早大）

□ **1300** 私たちは彼の意見に賛成ではない。
□ 頻出
□ We are not in (　　　) of his opinion.（名古屋学院大）

□ **1301** スピーチ・コンテスト担当の先生をお願いします。（日本大）
□ 頻出
□ I would like to talk to the teacher in (c-　　　) of the speech contest.

□ **1302** 私の予想に反して，彼は失敗しました。
□
□ (C-　　)(　　　) my expectations, he failed.（國學院大）

□ **1303** 費用が高いのは別にして，私はどうしても飛行機で行くのが嫌いだった。
□ 頻出
□ (A-　　) from the great expense, I simply didn't like traveling by air.（獨協医大）

□ **1304** 彼は数々の障害をものともせず前進した。
□
□ He went forward in the (　　　) of many obstacles.（名古屋外大）

□ **1305** どろぼうは警官を見て逃げ去った。
□
□ The thief ran away at the (　　　) of a policeman.（センター）

□ **1306** 親切にしてくれたお返しに，あなたにこのささやかな贈り物をしたい。
□
□ We want to give you this little present in (　　　) for your kindness.（立命館大）

1297 (up, to)　1298 (behalf)　1299 (in)　1300 (favor)
1301 (charge)　1302 (Contrary, to)　1303 (Apart [Aside])　1304 (face)
1305 (sight)　1306 (return)

Theme 250 その他の重要群前置詞 ②

1297 up to ～「～の責任［義務］で / ～次第で」

▶ **It is up to A to *do*** 「～するのは A の責任だ / A 次第だ」
It is up to A whether [**if**] ～ (**or not**)「～かどうかは A 次第だ」の形での出題が多い。

It is *up to* you whether [if] you believe it or not.
（それを信じるかどうかは，あなた次第だ）（関西学院大）

〈重 要〉 **up to** の次の意味も必ず押さえておこう。
①「(数値など) ～まで / ～に至るまで」
②「(通例悪事など) をたくらんで」
① His TOEIC score is now *up to* 750.
（彼のトーイックの点数は 750 まで上がった）
② I think he is *up to* something bad.
（彼は何か悪いことをたくらんでいると思う）（立命館大）

1298 on [**in**] **behalf of** ～「～を代表して / ～に代わって (= **in place of**)」

〈プラスα〉 **on** [**in**] **behalf of** ～ には「～のために」の意味もある。
I want to take action *on behalf of* the refugees.
（難民のために行動を起こしたい）

〈語 句〉 represent「～を代表する」

1299 in honor of ～「～に敬意を表して / ～のために」

1300 in favor of ～「～に賛成して」(= **for** ➲ 716)

1301 in charge of ～「～を担当［世話 / 管理］して / ～に責任を持って」

〈プラスα〉 **take charge of** ～「～を担当［世話 / 管理］する」
She will *take charge of* our children during the trip.
（旅行の間，彼女が子供たちの世話をしてくれる）

1302 contrary to ～「～に反して」

〈比 較〉 **on the contrary**「それどころか」(➲ 1189) と区別する。

1303 apart from ～「～は別として / ～はさておき」(= **aside from**)

1304 in the face of ～「～に直面して / ～をものともせず」

1305 at the sight of ～「～を見て」

▶本問 = The thief ran away when he saw a policeman.

1306 in return for ～「～のお返しに / ～の返礼として」

▶ for 以下がなくて **in return** だけでもよく使われる。
a natural impulse to love and to be loved *in return*
「愛し，そのお返しに愛されたいという自然な衝動」

Part 5

会話表現

第28章 会話の基本 410

第29章 会話の実際 420

第28章 会話の基本

Theme 251

□□□ 1307 A：調子はどうですか。
(　　　) are things going with you?
B：なかなかいいよ。
Not bad.
A：それはいいですね。
That's good to hear.
（センター）

□□□ 1308 **頻出** A：やあ，ビル，どう，調子は？
Hi, Bill. What's (　　　)?
B：相変わらずだよ。
Nothing (　　　).
（駒澤大）

□□□ 1309 A：久しぶりだね，その後どうだった？
Long (　　　) no (　　　).
= It's been a (　　　) time.
How have you been?
B：とても元気だよ。君の方はどうなの？
Pretty good. How (　　　) you?
（西南学院大）

□□□ 1310 **基本** A：エミ，こちらはメアリーです。
Emi, (　　　) is Mary.
B：はじめまして。
Nice (　　　) (　　　) you.
（青山学院大）

□□□ 1311 **基本** A：ご出身はどちらですか。
Where (　　　) you from? = Where (　　　) you come from?
B：鳥取です。
I come from Tottori.
（関西学院大）

□□□ 1312 A：どちらにお勤めですか。
(　　　) do you work (　　　)?
B：商社に勤めています。
I work for a trading company.
（早大）

Theme 251 出会いのあいさつ

1307 A：**How are things (going) (with you)?**「調子はどう？」
B：**Not (so [too]) bad.**「なかなかいいよ」
▶ How are things (going)? は知人に出会ったときのあいさつの表現。
How's everything (going)? / How's it going? / How're things? などの形も使う。
▶ **How are you (doing)?**「元気ですか」よりもくだけた問い方。
▶ 返事は，本問のように，**Not bad. / Pretty good [well].**「とてもいいよ」/ **(I'm) OK.**「いいよ」/ **Couldn't be better.**「最高だよ」などと答える。

1308 A：**What's up?**「どう，調子は？ / どうしてる？」
What's new?「変わりはない？ / やあ，どう？」
▶ How's everything? や How're things? などよりさらにくだけた表現。
B：**Nothing special.**「相変わらずだよ」

1309 A：**Long time no see.**「久しぶりだね」
= **It's been a long time (since I saw you last).**
How have you been?「その後どうだった？ / どうしてました？」
▶ 久しぶりの再会には How have you been? を使う。
B：**Pretty good.**「とても元気だよ」
How about you?「あなたはどうですか」(= **And you?**)

1310 A：**This is Mary.**「こちらがメアリーです」
B：**Nice to meet you.**「はじめまして / よろしく」
= **Glad to meet you.**
▶ 初対面のあいさつである，**How do you do?**「はじめまして」は堅い表現なので，親しみのこもったあいさつである Nice to meet you. を使うことが多い。

1311 A：**Where are you from?**「ご出身はどちらですか」
= **Where do you come from?**
▶ 出身地を尋ねるときの決まり文句。現在時制を用いる点に注意。

1312 A：**Who do you work for?**「どちらにお勤めですか」(➲ **Power Up! 180**)
= **Where do you work?**
▶ 文頭の who は前置詞 for の目的語なので，本来は目的格の whom だが，文頭に目的格が来るのを嫌って主格の who を用いることが多い。
〈比較〉Where do you work? の場合は for ではなく **in / at** で答える。
"Where does he work?" "*In* a bank."
(「彼はどこで働いていますか」「銀行です」)

1307 A. (How)　**1308** A. (up [new])　B. (special)　**1309** A. (time, see, long)　B. (about)
1310 A. (this)　B. (to, meet)　**1311** A. (are, do)　**1312** A. (Who, for)

□□□ **1313** A：そろそろおいとましなければなりません。すてきなパーティーでした。

I am afraid I must be (　　　) now. It was a nice party.

B：お会いできてうれしかったです。

I am glad to (　　　) (　　　) you. = Nice (　　　) you.

（関西学院大）

□□□ **1314** A：じゃあ，もういかなくちゃ。頑張って。

Well, I've (　　　) to go now. Good luck.

B：ありがとう。またね。

Thanks. (　　　) you later.

（大阪経済大）

□□□ **1315** **頻出** A：ああ，さみしくなるわね。ときどきお便りをください。

Well, I'll (　　　) you. Let me hear from you sometimes.

B：もちろんよ。お体大切に。

Of course. Take (　　　) (　　　) yourself.

（獨協大）

□□□ **1316** **頻出** A：マリコによろしく伝えてください。

(　　　) hello to Mariko, please.

B：わかりました。伝えておきます。

OK, I (　　　).

（関西学院大）

□□□ **1317** **頻出** A：ご両親によろしくお伝えください。

Please give my best (　　　) to your parents.

B：ありがとう。そうします。

Thanks, I will.

（北陸大）

□□□ **1318** お母様によろしくお伝えください。

Please (　　　) (　　　) to your mother.

(= give my kind regards)

（名古屋女子大）

1313 A. (going [leaving]) B. (have, met, meeting)
1314 A. (got) B. (See)
1315 A. (miss) B. (care, of)
1316 A. (Say) B. (will)
1317 A. (regards)
1318 (remember, me [say, hello])

Theme 252 別れのあいさつ

1313 A：**I must be going [leaving] now.**
「そろそろおいとましなければなりません」

B：**I am glad to have met you.**「お会いできてよかったです」
= Nice meeting you.

〈比較〉Nice meeting you. は別れるときのセリフ。初対面のあいさつ Nice to meet you.「はじめまして」（➲ 1310 B）と混同しないように。

1314 A：**I've got to go now.**「もう行かなければ」

▶ 別れを切り出すときのセリフ。
他に，**I must be going [leaving] now.**「もうそろそろ行かないと」/ **I'd better be going. / I'm afraid I must be going.**「おいとましなければなりません」などがある。

Good luck.「幸運を祈る / 頑張って」

B：**See you (later).**「じゃ，また」（= **I'll be seeing you (later).**）

〈重要〉別れのあいさつとしては，**Take it easy.**「元気で」，**Take care!**「気をつけて」，**So long!**「それじゃまた / さようなら」なども重要。

1315 A：**I'll miss you.**「寂しくなるね」（➲ 839(c)）

▶ しばらく会えなくなる人との別れのあいさつ。

B：**Take care of yourself.**「お体をお大事に」

▶ Take care!「気をつけて」に比べて，実際に相手の健康面を気遣った別れのあいさつ。

1316 A：**Say hello to A.**「A によろしくね」

B：**OK, I will.**「わかりました。伝えておきます」

▶ Say hello to A. に対しては，**I sure will. / Yes, I will. / OK, I will.** など I will を含んだ形の承諾表現が用いられる。

1317 A：**Give my (best) regards to A.**「A によろしくお伝えください」

▶ Say hello to A. より礼儀正しい言い方。regards「よろしくというあいさつ」の前に best / kind(est) がつくことが多い。

▶ regards を省略して，**give my best to A** になることもある。

B：**Thanks, I will.**「ありがとう。そうします」

▶ A が身内の人の場合，I will. に Thanks. / Thank you. がつくこともある。

1318 **Remember me to A.**「A によろしくお伝えください」

▶ Say hello to A. / Give my best regards to A. を用いるほうがふつう。

Theme 253

□□□ **1319** 基本 頻出

A：チケットのお金を支払ってくれてありがとう。 （産能大・法政大）

Thanks (　　) paying for my tickets.

B：どういたしまして。

You're (　　). = Don't (　　) it. = That's all (　　).

□□□ **1320**

A：荷物を運ぶのを手伝ってくれてどうもありがとう。

(　　) was very kind (　　) you to help me with my luggage.

B：どういたしまして。

No (　　). （同志社大）

□□□ **1321** 頻出

データの入力方法を教えていただけたらありがたいです。

I would appreciate (　　) (　　) you could show me how to input the data. （金沢工大）

□□□ **1322** 頻出

A：病院に連れて行きましょうか。

Shall I take you to the hospital?

B：一人で行けますから，どうも。

I can go there by myself, thank you (　　).

= I can go there alone, thanks just the (　　). （立教大）

□□□ **1323** 基本 頻出

A：長い間お待たせしまして申し訳ありません。 （九州共立大）

I'm (　　) to (　　) (　　) you waiting for a long time.

B：かまいませんよ。僕も着いたところですから。

Don't (　　). = (　　) mind. I (have) just got here.

Power Up! 204 お礼・お詫びに対する応答

- □ **You're welcome.** 「どういたしまして」(➲ 1319)
- □ **Not at all.** 「いいんですよ」
- □ **Don't mention it.** 「どういたしまして」(➲ 1319)
- □ **That's all right.** 「いいんですよ」(➲ 1319)
- □ **No problem.** 「どういたしまして / かまいませんよ」(➲ 1320)
- □ **Don't worry (about it).** 「気にしないで / かまいませんよ」(➲ 1323)
- □ **Never mind.** (×**Don't mind.**)「気にするな / かまいませんよ」(➲ 1323)

1319 A. (for) B. (welcome, mention, right) 1320 A. (It, of) B. (problem)
1321 (it, if) 1322 B. (anyway, same) 1323 A. (sorry, have, kept) B. (worry, Never)

Theme 253 『お礼・お詫び』とその応答

1319 A：**Thanks [Thank you] for *doing*.**「～してくれてありがとう」

B：**You're welcome.**《米》
= **Don't mention it.**《英》
= **That's all right.**
「どういたしまして」

▶ Don't mention it. と That's all right. は『お礼』だけでなく,『お詫び』に対する返事にも使われる。You're welcome. は『お礼』に対する返事のみに用いる。

〈プラスα〉 お礼に対する返答には次の表現も押さえておこう。

It's my pleasure.（お役に立ててうれしいです）
Not at all.（何でもありませんよ）

1320 A：**It is kind [nice] of you to *do***「～してくれてありがとう」(➲ 288)

B：**No problem.**「（親しい人に）どういたしまして / かまいませんよ」

1321 **I would appreciate it if you could [would] ～**「～していただけるとありがたいのですが」

▶ 内容的には丁寧な『依頼』を表しているが，appreciate「～に感謝する」の使い方が重要なので，本書ではここで扱う。

〈重 要〉 appreciate は thank とは異なり，『人』を目的語にとらない。
本問では if 節の内容を受ける it が appreciate の目的語。

I would **appreciate** hearing from you soon.
= I'd **appreciate** it if you'd write (to) me soon.
（すぐにお便りをいただければうれしいのですが）

1322 B：**Thank you [Thanks] anyway.**「（とにかく）ありがとう」
= **Thank you [Thanks] just [all] the same.**

▶ 相手の好意や申し出などを断るときや，相手が自分の要望に応えられなかった場合に，相手に対してお礼を言う表現。

1323 A：**I'm sorry to have kept you waiting.**
= **I'm sorry (that) I have kept you waiting.**
= **I'm sorry for having kept you waiting.**
「お待たせして申し訳ありません」

B：**Don't worry (about it).**
= **Never mind.**「かまいませんよ / 気にしないで」

Theme 254 ◎5

□□□ **1324** 基本 A：私の家で食事をご一緒しませんか。
(　　　) you have dinner with us at my house?
B：もちろん，喜んで。
Certainly, with (　　　).　（拓殖大）

□□□ **1325** A：来週末，ダンスパーティーを開きましょうよ。
(　　　) have a dance party next weekend, (　　　) we?
B：はい，そうしましょう。
Yes, (　　　).　（愛知学院大）

□□□ **1326** 頻出 A：仕事が終わったら一杯飲みに行かないか。
How (　　　) having a drink together after work?
= (　　　) do you (　　　) to having a drink together after work?
B：うん，いいとも。
Yes, sure.　（駒澤大）

□□□ **1327** 頻出 A：今晩どこかに出かけないか。
(　　　) don't we go out somewhere tonight?
= Why (　　　) go out somewhere tonight?
B：ああ，それはいいね。
Yeah, that sounds (　　　) (to me).
A：それじゃ，あの新しいアクション映画を見に行こう。
OK. Let's go and see that new action movie.　（センター）

□□□ **1328** A：映画に行きませんか。
(　　　) you like to go to the movies?
B：それはいいですね。
That's a good (　　　).　（青山学院大）

Power Up! 205 勧誘・提案に対する応答

□ **With pleasure.**	「喜んで」（➲ 1324）
□ **Certainly. / Sure.**	「いいとも / もちろん」（➲ 1324・1326）
□ **That sounds good [great].**	「それはいいですね」（➲ 1327）
□ **That's a good idea.**	「それはいいですね」（➲ 1328）

Theme 254 『勧誘・提案』とその応答

1324 A：Will [Won't] you ~?「～しませんか」
▶ Will you ~?，Won't you ~? は勧誘を表す基本形。Won't you ~? のほうが親しみのこもった言い方。

B：Certainly, with pleasure.「もちろん，喜んで」
▶ Certainly「(返事に用いて) もちろんです / いいですよ」(= Sure)
▶ with pleasure「喜んで」は快諾の返答として用いる。With pleasure. だけでも可。

1325 A：Let's ~ (, shall we?)「～しようよ」
▶ shall we? を付け加えると口調がやわらかくなる。(➲ 253)

B：Yes, let's.「はい，そうしましょう」

1326 A：How [What] about *doing*?「～しませんか」(➲ 263)
= What do you say to *doing*?
▶ about / to の後には名詞が続くこともある。
How about A? = What about A? = What do you say to A?
「A はどうですか」
A：I want something to drink.（何か飲みものが欲しい）
B：*How about* some coffee?（コーヒーはどうですか）（東京経済大）

B：(Yes,) sure.「うん，いいとも」

1327 A：Why don't we *do*?「～しませんか」(➲ 262)
= Why not *do*?
▶ Why don't we *do*? は自分を含めての提案。**Why don't you *do*?** は相手に「～してはどうですか」と提案・勧誘する表現。(➲ 261)

B：That sounds good [great].「それはいいですね」

1328 A：Would you like to *do*?「～しませんか」
〈重要〉 **Would you like [care for] + 名詞？**「～はいかがですか」も重要。
A：*Would you like* [*care for*] *something* to drink?
（何か飲みものをいかがですか）
B：Yes, I'd like a beer, please. / No, thank you.
（ええ，ビールを一杯いただきたいですね / いいえ，結構です）
（専修大）

B：That's a good idea.「それはいいですね」

1324 A. (Will [Won't])　B. (pleasure)
1325 A. (Let's, shall)　B. (let's)
1326 A. (about, What, say)
1327 A. (Why, not)　B. (good [great])
1328 A. (Would)　B. (idea)

Theme 255

□ **1329** A：コーヒーをもう少しいただけますか。
□ 基本
□
May I have some more coffee?
B：ええ，いいですとも。
Sure, (　　) not?　（東海大）

□ **1330** A：あなたにもう１つ質問してもいいですか。
□ 頻出
□
Is it all (　　) if I ask you one more question?
B：はい，どうぞ。
Sure. (　　) ahead. = Yes, by all (　　).　（駒澤大）

□ **1331** A：窓を開けてもいいですか。
□ 頻出
□
Do you mind (　　) I (　　) the window?
B：ええ，どうぞ。
(　　), go (　　).　（東洋大）

□ **1332** A：少しの間席を外してもいいですか。
□
□
Would you mind (　　) leaving my seat for a moment?
B：もちろんいいですよ。
Of course (　　).　（拓殖大）

□ **1333** 窓を開けていただけませんか。
□ 頻出
□
Would you (　　)(　　) the window, please?　（白百合女子大）

□ **1334** A：お願いがあるんですがよろしいでしょうか。
□ 発展
□
I (　　) if I might ask you a favor.
B：ええ，もちろんです。何が望みですか。
Yes, of course. What do you want?　（中央大）

□ **1335** A：今日少し時間をさいていただけないでしょうか。
□
□
Could you (　　) me some time today?
B：ええ，喜んで。
Yes, I'd be (　　) to.　（駒澤大）

1329 B. (why)　1330 A. (right)　B. (Go, means)　1331 A. (if, open)　B. (No, ahead)
1332 A. (my [me])　B. (not)　1333 (mind, opening)　1334 A. (wonder)
1335 A. (spare)　B. (glad [happy])

Theme 255 『依頼・許可』とその応答

1329 A：May I ~? 「~してもよろしいですか」
▶ May I ~? は Can I ~? 「~してもいいですか」よりも丁寧。
B：Why not? 「いいですとも」
▶ Why not? を **Why not *do*?** と混同しないように。(➲ 261・1327)
▶ Why not? は提案に同意する場合にも用いる。
"Let's play tennis this afternoon, shall we?" "*Why not?*"
(「今日の午後テニスをしませんか」「いいですよ」)（東京理科大）

1330 A：Is it all right if I ~? 「~してもいいですか」
▶ Is it all right if I ~? は May I ~? のくだけた言い方。
B：Go ahead. 「さあ，どうぞ」
By all means. 「ぜひどうぞ」

1331 A：Do [Would] you mind if I *do*? 「~してもいいですか」
▶ Would you mind の場合は，文法的には if 節は仮定法過去が正しいが，実際には，if 節の動詞は現在形も用いられる。
Would you mind if I *used* [*use*] your phone?
(電話をお借りしてもいいですか)（藤女子大）
B：(No,) go ahead. 「はい，どうぞ」
▶ mind は「いやだと思う / 気にする」という意味の動詞。「はい，どうぞ」と答えるときは，「いやだと思わない / 気にしない」ということなので，**(No,) not at all. / Of course not.** など否定語を用いる。

1332 A：Do [Would] you mind my [me] *doing*? 「~してもいいですか」
= **Do [Would] you mind if I *do*?**
B：Of course not. 「もちろんいいですよ」

1333 Do [Would] you mind *doing*? 「~していただけませんか」『依頼』
▶ 『許可』を求める **Do [Would] you mind my [me] *doing*?** と混同しないように。

1334 A：I wonder if [whether] ~ 「~していいでしょうか / ~してくれますか」
〈語句〉 ask A a favor 「A に頼みごとをする」(= ask a favor of A) (➲ 1072)
B：Yes, of course. 「はい，もちろん」

1335 A：Could you ~? 「~していただけないでしょうか」
▶ Could you ~? は Can you ~? / Would you ~? よりも丁寧な依頼を表す。
〈語句〉 spare A B 「A に B（時間など）をさく」(➲ 530)
B：Yes, I'd be glad [happy] to. 「ええ，喜んで」

Power Up! 206 mind を使った疑問文に対する応答

(a) 了承する場合：☐ **No, not at all.**　☐ **Certainly not.**
☐ **(No,) go ahead.** (➲ 1331)　☐ **Of course not.** (➲ 1332)
(b) 断る場合　：☐ **Well, I'd rather you didn't.**　☐ **I am sorry I would.**

会話表現

Theme 256

◎ 7

□ **1336** A：もしもし，こちらケンジですが，デミさんをお願いします。
□ 基本
□
Hello, (　　　) is Kenji speaking. May I (s-　　) to Demi?
B：あいにく今外出中です。
Sorry, she isn't (　　　) now.　（東京経済大）

□ **1337** A：スミスさんですか。
□ 頻出
□
Is this Mr. Smith?
B：すみませんが，電話番号をお間違えだと思います。
I'm afraid you have the (　　　) (　　　).　（東京経済大）

□ **1338** A：もしもし，カレンさんいらっしゃいますか。
□
□
Hello. Is Karen (　　　)?
B：どなたですか。
(　　　) calling, please? = Who is (　　　), please?　（獨協大）

□ **1339** A：ご伝言をうかがいましょうか。
□ 頻出
□
Can I (　　　) a message?
B：はい，彼に折り返しすぐに電話するよう伝えてください。
Yes, please ask him to (　　　) me (　　　) soon.　（拓殖大）

□ **1340** A：カーターさん，あなたに電話ですよ。
□
□
Mr. Carter, you are (　　　) on the phone.
= Mr. Carter, there is (　　　) (　　　) (　　　) on the phone.
B：すぐに行きます。
I'll be there right away.　（東京電機大）

□ **1341** A：内線 356 番につないでください。
□
□
Please put (　　　) (　　　) to extension 356.
B：はい。少々お待ちください。
Yes, just a (　　　), please.　（東京理科大）

□ **1342** A：オペレーターさん，私が電話を切りましょうか。　（中部大）
□ 頻出
□
Shall I (　　　) up, operator?
B：いいえ，どうぞそのままお待ちください。
No, sir, hold the (　　　), please. = No, sir, hold (　　　), please.

Theme 256 電話

1336 A：This is A (speaking).「こちら A です」
▶「こちらは A です」という場合，通例 I am A とはいわない。
May I speak to C?「C さんをお願いします」
= Can I talk to C, please? = I'd like to speak to C, please.
B：A is not in.「A は外出中です」(= A is out. / A is not here.)

1337 A：Is this C?「C さんですか」
B：I'm afraid ～「(望ましくないことを予想して) ～と思う」
You have the wrong number.「番号違いですよ」
▶ 語調をやわらげるために，I am afraid や I'm sorry をつけることが多い。

1338 A：Is C there?「C さんはいらっしゃいますか」
B：Who's calling, please?「どちらさまですか」
= Who is this [it], please?

1339 A：Can I take a message?「ご伝言をうかがいましょうか」
▶ take a message は「伝言をうかがう」であるが，**leave a message** は「伝言を残す［頼む］」。
May I *leave a message* for him with you?
(あなたに彼あての伝言を頼んでいいですか)（大東文化大）
B：call ～ back「～に折り返し電話する」
▶ Shall I have him *call* you *back*?（折り返し，彼に電話させましょうか）もよく使う表現なので覚えておこう。

1340 A：You are wanted on the phone.「あなたに電話です」
= There is someone for you on the phone.

1341 A：put A through to C「A の電話を C につなぐ」
〈語句〉extension は「(電話の) 内線 (番号)」
(May I have) extension 375, please?（内線 375 番をお願いします）
B：Just a moment [minute / second], please.
「ちょっと待ってください」
= Wait a moment [minute / second], please.

1342 A：hang up「電話を切る」
▶ 受話器を電話機にぶら下げる動作から生まれた表現。
B：hold the line「(電話を切らないで) 待つ」= hold on
〈プラスα〉line「電話線 / 電話の接続」を使った表現として，The line is busy.「お話し中です」も確認しておこう。(➲ 764)

1336 A. (this, speak)　B. (in [here])
1337 B. (wrong, number)
1338 A. (there)　B. (Who's, this [it])
1339 A. (take)　B. (call, back)
1340 A. (wanted, someone, for, you)
1341 A. (me, through)　B. (moment [minute / second])
1342 A. (hang)　B. (line, on)

Theme 257

◎ 8

□□□ **1343** 基本
A：すみませんが，郵便局はどちらでしょうか。
Excuse (　　　), (but) where can I find the post office?
B：この通りをずっと行ってください。最初の信号を右に曲がれば左手に見えるでしょう。
Go down this street. (　　　) right at the first light and you'll see it on the left.
A：最初の信号を右でしたか。
Did you say right at the first light?
B：そうです。
That's (　　　). （センター）

□□□ **1344**
A：国立美術館に行く道を教えていただけませんか。
Could you tell me the (　　　) to the National Museum?
= Could you tell me how to (　　　)(　　　) the National Museum?
B：すみません。私もこの辺は初めてなんです。
I'm sorry. I'm a (　　　) here myself. （千葉商大）

□□□ **1345** 頻出
A：すみませんが，ここから繁華街へ行くにはどうすればよいのでしょうか。
Excuse me, how can I get (　　　) from here?
B：バスで行けますよ。
You can go (　　　) bus.
A：バスはどれくらいの間隔で走っていますか。
How (　　　) do the buses run?
B：10分おきです。
(　　　) ten minutes. （名古屋外語大）

□□□ **1346**
A：さあ，駅につきました。すてきな旅行をしてきてください。
Here (　　　) are at the station. I (　　　) you'll have a nice trip.
B：見送りに来てくださってどうもありがとう。
Thank you very much for seeing (　　　)(　　　). （城西大）

······

1343 A. (me)　B. (Turn)　B. (right)　**1344** A. (way, get, to)　B. (stranger)
1345 A. (downtown)　B. (by)　A. (often)　B. (Every)
1346 A. (we, hope)　B. (me [us], off)

Theme 257 道案内・乗り物

1343 A：**Excuse me.**「失礼ですが」
▶ 後ろにbutを入れることも多い。知らない人に話しかけたり，反論したりする場合に用いる。Excuse me. の他の用法は次の通り。
①「ちょっと失礼」── 人の前を通ったり，席をはずしたりするとき。
②「ごめんなさい」── 相手にぶつかるなど失礼なことをしたとき。
③ (Excuse me?)「もう一度言ってくれますか」(= Pardon?)

B：**go down A**（目的地に向かうために）**「Aをずっと行く」**
▶ downは「(道など) に沿って」(= along) の意味で，高低は関係ない。
Turn right [left] at A.「Aを右［左］に曲がってください」

B：**That's right.**「(同意を表して) その通りです」(= **That's for sure.**)
〈比較〉**That's all right.** は「(お礼・お詫びに対して) いいんですよ」という意味になる。(➲ 1319)

1344 A：**Could [Would] you tell me the way to A?**
「Aに行く道を教えていただけませんか」
= Could [Would] you tell me how to get to A?
▶ Could you ～? のほうがWould you ～? より丁寧な表現。

B：**I'm a stranger (around) here.**「この辺は初めてです」(➲ 754)

1345 A：**How can I get to A?**「Aにはどうやって行けばいいですか」
get [go] downtown「繁華街へ行く」
▶ 本問のdowntownは副詞なのでget [go] to downtownとは言わない。
(➲ Power Up! 153)

B：**go by bus**「バスで行く」
▶「by + 交通の手段を表す名詞」のときbyの後は無冠詞の名詞である点に注意。(➲ Theme 161)　*cf.* on a bus「バスで」

A：**How often do the buses [does the bus] run?**
「バスはどれくらいの間隔で走っていますか」(➲ 242)

B：**every ten minutes**「10分おきに」(= **every tenth minute**)
▶ every + 基数 + 複数名詞「～おきに／～ごとに」(➲ 324)

1346 A：**Here we are.**「(目的地に) さあ着きました」
〈比較〉**Here you are.**「はい，どうぞ」は相手に物を差し出すときの表現なので混同しないように。(➲ 1353)

I hope ～「(望ましいことを予想して) ～と思う」
〈比較〉望ましくないことを予想する場合はI'm afraid ～。(➲ Power Up! 89)

B：**see A off**「Aを見送る」(➲ 929)

Theme 258

□ **1347** A：やあ，スーザン。元気？
□ 基本
□ 頻出
Hi, Susan. How are you?
B：あまり元気ではないみたい。
Not so well, I'm afraid.
A：ほんと。どうしたの。
Really? What's the (　　　)?
B：ちょっと風邪をひいているんですよ。
I've (　　　) a slight (　　　). (センター)

□ **1348** A：どうなさいましたか。
□
□
What seems to be the (　　　)?
B：インフルエンザになりかかっているんだと思います。
I think I'm coming down with the flu.
A：おや，そうですか。熱はありますか。
Oh, really? Do you (　　　) a fever?
B：はい，少し。今朝，体温を計ったときは37.5度でした。
Yes, a little. When I (　　　) my temperature this morning it was 37.5 degrees. (慶應大)

□ **1349** A：ひどい頭痛がするのですが。
□ 頻出
□
I (　　　) a bad (　　　).
B：それはお気の毒に。
That's too (　　　). (奈良大)

□ **1350** A：風邪をひいたみたい。だから，残念ながら明日のパーティーには行けないと思う。
□
□
I think I've (　　　) a cold. So, I'm (　　　) I won't be able to come to the party tomorrow.
B：それは残念だ！ じゃまた今度ね。
What a (　　　)! Maybe next time, then. (駒澤大)

1347 A. (matter)　B. (got, cold)
1348 A. (trouble [problem])　A. (have)　B. (took)
1349 A. (have, headache)　B. (bad)
1350 A. (caught, afraid)　B. (shame [pity])

Theme 258 健康・病気

1347 A：**What's the matter (with you)?**「どうしましたか」
= **What's wrong (with you)?**

▶ How are you?「お元気ですか」は単なるあいさつの表現だが，実際に相手の健康状態を心配して尋ねる場合は，**What's the matter (with you)? / What's wrong (with you)? / Are you feeling all right? / How are you feeling?** などの表現を使う。

A：*Are you feeling all right*?（気分は大丈夫？）
B：I'm feeling a little bad.（ちょっと調子が悪いです）
A：*How are you feeling* this morning?（今朝の気分はどうですか）
B：Feeling fine, thanks.（おかげさまでいいですよ）

B：**I have [I've got] a slight cold.**「少し風邪をひいています」

▶ **have a bad cold**「ひどい風邪をひいている」

1348 A：**What seems to be the trouble [problem]?**
「どうなさいましたか」

▶ 医者に診てもらうときに最初にきかれる表現。

B：**come down with ～**「（風邪など一時的な病気）にかかる」
A：**have a fever [temperature]**「（少し）熱がある」
B：**take A's temperature**「Aの熱を計る」

▶ take A's fever とは言わない。

1349 A：**I have a headache.**「頭が痛い」

▶ have を用いる点に注意すること。

I *have* a toothache.（歯が痛い）
I *have* a stomachache.（お腹が痛い）

B：**That's too bad.**「それはお気の毒に / それは残念だ」

1350 A：**catch (a) cold**「風邪をひく」

▶ しばしば無冠詞だが，形容詞を伴う場合はaが必要。
catch *a* bad cold「ひどい風邪をひく」

〈比較〉 **have a cold** は「風邪をひいている」

I'm afraid ～「（残念ながら）～ではないかと思う / 申し訳ないですが～」

B：**What a shame [pity]!**「それは残念だ」

〈語句〉 shame は「残念なこと / 不運なこと」という意味。(➲ 761)

Maybe next time.「じゃあまた今度ね / また次の機会にね」

Theme 259

10

□□□ **1351** **基本** A：コーヒーをもう一杯いかがですか。
Won't you have (　　　) cup of coffee?
B：いいえ，結構です。十分いただきました。
No, (　　　) you. I've had (　　　).　（桜美林大）

□□□ **1352** **頻出** A：サラダをもっといかがですか。
(　　　) you like some more salad?
B：ありがとう。自分で取ります。おいしいです。
Thanks. I'll (　　　) myself. It's delicious.　（立命館大）

□□□ **1353** **頻出** A：すみませんが，塩を取ってください。
Excuse me, would you (　　　) me (　　　) salt?
B：はい，どうぞ。
(　　　) (　　　) are.　（立命館大）

□□□ **1354** A：コーヒーはどのようなのがお好きですか。
How (　　　) (　　　) (　　　) your coffee?
B：私はコーヒーは濃いのが好きです。
I like it (　　　).　（北海学園大）

□□□ **1355** **発展** A：ご注文はお決まりですか。　（成蹊大・青山学院大）
Are you (　　　) to order?
= May I (　　　) your order, please?
B：ええ，コーヒーを一杯お願いします。
Yes, I'd (　　　) a cup of coffee, please.
C：私にも同じものをください。
Same (　　　), please. = Same (　　　) (　　　), please.

□□□ **1356** A：昼食はおいしかったですね。いくらですか。
We had a good lunch. How much is the (b-　　　)?
B：おっと，今日は私がおごります。
Oh, it's (　　　) me today.　（立教大）

1351 A. (another)　B. (thank, enough)　**1352** A. (Would)　B. (help)
1353 A. (pass, the)　B. (Here, you)　**1354** A. (do, you, like)　B. (strong)
1355 A. (ready, take [have])　B. (like)　C. (here, for, me)　**1356** A. (bill)　B. (on)

Theme 259 食事・レストラン

1351 A：Won't you have another cup of coffee?
「コーヒーをもう一杯いかがですか」(➲ 1324)
B：No, thank you [No, thanks].「いいえ，結構です」
I've had enough.「十分いただきました」
▶ enough の後に of coffee が省略されている。
〈プラスα〉 **have had enough of ～** には「～はもううんざりだ」という意味もある。
The teacher *had had enough of* the noisy students only after ten minutes.
（先生は，わずか 10 分で，騒がしい学生たちにうんざりした）（高知大）

1352 A：Would you like ～?「～はいかがですか」
▶ 人にものを勧める場合に用いる。Do you want ～? の丁寧表現。
B：help *oneself* (to) ～「(～を) 自由に取って食べる [飲む]」(➲ 337)

1353 A：Would [Will] you pass (me) the A?「A を取ってください」
B：Here you are.「はい，どうぞ」
▶ 相手に物や金を手渡すときの表現。手渡す相手に重点が置かれる場合は，本問のように **Here you are.** を，物に重点が置かれる場合は **Here it is.** を用いる。

1354 A：How do you like A?
「どのような A をお好みですか / A はどのようにいたしましょうか」
"*How do you like* your steak?" "I like it well-done."（九州保健福祉大）
（「ステーキの焼き加減はどうしましょうか」「ウェルダンでお願いします」）
B：I like my coffee strong.「私はコーヒーは濃いのが好きです」
▶ 薄いコーヒーが好きな場合は weak を用いる。(➲ 768)

1355 A：Are you ready to order?「ご注文はお決まりですか」
= May I take [have] your order, please?
B：I'd like ～ = I would like ～「～をいただきたい (のですが)」
▶ would like のほうが want より丁寧。
C：Same here, please.「私にも同じものをください」
= Same for me, please.

1356 A：How much is the bill?「(勘定は) いくらですか」
▶ bill「勘定(書)」を使った次の表現も押さえておこう。
Bill, please.（お勘定をお願いします）
Let's [We'll] split the *bill*.（割り勘にしましょう）
= Shall we split the *bill*?

B：It's on me.「私がおごります」
▶ 同意表現に **This is my treat. = I'll treat you.** がある。
これらの表現は，It's on me. よりも丁寧。

Theme 260

□ **1357** 基本 頻出
□
□

A：いらっしゃいませ，何にいたしましょうか。
May I (　　　) you?
B：いいえ，結構です。ちょっと見ているだけです。
No, thank you. I'm just (　　　).
A：どうぞごゆっくり。
(　　　) your time, please.　（東京国際大）

□ **1358** 頻出
□
□

A：T シャツを探しているんですが。
I'm (　　　) (　　　) T-shirts.
B：どんな型をお考えですか。
What type do you (　　　) in (　　　)?
A：シンプルな半そでのものを。
Something simple. And short-sleeved.
B：サイズはどれくらいですか。
What size do you wear? = What is your size?
A：はっきりしないのですけど。試着してもよろしいですか？
I'm not sure. May I (　　　) them (　　　)?
B：もちろんです。試着室は右手にございます。
Of course. The (　　　) rooms are on your right.　（高崎経済大）

□ **1359** 基本
□
□

A：いらっしゃいませ，何にいたしましょうか。
Can I help you?
B：このジャケットはいくらですか。
How (　　　) is this jacket? = What is the (　　　) of this jacket?
A：200 ドルです。
It's $200, sir.
B：ちょっと高いですね。もう少し安いのはないですか。
I think it's a little (e-　　　). Do you have a (　　　) one?
A：はい，こちらはいかがですか。150 ドルですが。
Yes. How (　　　) this one? It's $150.
B：いいですね。それをいただきます。
That's good. I'll (　　　) it.　（富山大）

Theme 260 買い物

1357 A：May [Can] I help you?「いらっしゃいませ / 何にいたしましょうか」
▶ may のほうが丁寧。
〈プラスα〉次の表現も店員が客に声をかけるときの決まり文句。
Are you being served [waited on]?
= Have you been served [waited on]?（成城大）
（ご用件はうけたまわっておりますか）

B：I'm just looking.「ちょっと見ているだけです」
A：Take your time, please.「どうぞごゆっくり」（➲ 1082）
▶ I'm just looking. に対して店員は Take your time, please. 以外に，**Please go ahead.**「どうぞご覧ください」などと言う。

1358 A：I'm looking for A.「A を探しています」
B：have A in mind「A を考えている」（➲ 1075）
〈プラスα〉**Do you have anything in mind?**「（買い物などで）何か決めているものがありますか」も押さえておこう。
B：What size do you wear?「サイズはいくつですか」
= What is your size?
A：try on ～「～を試しに着て［はいて / かぶって］みる」（➲ 924）
I'd like to *try* this suit *on*.（このスーツを試着したいのですが）

1359 B：How much is A?「A はいくらですか」
= What [×How much] is the price of A?
▶ 会話では単に How much? と尋ねることが多い。
B：It's a little expensive.「ちょっと高い」
▶「（品物などが）高い / 安い」は expensive / cheap を用いる。（➲ 659）
A：How [What] about A?「A はいかがですか」（➲ 263）
B：I'll take it.「それをいただきます」

1357 A. (help)　B. (looking)　A. (Take)
1358 A. (looking, for)　B. (have, mind)　A. (try, on)　B. (fitting)
1359 B. (much, price)　B. (expensive, cheaper)　A. (about)　B. (take)

□□□ **1360** 頻出
A：今，何時ですか。
Do you (　　) (　　) time?
B：えーと，今，ちょうど 10 時 15 分です。
Let me (　　) .... It's ten fifteen right now. (東京経済大)

□□□ **1361** 頻出
A：ジェーン，あのねえ。昨日，通りでナンシーにばったり出くわしたんだ。
Jane! (　　) what! I bumped into Nancy on the street yesterday.
B：冗談でしょう。彼女はまだアメリカにいるのかと思っていたわ。
No (　　)! I thought she was still away in the U.S. (立命館大)

□□□ **1362**
A：日本のサッカーチームはワールドカップで勝てるでしょうか。
Will the Japanese soccer team win the World Cup?
B：それは状況次第ですね。
That (　　). (神奈川大)

□□□ **1363**
A：もしもし，マイケルです。会合の件で電話しています。
Hello, this is Michael. I'm calling about our meeting.
B：申し訳ないですが出席できないと思います。
I'm afraid I won't be able to make (　　).
A：それは残念ですね。
That's a (s-　　). (明治大)

□□□ **1364** 発展
A：すみませんが，ここでタバコを吸うのをやめていただけませんか。
Excuse me, but would you (　　) not smoking here?
B：何とおっしゃいましたか。
I beg your (　　)?
A：ここでタバコを吸うのをやめてくれないかと言ったんです。
I asked you (　　) you would mind not smoking here.
B：ああ，すみません。
Oh, I'm sorry. (センター)

□□□ **1365** 頻出
A：彼はどうなったのだろう。
What has become (　　) him?
= What has happened (　　) him?
B：君の知ったことではない。
(　　) of your business. = Mind your (　　) (　　). (専修大)

Theme 261 その他の重要会話表現

1360 A：Do you have the time?「今，何時ですか」(= **What time is it?**)
〈比較〉**Do you have time?**「お時間はありますか」と混同しないように。
B：Let me see.「えーと / そうですね」
▶ 即座に返答できないときの決まり文句。
right now「ちょうど今 / 現在」
〈プラスα〉**right now** には「すぐに / 直ちに」の意味もある。(➲ 1184)
I'll send it to you by fax *right now.*
(すぐにそれをファックスで送ります)

1361 A：Guess what!「あのねえ」
▶ 意外な話の切り出しに用いる。
B：No kidding!「冗談でしょう」
〈プラスα〉**You're kidding! / You must be kidding!** とも言う。

1362 B：That depends.「状況次第だ / それは時と場合による」
▶ depends の後に on (the) circumstances [the case] などが省略された決まり文句と考えられる (➲ 973)。**It (all) depends. / Depends.** ともいう。

1363 B：I'm afraid ～.「残念ながら［申し訳ないですが］～だと思う」
make it「～に出席する / 都合をつける」(➲ 1119)
A：That's a shame.「それは残念だ」
〈語句〉shame は「残念［遺憾］なこと」という意味。(➲ 761・1350)

1364 A：Would you mind not *doing*?
「～するのをやめていただけますか」(➲ 1333)
B：I beg your pardon?「もう一度おっしゃってください」
▶ 相手の言ったことが聞き取れなかったときの言い方。くだけた表現では Beg your pardon? / Pardon (me)? などと言うこともある。
A：ask A if A would [could] *do*「A に～してくれないかと言う」
= **say to A, "Will [Would / Can / Could] you *do*?"**

1365 A：What has become of A?「A はどうなったのか」(➲ 260)
= **What has happened to A?**
B：(It's) None of your business.「君の知ったことではない」
= **Mind your own business.**

1360 A. (have, the) B. (see)　1361 A. (Guess) B. (kidding)　1362 B. (depends)
1363 B. (it) A. (shame)　1364 A. (mind) B. (pardon) A. (if)
1365 A. (of, to) B. (None, own, business)

Part 6

発音・アクセント

第30章 発音問題 ポイント23 434
第31章 アクセントのルールと重要語 456

第30章 発音問題 ポイント23

Point 1

◎13

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ 1 ① ancient ② patient ③ waste ④ ancestor （東京薬科大）

□□ 2 ① chaos ② brake ③ create ④ father （東京薬科大）

□□ 3 ① capable ② capacity ③ accident ④ national （関西外語大）

□□ 4 ① famine ② mania ③ stadium ④ label （上智大）

□□ 5 ① damage ② analysis ③ catcher ④ ahead （駒澤大）

Point 2

◎14

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ 6 ① knight ② library ③ sight ④ signature （日本大）

□□ 7 ① intimate ② marine ③ timid ④ ambitious （拓殖大）

□□ 8 ① climate ② concise ③ anxiety ④ fatigue （福岡大）

□□ 9 ① tidy ② hydrogen ③ typical ④ advice （福岡大）

□□ 10 ① family ② reply ③ ugly ④ weekly （センター）

---

1 (④)[æ] 他は [eɪ]　2 (④)[ɑː] 他は [eɪ]　3 (①)[eɪ] 他は [æ]
4 (①)[æ] 他は [eɪ]　5 (④)[ə] 他は [æ]　6 (④)[ɪ] 他は [aɪ]
7 (②)[iː] 他は [ɪ]　8 (④)[iː] 他は [aɪ]　9 (③)[ɪ] 他は [aɪ]
10 (②)[aɪ] 他は [i]

Point 1 a の発音は [eɪ] と [æ] の区別が特に重要

❶ アクセントのない **a** は [ə] か [ɪ]。
❷ アクセントが置かれる **a** は [eɪ] [æ] [ɑː] [ɑ / ɔ] など。

1	① ancient	[éɪnʃənt]	形	古代の	② patient	[péɪʃənt]	名	患者
	③ waste	[weɪst]	名	むだ	④ ancestor	[ǽnsèstər]	名	先祖
2	① chaos	[kéɪɑ̀(ː)s]	名	無秩序	② brake	[breɪk]	名	ブレーキ
	③ create	[kri(ː)éɪt]	動	創造する	④ father	[fɑ́ːðər]	名	父
3	① capable	[kéɪpəbl]	形	有能な	② capacity	[kəpǽsəti]	名	能力
	③ accident	[ǽksɪdənt]	名	事故	④ national	[nǽʃənəl]	形	国家の
4	① famine	[fǽmɪn]	名	飢饉	② mania	[méɪniə]	名	熱狂
	③ stadium	[stéɪdiəm]	名	スタジアム	④ label	[léɪbəl]	名	ラベル
5	① damage	[dǽmɪdʒ]	名	損害	② analysis	[ənǽləsɪs]	名	分析
	③ catcher	[kǽtʃər]	名	捕手	④ ahead	[əhéd]	副	前方に

Point 2 i / y の発音は [aɪ] [ɪ] [i(ː)] の3通り。[aɪ] [ɪ] の出題が多い

6	① knight	[naɪt]	名	騎士	② library	[láɪbrèri]	名	図書館
	③ sight	[saɪt]	名	見ること	④ signature	[sígnətʃər]	名	署名
7	① intimate	[íntəmət]	形	親しい	② marine	[məríːn]	形	海の
	③ timid	[tímɪd]	形	臆病な	④ ambitious	[æmbíʃəs]	形	野心的な
8	① climate	[kláɪmət]	名	気候	② concise	[kənsáɪs]	形	簡潔な
	③ anxiety	[æŋzáɪəti]	名	心配	④ fatigue	[fətíːg]	名	疲労
9	① tidy	[táɪdi]	形	きちんとした	② hydrogen	[háɪdrədʒən]	名	水素
	③ typical	[típɪkəl]	名	典型的な	④ advice	[ədváɪs]	名	忠告
10	① family	[fǽməli]	名	家族	② reply	[rɪpláɪ]	動	答える
	③ ugly	[ʌ́gli]	形	醜い	④ weekly	[wíːkli]	形	毎週の

Point 3

◎15

最初の語の下線部と同じ発音を持つものを1つ選びなさい。

□□ 11 immediate ① bell ② equal ③ golden ④ pretty （聖心女子大）

□□ 12 female ① convenient ② cherish ③ essential ④ feminist （佛教大）

□□ 13 prejudice ① prescribe ② preserve ③ prepare ④ pressure （中央大）

□□ 14 smell ① channel ② kennel ③ personnel ④ tunnel （駿河台大）

Point 4

◎16

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ 15 ① home ② come ③ pose ④ rose （駒澤大）

□□ 16 ① grove ② glove ③ oven ④ comfortable （東京薬科大）

□□ 17 ① globe ② toll ③ cloth ④ focus （福岡大）

□□ 18 ① wonder ② stomach ③ above ④ lose （立命館大）

□□ 19 ① comb ② ghost ③ lost ④ cold （清泉女子大）

11 (②)　12 (①)　13 (④)　14 (③)　15 (②)[ʌ] 他は [oʊ]
16 (①)[oʊ] 他は [ʌ]　17 (③)[ɔ(:)] 他は [oʊ]
18 (④)[u:] 他は [ʌ]　19 (③)[ɔ(:)] 他は [oʊ]

Point 3 e は [íː] [e] [ɪ] の３通り

ただし，e が発音されない場合もあるので要注意。

11 immediate [ɪmí:diət] 形 即座の，直接の

①	bell	[bel]	名 ベル	②	equal	[í:kwəl]	形 等しい
③	golden	[góʊldən]	形 金色の	④	pretty	[príti]	形 きれいな

12 female [fí:meɪl] 形 女性の / 名 女性

①	convenient	[kənví:niənt]	形 便利な	②	cherish	[tʃérɪʃ]	動 大事にする
③	essential	[ɪsénʃəl]	形 不可欠の	④	feminist	[fémənɪst]	名 フェミニスト

13 prejudice [prédʒʊdəs] 名 偏見

①	prescribe	[prɪskráɪb]	動 規定する	②	preserve	[prɪzə́:rv]	動 保つ
③	prepare	[prɪpéər]	動 準備する	④	pressure	[préʃər]	名 圧力

14 smell [smel] 名 におい

①	channel	[tʃǽnəl]	名 海峡	②	kennel	[kénəl]	名 犬小屋
③	personnel	[pə̀:rsənél]	名 全職員	④	tunnel	[tʌ́nəl]	名 トンネル

Point 4 o では日本語の「ア」に近い音の [ʌ] が重要

o は [ʌ] [oʊ] [ɑ / ɔ] [ɔː] [uː] [ʊ] など発音の変化が多いので要注意。
一般的な発音の [ʌ] [oʊ] 2つと例外的な [uː] を押さえる。

15	① home	[hoʊm]	名 家庭	② come	[kʌm]	動 来る
	③ pose	[poʊz]	名 姿勢	④ rose	[roʊz]	名 バラ
16	① grove	[groʊv]	名 小さな林	② glove	[glʌv]	名 手袋
	③ oven	[ʌ́vən]	名 オーブン	④ comfortable	[kʌ́mfərtəbl]	形 快適な
17	① globe	[gloʊb]	名 球 / 球体	② toll	[toʊl]	名 通行料
	③ cloth	[klɔ(:)θ]	名 布地	④ focus	[fóʊkəs]	名 焦点
18	① wonder*	[wʌ́ndər]	動 不思議に思う	② stomach	[stʌ́mək]	名 胃
	③ above	[əbʌ́v]	前 ～の上に	④ lose	[lu:z]	動 失う
19	① comb	[koʊm]	名 くし	② ghost	[goʊst]	名 幽霊
	③ lost	[lɔ(:)st]	形 失った	④ cold	[koʊld]	形 寒い

▶ wonder [wʌ́ndər] と wander [wɑ́(:)ndər]「さまよう」を区別しよう。

Point 5 ◎17

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ **20** ① punish ② humble ③ multiply ④ fluent （拓殖大）

□□ **21** ① duty ② nuclear ③ future ④ result （久留米大）

□□ **22** ① bush ② button ③ luck ④ ugly （東北学院大）

Point 6 ◎18

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ **23** ① freight ② height ③ neighbor ④ weight （日本大）

□□ **24** ① seize ② reign ③ ceiling ④ receipt （千葉工大）

Point 7 ◎19

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ **25** ① towel ② bowl ③ plow ④ frown （ノートルダム清心女子大）

□□ **26** ① blow ② drown ③ cow ④ brow （日本大）

---

20 (④)[uː] 他は [ʌ]　**21** (④)[ʌ] 他は [juː]　**22** (①)[ʊ] 他は [ʌ]
23 (②)[aɪ] 他は [eɪ]　**24** (②)[eɪ] 他は [iː]　**25** (②)[oʊ] 他は [aʊ]
26 (①)[oʊ] 他は [aʊ]

Point 5 uは[juː][uː]か[ʌ]が原則だが，例外も多いので注意

[l / r] の後では [juː] ではなく [uː]。flute は「フリュート」ではなく「フルート」。
＊ 例外 [ʊ] [e] [i]：
push [pʊʃ]「押す」，bury [béri]「埋める」，busy [bízi]「多忙な」

20	① punish	[pʌ́nɪʃ]	動	罰する	② humble	[hʌ́mbl]	形	謙遜した
	③ multiply	[mʌ́ltɪplàɪ]	動	掛ける	④ fluent	[flúːənt]	形	流暢な
21	① duty	[djúːti]	名	義務	② nuclear	[njúːkliər]	形	核の
	③ future	[fjúːtʃər]	名	将来	④ result	[rɪzʌ́lt]	名	結果
22	① bush	[bʊʃ]	名	灌木（かんぼく）	② button	[bʌ́tən]	名	ボタン
	③ luck	[lʌk]	名	幸運	④ ugly	[ʌ́gli]	形	醜い

Point 6 eiは[eɪ][iː]の2通り。例外はheight [haɪt]

23	① freight	[freɪt]	名	貨物輸送	② height	[haɪt]	名	高さ
	③ neighbor	[néɪbər]	名	隣人	④ weight	[weɪt]	名	重さ
24	① seize	[siːz]	動	つかむ	② reign	[reɪn]	名	統治
	③ ceiling	[síːlɪŋ]	名	天井	④ receipt	[rɪsíːt]	名	領収書

Point 7 owは[aʊ][oʊ]の2通り。[aʊ]の出題が多い

25	① towel	[táʊəl]	名	タオル	② bowl	[boʊl]	名	ボウル
	③ plow	[plaʊ]	名	鋤（すき）	④ frown	[fraʊn]	動	まゆをひそめる
26	① blow	[bloʊ]	動	吹く	② drown	[draʊn]	動	溺れ死ぬ
	③ cow	[kaʊ]	名	雌牛	④ brow	[braʊ]	名	まゆ毛

Point 8 20

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□ 27 ① pool ② moon ③ bloom ④ wooden （東京薬科大）
□

□ 28 ① blood ② cook ③ foot ④ good （亜細亜大）
□

□ 29 ① hook ② shoot ③ brook ④ stood （センター）
□

□ 30 ① mood ② flood ③ food ④ tool （日本大）
□

Point 9 21

最初の語の下線部と同じ発音を持つものを1つ選びなさい。

□ 31 ounce ① foul ② nourish ③ poultry ④ youth （名城大）
□

□ 32 country ① although ② doubt ③ southern ④ thought （センター）
□

□ 33 soul ① cousin ② shoulder ③ count ④ sound （同志社女子大）
□

□ 34 doubtful ① couple ② fought ③ group ④ pound （聖心女子大）
□

27 (④)[ʊ] 他は [uː]　28 (①)[ʌ] 他は [ʊ]　29 (②)[uː] 他は [ʊ]
30 (②)[ʌ] 他は [uː]　31 (①)　32 (③)　33 (②)　34 (④)

Point 8 oo は [uː] [ʊ] [ʌ] の 3 通り

[uː] が最もふつうで，[ʊ] は少数，[ʌ] は blood と flood の 2 語のみ。

27	① pool	[puːl]	名	水たまり	② moon	[muːn]	名	月
	③ bloom	[bluːm]	名	花	④ wooden	[wʊ́dən]	形	木製の
28	① blood	[blʌd]	名	血	② cook	[kʊk]	名	コック
	③ foot	[fʊt]	名	足	④ good	[gʊd]	形	よい
29	① hook	[hʊk]	名	留め金 / ホック				
	② shoot	[ʃuːt]	動	射撃する				
	③ brook	[brʊk]	名	小川				
	④ stood	[stʊd]	動	stand の過去（分詞）				
30	① mood	[muːd]	名	気分	② flood	[flʌd]	名	洪水
	③ food	[fuːd]	名	食物	④ tool	[tuːl]	名	道具

Point 9 ou は [aʊ] [ʌ] [oʊ] [uː] など。
特に [aʊ] [ʌ] が重要

31	ounce	[aʊns]	名	オンス				
	① foul	[faʊl]	形	不潔な	② nourish	[nə́ːrɪʃ]	動	養う
	③ poultry	[póʊltri]	名	家禽	④ youth	[juːθ]	名	若さ
32	country	[kʌ́ntri]	名	国				
	① although	[ɔːlðóʊ]	接	けれども	② doubt	[daʊt]	動	疑う
	③ southern	[sʌ́ðərn]	形	南の	④ thought	[θɔːt]	名	思考
33	soul	[soʊl]	名	魂				
	① cousin	[kʌ́zən]	名	いとこ	② shoulder	[ʃóʊldər]	名	肩
	③ count	[kaʊnt]	動	数える	④ sound	[saʊnd]	名	音
34	doubtful	[dáʊtfəl]	形	疑わしい				
	① couple	[kʌ́pl]	名	1 対 / 夫婦	② fought	[fɔːt]	動	fight の過去（分詞）
	③ group	[gruːp]	名	集団	④ pound	[paʊnd]	名	ポンド

Point 10

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ 35 ① spread ② threaten ③ bread ④ break （福岡大）

□□ 36 ① breathe ② creature ③ feather ④ treatment （センター）

□□ 37 ① steal ② steel ③ thread ④ peach （東京薬科大）

□□ 38 ① measure ② repeat ③ feature ④ season （駒澤大）

□□ 39 ① breath ② death ③ steak ④ sweat （東北学院大）

Point 11

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ 40 ① pearl ② heard ③ heart ④ search （明星大）

□□ 41 ① dare ② dear ③ rare ④ pair （駒澤大）

□□ 42 ① fair ② heir ③ pear ④ steer （学習院大）

□□ 43 ① affair ② stair ③ share ④ beard （玉川大）

---

35 （ ④ ）[eɪ] 他は [e]　36 （ ③ ）[e] 他は [iː]　37 （ ③ ）[e] 他は [iː]
38 （ ① ）[e] 他は [iː]　39 （ ③ ）[eɪ] 他は [e]　40 （ ③ ）[ɑːr] 他は [əːr]
41 （ ② ）[ɪər] 他は [eər]　42 （ ④ ）[ɪər] 他は [eər]　43 （ ④ ）[ɪər] 他は [eər]

Point 10 ea は [e] [iː] [eɪ] の 3 通り

(1) [eɪ] は great [greɪt], break [breɪk], steak [steɪk] の 3 語だけ覚えればよい。
(2) 入試で問われるのは [e] と [iː] に関するものがほとんど。

35	① spread	[spred]	動 広げる	② threaten	[θrétən]	動 脅迫する
	③ bread	[bred]	名 パン	④ break	[breɪk]	動 壊す
36	① breathe	[briːð]	動 呼吸する	② creature*	[kríːtʃər]	名 生き物
	③ feather	[féðər]	名 羽毛	④ treatment	[tríːtmənt]	名 待遇
37	① steal	[stiːl]	動 盗む	② steel	[stiːl]	名 鉄鋼
	③ thread	[θred]	名 糸	④ peach	[piːtʃ]	名 桃
38	① measure	[méʒər]	動 測る	② repeat	[rɪpíːt]	動 繰り返す
	③ feature	[fíːtʃər]	名 特徴	④ season	[síːzən]	名 季節
39	① breath	[breθ]	名 息 / 呼吸	② death	[deθ]	名 死
	③ steak	[steɪk]	名 ステーキ	④ sweat	[swet]	名 汗

▶ create [kri(ː)éɪt]「創造する」― creature [kríːtʃər]「生き物」の発音の変化に注意。

Point 11 ear は [əːr] [ɪər] [eər] の 3 通り

(1)「アー」と聞こえる ear は [əːr] が原則。[ɑːr] の発音は例外的。
heart [hɑːrt]「心」, hearth [hɑːrθ]「炉端」の 2 語だけ覚えよう。
(2) ear の 2 重母音 [ɪər] と [eər] はしっかり区別する。
tear [tɪər] 名「涙」― tear [teər] 動「裂く」
(3) air / eir / are は [eər], eer は [ɪər] と発音する。

40	① pearl	[pəːrl]	名 真珠	② heard	[həːrd]	動 hear の過去(分詞)
	③ heart	[hɑːrt]	名 心	④ search	[səːrtʃ]	動 探す
41	① dare	[deər]	動 あえて〜する	② dear	[dɪər]	形 親愛なる
	③ rare	[reər]	形 まれな	④ pair	[peər]	名 1 対
42	① fair	[feər]	形 公平な	② heir	[eər]	名 相続人
	③ pear	[peər]	名 西洋梨	④ steer	[stɪər]	動 操縦する
43	① affair	[əféər]	名 事柄	② stair	[steər]	名 階段
	③ share	[ʃeər]	名 分け前	④ beard	[bɪərd]	名 あごひげ

Point 12

◎24

最初の語の下線部と同じ発音を持つものを1つ選びなさい。

□□ 44 houses ① increase ② course ③ lose ④ loose （千葉工大）

□□ 45 passion ① assure ② blossom ③ confess ④ scissors （センター）

□□ 46 dessert ① assume ② message ③ permission ④ possess （センター）

Point 13

◎25

最初の語の下線部と同じ発音を持つものを1つ選びなさい。

□□ 47 scare ① scold ② scene ③ science ④ scythe （南山大）

□□ 48 scent ① science ② escape ③ scatter ④ sculpture （福岡大）

Point 14

◎26

最初の語の下線部と同じ発音を持つものを1つ選びなさい。

□□ 49 character ① chew ② chest ③ cheerful ④ chemistry （南山大）

□□ 50 architect ① charity ② march ③ bachelor ④ anchor （東海大）

44 (③) 45 (①) 46 (④) 47 (①) 48 (①) 49 (④) 50 (④)

Point 12 s / ss の発音

(1) **s** / **ss** には [s], [z], [ʃ], [ʒ] の4通りの発音がある。
(2) **ss** は [s] が原則だが，例外の [z] [ʃ] に注意。

44 houses [háʊzɪz] 名 家
① increase [ɪnkríːs] 動 増える ② course [kɔːrs] 名 進路 / 経過
③ lose [luːz] 動 失う ④ loose [luːs] 形 ゆるい

45 passion [pǽʃən] 名 熱情
① assure [əʃúər] 動 保証する ② blossom [blɑ́(ː)səm] 名 花
③ confess [kənfés] 動 告白する ④ scissors [sízərz] 名 はさみ

46 dessert [dɪzə́ːrt] 名 デザート
① assume [əsjúːm] 動 想定する ② message [mésɪdʒ] 名 伝言
③ permission [pərmíʃən] 名 許可 ④ possess [pəzés] 動 所有する

Point 13 sc は [s] [sk] の2通り

sc は e / i / y の前では [s]，それ以外の前では [sk]。

47 scare [skeər] 動 おびえさせる
① scold [skoʊld] 動 しかる ② scene [siːn] 名 場面
③ science [sáɪəns] 名 科学 ④ scythe [saɪð] 名 草刈がま

48 scent [sent] 名 かおり
① science [sáɪəns] 名 科学 ② escape [ɪskéɪp] 動 逃れる
③ scatter [skǽtər] 動 散らす ④ sculpture [skʌ́lptʃər] 名 彫刻

Point 14 ch は [tʃ] [k] [ʃ] の3通り。特に [k] が頻出

49 character [kǽrəktər] 名 性質
① chew [tʃuː] 動 よくかむ ② chest [tʃest] 名 胸
③ cheerful [tʃíərfəl] 形 快活な ④ chemistry [kémɪstri] 名 化学

50 architect [ɑ́ːrkɪtèkt] 名 建築家
① charity [tʃǽrəti] 名 慈善 ② march [mɑːrtʃ] 名 行進
③ bachelor [bǽtʃələr] 名 独身男性 ④ anchor [ǽŋkər] 名 錨（いかり）

Point 15

27

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□ 51 ① depth ② weather ③ feather ④ though （東京薬科大）
□ 52 ① smooth ② tooth ③ worth ④ youth （学習院大）
□ 53 ① bathe ② both ③ thirsty ④ thousand （センター）
□ 54 ① thread ② northern ③ theory ④ breadth （流通経済大）

Point 16

28

最初の語の下線部と同じ発音を持つものを1つ選びなさい。

□ 55 ought ① drought ② rough ③ sought ④ thorough （京都女子大）
□ 56 enough ① though ② plough ③ through ④ tough （千葉工大）

Power Up! 207 つづり字 th の発音

つづり字 th では，品詞によって発音が異なるものが特に要注意。

□	**worth**	[wəːrθ]	価値（➲ 52-3）
□	**worthy**	[wə́ːrði]	価値のある
□	**bathe**	[beɪð]	入浴する（➲ 53-1）
□	**bath**	[bæθ]	入浴
□	**cloth**	[klɔ(ː)θ]	布地（➲ 17-3）
□	**clothe**	[klouð]	着せる
□	**clothes**	[klouz / klouðz]	衣服
□	**breathe**	[briːð]	呼吸する（➲ 36-1）
□	**breath**	[breθ]	呼吸（➲ 39-1）
□	**south**	[saʊθ]	南
□	**southern**	[sʌ́ðərn]	南の（➲ 32-3）
□	**north**	[nɔːrθ]	北
□	**northern**	[nɔ́ːrðərn]	北の（➲ 54-2）

51（①）[θ] 他は [ð]　52（①）[ð] 他は [θ]　53（①）[ð] 他は [θ]
54（②）[ð] 他は [θ]　55（③）　56（④）

Point 15 th は [θ] [ð] の 2 通り

51 ① depth [depθ] 名 深さ　② weather [wéðər] 名 天気
③ feather [féðər] 名 羽毛　④ though [ðou] 接 ～だけれど

52 ① smooth [smuːð] 形 滑らかな　② tooth [tuːθ] 名 歯
③ worth [wəːrθ] 名 価値　④ youth [juːθ] 名 青年(時代)

53 ① bathe [beɪð] 動 入浴する
② both [bouθ] 代 両方
③ thirsty [θə́ːrsti] 形 のどが渇いた
④ thousand [θáʊzənd] 名 千

54 ① thread [θred] 名 糸　② northern [nɔ́ːrðərn] 形 北の
③ theory [θíːəri] 名 理論　④ breadth [bredθ] 名 幅

Point 16 ough は [ɔː] が原則

他の発音を持つ語は少数なので，例外として覚えること。
[ʌf]：tough / rough / enough の 3 語のみ。
[aʊ]：bough [baʊ]「大枝」/ plough / drought の 3 語のみ。
[oʊ]：dough [doʊ]「パン生地」/ though / although / thorough の 4 語のみ。
[ɔ(ː)f]：cough，[uː]：through は 1 語のみ覚える。

55 ought [ɔːt] 助 (to ～) ～すべきである
① drought [draʊt] 名 干ばつ
② rough [rʌf] 形 あらい
③ sought [sɔːt] 動 seek の過去（分詞）
④ thorough [θə́ːroʊ] 形 完全な

56 enough [ɪnʌ́f] 形 十分な
① though [ðoʊ] 接 ～だけれど　② plough [plaʊ] 名 鋤（すき）
③ through [θruː] 前 ～を通って　④ tough [tʌf] 形 堅い

▶ through [θruː] と thorough [θə́ːroʊ] を区別しよう。

▶過去・過去分詞形の ough / augh は [ɔː]。

bought [bɔːt]（⬅ buy）　thought [θɔːt]（⬅ think）
caught [kɔːt]（⬅ catch）　taught [tɔːt]（⬅ teach）

Point 17

29

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ **57** ① illegal ② logical ③ tiger ④ vague （センター）

□□ **58** ① gentle ② gym ③ gear ④ giant （東京経済大）

□□ **59** ① eager ② genetic ③ genuine ④ geography （京都産業大）

□□ **60** ① eagle ② emerging ③ largest ④ magical （京都産業大）

Point 18

30

61～**63**は，下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。**64**は，文の下線部の発音と同じものを1つ選びなさい。

□□ **61** ① executive ② exhibit ③ exhausted ④ experiment （札幌学院大）

□□ **62** ① anxious ② mixture ③ oxygen ④ maximum （東京経済大）

□□ **63** ① exact ② exist ③ exhaust ④ expand （広島経済大）

□□ **64** She was an excellent example of the effectiveness of our language training program.
① excuse ② exercise ③ existence ④ relaxing （日本女子大）

Point 19

31

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□□ **65** ① acid ② circuit ③ concrete ④ focus （京都産業大）

□□ **66** ① decade ② civil ③ victim ④ continent （九州国際大）

□□ **67** ① cinema ② decision ③ recommend ④ recent （東北学院大）

……

57 (②)[dʒ] 他は [g] **58** (③)[g] 他は [dʒ] **59** (①)[g] 他は [dʒ] **60** (①)[g] 他は [dʒ]
61 (④)[ks] 他は [gz] **62** (①)[kʃ] 他は [ks] **63** (④)[ks] 他は [gz]
64 (③) 彼女は，我々の語学研修プログラムの有効性を示す好例である。
65 (①)[s] 他は [k] **66** (②)[s] 他は [k] **67** (③)[k] 他は [s]

Point 17 g は原則として [g]。ただし，e, i, y の前では [dʒ] と発音することが多い

57	① illegal	[ɪlíːgəl]	形	不法の	② logical	[lá(ː)dʒɪkəl]	形	論理的な
	③ tiger	[táɪgər]	名	トラ	④ vague	[veɪg]	形	あいまいな
58	① gentle	[dʒéntl]	形	優しい	② gym	[dʒɪm]	名	体育館
	③ gear	[gɪər]	名	ギア	④ giant	[dʒáɪənt]	名	巨人
59	① eager	[íːgər]	形	熱望して	② genetic	[dʒənétɪk]	形	遺伝の
	③ genuine	[dʒénjuɪn]	形	本物の	④ geography	[dʒiá(ː)grəfi]	名	地理学
60	① eagle	[íːgl]	名	ワシ	② emerging	[ɪmə́ːrdʒɪŋ]	形	新興の
	③ largest	[láːrdʒɪst]	形	最も大きい	④ magical	[mǽdʒɪkəl]	形	魅惑的な

Point 18 x は [ks] [gz] の2通り。ただし，i, u の前では [kʃ] となることもある

61	① executive	[ɪgzékjʊtɪv]	名	重役	② exhibit	[ɪgzíbət]	動	展示する
	③ exhausted	[ɪgzɔ́ːstɪd]	形	疲れ切った	④ experiment	[ɪkspérɪmənt]	名	実験
62	① anxious	[ǽŋkʃəs]	形	心配して	② mixture	[míkstʃər]	名	混合物
	③ oxygen	[á(ː)ksɪdʒən]	名	酸素	④ maximum	[mǽksɪməm]	名	最大限
63	① exact	[ɪgzǽkt]	形	正確な	② exist	[ɪgzíst]	動	存在する
	③ exhaust	[ɪgzɔ́ːst]	動	疲れさせる	④ expand	[ɪkspǽnd]	動	広がる
64	example	[ɪgzǽmpl]	名	実例 / 模範				
	① excuse	[ɪkskjúːs]	名	言い訳	② exercise	[éksərsàɪz]	名	運動
	③ existence	[ɪgzístəns]	名	存在	④ relaxing	[rɪlǽksɪŋ]	形	ほっとさせる

Point 19 c の発音は原則として [k]。ただし，e, i, y の前では [s] と発音する

65	① acid	[ǽsɪd]	名	酸	② circuit	[sə́ːrkət]	名	円周
	③ concrete	[kɑ(ː)nkríːt]	形	具体的な	④ focus	[fóʊkəs]	名	焦点
66	① decade	[dékeɪd]	名	10年間	② civil	[sívəl]	形	市民の
	③ victim	[víktɪm]	名	犠牲(者)	④ continent	[ká(ː)ntənənt]	名	大陸
67	① cinema	[sínəmə]	名	映画(館)	② decision	[dɪsíʒən]	名	決定
	③ recommend	[rèkəménd]	動	推薦する	④ recent	[ríːsənt]	形	最近の

Point 20

◎32

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□ □ 68 ① talked ② winked ③ folded ④ priced （聖心女子大）

□ □ 69 ① wanted ② naked ③ stopped ④ wicked （東京薬科大）

Point 21

◎33

下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□ □ 70 ① casting ② disaster ③ fasten ④ taste （京都産業大）

□ □ 71 ① castle ② subtle ③ title ④ turtle （センター）

Point 22

◎34

72は，最初の語の下線部と同じ発音を持つものを1つ選びなさい。73, 74は，下線部の発音が他と異なるものを1つ選びなさい。

□ □ 72 cab ① absorb ② climb ③ doubt ④ debt （神戸学院大）

□ □ 73 ① bomb ② chamber ③ tomb ④ thumb （札幌学院大）

□ □ 74 ① comb ② lamb ③ job ④ subtle （梅花女子大）

Power Up! 208 黙字 ―― t, b 以外の発音しない文字

c	□ muscle	[mʌ́sl]	名	筋肉				
d	□ handsome	[hǽnsəm]	形	ハンサムな				
g	□ campaign	[kæmpéɪn]	名	運動	□ foreign	[fɔ́(:)rən]	形	外国の
h	□ heir	[eər]	名	相続人	□ honest	[ɑ́(:)nəst]	形	正直な
	□ honor	[ɑ́(:)nər]	名	名誉	□ exhibit	[ɪgzíbət]	動	展示する
k	□ knife	[naɪf]	名	ナイフ	□ knee	[niː]	名	ひざ
l	□ calm	[kɑːm]	形	穏やかな	□ salmon	[sǽmən]	名	サケ
n	□ autumn	[ɔ́ːtəm]	名	秋	□ condemn	[kəndém]	動	非難する
p	□ cupboard	[kʌ́bərd]	名	戸棚	□ psychology	[saɪkɑ́(:)lədʒi]	名	心理学
s	□ island	[áɪlənd]	名	島	□ aisle	[aɪl]	名	通路
w	□ answer	[ǽnsər]	名	答え	□ sword	[sɔːrd]	名	刀／剣

Point 20 過去・過去分詞 -ed の発音は [t] [d] [ɪd] の 3 通り

❶ t 以外の無声音の後 ―― [t] ❷ d 以外の有声音の後 ―― [d]
❸ t と d の後 ―― [ɪd]

68	① talked	[tɔːkt]	(← talk)	② winked	[wɪŋkt]	(← wink)
	③ folded	[fóuldɪd]	(← fold)	④ priced	[praɪst]	(← price)
69	① wanted	[wɑ́(:)ntɪd]	(← want)	② naked	[néɪkɪd]	形 裸の
	③ stopped	[stɑ(:)pt]	(← stop)	④ wicked	[wíkɪd]	形 邪悪な

▶ -ed で終わる形容詞は例外で [ɪd] になる。➡ ②, ④

Point 21 t は原則として [t]。ただし，t が発音されない場合 (黙字) に注意

70	① casting	[kǽstɪŋ]	名 配役	② disaster	[dɪzǽstər]	名 大災害
	③ fasten	[fǽsən]	動 固定する	④ taste	[teɪst]	動 味わう
71	① castle	[kǽsl]	名 城	② subtle	[sʌ́tl]	形 微妙な
	③ title	[táɪtl]	名 題名	④ turtle	[tə́ːrtl]	名 カメ

Point 22 b は原則として [b]。ただし，b が発音されない場合 (黙字) に注意

72 cab [kæb] 名 タクシー

	① absorb	[əbzɔ́ːrb]	動 吸収する	② climb	[klaɪm]	動 登る
	③ doubt	[daʊt]	名 疑い	④ debt	[det]	名 負債
73	① bomb	[bɑ(:)m]	名 爆弾	② chamber	[tʃéɪmbər]	名 部屋
	③ tomb	[tuːm]	名 墓	④ thumb	[θʌm]	名 親指
74	① comb	[koʊm]	名 くし	② lamb	[læm]	名 子羊
	③ job	[dʒɑ(:)b]	名 仕事	④ subtle	[sʌ́tl]	形 微妙な

68 (③) [ɪd] 他は [t] 69 (③) [t] 他は [ɪd]
70 (③) 71 (①) 72 (①) 73 (②) 74 (③)

Point 23

次の各組で発音が異なるものを①～⑤から1つずつ選びなさい。

	①	②	③	④	⑤
□ 75	fowl foul	reign rain	sight site	mail male	lay lie
□ 76	air heir	scene seen	knight night	fur far	sole soul
□ 77	pass path	fair fare	heard herd	pain pane	waist waste
□ 78	plane plain	die dye	pie pea	tail tale	piece peace

（以上　亜細亜大）

Power Up! 209 その他の重要同音異義語

□ [beər]	**bear** **bare**	名 形	クマ 裸の	□ [béri]	**berry** **bury**	名 動	果実 埋める
□ [breɪk]	**break** **brake**	動 名	壊す ブレーキ	□ [dɪər]	**dear** **deer**	形 名	親愛な シカ
□ [dɪzə́ːrt]	**desert** **dessert**	動 名	見捨てる デザート	□ [hiːl]	**heal** **heel**	動 名	癒す かかと
□ [houl]	**hole** **whole**	名 形	穴 全体の	□ [leɪn]	**lain** **lane**	動 名	lie の過去分詞 小道
□ [roul]	**roll** **role**	動 名	転がる 役割	□ [steər]	**stair** **stare**	名 動	階段 じっと見つめる
□ [swiːt]	**suite** **sweet**	名 形	スイート(ルーム) 甘い	□ [wiːk]	**weak** **week**	形 名	弱い 週
□ [weɪt]	**weight** **wait**	名 動	重さ 待つ	□ [wʌn]	**one** **won**	名 動	1つ win の過去(分詞)

75（⑤）lay [leɪ] 動「横たえる」　lie [laɪ] 動「横たわる」
76（④）fur [fəːr] 名「毛皮」　far [fɑːr] 形「遠い」
77（①）pass [pæs] 動「通る」　path [pæθ] 名「小道」
78（③）pie [paɪ] 名「パイ」　pea [piː] 名「エンドウ（豆）」

Point 23 同音異義語

同音異義語とは，発音はまったく同じだが，つづり字と意味が異なるものをいう。

75	① [faul]	fowl foul	名 形	鳥類 不潔な	② [reɪn]	reign rain	名 名	統治 雨
	③ [saɪt]	sight site	名 名	視界 / 視力 場所	④ [meɪl]	mail male	名 形	郵便 男の
76	① [eər]	air heir	名 名	空気 相続人	② [siːn]	scene seen	名 動	場面 see の過去分詞
	③ [naɪt]	knight night	名 名	騎士 夜	⑤ [soul]	sole soul	形 名	唯一の 魂
77	② [feər]	fair fare	形 名	公平な 運賃	③ [həːrd]	heard herd	動 名	hear の過去(分詞) 群れ
	④ [peɪn]	pain pane	名 名	苦痛 1枚のガラス	⑤ [weɪst]	waist waste	名 動	腰 浪費する
78	① [pleɪn]	plane plain	名 形	飛行機 明白な	② [daɪ]	die dye	動 動	死ぬ 染める
	④ [teɪl]	tail tale	名 名	尾 / しっぽ 話 / 物語	⑤ [piːs]	piece peace	名 名	1つ / 作品 平和

Power Up! 210 日本語になった英単語

本来の英語の発音・アクセントからかけ離れたカタカナ英語に注意しよう！

□ オーケストラ	**orchestra**	[ɔ́ːrkɪstrə]	□ カレンダー	**calendar**	[kǽləndər]
□ インターネット	**Internet**	[íntərnèt]	□ エネルギー	**energy**	[énərdʒi]
□ パターン	**pattern**	[pǽtərn]	□ ギター	**guitar**	[gɪtɑ́ːr]
□ パレード	**parade**	[pəréɪd]	□ チョコレート	**chocolate**	[tʃɔ́(ː)klət]
□ コメント	**comment**	[kɑ́(ː)mènt]	□ デリケート	**delicate**	[délɪkət]
□ イメージ	**image**	[ímɪdʒ]	□ イコール	**equal**	[íːkwəl]
□ アドバイス	**advice**	[ədváɪs]	□ アマチュア	**amateur**	[ǽmətʃuər]
□ サラダ	**salad**	[sǽləd]	□ オーブン	**oven**	[ʌ́vən]
□ ビタミン	**vitamin**	[váɪtəmɪn]	□ セーター	**sweater**	[swétər]
□ ホース	**hose**	[houz]	□ アルコール	**alcohol**	[ǽlkəhɔ̀(ː)l]

その他の発音重要語 100

設問に出た単語と以下の 100 語を覚えれば発音問題は完璧。

36

(1)

□	haste	[heɪst]	名	急ぐこと
□	radio	[réɪdiòu]	名	ラジオ
□	wander	[wɑ́(ː)ndər]	動	さまよう
□	strange	[streɪndʒ]	形	奇妙な
□	sacred	[séɪkrɪd]	形	神聖な
□	challenge	[tʃǽlɪndʒ]	名	課題
□	angel	[éɪndʒəl]	名	天使
□	major	[méɪdʒər]	形	主要な
□	understand	[ʌ̀ndərstǽnd]	動	理解する
□	wave	[weɪv]	名	波
□	attitude	[ǽtətjùːd]	名	態度
□	casual	[kǽʒuəl]	形	カジュアルな
□	danger	[déɪndʒər]	名	危険
□	machine	[məʃíːn]	名	機械
□	polite	[pəláɪt]	形	丁寧な
□	police	[pəlíːs]	名	警察
□	environment	[ɪnváɪərənmənt]	名	環境
□	technique	[tekníːk]	名	技術
□	horizon	[həráɪzən]	名	水平線
□	survival	[sərváɪvəl]	名	生存
□	recent	[ríːsənt]	形	最近の
□	complete	[kəmplíːt]	形	完全な
□	region	[ríːdʒən]	名	地域
□	adventure	[ədvéntʃər]	名	冒険
□	species	[spíːʃiːz]	名	種
□	hesitate	[hézɪtèɪt]	動	ためらう
□	method	[méθəd]	名	方法
□	women	[wímɪn]	名	woman の複数
□	prove	[pruːv]	動	証明する
□	concentrate	[kɑ́(ː)nsəntrèɪt]	動	集中する

(2)

□	brother	[brʌ́ðər]	名	兄弟
□	scholar	[skɑ́(ː)lər]	名	学者
□	approval	[əprúːvəl]	名	是認
□	onion	[ʌ́njən]	名	たまねぎ
□	front	[frʌnt]	名	前部
□	alone	[əlóʊn]	副	1人で
□	improve	[ɪmprúːv]	動	改良する
□	tongue	[tʌŋ]	名	舌
□	only	[óʊnli]	形	唯一の
□	receive	[rɪsíːv]	動	受け取る
□	industrial	[ɪndʌ́striəl]	形	産業の
□	usual	[júːʒuəl]	形	いつもの
□	rude	[ruːd]	形	無礼な
□	allow	[əláʊ]	動	許す
□	crow	[kroʊ]	名	カラス
□	growth	[groʊθ]	名	成長
□	knowledge	[nɑ́(ː)lɪdʒ]	名	知識
□	wool	[wʊl]	名	毛糸
□	tooth	[tuːθ]	名	歯
□	look	[lʊk]	動	見る
□	proud	[praʊd]	形	誇りに思って
□	pour	[pɔːr]	動	注ぐ
□	touch	[tʌtʃ]	動	触れる
□	trouble	[trʌ́bl]	名	困ること
□	house	[haʊs]	名	家
□	double	[dʌ́bl]	形	2倍の
□	thousand	[θáʊzənd]	名	千
□	sour	[sáʊər]	形	すっぱい
□	soup	[suːp]	名	スープ
□	disease	[dɪzíːz]	名	病気

(3)

□	pleasure	[pléʒər]	名	喜び
□	weapon	[wépən]	名	武器
□	cease	[siːs]	名	やめる
□	meant	[ment]	動	mean の過去(分詞)
□	ready	[rédi]	形	用意できた
□	great	[greɪt]	形	大きな
□	endeavor	[ɪndévər]	動	努力する
□	pleasant	[plézənt]	形	楽しい
□	breakfast	[brékfəst]	名	朝食
□	tease	[tiːz]	動	いじめる
□	head	[hed]	名	頭
□	fear	[fɪər]	名	恐れ
□	early	[ə́ːrli]	形	早い
□	research	[ríːsəːrtʃ]	名	研究
□	earth	[əːrθ]	名	地球
□	advise	[ədváɪz]	動	忠告する
□	reserve	[rɪzə́ːrv]	動	予約する
□	close	[kloʊz]	動	閉める
□	cleanse	[klenz]	動	清潔にする
□	cause	[kɔːz]	名	原因

(4)

□	ache	[eɪk]	名	痛み
□	choose	[tʃuːz]	動	選ぶ
□	chorus	[kɔ́ːrəs]	名	コーラス
□	author	[ɔ́ːθər]	名	著者
□	width	[wɪdθ]	名	幅
□	strength	[streŋkθ]	名	強さ
□	birth	[bəːrθ]	名	誕生
□	laugh	[læf]	動	笑う
□	saw	[sɔː]	動	see の過去
□	draw	[drɔː]	動	引く
□	dawn	[dɔːn]	名	夜明け
□	said	[sed]	動	say の過去(分詞)
□	gauge	[geɪdʒ]	名	測定器
□	soap	[soʊp]	名	石鹸
□	goal	[goʊl]	名	ゴール
□	coat	[koʊt]	名	コート
□	coal	[koʊl]	名	石炭
□	toast	[toʊst]	名	トースト
□	abroad	[əbrɔ́ːd]	副	外国へ
□	broad	[brɔːd]	形	広い

第31章 アクセントのルールと重要語

Rule 1

◎37

□ □	1	ca・reer ① ②	□ □	2	de・gree ① ②
□ □	3	em・ploy・ee ① ② ③	□ □	4	guar・an・tee ① ② ③
□ □	5	en・gi・neer ① ② ③	□ □	6	vol・un・teer ① ② ③
□ □	7	moun・tain・eer ① ② ③	□ □	8	pi・o・neer ① ② ③
□ □	9	bam・boo ① ②	□ □	10	ty・phoon ① ②
□ □	11	sham・poo ① ②	□ □	12	cof・fee ① ②
□ □	13	com・mit・tee ① ② ③	□ □	14	hon・ey・moon ① ② ③
□ □	15	an・tique ① ②	□ □	16	u・nique ① ②
□ □	17	tech・nique ① ②	□ □	18	pic・tur・esque ① ② ③
□ □	19	gro・tesque ① ②	□ □	20	fa・tigue ① ②
□ □	21	pa・rade ① ②	□ □	22	per・suade ① ②
□ □	23	bi・ol・o・gy ① ② ③ ④	□ □	24	tech・nol・o・gy ① ② ③ ④
□ □	25	a・pol・o・gy ① ② ③ ④	□ □	26	so・ci・ol・o・gy ① ② ③ ④ ⑤
□ □	27	psy・chol・o・gy ① ② ③ ④	□ □	28	zo・ol・o・gy ① ② ③ ④
□ □	29	e・con・o・my ① ② ③ ④	□ □	30	as・tron・o・my ① ② ③ ④
□ □	31	o・ri・en・tal ① ② ③ ④	□ □	32	ac・ci・den・tal ① ② ③ ④
□ □	33	con・trib・ute ① ② ③	□ □	34	dis・trib・ute ① ② ③

1（②） 2（②） 3（③） 4（③） 5（③） 6（③） 7（③） 8（③） 9（②）
10（②） 11（②） 12（①） 13（②） 14（①） 15（②） 16（②） 17（②） 18（③）
19（②） 20（②） 21（②） 22（②） 23（②） 24（②） 25（②） 26（③） 27（②）
28（②） 29（②） 30（②） 31（③） 32（③） 33（②） 34（②）

Rule 1 特定のつづりの音節にアクセントがあるもの

❶ -ee / -eer / -oo

1	[kəríər]	名	経歴	2	[dɪgríː]	名	程度
3	[ɪmplɔɪíː]*	名	従業員	4	[gærəntíː]	名	保証
5	[èndʒɪníər]	名	技師	6	[vɑ̀(ː)ləntíər]	名	ボランティア
7	[màuntəníər]	名	登山家	8	[pàɪəníər]	名	開拓者
9	[bæmbúː]	名	竹	10	[taɪfúːn]	名	台風
11	[ʃæmpúː]	名	シャンプー	12 例外	[kɔ́(ː)fi]	名	コーヒー
13 例外	[kəmíti]	名	委員会	14 例外	[hʌ́nimùːn]	名	ハネムーン

▶employee は ploy の部分にアクセントを置き［ɪmplɔ́ɪiː］と発音する流れがあるが，入試ではまだ3のように ee のアクセントを問う問題が多い。

❷ -ique / -igue / -esque / -ade

15	[æntíːk]	形	旧式の	16	[juníːk]	形	独特の
17	[tekníːk]	名	技術	18	[pìktʃərésk]	形	絵のような
19	[groutésk]	形	怪奇な	20	[fətíːg]	名	疲労
21	[pəréɪd]	名	行進	22	[pərswéɪd]	動	説得する

❸ -ology

23	[baɪɑ́(ː)lədʒi]	名	生物学	24	[teknɑ́(ː)lədʒi]	名	科学技術
25	[əpɑ́(ː)lədʒi]	名	おわび	26	[sòusiɑ́(ː)lədʒi]	名	社会学
27	[saɪkɑ́(ː)lədʒi]	名	心理学	28	[zouɑ́(ː)lədʒi]	名	動物学

❹ -onomy

29	[ɪkɑ́(ː)nəmi]	名	経済	30	[əstrɑ́(ː)nəmi]	名	天文学

❺ -ental

31	[ɔ̀ːriéntəl]	形	東洋の	32	[æ̀ksɪdéntəl]	形	偶然の

❻ -tribute

33	[kəntríbjət]	動	貢献する	34	[dɪstríbjət]	動	分配する

□□ 35 ma · gi · cian
① ② ③

□□ 36 mu · si · cian
① ② ③

□□ 37 pol · i · ti · cian
① ② ③ ④

□□ 38 phy · si · cian
① ② ③

□□ 39 de · ci · sion
① ② ③

□□ 40 dis · cus · sion
① ② ③

□□ 41 su · per · sti · tion
① ② ③ ④

□□ 42 pop · u · la · tion
① ② ③ ④

□□ 43 oc · cu · pa · tion
① ② ③ ④

□□ 44 re · li · gion
① ② ③

□□ 45 au · thor · i · ty
① ② ③ ④

□□ 46 ne · ces · si · ty
① ② ③ ④

□□ 47 anx · i · e · ty
① ② ③ ④

□□ 48 e · lec · tric · i · ty
① ② ③ ④ ⑤

□□ 49 op · por · tu · ni · ty
① ② ③ ④ ⑤

□□ 50 cu · ri · os · i · ty
① ② ③ ④ ⑤

□□ 51 gen · er · os · i · ty
① ② ③ ④ ⑤

□□ 52 u · ni · ver · si · ty
① ② ③ ④ ⑤

□□ 53 re · spon · si · bil · i · ty
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

□□ 54 per · son · al · i · ty
① ② ③ ④ ⑤

□□ 55 he · red · i · ty
① ② ③ ④

□□ 56 va · ri · e · ty
① ② ③ ④

□□ 57 so · ci · e · ty
① ② ③ ④

□□ 58 safe · ty
① ②

□□ 59 de · li · cious
① ② ③

□□ 60 lux · u · ri · ous
① ② ③ ④

□□ 61 in · dus · tri · ous
① ② ③ ④

□□ 62 mys · te · ri · ous
① ② ③ ④

□□ 63 ad · van · ta · geous
① ② ③ ④

□□ 64 spon · ta · ne · ous
① ② ③ ④

□□ 65 cou · ra · geous
① ② ③

□□ 66 cour · te · ous
① ② ③

35 (②) 36 (②) 37 (③) 38 (②) 39 (②) 40 (②) 41 (③) 42 (③)
43 (③) 44 (②) 45 (②) 46 (②) 47 (②) 48 (③) 49 (③) 50 (③)
51 (③) 52 (③) 53 (④) 54 (③) 55 (②) 56 (②) 57 (②) 58 (①)
59 (②) 60 (②) 61 (②) 62 (②) 63 (③) 64 (②) 65 (②) 66 (①)

Rule 2 特定のつづりの音節の直前にアクセントがあるもの (1)

❶ -ian / -(s)sion / -tion ❷ -ity / -ety ❸ -ious / -eous

❶ -ian / -(s)sion / -tion

35	[mədʒíʃən]	名	手品師
36	[mjuzíʃən]	名	音楽家
37	[pà(:)lətíʃən]	名	政治家
38	[fɪzíʃən]	名	内科医
39	[dɪsíʒən]	名	決心
40	[dɪskʌ́ʃən]	名	議論 / 討論
41	[sù:pərstíʃən]	名	迷信
42	[pà(:)pjuléɪʃən]	名	人口
43	[à(:)kjupéɪʃən]	名	職業
44	[rɪlídʒən]	名	宗教

❷ -ity / -ety

45	[ə:θɔ́:rəti]	名	権威
46	[nəsésəti]	名	必要
47	[æŋzáɪəti]	名	心配
48	[ɪlèktrísəti]	名	電気
49	[à(:)pərtjú:nəti]	名	機会
50	[kjùəriá(:)səti]	名	好奇心
51	[dʒènərá(:)səti]	名	気前の良さ
52	[jù:nɪvə́:rsəti]	名	大学
53	[rɪspà(:)nsəbíləti]	名	責任
54	[pə̀:rsənǽləti]	名	人格
55	[hərédəti]	名	遺伝
56	[vəráɪəti]	名	変化(に富むこと)
57	[səsáɪəti]	名	社会
58	[séɪfti]	名	安全

❸ -ious / -eous

59	[dɪlíʃəs]	形	おいしい
60	[lʌgʒʊ́riəs]	形	ぜいたくな
61	[ɪndʌ́striəs]	形	勤勉な
62	[mɪstíəriəs]	形	神秘的な
63	[æ̀dvəntéɪdʒəs]	形	有利[有益]な
64	[spɑ(:)ntéɪniəs]	形	自発的な
65	[kəréɪdʒəs]	形	勇敢な
66	[kɔ́:rtiəs]	形	礼儀正しい

Rule 3

◎ 39

□□ **67** ac · a · dem · ic
① ② ③ ④

□□ **68** sci · en · tif · ic
① ② ③ ④

□□ **69** e · co · nom · ic
① ② ③ ④

□□ **70** e · co · nom · ics
① ② ③ ④

□□ **71** en · er · get · ic
① ② ③ ④

□□ **72** dem · o · crat · ic
① ② ③ ④

□□ **73** math · e · mat · ics
① ② ③ ④

□□ **74** sym · pa · thet · ic
① ② ③ ④

□□ **75** dip · lo · mat · ic
① ② ③ ④

□□ **76** char · ac · ter · is · tic
① ② ③ ④ ⑤

□□ **77** en · thu · si · as · tic
① ② ③ ④ ⑤

□□ **78** pho · to · graph · ic
① ② ③ ④

□□ **79** e · lec · tric
① ② ③

□□ **80** crit · i · cal
① ② ③

□□ **81** chem · i · cal
① ② ③

□□ **82** his · tor · i · cal
① ② ③ ④

□□ **83** e · co · nom · i · cal
① ② ③ ④ ⑤

□□ **84** a · rith · me · tic
① ② ③ ④

□□ **85** lu · na · tic
① ② ③

□□ **86** pol · i · tics
① ② ③

□□ **87** ben · e · fi · cial
① ② ③ ④

□□ **88** of · fi · cial
① ② ③

□□ **89** su · per · fi · cial
① ② ③ ④

□□ **90** ar · ti · fi · cial
① ② ③ ④

□□ **91** in · i · tial
① ② ③

□□ **92** in · tel · lec · tu · al
① ② ③ ④ ⑤

□□ **93** ha · bit · u · al
① ② ③ ④

□□ **94** spir · it · u · al
① ② ③ ④

□□ **95** grat · i · tude
① ② ③

□□ **96** at · ti · tude
① ② ③

□□ **97** sub · sti · tute
① ② ③

□□ **98** con · sti · tute
① ② ③

---

67 (③)	68 (③)	69 (③)	70 (③)	71 (③)	72 (③)	73 (③)	74 (③)
75 (③)	76 (④)	77 (④)	78 (③)	79 (②)	80 (①)	81 (①)	82 (②)
83 (③)	84 (②)	85 (①)	86 (①)	87 (③)	88 (②)	89 (③)	90 (③)
91 (②)	92 (③)	93 (②)	94 (①)	95 (①)	96 (①)	97 (①)	98 (①)

Rule 3 特定のつづりの音節の直前にアクセントがあるもの (2)

❹ -ic(s) / -ical　❺ -cial / -tial / -tual　❻ -itude / -itute

❹ -ic(s) / -ical

67	[ækədémɪk]	形 学園の	68	[sàɪəntífɪk]	形 科学の
69	[ì:kəná(:)mɪk]	形 経済(上)の	70	[ì:kəná(:)mɪks]	名 経済学
71	[ènərdʒétɪk]	形 精力的な	72	[dèməkrǽtɪk]	形 民主主義の
73	[mæθəmǽtɪks]	名 数学	74	[sìmpəθétɪk]	形 同情的な
75	[dìpləmǽtɪk]	形 外交の	76	[kærəktərístɪk]	形 特有の
77	[ɪnθjù:ziǽstɪk]	形 熱狂的な	78	[fòʊtəgrǽfɪk]	形 写真の
79	[ɪléktrɪk]	形 電気の	80	[krítɪkəl]	形 批評の / 批判の
81	[kémɪkəl]	形 化学の	82	[hɪstɔ́(:)rɪkəl]	形 歴史(上)の
83	[ì:kəná(:)mɪkəl]	形 経済的な / 徳用の	84 例外	[əríθmətɪk]	名 算数 / 算術
85 例外	[lú:nətɪk]	形 全くばかげた	86 例外	[pá(:)lətɪks]	名 政治

❺ -cial / -tial / -tual

87	[bènɪfíʃəl]	形 有益な	88	[əfíʃəl]	形 公の
89	[sù:pərfíʃəl]	形 表面的な	90	[à:rtɪfíʃəl]	形 人工の
91	[ɪníʃəl]	形 最初の	92	[ìntəléktʃuəl]	形 知性の
93	[həbítʃuəl]	形 習慣的な	94 例外	[spírɪtʃuəl]	形 精神的な

❻ -itude / -itute

95	[grǽtətjù:d]	名 感謝(の気持ち)	96	[ǽtətjù:d]	名 態度 / 心構え
97	[sʌ́bstɪtjù:t]	動 代用する	98	[ká(:)nstətjù:t]	動 構成する

Rule 4

40

□□ 99 con · ven · ient
① ② ③

□□ 100 suf · fi · cient
① ② ③

□□ 101 ef · fi · cient
① ② ③

□□ 102 pro · fi · cient
① ② ③

□□ 103 con · ven · ience
① ② ③

□□ 104 ex · pe · ri · ence
① ② ③ ④

□□ 105 con · science
① ②

□□ 106 sci · ence
① ②

□□ 107 ex · pen · sive
① ② ③

□□ 108 ag · gres · sive
① ② ③

□□ 109 suc · ces · sive
① ② ③

□□ 110 com · pre · hen · sive
① ② ③ ④

□□ 111 ex · clu · sive
① ② ③

□□ 112 in · ten · sive
① ② ③

□□ 113 per · sua · sive
① ② ③

□□ 114 cre · a · tive
① ② ③

□□ 115 al · ter · na · tive
① ② ③ ④

□□ 116 im · ag · i · na · tive
① ② ③ ④ ⑤

□□ 117 sym · pa · thy
① ② ③

□□ 118 an · tip · a · thy
① ② ③ ④

□□ 119 de · moc · ra · cy
① ② ③ ④

□□ 120 ar · is · toc · ra · cy
① ② ③ ④ ⑤

□□ 121 ba · rom · e · ter
① ② ③ ④

□□ 122 ther · mom · e · ter
① ② ③ ④

□□ 123 di · am · e · ter
① ② ③ ④

□□ 124 cen · ti · me · ter
① ② ③ ④

99 (②) 100 (②) 101 (②) 102 (②) 103 (②) 104 (②) 105 (①)
106 (①) 107 (②) 108 (②) 109 (②) 110 (③) 111 (②) 112 (②)
113 (②) 114 (②) 115 (②) 116 (②) 117 (①) 118 (②) 119 (②)
120 (③) 121 (②) 122 (②) 123 (②) 124 (①)

Rule 4 特定のつづりの音節の直前にアクセントがあるもの (3)

❼ -ient / -ience ❽ -sive ❾ -pathy ❿ -cracy ⓫ -meter

❼ -ient / ience

99 [kənvíːniənt] 形 便利な
100 [səfíʃənt] 形 十分な
101 [ɪfíʃənt] 形 効率的な
102 [prəfíʃənt] 形 熟練した
103 [kənvíːniəns] 名 便利 / 便宜
104 [ɪkspíəriəns] 名 経験
105 [ká(ː)nʃəns] 名 良心
106 例外 [sáɪəns] 名 科学

❽ -sive

107 [ɪkspénsɪv] 形 高価な
108 [əgrésɪv] 形 攻撃的な
109 [səksésɪv] 形 連続する / 引き続いての
110 [kὰ(ː)mprɪhénsɪv] 形 包括的な，範囲の広い
111 [ɪksklúːsɪv] 形 排他的な
112 [ɪnténsɪv] 形 集中的な
113 [pərswéɪsɪv] 形 説得力のある
114 [kri(ː)éɪtɪv] 形 創造的な
115 [ɔːltə́ːrnətɪv] 形 二者択一の
116 [ɪmǽdʒənətɪv] 形 想像力に富む

▶ -sive で終わる形容詞は例外なく直前の音節にアクセントが置かれる。
それに対して -tive の場合にはアクセントは一定しない。（➲ 114 ~ 116）

❾ -pathy

117 [símpəθi] 名 同情
118 [æntípəθi] 名 反感

❿ -cracy

119 [dɪmá(ː)krəsi] 名 民主主義
120 [æ̀rɪstá(ː)krəsi] 名 貴族 / 貴族階級

⓫ -meter

121 [bərá(ː)mətər] 名 気圧計 / バロメーター
122 [θərmá(ː)mətər] 名 温度計 / 寒暖計
123 [daɪǽmətər] 名 直径
124 例外 [séntəmìːtər] 名 センチメートル

Rule 5

◎ 41

□□ 125 con・cen・trate ① ② ③

□ 126 com・mu・ni・cate ① ② ③ ④

□□ 127 dem・on・strate ① ② ③

□ 128 hes・i・tate ① ② ③

□□ 129 ed・u・cate ① ② ③

□ 130 cul・ti・vate ① ② ③

□□ 131 sep・a・rate ① ② ③

□ 132 es・ti・mate ① ② ③

□□ 133 fas・ci・nate ① ② ③

□ 134 im・i・tate ① ② ③

□□ 135 ad・e・quate ① ② ③

□ 136 del・i・cate ① ② ③

□□ 137 ul・ti・mate ① ② ③

□ 138 de・lib・er・ate ① ② ③ ④

□□ 139 op・po・site ① ② ③

□ 140 def・i・nite ① ② ③

□□ 141 a・pol・o・gize ① ② ③ ④

□ 142 sym・pa・thize ① ② ③

□□ 143 rec・og・nize ① ② ③

□ 144 em・pha・size ① ② ③

□□ 145 gen・er・al・ize ① ② ③ ④

□ 146 A・mer・i・can・ize ① ② ③ ④ ⑤

□□ 147 com・pro・mise ① ② ③

□ 148 en・ter・prise ① ② ③

□□ 149 pho・to・graph ① ② ③

□ 150 tel・e・graph ① ② ③

□□ 151 pho・tog・ra・phy ① ② ③ ④

□ 152 bi・og・ra・phy ① ② ③ ④

□□ 153 crit・i・cism ① ② ③

□ 154 mech・a・nism ① ② ③

□□ 155 her・o・ism ① ② ③

□ 156 jour・nal・ism ① ② ③

125（①）　126（②）　127（①）　128（①）　129（①）　130（①）　131（①）
132（①）　133（①）　134（①）　135（①）　136（①）　137（①）　138（②）
139（①）　140（①）　141（②）　142（①）　143（①）　144（①）　145（①）
146（②）　147（①）　148（①）　149（①）　150（①）　151（②）　152（②）
153（①）　154（①）　155（①）　156（①）

Rule 5 特定のつづりの２つ前の音節にアクセントがあるもの

❶ -ate / -ite ❷ -ize / -ise ❸ -graph ❹ -ism

❶ -ate / -ite

125	[ká(:)nsəntrèɪt]	動	集中する	126	[kəmjú:nɪkèɪt]	動	伝える
127	[démənstrèɪt]	動	実証する	128	[hézɪtèɪt]	動	ためらう
129	[édʒəkèɪt]	動	教育する	130	[kʌ́ltɪvèɪt]	動	耕作する
131	[sépərèɪt]	動	分離する	132	[éstɪmèɪt]	動	見積もる
133	[fǽsɪnèɪt]	動	魅了する	134	[ímɪtèɪt]	動	まねる
135	[ǽdɪkwət]	形	十分な	136	[délɪkət]	形	繊細な
137	[ʌ́ltɪmət]	形	究極の	138	[dɪlíbərət]	形	慎重な
139	[á(:)pəzɪt]	形	反対側の	140	[défənət]	形	一定の

❷ -ize / -ise

141	[əpá(:)lədʒàɪz]	動	謝罪する	142	[símpəθàɪz]	動	同情する
143	[rékəgnàɪz]	動	それと認める	144	[émfəsàɪz]	動	強調する
145	[dʒénərəlàɪz]	動	一般化する	146	[əmérɪkənàɪz]	動	米国風にする
例外 147	[ká(:)mprəmàɪz]	動	妥協する	例外 148	[éntərpràɪz]	名	事業

❸ -graph

149	[fóutəgræ̀f]	名	写真	150	[téləgræ̀f]	名	電報 / 電信
151	[fətá(:)grəfi]	名	写真術	152	[baɪá(:)grəfi]	名	伝記

▶-graphy / -grapher の場合は g を含む音節にアクセントがあるので注意。

❹ -ism

153	[krítəsìzm]	名	批評 / 評論	154	[mékənìzm]	名	機械(装置)
155	[hérouìzm]	名	英雄的行為	156	[dʒə́:rnəlìzm]	名	ジャーナリズム

Rule 6 ◎42

□□ 157 re · gret · ta · ble
① ② ③ ④

□□ 158 de · plor · a · ble
① ② ③ ④

□□ 159 mov · a · ble
① ② ③

□□ 160 a · gree · a · ble
① ② ③ ④

□□ 161 ad · mi · ra · ble
① ② ③ ④

□□ 162 pref · er · a · ble
① ② ③ ④

□□ 163 com · pa · ra · ble
① ② ③ ④

□□ 164 rep · u · ta · ble
① ② ③ ④

Rule 7 ◎43

次の語群のなかで，名詞でも動詞でもアクセントが変わらないものが5つある。その番号を答えなさい。

□□ 165 import
□□ 166 increase
□□ 167 insult
□□ 168 comfort
□□ 169 consent
□□ 170 produce
□□ 171 record
□□ 172 control
□□ 173 present
□□ 174 progress
□□ 175 contest
□□ 176 lament
□□ 177 export
□□ 178 purchase
□□ 179 protest
□□ 180 project

157（②） 158（②） 159（①） 160（②） 161（①） 162（①） 163（①） 164（①）

〔名詞でも動詞でもアクセントが変わらない語〕

168 comfort 名 慰め
[kʌ́mfərt] 動 慰める

169 consent 名 同意
[kənsént] 動 同意する

172 control 名 支配
[kəntróul] 動 支配する

176 lament 名 嘆き
[ləmént] 動 嘆く

178 purchase 名 購入
[pə́ːrtʃəs] 動 購入する

Rule 6 動詞に接尾辞 -able をつけて形容詞を作る場合 2 通りがある

❶ アクセントがそのままのもの ❷ 前に移動するもの

❶ アクセントがそのままのもの

157 [rɪgrétəbl] 形 後悔すべき

158 [dɪplɔ́ːrəbl] 形 嘆かわしい

159 [múːvəbl] 形 動かせる

160 [əgríːəbl] 形 快い

❷ 前に移動するもの

161 [ǽdmərəbl] 形 実に立派な
admíre ➡ ádmirable

162 [préfərəbl] 形 望ましい
prefér ➡ préferable

163 [ká(ː)mpərəbl] 形 比較できる
compáre ➡ cómparable

164 [répjutəbl] 形 評判のよい
repúte ➡ réputable

▶❷ のほうが少数で例外的であるから入試では狙われる。

Rule 7 名前動後の法則

2 音節語では，名詞の場合は前の音節にアクセントがあり，動詞の場合は後ろの音節にアクセントがあるものが多い。

165 import [ímpɔːrt] 名 輸入
[ɪmpɔ́ːrt] 動 輸入する

166 increase [íŋkriːs] 名 増加
[ɪnkríːs] 動 増加する

167 insult [ínsʌlt] 名 侮辱
[ɪnsʌ́lt] 動 侮辱する

170 produce [próudjuːs] 名 生産物
[prədjúːs] 動 生産する

171 record [rékərd] 名 記録
[rɪkɔ́ːrd] 動 記録する

173 present [prézənt] 名 プレゼント
[prɪzént] 動 贈る

174 progress [prá(ː)grəs] 名 前進
[prəgrés] 動 前進する

175 contest [ká(ː)ntest] 名 競争
[kəntést] 動 争う

177 export [ékspɔːrt] 名 輸出
[ɪkspɔ́ːrt] 動 輸出する

179 protest [próutest] 名 抗議
[prətést] 動 抗議する

180 project [prá(ː)dʒekt] 名 計画
[prədʒékt] 動 計画する

その他のアクセント重要語 67 ①

□ 181 ac · ces · so · ry
① ② ③ ④

□ 183 ag · ri · cul · ture
① ② ③ ④

□ 185 an · ces · tor
① ② ③

□ 187 at · mos · phere
① ② ③

□ 189 bal · ance
① ②

□ 191 ca · nal
① ②

□ 193 com · merce
① ②

□ 195 con · tem · po · rar · y
① ② ③ ④ ⑤

□ 197 cru · el · ty
① ② ③

□ 199 de · vel · op
① ② ③

□ 201 dra · mat · ic
① ② ③

□ 203 el · o · quence
① ② ③

□ 205 en · er · gy
① ② ③

□ 207 en · vi · ron · ment
① ② ③ ④

□ 209 fa · mil · iar
① ② ③

□ 211 ig · no · rant
① ② ③

□ 213 in · dus · try
① ② ③

□ 182 ad · vice
① ②

□ 184 al · though
① ②

□ 186 ap · par · ent
① ② ③

□ 188 av · er · age
① ② ③

□ 190 cal · en · dar
① ② ③

□ 192 cir · cum · stance
① ② ③

□ 194 con · se · quence
① ② ③

□ 196 con · tin · ue
① ② ③

□ 198 dem · o · crat
① ② ③

□ 200 de · vel · op · ment
① ② ③ ④

□ 202 el · e · va · tor
① ② ③ ④

□ 204 em · bar · rass
① ② ③

□ 206 en · ter · tain
① ② ③

□ 208 Eu · ro · pe · an
① ② ③ ④

□ 210 gui · tar
① ②

□ 212 in · dus · tri · al
① ② ③ ④

181 (②) 182 (②) 183 (①) 184 (②) 185 (①) 186 (②) 187 (①) 188 (①)
189 (①) 190 (①) 191 (②) 192 (①) 193 (①) 194 (①) 195 (②) 196 (②)
197 (①) 198 (①) 199 (②) 200 (②) 201 (②) 202 (①) 203 (①) 204 (②)
205 (①) 206 (③) 207 (②) 208 (③) 209 (②) 210 (②) 211 (①) 212 (②)
213 (①)

その他のアクセント重要語 67 ①

181 [əksésəri] 名 アクセサリー
183 [ǽgrɪkʌ̀ltʃər] 名 農業
185 [ǽnsèstər] 名 先祖
187 [ǽtməsfìər] 名 大気 / 雰囲気
189 [bǽləns] 名 バランス
191 [kənǽl] 名 運河
193 [ká(:)mərs] 名 商業 / 商取り引き
195 [kəntémpərèri] 形 現代の / 同時代の
197 [krúːəlti] 名 残酷
199 [dɪvéləp] 動 発達する
201 [drəmǽtɪk] 形 劇的な
203 [éləkwəns] 名 雄弁
205 [énərdʒi] 名 エネルギー / 精力
207 [ɪnváɪərənmənt] 名 自然環境
209 [fəmíljər] 形 親しい
211 [ígnərənt] 形 無知な
213 [índəstri] 名 産業 / 工業 / 勤勉

182 [ədváɪs] 名 忠告
184 [ɔːlðóu] 接 ～だけれども
186 [əpǽrənt] 形 明白な
188 [ǽvərɪdʒ] 名 平均
190 [kǽləndər] 名 カレンダー / 暦
192 [sə́ːrkəmstæ̀ns] 名 環境
194 [ká(:)nsəkwèns] 名 結果
196 [kəntínju(:)] 動 続く
198 [déməkræ̀t] 名 民主主義者
200 [dɪvéləpmənt] 名 発達 / 発展
202 [élɪvèɪtər] 名 エレベーター
204 [ɪmbǽrəs] 動 困惑させる
206 [èntərtéɪn] 動 楽しませる
208 [jʊ̀ərəpíːən] 形 ヨーロッパ(人)の
210 [gɪtáːr] 名 ギター
212 [ɪndʌ́striəl] 形 産業［工業］の

その他のアクセント重要語 67 ②

□ 214 in·fa·mous
① ② ③

□ 216 in·no·cent
① ② ③

□ 218 in·ter·fere
① ② ③

□ 220 in·ter·val
① ② ③

□ 222 in·ves·ti·gate
① ② ③ ④

□ 224 main·tain
① ②

□ 226 man·ag·er
① ② ③

□ 228 mel·an·chol·y
① ② ③ ④

□ 230 mis·chie·vous
① ② ③

□ 232 oc·cur
① ②

□ 234 or·ches·tra
① ② ③

□ 236 par·tic·u·lar
① ② ③ ④

□ 238 per·cent·age
① ② ③

□ 240 pref·ace
① ②

□ 242 rel·a·tive
① ② ③

□ 244 sat·is·fac·to·ry
① ② ③ ④ ⑤

□ 246 un·der·stand
① ② ③

□ 215 in·flu·ence
① ② ③

□ 217 in·stru·ment
① ② ③

□ 219 in·ter·pret
① ② ③

□ 221 in·tro·duce
① ② ③

□ 223 lit·er·a·ture
① ② ③ ④

□ 225 main·te·nance
① ② ③

□ 227 man·u·fac·ture
① ② ③ ④

□ 229 mis·chief
① ②

□ 231 mod·ern
① ②

□ 233 oc·cur·rence
① ② ③

□ 235 or·i·gin
① ② ③

□ 237 pat·tern
① ②

□ 239 po·lice
① ②

□ 241 prod·uct
① ②

□ 243 rep·re·sent
① ② ③

□ 245 sat·is·fy
① ② ③

□ 247 u·ni·verse
① ② ③

---

214 (①) 215 (①) 216 (①) 217 (①) 218 (③) 219 (②) 220 (①) 221 (③)
222 (②) 223 (①) 224 (②) 225 (①) 226 (①) 227 (③) 228 (①) 229 (①)
230 (①) 231 (①) 232 (②) 233 (②) 234 (①) 235 (①) 236 (②) 237 (①)
238 (②) 239 (②) 240 (①) 241 (①) 242 (①) 243 (③) 244 (③) 245 (①)
246 (③) 247 (①)

その他のアクセント重要語 67 ②

214	[ínfəməs]	形	悪名の高い	215	[ínfluəns]	名	影響
216	[ínəsənt]	形	無邪気な	217	[ínstrəmənt]	名	道具 / 器具
218	[ìntərfíər]	動	干渉する	219	[ıntə́:rprət]	動	通訳する
220	[íntərvəl]	名	間隔	221	[ìntrədjú:s]	動	紹介する
222	[ınvéstıgèıt]	動	調査する	223	[lítərətʃər]	名	文学
224	[meıntéın]	動	維持する	225	[méıntənəns]	名	維持 / 保持
226	[mǽnıdʒər]	名	支配人	227	[mæ̀njufǽktʃər]	動	製造する
228	[mélənkɑ̀(:)li]	名	憂うつ / ふさぎ込み	229	[místʃıf]	名	いたずら
230	[místʃıvəs]	形	いたずら好きな	231	[mɑ́(:)dərn]	形	現代の
232	[əkə́:r]	動	起こる / 生じる	233	[əkə́:rəns]	名	起こること / できごと
234	[ɔ́:rkıstrə]	名	オーケストラ	235	[ɔ́(:)rıdʒın]	名	起源
236	[pərtíkjulər]	形	ある特定の / 別格の	237	[pǽtərn]	名	模様 / 型
238	[pərséntıdʒ]	名	百分率	239	[pəlí:s]	名	警察 / 警官たち
240	[préfəs]	名	序文 / はしがき	241	[prɑ́(:)dʌkt]	名	産物 / 製品
242	[rélətıv]	名	親戚	243	[rèprızént]	動	代表する
244	[sætısfǽktəri]	形	満足な	245	[sǽtısfàı]	動	満足させる
246	[ʌ̀ndərstǽnd]	動	理解する	247	[jú:nıvə̀:rs]	名	宇宙